
(仮称)北区子ども・子育て支援総合計画策定
のための区民意向調査報告書



令和5年3月
北区教育委員会

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査内容	2
4. 回収結果	4
5. 報告書を利用するにあたって	4
第2章 調査結果	5
1. 調査結果の概要	5
(1) 就学前の子どもの保護者	5
(2) 小学生の子どもの保護者	8
(3) 25～39歳の区民	10
(4) 世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者 及び児童育成手当を受給している世帯	11
(5) 小学6年生・中学2年生・高校2年生世代	14
(6) 妊産婦	16
(7) 児童養護施設等利用者	17
2. 就学前の子どもの保護者	18
(1) 居住状況	18
(2) 宛名の子どもと家族の状況	19
(3) 子どもを育てる環境	22
(4) 保護者の就労状況	25
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用	31
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況	40
(7) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	49
(8) 病気やケガの時の保育	52
(9) 不定期の一時的な預かり等	55
(10) 就学後の放課後の過ごし方（子どもが5歳以上の場合のみ）	59
(11) 育児休業制度・短時間勤務制度などの職場の両立支援制度	64
(12) 子育て全般	71
(13) 自由意見	83
3. 小学生の子どもの保護者	89
(1) 居住状況	89
(2) 宛名の子どもと家族の状況	90

(3) 子どもの育ちをめぐる環境.....	93
(4) 保護者の就労状況.....	96
(5) 宿泊を伴う一時預かり等.....	101
(6) 放課後の過ごし方.....	103
(7) 子育て全般.....	110
(8) 自由意見.....	125
4. 25～39歳の区民.....	129
(1) 本人・家族について.....	129
(2) ライフスタイル・働き方.....	133
(3) 職場の状況.....	141
(4) 悩みごと、子育ての考え方.....	146
(5) 北区の子育て環境等.....	151
(6) 自由意見.....	155
5. 世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者 及び児童育成手当を受給している世帯.....	157
(1) 居住状況.....	157
(2) 子どもと家族の状況.....	158
(3) 子どもの育ちをめぐる環境.....	163
(4) あなたの生活について.....	172
(5) 子育ての環境.....	175
(6) 地域の子育て支援について.....	178
(7) 子育ての困りごと、相談先について.....	181
(8) 就労状況.....	188
(9) 制度利用について.....	193
(10) 子育て全般.....	203
(11) 子育てしやすいまちづくりや支援のあり方.....	214
(12) 自由意見：世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者.....	221
(13) 自由意見：児童育成手当を受給している世帯.....	223
6. 小学6年生・中学2年生・高校2年生世代.....	226
(1) 本人、家族について.....	226
(2) 勉強や部活動について.....	228
(3) 放課後の過ごし方.....	234
(4) 普段の生活について.....	239
(5) お世話の状況.....	250

(6) ヤングケアラーについて.....	258
(7) 自身の考えについて.....	259
(8) 自由意見：小学6年生.....	262
(9) 自由意見：中学2年生.....	264
(10) 自由意見：高校2年生世代.....	266
7. 妊産婦.....	269
(1) 居住、家族の状況.....	269
(2) 出産や子育てについて.....	272
(3) 就労状況.....	278
(4) パートナーの就労状況.....	281
(5) 職場の状況.....	285
(6) 保育園・幼稚園等について.....	293
(7) 出産・子育てに関して北区に期待すること.....	298
(8) 自由意見.....	300
8. 児童養護施設等利用者.....	303
(1) 本人について.....	303
(2) 普段の生活について.....	304
(3) 学校生活等について.....	308
(4) あなたの考えや将来について.....	309
(5) 自由意見.....	314
資料編：調査票.....	315

第1章 調査概要

1. 調査目的

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」を改定し、令和6年度からの5か年を計画期間とする「(仮称)北区子ども・子育て支援総合計画」の策定に向けた基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査設計

以下のとおり、10種類の調査を実施した。

調査種別	項目	内容
① 就学前の子どもの保護者	対象者数	2,500人
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収(礼状形式の督促1回実施)
	調査期間	令和4年10月17日～10月31日
② 小学生の子どもの保護者	対象者数	1,000人
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収(礼状形式の督促1回実施)
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
③ 25歳～39歳の区民	対象者数	1,000人
	抽出方法	18歳以下のお子さんがいない世帯を住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収(礼状形式の督促1回実施)
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
④-1 世帯主と18歳以下の子のみで構成されている世帯	対象者数	750人
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収(礼状形式の督促1回実施)
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
④-2 児童育成手当受給世帯	対象者数	750人
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収(礼状形式の督促1回実施)
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
⑤ 区立小学6年生	対象者数	2,240人
	抽出方法	悉皆
	調査方法	学校配布・オンライン回答(GIGAスクール端末)
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
⑥ 区立中学2年生	対象者数	1,639人
	抽出方法	悉皆
	調査方法	学校配布・オンライン回答(GIGAスクール端末)
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日

調査種別	項目	内容
⑦ 高校2年生世代	対象者数	1,500人
	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収（礼状形式の督促1回実施）
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
⑧ 妊産婦	対象者数	500人
	抽出方法	はぴママたまご面接受講者または乳児健診受診の保護者から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収（礼状形式の督促1回実施）
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日
⑨ 児童養護施設等利用者	対象者数	50人
	抽出方法	児童養護施設利用者から抽出
	調査方法	施設配布・郵送回収
	調査時期	令和4年10月17日～10月31日

3. 調査内容

調査種別ごとの調査内容は以下のとおりである。

調査種別	調査内容
① 就学前の子どもの保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・居住状況 ・宛名の子どもと家族の状況 ・子どもの育ちをめぐる環境 ・保護者の就労状況 ・平日の定期的な教育・保育事業の利用 ・地域の子育て支援事業の利用状況 ・土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 ・病気やケガの時の保育 ・不定期の一時的な預かり等 ・就学後の放課後の過ごし方（子どもが5歳以上の場合のみ） ・育児休業制度・短時間勤務制度などの職場の両立支援制度 ・子育て全般 ・自由意見
② 小学生の子どもの保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・居住状況 ・宛名の子どもと家族の状況 ・子どもの育ちをめぐる環境 ・保護者の就労状況 ・宿泊を伴う一時預かり等 ・放課後の過ごし方 ・子育て全般 ・自由意見
③ 25歳～39歳の区民	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・家族について ・ライフスタイル・働き方 ・職場の状況 ・悩みごと、子育ての考え方 ・北区の子育て環境等 ・自由意見

調査種別	調査内容
④-1 世帯主と18歳以下の 子のみで構成されて いる世帯 ④-2 児童育成手当受給世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・居住状況 ・子どもと家族の状況 ・子どもの育ちをめぐる環境 ・あなたの生活について ・子育ての環境 ・地域の子育て支援について ・子育ての困りごと、相談先について ・就労状況 ・制度利用について ・子育て全般 ・子育てしやすいまちづくりや支援のあり方 ・自由意見
⑤ 区立小学6年生 ⑥ 区立中学2年生 ⑦ 高校2年生世代	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族について ・勉強や部活動について ・放課後の過ごし方 ・普段の生活について ・お世話の状況 ・ヤングケアラーについて ・自身の考えについて ・自由意見
⑧ 妊産婦	<ul style="list-style-type: none"> ・居住、家族の状況 ・出産や子育てについて ・就労状況 ・パートナーの就労状況 ・職場の状況 ・保育園・幼稚園等について ・出産・子育てに関して北区に期待すること ・自由意見
⑨ 児童養護施設等利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・本人について ・普段の生活について ・学校生活等について ・あなたの考えや将来について ・自由意見

4. 回収結果

調査種別ごとの回収結果は以下のとおりである。

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
① 就学前の子どもの保護者	2,500	1,402	56.1%
② 小学生の子どもの保護者	1,000	570	57.0%
③ 25歳～39歳の区民	1,000	265	26.5%
④-1 世帯主と18歳以下の子のみで構成されている世帯	750	274	36.5%
④-2 児童育成手当受給世帯	750	365	48.7%
⑤ 区立小学6年生	2,240	1,479	66.0%
⑥ 区立中学2年生	1,639	671	40.9%
⑦ 高校2年生世代	1,500	547	36.5%
⑧ 妊産婦	500	333	66.6%
⑨ 児童養護施設等利用者	50	30	60.0%
合計	11,929	5,936	49.8%

5. 報告書を利用するにあたって

- ・ 図表中の「n」（=number）は、設問への回答者数を示している。
- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、回答者比率の合計が必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出している。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。
- ・ 回答者が皆無（ゼロ）の場合は、「-」と表記している。
- ・ 基数や回答数が少ない場合、分析のコメントを控えているものがある。

第2章 調査結果

1. 調査結果の概要

(1)就学前の子どもの保護者

① 居住状況

- ・北区での居住年数は、「5年以上10年未満」が3割強で最も高い。(問2)
- ・北区での居住理由は、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が5割半ばで最も高い。(問3)

② 宛名の子どもと家族の状況

- ・調査の回答者は、「母親」が8割強、「父親」が1割半ばとなっている。(問6)
- ・回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が98.9%、「配偶者がいない」が0.9%となっている。(問7)

③ 子どもの育ちをめぐる環境

- ・子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が5割半ばで最も高い。(問9)
- ・子育てに関して悩んでいること・気になることは、「子どもの教育」「子育て・教育費の経済的負担」が3割強で最も高い。(問10)
- ・子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が9割弱となっている。(問11)
- ・気軽に相談できる相談先・人は、「配偶者」が9割弱で最も高い。(問11-1)

④ 保護者の就労状況

- ・保護者の就労状況をみると、母親、父親ともに「フルタイム」が最も高く、順に4割半ば、9割弱となっている。(問12)
- ・パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望をみると、母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割半ば、父親は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が4割強で最も高い。(問13)
- ・就労希望のある母親が希望する就労形態は、「フルタイム」が約1割、「パートタイム、アルバイト等」が8割半ばとなっている。(問14)

⑤ 平日の定期的な教育・保育事業の利用

- ・定期的な教育・保育事業の利用有無は、「利用している」が7割半ば、「利用していない」が2割半ばとなっている。(問15)
- ・定期的にご利用している教育・保育事業は、「認可保育園」が7割半ばと最も高く、次いで「幼稚園」が2割弱、「幼稚園の預かり保育」が1割弱と続いている。(問15-1)
- ・定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「自分(もしくは配偶者)が育児休業中のため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が3割強で最も高い。なお、「感染症(新型コロナウイルス感染症)が心配である」(0.3%)との回答は、少なかった。(問15-5)

- ・定期的に利用したい教育・保育事業は、「認可保育園」が7割弱と最も高く、次いで「幼稚園」が4割弱、「幼稚園の預かり保育」が3割弱と続いている。(問16)
- ・幼稚園の強い利用希望は、「はい」が6割弱となっている。(問16-2)

⑥ 地域の子育て支援事業の利用状況

- ・地域子育て支援拠点事業の利用有無は、「利用していない」が8割弱となっている。(問17)
- ・地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が2割半ば、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が1割弱、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が6割半ばとなっている。(問18)
- ・区の事業の認知度をみると、「知っていて、利用したことがある」は、『赤ちゃん休けい室(赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置)』が7割弱で最も高い。利用意向をみると、『赤ちゃん休けい室』において「今後、利用したい」が7割強で最も高い。利用満足度をみると、「満足している」は、『親育ちサポート事業(NPプログラム)』が7割弱で最も高い。(問19)

⑦ 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

- ・土曜日の教育・保育事業の定期的な利用希望は、「利用する必要はない」が7割弱、「月に1~2回は利用したい」が2割半ばとなっている。(問20)
- ・日曜日・祝日の教育・保育事業の定期的な利用希望は、「利用する必要はない」が8割強、「月に1~2回は利用したい」が1割強となっている。(問20)
- ・長期休暇期間中の幼稚園の利用希望は、「利用する必要はない」が3割半ば、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(している)」が2割強、「休みの期間中、週に数日利用したい(している)」が4割弱となっている。(問21)

⑧ 病気やケガの時の保育

- ・この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無は、「あった」が8割半ば、「なかった」が1割強となっている。(問22)
- ・病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んで子どもを看た」が8割半ばで最も高い。(問22-1)
- ・病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が3割半ば、「利用したいとは思わない」が6割半ばとなっている。(問22-2)

⑨ 不定期の一時的な預かり等

- ・この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業は、「利用していない」が9割弱で最も高い。(問23)
- ・一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が7割弱で最も高い。(問23-1)
- ・一時預かり等の事業の今後の利用希望の有無は、「利用したい」「利用する必要はない」がともに4割半ばとなっている。(問24)

⑩ 就学後の放課後の過ごし方(子どもが5歳以上の場合のみ)

- ・小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所は、「学童クラブ」が5割半ばで最も高い。(問26)

- ・小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が6割半ばで最も高い。（問 27）
- ・日曜日・祝日の学童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が2割、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が1割未満、「利用する必要はない」が7割弱となっている。（問 28）
- ・長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6割半ば、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が2割半ばとなっている。（問 29）

⑪ 育児休業制度・短時間勤務制度などの職場の両立支援制度

- ・育児休業の取得の有無をみると、「取得した（取得中である）」は、母親が7割弱、父親が2割弱となっている。（問 30）
- ・育児休業を取得していない理由をみると、母親は「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が1割半ば、父親は「仕事が忙しかった」が5割強で最も高い。（問 30）
- ・短時間勤務制度の利用の有無をみると、母親は「利用した」が6割強、父親は「フルタイムで働きたかったので、利用する必要がなかった」が7割半ばで最も高い。（問 30-5）
- ・短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由をみると、母親は「短時間勤務にすると給与が減額される」が4割半ば、父親は「仕事が忙しかった」が5割強で最も高い。（問 30-6）

⑫ 子育て全般

- ・北区での子育て意向は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が5割半ばと最も高い。（問 31）
- ・子育ての楽しさは、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が6割半ばで最も高い。（問 32）
- ・子育ての仲間は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が2割弱、「話をする仲間がいる」が6割半ば、「いない」が2割弱となっている。（問 35）
- ・子育て関連の情報入手方法は、「インターネット」が7割弱と最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が6割半ば、「保育園、幼稚園、認定こども園、学校」が6割強となっている。（問 37）
- ・子育てにあたっての地域の支えの必要性は、「やや必要としている」が4割強と最も高く、次いで「とても必要としている」が2割半ばとなっている。（問 38）
- ・安心して子育てをするために地域で必要な取り組みは、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が5割半ばと最も高く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が5割強となっている。（問 39）
- ・子どもと一緒に外出する際に、気になることは、「歩きタバコをしている人がいる」が5割弱と最も高く、次いで「公園や広場のトイレが汚い」が4割強となっている。（問 40）
- ・新型コロナウイルス感染症による生活の変化をみると、『生活に必要な支出の変化』は「増えた」が最も高い。（問 43）

⑬ 北区の子育て環境や支援への満足度

- ・北区の子育て環境や支援への満足度は、「まあまあ満足している」が5割半ばで最も高い。（問 45）
- ・満足度が高い理由は、「交通機関が便利」が7割強で最も高い。（問 45-1）

- ・満足度が低い理由は、「公園や児童館（子どもセンター）など子どもの遊び場が少ない」が3割半ばと最も高く、次いで「子育てに関する情報が得にくい」が3割強、「保育園に入りにくい」「保育サービスが充実していない」がともに3割弱となっている。（問 45-2）

(2)小学生の子どもの保護者

① 居住状況

- ・北区での居住年数は、「10年以上15年未満」が3割弱で最も高い。（問 2）
- ・北区での居住理由は、「職場に行きやすい（通勤に便利）」が4割半ばで最も高い。（問 3）

② 宛名の子どもと家族の状況

- ・調査の回答者は、「母親」が8割強、「父親」が2割弱となっている。（問 6）
- ・回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が97.4%、「配偶者がいない」が1.6%となっている。（問 7）

③ 子どもの育ちをめぐる環境

- ・子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が5割強で最も高い。（問 9）
- ・子育てに関して悩んでいること・気になることは、「子どもの教育・塾、進路」が5割弱で最も高い。（問 10）
- ・子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が8割半ばとなっている。（問 11）
- ・気軽に相談できる相談先・人は、「配偶者」が8割半ばで最も高い。（問 11-1）

④ 保護者の就労状況

- ・保護者の就労状況を見ると、母親、父親ともに「フルタイム」が最も高く、順に4割半ば、8割半ばとなっている。（問 12）
- ・パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望をみると、母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が7割弱で最も高い。（問 13）
- ・就労希望のある母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が9割強となっている。（問 14）

⑤ 宿泊を伴う一時預かり等

- ・この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無は、「なかった」が9割強となっている。（問 15）

⑥ 放課後の過ごし方

- ・小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が3割半ばで最も高い。（問 16）
- ・小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が7割強で最も高い。（問 17）

- ・日曜日・祝日の学童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が7割半ばとなっている。(問 18)
- ・長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が3割半ば、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6割弱となっている。(問 19)
- ・放課後子ども教室、学童クラブの利用状況は、「放課後子ども教室を利用している」「学童クラブを利用している」がともに2割強、「利用していない」が4割強となっている。(問 20)

⑦ 子育て全般

- ・北区での子育て意向は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が5割半ばで最も高い。(問 21)
- ・子育ての楽しさは、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が6割半ばで最も高い。(問 22)
- ・子育ての仲間は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が3割強、「話をする仲間がいる」が5割半ば、「いない」が1割半ばとなっている。(問 25)
- ・子育て関連の情報入手方法は、「近所の人、知人、友人」が7割半ばと最も高く、次いで「インターネット」が6割半ば、「北区ニュース(広報誌)」が5割強となっている。(問 27)
- ・子育てにあたっての地域の支えの必要性は、「どちらとも言えない」が3割半ばと最も高く、次いで「やや必要としている」が3割弱、「あまり必要としていない」が2割半ばとなっている。(問 28)
- ・安心して子育てをするために地域で必要な取り組みは、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」が4割半ばと最も高く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が4割強となっている。(問 29)
- ・子どもの遊ぶ環境をよくするために必要なことは、「身近に魅力ある遊び場の整備」が7割弱で最も高い。(問 30)
- ・子どもの安全を守るために重要だと思うことは、「通学路や子どもの遊び場(公園等)の安全対策(防犯灯や防犯カメラの整備による暗がりや死角の解消等)」が7割で最も高い。(問 32)
- ・新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響をみると、「そう思う」(そう思う+ややそう思う)は、『子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた』が7割強で最も高い。(問 34)
- ・子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が5割半ばで最も高い。(問 35)
- ・新型コロナウイルス感染症による生活の変化をみると、『生活に必要な支出の変化』は「増えた」が最も高い。(問 38)
- ・北区の子育て環境や支援への満足度は、「まあまあ満足している」が5割弱で最も高い。(問 40)
- ・満足度が高い理由は、「交通機関が便利」が8割弱で最も高い。(問 40-1)
- ・満足度が低い理由は、「公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が少ない」が4割強と最も高く、次いで「放課後対策が充実していない」「学校教育が充実していない」がともに3割強となっている。(問 40-2)

(3)25～39歳の区民

① 本人・家族について

- ・性別は、「男性」が4割強、「女性」が5割半ばとなっている。(問1)
- ・年齢は、「25～29歳」が5割半ば、「30～34歳」が2割半ば、「35～39歳」が2割弱となっている。(問1)
- ・最終学歴は、「大学卒業」が6割弱で最も高く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が2割弱、「高等学校卒業」が1割弱となっている。(問2)
- ・居住年数は、「20年以上」が7割弱で最も高い。(問6)
- ・北区での居住理由は、「生まれたときから北区に居住し続けている」が6割弱で最も高い。(問7)

② ライフスタイル・働き方

- ・就労状況は、「常勤（フルタイム）」が6割半ばと最も高く、次いで「パート・アルバイト」が1割半ばとなっている。(問8)
- ・現在、働いていない人の就労意向は、「現在、就職活動中である」が3割、「近いうち（卒業後）に就労したいが、探していない」「今のところ、就労するつもりはない」がともに2割強となっている。(問8-2)
- ・離職した経験の有無は、「ある」が4割半ばとなっている。(問9)
- ・離職した理由は、「仕事の内容を変えたかった（転職を含む）」「勤務時間や休日、給与など勤務条件を変えたかった」がともに3割弱、「職場の人間関係が自分に合わなかった」が2割半ばとなっている。(問9-1)
- ・あるとよい復職の支援は、「求人情報を入手しやすくすること」が5割強で最も高い。(問10)

③ 職場の状況

- ・導入されている取組は、「育児短時間勤務制度」「半日単位の年次有給休暇制度」がともに5割強で最も高い。(問12)
- ・育児休業制度の取得しやすさは、「取得しやすいと思う」が3割半ばで最も高い。(問13)
- ・育児休業制度の取得意向は、「取りたい」が6割半ばと最も高く、次いで「わからない」が2割強、「取りたいが、取れない」が1割弱となっている。(問14)
- ・子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組は、「産前産後の休暇が十分にとれる制度」が4割強と最も高く、次いで「子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度」「妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など）」がともに3割半ばとなっている。(問15)
- ・子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」「保育園や幼稚園に入りやすくする」がともに5割弱となっている。(問16)

④ 悩みごと、子育ての考え方

- ・悩みごとは、「仕事の収入など経済的なこと」が6割弱で最も高い。(問17)
- ・自分にあてはまることは、「結婚相手もしくは人生を共に歩むパートナーが見つからない」が5割弱で最も高い。(問18)

- ・子どもを持つことについては、「今は子どもがいないが、将来は子どもが欲しいと思う」が7割、「子どもは欲しくない」が2割半ばとなっている。(問19)
- ・子育てで不安に思っていることは、「経済的にやっていけるか不安」が5割半ばと最も高く、次いで「仕事をしながら子育てをすることが難しい」が5割弱、「きちんとした子どもに育てられるか自信がない」が4割半ばとなっている。(問20)

⑤ 北区の子育て環境等

- ・北区の子育てのしやすさ(イメージ)は、「わからない」が4割と最も高く、次いで「ふつう」が3割半ば、「子育てしやすい」が1割半ばとなっている。(問22)
- ・今後の定住意向は、「当面は住むつもり」が3割強と最も高く、次いで「先のことはわからない」が3割弱、「今後とも住み続けたい」が2割半ばとなっている。(問23)

(4)世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者

及び児童育成手当を受給している世帯

① 居住状況

- ・北区での居住年数をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「20年以上」が2割半ばで最も高い。児童育成手当を受給している世帯も「20年以上」が4割半ばで最も高い。(問2)
- ・北区での居住理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「職場に行きやすい(通勤に便利)」が3割強で最も高い。児童育成手当を受給している世帯は「生まれたときから北区に居住し続けている」が3割強で最も高い。(問3)

② 子どもと家族の状況

- ・調査の回答者をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「母親」が8割強、児童育成手当を受給している世帯は「母親」が9割強となっている。(問4)
- ・最終学歴をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「大学卒業」が3割半ば、児童育成手当を受給している世帯は「高専、短大、専門学校等卒業」が3割弱で最も高い。(問7)
- ・ひとり親世帯になった理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「離婚」が4割半ば、児童育成手当を受給している世帯は「離婚」が8割弱で最も高い。(問9-1)

③ 子どもの育ちをめぐる環境

- ・週当たりの朝食の頻度をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「毎日食べる」が8割強、児童育成手当を受給している世帯も同じく8割弱で最も高い。(問10)
- ・塾や習い事をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「学習塾」が3割弱、児童育成手当を受給している世帯も同じく2割強で最も高い。(問12)

- ・平日の学校終了後の帰宅までの過ごし方をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「自宅でひとりで過ごしている」が4割弱、児童育成手当を受給している世帯も同じく3割半ばで最も高い。(問13)
- ・子ども食堂などの居場所の利用意向をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「今後利用したいと思う」が2割半ば、「利用するつもりはない」が6割半ばとなっている。児童育成手当を受給している世帯は「今後利用したいと思う」が3割強、「利用するつもりはない」が6割弱となっている。(問14)
- ・無料の学習支援制度の利用意向をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに「今後利用したいと思う」が5割強となっている。(問17)

④ あなたの生活について

- ・家族が必要な食料を買えなかったことをみると、児童育成手当を受給している世帯では“あった”(よくあった+ときどきあった+まれにあった)が2割半ばとなっている。(問20)
- ・家族が必要な衣料を買えなかったことをみると、児童育成手当を受給している世帯では、“あった”(よくあった+ときどきあった+まれにあった)が3割強となっている。(問20)
- ・経済的な理由により、子どもに進学をあきらめさせたり、学校を中退させたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「これまでにはないが、今後その可能性がある」が2割強、児童育成手当を受給している世帯は4割半ばとなっている。(問22)

⑤ 子育ての環境

- ・北区の子育て環境や支援への満足度をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「まあまあ満足している」が3割半ば、児童育成手当を受給している世帯も同じく4割半ばで最も高い。(問23)
- ・満足している理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに「交通機関が便利」が7割弱で最も高い。(問23-1)
- ・満足していない理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子育てに関する情報が得にくい」が4割弱で最も高い。児童育成手当を受給している世帯は「放課後対策が充実していない」が3割強で最も高い。(問23-2)
- ・北区での子育て意向をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「当分の間は北区で子育てをしたい」が6割弱、児童育成手当を受給している世帯も同じく5割強で最も高い。(問24)

⑥ 地域の子育て支援について

- ・子育ての仲間をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が3割弱、児童育成手当を受給している世帯は2割半ばとなっている。(問25)
- ・安心して子育てをするために地域で必要な取り組みをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が4割強で最も高い。児童育成手当を受給している世帯は「地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が4割弱で最も高い。(問27)

⑦ 子育ての困りごと、相談先について

- ・ひとり親世帯の困りごと・悩みをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子どもの養育費（教育費など）」「生活費が不足した」「子どものしつけ」が2割半ばから3割弱となっている。児童育成手当を受給している世帯は「生活費が不足した」「子どもの養育費（教育費など）」がともに5割弱、「子どものしつけ」が3割弱となっている。（問29）
- ・子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに「いる／ある」が8割弱となっている。（問30）
- ・気軽に相談できる相談先・人をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに「祖父母等の親族」が7割強で最も高い。（問30-1）
- ・現在必要としていること、重要だと思う支援をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が5割弱、児童育成手当を受給している世帯も同じく6割半ばで最も高い。（問32）

⑧ 就労状況

- ・就労状況をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「している」が8割半ば、児童育成手当を受給している世帯は9割弱となっている。（問34）
- ・現在の職業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「常勤（フルタイム）」が7割弱と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が1割半ばとなっている。児童育成手当を受給している世帯は「常勤（フルタイム）」が5割半ばと最も高く、次いで「パート・アルバイト」が3割半ばとなっている。（問35）

⑨ 制度利用について

- ・学童クラブの利用状況をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「利用している」が1割強、「利用していない」が6割弱、「以前、利用していた」が3割弱となっている。児童育成手当を受給している世帯は「利用している」が1割強、「利用していない」が5割強「以前、利用していた」が3割半ばとなっている。（問37）
- ・就労や仕事のために希望する区からの支援をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる」が4割半ばで最も高い。児童育成手当を受給している世帯は「相談が一か所でする」「長期（2年以上）に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をする」がともに4割強で高い。（問39）

⑩ 子育て全般

- ・子育ての楽しさをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が6割強で最も高い。（問40）
- ・子育てに関して悩んでいること・気になることをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子どもの教育・塾、進路」が4割弱で最も高い。児童育成手当を受給している世帯は「子育て・教育費の経済的負担」が5割半ばで最も高い。（問41）

- ・子育て関連の情報入手方法をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「インターネット」が5割半ば、児童育成手当を受給している世帯も5割強で最も高い。(問44)

⑪ 子育てしやすいまちづくりや支援のあり方

- ・子どもを健やかに産み育てるために必要なことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が4割半ば、児童育成手当を受給している世帯も5割弱で最も高い。(問47)
- ・子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「就業時間をある程度自由に融通できる制度(フレックスタイム制度)」が3割強で最も高い。児童育成手当を受給している世帯は「子どもが病気やケガのときなどに休暇がとれる制度(子の看護休暇制度)」が3割半ばで最も高い。(問48)

(5) 小学6年生・中学2年生・高校2年生世代

① 本人・家族について

- ・健康状態をみると、「よい」は、小学6年生が6割半ば、中学2年生は5割強、高校2年生世代は6割半ばとなっている。(問4)

② 勉強や部活動について

- ・欠席についてをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「ほとんど欠席しない」が最も高く、8割台となっている。(問5)
- ・遅刻や早退についてをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「ほとんどしない」が最も高く、8割弱から8割半ばとなっている。(問5)
- ・学校の授業以外の勉強をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「自分で勉強する」が最も高く、7割台となっている。(問6)
- ・学校の授業がわからないことの有無をみると、小学6年生は「だいたいわかる」が4割弱で最も高い。中学2年生は「教科によってはわからないことがある」が4割強で最も高い。(問8)
- ・進路希望をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「大学」が最も高く、5割半ばから7割強となっている。(問10)

③ 放課後の過ごし方

- ・放課後に誰と過ごすことが多いかをみると、小学6年生、中学2年生はともに「家族(祖父母、親戚など含む)」が6割半ば、高校2年生世代は「学校の友人」が6割半ばで最も高い。(問12)

④ 普段の生活について

- ・悩み・困りごとをみると、小学6年生は「特にない」が4割半ばで最も高い。中学2年生は「進路のこと」「学業成績のこと」がともに5割弱で高い。高校2年生世代は「進路のこと」が5割半ばで最も高い。(問18)

- ・困りごとや悩みを相談できる人をみると、小学6年生、高校2年生世代はともに「親」が7割で最も高い。中学2年生は「学校の友人」「親」がともに6割弱で高い。(問19)
- ・生活の満足度をみると、小学6年生は「10(十分満足している)」が3割弱で最も高い。(平均7.6) 中学2年生は「8」が2割弱で最も高い。(平均6.8) 高校2年生世代は「8」が2割強で最も高い。(平均7.1) (問20)

⑤ お世話の状況

- ・家族の中にあなたがお世話をしている人はいるかをみると、「いる」は、小学6年生が6.4%、中学2年生が5.7%、高校2年生世代が2.7%となっている。(問22)
- ・お世話をしている人をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「きょうだい」が最も高く、4割半ばから5割半ばとなっている。(問22-1)
- ・お世話の内容をみると、小学6年生、中学2年生ともに「見守り」が最も高く、5割前後となっている。(問23)
- ・お世話を始めた年齢をみると、小学6年生は「10歳」が3割強で最も高い。中学2年生は「13歳」が2割半ばで最も高い。(問25)
- ・お世話の頻度をみると、小学6年生は「ほぼ毎日」が4割強、中学2年生も3割強で最も高い。(問26)
- ・平日のお世話時間をみると、小学6年生は「1時間」が4割強、中学2年生も3割強で最も高い。(問27)
- ・お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことをみると、小学6年生は「自分の時間が取れない」が2割弱となっている。(問28)
- ・お世話をしている家族のことや悩みを聞いてくれる人の有無をみると、「いない」は、小学6年生が4割弱、中学2年生が4割強となっている。(問30-2)
- ・相談していない理由をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「誰かに相談するほどの悩みではない」が6割半ばから7割半ばで最も高い。(問30-3)
- ・学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援をみると、小学6年生は、「自由に使える時間が欲しい」が2割となっている。(問31)

⑥ ヤングケアラーについて

- ・「ヤングケアラー」の認知度をみると、小学6年生は「聞いたことがあり、内容も知っている」が3割強、「聞いたことはあるが、よく知らない」が2割弱、「聞いたことはない」が5割弱となっている。中学2年生は「聞いたことがあり、内容も知っている」が3割強、「聞いたことはあるが、よく知らない」が2割弱、「聞いたことはない」が4割半ばとなっている。高校2年生世代は「聞いたことがあり、内容も知っている」が4割強、「聞いたことはあるが、よく知らない」が2割弱、「聞いたことはない」が3割半ばとなっている。(問32)
- ・「ヤングケアラー」という言葉の情報入手先をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「テレビや新聞、ラジオ」が最も高く、6割半ばから7割半ばとなっている。(問32-1)

(6)妊産婦

① 居住、家族の状況

- ・回答者の年齢は、「30歳～34歳」が4割強と最も高く、次いで「35歳～39歳」が3割強、「25歳～29歳」が1割半ばとなっている。(問2)
- ・家族形態は、「自分たち夫婦と子ども(2世代)」が9割半ばとなっている。(問3)
- ・北区での居住年数は、「1年以上3年未満」が2割半ばと最も高く、次いで「5年以上10年未満」「3年以上5年未満」がともに2割強となっている。(問4)
- ・北区での居住理由は、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が5割半ばで最も高い。(問5)

② 出産や子育てについて

- ・理想の子どもの数は、「2人」が6割弱で最も高い。(問7)
- ・妊娠や出産の困りごとは、「出産費用の負担が大きいこと」が6割弱で最も高い。(問8(1))
- ・出産や育児の不安感・負担感は、「育児に関して何となく不安を感じる(感じた)」が5割強で最も高い。(問8(2))
- ・出産・育児に関して不安に感じていることは、「お子さんの病気や発育・発達に関すること」が5割半ばで最も高い。(問9)
- ・出産・育児に関する情報の入手先は、「インターネット」が6割半ばで最も高い。(問11)

③ 就労状況

- ・就労状況は、「フルタイムで就労している(産休・育休中である)」が5割強と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が2割弱、「フルタイムで就労している(産休・育休中でない)」が1割半ばとなっている。(問12)
- ・パートナーの就労状況は、「フルタイムで就労している(育休中でない)」が9割強となっている。(問13)

④ 職場の状況

- ・現在就労している人を見ると、勤務時間の短縮やフレックス勤務の利用の有無は、「はい」が5割弱となっている。(問14)
- ・職場の育児休業制度の取得しやすさは、「取得しやすいと思う」が6割強で最も高い。(問15)
- ・育児休業制度の取得意向は、「取っている・取りたい」が8割弱となっている。(問16)
- ・子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組は、「子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度」が3割半ばで最も高い。(問17)
- ・今回の妊娠を機に仕事をやめたか、または出産後に退職を考えているかは、「今回の妊娠・出産を機に仕事をやめてはいない・退職を考えてはいない」が7割強で最も高い。(問19)
- ・出産後も仕事を続ける理由、続けたい理由は、「生計を維持するため」6割弱で最も高い。(問19-3)

⑤ 保育園・幼稚園等について

- ・出産した子どもの保育園・幼稚園等への通園希望は、「通わせたい」が97.6%となっている。(問21)

- ・通わせたい年齢は、「1歳～1歳11か月」が5割半ばで最も高い。(問21-1)
- ・通わせたい施設は、「認可保育園」が8割弱と最も高く、次いで「幼稚園」が3割強、「認定こども園」が2割半ばとなっている。(問21-1)
- ・通わせたい理由は、「子どもの教育や発達のため」が7割半ばで最も高い。(問21-1)
- ・区の事業の認知度をみると、「知っていて、利用したことがある」は『はびママ(たまご・ひよこ)面接』が9割弱で最も高い。一方、「知らなかった」は『地域育て合い事業』が6割強で最も高い。(問22)
- ・区の事業の利用意向をみると、すべての事業において「今後、利用したい」が「今後、利用したくない」を上回っている。(問22)

⑥ 出産・子育てに関して北区に期待すること

- ・北区での子育て意向は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が6割半ばで最も高い。(問23)
- ・子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「保育園や幼稚園に入りやすくする」が5割強で最も高い。(問24)

(7) 児童養護施設等利用者

① 本人について

- ・性別は、「男性」が4割強、「女性」が5割強となっている。(問1)
- ・年齢は、「～12歳」が1割未満、「13～15歳」が6割、「16～18歳」が2割半ばとなっている。(問2)
- ・通っている学校は、「中学校」が5割半ば、「高等学校」が3割半ば、「学校に行っていない」はいなかった。(問3)
- ・健康状態は、「ふつう」が4割半ばで最も高い。(問4)
- ・普段の生活で楽しさを感じる時は、「インターネットをしているとき」が7割半ばと最も高く、次いで「趣味や好きなことに打ち込んでいるとき」が7割となっている。(問5)
- ・悩んでいることや心配なこと、困っていることは、「進学のこと」が6割半ばで最も高い。(問6)

② 学校生活等について

- ・学校の授業がどのくらいよくわかるかは、「半分くらいわかる」が3割半ばと最も高く、次いで「大体わかる」が2割半ばとなっている。(問9)
- ・勉強が好きかどうかは、「まったく好きではない」が4割半ばで最も高い。(問10)

③ あなたの考えや将来について

- ・将来の夢は、「ある」が6割半ばとなっている。(問12)
- ・進路希望は、「大学」が3割強と最も高い。(問13)
- ・夢や希望をかなえるために必要な手助け・支援は、「大学等進学のための給付型奨学金」が5割半ばで最も高い。(問14)
- ・施設を退所した後の生活で心配なことは、「金銭管理」が6割半ばで最も高い。(問15)

2. 就学前の子どもの保護者

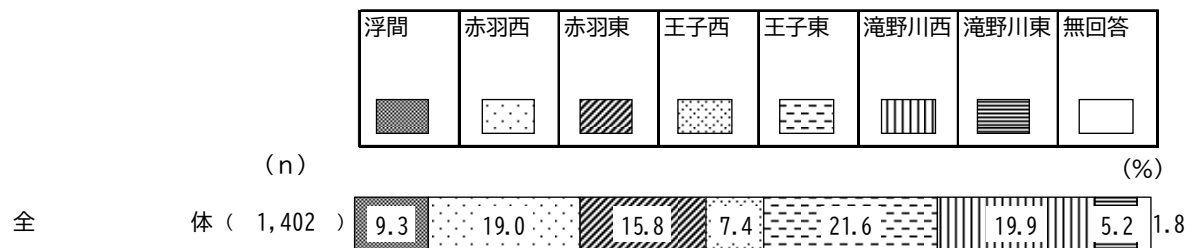
(1) 居住状況

① 居住地区

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

居住地区は、「王子東」が21.6%と最も高く、次いで「滝野川西」が19.9%、「赤羽西」が19.0%となっている。

図表 2-1 居住地区

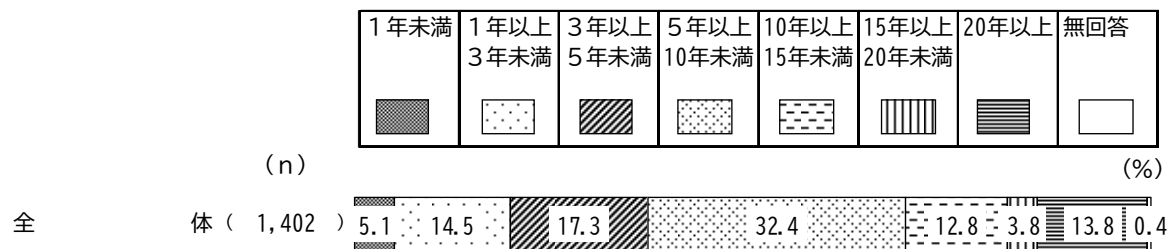


② 居住年数

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

居住年数は、「5年以上10年未満」が32.4%と最も高く、次いで「3年以上5年未満」が17.3%、「1年以上3年未満」が14.5%となっている。

図表 2-2 居住年数

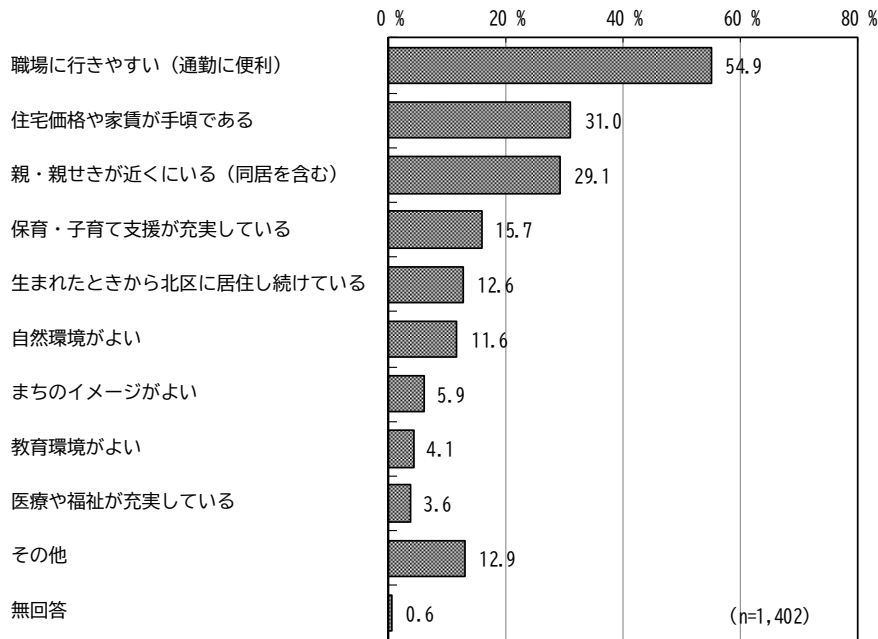


③ 北区に住んでいる理由

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

居住理由は、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が54.9%と最も高く、次いで「住宅価格や家賃が手頃である」が31.0%、「親・親せきが近くにいる(同居を含む)」が29.1%と続いている。

図表 2-3 居住理由(複数回答)



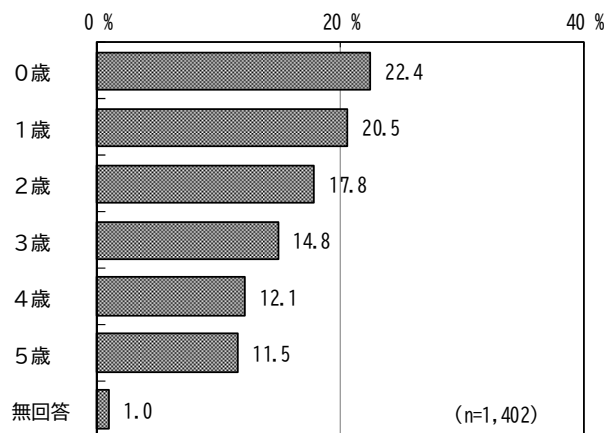
(2)宛名の子どもと家族の状況

① 宛名の子どもの年齢

問4 宛名のお子さんの生年月を()内に数字でご記入ください。

子どもの年齢は、「0歳」が22.4%と最も高く、次いで「1歳」が20.5%、「2歳」が17.8%となっている。

図表 2-4 子どもの年齢



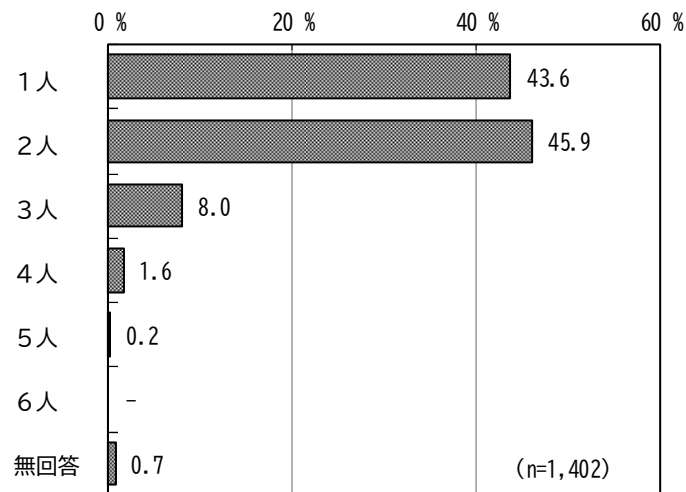
② きょうだいの人数と年齢

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。また、生年月月をご記入ください。

■きょうだいの人数

きょうだい数は、「2人」が45.9%と最も高く、次いで「1人」が43.6%、「3人」が8.0%となっている。

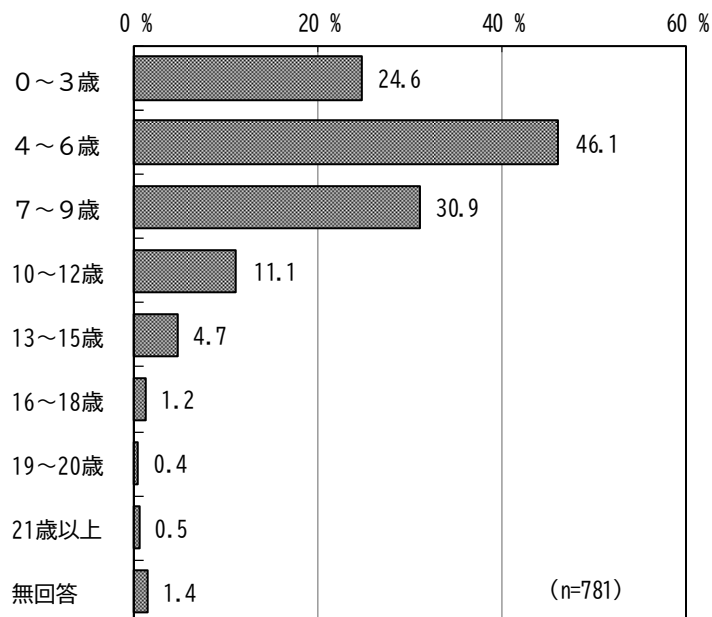
図表 2-5 きょうだい数



■きょうだいの年齢

きょうだいの年齢は、「4～6歳」が46.1%と最も高く、次いで「7～9歳」が30.9%、「0～3歳」が24.6%と続いている。

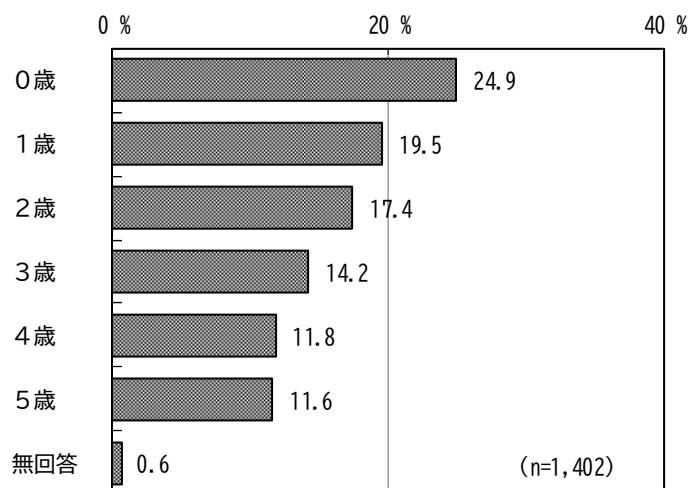
図表 2-6 きょうだいの年齢（複数回答）



■末子の年齢

末子の年齢は、「0歳」が24.9%と最も高く、次いで「1歳」が19.5%、「2歳」が17.4%となっている。

図表 2-7 末子の年齢

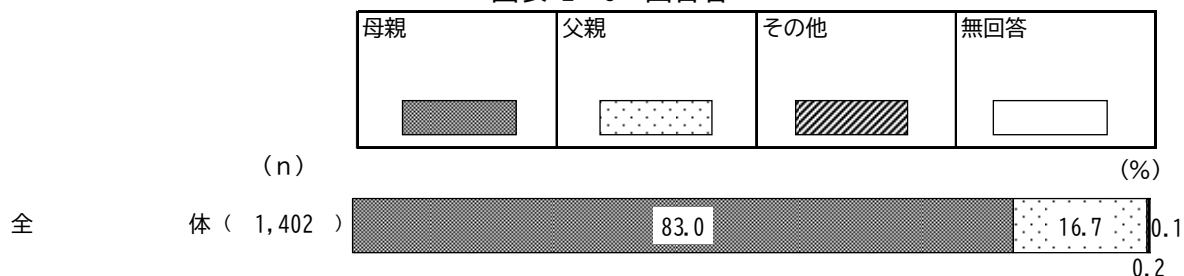


③ 回答者

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

回答者は、「母親」が83.0%、「父親」が16.7%となっている。

図表 2-8 回答者



④ 回答者の配偶者の有無

問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が98.9%、「配偶者がいない」が0.9%となっている。

図表 2-9 回答者の配偶者の有無

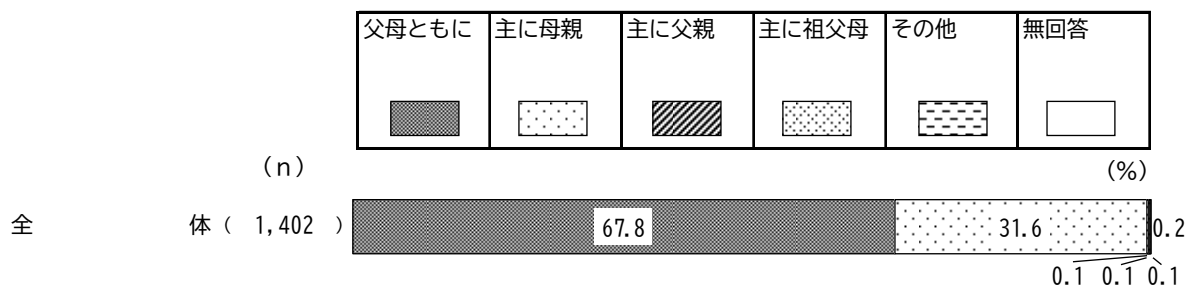


⑤ 宛名の子どもの子育てを主に行っている人

問8 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（1つに○）

子どもの子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が67.8%、「主に母親」が31.6%、「主に父親」「主に祖父母」がともに0.1%となっている。

図表 2-10 子どもの子育てを主に行っている人



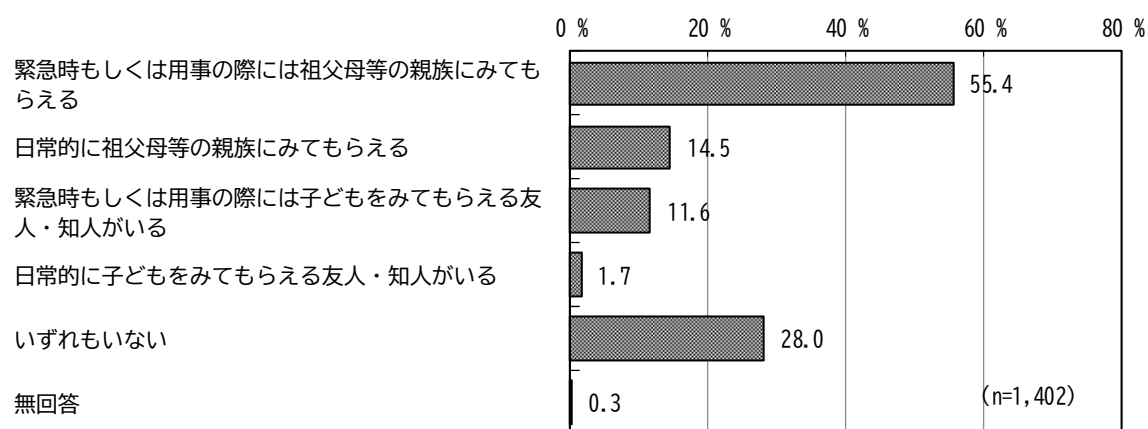
(3)子どもを育ちをめぐる環境

① 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.4%と最も高く、次いで「いずれもない」が28.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が14.5%と続いている。

図表 2-11 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

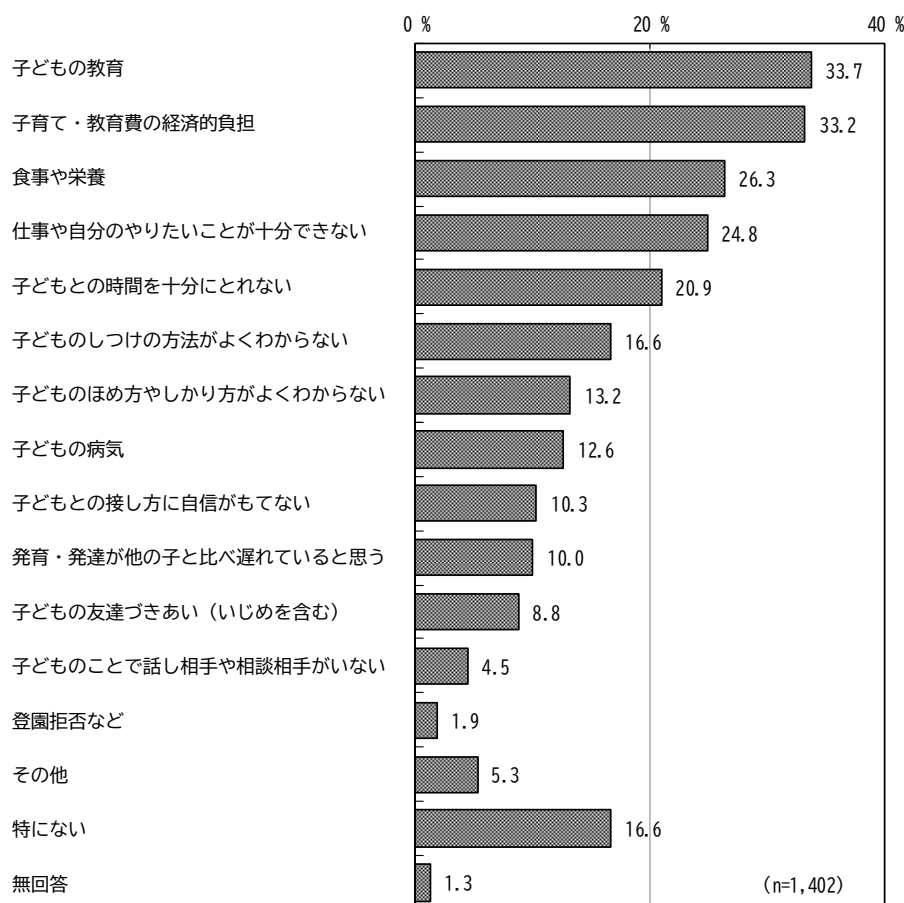


② 子育てに関して悩んでいること・気になること

問 10 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して悩んでいること・気になることは、「子どもの教育」が33.7%と最も高く、次いで「子育て・教育費の経済的負担」が33.2%、「食事や栄養」が26.3%と続いている。

図表 2-12 子育てに関して悩んでいること・気になること（複数回答）

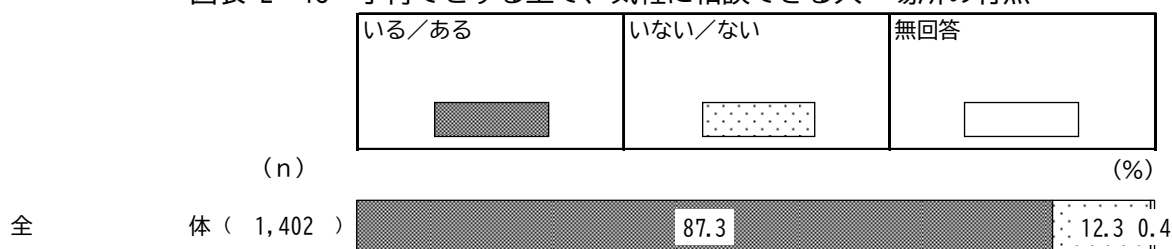


③ 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

問 11 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つに○）

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が87.3%、「いない／ない」が12.3%となっている。

図表 2-13 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無



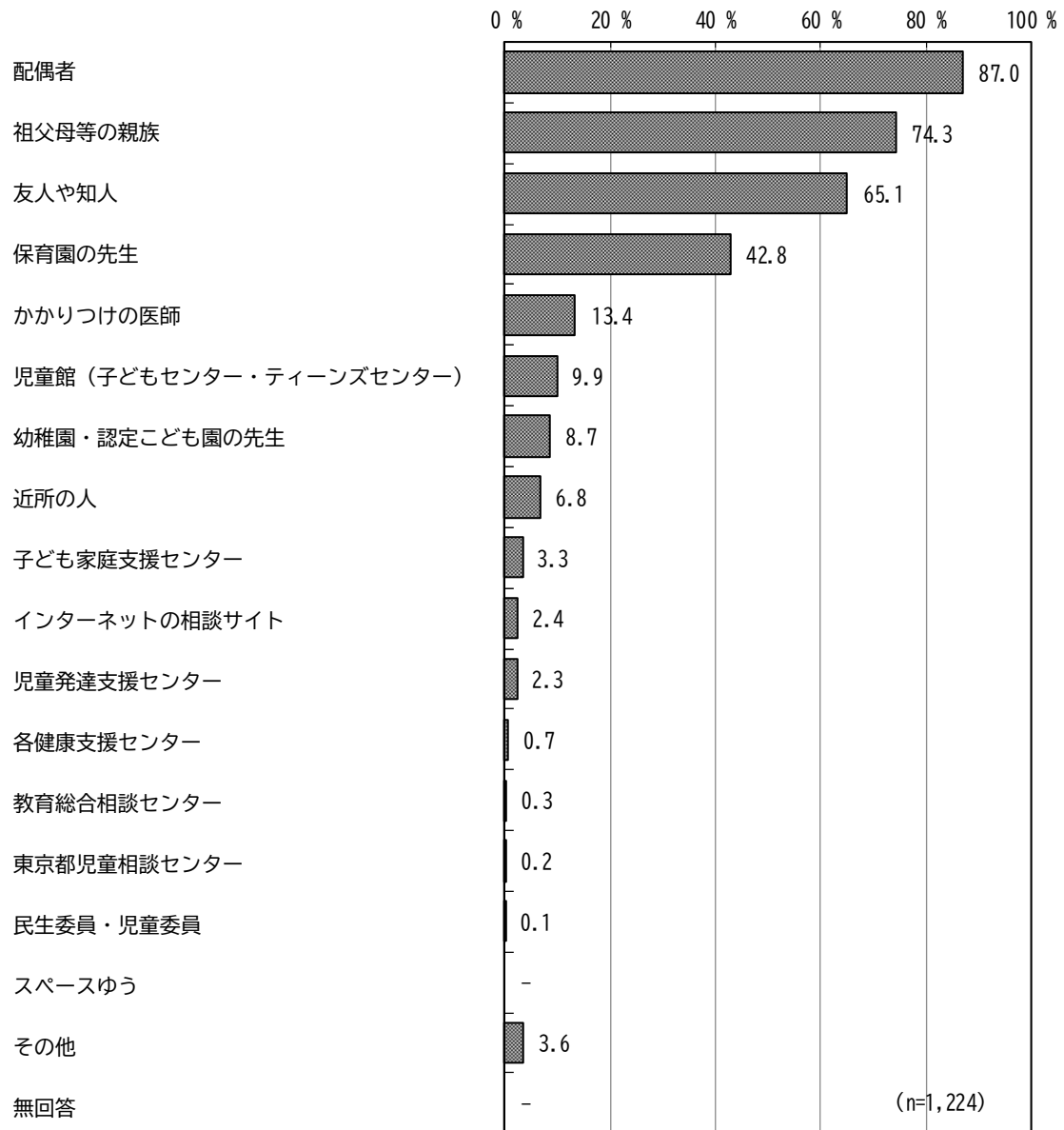
④ 気軽に相談できる相談先・人

【問 11-1 は、問 11 で「1. いる／ある」と回答した方にかがいます】

問 11-1 お子さんの子育て（家庭での教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽に相談できる相談先・人は、「配偶者」が 87.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 74.3%、「友人や知人」が 65.1%と続いている。

図表 2-14 気軽に相談できる相談先・人（複数回答）



(4)保護者の就労状況

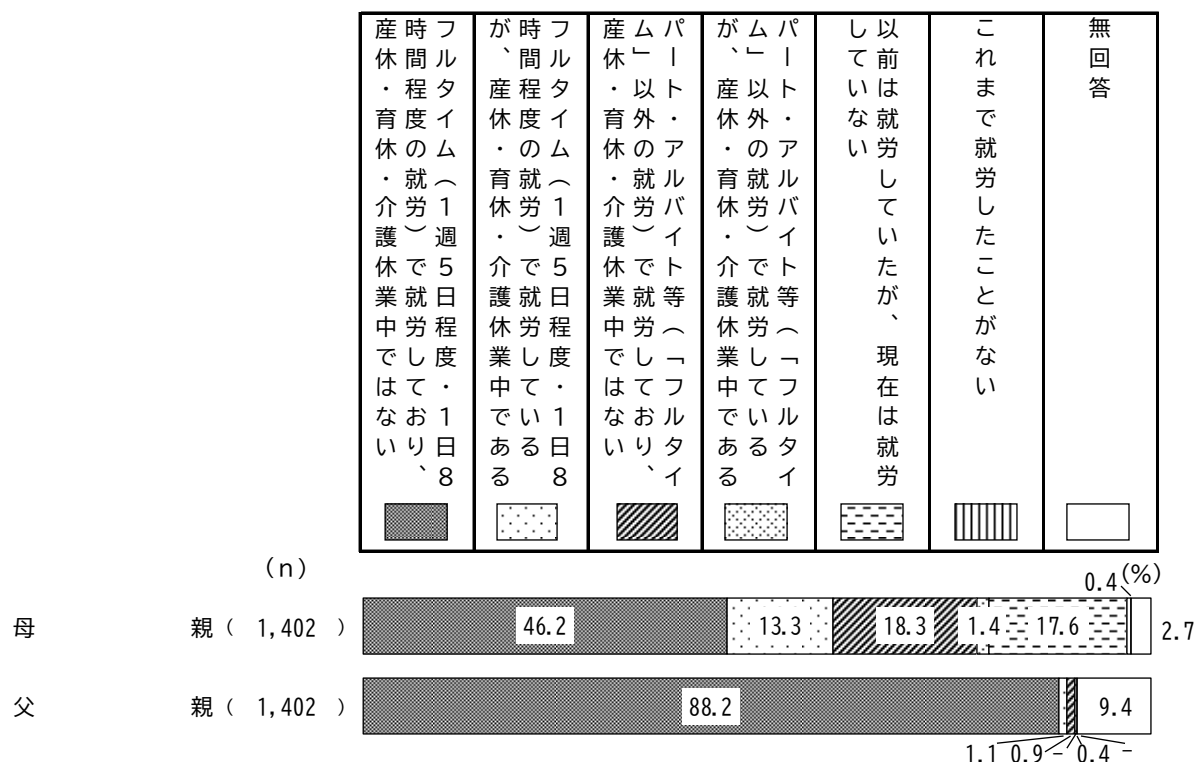
① 就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

保護者の就労状況をみると、母親は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.6%となっている。

父親は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない」が88.2%と最も高くなっている。

図表 2-15 保護者の就労状況



② 就労日数・就労時間

【①は、問12で「1」から「4」(就労している)と回答した方にうかがいます】

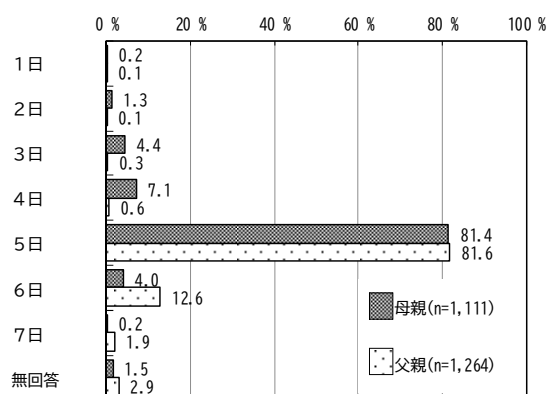
① 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
() 内に数字でご記入ください。

■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数をみると、母親は、「5日」が81.4%と最も高く、次いで「4日」が7.1%、「3日」が4.4%となっている。

父親は、「5日」が81.6%と最も高く、次いで「6日」が12.6%、「7日」が1.9%となっている。

図表 2-16 1週当たりの就労日数

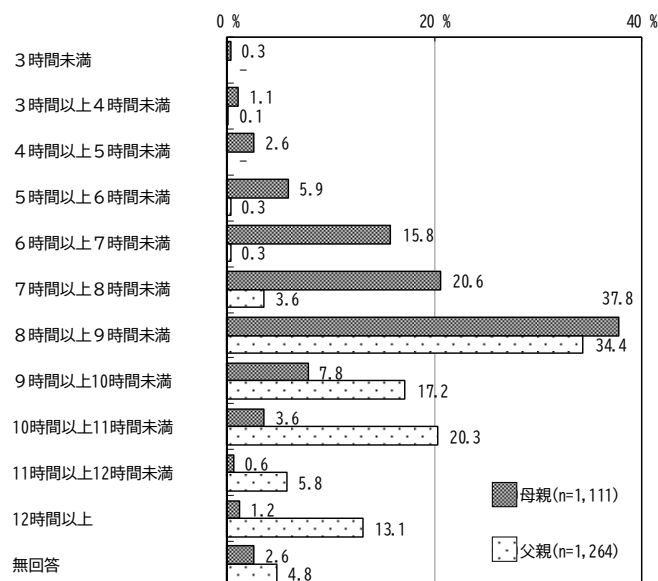


■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間をみると、母親は「8時間以上9時間未満」が37.8%と最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」が20.6%、「6時間以上7時間未満」が15.8%となっている。

父親は、「8時間以上9時間未満」が34.4%と最も高く、次いで「10時間以上11時間未満」が20.3%、「9時間以上10時間未満」が17.2%となっている。

図表 2-17 1日当たりの就労時間



③ 家を出る時間・帰宅時間

【②は、問12で「1」から「4」(就労している)と回答した方にうかがいます】

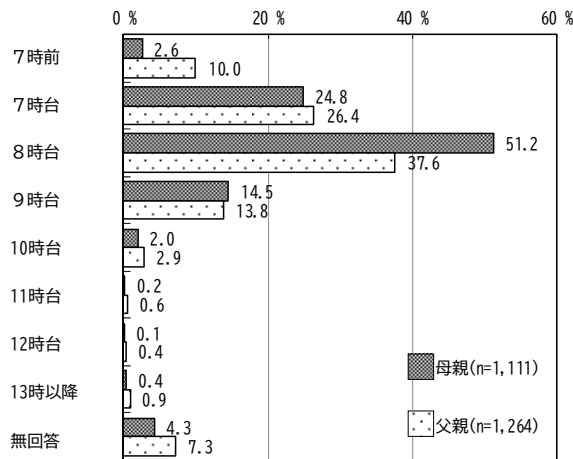
② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

■家を出る時間

家を出る時間をみると、母親は、「8時台」が51.2%と最も高く、次いで「7時台」が24.8%、「9時台」が14.5%となっている。

父親は、「8時台」が37.6%と最も高く、次いで「7時台」が26.4%、「9時台」が13.8%となっている。

図表 2-18 家を出る時間

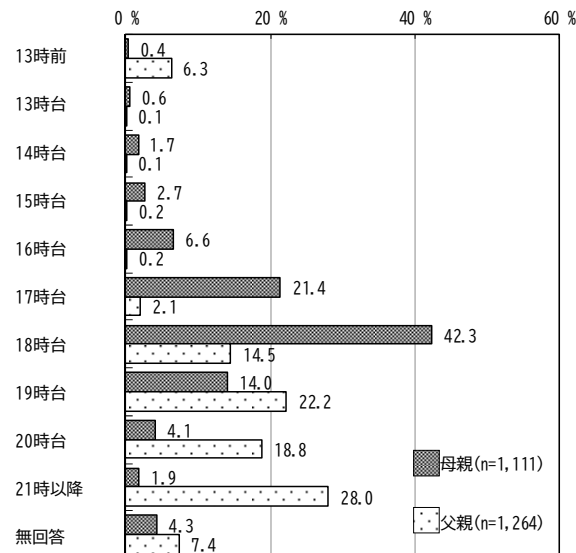


■帰宅時間

帰宅時間をみると、母親は、「18時台」が42.3%と最も高く、次いで「17時台」が21.4%、「19時台」が14.0%となっている。

父親は、「21時以降」が28.0%と最も高く、次いで「19時台」が22.2%、「20時台」が18.8%となっている。

図表 2-19 帰宅時間



④ パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望

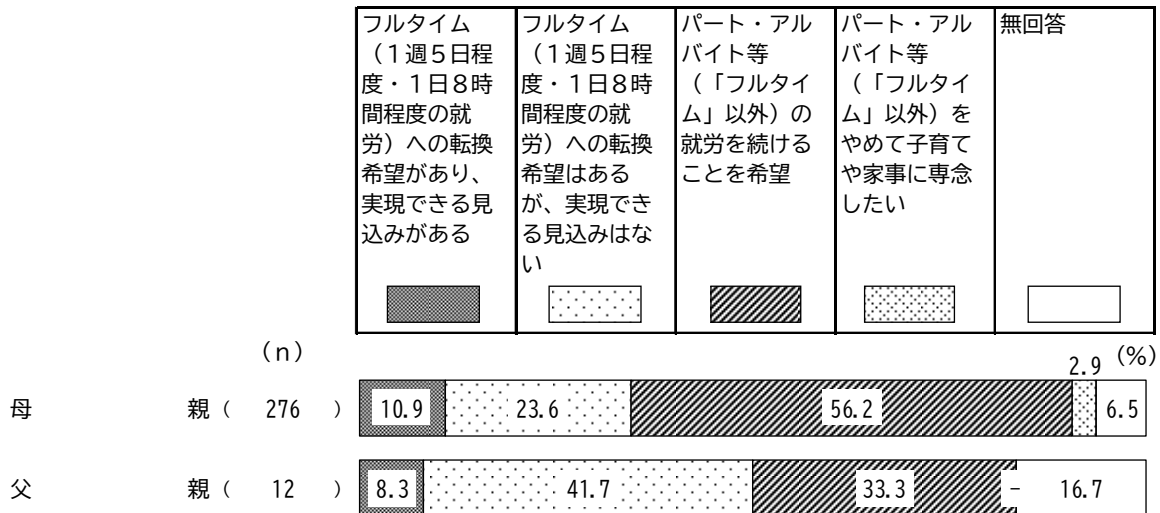
【問 13 は、問 12 で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方にかがいます】

問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望をみると、母親は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が56.2%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.6%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.9%となっている。

父親は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が41.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が33.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.3%となっている。

図表 2-20 パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望



⑤ 就労希望(母親)

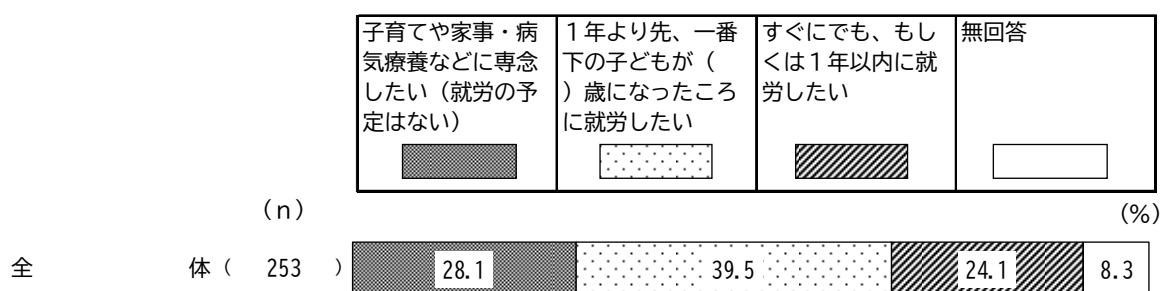
【問 14 は、問 12 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 15 へお進みください】

問 14 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

■母親:就労希望

母親:就労希望は、「子育てや家事・病気療養などに専念したい(就労の予定はない)」が 28.1%、「1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい」が 39.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 24.1%となっている。

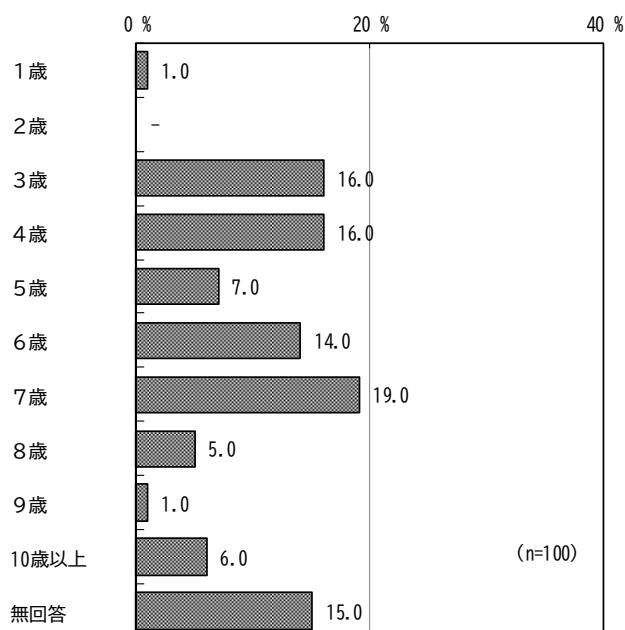
図表 2-21 母親:就労希望



■母親:就労時の子どもの年齢

母親:就労時の子どもの年齢は、「7歳」が 19.0%と最も高く、次いで「3歳」「4歳」がともに 16.0%、「6歳」が 14.0%となっている。

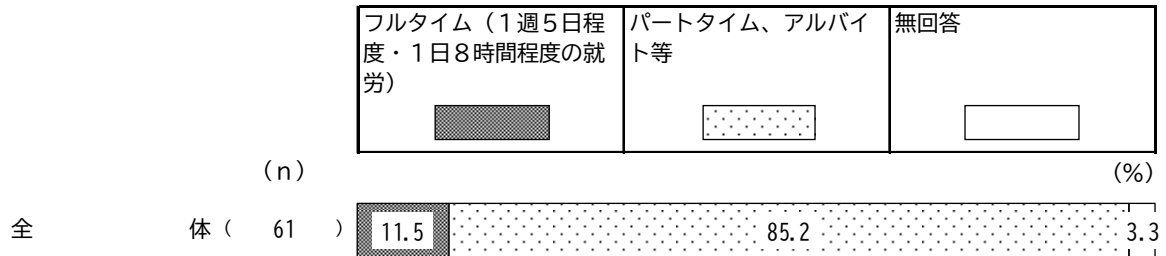
図表 2-22 母親:就労時の子どもの年齢



■母親：希望する就労形態

母親：希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が11.5%、「パートタイム、アルバイト等」が85.2%となっている。

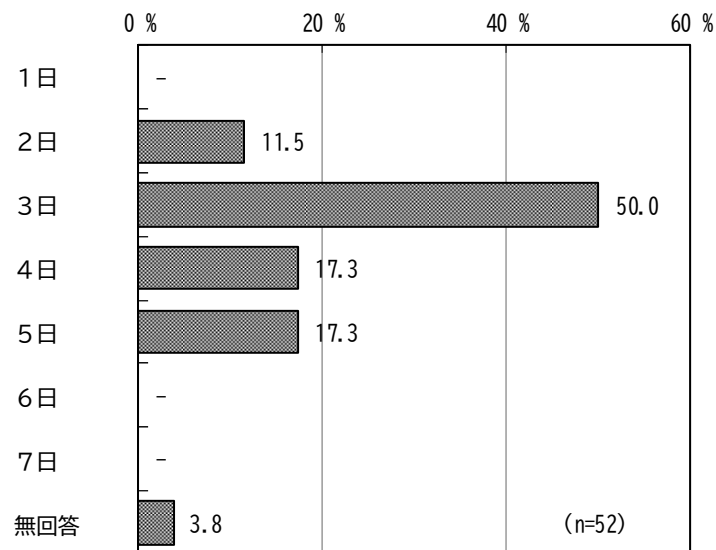
図表 2-23 母親：希望する就労形態



■母親：パート・アルバイトの希望する就労日数

母親：パート・アルバイトの希望する就労日数は、「3日」が50.0%と最も高く、次いで「4日」「5日」がともに17.3%、「2日」が11.5%となっている。

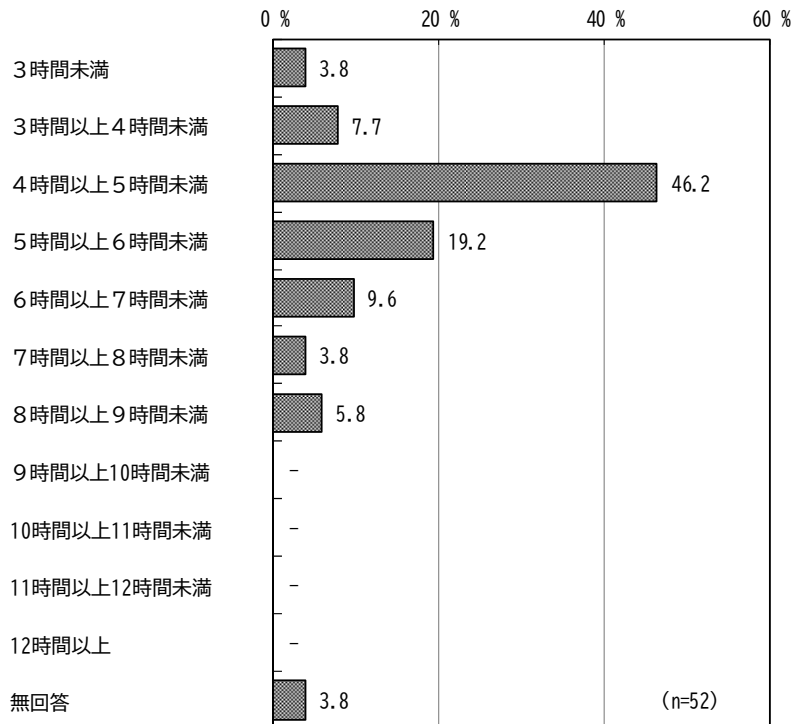
図表 2-24 母親：パート・アルバイトの希望する就労日数



■母親：パート・アルバイトの希望する就労時間

母親：パート・アルバイトの希望する就労時間は、「4時間以上5時間未満」が46.2%と最も高く、次いで「5時間以上6時間未満」が19.2%、「6時間以上7時間未満」が9.6%となっている。

図表 2-25 母親：パート・アルバイトの希望する就労時間



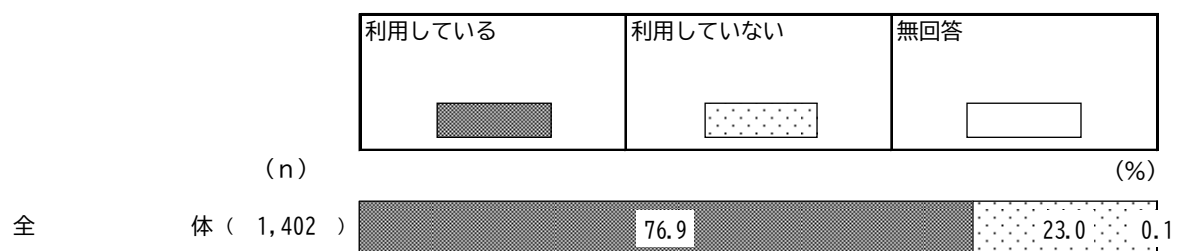
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用

① 定期的な教育・保育事業の利用有無

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

定期的な教育・保育事業の利用有無は、「利用している」が76.9%、「利用していない」が23.0%となっている。

図表 2-26 定期的な教育・保育事業の利用有無



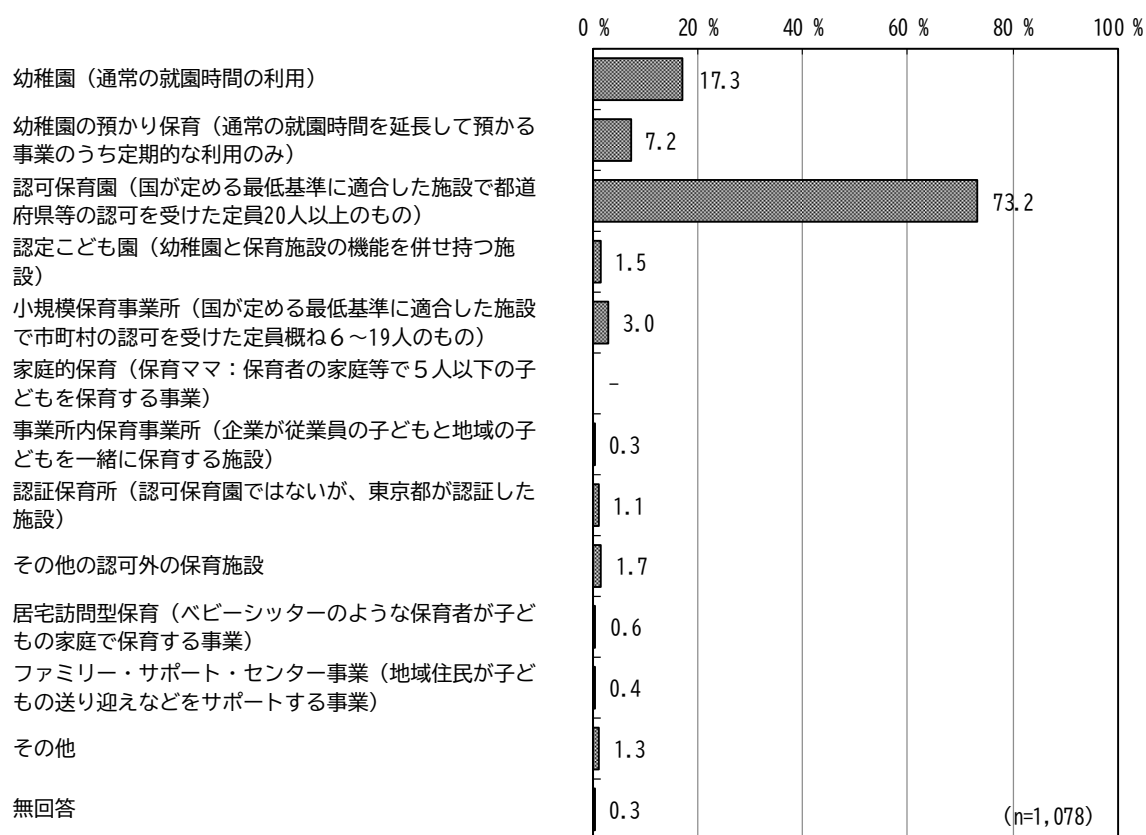
② 定期的に利用している教育・保育事業

【問 15-1 は、問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます】

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の施設や事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 73.2%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 17.3%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 7.2%と続いている。

図表 2-27 定期的に利用している教育・保育事業（複数回答）



③ 定期的に利用している教育・保育事業の利用状況

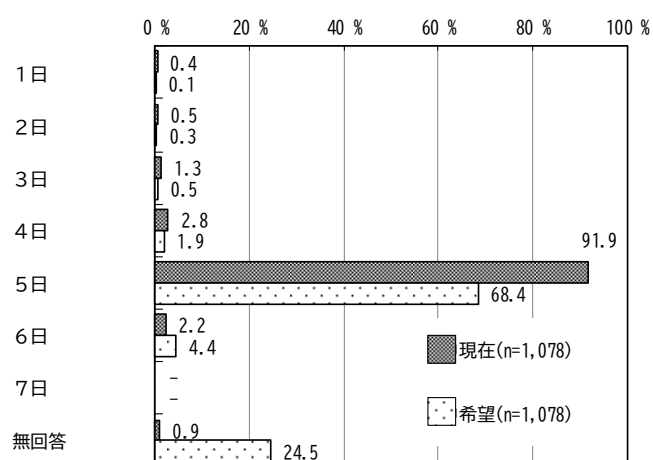
【問 15-2 は、問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます】
 問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。
 時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

■1週当たりの利用日数

1 週当たりの利用日数をみると、現在は、「5 日」が 91.9% と最も高く、次いで「4 日」が 2.8%、「6 日」が 2.2% となっている。

希望は、「5 日」が 68.4% と最も高く、次いで「6 日」が 4.4%、「4 日」が 1.9% となっている。

図表 2-28 1 週当たりの利用日数

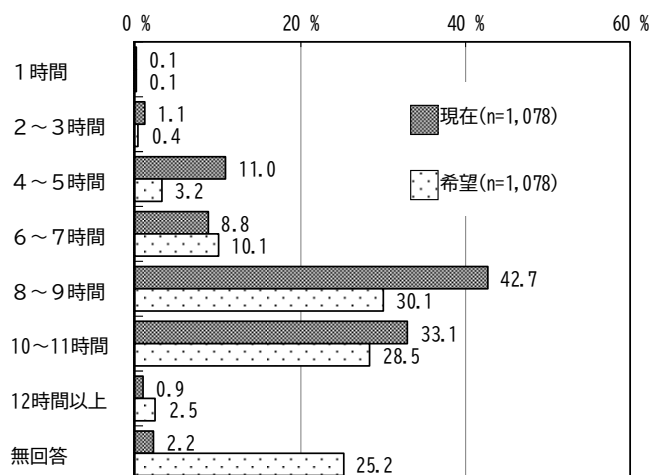


■1日当たりの利用時間

1 日当たりの利用時間をみると、現在は、「8～9 時間」が 42.7% と最も高く、次いで「10～11 時間」が 33.1%、「4～5 時間」が 11.0% となっている。

希望は、「8～9 時間」が 30.1% と最も高く、次いで「10～11 時間」が 28.5%、「6～7 時間」が 10.1% となっている。

図表 2-29 1 日当たりの利用時間

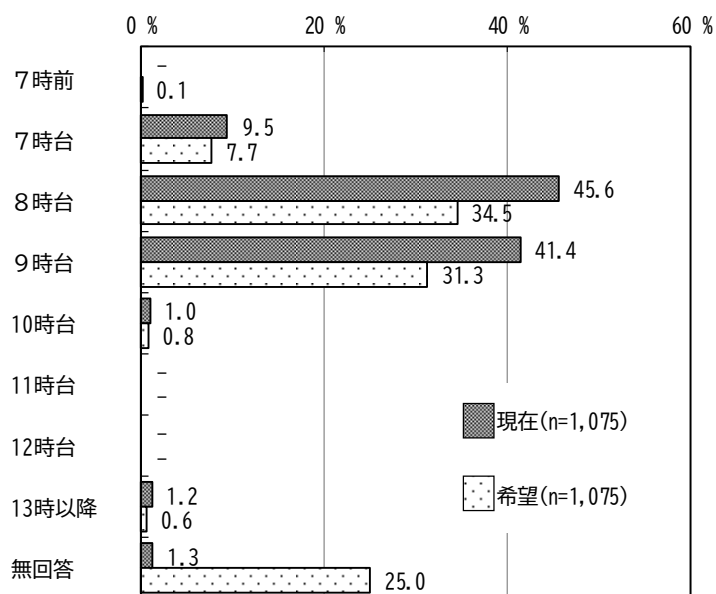


■開始時刻

開始時刻をみると、現在は、「8時台」が45.6%と最も高く、次いで「9時台」が41.4%、「7時台」が9.5%となっている。

希望は、「8時台」が34.5%と最も高く、次いで「9時台」が31.3%、「7時台」が7.7%となっている。

図表 2-30 開始時刻

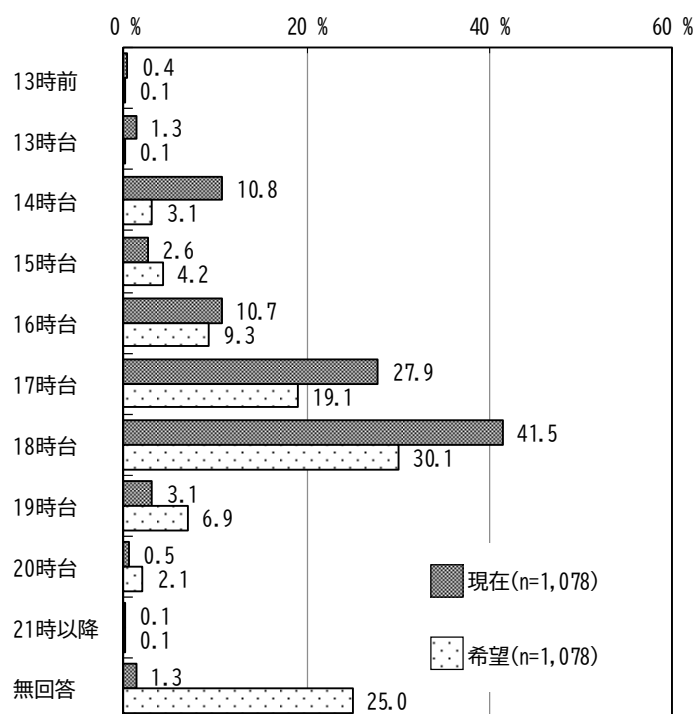


■終了時刻

終了時刻をみると、現在は、「18時台」が41.5%と最も高く、次いで「17時台」が27.9%、「14時台」が10.8%となっている。

希望は、「18時台」が30.1%と最も高く、次いで「17時台」が19.1%、「16時台」が9.3%となっている。

図表 2-31 終了時刻

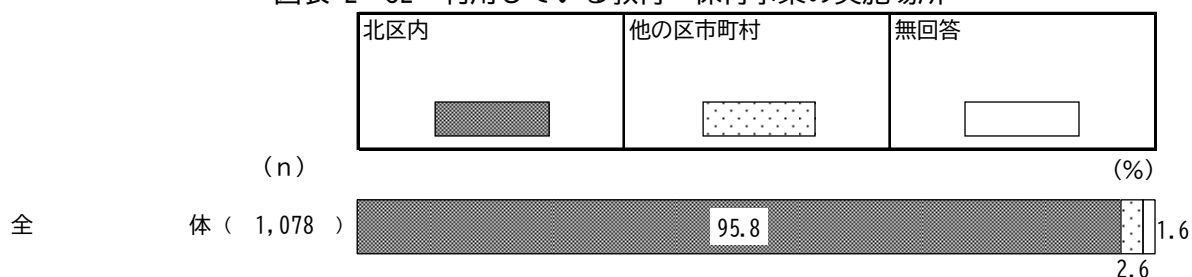


④ 利用している教育・保育事業の実施場所

【問 15-3 は、問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます】
 問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
 (1つに○)

利用している教育・保育事業の実施場所は、「北区内」が 95.8%、「他の区市町村」が 2.6%となっている。

図表 2-32 利用している教育・保育事業の実施場所

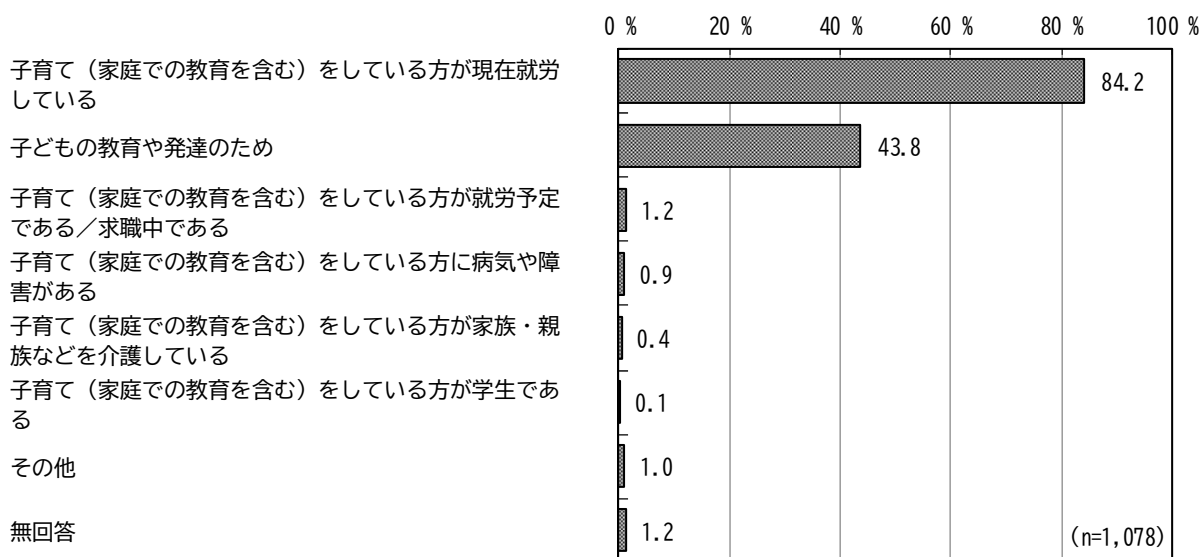


⑤ 定期的な教育・保育事業を利用している理由

【問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます】
 問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は次のどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（家庭での教育を含む）をしている方が現在就労している」が 84.2%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 43.8%、「子育て（家庭での教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である」が 1.2%と続いている。

図表 2-33 定期的な教育・保育事業を利用している理由（複数回答）

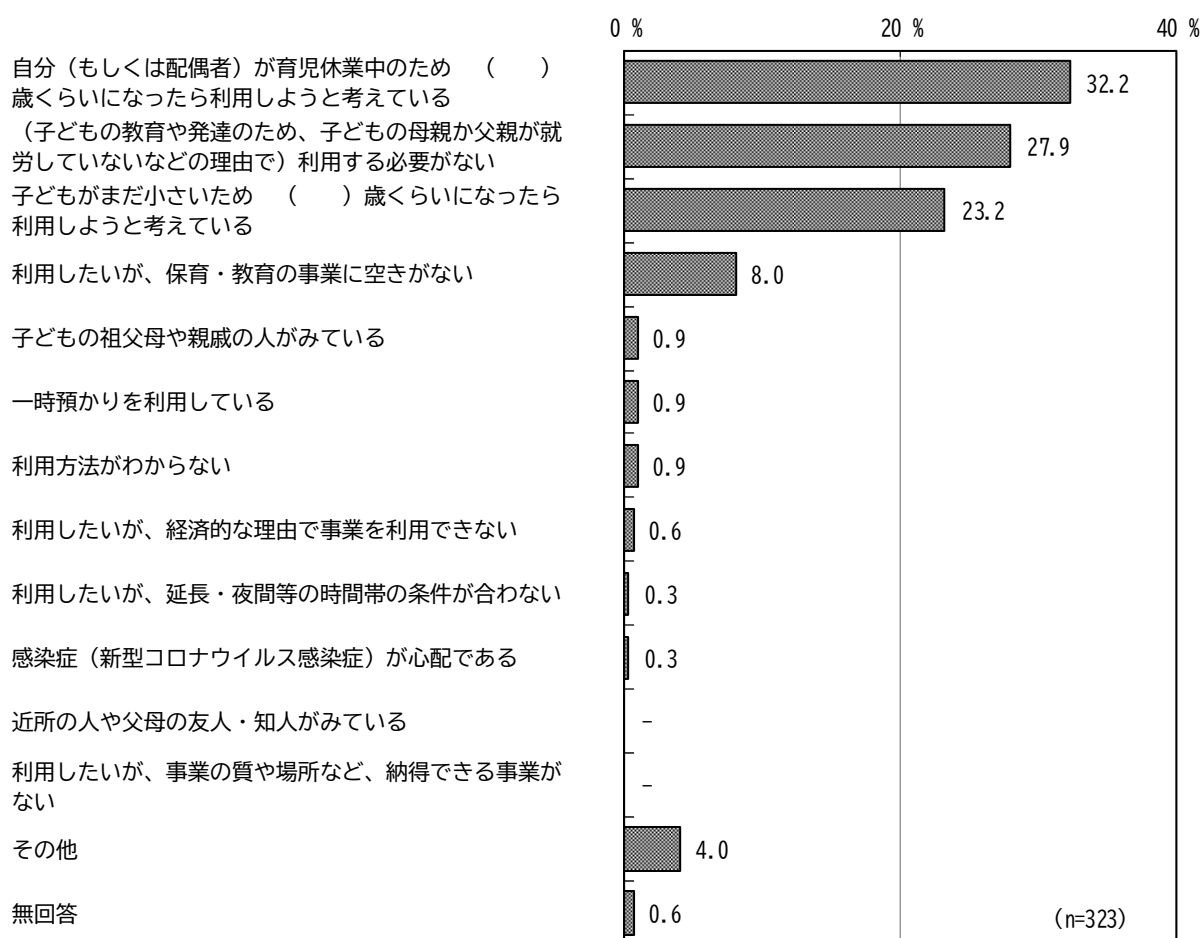


⑥ 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

【問 15-5 は、問 15 で「2. 利用していない」と回答した方にかがいます】
 問 15-5 利用していない理由をお答えください。あてはまる番号 1 つに○をつけ、該当する
 () 内には数字をご記入ください。

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「自分（もしくは配偶者）が育児休業中のため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」が 32.2%と最も高く、次いで「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 27.9%、「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」が 23.2%となっている。

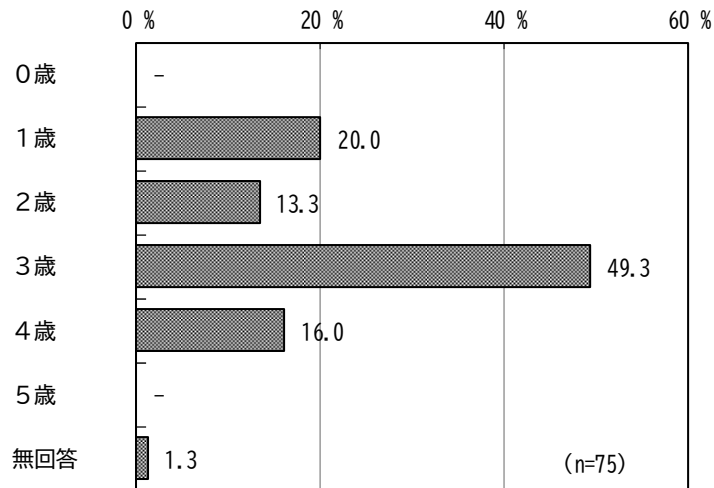
図表 2-34 定期的な教育・保育事業を利用していない理由



■利用したい子どもの年齢(子どもが小さいため利用していない方)

利用したい子どもの年齢(子どもが小さいため利用していない方)は、「3歳」が49.3%と最も高く、次いで「1歳」が20.0%、「4歳」が16.0%となっている。

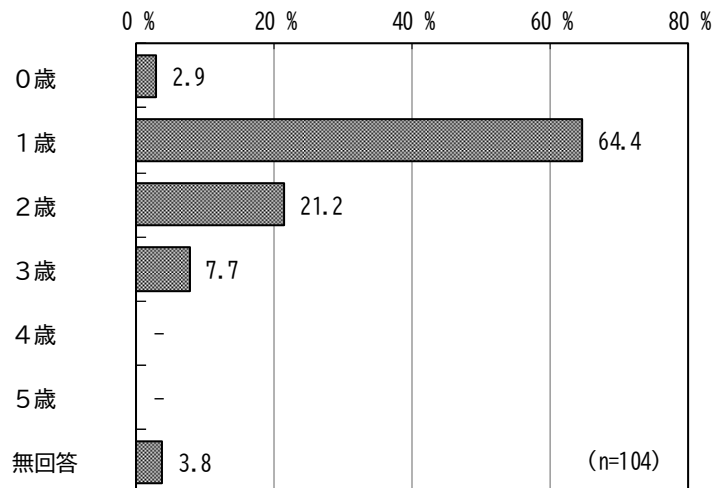
図表 2-35 利用したい子どもの年齢(子どもが小さいため利用していない方)



■利用したい子どもの年齢(育児休業中のため利用していない方)

利用したい子どもの年齢(育児休業中のため利用していない方)は、「1歳」が64.4%と最も高く、次いで「2歳」が21.2%、「3歳」が7.7%となっている。

図表 2-36 利用したい子どもの年齢(育児休業中のため利用していない方)

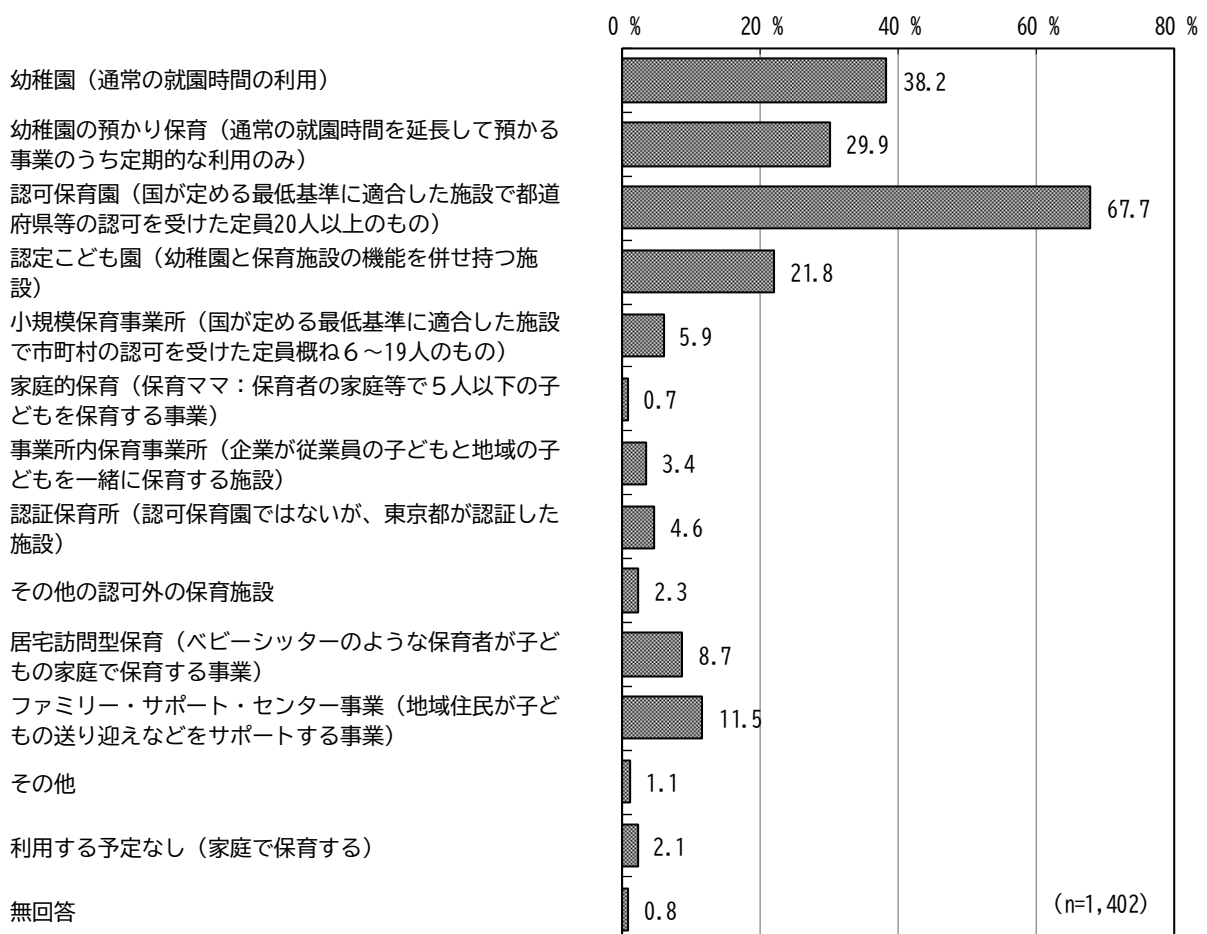


⑦ 定期的に利用したい教育・保育事業

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

定期的に利用したい教育・保育事業は、「認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 67.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 38.2%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 29.9%と続いている。

図表 2-37 定期的に利用したい教育・保育事業（複数回答）



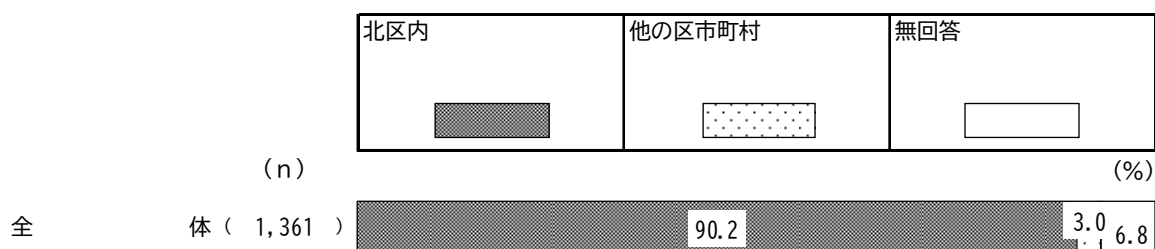
⑧ 利用したい場所

【問 16-1 は、問 16 で利用したい教育・保育事業がある人にかがいます。「13. 利用する予定なし（家庭で保育する）」だけに回答した方は、問 17 へお進みください】

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。（1つに○）

利用したい場所は、「北区内」が 90.2%、「他の区市町村」が 3.0%となっている。

図表 2-38 利用したい場所



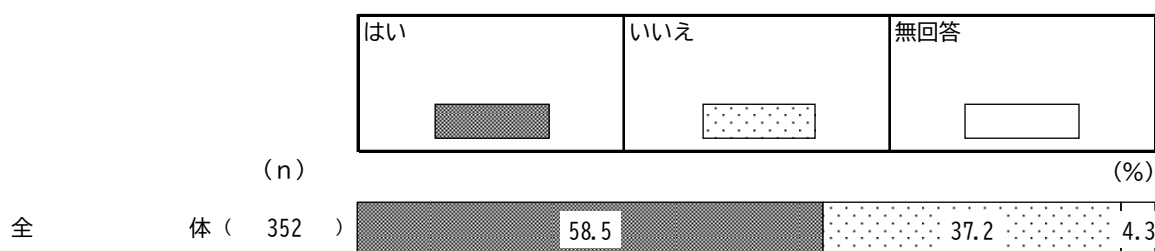
⑨ 幼稚園の強い利用希望

【問 16-2 は、問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」に回答し、かつ「3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」から「12. その他」のいずれかに回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 17 へお進みください】

問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

幼稚園の強い利用希望は、「はい」が 58.5%、「いいえ」が 37.2%となっている。

図表 2-39 幼稚園の強い利用希望



(6) 地域の子育て支援事業の利用状況

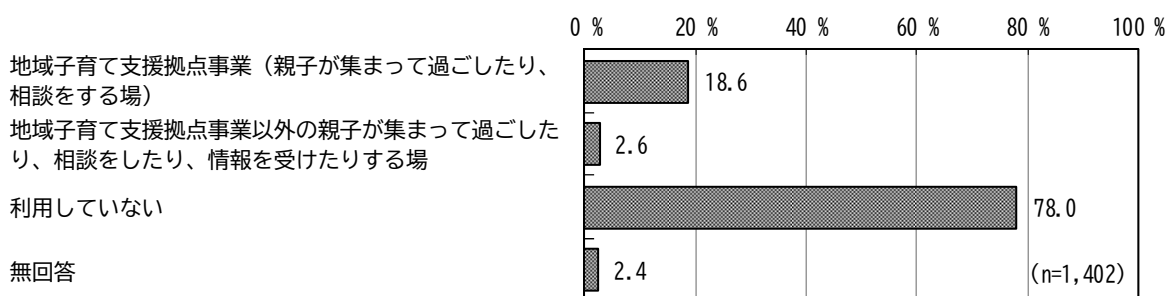
① 地域子育て支援拠点事業の利用有無と利用回数

問 17 宛名のお子さんは、現在、子ども家庭支援センターや児童館・子どもセンターで実施している乳幼児クラブ等地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

■ 地域子育て支援拠点事業の利用有無

地域子育て支援拠点事業の利用有無は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が18.6%、「地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場」が2.6%、「利用していない」が78.0%となっている。

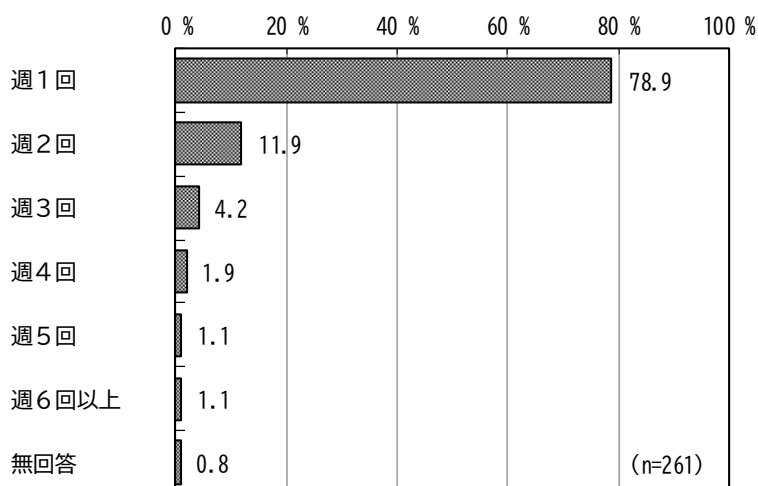
図表 2-40 地域子育て支援拠点事業の利用有無（複数回答）



■ 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）：1週当たりの利用回数

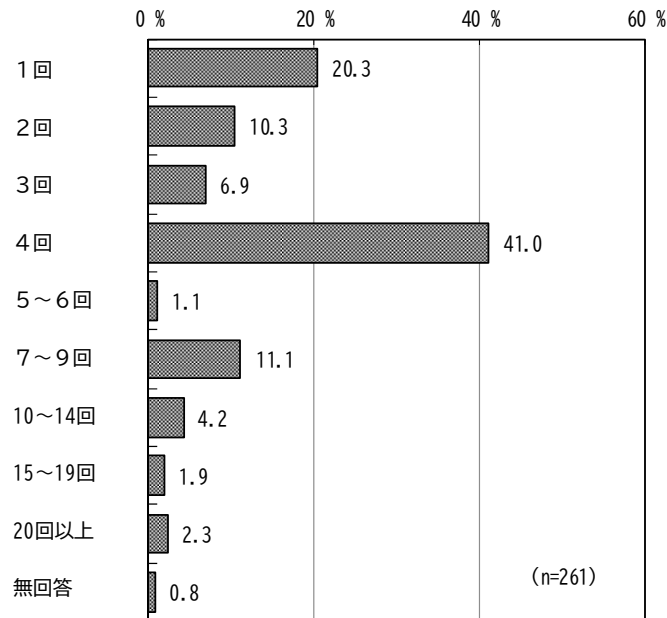
地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）：1週当たりの利用回数は、「週1回」が78.9%と最も高く、次いで「週2回」が11.9%、「週3回」が4.2%となっている。

図表 2-41 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）：1週当たりの利用回数



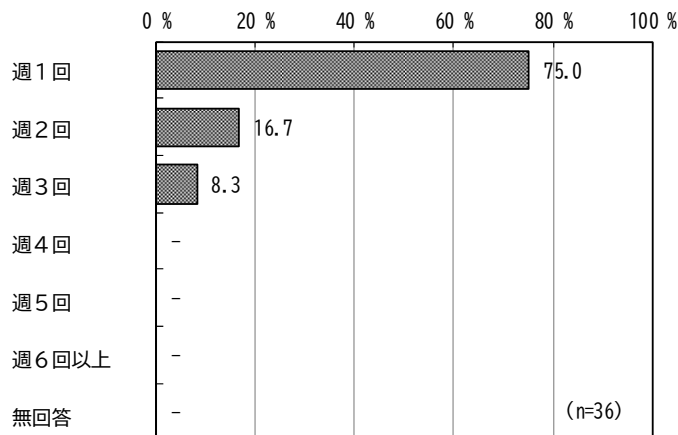
■地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場):1か月当たりの利用回数
 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場):1か月当たりの利用回数は、「4回」が41.0%と最も高く、次いで「1回」が20.3%、「7～9回」が11.1%となっている。

図表 2-42 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場):1か月当たりの利用回数



■地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場:1週当たりの利用回数
 地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場:1週当たりの利用回数は、「週1回」が75.0%と最も高く、次いで「週2回」が16.7%、「週3回」が8.3%となっている。

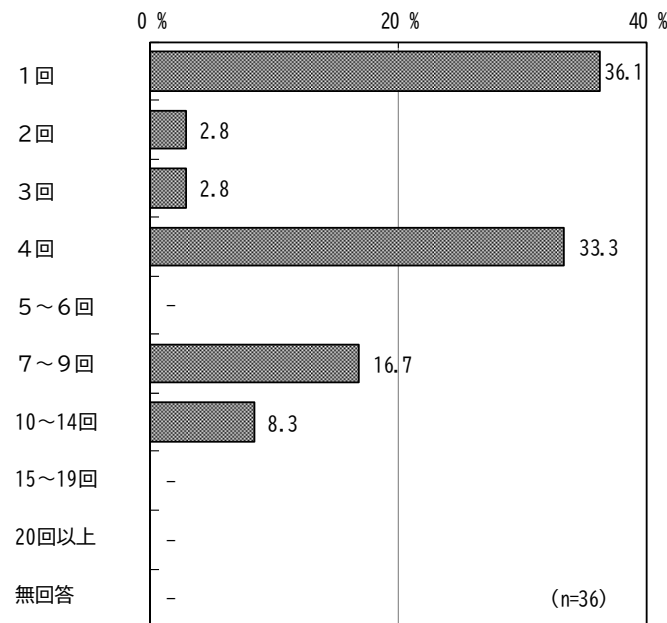
図表 2-43 地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場:1週当たりの利用回数



■地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場：1か月当たりの利用回数

地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場：1か月当たりの利用回数は、「1回」が36.1%と最も高く、次いで「4回」が33.3%、「7～9回」が16.7%となっている。

図表 2-44 地域子育て支援拠点事業以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場：1か月当たりの利用回数



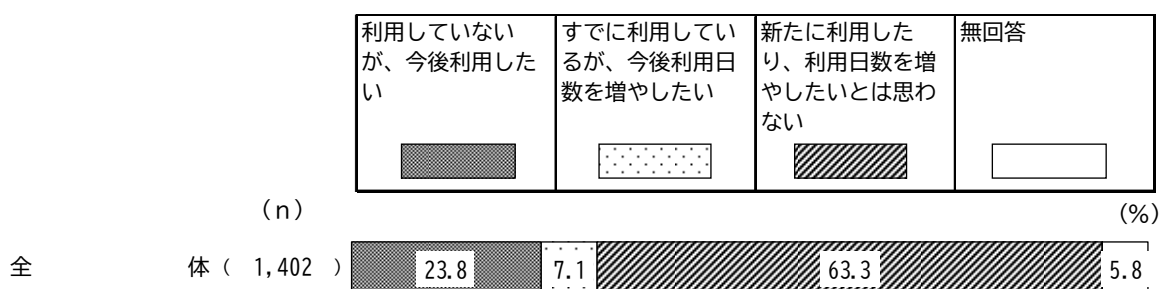
② 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向と利用回数

問 18 問 17 のような乳幼児クラブ等地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、およその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

■地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が23.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が7.1%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が63.3%となっている。

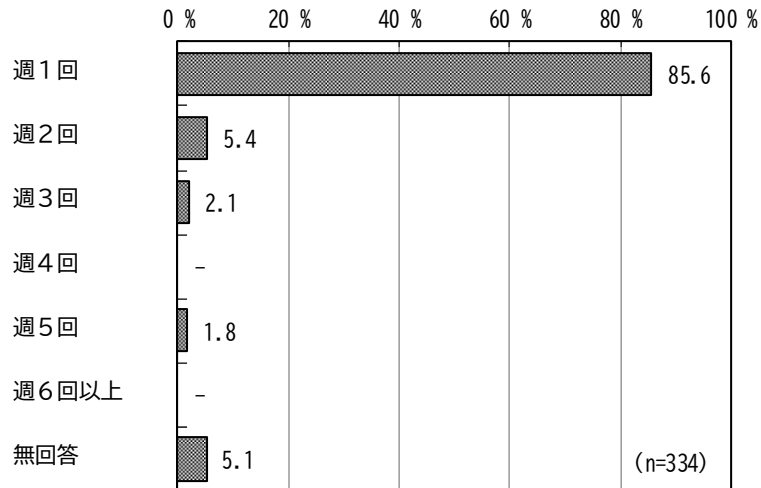
図表 2-45 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



■利用していないが、今後利用したい：1週当たりの利用回数

利用していないが、今後利用したい：1週当たりの利用回数は、「週1回」が85.6%と最も高く、次いで「週2回」が5.4%、「週3回」が2.1%となっている。

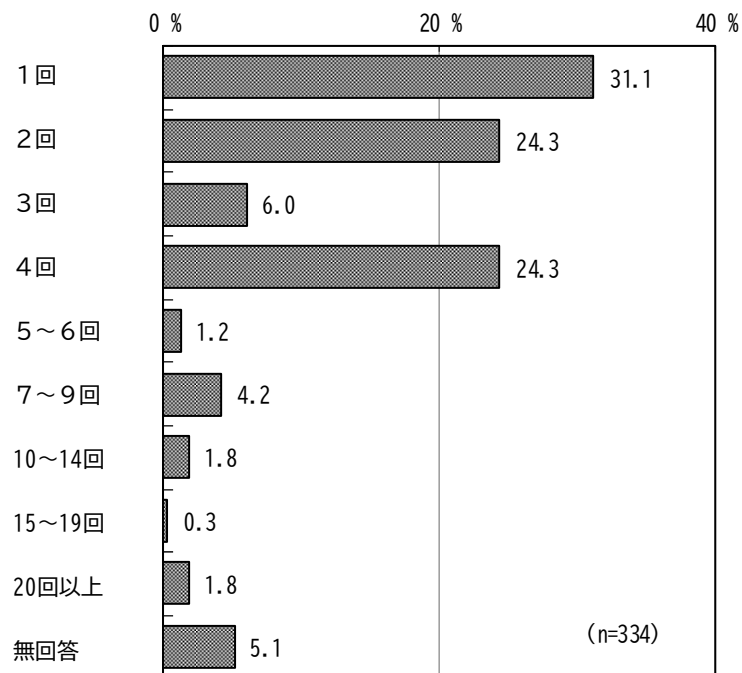
図表 2-46 利用していないが、今後利用したい：1週当たりの利用回数



■利用していないが、今後利用したい：1か月当たりの利用回数

利用していないが、今後利用したい：1か月当たりの利用回数は、「1回」が31.1%と最も高く、次いで「2回」「4回」がともに24.3%、「3回」が6.0%となっている。

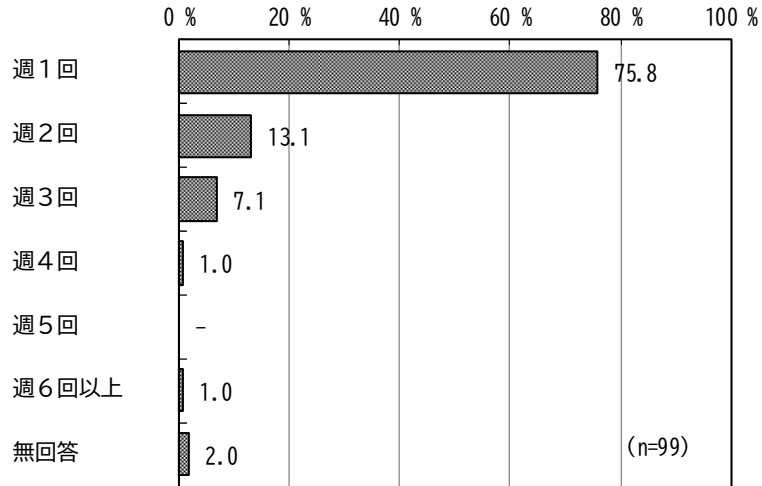
図表 2-47 利用していないが、今後利用したい：1か月当たりの利用回数



■すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい：1週当たりの利用回数

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい：1週当たりの利用回数は、「週1回」が75.8%と最も高く、次いで「週2回」が13.1%、「週3回」が7.1%となっている。

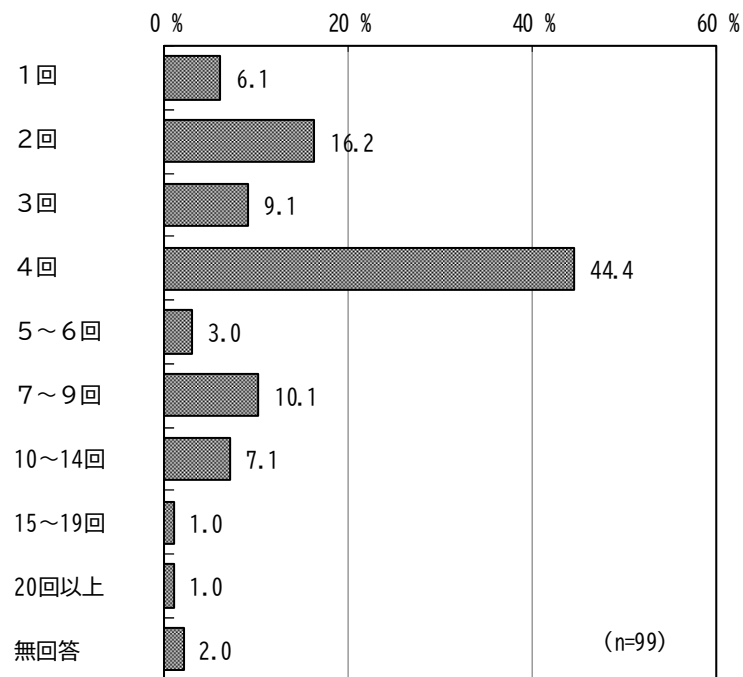
図表 2-48 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい：1週当たりの利用回数



■すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい：1か月当たりの利用回数

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい：1か月当たりの利用回数は、「4回」が44.4%と最も高く、次いで「2回」が16.2%、「7～9回」が10.1%となっている。

図表 2-49 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい：1か月当たりの利用回数



③ 区の事業の認知度・利用意向・利用満足度

問 19 下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。また、利用したことがある事業については、満足度を教えてください。(①～⑳の事業ごとに、認知度、利用意向、利用満足度のそれぞれについて、該当する番号に○)

- ①はぴママ学級、はぴママ(たまご・ひよこ)面接、パパになるための半日コース
- ②産前産後セルフケア講座、産後ケア事業、産後ショートステイ事業
- ③安心ママパパヘルパー
- ④親育ちサポート事業(NPプログラム)
- ⑤赤ちゃん訪問・子育て相談
- ⑥各健康支援センターの情報・相談サービス
- ⑦子ども家庭支援センターの子育て支援(子どもと家庭の総合相談、遊びのひろば)
- ⑧教育総合相談センターの教育相談
- ⑨幼稚園の子育て支援(地域教育事業・未就園児対象の事業・園庭開放等)
- ⑩保育園の子育て支援(ふれあい給食・育児相談・プール遊び・園庭開放・行事参加など)
- ⑪児童館・子どもセンターの子育て支援(乳幼児クラブ等)
- ⑫ベビーシッター利用支援事業
- ⑬地域育て合い事業(児童館・子どもセンターと保育園が連携して地域で行う子育て支援事業)
- ⑭北区子育てガイドブック・北区子育てマップ・子どもたちの育つ姿・きたくのようにえん(区が発行している子育て情報冊子)
- ⑮赤ちゃん休けい室(赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置)
- ⑯児童発達支援センター
- ⑰北区子育てにっこりパスポート
- ⑱子育て応援ガイド「きたハピモバイル」～予防接種スケジュールナビ～
- ⑲みんなでお祝い輝きバースデー
- ⑳子育て支援情報配信メール

■区の事業の認知度

「知っている、利用したことがある」は、『赤ちゃん休けい室(赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置)』が69.8%と最も高く、次いで『赤ちゃん訪問・子育て相談』が60.3%となっている。一方、「知らなかった」は、『子育て支援情報配信メール』が67.5%と最も高く、次いで『教育総合相談センターの教育相談』が66.0%となっている。

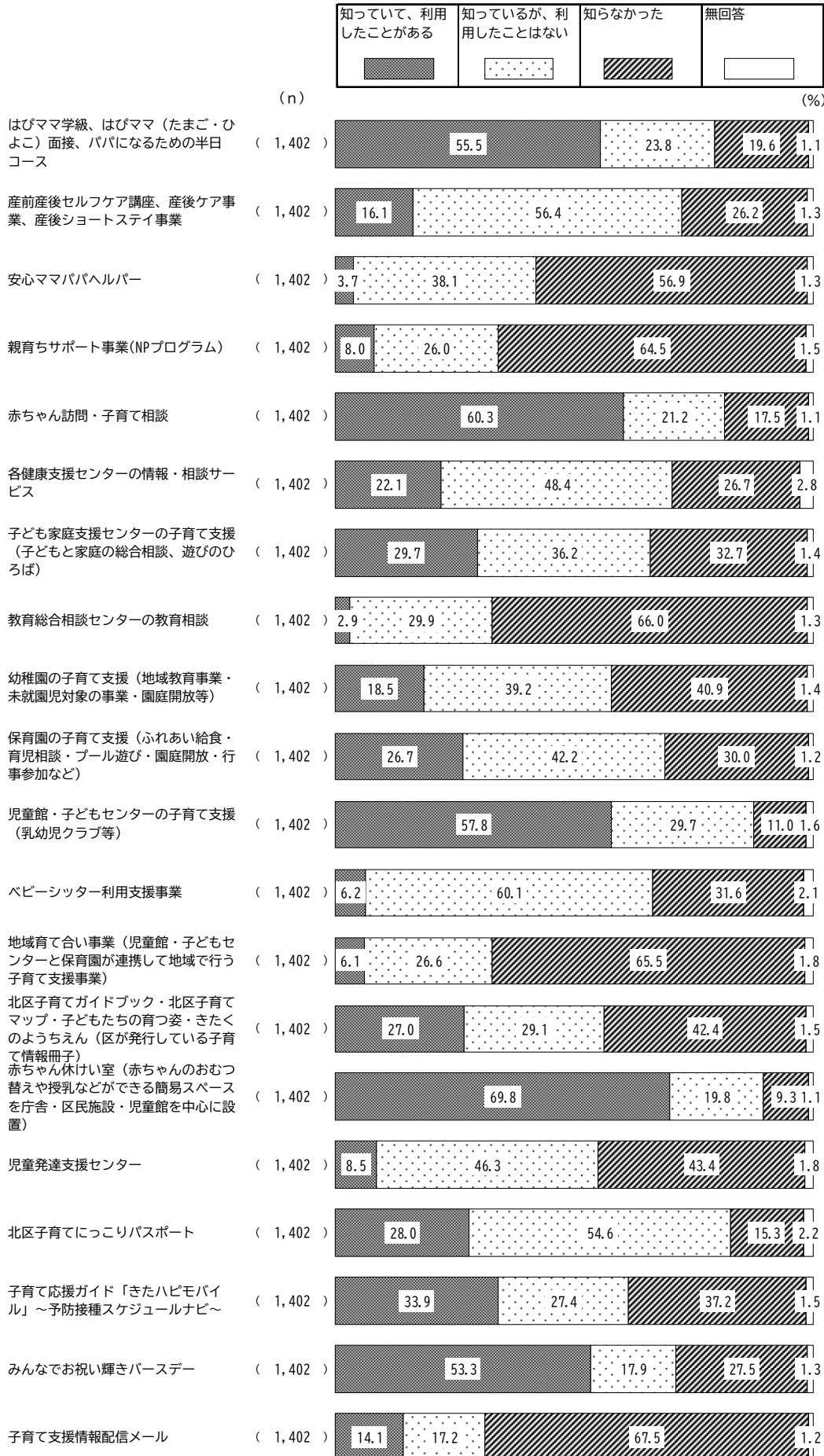
■区の事業の利用意向

『親育ちサポート事業(NPプログラム)』以外は、「今後、利用したい」が「今後、利用したくない」を上回っている。『赤ちゃん休けい室(赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置)』は「今後、利用したしたい」が72.8%と最も高くなっている。

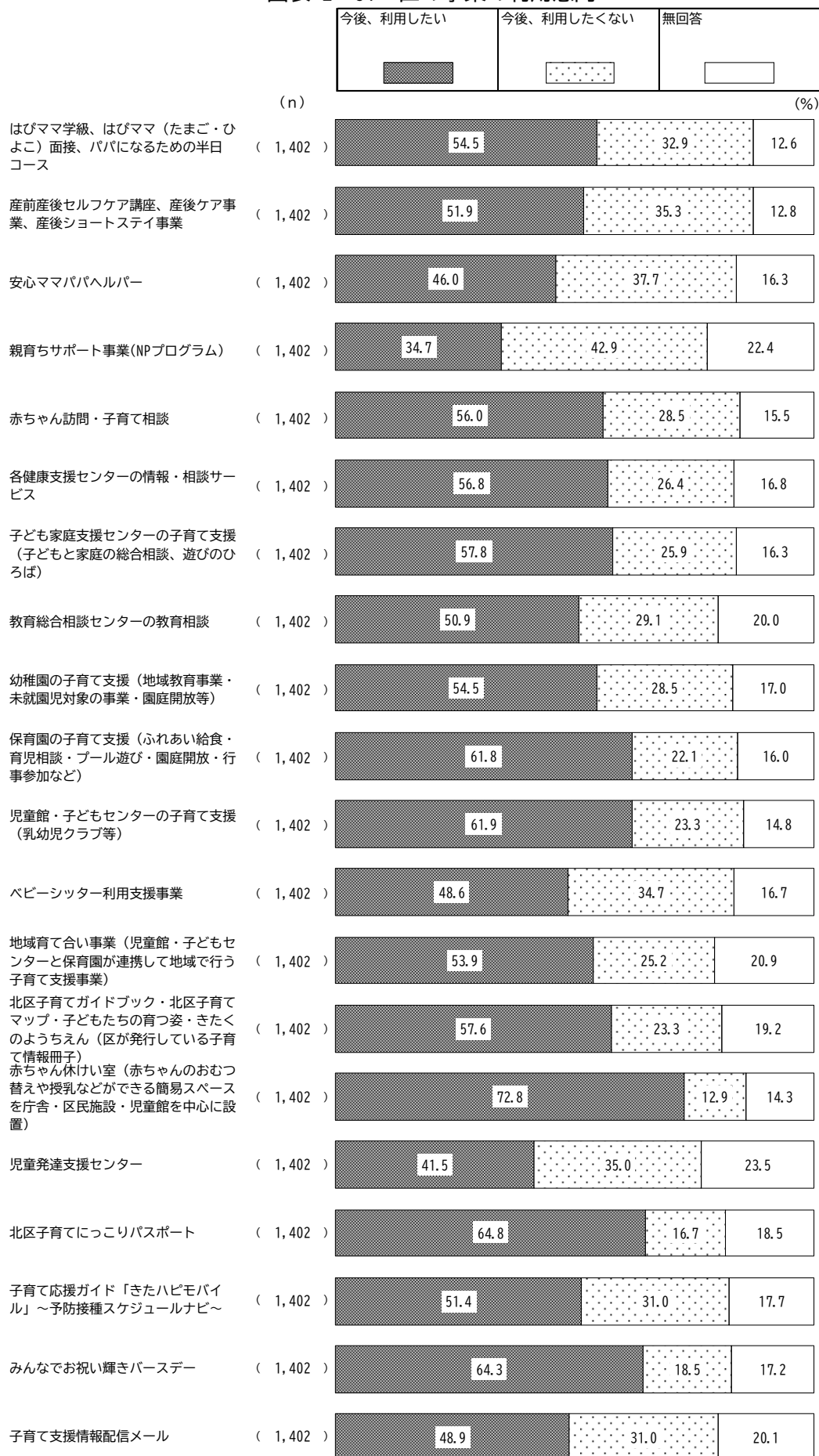
■区の事業の利用満足度

「満足している」は、『親育ちサポート事業(NPプログラム)』が68.8%と最も高く、次いで『保育園の子育て支援(ふれあい給食・育児相談・プール遊び・園庭開放・行事参加など)』が68.2%となっている。

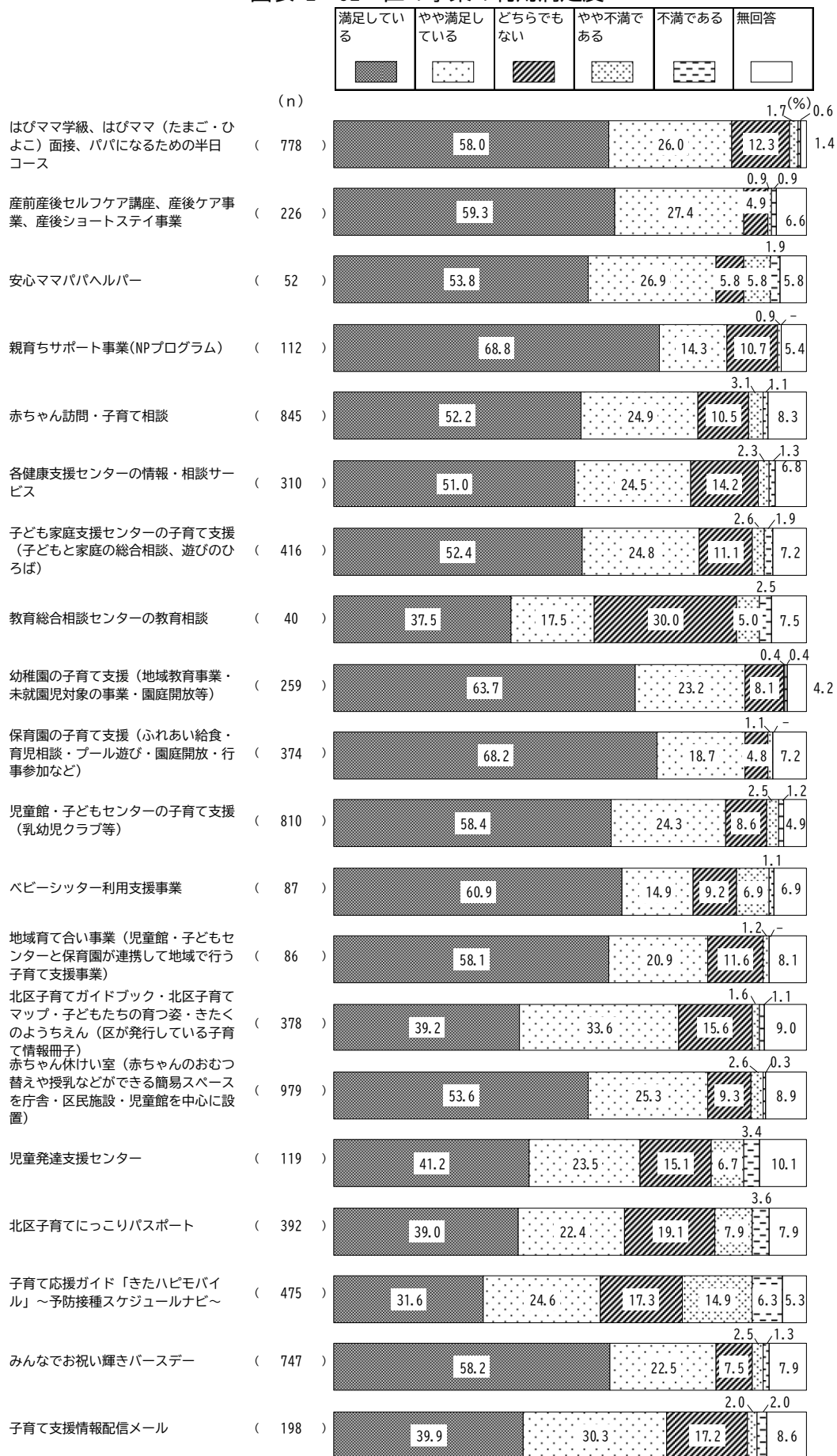
図表 2-50 区の事業の認知度



図表 2-51 区の事業の利用意向



図表 2-52 区の事業の利用満足度



(7)土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

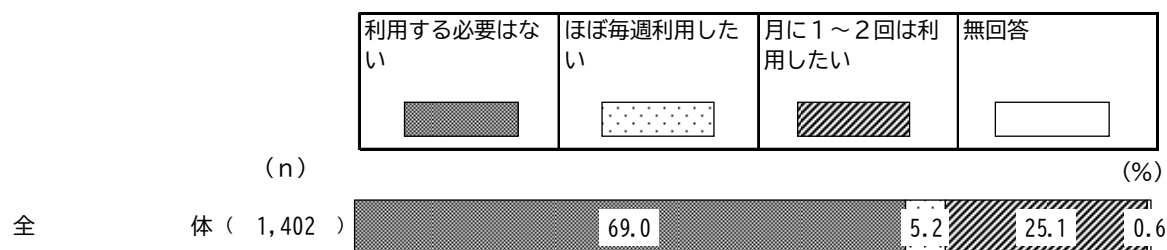
① 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の定期的な利用希望

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけて、(一時的な利用は除きます)希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。
 ※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

■土曜日の教育・保育事業の定期的な利用希望

土曜日の教育・保育事業の定期的な利用希望は、「利用する必要はない」が69.0%、「ほぼ毎週利用したい」が5.2%、「月に1～2回は利用したい」が25.1%となっている。

図表 2-53 土曜日の教育・保育事業の定期的な利用希望

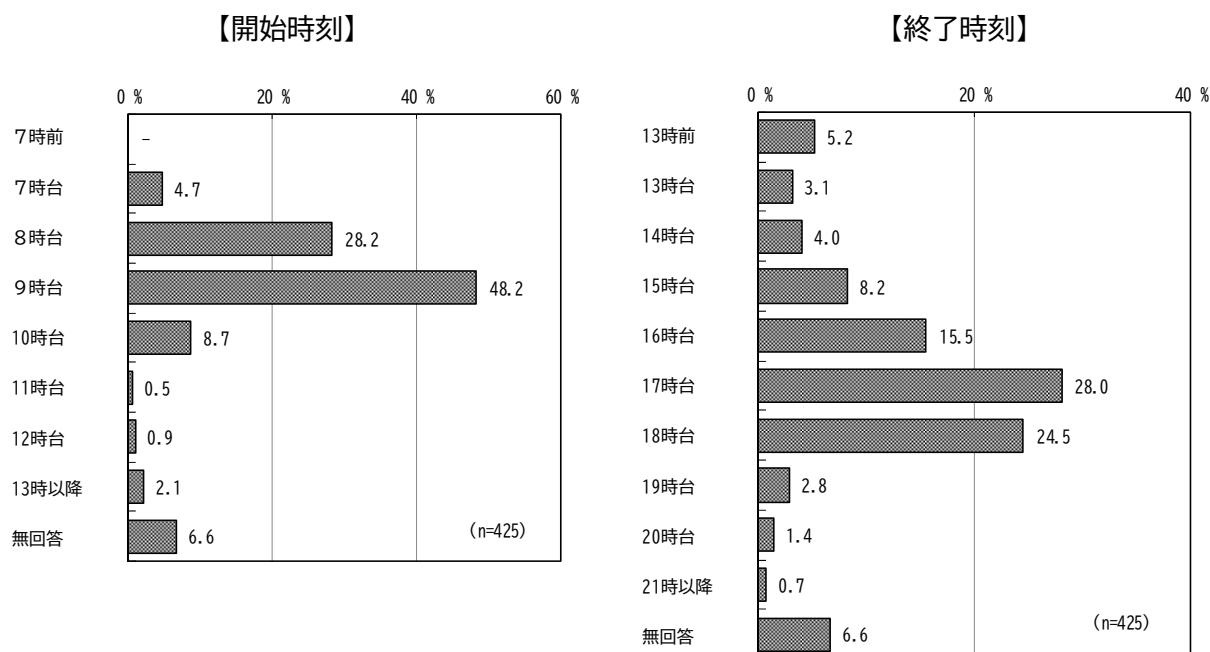


■土曜日の利用したい時間帯

土曜日の利用したい時間帯をみると、開始時刻は、「9時台」が48.2%と最も高く、次いで「8時台」が28.2%、「10時台」が8.7%となっている。

終了時刻は、「17時台」が28.0%と最も高く、次いで「18時台」が24.5%、「16時台」が15.5%となっている。

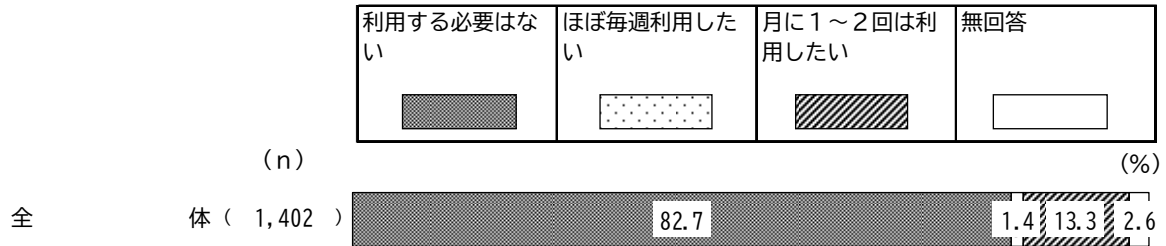
図表 2-54 土曜日の利用したい時間帯



■日曜日・祝日の教育・保育事業の定期的な利用希望

日曜日・祝日の教育・保育事業の定期的な利用希望は、「利用する必要はない」が82.7%、「ほぼ毎週利用したい」が1.4%、「月に1～2回は利用したい」が13.3%となっている。

図表 2-55 日曜日・祝日の教育・保育事業の定期的な利用希望

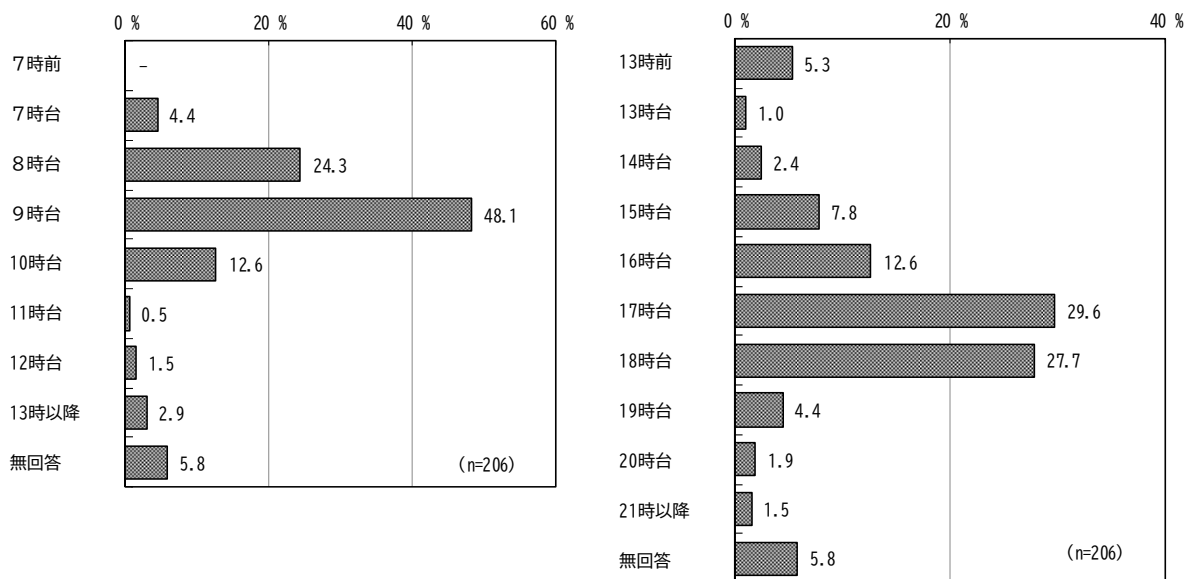


■日曜日・祝日の利用したい時間帯

日曜日・祝日の利用したい時間帯をみると、開始時刻は、「9時台」が48.1%と最も高く、次いで「8時台」が24.3%、「10時台」が12.6%となっている。

終了時刻は、「17時台」が29.6%と最も高く、次いで「18時台」が27.7%、「16時台」が12.6%となっている。

図表 2-56 日曜日・祝日の利用したい時間帯
【開始時刻】 【終了時刻】

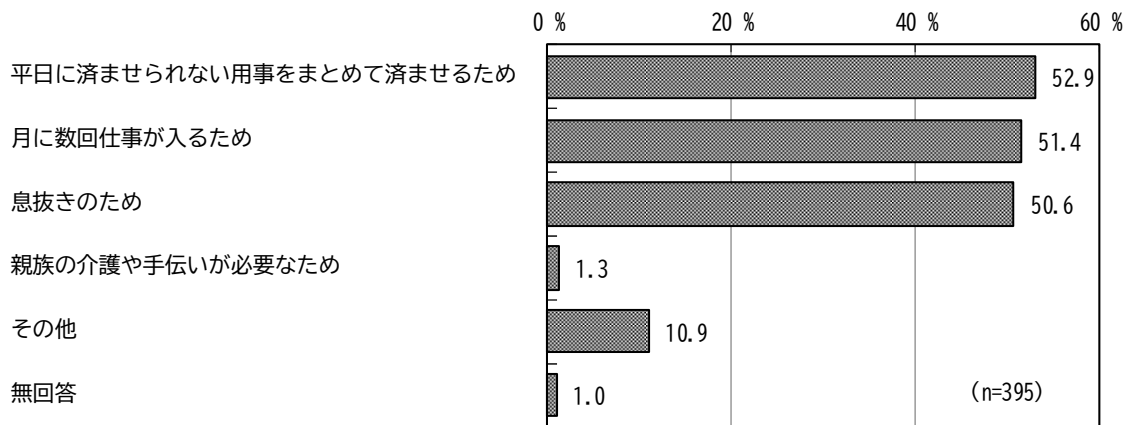


② 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業をたまに利用したい理由

【問 20-1 は、問 20 で「3. 月に 1～2 回は利用したい」と回答した方にうかがいます】
 問 20-1 毎週ではなく、月に 1～2 回は利用したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 52.9%と最も高く、次いで「月に数回仕事が入るため」が 51.4%、「息抜きのため」が 50.6%と続いている。

図表 2-57 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業をたまに利用したい理由（複数回答）



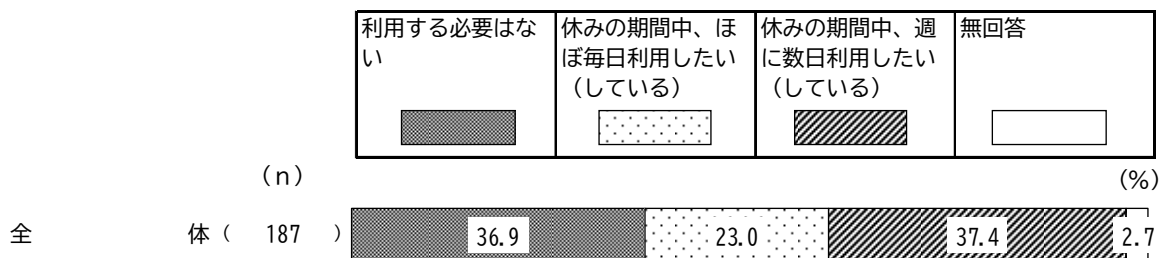
③ 長期休暇期間中の幼稚園の利用希望

【問 21 は、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます】
 問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか、または利用していますか。あてはまる番号 1 つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

■長期休暇期間中の幼稚園の利用希望

長期休暇期間中の幼稚園の利用希望は、「利用する必要はない」が 36.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（している）」が 23.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい（している）」が 37.4%となっている。

図表 2-58 長期休暇期間中の幼稚園の利用希望

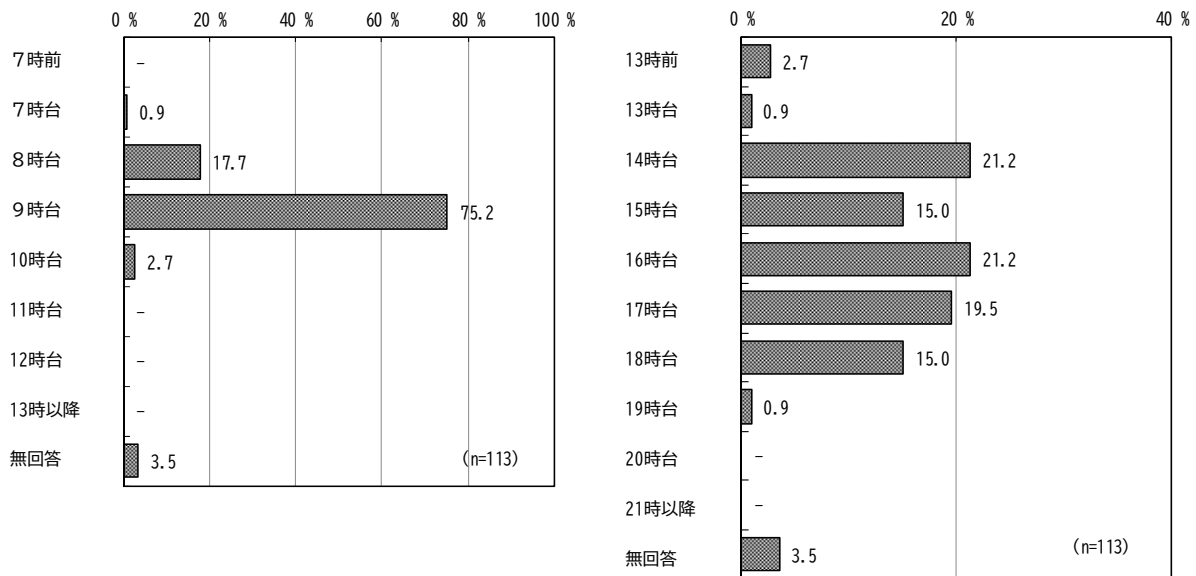


■利用したい(している)時間帯

利用したい(している)時間帯をみると、開始時刻は、「9時台」が75.2%と最も高く、次いで「8時台」が17.7%、「10時台」が2.7%となっている。

終了時刻は、「14時台」「16時台」がともに21.2%と最も高く、次いで「17時台」が19.5%、「15時台」「18時台」がともに15.0%となっている。

図表 2-59 利用したい(している)時間帯
【開始時刻】 【終了時刻】



(8)病気やケガの時の保育

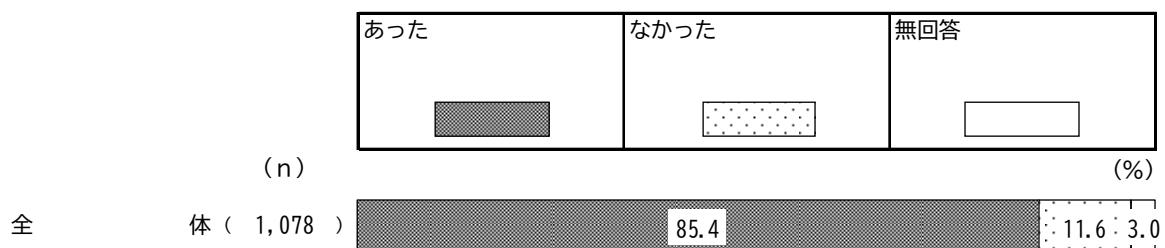
① この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無

【問 22 は、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1. 利用している」と回答した方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください】

問 22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（1つに○）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無は、「あった」が85.4%、「なかった」が11.6%となっている。

図表 2-60 この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無



② 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったときの対処方法

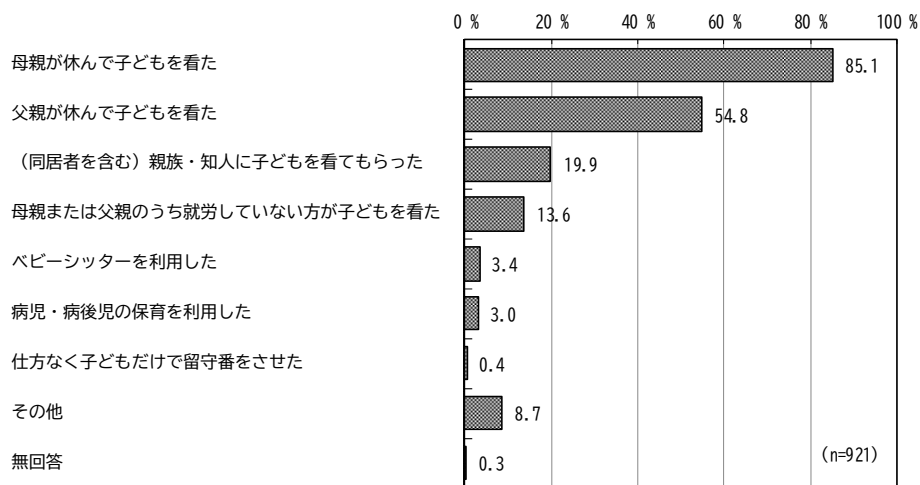
【問 22-1 は、問 22 で「1. あった」と回答した方にうかがいます】

問 22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

■対処方法

対処方法は、「母親が休んで子どもを見た」が85.1%と最も高く、次いで「父親が休んで子どもを見た」が54.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを見てもらった」が19.9%と続いている。

図表 2-61 対処方法 (複数回答)

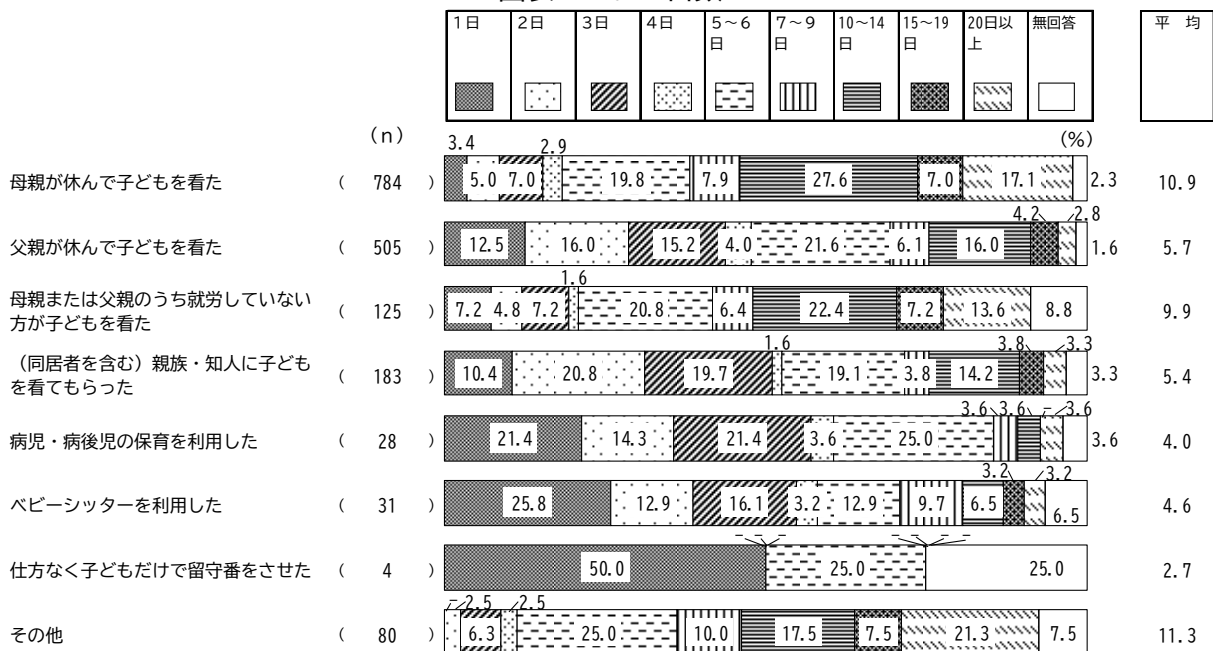


■日数

『母親が休んで子どもを見た』の日数は、「10~14日」が27.6%と最も高く、次いで「5~6日」が19.8%、「20日以上」が17.1%となっている。

『父親が休んで子どもを見た』は、「5~6日」が21.6%と最も高く、次いで「2日」「10~14日」がともに16.0%となっている。

図表 2-62 日数



③ 病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無

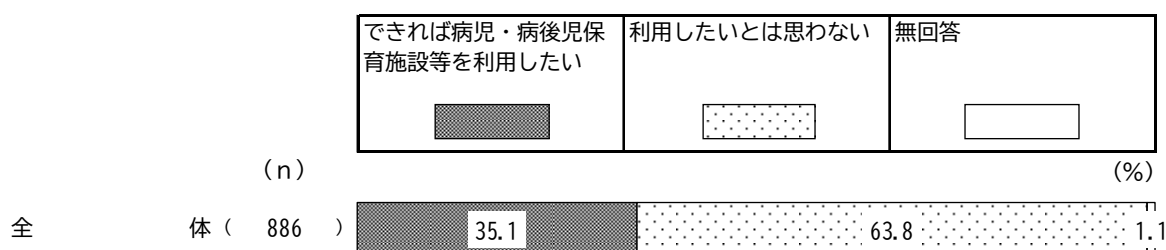
【問 22-2 は、問 22-1 で「1. 母親が休んで子どもを看た」から「3. 母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た」のいずれかに回答した方にうかがいます】

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

■病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無

病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.1%、「利用したいとは思わない」が63.8%となっている。

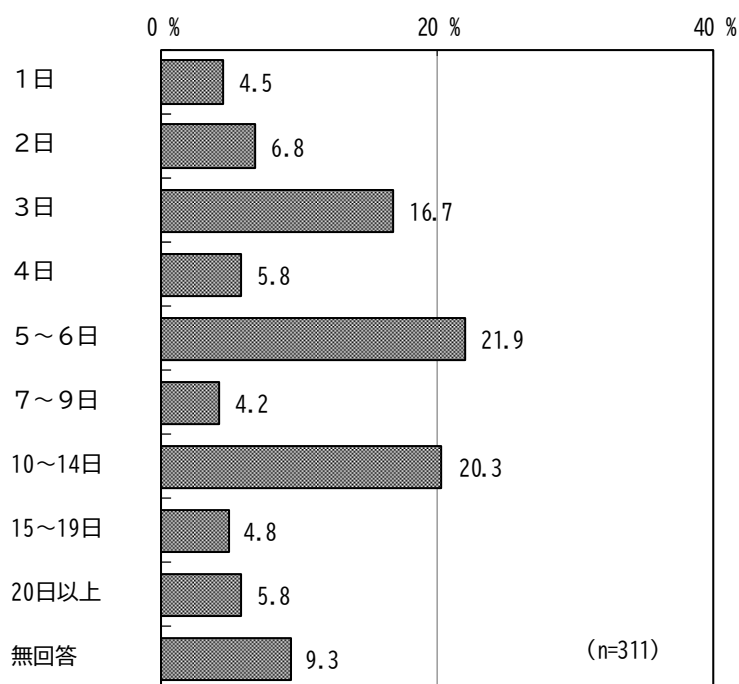
図表 2-63 病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無



■日数

日数は、「5～6日」が21.9%と最も高く、次いで「10～14日」が20.3%、「3日」が16.7%となっている。

図表 2-64 日数



(9) 不定期の一時的な預かり等

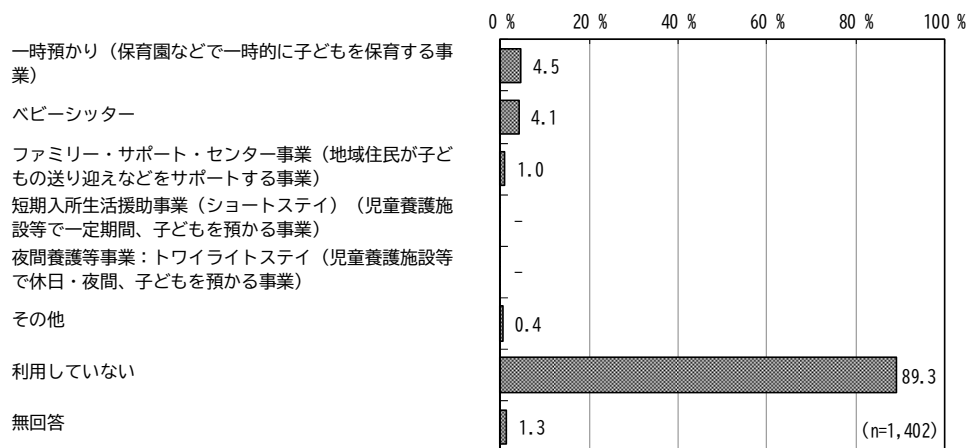
- ① この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

■この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業

この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業は、「利用していない」が89.3%と最も高く、次いで「一時預かり（保育園などで一時的に子どもを保育する事業）」が4.5%、「ベビーシッター」が4.1%と続いている。

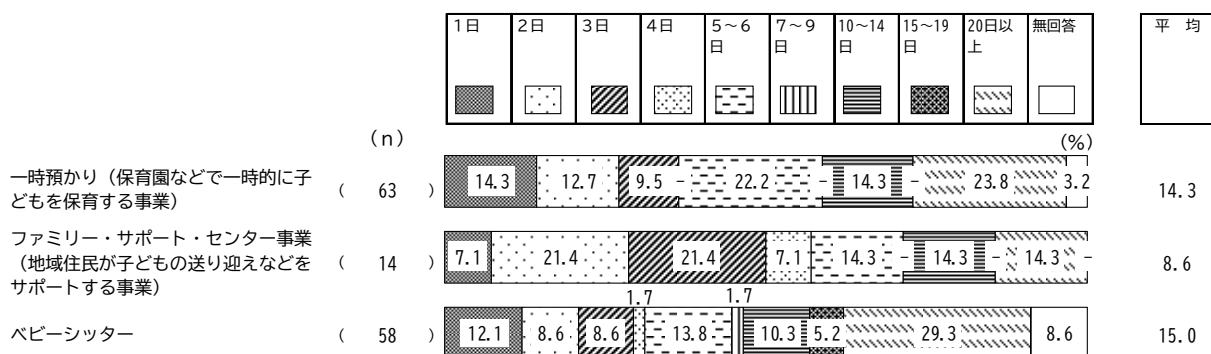
図表 2-65 この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業（複数回答）



■日数

日数をみると、『一時預かり（保育園などで一時的に子どもを保育する事業）』『ベビーシッター』はともに「20日以上」が最も高く、順に23.8%、29.3%となっている。

図表 2-66 日数



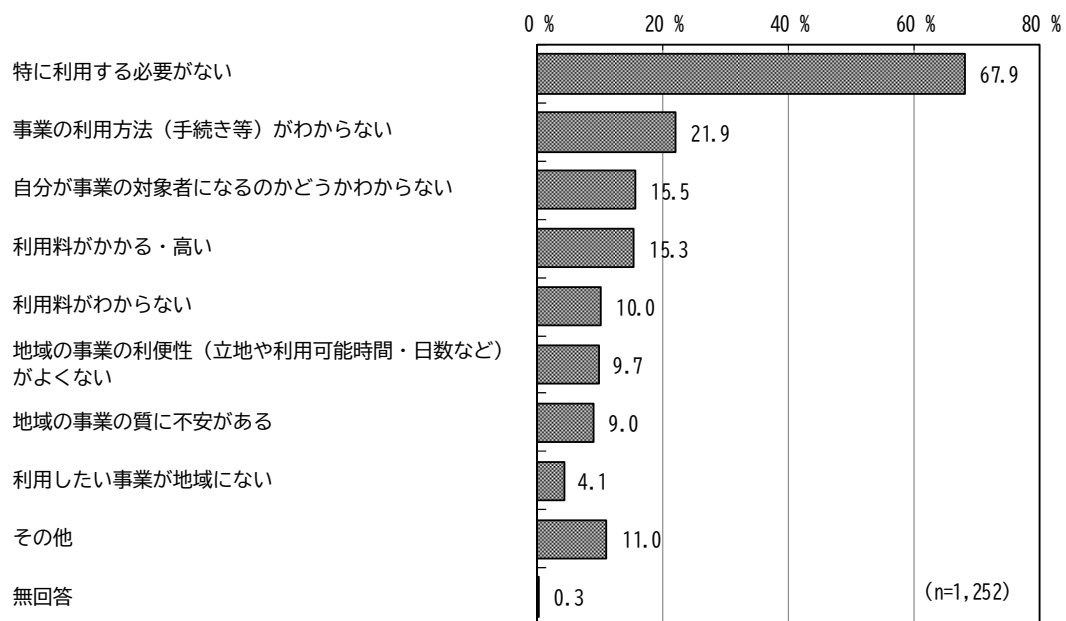
② 一時預かり等の事業を利用していない理由

【問 23-1 は、問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問 24 へお進みください】

問 23-1 現在利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 67.9%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 21.9%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が 15.5%と続いている。

図表 2-67 一時預かり等の事業を利用していない理由（複数回答）



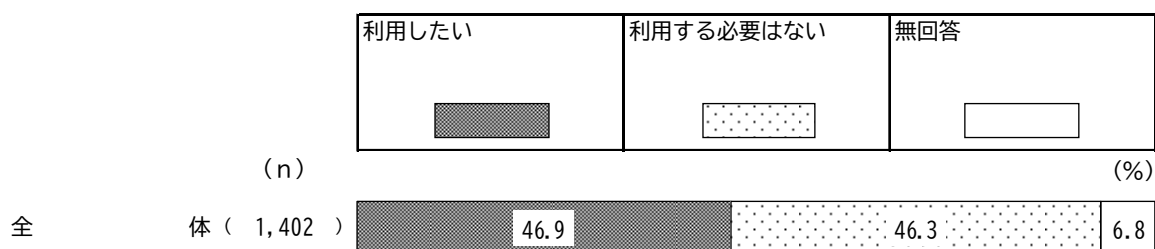
③ 一時預かり等の事業の今後の利用希望の有無

問 24 宛名のお子さんについて、私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 23 で示した事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を () 内に数字でご記入ください。)

■一時預かり等の事業の今後の利用希望の有無

一時預かり等の事業の今後の利用希望の有無は、「利用したい」が 46.9%、「利用する必要はない」が 46.3%となっている。

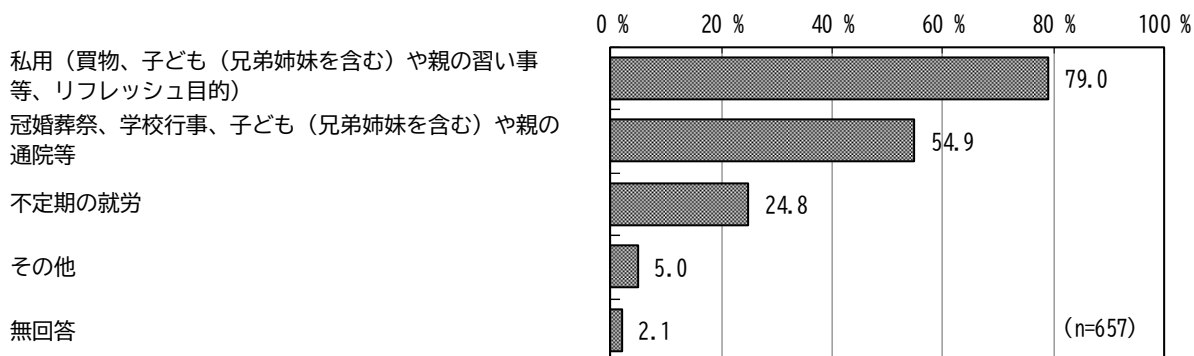
図表 2-68 一時預かり等の事業の今後の利用希望の有無



■目的

目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」が79.0%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が54.9%、「不定期の就労」が24.8%と続いている。

図表 2-69 目的（複数回答）

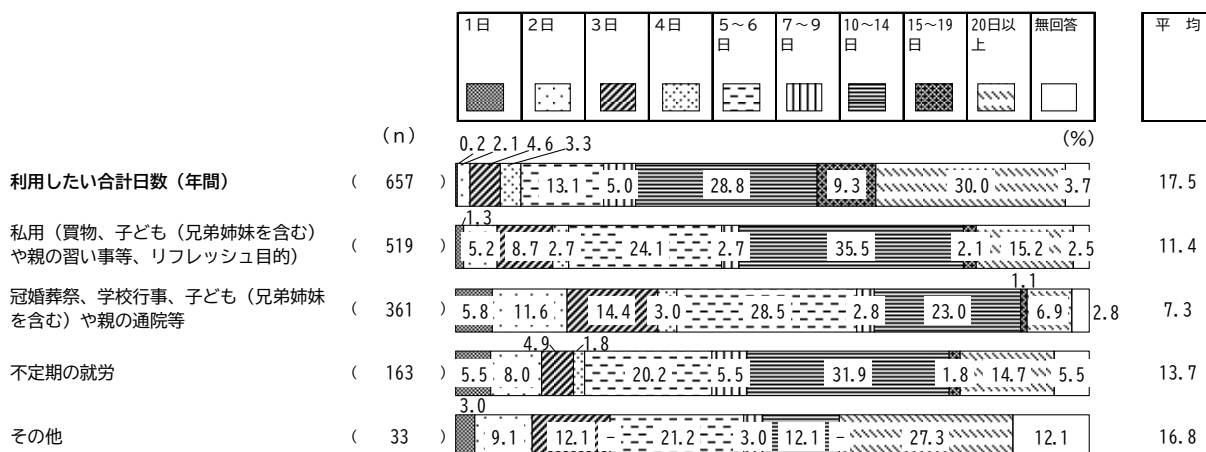


■日数

『利用したい合計日数（年間）』は、「20日以上」が30.0%で最も高く、次いで「10～14日」が28.8%、「5～6日」が13.1%となっている。

『私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）』の日数は、「10～14日」が35.5%、『冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等』は「5～6日」が28.5%、『不定期の就労』は「10～14日」が31.9%で最も高くなっている。

図表 2-70 日数



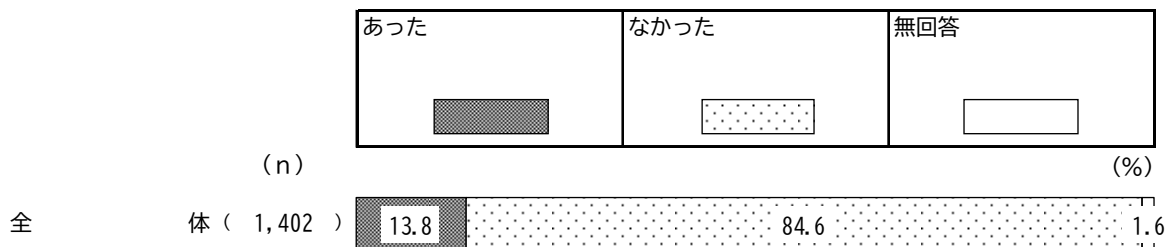
④ この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

■この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無は、「あった」が13.8%、「なかった」が84.6%となっている。

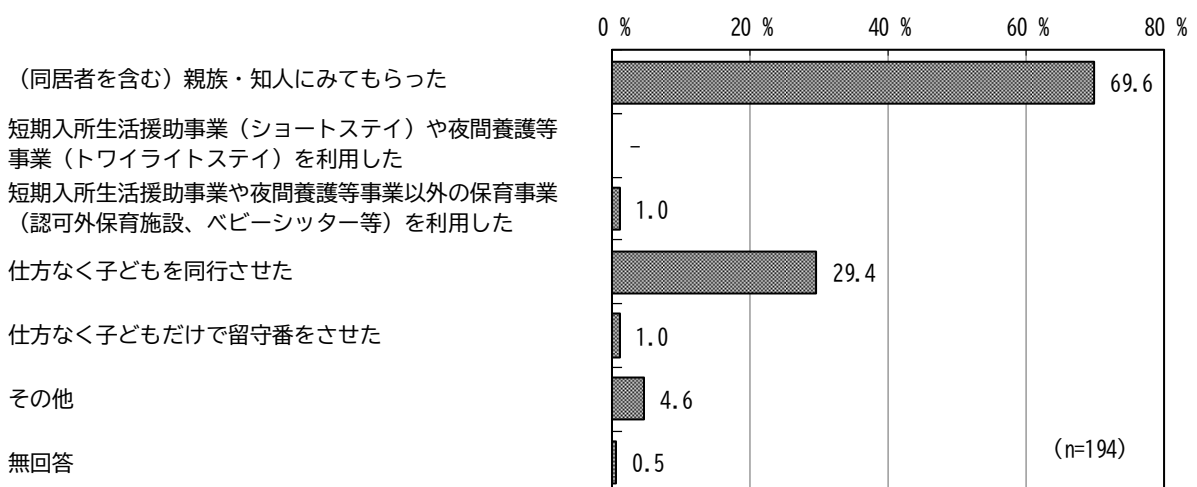
図表 2-71 この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無



■対処方法

対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が69.6%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が29.4%、「短期入所生活援助事業や夜間養護等事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がともに1.0%と続いている。

図表 2-72 対処方法（複数回答）

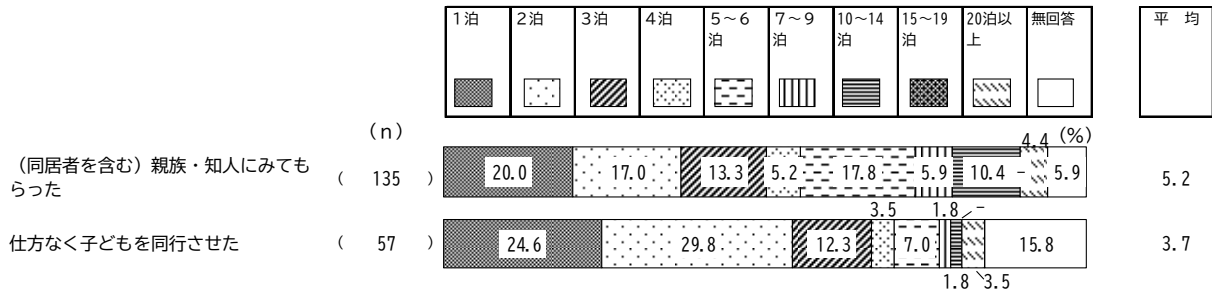


■泊数

『(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった』の泊数は、「1泊」が20.0%と最も高く、次いで「5～6泊」が17.8%、「2泊」が17.0%となっている。

『仕方なく子どもを同行させた』は、「2泊」が29.8%と最も高く、次いで「1泊」が24.6%、「3泊」が12.3%となっている。

図表 2-73 泊数



(10) 就学後の放課後の過ごし方(子どもが5歳以上の場合のみ)

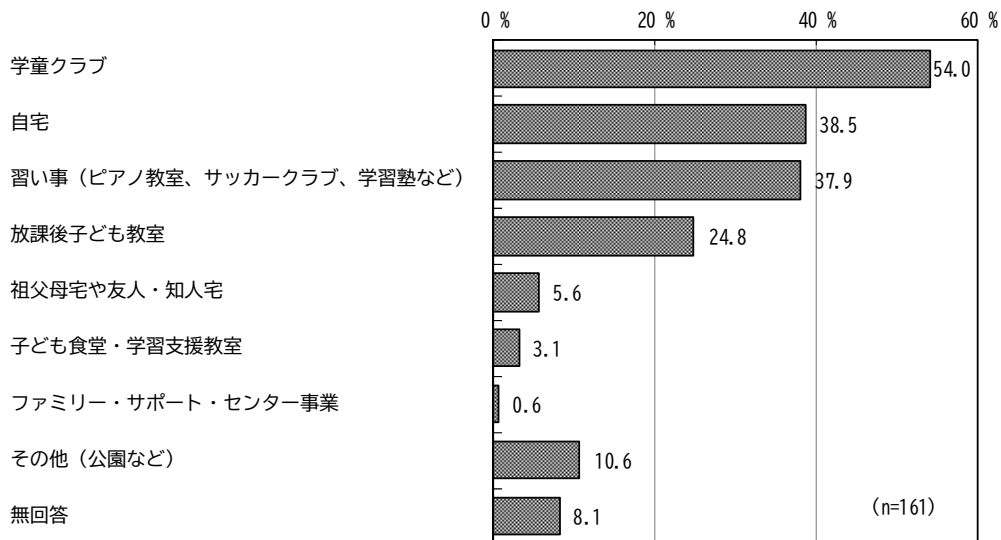
① 小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

■小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所

小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所は、「学童クラブ」が54.0%と最も高く、次いで「自宅」が38.5%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が37.9%と続いている。

図表 2-74 小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所(複数回答)



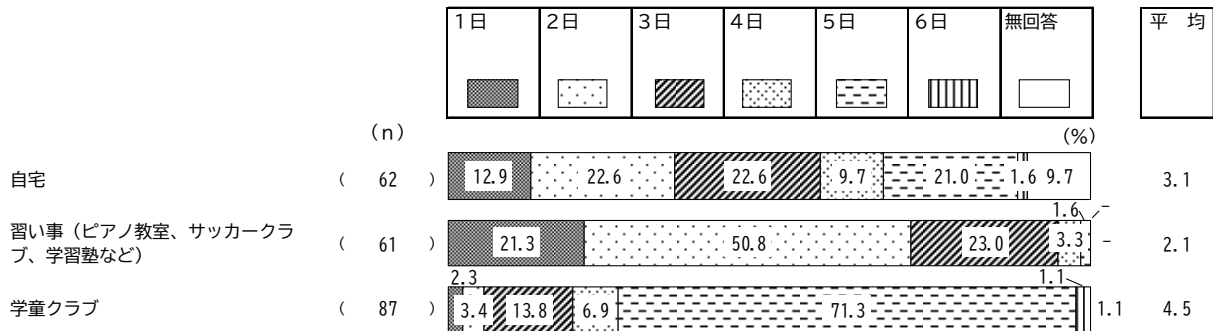
■日数 ※上位3つまで

『自宅』の日数は、「2日」「3日」がともに22.6%と最も高く、次いで「5日」が21.0%となっている。

『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』は、「2日」が50.8%と最も高く、次いで「3日」が23.0%、「1日」が21.3%となっている。

『学童クラブ』は、「5日」が71.3%と最も高く、次いで「3日」が13.8%、「4日」が6.9%となっている。

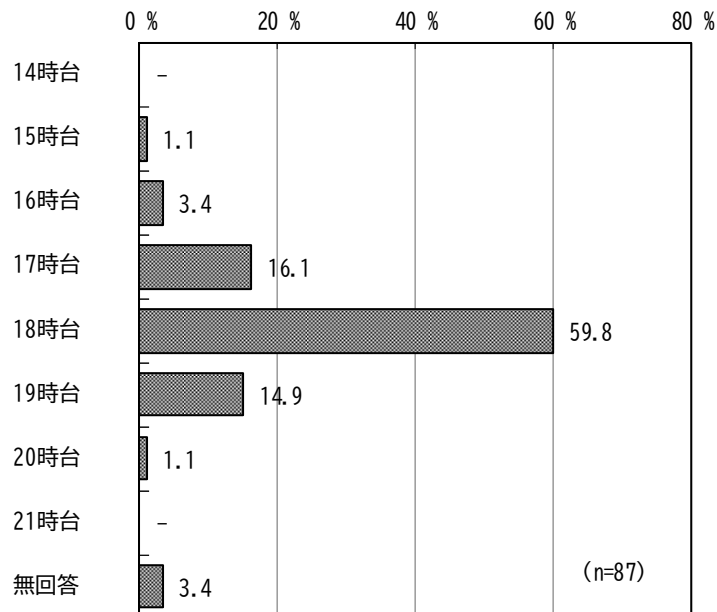
図表 2-75 日数



■学童クラブ:終了時刻

学童クラブ:終了時刻は、「18時台」が59.8%と最も高く、次いで「17時台」が16.1%、「19時台」が14.9%となっている。

図表 2-76 学童クラブ:終了時刻



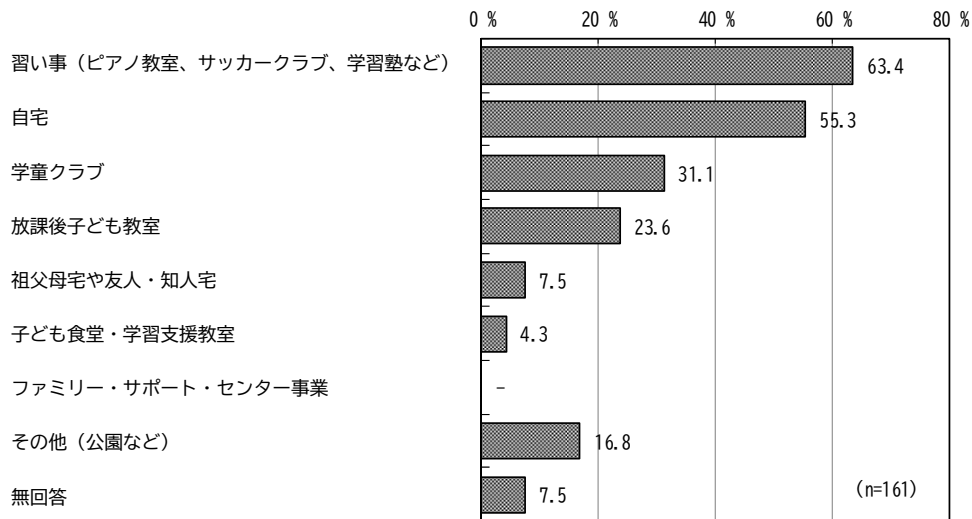
② 小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。
 時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。
 ※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

■小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所

小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が63.4%と最も高く、次いで「自宅」が55.3%、「学童クラブ」が31.1%と続いている。

図表 2-77 小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所（複数回答）



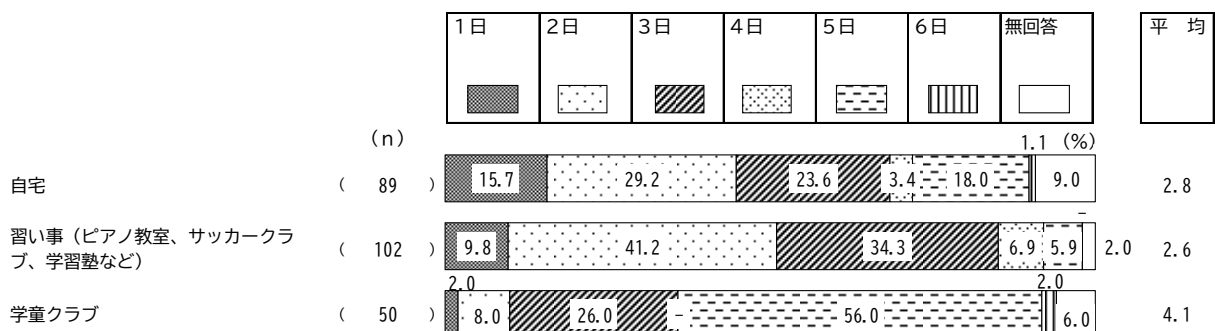
■日数 ※上位3つまで

『自宅』の日数は、「2日」が29.2%と最も高く、次いで「3日」が23.6%、「5日」が18.0%となっている。

『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』は、「2日」が41.2%と最も高く、次いで「3日」が34.3%、「1日」が9.8%となっている。

『学童クラブ』は、「5日」が56.0%と最も高く、次いで「3日」が26.0%、「2日」が8.0%となっている。

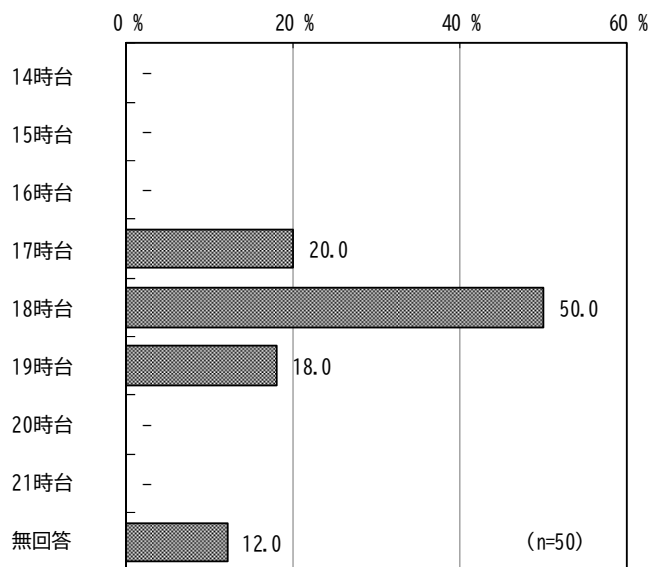
図表 2-78 日数



■学童クラブ:終了時刻

学童クラブ:終了時刻は、「18 時台」が 50.0%と最も高く、次いで「17 時台」が 20.0%、「19 時台」が 18.0%となっている。

図表 2-79 学童クラブ:終了時刻



③ 日曜日・祝日の学童クラブの利用希望

【問 28 は、問 26 または問 27 で「5. 学童クラブ」と回答した方にかがいます】

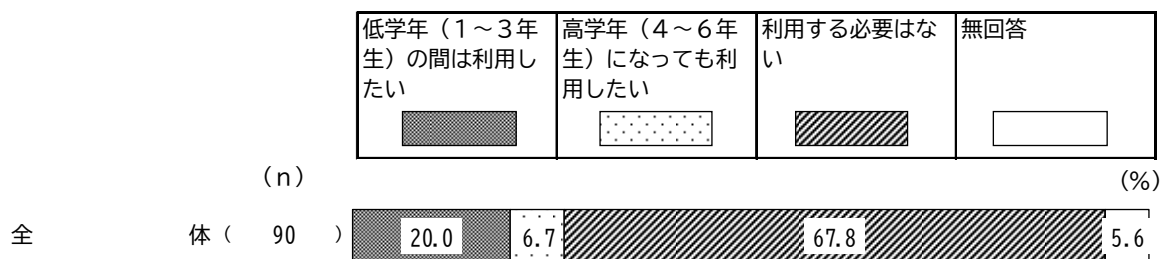
問 28 宛名のお子さんについて日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内にご記入ください。

時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

■日曜日・祝日の学童クラブの利用希望

日曜日・祝日の学童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 20.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 6.7%、「利用する必要はない」が 67.8%となっている。

図表 2-80 日曜日・祝日の学童クラブの利用希望

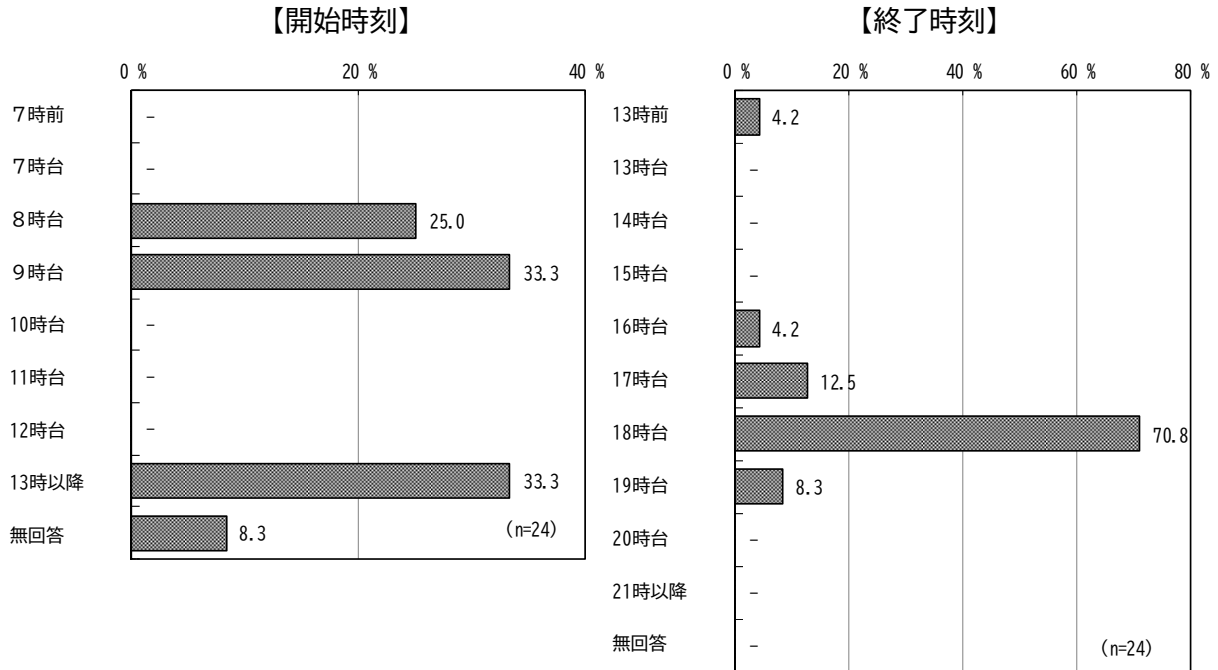


■利用したい時間帯

利用したい時間帯をみると、開始時刻は、「9時台」「13時以降」がともに33.3%と最も高く、次いで「8時台」が25.0%となっている。

終了時刻は、「18時台」が70.8%と最も高く、次いで「17時台」が12.5%、「19時台」が8.3%となっている。

図表 2-81 利用したい時間帯



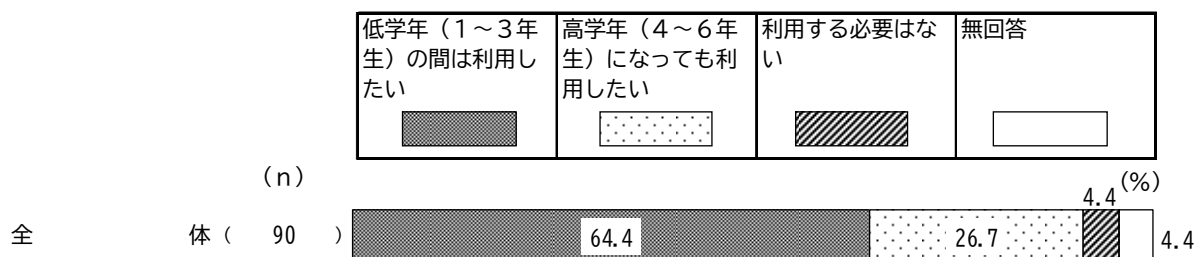
④ 長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望

【問 29 は、問 26 または問 27 で「5. 学童クラブ」と回答した方にかがいます】
 問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を（ ）内にご記入ください。
 時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

■長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望

長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が64.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.7%、「利用する必要はない」が4.4%となっている。

図表 2-82 長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望

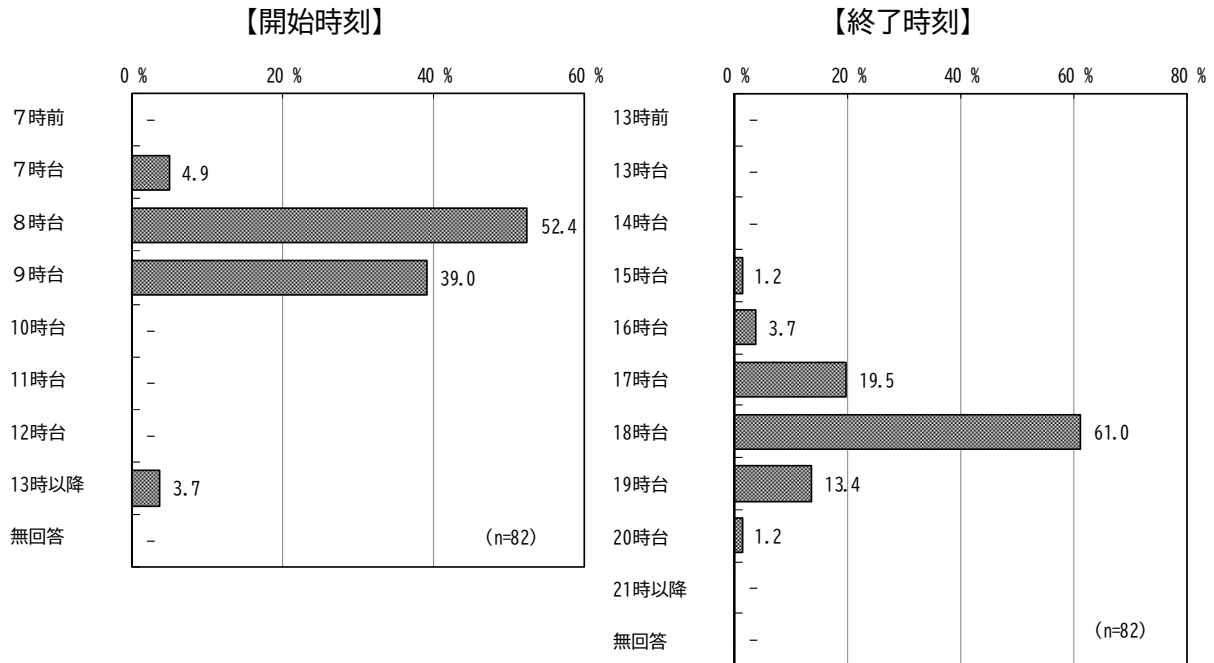


■利用したい時間帯

利用したい時間帯をみると、開始時刻は、「8時台」が52.4%と最も高く、次いで「9時台」が39.0%、「7時台」が4.9%となっている。

終了時刻は、「18時台」が61.0%と最も高く、次いで「17時台」が19.5%、「19時台」が13.4%となっている。

図表 2-83 利用したい時間帯



(11) 育児休業制度・短時間勤務制度などの職場の両立支援制度

① 育児休業の取得の有無

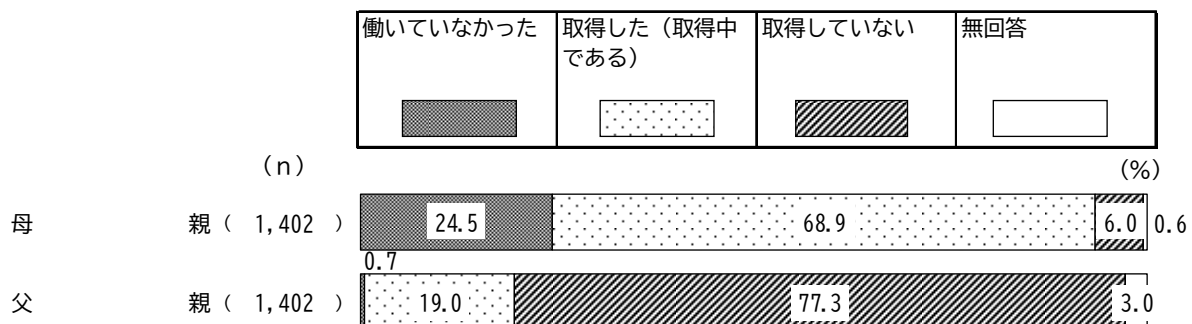
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

■育児休業の取得の有無

育児休業の取得の有無をみると、母親は、「働いていなかった」が24.5%、「取得した（取得中である）」が68.9%、「取得していない」が6.0%となっている。

父親は、「働いていなかった」が0.7%、「取得した（取得中である）」が19.0%、「取得していない」が77.3%となっている。

図表 2-84 育児休業の取得の有無

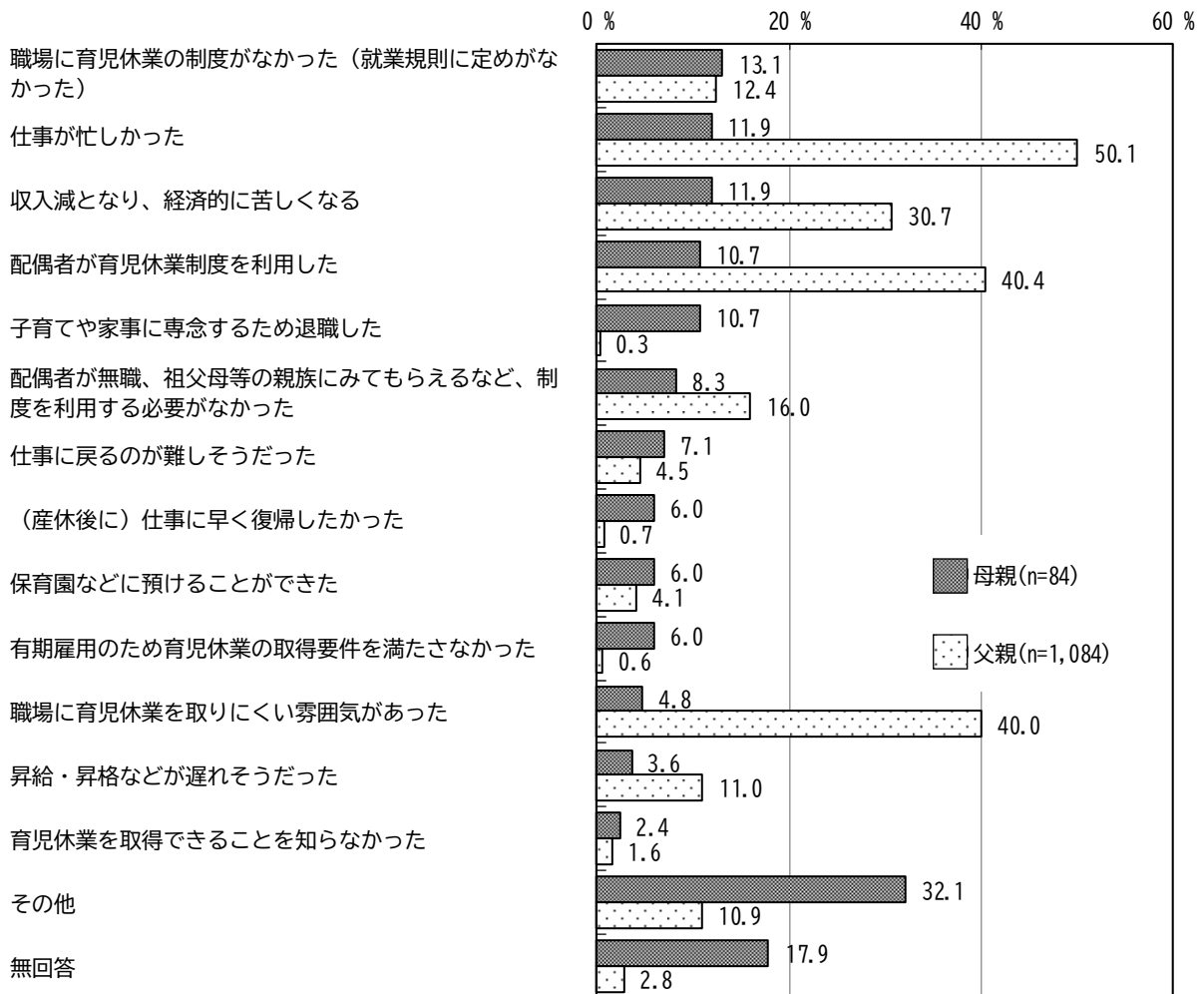


■取得していない理由

取得していない理由をみると、母親は、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が13.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」がともに11.9%、「配偶者が育児休業制度を利用した」「子育てや家事に専念するため退職した」がともに10.7%と続いている。

父親は、「仕事が忙しかった」が50.1%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が40.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が40.0%と続いている。

図表 2-85 取得していない理由（複数回答）



② 育児休業取得後の職場復帰の有無

【問 30-1 は、問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 31 へお進みください】

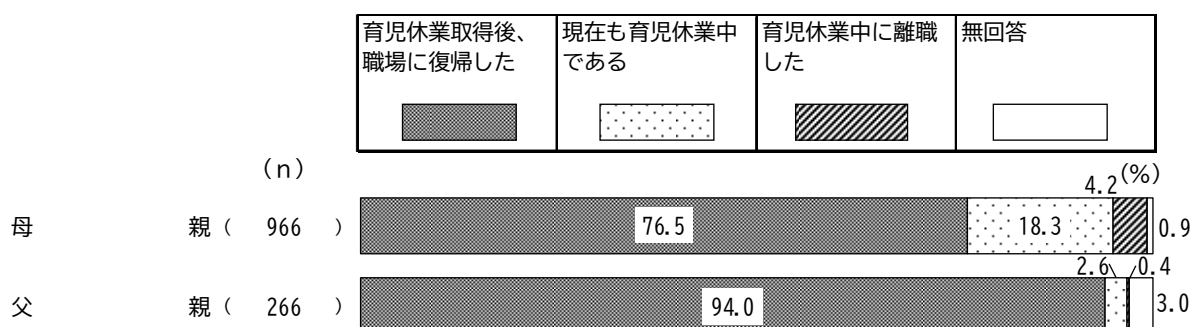
問 30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つに○）

■育児休業取得後の職場復帰の有無

育児休業取得後の職場復帰の有無をみると、母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が76.5%、「現在も育児休業中である」が18.3%、「育児休業中に離職した」が4.2%となっている。

父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.0%、「現在も育児休業中である」が2.6%、「育児休業中に離職した」が0.4%となっている。

図表 2-86 育児休業取得後の職場復帰の有無



③ 育児休業取得後の職場復帰のタイミング

【問 30-2 は、問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます】

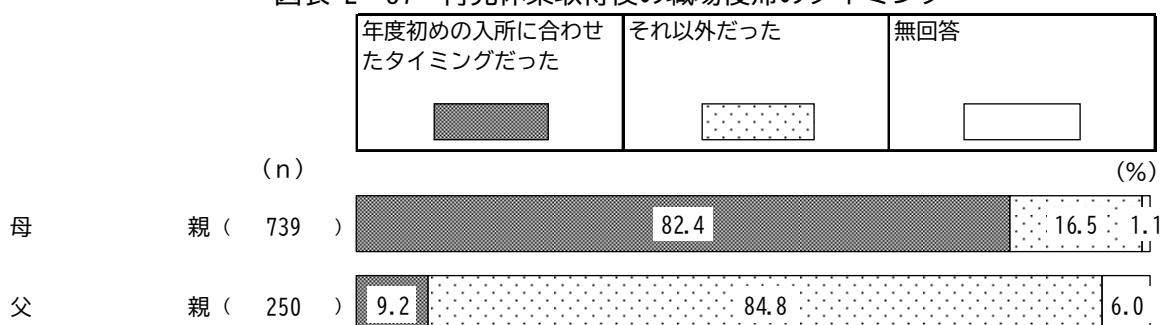
問 30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

■育児休業取得後の職場復帰のタイミング

育児休業取得後の職場復帰のタイミングをみると、母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が82.4%、「それ以外だった」が16.5%となっている。

父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が9.2%、「それ以外だった」が84.8%となっている。

図表 2-87 育児休業取得後の職場復帰のタイミング



④ 育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望

【問 30-3 は、問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます】

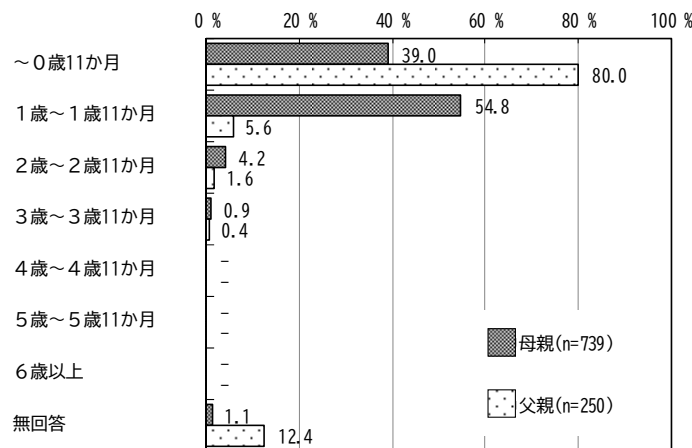
問 30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

■ 育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の実際

育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の実際をみると、母親は、「1歳～1歳11か月」が54.8%と最も高く、次いで「～0歳11か月」が39.0%、「2歳～2歳11か月」が4.2%となっている。

父親は、「～0歳11か月」が80.0%と最も高く、次いで「1歳～1歳11か月」が5.6%、「2歳～2歳11か月」が1.6%となっている。

図表 2-88 育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の実際

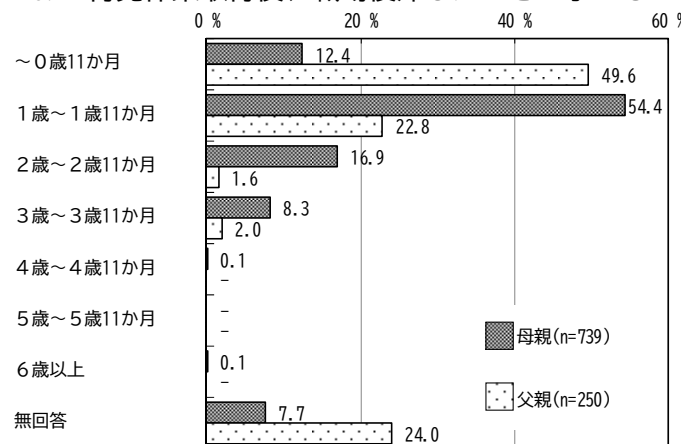


■ 育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の希望

育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の希望をみると、母親は、「1歳～1歳11か月」が54.4%と最も高く、次いで「2歳～2歳11か月」が16.9%、「～0歳11か月」が12.4%となっている。

父親は、「～0歳11か月」が49.6%と最も高く、次いで「1歳～1歳11か月」が22.8%、「3歳～3歳11か月」が2.0%となっている。

図表 2-89 育児休業取得後、職場復帰したときの子どもの年齢の希望



⑤ 希望の時期に職場復帰しなかった理由

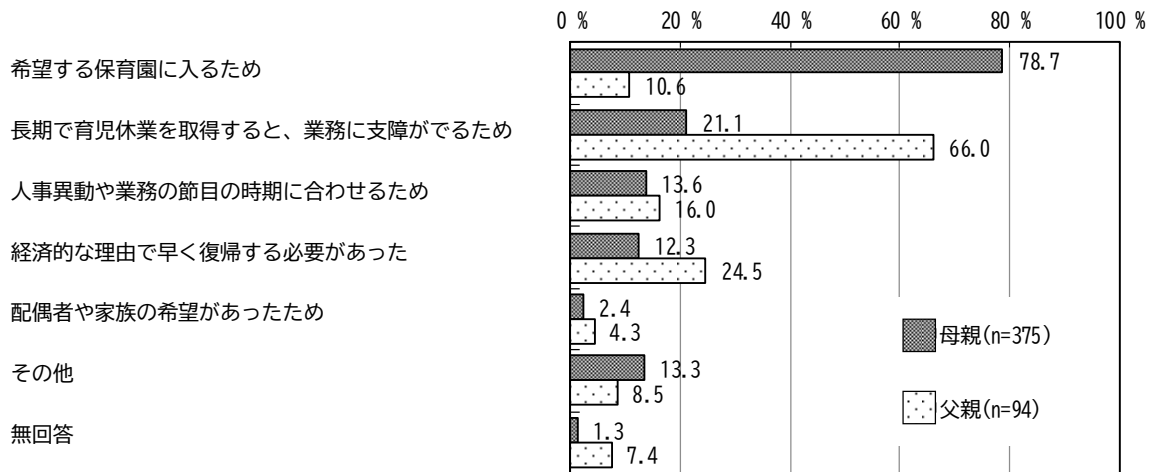
【問 30-4 は、問 30-3 で実際と希望の職場復帰の期間が異なる方にうかがいます】
問 30-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

■「希望」より早く復帰した理由

「希望」より早く復帰した理由をみると、母親は、「希望する保育園に入るため」が78.7%と最も高く、次いで「長期で育児休業を取得すると、業務に支障がでるため」が21.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が13.6%と続いている。

父親は、「長期で育児休業を取得すると、業務に支障がでるため」が66.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が24.5%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.0%と続いている。

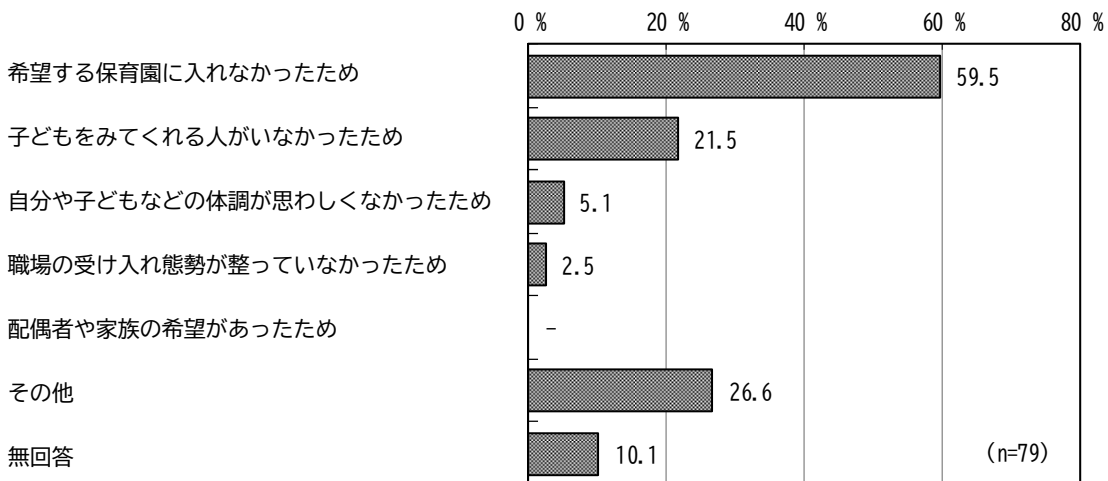
図表 2-90 「希望」より早く復帰した理由（複数回答）



■母親：「希望」より遅く復帰した理由

母親：「希望」より遅く復帰した理由は、「希望する保育園に入れなかったため」が59.5%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が21.5%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が5.1%と続いている。

図表 2-91 母親：「希望」より遅く復帰した理由（複数回答）



⑥ 短時間勤務制度の利用の有無

【問 30-5 は、問 30-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます】

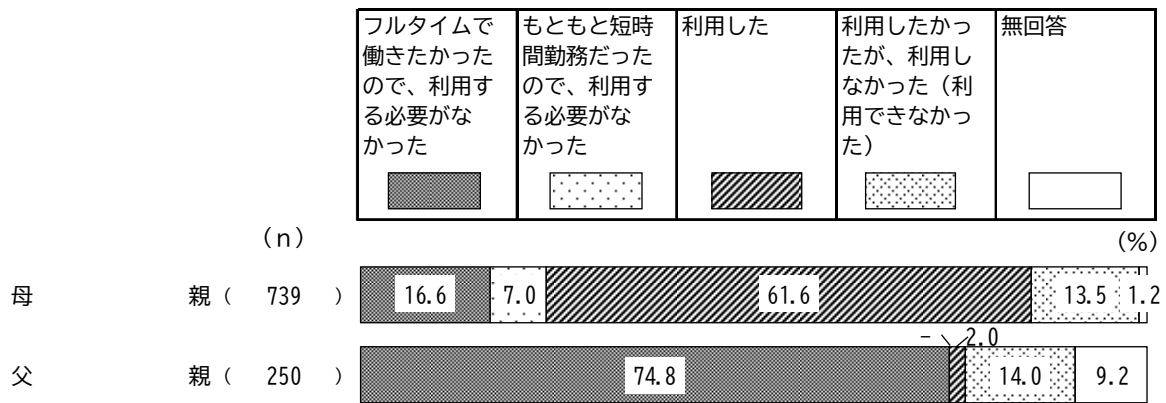
問 30-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
(1つに○)

■短時間勤務制度の利用の有無

短時間勤務制度の利用の有無をみると、母親は、「利用した」が61.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働きたかったので、利用する必要がなかった」が16.6%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が13.5%となっている。

父親は、「フルタイムで働きたかったので、利用する必要がなかった」が74.8%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が14.0%、「利用した」が2.0%となっている。

図表 2-92 短時間勤務制度の利用の有無



⑦ 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由

【問 30-6 は、問 30-5 で「4. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」と回答した方にかがいます】

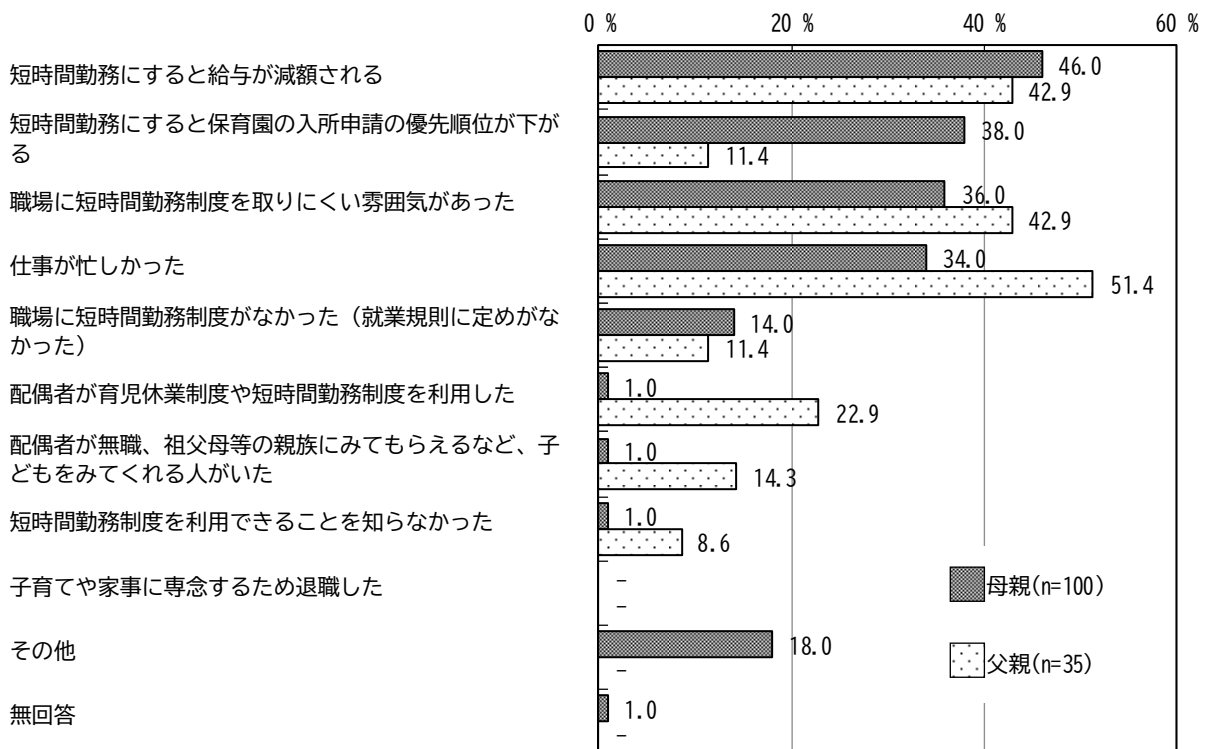
問 30-6 短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

■短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由

短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由をみると、母親は、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 46.0%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる」が 38.0%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 36.0%と続いている。

父親は、「仕事が忙しかった」が 51.4%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」がともに 42.9%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が 22.9%と続いている。

図表 2-93 短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由 (複数回答)

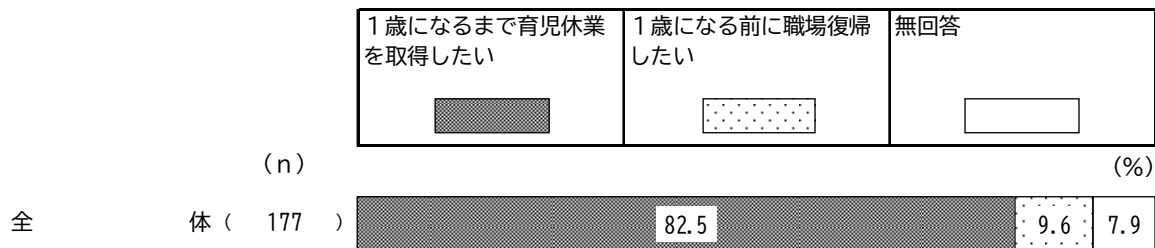


⑧ 1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか

【問 30-7 は、問 30-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます】
 問 30-7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる子どもを預ける事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に職場復帰しますか。(1つに○)

■母親:1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか
 母親:1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかは、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が82.5%、「1歳になる前に職場復帰したい」が9.6%となっている。

図表 2-94 母親:1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか



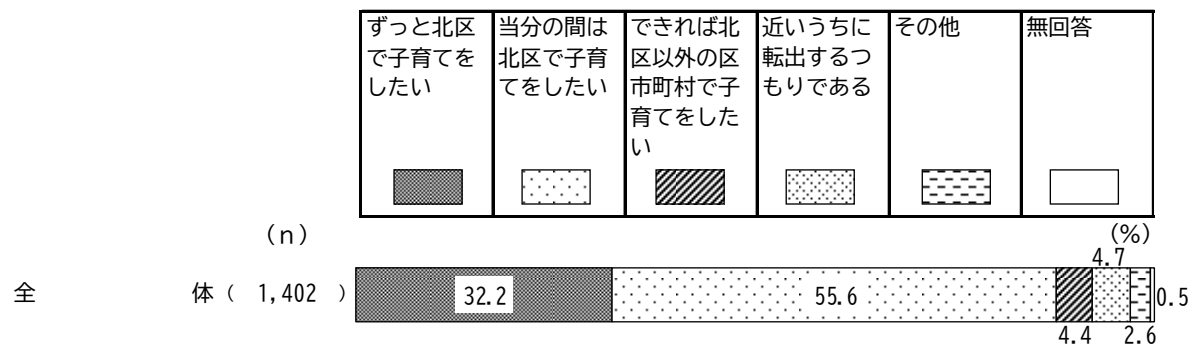
(12)子育て全般

① 北区での子育て意向

問 31 今後も、北区で子育てをしたいと思えますか。(1つに○)

北区での子育て意向は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が55.6%と最も高く、次いで「ずっと北区で子育てをしたい」が32.2%、「近いうちに転出するつもりである」が4.7%となっている。

図表 2-95 北区での子育て意向

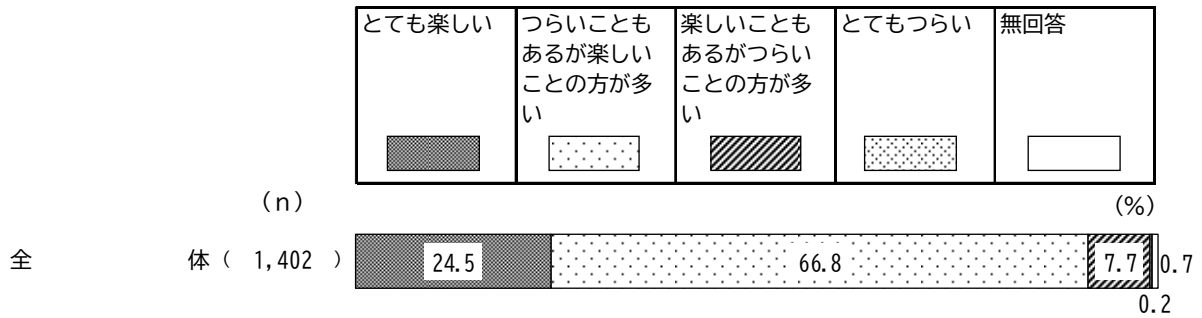


② 子育ての楽しさ

問32 あなたは、子育てが楽しいですか。(1つに○)

子育ての楽しさは、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が66.8%と最も高く、次いで「とても楽しい」が24.5%、「楽しいこともあるがつらいことの方が多い」が7.7%となっている。

図表 2-96 子育ての楽しさ



③ 子どもとかかわる時間

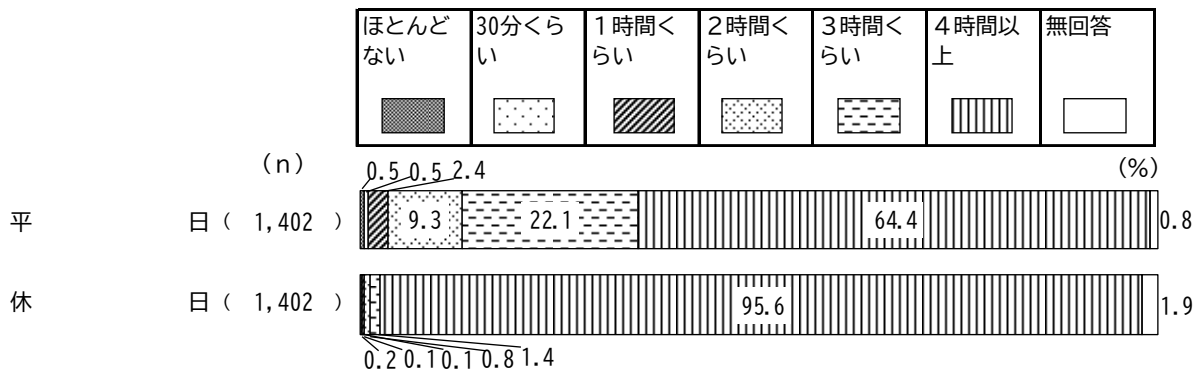
問33 宛名のお子さんとかかわる時間(会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど)はだいたいどのくらいありますか。(母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。)

■母親:子どもとかかわる時間

母親:子どもとかかわる時間をみると、平日は、「4時間以上」が64.4%と最も高く、次いで「3時間くらい」が22.1%、「2時間くらい」が9.3%となっている。

休日は、「4時間以上」が95.6%と最も高くなっている。

図表 2-97 母親:子どもとかかわる時間

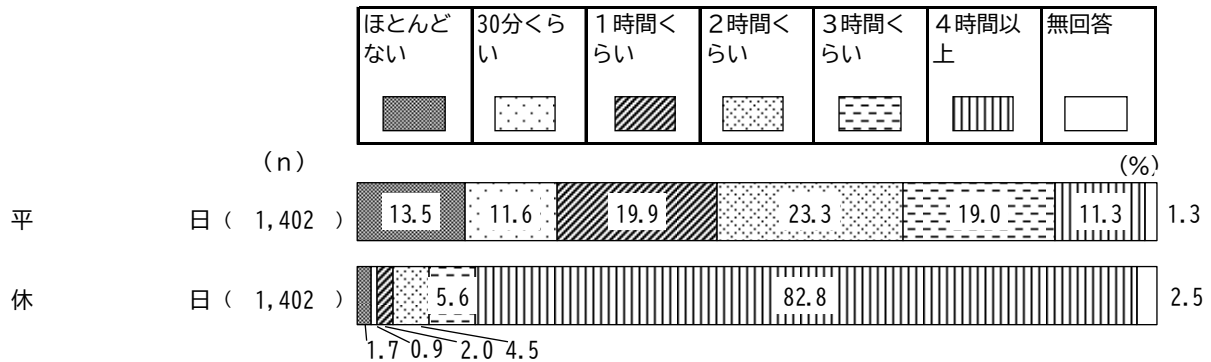


■父親:子どもとかかわる時間

父親:子どもとかかわる時間をみると、平日は、「2時間くらい」が23.3%と最も高く、次いで「1時間くらい」が19.9%、「3時間くらい」が19.0%となっている。

休日は、「4時間以上」が82.8%と最も高くなっている。

図表 2-98 父親:子どもとかかわる時間



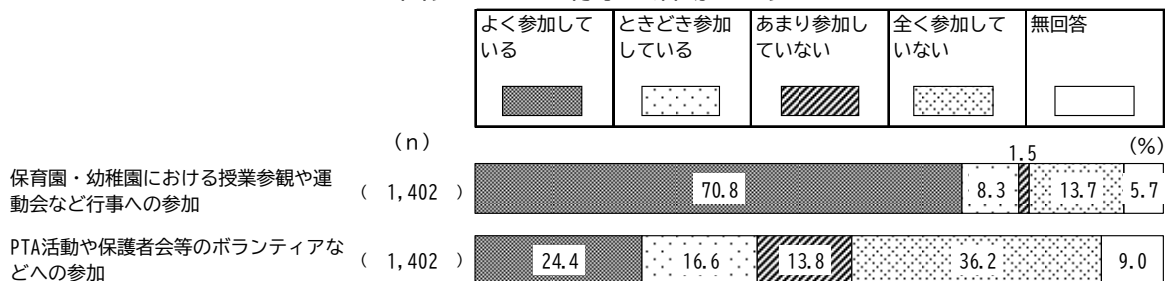
④ 行事や活動への参加

問 34 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①保育園・幼稚園における授業参観や運動会など行事への参加、②PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加、それぞれ1つに○)
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

『保育園・幼稚園における授業参観や運動会など行事への参加』は、「よく参加している」が70.8%と最も高く、次いで「全く参加していない」が13.7%、「ときどき参加している」が8.3%となっている。

『PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加』は、「全く参加していない」が36.2%と最も高く、次いで「よく参加している」が24.4%、「ときどき参加している」が16.6%となっている。

図表 2-99 行事や活動への参加

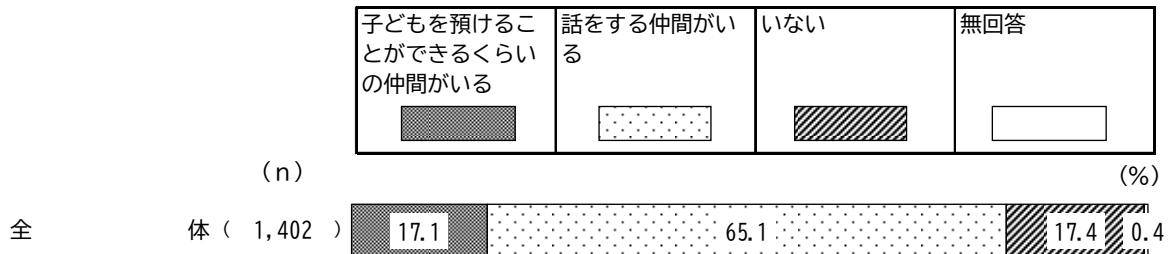


⑤ 子育ての仲間

問 35 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

子育ての仲間は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が17.1%、「話をする仲間がいる」が65.1%、「いない」が17.4%となっている。

図表 2-100 子育ての仲間

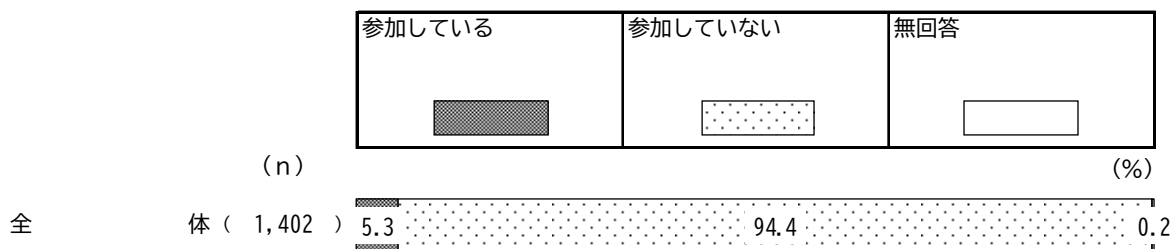


⑥ 子育てサークルなどのグループへの参加

問 36 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどのグループへの参加は、「参加している」が5.3%、「参加していない」が94.4%となっている。

図表 2-101 子育てサークルなどのグループへの参加

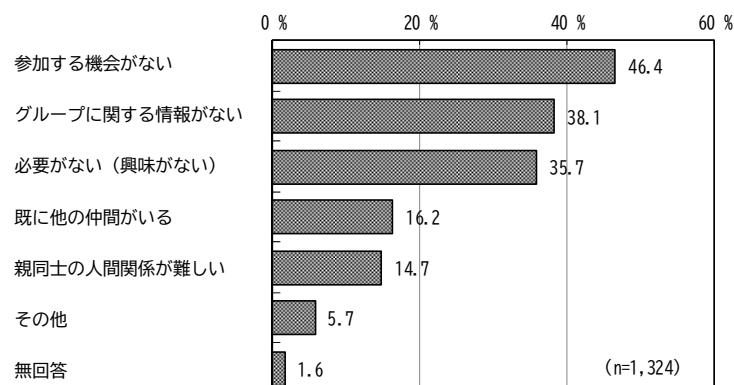


⑦ 子育てサークルに参加していない理由

【問 36-1 は、問 36 で「2. 参加していない」と回答した方にうかがいます】
問 36-1 参加していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てサークルに参加していない理由は、「参加する機会がない」が46.4%と最も高く、次いで「グループに関する情報がない」が38.1%、「必要がない(興味がない)」が35.7%と続いている。

図表 2-102 子育てサークルに参加していない理由(複数回答)

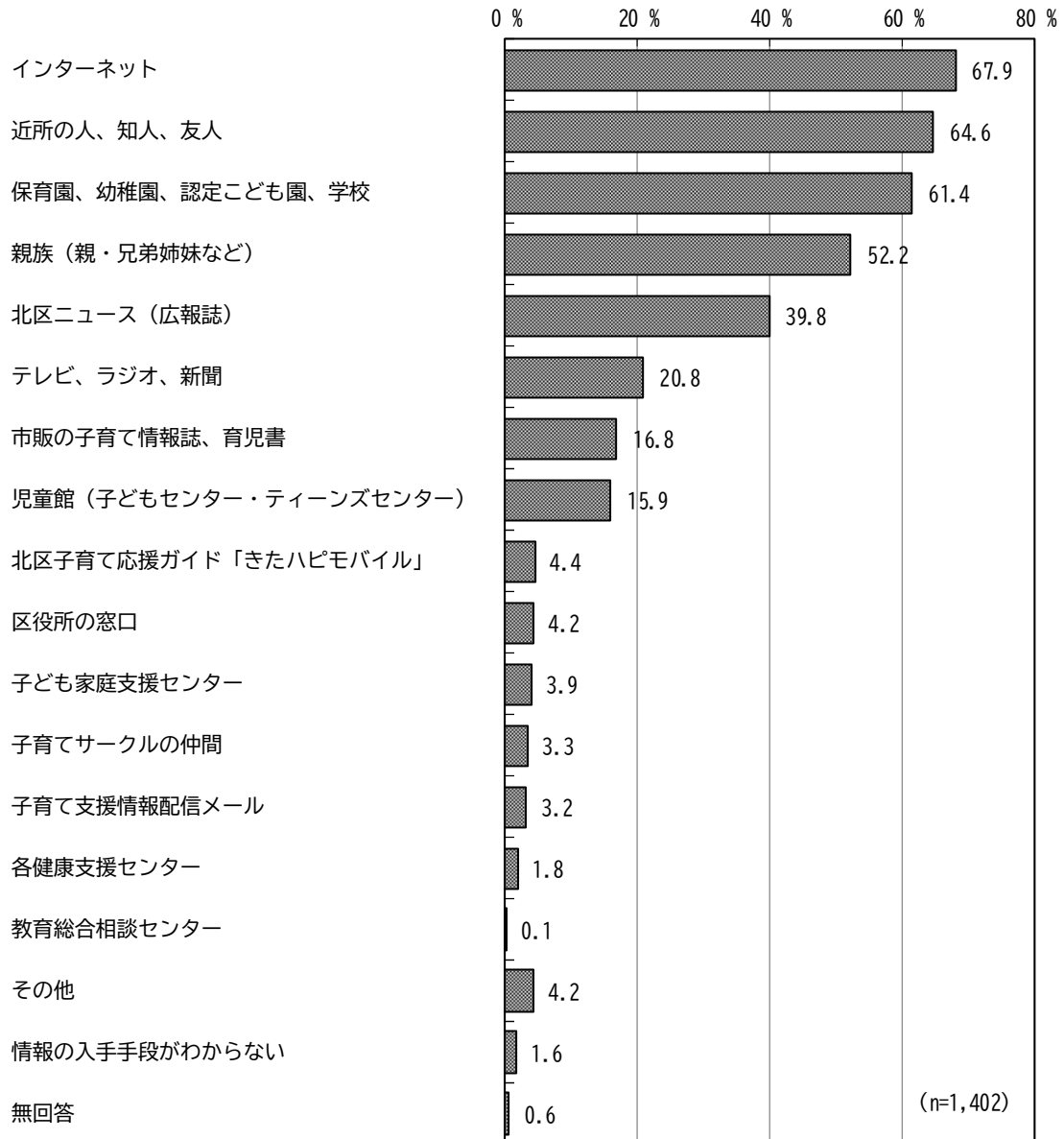


⑧ 子育て関連の情報入手方法

問37 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育て関連の情報入手方法は、「インターネット」が67.9%と最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が64.6%、「保育園、幼稚園、認定こども園、学校」が61.4%と続いている。

図表 2-103 子育て関連の情報入手方法（複数回答）

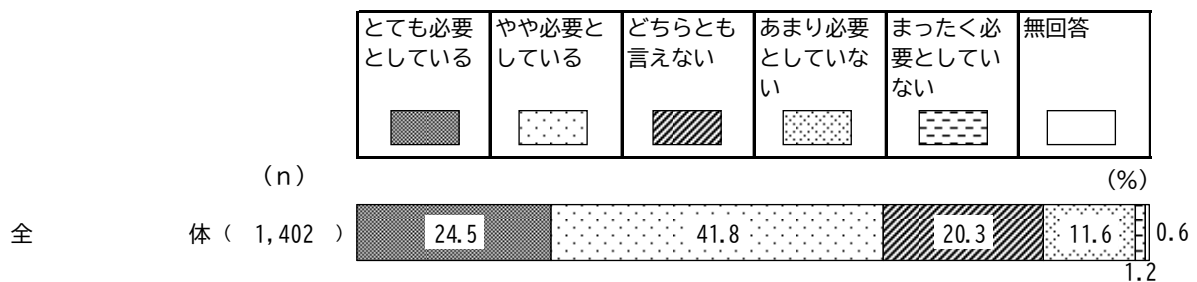


⑨ 子育てにあたっての地域の支えの必要性

問 38 あなたは子育てをするにあたり、地域の支えを必要としていますか。(1つに○)

子育てにあたっての地域の支えの必要性は、「やや必要としている」が41.8%と最も高く、次いで「とても必要としている」が24.5%、「どちらとも言えない」が20.3%となっている。

図表 2-104 子育てにあたっての地域の支えの必要性

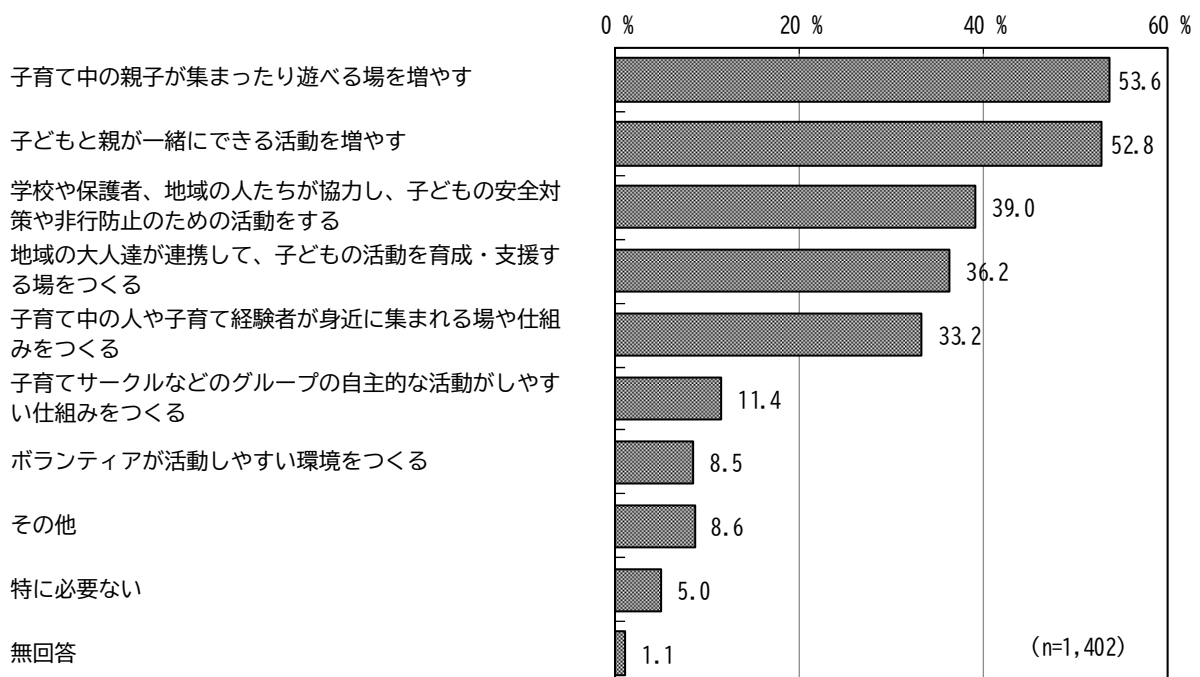


⑩ 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み

問 39 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

安心して子育てをするために地域で必要な取り組みは、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が53.6%と最も高く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が52.8%、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止のための活動をする」が39.0%と続いている。

図表 2-105 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み（複数回答）

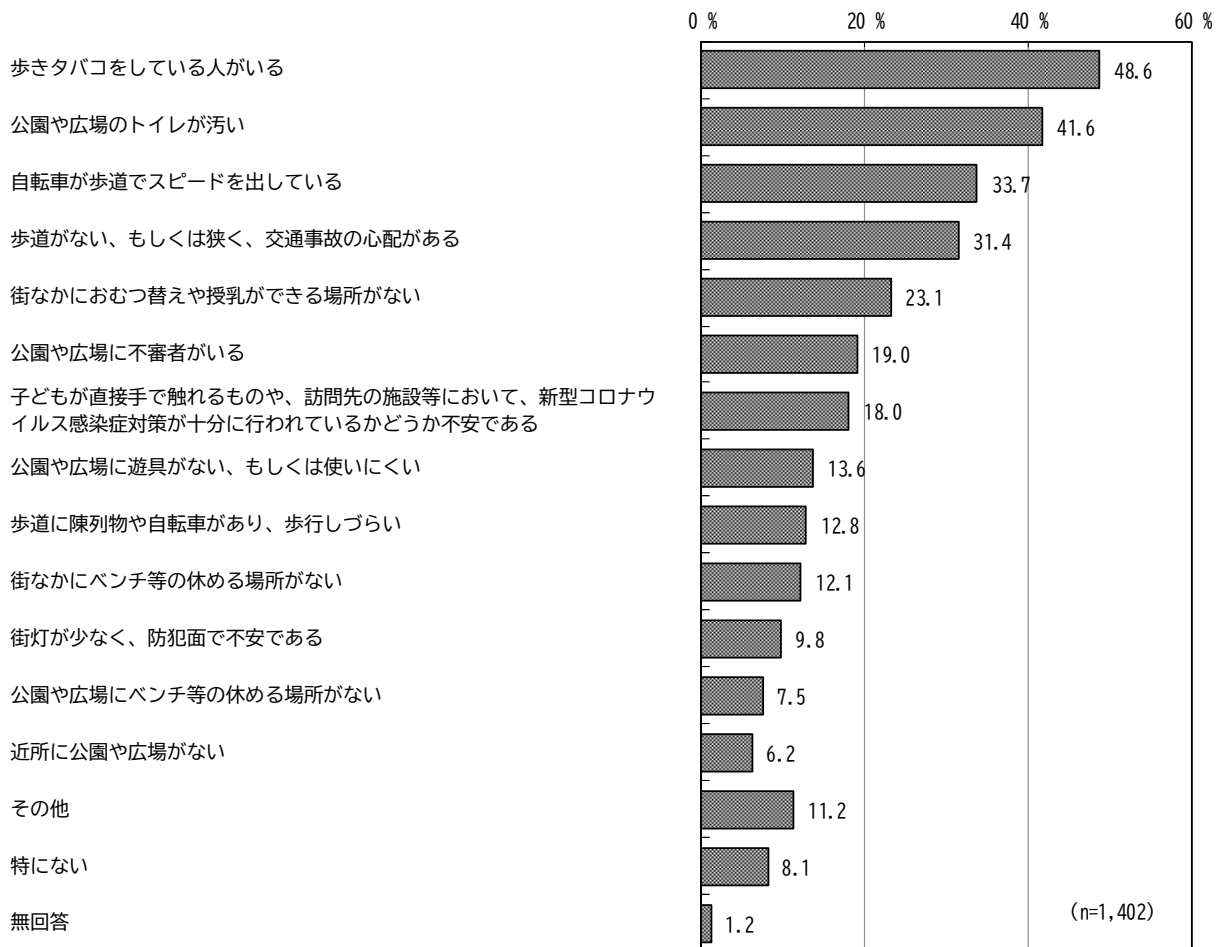


① 子どもと一緒に外出する際に、気になること

問 40 宛名のお子さんと一緒に外出する際に、特に気になることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもと一緒に外出する際に、気になることは、「歩きタバコをしている人がいる」が48.6%と最も高く、次いで「公園や広場のトイレが汚い」が41.6%、「自転車が歩道でスピードを出している」が33.7%と続いている。

図表 2-106 子どもと一緒に外出する際に、気になること（複数回答）



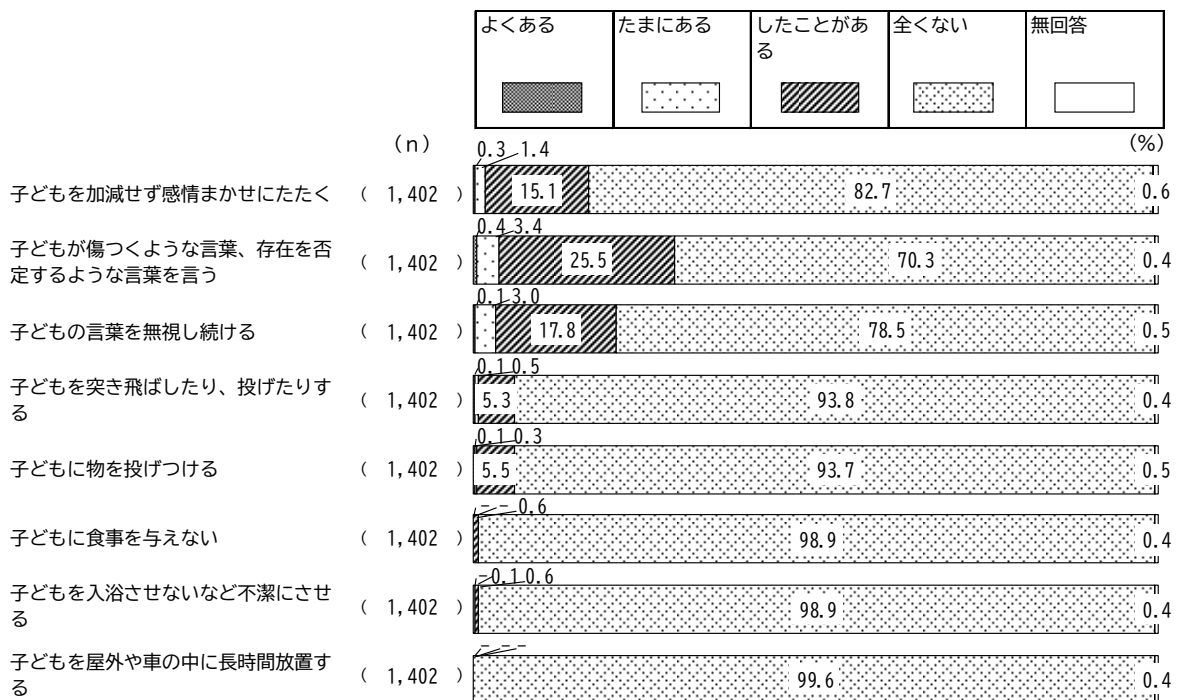
⑫ 子どもへの接し方

問 41 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。(①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

- ①子どもを加減せず感情まかせにたたく
- ②子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う
- ③子どもの言葉を無視し続ける
- ④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする
- ⑤子どもに物を投げつける
- ⑥子どもに食事を与えない
- ⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる
- ⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する

子どもへの接し方をみると、全ての項目で「全くない」が最も高くなっている。「したことがある」は『子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う』が25.5%と最も高くなっている。

図表 2-107 子どもへの接し方

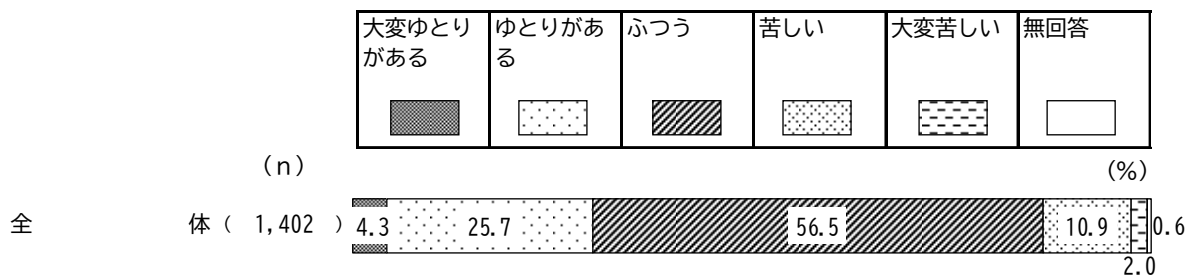


⑬ 現在の暮らしぶり

問 42 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

現在の暮らしぶりは、「ふつう」が56.5%と最も高く、次いで「ゆとりがある」が25.7%、「苦しい」が10.9%となっている。

図表 2-108 現在の暮らしぶり



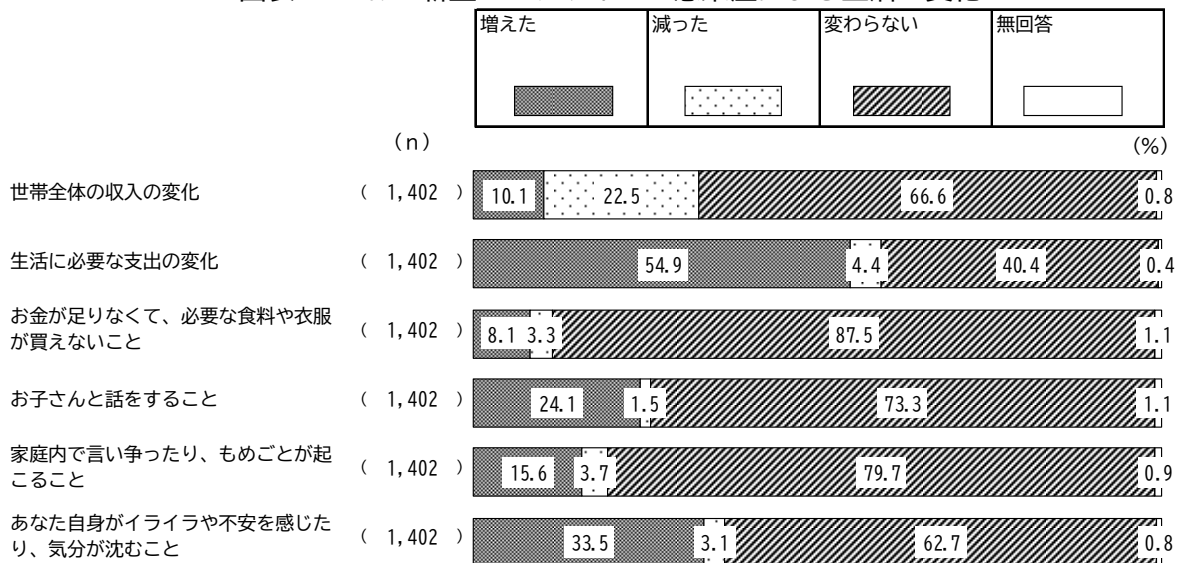
⑭ 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

問 43 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前（2020年4月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（①～⑥ごとにそれぞれ1つに○）

- ①世帯全体の収入の変化
- ②生活に必要な支出の変化
- ③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと
- ④お子さんと話をする事
- ⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること
- ⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症による生活の変化をみると、『生活に必要な支出の変化』は「増えた」が最も高くなっている。それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっている。

図表 2-109 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

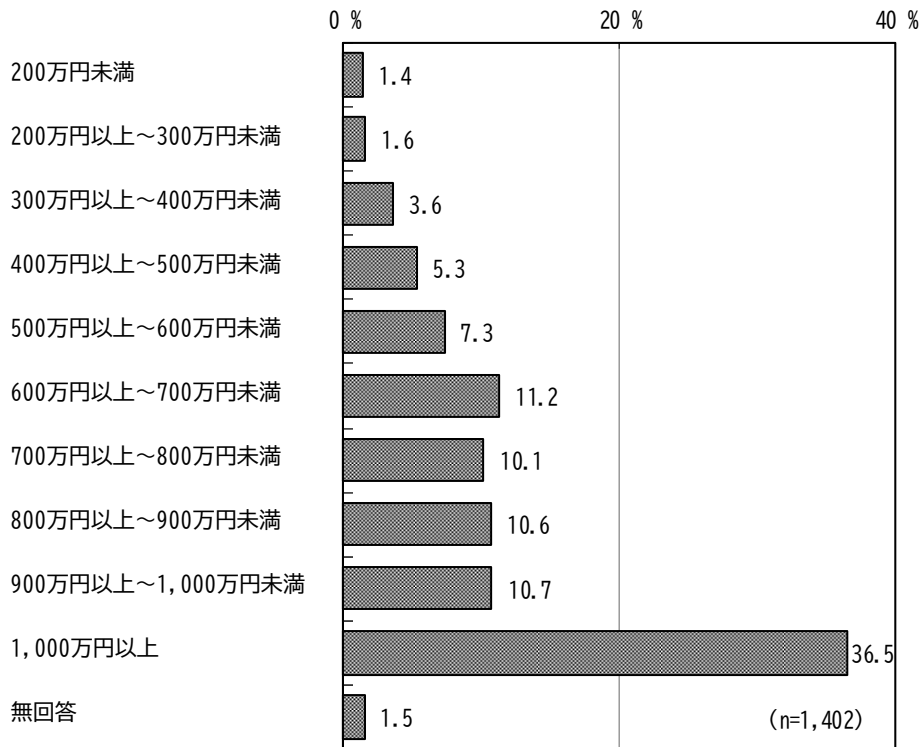


⑮ 世帯年収

問 44 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

世帯年収は、「1,000万円以上」が36.5%と最も高く、次いで「600万円以上～700万円未満」が11.2%、「900万円以上～1,000万円未満」が10.7%となっている。

図表 2-110 世帯年収

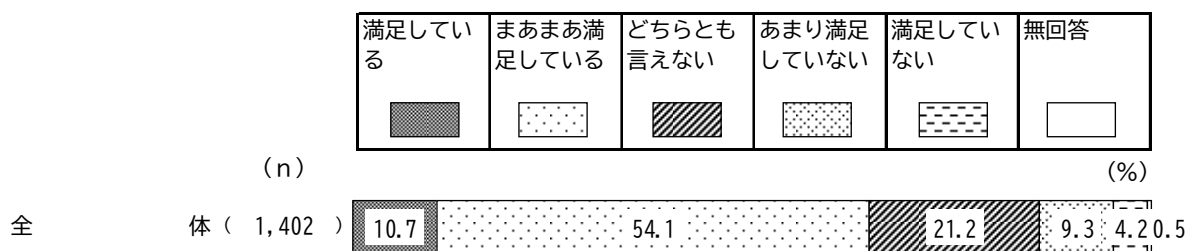


⑯ 北区の子育て環境や支援への満足度

問 45 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

北区の子育て環境や支援への満足度は、「まあまあ満足している」が54.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が21.2%、「満足している」が10.7%となっている。

図表 2-111 北区の子育て環境や支援への満足度



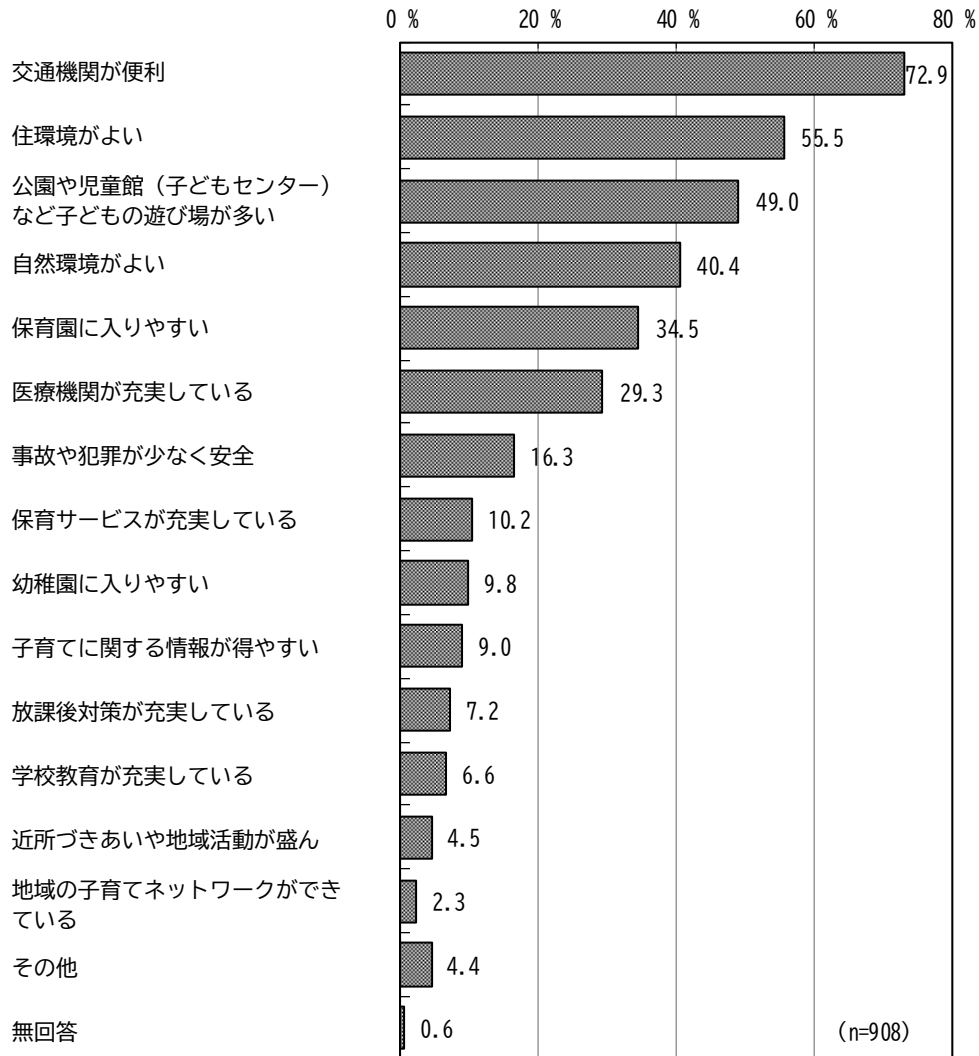
⑰ 満足度が高い理由

【問 45-1 は、問 45 で「4. まあまあ満足している」「5. 満足している」と回答した方にうかがいます】

問 45-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

満足度が高い理由は、「交通機関が便利」が 72.9%と最も高く、次いで「住環境がよい」が 55.5%、「公園や児童館（子どもセンター）など子どもの遊び場が多い」が 49.0%と続いている。

図表 2-112 満足度が高い理由（複数回答）



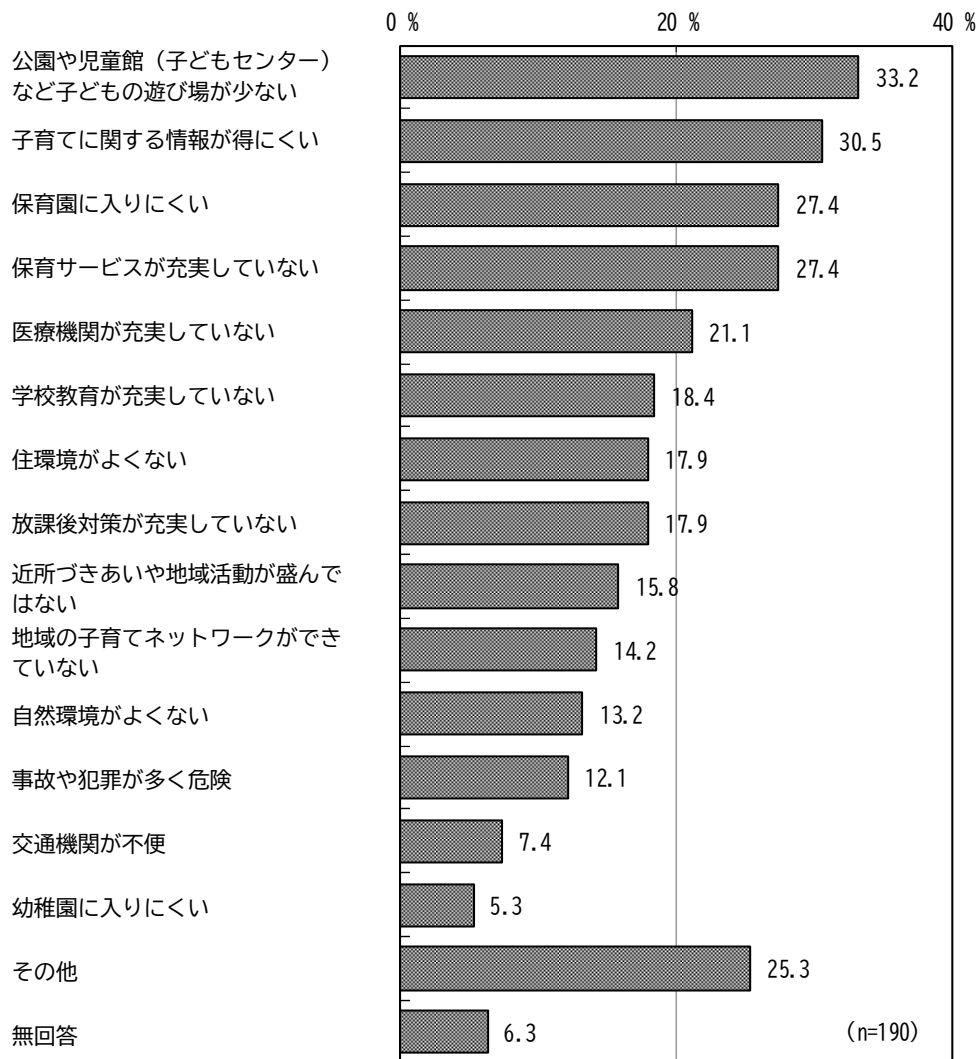
⑱ 満足度が低い理由

【問 45-2 は、問 45 で「1. 満足していない」「2. あまり満足していない」と回答した方に
うかがいます】

問 45-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

満足度が低い理由は、「公園や児童館(子どもセンター)など子どもの遊び場が少ない」が33.2%と最も高く、次いで「子育てに関する情報が得にくい」が30.5%、「保育園に入りにくい」「保育サービスが充実していない」がともに27.4%と続いている。

図表 2-113 満足度が低い理由(複数回答)



(13)自由意見

問 46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

① 子育て環境(安全・安心)(228 件)

- ・安全、安心のもとに子どもたちを育てていきたいので、交通面で危険な所は調査し、規制を設ける等の改善策を取ってほしいです。何かあってから動くのでは遅いので、子どもを中心とした安全整備をお願いします。
- ・赤ちゃんを連れて入りやすい飲食店やスーパーが増えてくれると嬉しく思います。また、住んでいる地域には乳児が遊んだりゆったりと過ごせる芝生の公園がないため、そういった施設ができてくれると助かります。子どもがもう少し大きくなった時に室内でも遊べるレジャー施設もできてくれたら嬉しいです。
- ・公園に門限を設けて不審者などが入れないようにしている仕組みは大変ありがたいが、冬期（10～3月）は閉まるのが早い。10～11月くらいはもう少し開けてくれると嬉しい。赤羽公園など子どもがたくさん集まる場所に浮浪者が多いのがとても嫌。ベンチなども汚く使う気になれない。
- ・子育て環境の充実に公園の満足度も大きく影響すると思います。ゴミが散乱しており、不法投棄があるような公園は、治安悪化も心配されるので、綺麗に保てる仕組み作りがあるといいなと思います。家族で気軽にピクニックができるような綺麗な公園が増えると嬉しいです。これからも北区がよりよい街になることを願っています。
- ・田端駅近辺に在住ですが、住みやすいと感じています。歩道が狭いまたは無く、子どもが歩く時には不安を感じる場面も多いので改善されるとより嬉しいです。公園はどこも綺麗に整備されており、素晴らしいと思います。
- ・公園にパトロール（注意できる人）がいてほしい。

② 保育園・幼稚園等(就学前教育含む)(141 件)

- ・子どもを保育園に入園させた時と加点の変更があり子ども園に転園できず、仕方なく幼稚園に通っている。フルタイム勤務の為、生活が大変。(子どもの送り迎え、預かり時間が短時間の為)希望する保育園の人数枠を確保すべき。区への転入を受け入れる前にきちんと保育園枠を準備していない事に不満。
- ・育休の延長ができるように、保育園の申込時に辞退にチェックできる区があると聞きました。北区の現状が分かりませんが、もしまだならぜひ導入してほしいです。
- ・希望する保育園に入園できる仕組みをお願いしたい(親が納得できる保育園)。
- ・北区の幼稚園の給食の質を上げてほしい。もっと食育に力を入れるべきだと思う。
- ・現在、保育園に通わせていますが、3歳までのクラスしかなく、今後転園先が見つかるか不安です。子どもを出産しても働けるような環境整備をもっとお願いしたいです。
- ・現在、利用している保育園の施設がかなり古いため床や階段、玄関などリフォームする予算はないのかなと思います。私立の新しい保育園と比べるとかなり生活環境の差があると思うので他園とのバランスも考えて保育環境の改善に力を入れていただけるとありがたいです。

③ 経済的支援(生活困窮含む)(122 件)

- ・北区子育てにっこりパスポートや子育て応援とうきょうパスポートがありますが、あまり充実していると思えません。埼玉県に住んでいたときはパパママ応援ショップカードで割引になるところも多かったので協賛店がもっと増えるといいなと思います。
- ・所得制限なしで子どもの医療費を 15 歳まで保証してくださったり、子育て支援に力を入れてくださってとても助かっています。
- ・北区独自の子育て給付金等の検討をお願い致します。
- ・いつも上手にクーポンやサービスを使うことができません。もう少し期間を長く設けて、使用方法について考える時間がほしいです。
- ・大学までは学費負担もなしがいい。育児手当も少ない。現金が難しいのならば子育て全般で使える商品券を発行してもらいたい。金銭的な不安から、2 人目を増やしたくても躊躇してしまう。出産、育児にもっと投資すべき。全く足りない。
- ・ひとり親への支援だけではなく平等に給付金等に関しては考慮してほしい。子どもにかかる費用はみな同じなので、子の年齢・年取での区分はやめてほしいです。

④ 各種保育サービス(95 件)

- ・子どもを育てる親のための支援が充実したら良いのと思う。
- ・育児に関わるイベントは何故いつも平日なのでしょうか。共働きが多い昨今、土曜も対応していただくとありがたいです。辛口に意見しましたが、出産してからは沢山のサポートをしていただきありがとうございました。今後もバースデーなど手厚いサポートを期待しています。
- ・仕事をしているとお迎えに行く時間がぎりぎりになることが多いので、送迎サポートをしてくれるサービスがほしい。また、土日に家事を手伝ってくれるサービスもほしい。夫婦共にフルタイムで働いていると休みの日は子どもと向き合いたいので、家事（食事、掃除等）に時間をかけたくありません。働く人の助けとなるサービスを増やしてください。
- ・第二子の出産に伴い緊急保育の利用も検討したが、確実に利用できる保証もなく、断念したことがあった。親の有事の際や、親が精神的に辛いときに、緊急避難的に使うことのできる保育施設・事業について、事前手続の簡素化を図ってほしい。
- ・結婚を機に北区に転入し出産しました。北区に子育て支援のイメージはなかったですが、子どもセンターも綺麗で、子育て支援は手厚いと感じています。特に産後ショートステイは心身がリフレッシュできてとても良かったです。
- ・ファミリーサポートに登録しましたが、住んでいる地域にサポート会員の方が少なく見つからないかもと言われました。また 1 か月前に予約しなくてはならないので利用がしにくいと感じました。清瀬市にある NPO では地域のボランティアの方の協力等もあり、24 時間一時預かり訪問などを行っているそうです。北区にも子育てを気軽に相談でき、悩みを聞いてくれる場所や訪問サービスがあったらいいなと思いました。

⑤ 地域の子育て支援拠点等(65 件)

- ・室内で遊べる施設の拡充（児童館や子どもセンターとは別に）
- ・公園や児童館の設備を充実させてほしい。足立区のギャラクシティ、板橋区の子ども動物園、戸田市のこどもの国のような、目玉となるような遊び場（土日でも利用可）がほしい。
- ・無料で利用できる子どもの遊び場を増やしてほしいです。隣の豊島区は無料の遊び場が新しく設備も綺麗で、しかも土日も使えるのでよくそちらを利用しています（パパママすぽっと、としまキッズパークなど）。公園も豊島区の方が綺麗に整備されている所が多いように思います。
- ・以前他の市に住んでおりましたが、支援センターへ遊びに行くと、いつも職員さんが子どもと一緒に遊んでくれて、親の相談にもその際に応じてくれました。乳幼児クラブやイベント以外で行くと、親と子だけのいつもの遊びになってしまうため、難しいかもしれませんが、子どもが自由なかたちで職員さんと遊べる機会があると嬉しいです。
- ・児童館はとてもすばらしく、ありがたく利用させていただいています。豊島区のように「カード」の制度を作っていただきたいです。毎回、氏名、住所など書くのが本当に面倒です。ぜひとも改善していただきたいです。
- ・個人的には、イヤイヤ期の子どもを子育て支援の場に連れ出すのが億劫で利用していることが少ないですが、サービスを使ってないという意見があっても変わらず子育て環境整備への投資を減らさないでほしいです。支援の場があるという事実だけでも救われますし、初めて児童館に行った時（散歩中私の急な腹痛で駆け込み、横になって休んでいる間子どもを見てもらえました）、本当に助かりました。

⑥ 相談・情報提供(58 件)

- ・働き続けながら子育てすることが想像以上に難しく、アドバイスを受けたいと思うが、悩みに合う相談機関がなかなか見つからない。
- ・近所の児童館のイベントが街中の掲示板や児童館へ直接行かないと分からないので、もっと情報を得やすくなると良い。ポスト投函、メール配信等で受動的に情報が得られると良い。
- ・身近な所にある子ども食堂等の利用の仕方がわからないなど、子育て支援等に関する情報がなかなか各世帯に届いていないのではないのでしょうか。保育園に通っているので、園を通して情報等がまとめられたチラシが配られたら、ママたちはとても助かると思います。
- ・子どものお出掛け先候補が一目で分かるような WEB ページなどがあるとありがたいです。公園や遊び場など、公営でも魅力的な所が沢山あると思うのですが情報弱者のためなかなか知る機会が無く、保育園のお友だちに教えてもらうこともあります。
- ・アプリの充実以外に区に登録されている子ども世帯へ郵送物による案内も増やしてもらえると、自分から調べない親にも一度は目にする機会もでき、知る機会が増えると思う。未就学児が参加出来るイベント（ばねっ子まつりなど）を知ってもらうためには、幼稚園に入るまでは、やはりコストがかかっても紙での配布は必要だと思いました。

⑦ 小学校等(教育含む)(48 件)

- ・小学校の宿題や、学習の助けになるような支援サービスがあれば、もう少し第二子以降に関わってあげられるのではないかと考えています。

- ・各学校へ常勤のスクールカウンセラーを義務化して、いじめの防止、早期発見、合理的配慮のアセスメントを浸透させてほしい。学校教育に携る教員の処遇改善（採点、掃除、給食指導、ICTなどは事務員を雇って実施し、教員が授業に専念できる環境を整える）
- ・学校の先生の負担が大きく、心配です。低学年の頃は、もっと細やかなケアをしてほしいところですが、人員の関係でそれは難しいと理解しています。低学年のときは、パソコン学習や各種コンクールに励むよりも、保育園とのギャップに子どもが苦しまないよう、温かい学校運営をしていただきたいです。小学校の6年間は、その後の進路、人格形成にとっても影響すると思うので、子どもにも先生方にもストレスの少ない本来の教育に集中できる環境であってほしいと願っています。
- ・小学校に入る前などにも小学校のプレ教室みたいな事があれば、子どもも安心して小学校に行けるのかなと思う。

⑧ 地域における子育て支援(42件)

- ・子どもと保護者が一緒に参加できるワークショップの開催などのイベントを企画してもらえると嬉しいです。
- ・区で主催するイベント（子ども用）や習い事体験（子ども用）などもっと多く企画してほしい。プールや体験教室など北区内で少ないので、土日は既に満員で入れず、困っています。
- ・プレイパークや地域でハロウィンのイベントがあり（今年は無かったが）、子どもにとって楽しいイベントがボランティアさんによって行われてとても助かります。
- ・日曜などに参加できるイベントがもっと充実していると嬉しいです。
- ・区や行政が主体となった、教室が多くあるといい。老人が多いと思うので、地域の幅広い年代の人が一緒にとり組む何かイベント等があると良い。核家族の為、日ごろから老人と接している子どもは少数だと思う。フリーマーケット（無償）のものを大規模な公園等で行政が中心となって行ってくれると良い。以前ティーンズセンターとかで行っていた。

⑨ 病児・病後児保育(36件)

- ・土日でも病後児保育できる場所があると助かります。
- ・子どもの病気時に預かる場所をもっと増加して、預かりやすさと安全性も高めてほしい。在宅ワークで子どもの看病もしやすいとはいえ、仕事が忙しい時、なかなか両方できない。
- ・病児・病後児保育は何度か利用させていただきましたが、記入する書類や手続きも多く、制度を利用するのにハードルが高く感じる親も多いただろうと感じました。

⑩ 就学後の放課後の過ごし方(34件)

- ・就学前は保育・生活の支援がありますが就学後は支援が急に減ります。自身のライフワークバランスを保持し、生活を充実させていくためにも就学後の支援の継続を望みます。ファミサポもマッチングが難しく、就学後の朝の対応及び延長学童以降の時間の対応も課題です。
- ・小学生になると放課後子ども教室や学童クラブ等で手厚く見ていただけて感謝しています。

- ・未就学児に関することではありませんが、学童に入る要件が少し厳しいと感じる。仕事をしていても該当する時間に預けていないと入れないと、仕事をしている人、特に近所に家族が住んでいないと働き続けるのは難しいと感じる。
- ・学童クラブの夏休みなどの学校休業日の利用時間を保育園のように朝7時台からにしたいです。学校休業日は4～6年生も利用できるようにしたいです。

⑪ 健康・医療(21件)

- ・田端地区の小児科の数が少ない。かかりつけの病院が見つげづらいように感じる。
- ・子どもの先天的な持病で一生服薬が必要なケース等は、手続きなく医療費の支援が継続するといったのにとっています。
- ・インフルエンザの予防接種時に、かかりつけ医で子どもへの接種を行ってなく、どの病院が行っているのか探るのが大変だった。情報がなかったので一覧で対応している病院が分かるの良いなと思いました。

⑫ 就労・介護等(17件)

- ・会社での育児休業制度は取得しやすくなっはきましたが、その間の収入が減ってしまうので、結局余裕があまりない人は育休を取りにくいかなと思います。そこを区や都で保障してもらえると、もう少し安心して育休を取り子育てできると思います。
- ・育児休業の制度化などが進んでいるが、実際の職場では人材不足などで育休を取りづらかったり、職場復帰をしたくても休みが多くなることで、居づらくなり退職する人が多いと思いました。育休や子育てする本人達だけでなく、その人達を雇用する側の支援や、周囲の理解が得られる環境づくりが必要と思います。

⑬ 障害児等特に配慮が必要な子どもへの支援(13件)

- ・全国どこも同じなのかもしれませんが、子どもの発達に不安がある際の専門医や児童発達支援センターへの来所など予約待ちが数か月先となかなかしんどいです。待つのが辛いです。
- ・とにかく医療ケアが必要な子どもの受け入れ先が無きすぎる。ケア自体は、ほとんど無くても、胃に管が入っているというだけで、保育園の受け入れ先は全くなく、通園など発達支援事業所も無い。医療ケアを必要とする子どもは増えていくのだから一日も早く、保育園の受け入れ体制を整えるべき。

⑭ 保育人材の確保・育成(13件)

- ・保育園に預けて仕事をしており、保育士の方々には本当にあたたかく接していただきとても助かるのですが、いい先生ほど辞めてしまいとても残念に思うことが多々あります。実際に支援にあたる方々への精神面フォローや給与は一体どうなっているのかと感じます。子どもや保護者には笑顔いっぱいでも、ふと見るととても疲れた表情をされており心配です。
- ・保育士の人数を増やしてほしい(国の基準では少な過ぎる)。

⑮ 妊娠・出産(11件)

- ・北区は分娩できる産婦人科が少なく感じます。もし下の子を妊娠したらと思うと心配です。
- ・コロナ禍で出産時（陣痛室・分娩室ともに）の立会が多く、多くの病院で未だに禁止です。また出産後の面会も全面的に禁止です。北区に限ったことではありませんがなぜコロナ禍に産むというだけで孤独な出産（一生に数回しかない）を強制されてしまうのかと悲しくなります。是非早期にせめて立会禁止は解除をお願いしたいです。

3. 小学生の子どもの保護者

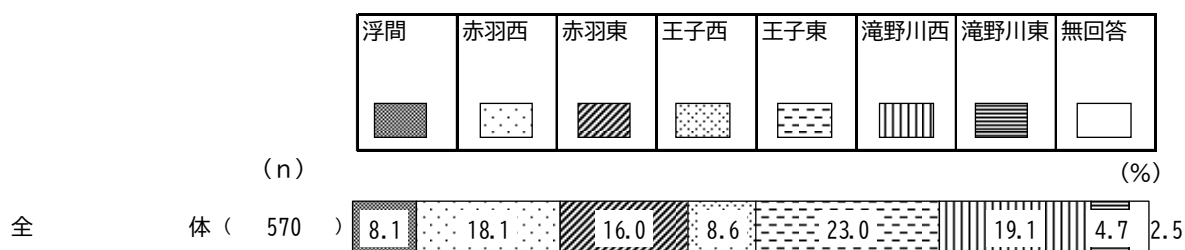
(1) 居住状況

① 居住地区

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

居住地区は、「王子東」が23.0%と最も高く、次いで「滝野川西」が19.1%、「赤羽西」が18.1%となっている。

図表 3-1 居住地区

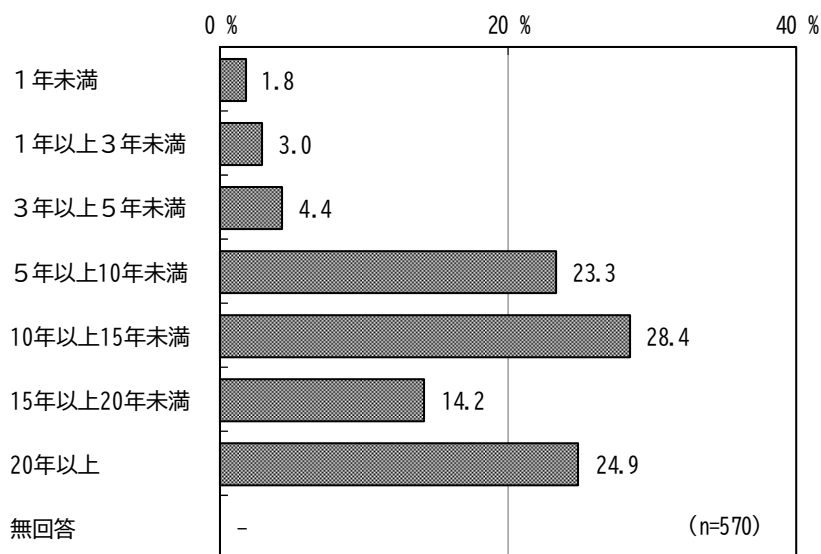


② 居住年数

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

居住年数は、「10年以上15年未満」が28.4%と最も高く、次いで「20年以上」が24.9%、「5年以上10年未満」が23.3%となっている。

図表 3-2 居住年数

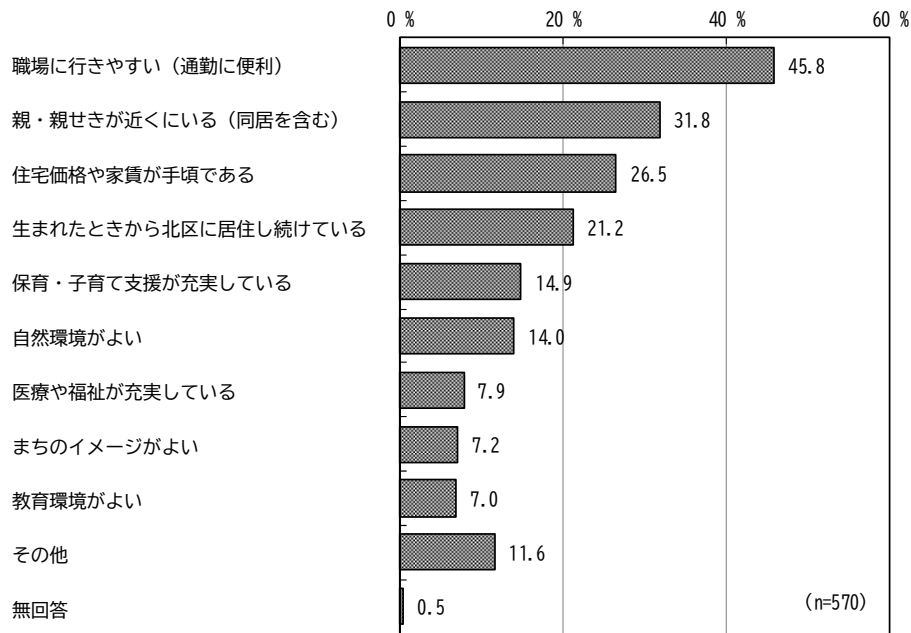


③ 北区に住んでいる理由

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

居住理由は、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が45.8%と最も高く、次いで「親・親せきが近くにいる(同居を含む)」が31.8%、「住宅価格や家賃が手頃である」が26.5%と続いている。

図表 3-3 居住理由(複数回答)



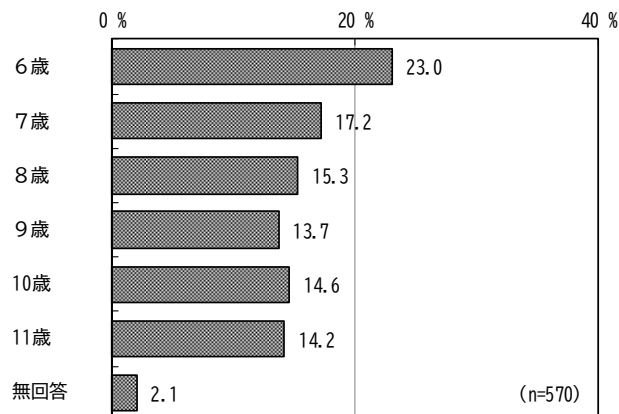
(2) 宛名の子どもと家族の状況

① 宛名の子どもの年齢

問4 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

子どもの年齢は、「6歳」が23.0%と最も高く、次いで「7歳」が17.2%、「8歳」が15.3%となっている。

図表 3-4 子どもの年齢



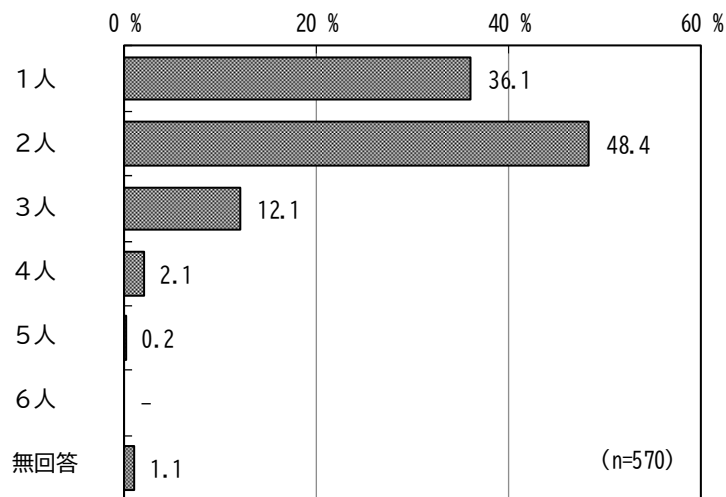
② きょうだいの人数と年齢

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。また、生年月月をご記入ください。

■きょうだいの人数

きょうだい数は、「2人」が48.4%と最も高く、次いで「1人」が36.1%、「3人」が12.1%となっている。

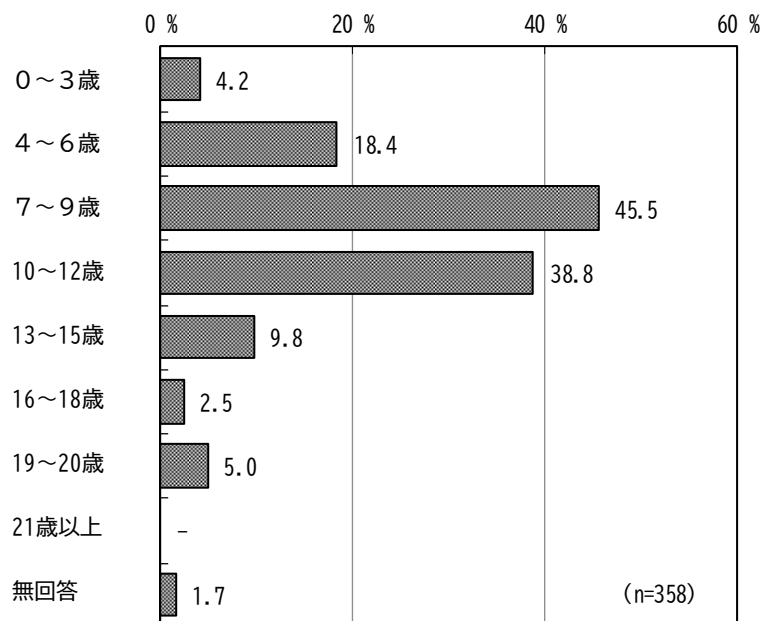
図表 3-5 きょうだい数



■きょうだいの年齢

きょうだいの年齢は、「7～9歳」が45.5%と最も高く、次いで「10～12歳」が38.8%、「4～6歳」が18.4%と続いている。

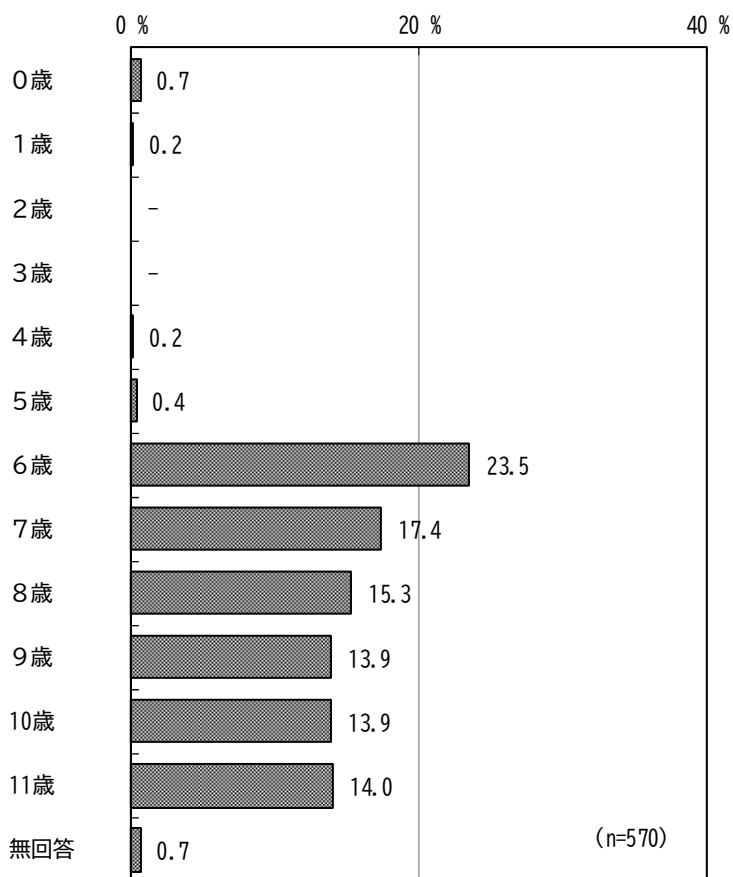
図表 3-6 きょうだいの年齢（複数回答）



■末子の年齢

末子の年齢は、「6歳」が23.5%と最も高く、次いで「7歳」が17.4%、「8歳」が15.3%となっている。

図表 3-7 末子の年齢

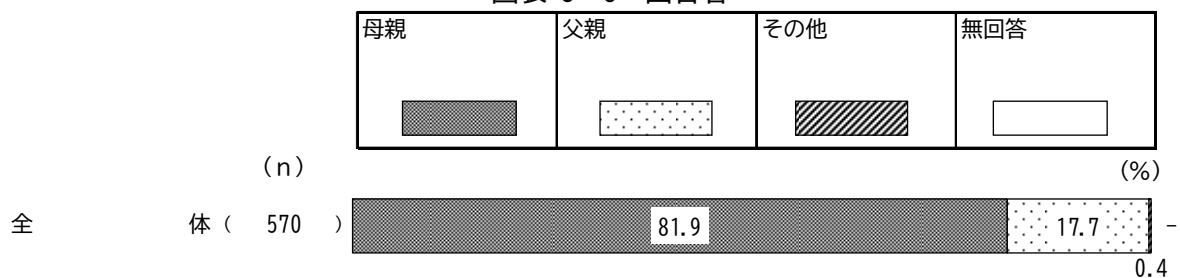


③ 回答者

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

回答者は、「母親」が81.9%、「父親」が17.7%となっている。

図表 3-8 回答者

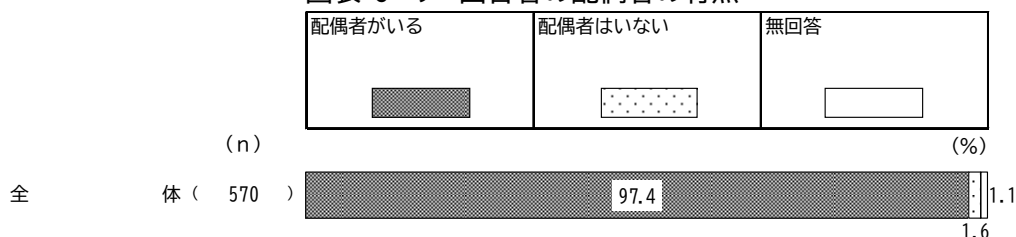


④ 回答者の配偶者の有無

問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が97.4%、「配偶者はいない」が1.6%となっている。

図表 3-9 回答者の配偶者の有無

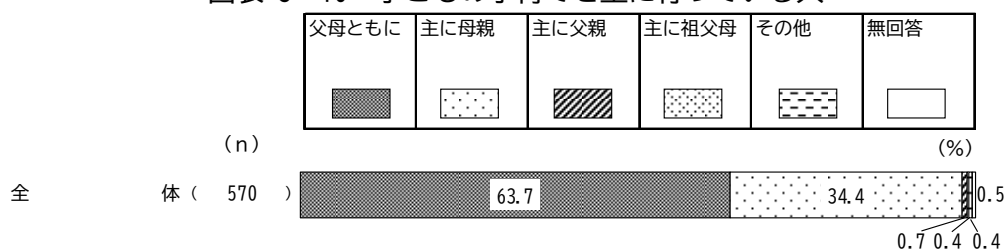


⑤ 宛名の子どもの子育てを主に行っている人

問8 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

子どもの子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が63.7%と最も高く、次いで「主に母親」が34.4%、「主に父親」が0.7%となっている。

図表 3-10 子どもの子育てを主に行っている人



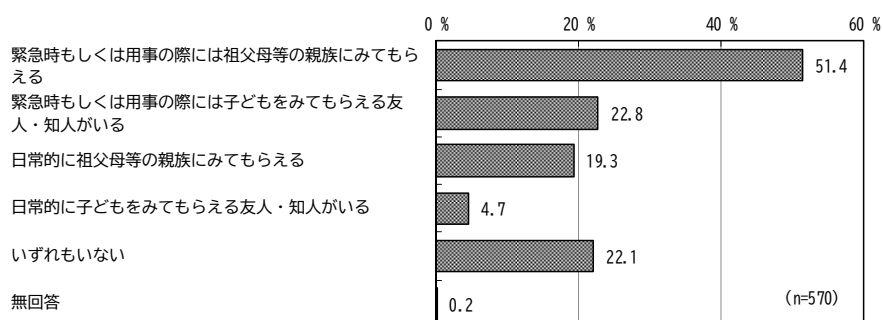
(3) 子どもの育ちをめぐる環境

① 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.4%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が22.8%、「いずれもない」が22.1%と続いている。

図表 3-11 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

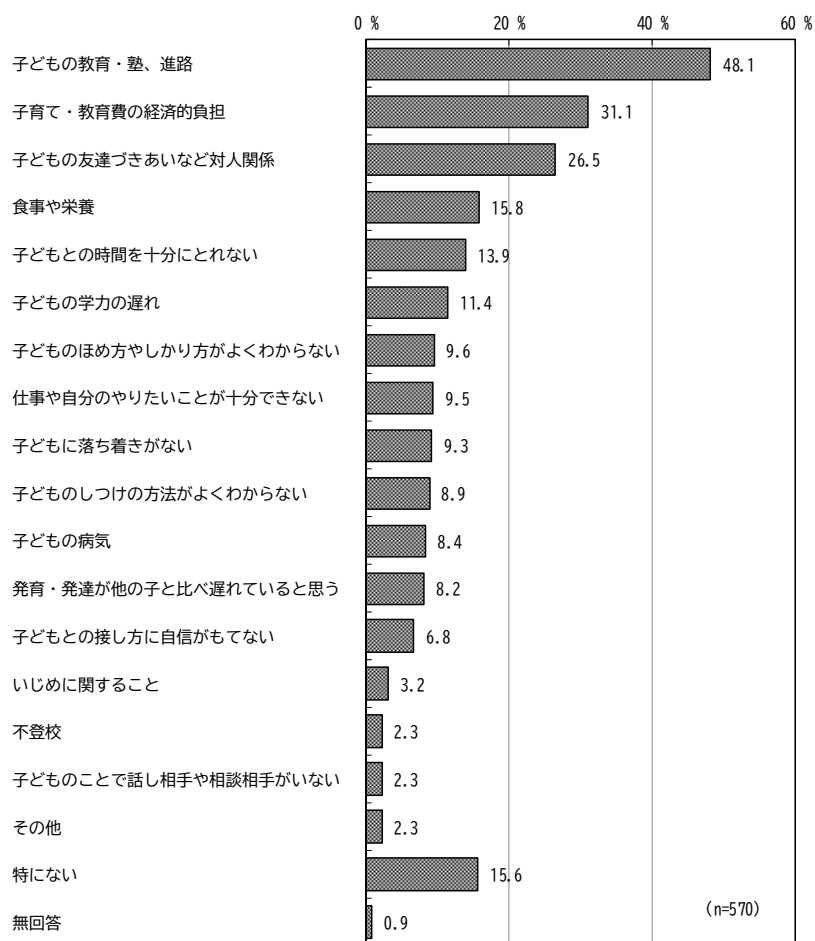


② 子育てに関して悩んでいること・気になること

問 10 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して悩んでいること・気になることは、「子どもの教育・塾、進路」が48.1%と最も高く、次いで「子育て・教育費の経済的負担」が31.1%、「子どもの友達つきあいなど対人関係」が26.5%と続いている。

図表 3-12 子育てに関して悩んでいること・気になること（複数回答）

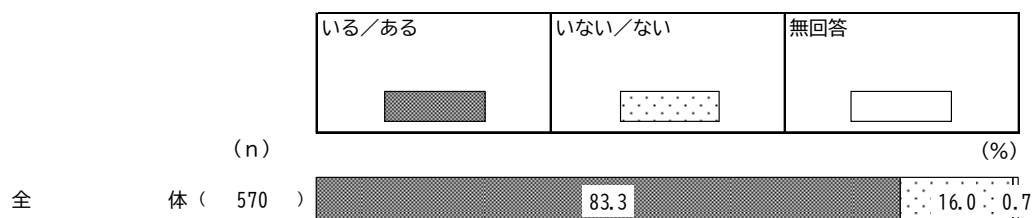


③ 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

問 11 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つに○）

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる／ある」が83.3%、「いない／ない」が16.0%となっている。

図表 3-13 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無



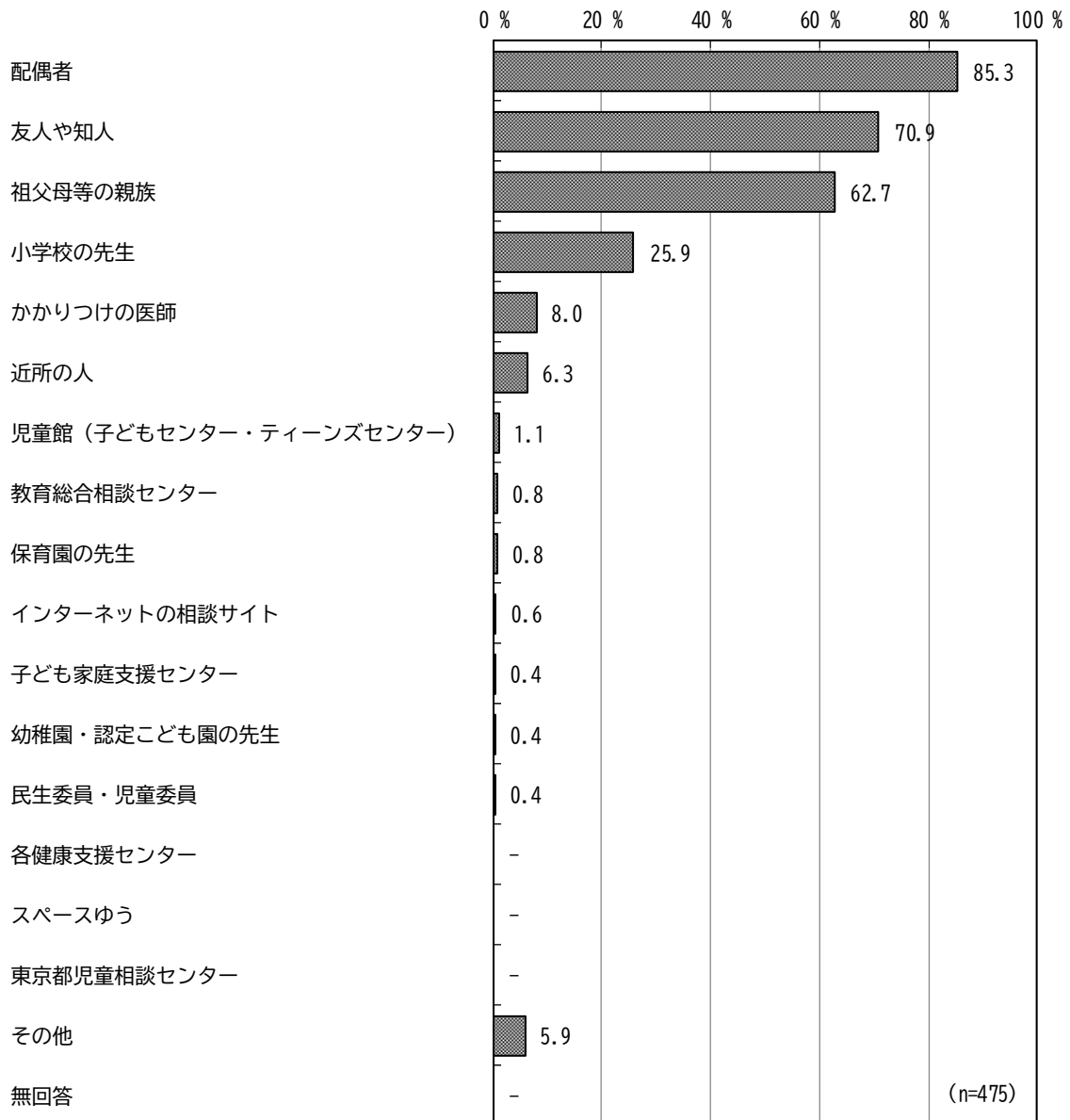
④ 気軽に相談できる相談先・人

【問 11-1 は、問 11 で「1. いる／ある」と回答した方にかがいます】

問 11-1 お子さんの子育て（家庭での教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽に相談できる相談先・人は、「配偶者」が 85.3%と最も高く、次いで「友人や知人」が 70.9%、「祖父母等の親族」が 62.7%と続いている。

図表 3-14 気軽に相談できる相談先・人（複数回答）



(4)保護者の就労状況

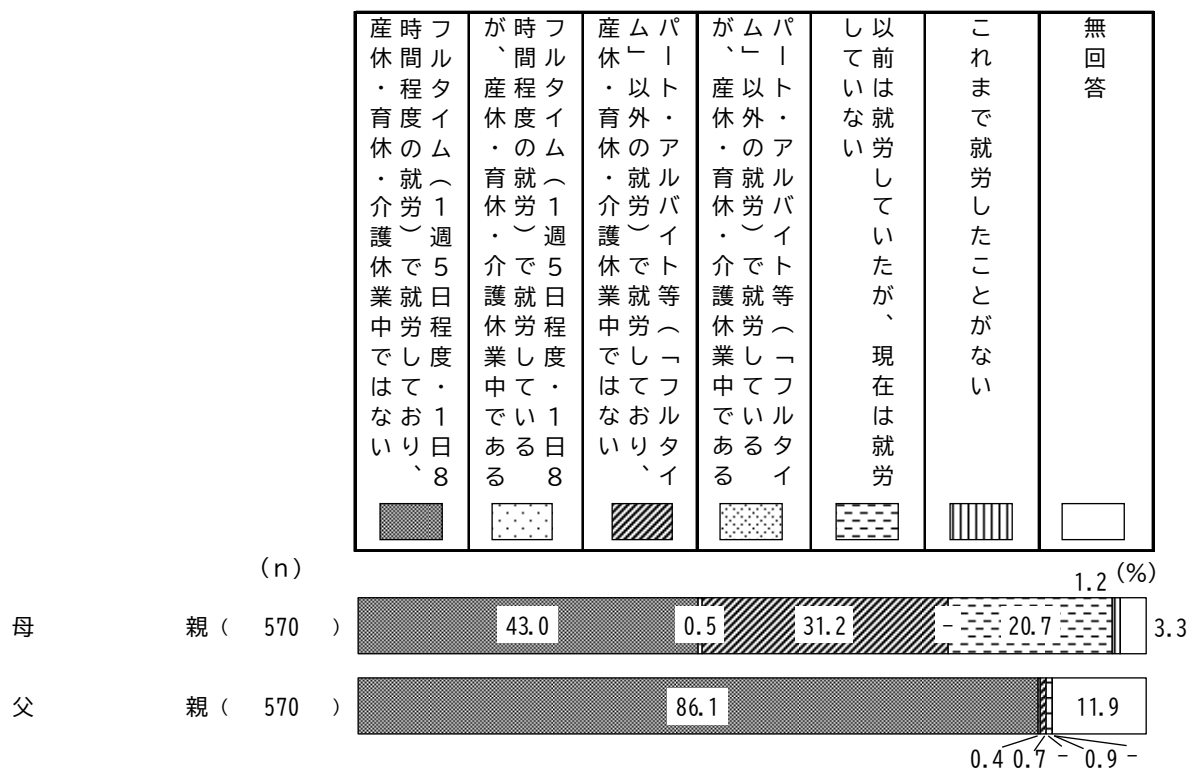
① 就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

保護者の就労状況を見ると、母親は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.7%となっている。

父親は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が86.1%と最も高くなっている。

図表 3-15 保護者の就労状況



② 就労日数・就労時間

【①は、問12で「1」から「4」（就労している）と回答した方にうかがいます】

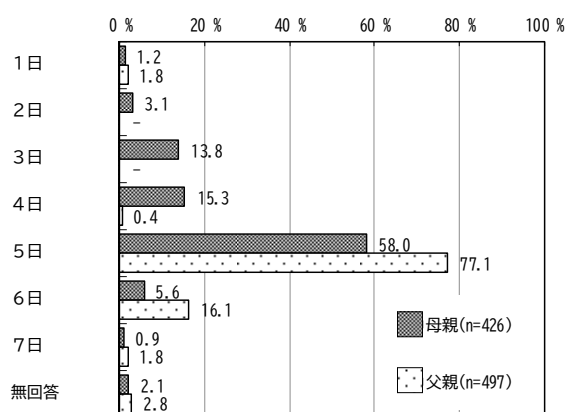
① 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数をみると、母親は、「5日」が58.0%と最も高く、次いで「4日」が15.3%、「3日」が13.8%となっている。

父親は、「5日」が77.1%と最も高く、次いで「6日」が16.1%、「1日」「7日」がともに1.8%となっている。

図表 3-16 1週当たりの就労日数

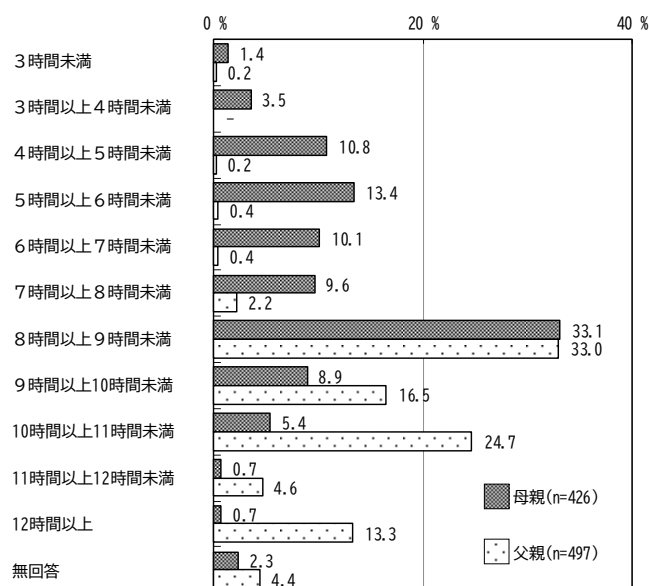


■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間をみると、母親は、「8時間以上9時間未満」が33.1%と最も高く、次いで「5時間以上6時間未満」が13.4%、「4時間以上5時間未満」が10.8%となっている。

父親は、「8時間以上9時間未満」が33.0%と最も高く、次いで「10時間以上11時間未満」が24.7%、「9時間以上10時間未満」が16.5%となっている。

図表 3-17 1日当たりの就労時間



③ 家を出る時間・帰宅時間

【②は、問12で「1」から「4」（就労している）と回答した方にうかがいます】

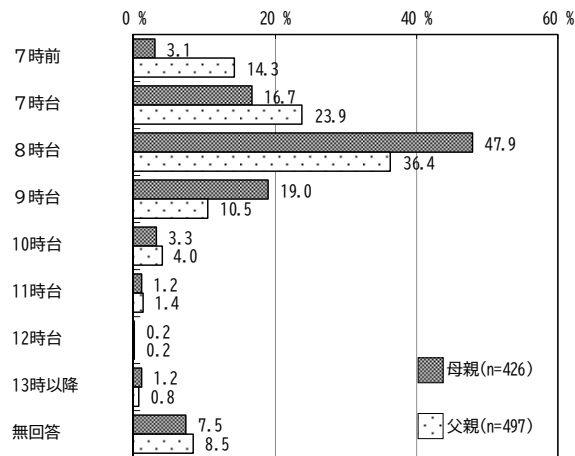
② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

■家を出る時間

家を出る時間をみると、母親は、「8時台」が47.9%と最も高く、次いで「9時台」が19.0%、「7時台」が16.7%となっている。

父親は、「8時台」が36.4%と最も高く、次いで「7時台」が23.9%、「7時前」が14.3%となっている。

図表 3-18 家を出る時間

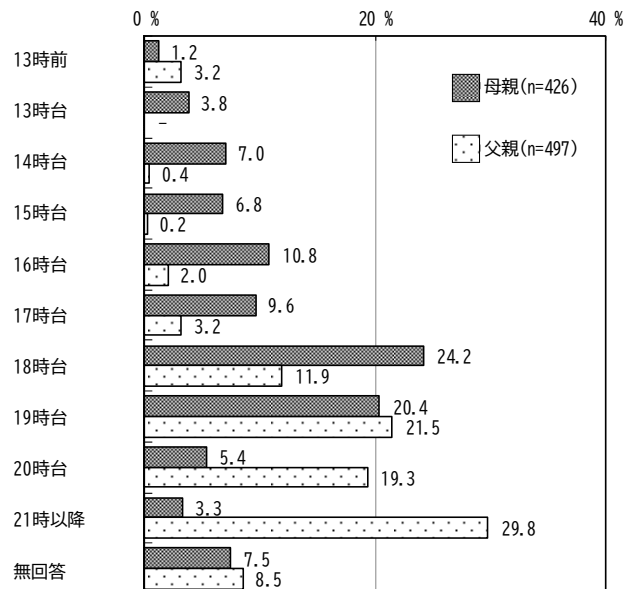


■帰宅時間

帰宅時間をみると、母親は、「18時台」が24.2%と最も高く、次いで「19時台」が20.4%、「16時台」が10.8%となっている。

父親は、「21時以降」が29.8%と最も高く、次いで「19時台」が21.5%、「20時台」が19.3%となっている。

図表 3-19 帰宅時間



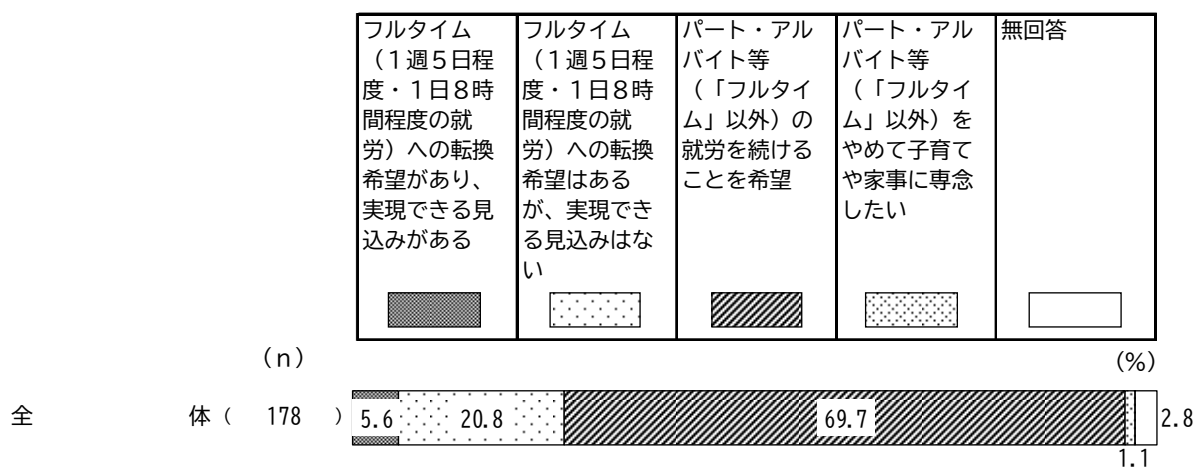
④ パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望(母親)

【問 13 は、問 12 で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方にかがいます】

問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

母親：パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労を続けることを希望」が69.7%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.8%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.6%となっている。

図表 3-20 母親：パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望



⑤ 就労希望(母親)

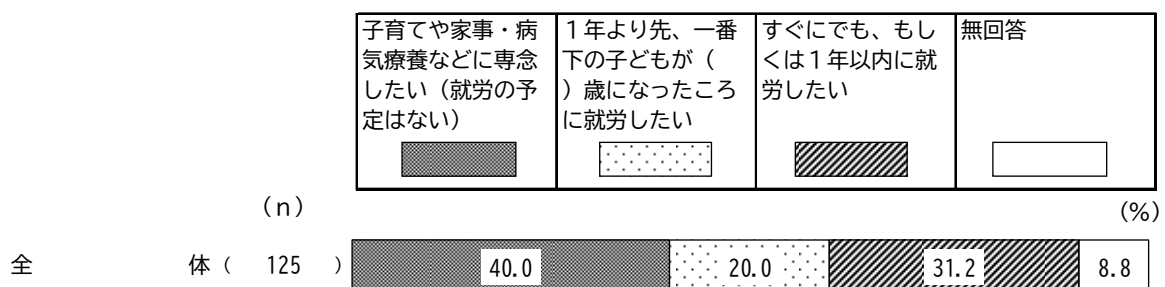
【問 14 は、問 12 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 15 へお進みください】

問 14 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

■母親：就労希望

母親：就労希望は、「子育てや家事・病気療養などに専念したい(就労の予定はない)」が40.0%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が20.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.2%となっている。

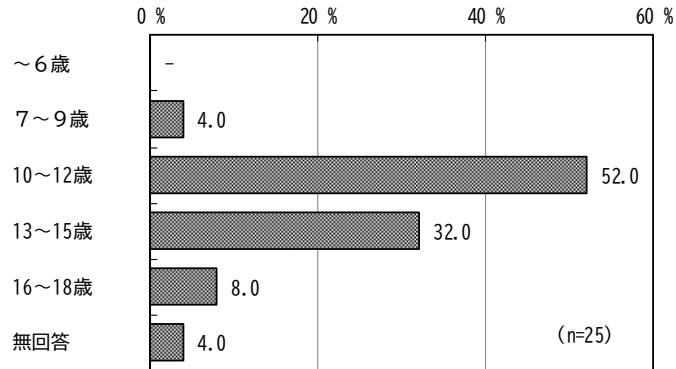
図表 3-21 母親：就労希望



■母親：就労時の子どもの年齢

母親：就労時の子どもの年齢は、「10～12歳」が52.0%と最も高く、次いで「13～15歳」が32.0%、「16～18歳」が8.0%となっている。

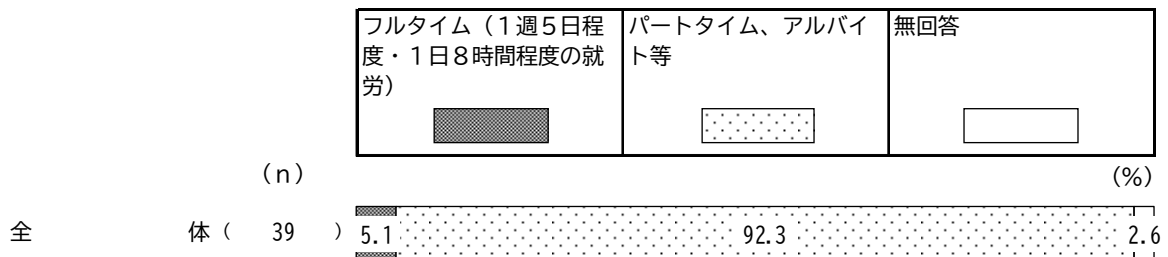
図表 3-22 母親：就労時の子どもの年齢



■母親：希望する就労形態

母親：希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が5.1%、「パートタイム、アルバイト等」が92.3%となっている。

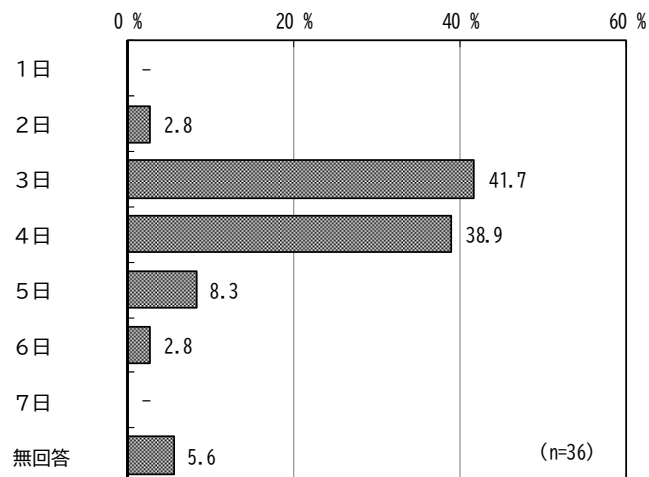
図表 3-23 母親：希望する就労形態



■母親：パート・アルバイトの希望する就労日数

母親：パート・アルバイトの希望する就労日数は、「3日」が41.7%と最も高く、次いで「4日」が38.9%、「5日」が8.3%となっている。

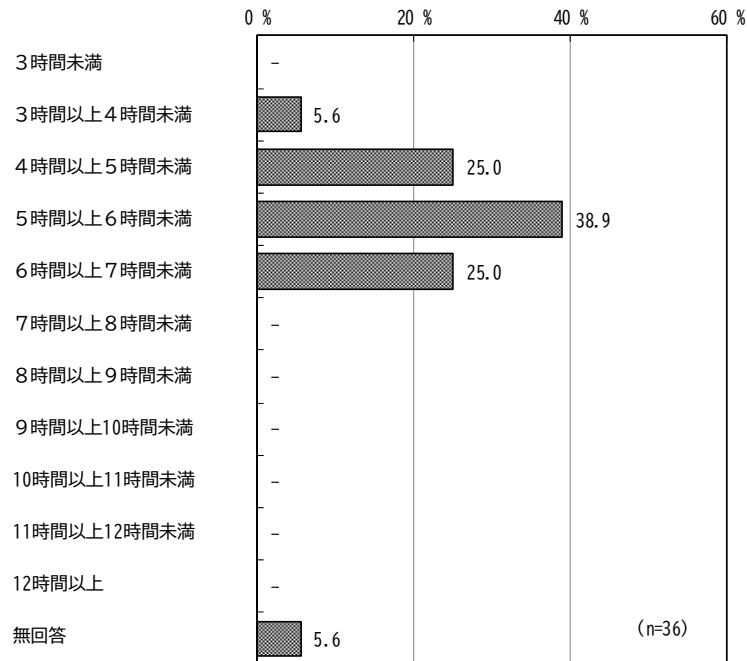
図表 3-24 母親：パート・アルバイトの希望する就労日数



■母親：パート・アルバイトの希望する就労時間

母親：パート・アルバイトの希望する就労時間は、「5時間以上6時間未満」が38.9%と最も高く、次いで「4時間以上5時間未満」「6時間以上7時間未満」がともに25.0%、「3時間以上4時間未満」が5.6%となっている。

図表 3-25 母親：パート・アルバイトの希望する就労時間



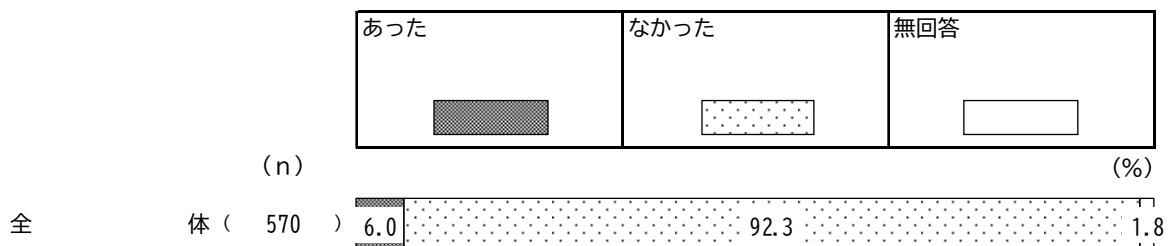
(5) 宿泊を伴う一時預かり等

問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

■この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無は、「あった」が6.0%、「なかった」が92.3%となっている。

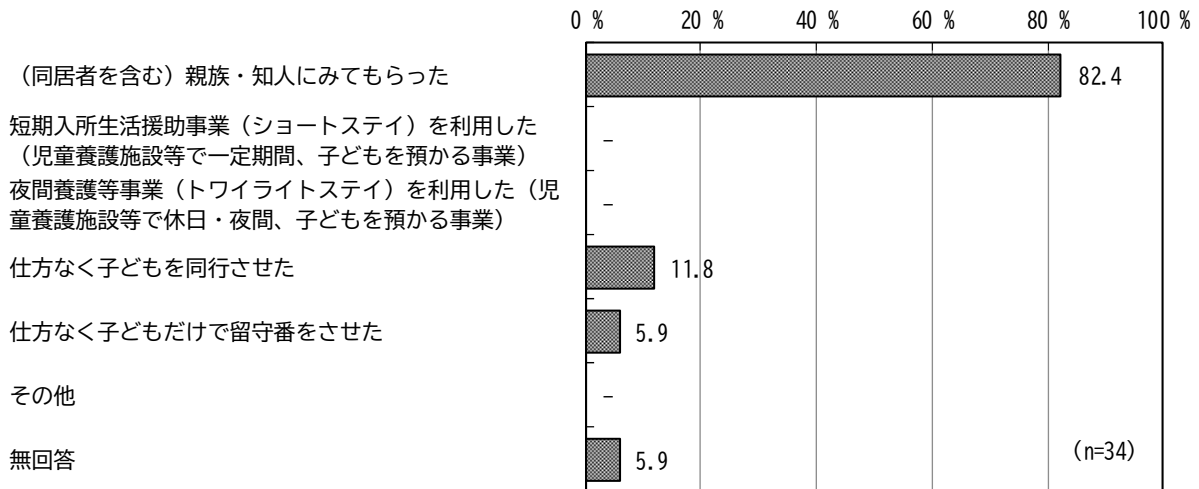
図表 3-26 この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無



■対処方法

対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が82.4%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が11.8%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.9%と続いている。

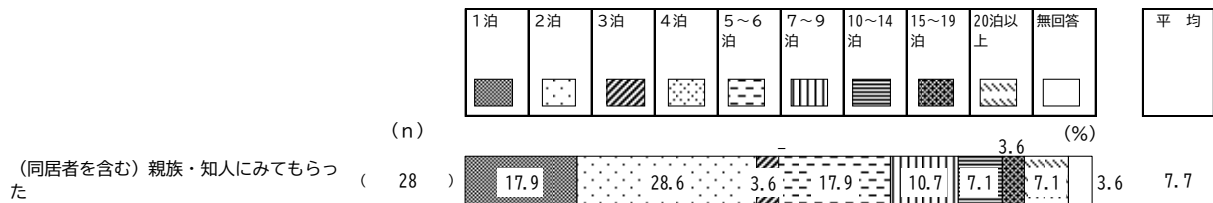
図表 3-27 対処方法 (複数回答)



■泊数

『(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった』の泊数は、「2泊」が28.6%と最も高く、次いで「1泊」「5~6泊」がともに17.9%となっている。

図表 3-28 泊数



(6)放課後の過ごし方

① 小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所

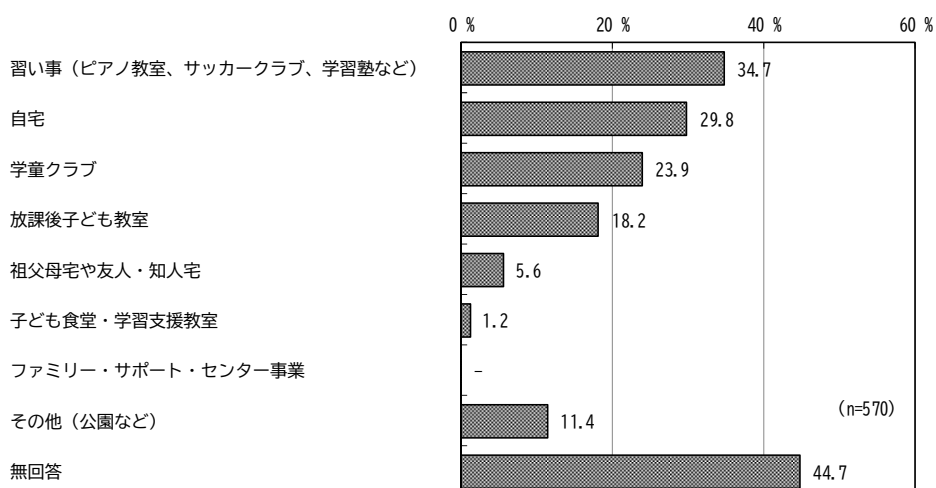
【問 16 は、宛名のお子さんが、小学校低学年（1～3年生）の方にかがいます。それ以外の方は問 17 へお進みください】

問 16 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

■小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所

小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が34.7%と最も高く、次いで「自宅」が29.8%、「学童クラブ」が23.9%と続いている。

図表 3-29 小学校低学年で、放課後過ごさせたい場所（複数回答）



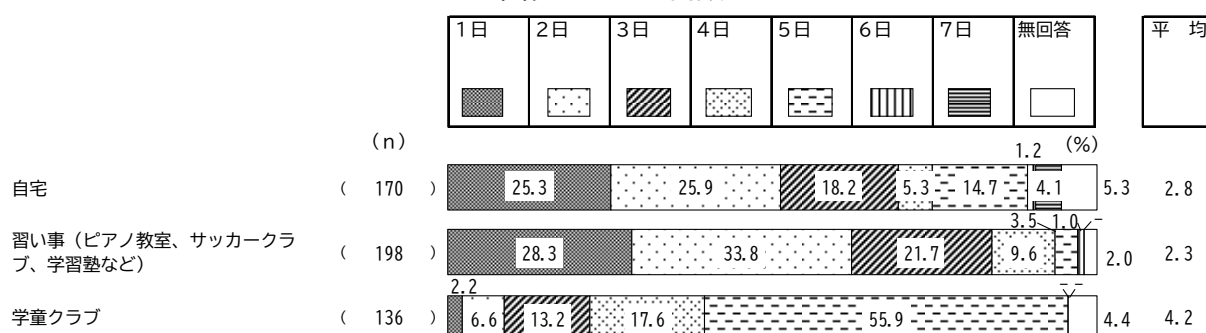
■日数 ※上位3つまで

『自宅』の日数は、「2日」が25.9%と最も高く、次いで「1日」が25.3%、「3日」が18.2%となっている。

『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』は、「2日」が33.8%と最も高く、次いで「1日」が28.3%、「3日」が21.7%となっている。

『学童クラブ』は、「5日」が55.9%と最も高く、次いで「4日」が17.6%、「3日」が13.2%となっている。

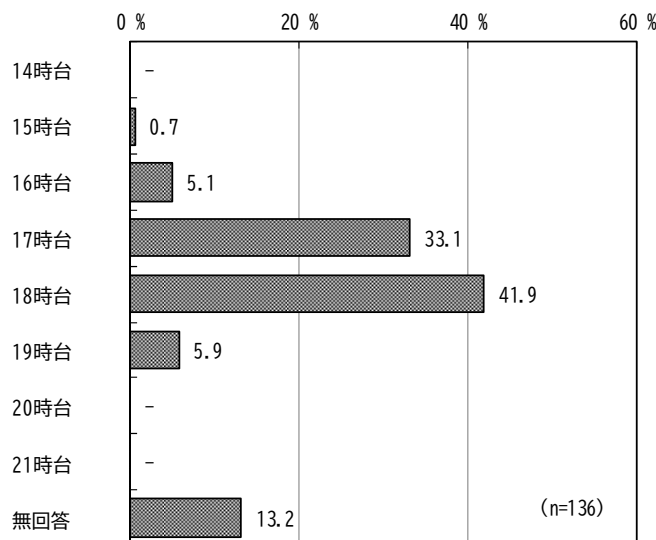
図表 3-30 日数



■学童クラブ:終了時刻

学童クラブ:終了時刻は、「18時台」が41.9%と最も高く、次いで「17時台」が33.1%、「19時台」が5.9%となっている。

図表 3-31 学童クラブ:終了時刻



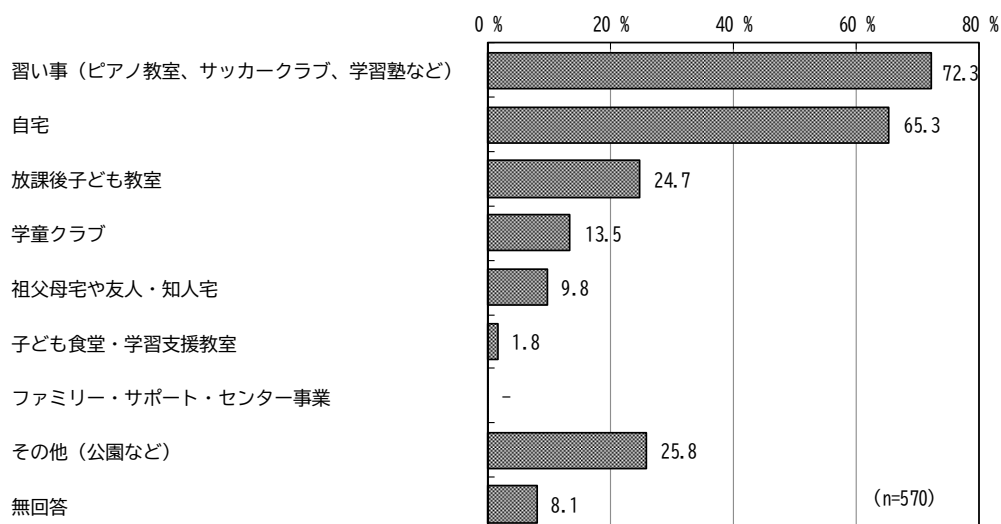
② 小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所

問 17 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。
 時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。
 ※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

■小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所

小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が72.3%と最も高く、次いで「自宅」が65.3%、「放課後子ども教室」が24.7%と続いている。

図表 3-32 小学校高学年で、放課後過ごさせたい場所（複数回答）



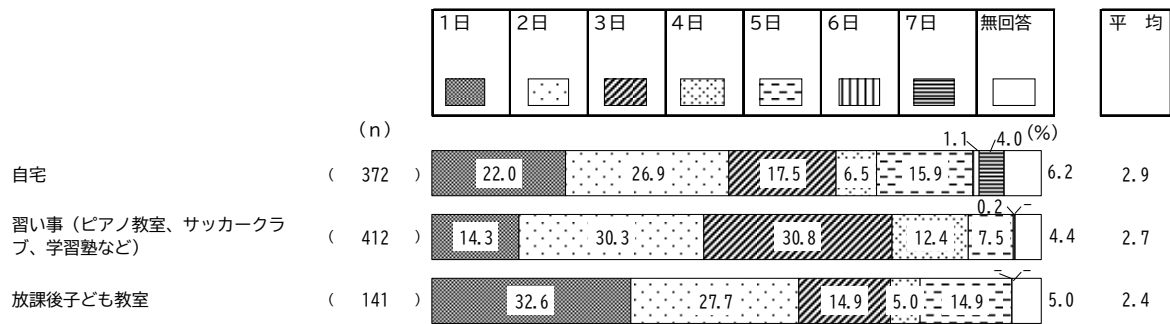
■日数 ※上位3つまで

『自宅』の日数は、「2日」が26.9%と最も高く、次いで「1日」が22.0%、「3日」が17.5%となっている。

『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』は、「3日」が30.8%と最も高く、次いで「2日」が30.3%、「1日」が14.3%となっている。

『放課後子ども教室』は、「1日」が32.6%と最も高く、次いで「2日」が27.7%、「3日」「5日」がともに14.9%となっている。

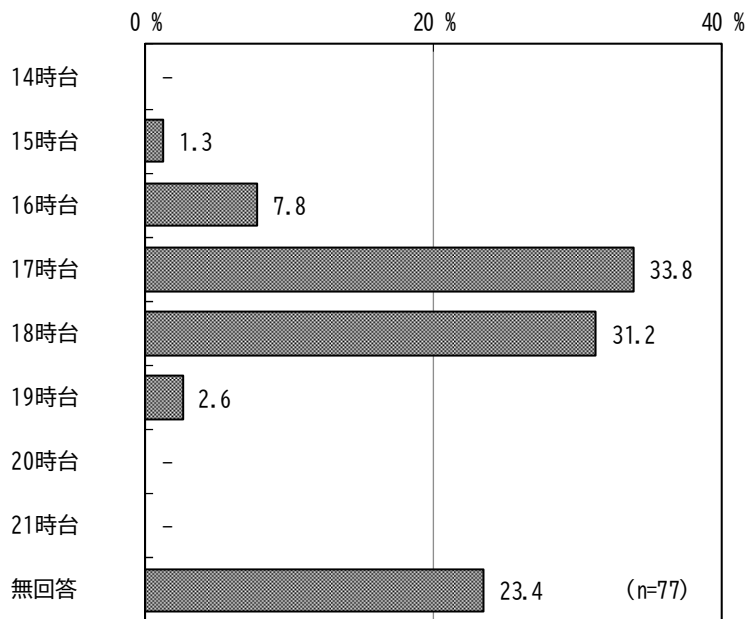
図表 3-33 日数



■学童クラブ:終了時刻

学童クラブ:終了時刻は、「17時台」が33.8%と最も高く、次いで「18時台」が31.2%、「16時台」が7.8%となっている。

図表 3-34 学童クラブ:終了時刻



③ 日曜日・祝日の学童クラブの利用希望

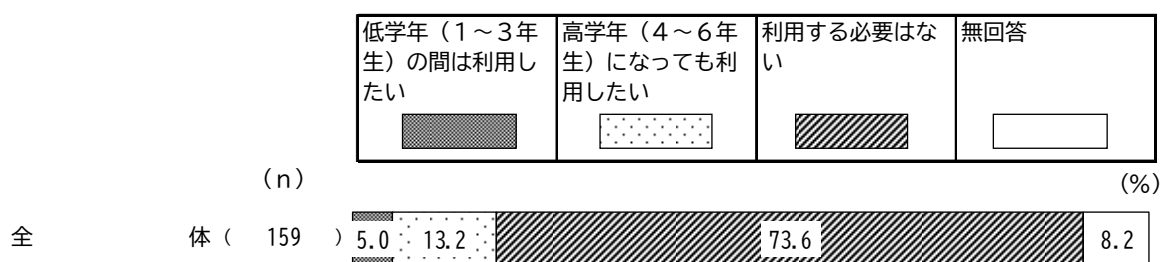
【問 18 は、問 16 または問 17 で「5. 学童クラブ」と回答した方にうかがいます】

問 18 宛名のお子さんについて日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内にご記入ください。時間は、必ず(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

■日曜日・祝日の学童クラブの利用希望

日曜日・祝日の学童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 5.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 13.2%、「利用する必要はない」が 73.6%となっている。

図表 3-35 日曜日・祝日の学童クラブの利用希望

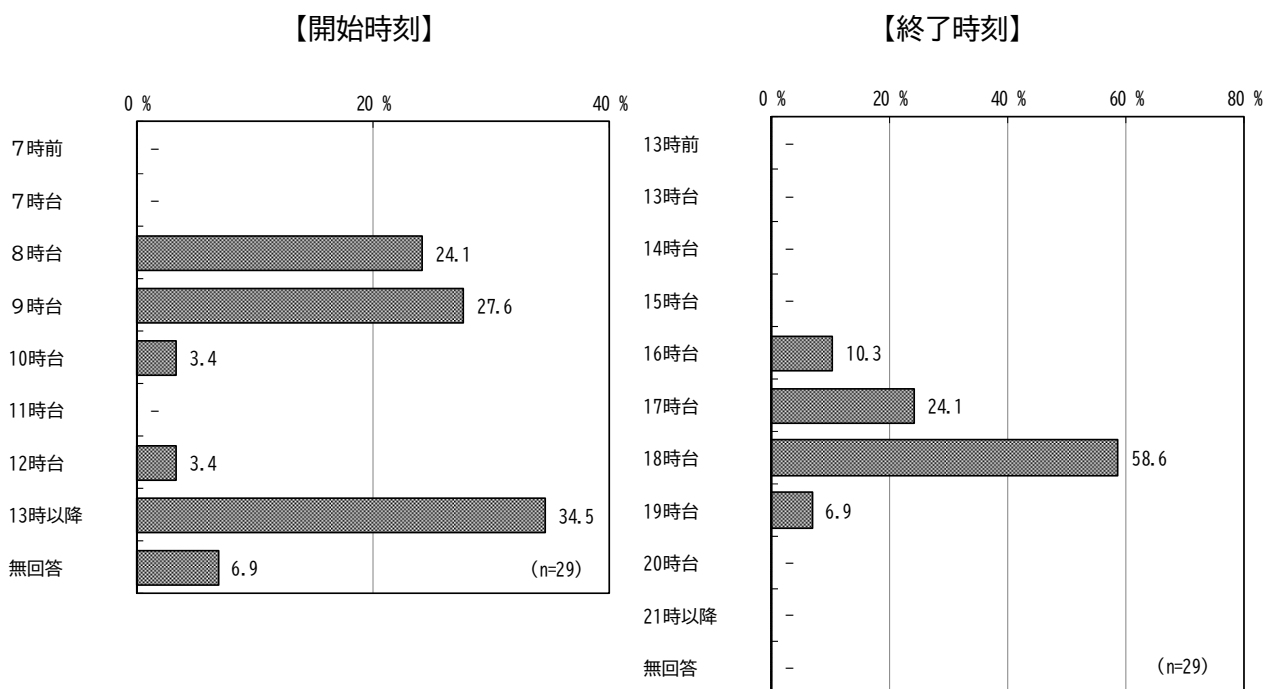


■利用したい時間帯

利用したい時間帯をみると、開始時刻は、「13 時以降」が 34.5%と最も高く、次いで「9 時台」が 27.6%、「8 時台」が 24.1%となっている。

終了時刻は、「18 時台」が 58.6%と最も高く、次いで「17 時台」が 24.1%、「16 時台」が 10.3%となっている。

図表 3-36 利用したい時間帯



④ 長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望

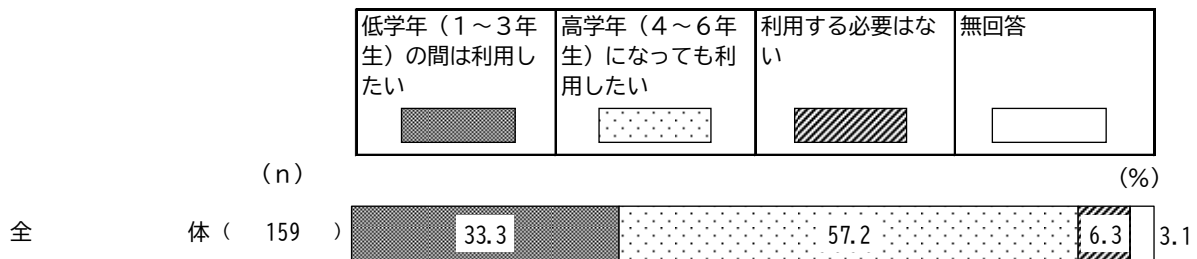
【問 19 は、問 16 または問 17 で「5. 学童クラブ」と回答した方にうかがいます】

問 19 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を（ ）内にご記入ください。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

■長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望

長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望は、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 33.3%、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 57.2%、「利用する必要はない」が 6.3% となっている。

図表 3-37 長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望

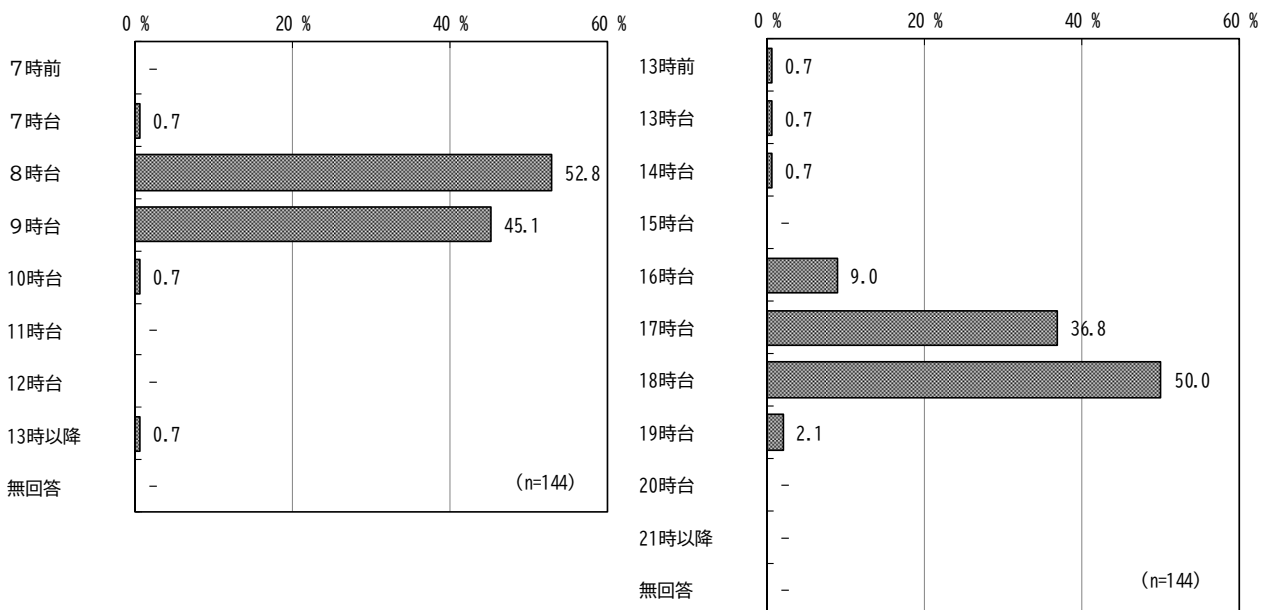


■利用したい時間帯

利用したい時間帯をみると、開始時刻は、「8 時台」が 52.8%と最も高く、次いで「9 時台」が 45.1%となっている。

終了時刻は、「18 時台」が 50.0%と最も高く、次いで「17 時台」が 36.8%、「16 時台」が 9.0% となっている。

図表 3-38 利用したい時間帯
【開始時刻】 【終了時刻】

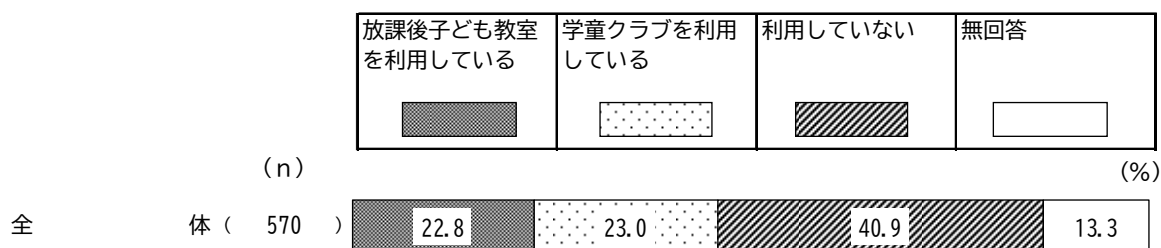


⑤ 放課後子ども教室、学童クラブの利用状況

問 20 現在、宛名のお子さんは、放課後子ども教室、または、学童クラブを利用していますか。(1つに○)

放課後子ども教室、学童クラブの利用状況は、「放課後子ども教室を利用している」が22.8%、「学童クラブを利用している」が23.0%、「利用していない」が40.9%となっている。

図表 3-39 放課後子ども教室、学童クラブの利用状況



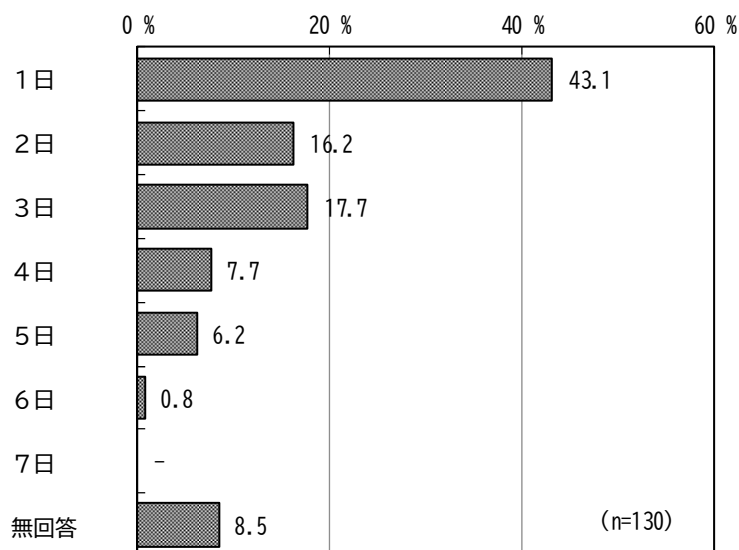
⑥ 放課後子ども教室の利用日数

【問 20-1 は、問 20 で「1. 放課後子ども教室を利用している」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問 21 へお進みください】
 問 20-1 放課後子ども教室の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由についてお答えください。(1つに○)

■利用日数

利用日数は、「1日」が43.1%と最も高く、次いで「3日」が17.7%、「2日」が16.2%となっている。

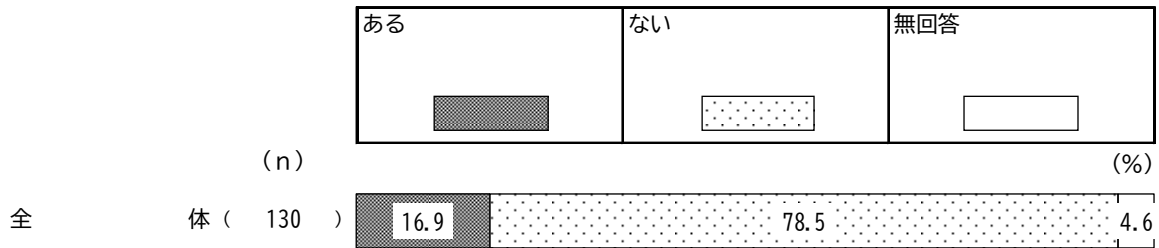
図表 3-40 利用日数



■土曜日の利用

土曜日の利用は、「ある」が16.9%、「ない」が78.5%となっている。

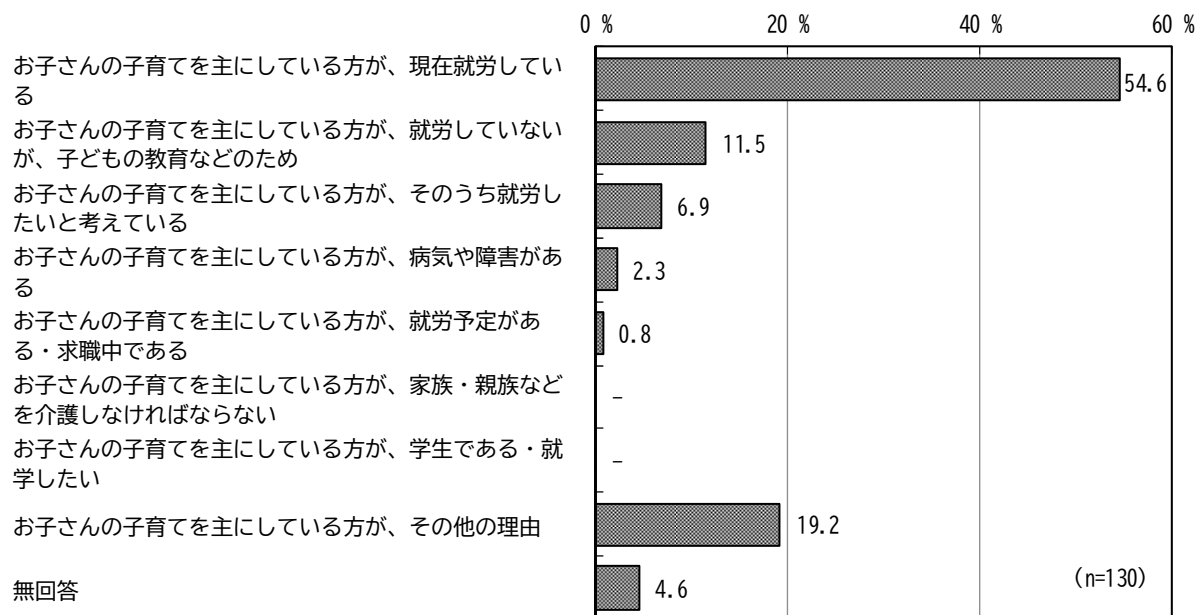
図表 3-41 土曜日の利用



■利用目的

利用目的は、「お子さんの子育てを主にしている方が、現在就労している」が54.6%と最も高く、次いで「お子さんの子育てを主にしている方が、就労していないが、子どもの教育などのため」が11.5%、「お子さんの子育てを主にしている方が、そのうち就労したいと考えている」が6.9%となっている。

図表 3-42 利用目的



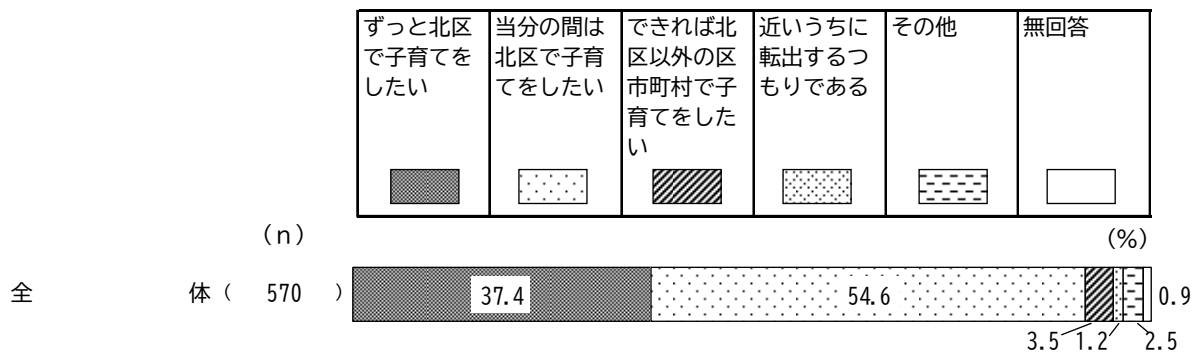
(7)子育て全般

① 北区での子育て意向

問 21 今後も、北区で子育てをしたいと思いますか。(1つに○)

北区での子育て意向は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が54.6%と最も高く、次いで「ずっと北区で子育てをしたい」が37.4%、「できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい」が3.5%となっている。

図表 3-43 北区での子育て意向

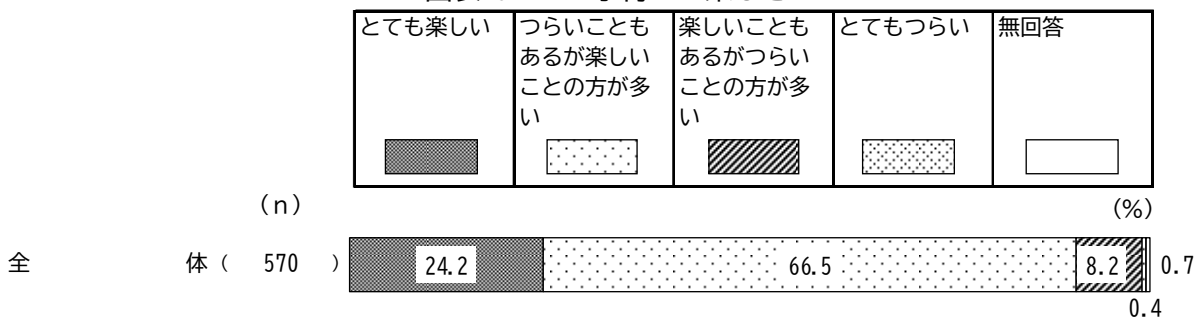


② 子育ての楽しさ

問 22 あなたは、子育てが楽しいですか。(1つに○)

子育ての楽しさは、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が66.5%と最も高く、次いで「とても楽しい」が24.2%、「楽しいこともあるがつらいことの方が多い」が8.2%となっている。

図表 3-44 子育ての楽しさ



③ 子どもとかかわる時間

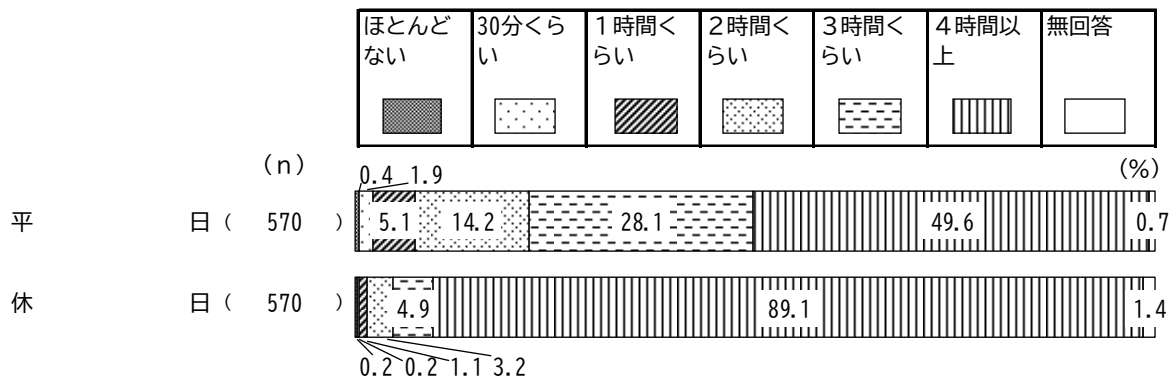
問 23 宛名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど）はだいたいどのくらいありますか。（父親、母親とも平日と休日に分けてそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。）

■母親：子どもとかかわる時間

母親：子どもとかかわる時間をみると、平日は、「4時間以上」が49.6%と最も高く、次いで「3時間くらい」が28.1%、「2時間くらい」が14.2%となっている。

休日は、「4時間以上」が89.1%と最も高くなっている。

図表 3-45 母親：子どもとかかわる時間

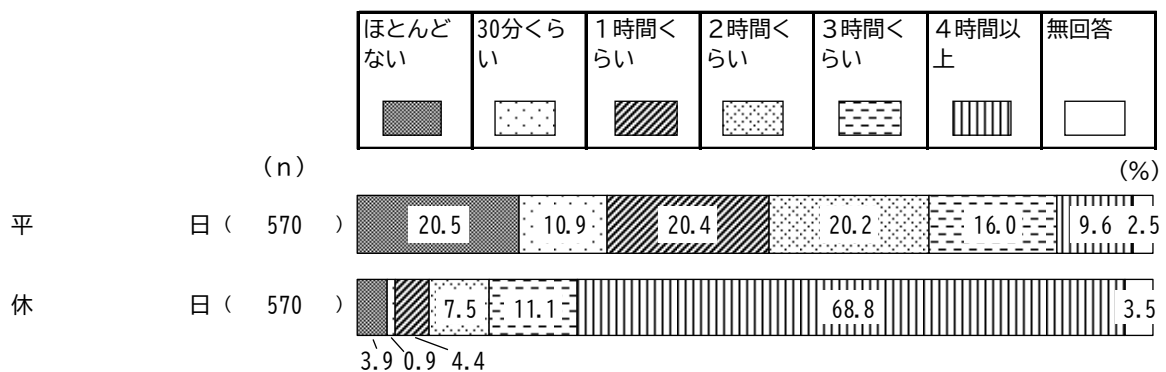


■父親：子どもとかかわる時間

父親：子どもとかかわる時間をみると、平日は、「ほとんどない」「1時間くらい」「2時間くらい」が約2割となっている。

休日は、「4時間以上」が68.8%と最も高くなっている。

図表 3-46 父親：子どもとかかわる時間



④ 行事や活動への参加

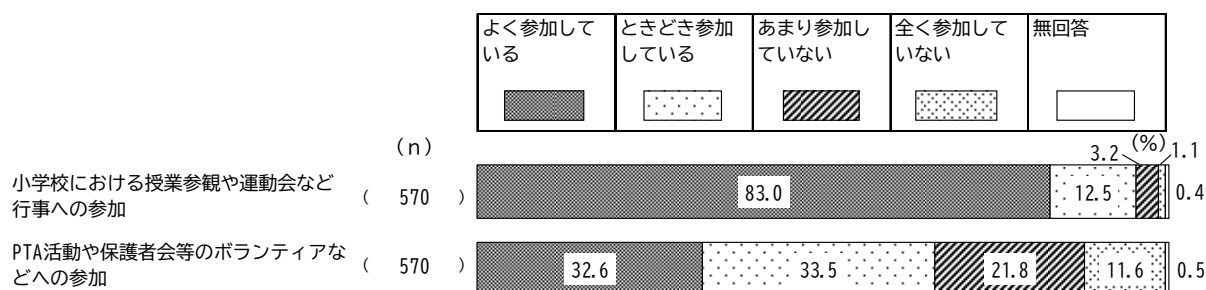
問 24 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①小学校における授業参観や運動会など行事への参加、②PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加、それぞれ1つに○)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

『小学校における授業参観や運動会など行事への参加』は、「よく参加している」が83.0%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が12.5%、「あまり参加していない」が3.2%となっている。

『PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加』は、「ときどき参加している」が33.5%と最も高く、次いで「よく参加している」が32.6%、「あまり参加していない」が21.8%となっている。

図表 3-47 行事や活動への参加

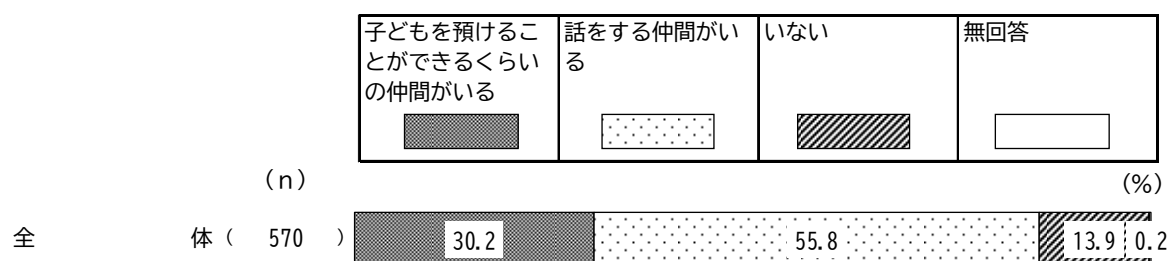


⑤ 子育ての仲間

問 25 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

子育ての仲間は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が30.2%、「話をする仲間がいる」が55.8%、「いない」が13.9%となっている。

図表 3-48 子育ての仲間

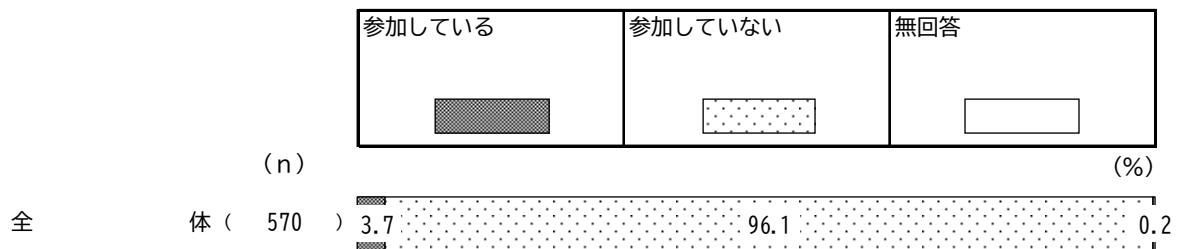


⑥ 子育てサークルなどのグループへの参加

問 26 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどのグループへの参加は、「参加している」が3.7%、「参加していない」が96.1%となっている。

図表 3-49 子育てサークルなどのグループへの参加

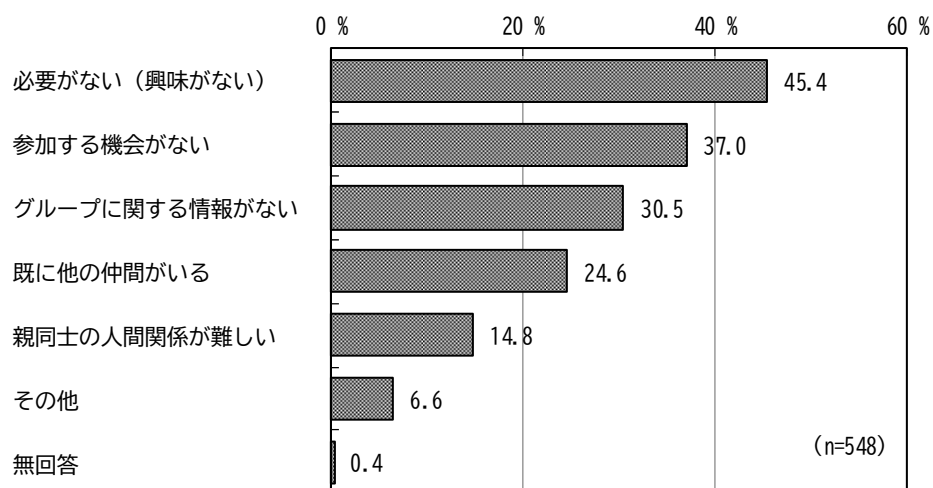


⑦ 子育てサークルに参加していない理由

【問 26-1 は、問 26 で「2. 参加していない」と回答した方にうかがいます】
問 26-1 参加していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てサークルに参加していない理由は、「必要がない(興味がない)」が45.4%と最も高く、次いで「参加する機会がない」が37.0%、「グループに関する情報がない」が30.5%と続いている。

図表 3-50 子育てサークルに参加していない理由(複数回答)

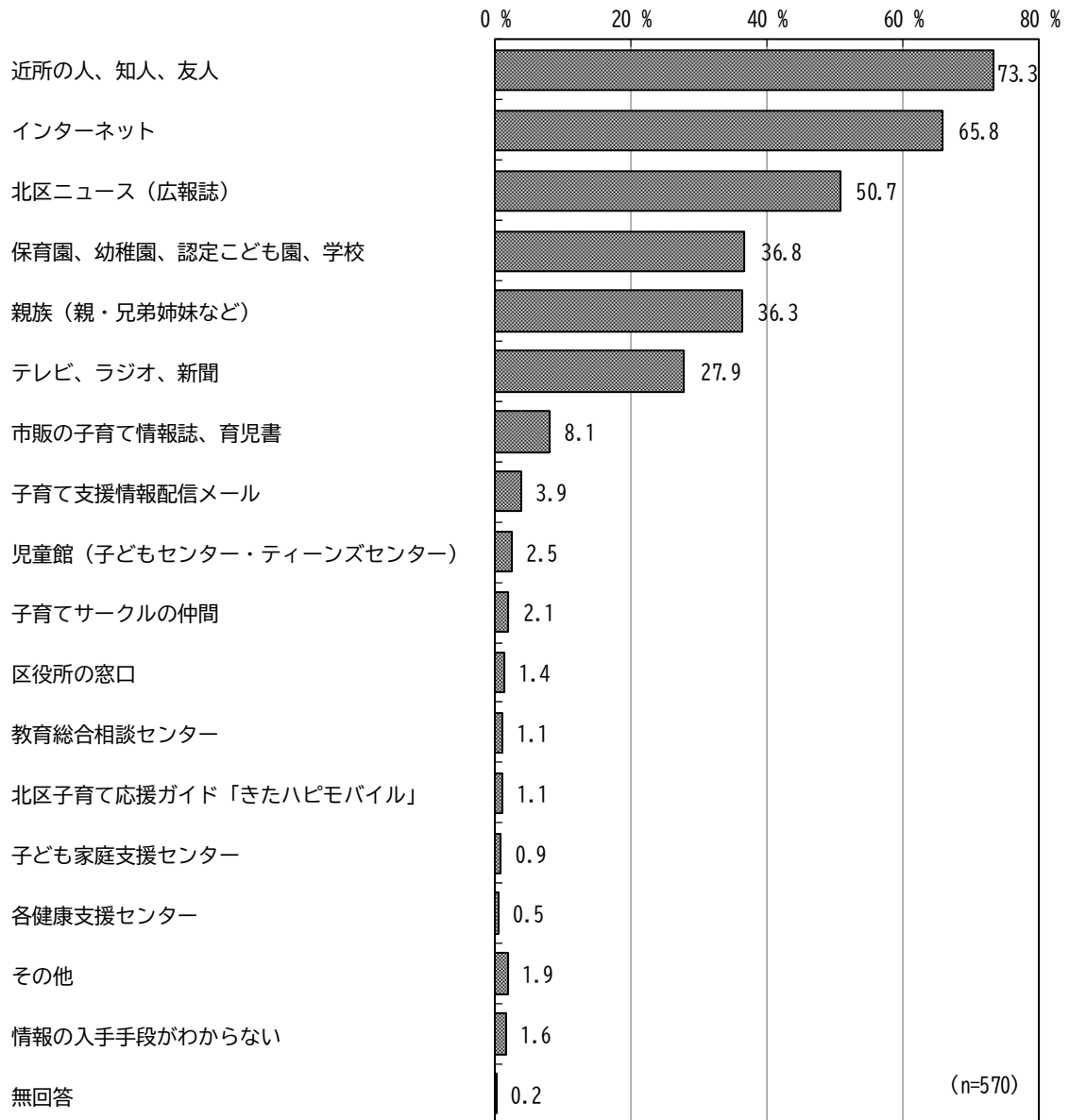


⑧ 子育て関連の情報入手方法

問 27 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育て関連の情報入手方法は、「近所の人、知人、友人」が73.3%と最も高く、次いで「インターネット」が65.8%、「北区ニュース（広報誌）」が50.7%と続いている。

図表 3-51 子育て関連の情報入手方法（複数回答）

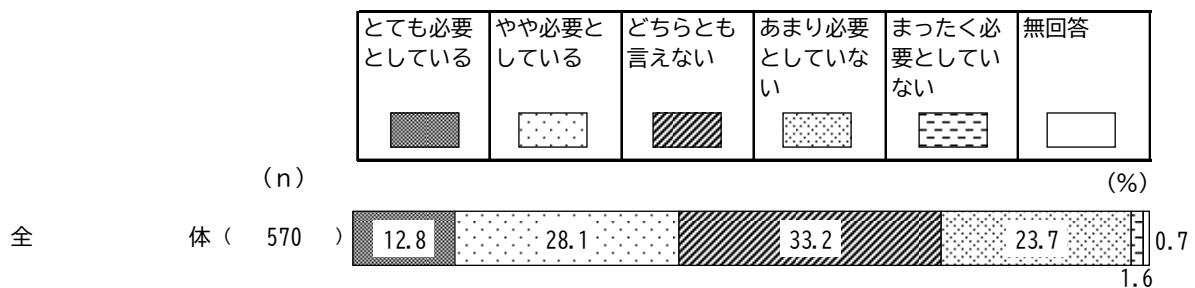


⑨ 子育てにあたっての地域の支えの必要性

問 28 あなたは子育てをするにあたり、地域の支えを必要としていますか。(1つに○)

子育てにあたっての地域の支えの必要性は、「どちらとも言えない」が33.2%と最も高く、次いで「やや必要としている」が28.1%、「あまり必要としていない」が23.7%となっている。

図表 3-52 子育てにあたっての地域の支えの必要性

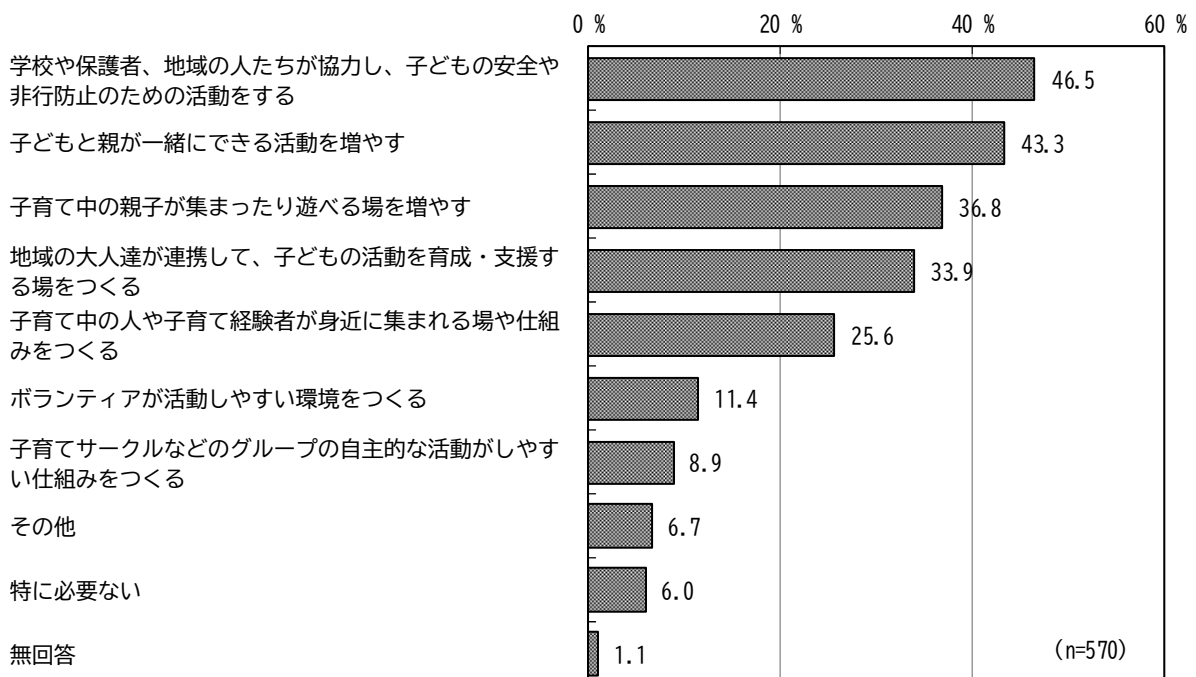


⑩ 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み

問 29 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

安心して子育てをするために地域で必要な取り組みは、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」が46.5%と最も高く、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が43.3%、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が36.8%と続いている。

図表 3-53 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み（複数回答）

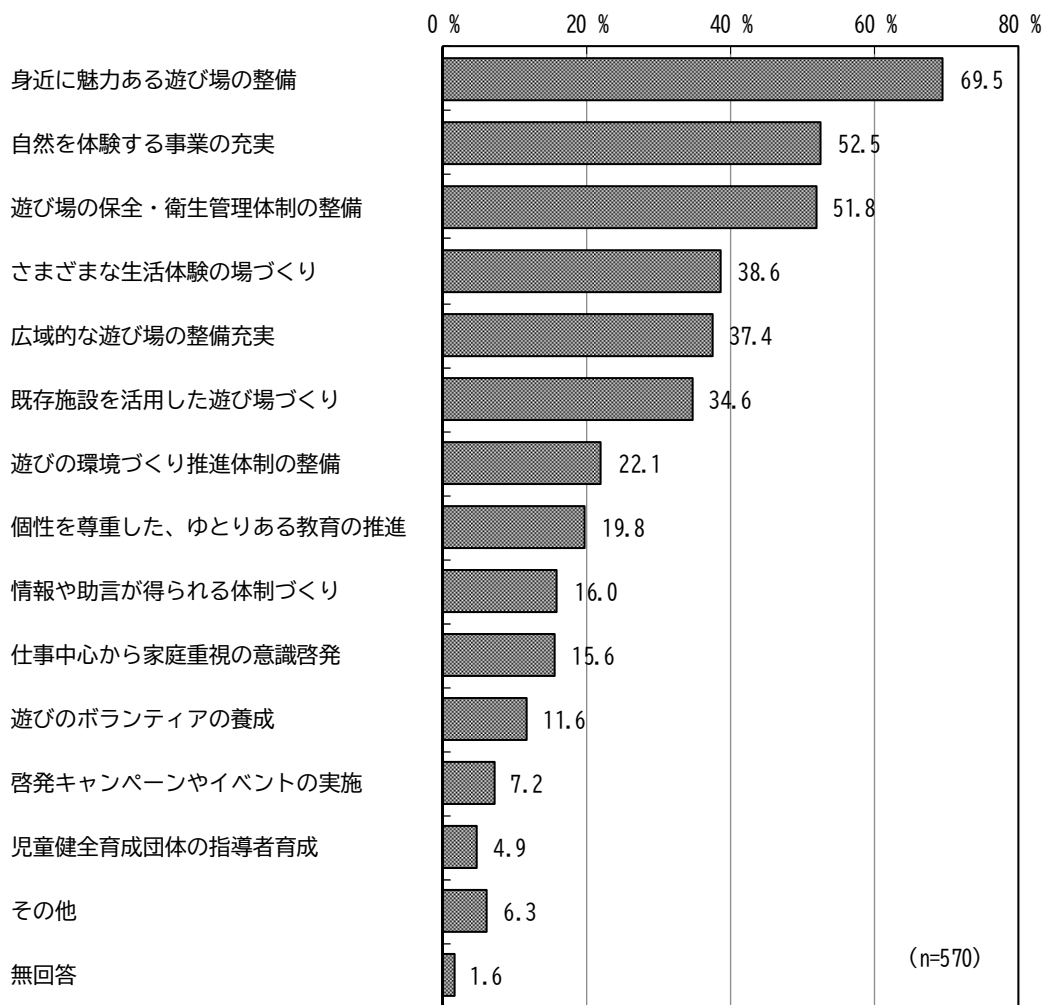


⑪ 子どもの遊ぶ環境をよくするために必要なこと

問30 子どもの遊ぶ環境をよくするためには、どうすればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもの遊ぶ環境をよくするために必要なことは、「身近に魅力ある遊び場の整備」が69.5%と最も高く、次いで「自然を体験する事業の充実」が52.5%、「遊び場の保全・衛生管理体制の整備」が51.8%と続いている。

図表 3-54 子どもの遊ぶ環境をよくするために必要なこと（複数回答）

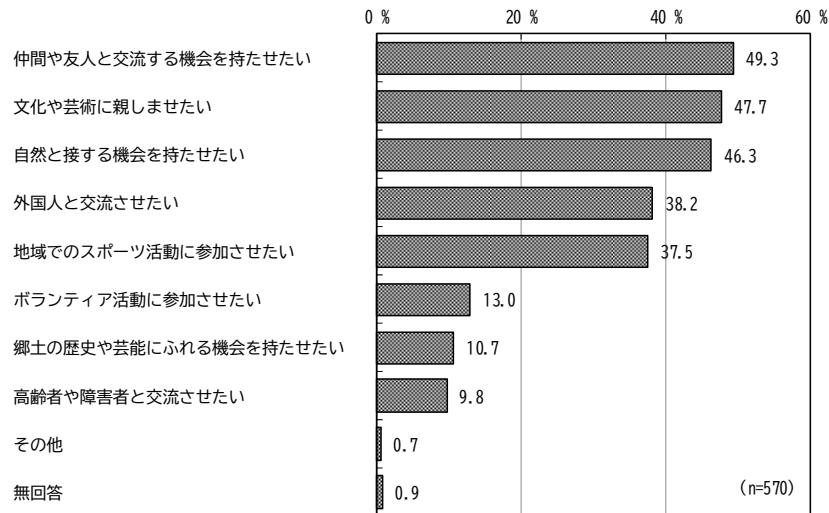


⑫ 子どもに今後体験させたいこと

問31 お子さんに今後、どのような体験をさせたいとお考えですか。(3つまでに○)

子どもに今後体験させたいことは、「仲間や友人と交流する機会を持たせたい」が49.3%と最も高く、次いで「文化や芸術に親しませたい」が47.7%、「自然と接する機会を持たせたい」が46.3%と続いている。

図表 3-55 子どもに今後体験させたいこと

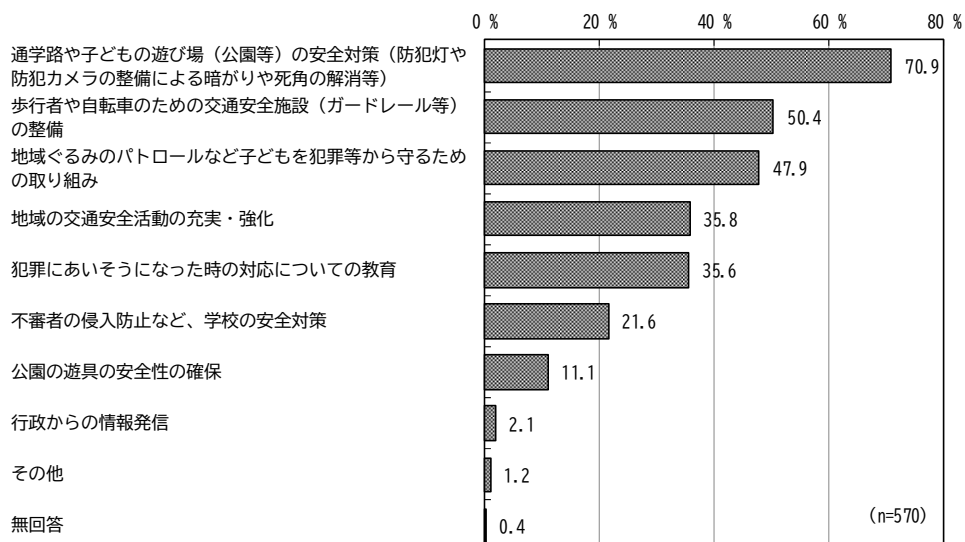


⑬ 子どもの安全を守るために重要だと思うこと

問32 子どもの安全を守るため、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(3つまでに○)

子どもの安全を守るために重要だと思うことは、「通学路や子どもの遊び場（公園等）の安全対策（防犯灯や防犯カメラの整備による暗がりや死角の解消等）」が70.9%と最も高く、次いで「歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール等）の整備」が50.4%、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪等から守るための取り組み」が47.9%と続いている。

図表 3-56 子どもの安全を守るために重要だと思うこと



⑭ 子どもが犯罪被害にあったことの有無

問 33 宛名のお子さんが、犯罪の被害を受けたことはありますか。(1つに○)

子どもが犯罪被害にあったことの有無は、「ある」が 1.1%、「受けそうになったことがある」が 3.5%、「ない」が 94.4%となっている。

図表 3-57 子どもが犯罪被害にあったことの有無



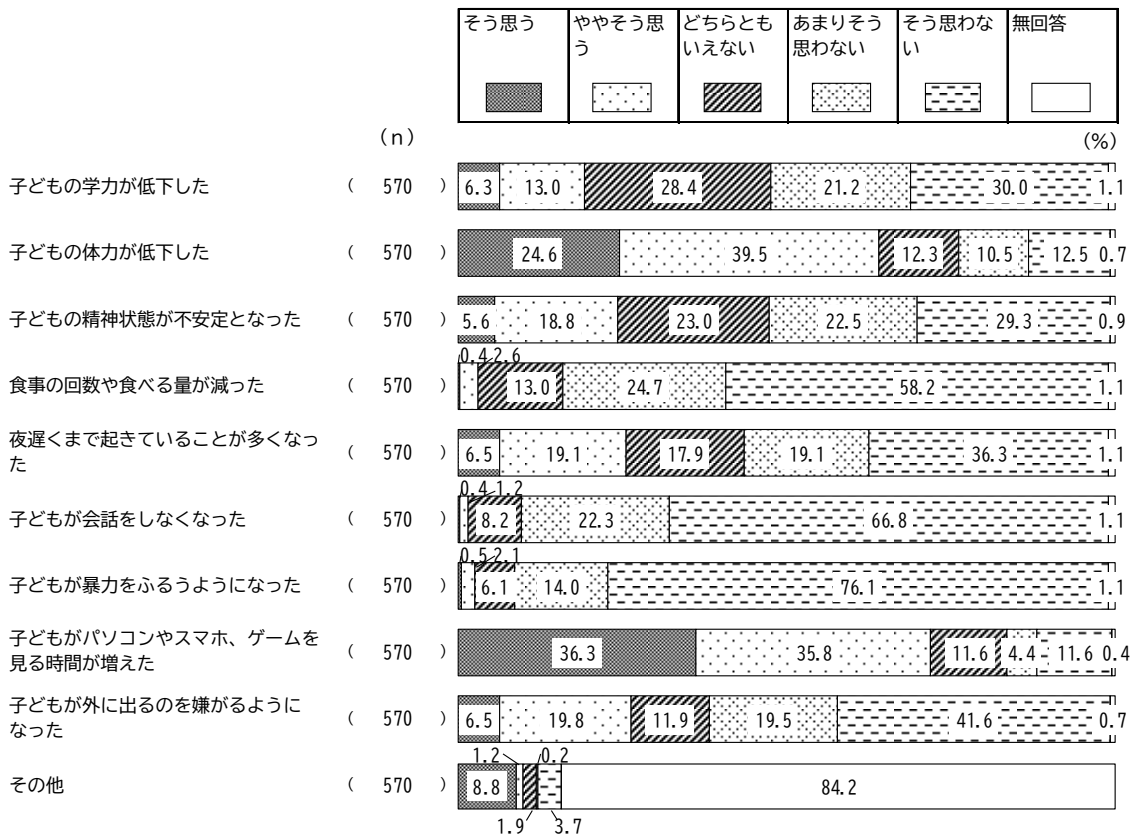
⑮ 新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響

問 34 新型コロナウイルス感染症は、宛名のお子さんにどのような影響を与えていますか。(①~⑩ごとにそれぞれ1つに○)

- ①子どもの学力が低下した
- ②子どもの体力が低下した
- ③子どもの精神状態が不安定となった
- ④食事の回数や食べる量が減った
- ⑤夜遅くまで起きていることが多くなった
- ⑥子どもが会話をしなくなった
- ⑦子どもが暴力をふるうようになった
- ⑧子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた
- ⑨子どもが外に出るのを嫌がるようになった
- ⑩その他 ()

新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響をみると、“そう思う”(そう思う+ややそう思う)は、『子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた』が 72.1%と最も高く、次いで『子どもの体力が低下した』が 64.1%となっている。

図表 3-58 新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響

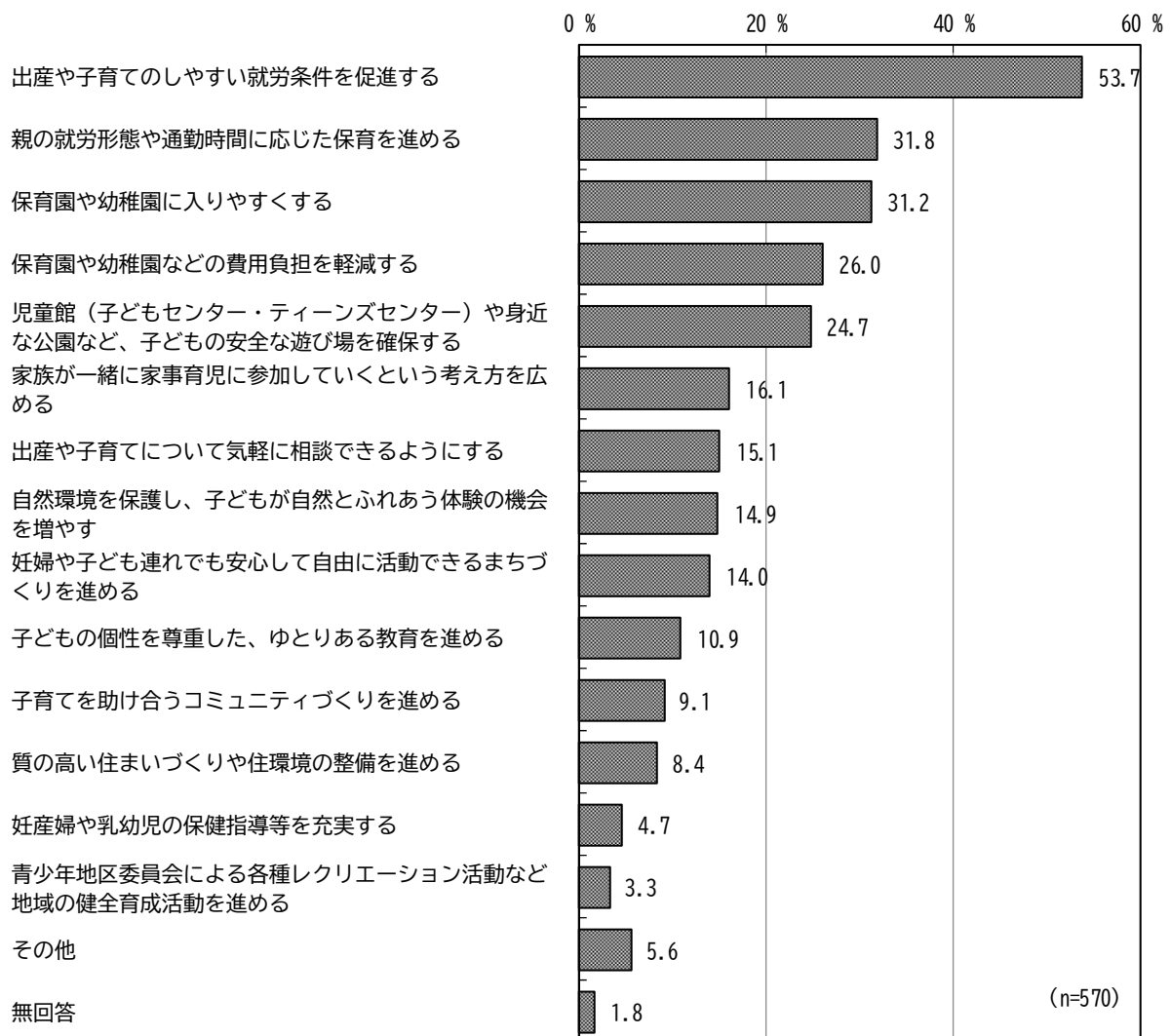


⑯ 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること

問 35 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。
(3つまでに○)

子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が53.7%と最も高く、次いで「親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める」が31.8%、「保育園や幼稚園に入りやすくする」が31.2%と続いている。

図表 3-59 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること



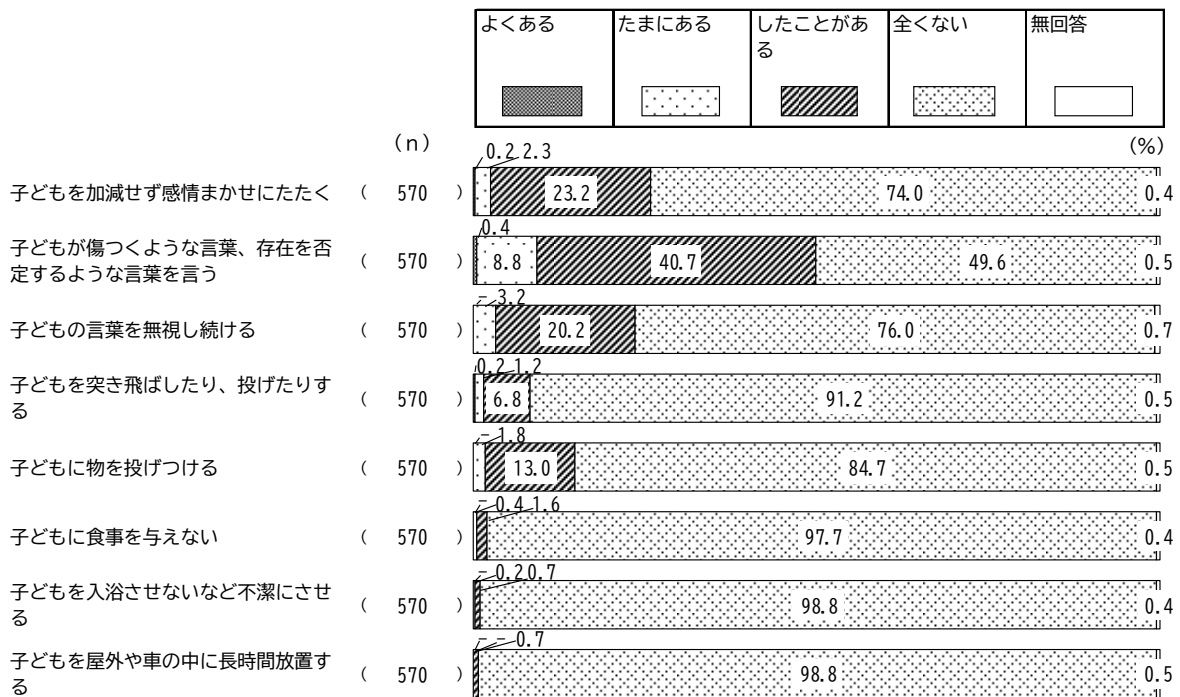
⑰ 子どもへの接し方

問 36 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。(①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

- ①子どもを加減せず感情まかせにたたく
- ②子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う
- ③子どもの言葉を無視し続ける
- ④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする
- ⑤子どもに物を投げつける
- ⑥子どもに食事を与えない
- ⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる
- ⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する

子どもへの接し方をみると、全ての項目で「全くない」が最も高くなっている。「したことがある」は、『子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う』が40.7%と他と比較して高くなっている。

図表 3-60 子どもへの接し方

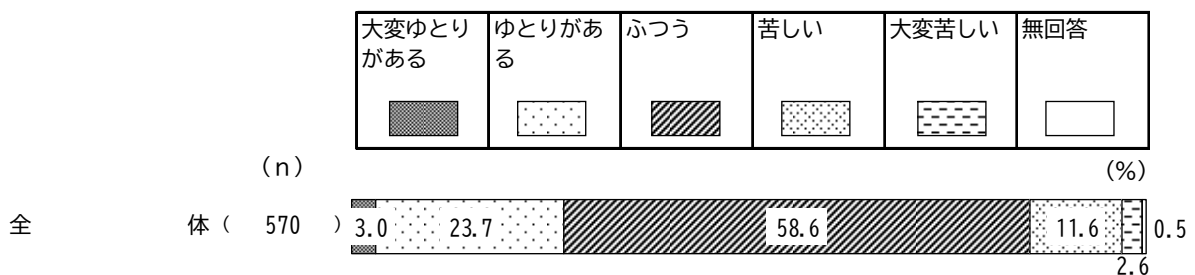


⑱ 現在の暮らしぶり

問 37 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

現在の暮らしぶりは、「ふつう」が58.6%と最も高く、次いで「ゆとりがある」が23.7%、「苦しい」が11.6%となっている。

図表 3-61 現在の暮らしぶり



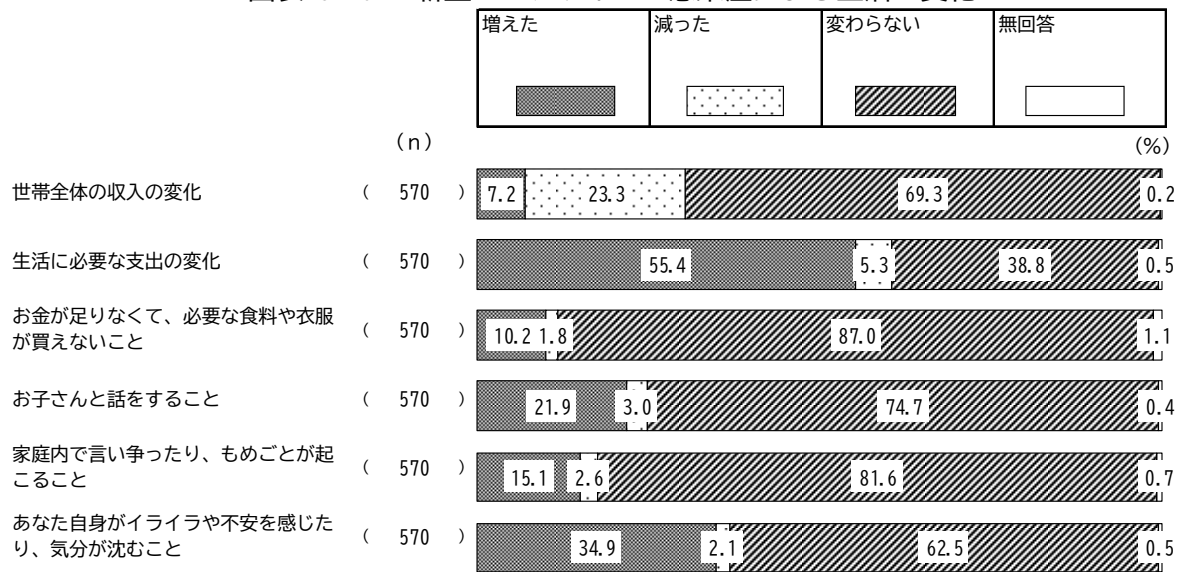
⑨ 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

問 38 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前（2020年4月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（①～⑥ごとにそれぞれ1つに○）

- ①世帯全体の収入の変化
- ②生活に必要な支出の変化
- ③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと
- ④お子さんと話をすること
- ⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること
- ⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症による生活の変化をみると、『生活に必要な支出の変化』は「増えた」が最も高くなっている。それ以外の項目では「変わらない」が最も高くなっている。

図表 3-62 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

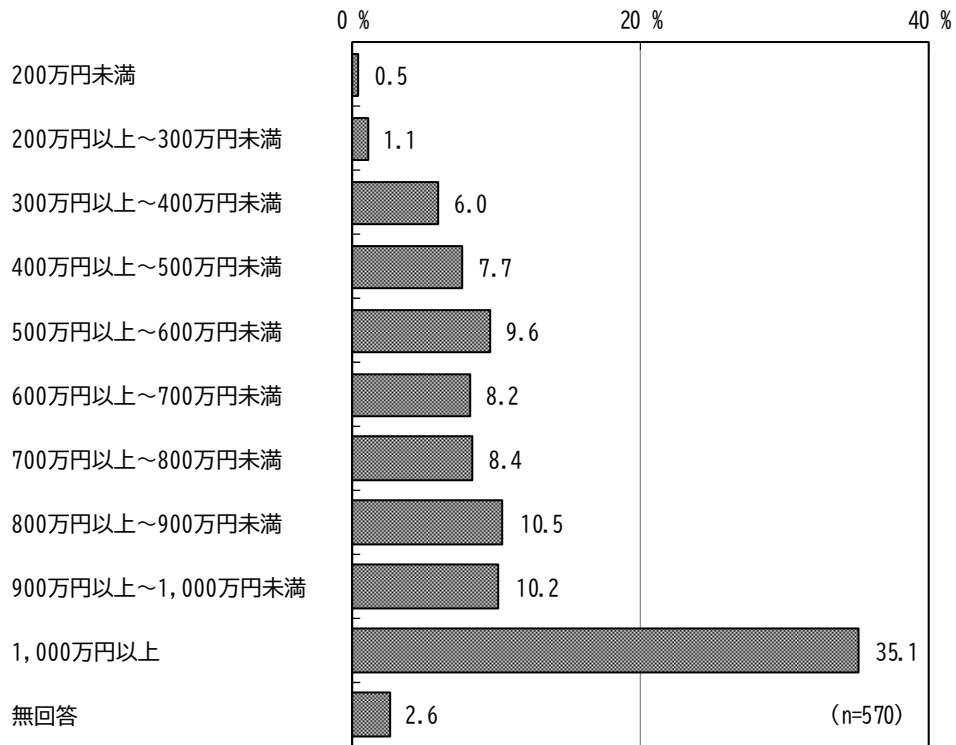


⑩ 世帯年収

問 39 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

世帯年収は、「1,000万円以上」が35.1%と最も高く、次いで「800万円以上～900万円未満」が10.5%、「900万円以上～1,000万円未満」が10.2%となっている。

図表 3-63 世帯年収

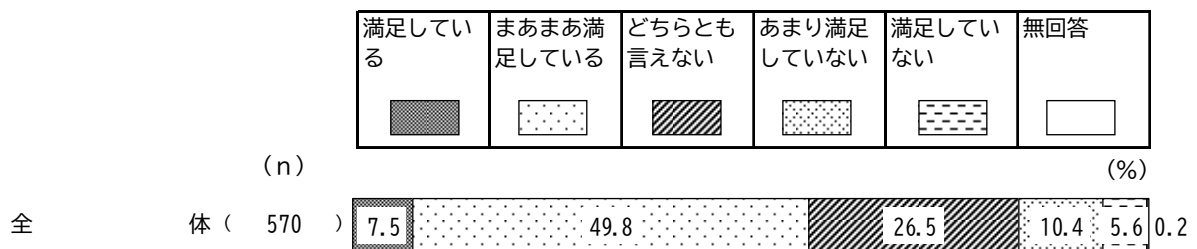


⑪ 北区の子育て環境や支援への満足度

問 40 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

北区の子育て環境や支援への満足度は、「まあまあ満足している」が49.8%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が26.5%、「あまり満足していない」が10.4%となっている。

図表 3-64 北区の子育て環境や支援への満足度



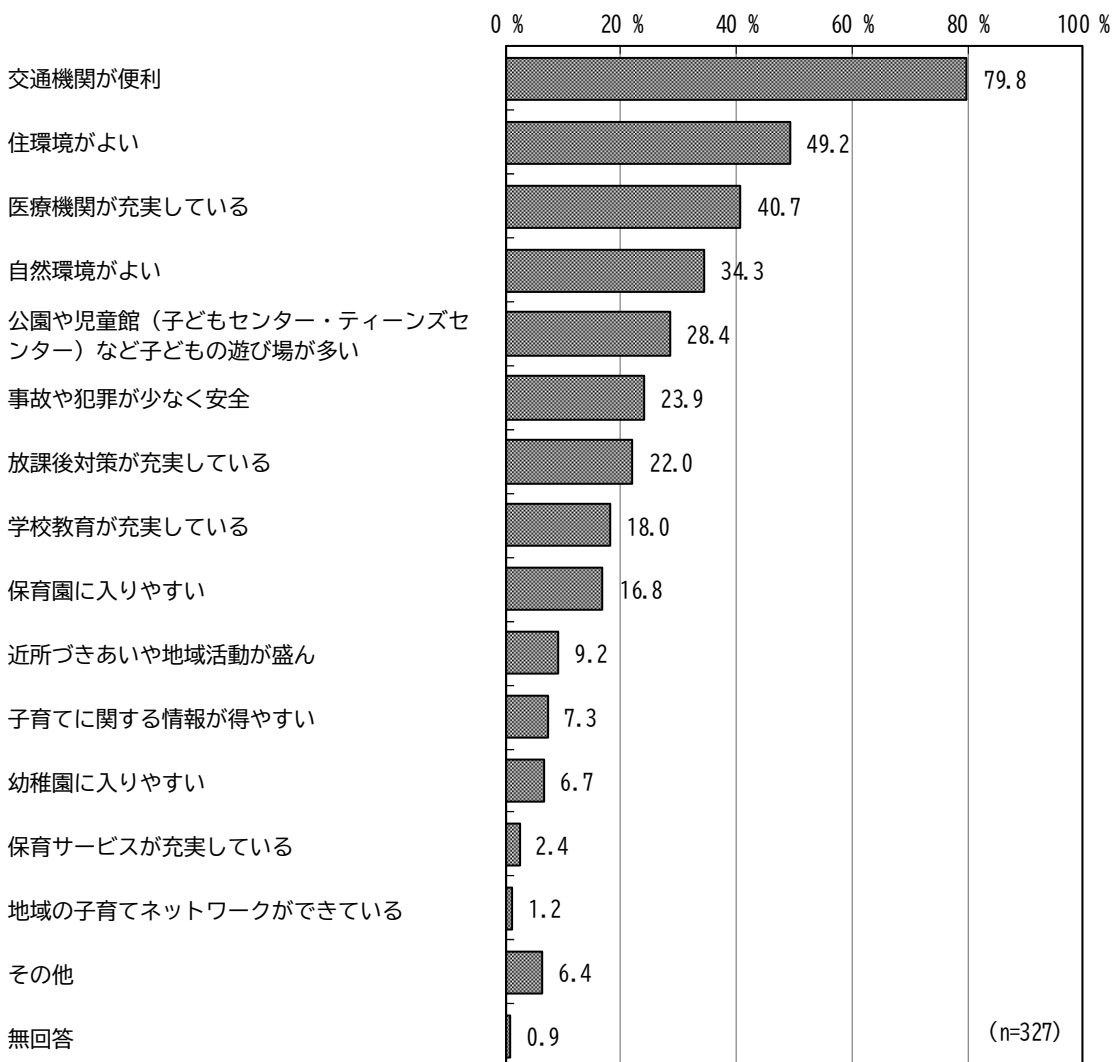
② 満足度が高い理由

【問 40-1 は、問 40 で「4. まあまあ満足している」「5. 満足している」と回答した方にうかがいます】

問 40-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

満足度が高い理由は、「交通機関が便利」が 79.8%と最も高く、次いで「住環境がよい」が 49.2%、「医療機関が充実している」が 40.7%と続いている。

図表 3-65 満足度が高い理由（複数回答）



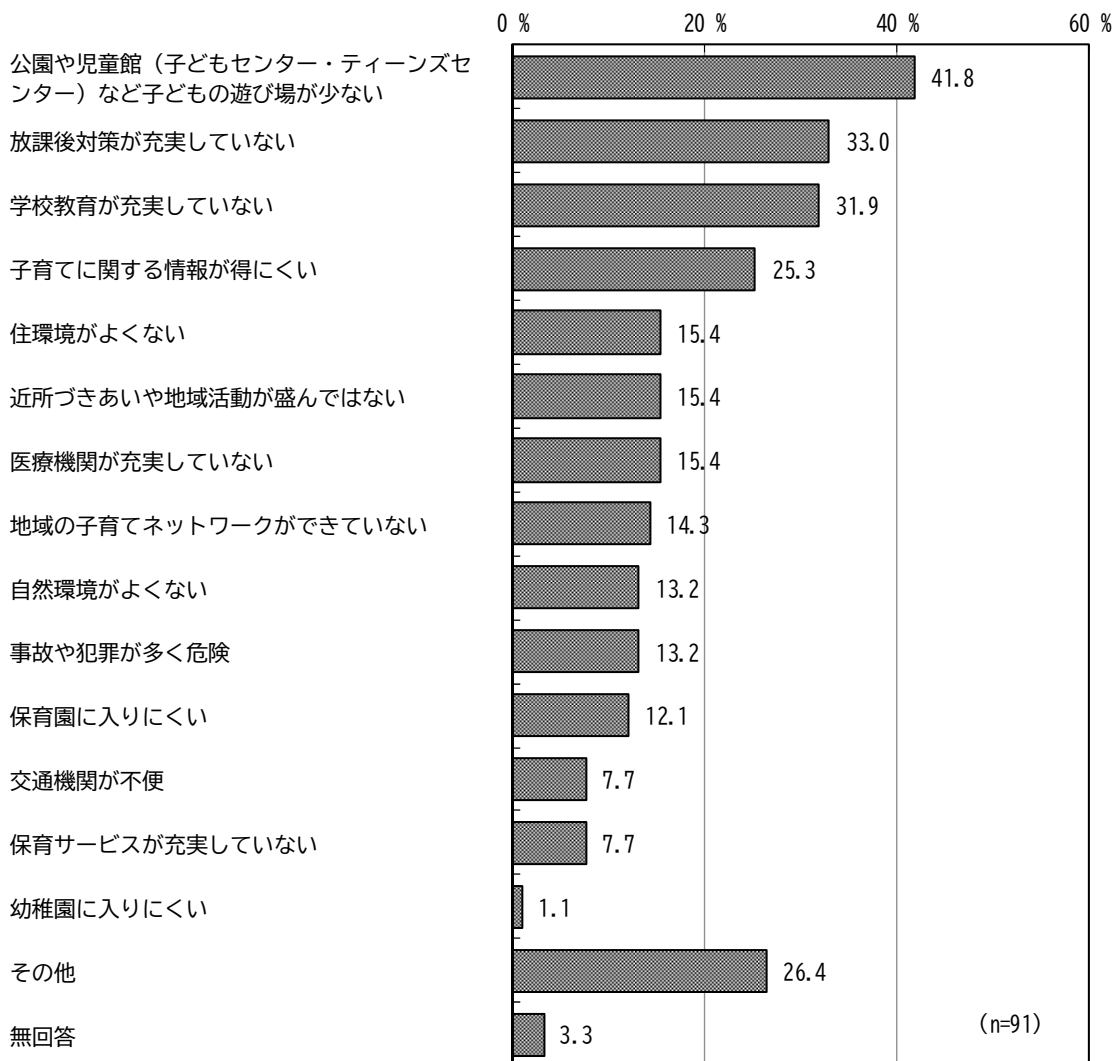
② 満足度が低い理由

【問 40-2 は、問 40 で「1. 満足していない」「2. あまり満足していない」と回答した方に
うかがいます】

問 40-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

満足度が低い理由は、「公園や児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）など子どもの遊び場が少ない」が 41.8%と最も高く、次いで「放課後対策が充実していない」が 33.0%、「学校教育が充実していない」が 31.9%と続いている。

図表 3-66 満足度が低い理由（複数回答）



(8)自由意見

問 41 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

① 子育て環境(安全・安心)(75 件)

- ・産んで安心して育てられる環境整備をしてほしい。公園や施設、広場がもっと自由に使えるような所を増やしてほしい。運動レベルの低下は気になっているところです。
- ・王子駅前の喫煙所をなくしてください。子どもが習い事や通院でどうしても駅の方面に行かなくてはならない時、受動喫煙、煙のにおいが怖くて遠回りをしています。駅前の子どもの通る場所に、喫煙所は設置しないでください。
- ・小さい子どもが遊ぶ公園は充実していますが、ボール遊びができるような公園をもっと増やしてほしいです。味の素フィールド西が丘やナショナルトレーニングセンター等があるので、スポーツに注力しても良いと思います。サッカーは充実しているので野球場を増やしてほしいです。ナイター施設やバッティングセンターなどがあると活気づくと思われます。
- ・大人の交通マナーが悪く自転車にぶつけられそうになったり、信号無視の大人について行ってしまい、車とぶつかりそうになる。交通マナーだけでなく公共の場での大人のマナーの悪さ、心のせまい対応が子どもの心に影響を与えている不安があります。
- ・高学年になり、習い事が始まる時間も終わる時間も遅くなっています。帰り道の街灯の少なさ、なかなか開かない踏切、細い道やガードレールのない道路での車のスピードなどが気になり、1人で通わせることに不安があります。街灯や防犯カメラ等を増やしてほしいです。
- ・公園が禁止事項だらけで、自由に遊べる場所が少ない。

② 小学校等(教育含む)(43 件)

- ・学校や先生によって、教育内容にだいぶ差があるように思えます。きたコンも、通っている学校は他の学校の話を知ると活用があまりできていないようです。休んだ日のオンライン授業もできていないことがあるのももう少し活用してほしいです。
- ・北区は学力向上施策が弱いと思います。予算を割いているのかもしれませんが、それを広報できていないと思います。文京区や品川区、杉並区、世田谷区のような「教育のまち」というイメージが北区にはありません。GIGA スクールで配布された端末も学習に役立っていないと感じています。学校によるのかもしれませんが、せっかくのPCが役立っていません。改善できることを1つずつ行って、よりよい教育施策を行うことを期待しています。
- ・1人1人に「きたコン」が配布されている。毎日、ランドセルに入れて持っていつているが、教員による差が大きい。連絡以外にあまり使用されていない。時折、授業で使用しているようだが、親が内容を見られない。
- ・不登校児に対するサポート・支援が少ないと思います。他県では校長・担任、カウンセラー、保護者で月1回程話し合いをし、本人への心と学習のサポート、行事へ参加しやすいようにフォローをしたりと手厚いサポートがあるようですが、今の学校ではカウンセラーに任せきりで、他のフォローは全くありません。学習支援もないため学習も遅れています。不登校支

援事業にもっと力を入れてほしいです。(収入がある為無料塾には入塾不可、ホップステップジャンプはほぼ学校です)

- ・児童数に対して学校が狭い。建て替えは緊急案件ではないだろうか。
- ・小学校、中学校（特に中学校の）の2学期制を3学期制に戻してほしいです。高校受験の際に、夏休み前に通知表が出ない為、他地域の生徒と比べると不利になってしまったり、個別相談に改めて行かないといけなかったり、早い段階（夏休み中に）で進路を決められません。

③ 経済的支援(生活困窮含む)(42件)

- ・経済的支援体制をもっと充実させてほしいです。家賃も住宅の増加に伴い上がる一方で、苦しい現状が続いています。北区独自の取り組みに期待します。小さい子どもが着る物など、衣料品を購入できる店舗が少なく困っています。大きな駅前だけでなく、地域にバランス良く作ってくれとありがたいです。
- ・都内都下で比べても医療費無料など、さらに高校生も対象になり、子育て支援が充実していると思います。
- ・多子世帯対象の給食費、半額・全額補助は大変ありがたいです。毎月赤字で借金が増えるばかり。共働きですが、物価上昇でマイナスです。世帯収入としては低くはないですが、毎月返済をしては借金のくり返し。他の自治体では子ども全員へ独自の給付金が配られているとニュースで見る度、北区は中間層以上を助けてくれないのかなと思います。低所得家庭のみではなく中間層以上の家庭、子ども1人につきいくらかでも給付金で助けていただけないでしょうか。習い事も必要な物も買いにくいです。切実なお願いです。貯金にはまわさず、子ども達に使いたいです。
- ・住宅に関する手当を作してほしい。北区は家賃が安くないので埼玉県に引っ越したくなります。高校生になった時の教育費に不安があり、そういった情報が発信されていない。配偶者が闘病しているのに、就学援助制度に申請しても許可してもらえない。北区は子育てに適さないと本当に感じています。
- ・色々な家族の形を想定した公の支援であってほしいです。また、子どもが自分の未来に期待できるような（例えば奨学金制度など）制度の充実を図ってほしいです。

④ 就学後の放課後の過ごし方(23件)

- ・他区で実施されている放課後の区営学習塾を検討していただきたいです。また、障害児の放課後デイサービスが少なく、送迎支援の基準も厳しいので、他区と同等以上に支援が得られるようになれば、子育てしやすい地域になると思います。
- ・夏休み中の子どもの学童でのお弁当を、一括購入制にしていただきたい。夏休み、学童の過ごし方をなるべく学校に合わせてほしい。学童の過ごし方に慣れてしまい、夏休み明け、学校に慣れるのにとっても苦労した。
- ・放課後クラブ（わくわく）利用しています。ボランティアの方（スタッフ）で子ども達に対して威圧的な言動をとる方がいるようです。親、大人が指摘して（間接的、直接的）も全く改善されず、知らぬ存ぜぬですが子ども達の前でのみ態度を変えていると多くの児童からも聞いています。監視カメラや、子どもの声をきちんと聞いて対応してほしいです。

- ・親が収入を得るため、就労しやすいように保育園や学童などで子どもを長時間、安心して保育できる環境がほしいです。収入があれば親の不安要素も減り、子どもに対して塾や習い事など生活にゆとりができて、良い循環ができると思います。

⑤ 保育園・幼稚園等(就学前教育含む)(11件)

- ・希望した保育園に入りにくい。保育園は親の就労のために預けていましたが、預ける時間が長いと先生に就労時間を短くできないと言われてトラブルになりました。安心して預けられる場所が必要です。
- ・保育園で子どもを預かり、お母さんの時間を少し確保できるサービスがあったと思うが、保育園にそれを受け入れる余裕がなく、実現（サービスを受けられない）できないことがあった。サービスがあっても利用しにくいのでは意味がないと思った。保育園でなく、そういったサービスのみを扱う所があればよい。学校も保育園も仕事ばかり増えてしまうのはよくない。
- ・ちょうど10年前に埼玉県より北区に引っ越してきました。埼玉県では保育園に入れそうもなく、北区の方が入りやすいという情報を得たからです。同様な方が多くいらっしゃるのか、現在も子どもの数は増え続けているように感じます。(小学校のクラスがどんどん増えています) 保育園の充足化など大変かと思いますが、少なくとも子育てが終わるまでは北区に住み続けたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

⑥ 障害児等特に配慮が必要な子どもへの支援(10件)

- ・小学高学年から中学生の健全で安全な無料の遊び場を作ってほしい。児童館は小さい子には抵抗感があり、図書館も静かで使いにくい。飲食もできるフリースペースが増えてほしい。
- ・放課後に子どもたちだけで自由に外で遊べる場所があるとよいと思う。(校庭開放してもらえるととてもありがたい。) 家に一度帰るとなかなか外に出る機会がなくなってしまう。また、ボール遊びができる場所が少ないと思う。医療費や学校教育など、大変助かっており、感謝しております。不審者もちらほらいるので、地域の大人たちで子どもたちを守ってあげられるとよいと思います。
- ・あらかわ遊園スポーツハウスのような、一般に広く利用出来る施設を作って下さい。ダンス教室など、子どもが通える習い事等を充実させてほしいです。

⑦ 地域の子育て支援拠点等(10件)

- ・長女が障害児です。夫婦で頑張ったことで所得が増えたことで、全ての子育て給付金の支援がなくなり、通所や介護サービスの自己負担も37,000円となり、一気に支出も増えました。下の2人の子どもにもこの先十分な教育を受けさせるために時間をやりくりして働いた結果、収入減・負担増となり将来が不安です。特に障害児支援の所得制限の撤廃、自己負担金の引き下げをお願いします。
- ・子どもが支援学級に通っているが、習熟度別になっておらず、進度がとても遅い。自分の子どもはもう少し早くても良いのだが、今年も昨年と同じような勉強をしており、不満を感じている。支援学級でも苦手な内容は様々なので、個々の子の進度に合わせて、できる子は早く進めるような体制にしていきたい。このままだと学力が十分に伸びないのではないかと

ととても不安である。また希望すれば支援学級の子が通常学級に入れるような時間割の組み方をしてほしい(基本的に交流に入ることをあまり想定しないで組まれているように感じる)。

- ・現在、支援学級に通っているが、中学校の進路に不安があります。集団では学習が難しいものの、知的障害はなく、いわゆる境界知能といわれる水準にあります。通常級や情緒学級ではついていけず、知的学級ではもの足りないと感じています。もっとボーダーの子どもに合う学級があれば良いと思いますし、通常級で苦勞している子どもも少なくないため、そういったお子さんも通いやすい教室を作っていただきたいです。我が子は支援学級に行っても本当に良かったです。35人クラスで下位5人の子どものための教室は、ニーズも高いと思いますので、ぜひご検討お願いいたします。

4. 25～39歳の区民

(1) 本人・家族について

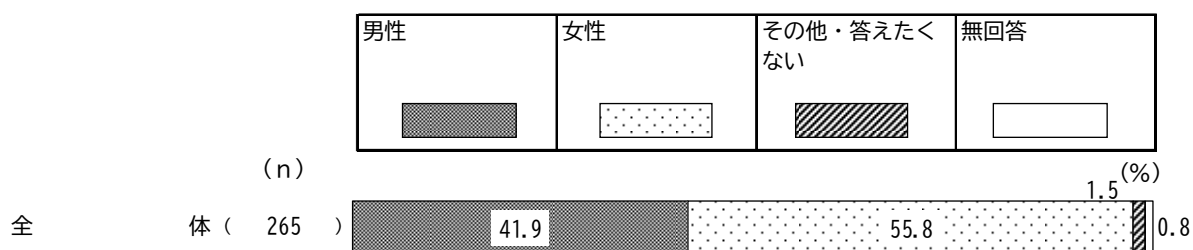
① 性別・年齢

問1 あなたの性別・年齢をお答えください。

■性別

性別は、「男性」が41.9%、「女性」が55.8%となっている。

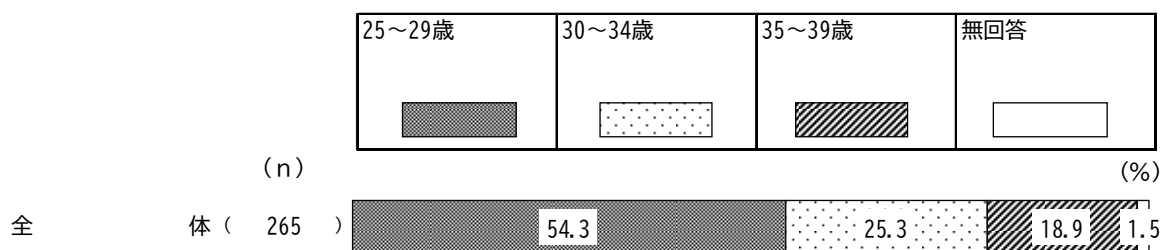
図表 4-1 性別



■年齢

年齢は、「25～29歳」が54.3%、「30～34歳」が25.3%、「35～39歳」が18.9%となっている。

図表 4-2 年齢

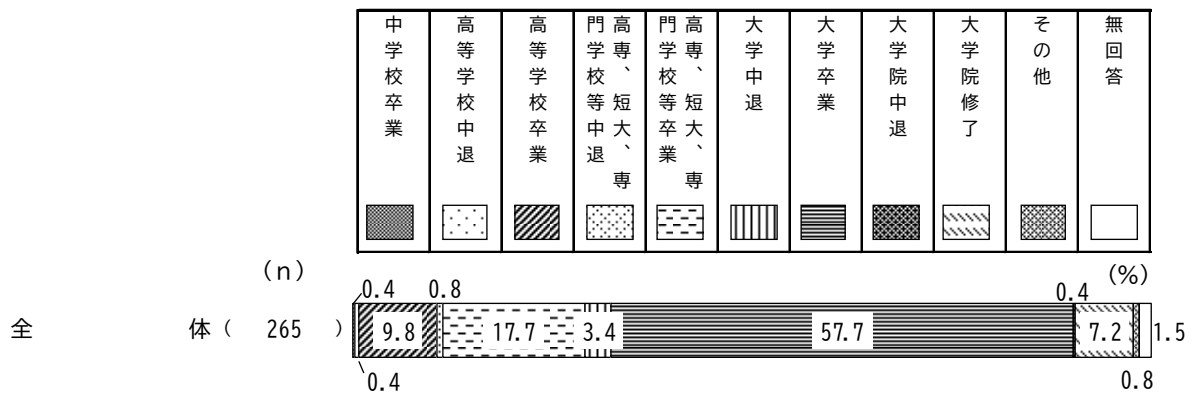


② 最終学歴

問2 あなたの最終学歴について教えてください。(1つに○)

最終学歴は、「大学卒業」が57.7%と最も高く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が17.7%、「高等学校卒業」が9.8%となっている。

図表 4-3 最終学歴

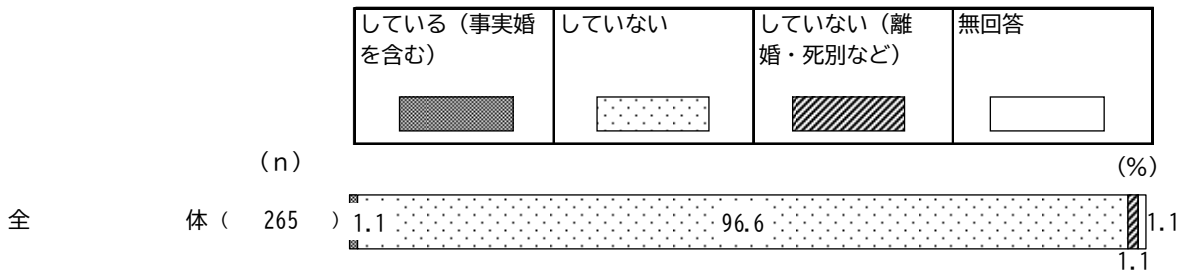


③ 既婚・未婚の状況

問3 あなたは現在、結婚していますか。(1つに○)

既婚・未婚の状況は、「していない」が96.6%、「している(事実婚を含む)」「していない(離婚・死別など)」がともに1.1%となっている。

図表 4-4 既婚・未婚の状況



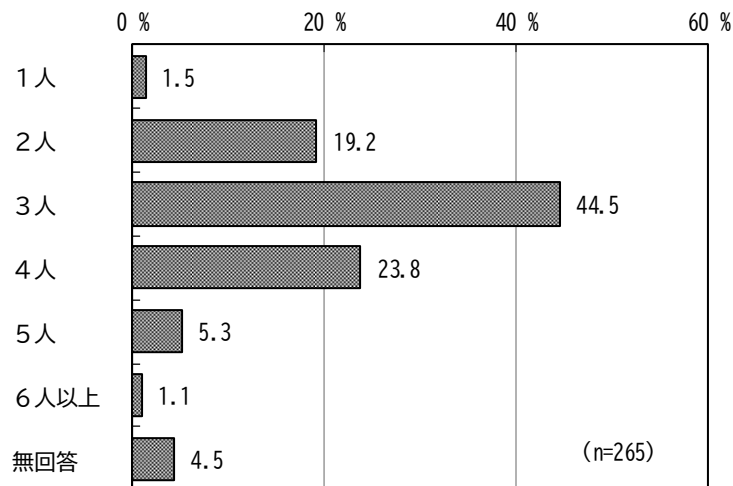
④ 世帯構成

問4 あなたご自身も含めた世帯の人数と同居している方をお答えください。

■世帯の人数

世帯の人数は、「3人」が44.5%と最も高く、次いで「4人」が23.8%、「2人」が19.2%となっている。

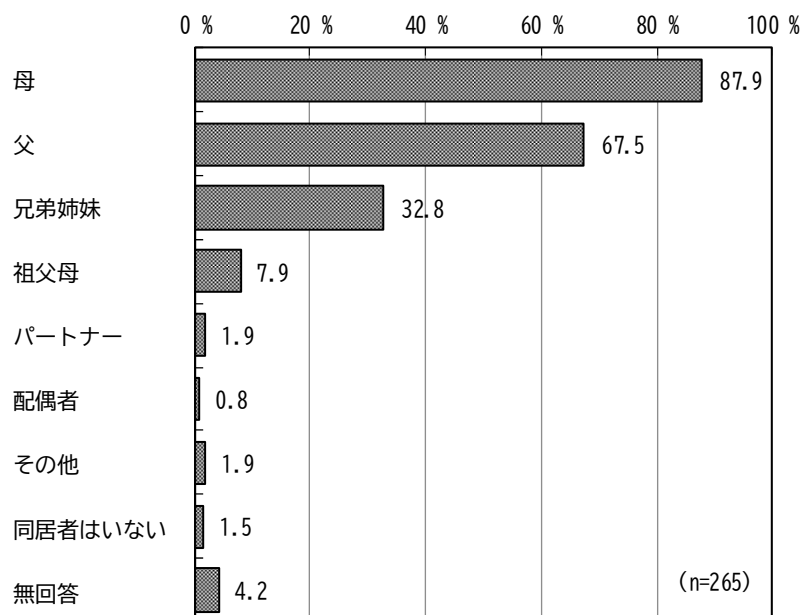
図表 4-5 世帯の人数



■同居者

同居者は、「母」が87.9%と最も高く、次いで「父」が67.5%、「兄弟姉妹」が32.8%と続いている。

図表 4-6 同居者（複数回答）

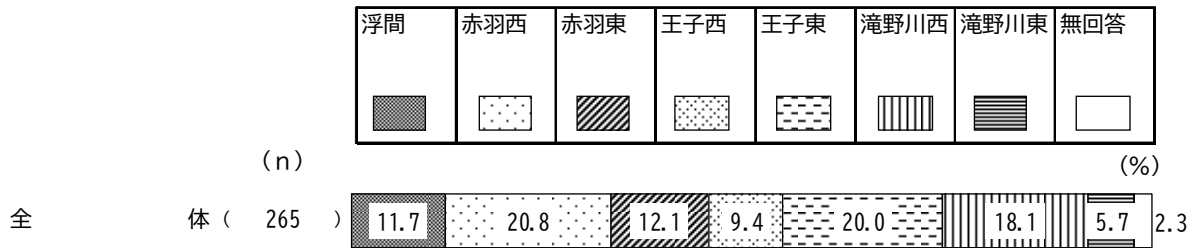


⑤ 居住地区

問5 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

居住地区は、「赤羽西」が20.8%と最も高く、次いで「王子東」が20.0%、「滝野川西」が18.1%となっている。

図表 4-7 居住地区

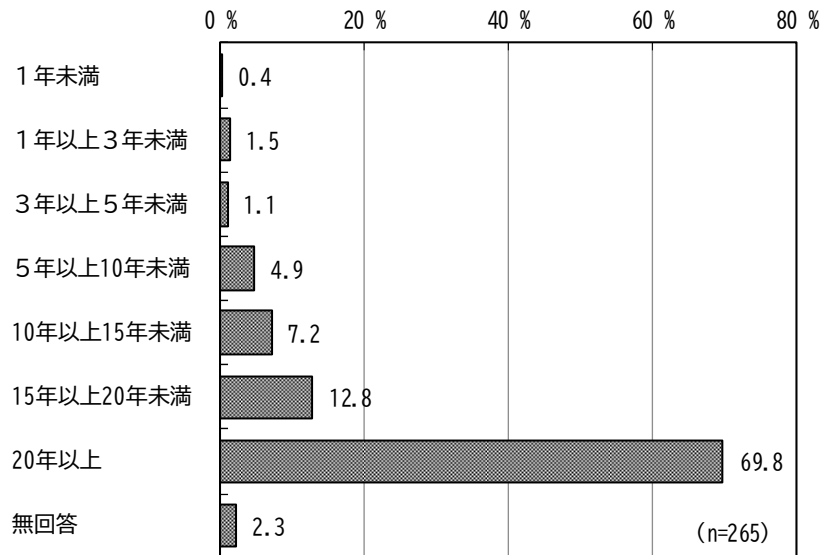


⑥ 居住年数

問6 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

居住年数は、「20年以上」が69.8%と最も高く、次いで「15年以上20年未満」が12.8%、「10年以上15年未満」が7.2%となっている。

図表 4-8 居住年数

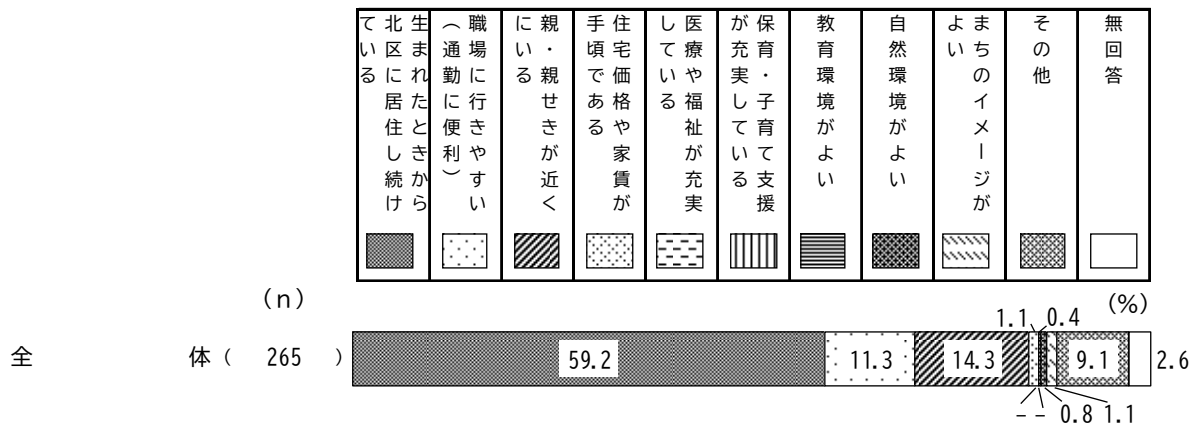


⑦ 北区に住んでいる理由

問7 北区にお住まいの理由をお答えください。(1つに○)

居住理由は、「生まれたときから北区に居住し続けている」が59.2%と最も高く、次いで「親・親せきが近くにいる」が14.3%、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が11.3%となっている。

図表 4-9 居住理由



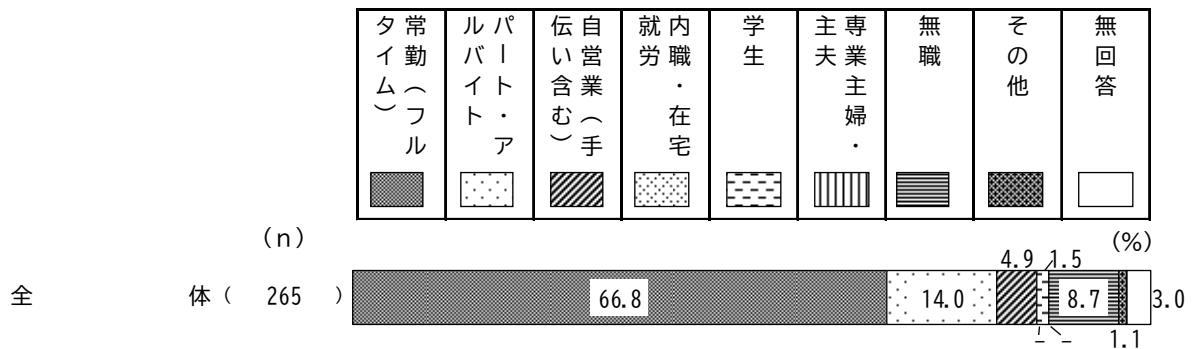
(2) ライフスタイル・働き方

① 就労状況

問8 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

就労状況は、「常勤(フルタイム)」が66.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が14.0%、「無職」が8.7%となっている。

図表 4-10 就労状況



② 就労日数・就労時間、家を出る時間・帰宅時間

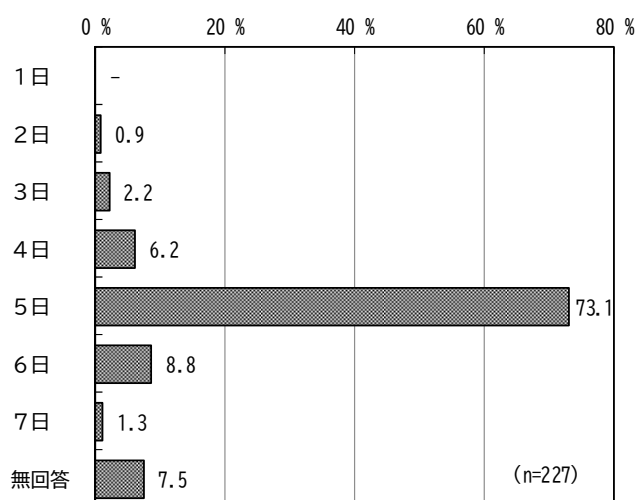
【問8-1は、問8で「1. 常勤（フルタイム）」～「4. 内職・在宅就労」と回答した方にかがいます】

問8-1 現在の仕事の1週間あたりの平均勤務日数、残業時間を含めた1日あたりの平均就業時間、働いている日の平均的な家を出る時刻・平均帰宅時刻について、それぞれの（ ）の中にご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「5日」が73.1%と最も高く、次いで「6日」が8.8%、「4日」が6.2%となっている。

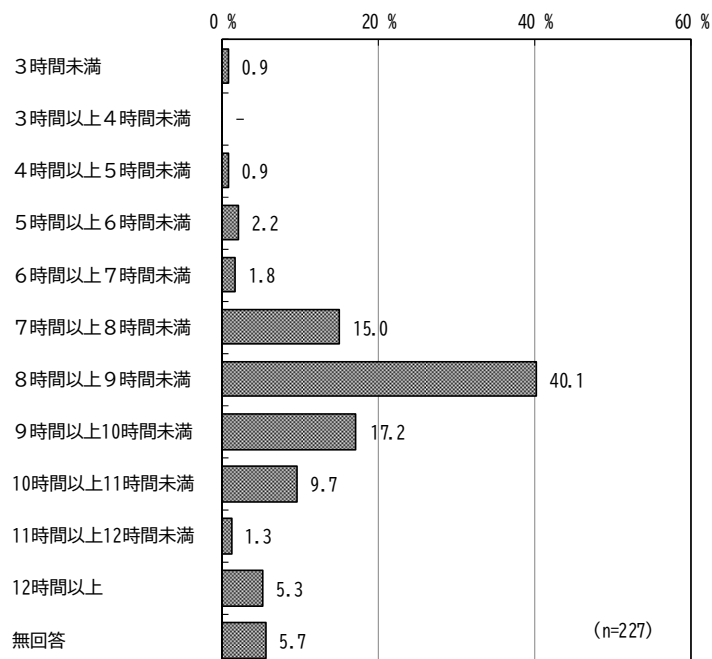
図表 4-11 1週当たりの就労日数



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「8時間以上9時間未満」が40.1%と最も高く、次いで「9時間以上10時間未満」が17.2%、「7時間以上8時間未満」が15.0%となっている。

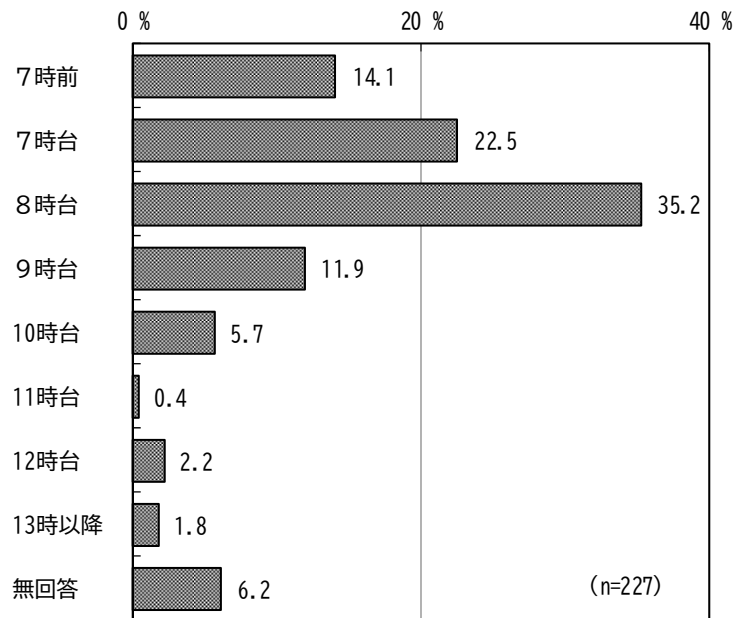
図表 4-12 1日当たりの就労時間



■家を出る時間

家を出る時間は、「8時台」が35.2%と最も高く、次いで「7時台」が22.5%、「7時前」が14.1%となっている。

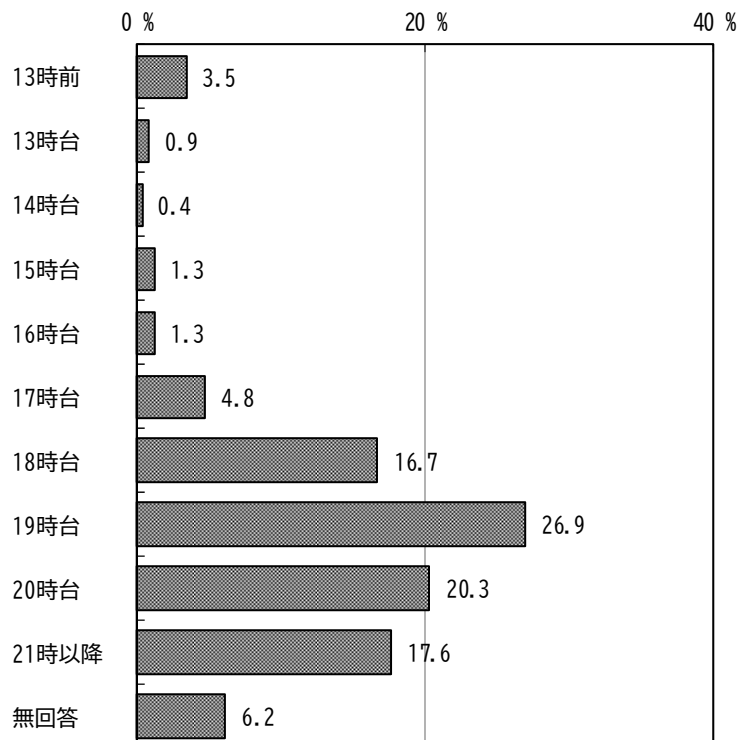
図表 4-13 家を出る時間



■帰宅時間

帰宅時間は、「19時台」が26.9%と最も高く、次いで「20時台」が20.3%、「21時以降」が17.6%となっている。

図表 4-14 帰宅時間

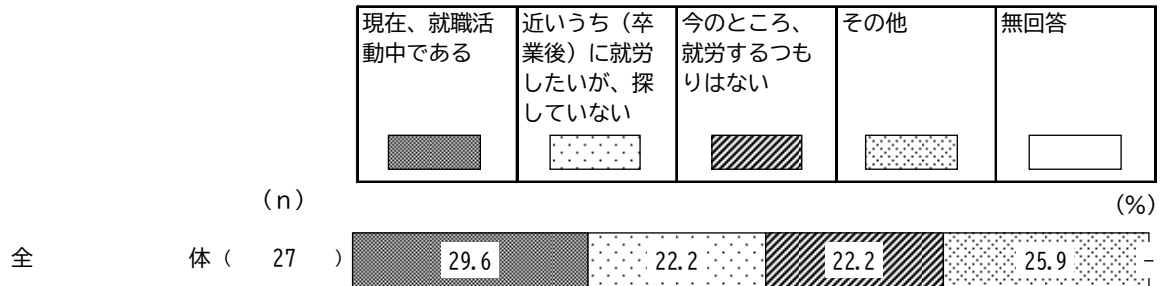


③ 就労意向

【問8-2は、問8で「5. 学生」～「7. 無職」と回答した方にうかがいます】
 問8-2 あなたは今後、就労したいと考えていますか。(1つに○)

就労意向は、「現在、就職活動中である」が29.6%、「近いうち(卒業後)に就労したいが、探していない」「今のところ、就労するつもりはない」がともに22.2%となっている。

図表 4-15 就労意向

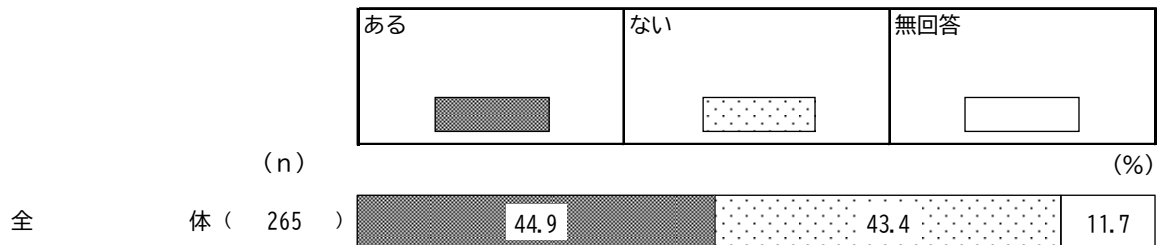


④ 離職した経験の有無

問9 あなたは、今までに離職した経験がありますか。(1つに○)

離職した経験の有無は、「ある」が44.9%、「ない」が43.4%となっている。

図表 4-16 離職した経験の有無

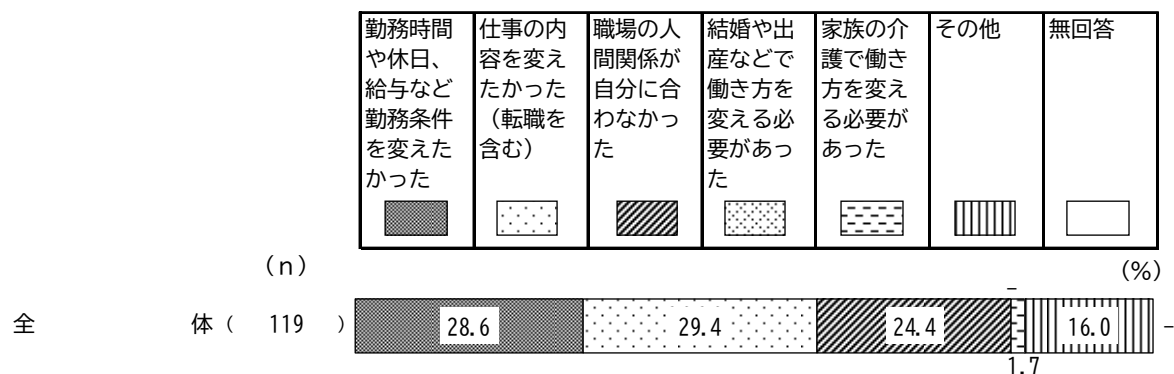


⑤ 離職した理由

【問9-1は、問9で「1. ある」と回答した方にかがいます】
問9-1 離職した一番の理由は何ですか。(1つに○)

離職した理由は、「仕事の内容を変えたかった(転職を含む)」が29.4%と最も高く、次いで「勤務時間や休日、給与など勤務条件を変えたかった」が28.6%、「職場の人間関係が自分に合わなかった」が24.4%となっている。

図表 4-17 離職した理由

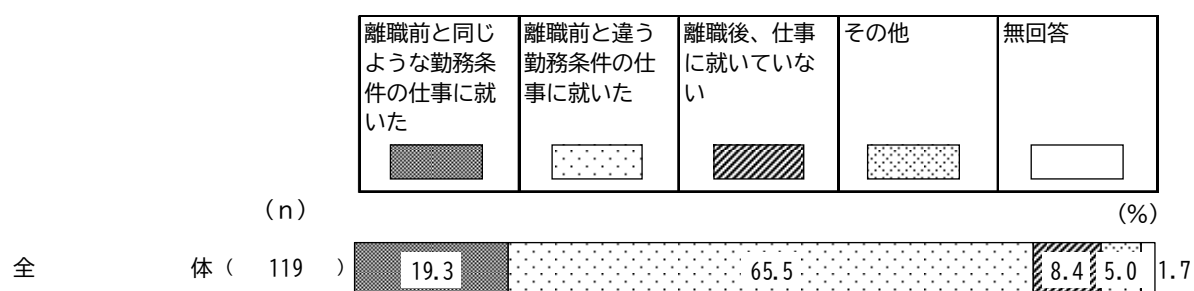


⑥ 離職後の就職

【問9-2は、問9で「1. ある」と回答した方にかがいます】
問9-2 離職後、新しい仕事に就きましたか。(1つに○)

離職後の就職は、「離職前と同じような勤務条件の仕事に就いた」が19.3%、「離職前と違う勤務条件の仕事に就いた」が65.5%、「離職後、仕事に就いていない」が8.4%となっている。

図表 4-18 離職後の就職

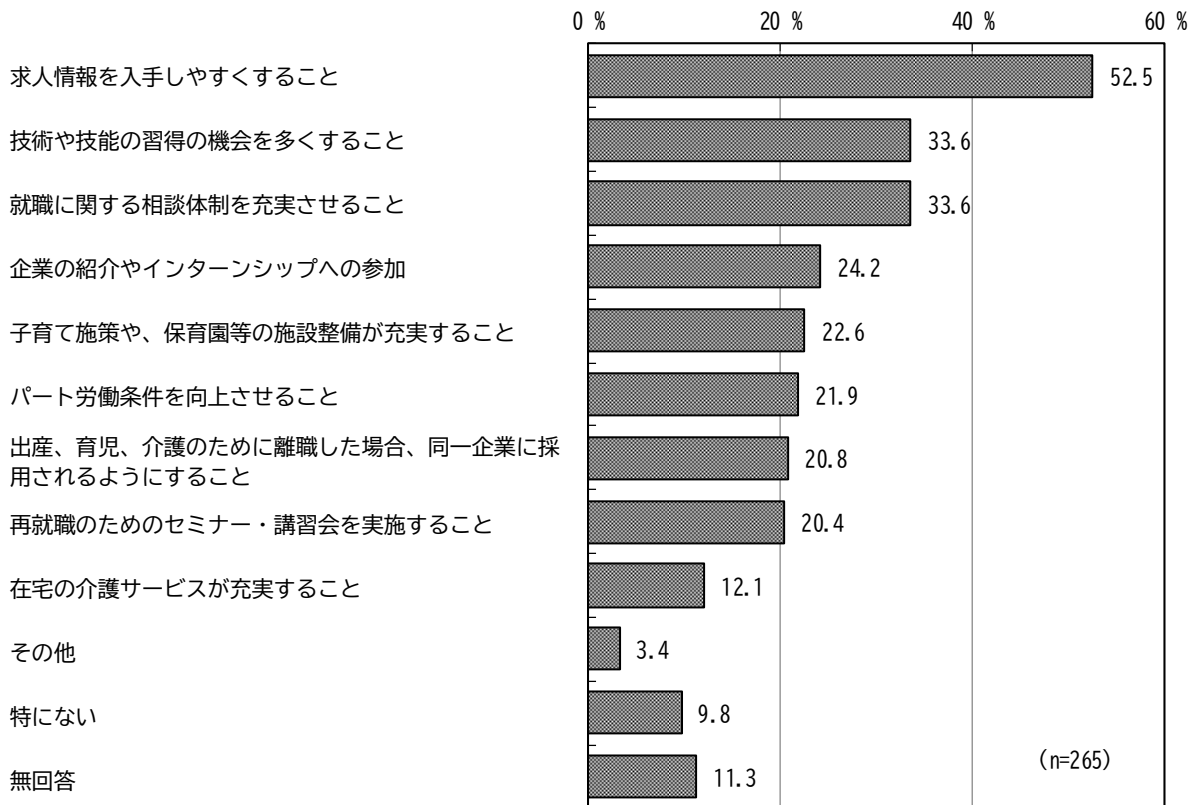


⑦ あるとよい復職の支援

問10 あなたが一度離職し、再就職するとしたら、どのような支援をして欲しいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

あるとよい復職の支援は、「求人情報を入手しやすくすること」が52.5%と最も高く、次いで「技術や技能の習得の機会を多くすること」「就職に関する相談体制を充実させること」がともに33.6%、「企業の紹介やインターンシップへの参加」が24.2%と続いている。

図表 4-19 あるとよい復職の支援（複数回答）



⑧ 家事、介護、趣味、睡眠、学業・自己研鑽に費やす時間

問11 次の項目について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。
 ①～⑤それぞれについて、あなたの平日と休日のおおよその時間を（ ）内に数字で
 ご記入ください。なお、あてはまらない場合は「0（ゼロ）」とご記入ください。
 ①家事 ②介護 ③趣味（自分の時間） ④睡眠 ⑤学業・自己研鑽

■平日

平日に費やす時間をみると、家事、介護、学業・自己研鑽は「0時間」、趣味（自分の時間）は「2～3時間未満」、睡眠は「7～8時間未満」が最も高くなっている。

図表 4-20 平日

	n	0時間	30分未満	30～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満
家事	265 100.0	89 33.6	12 4.5	38 14.3	66 24.9	24 9.1	9 3.4	1 0.4
介護	265 100.0	233 87.9	0 -	1 0.4	3 1.1	0 -	0 -	0 -
趣味（自分の時間）	265 100.0	25 9.4	2 0.8	12 4.5	52 19.6	57 21.5	45 17.0	17 6.4
睡眠	265 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 1.1	8 3.0
学業・自己研鑽	265 100.0	128 48.3	3 1.1	18 6.8	49 18.5	19 7.2	6 2.3	4 1.5

	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10時間以上	無回答	平均（時:分）
家事	1 0.4	1 0.4	0 -	1 0.4	0 -	0 -	23 8.7	0:47
介護	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 0.8	26 9.8	0:07
趣味（自分の時間）	13 4.9	3 1.1	1 0.4	2 0.8	2 0.8	9 3.4	25 9.4	2:29
睡眠	29 10.9	77 29.1	82 30.9	35 13.2	6 2.3	5 1.9	20 7.5	6:37
学業・自己研鑽	3 1.1	2 0.8	1 0.4	3 1.1	0 -	2 0.8	27 10.2	0:52

■休日

休日に費やす時間をみると、家事は「1～2時間未満」、介護、学業・自己研鑽は「0時間」、趣味（自分の時間）は「10時間以上」、睡眠は「8～9時間未満」が最も高くなっている。

図表 4-21 休日

	n	0時間	30分未満	30～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満
家事	265 100.0	64 24.2	11 4.2	22 8.3	70 26.4	42 15.8	15 5.7	6 2.3
介護	265 100.0	227 85.7	0 -	1 0.4	3 1.1	0 -	0 -	1 0.4
趣味（自分の時間）	265 100.0	6 2.3	0 -	4 1.5	13 4.9	31 11.7	27 10.2	24 9.1
睡眠	265 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.4
学業・自己研鑽	265 100.0	108 40.8	3 1.1	16 6.0	49 18.5	27 10.2	11 4.2	5 1.9

	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10時間以上	無回答	平均（時:分）
家事	5 1.9	1 0.4	1 0.4	1 0.4	0 -	1 0.4	26 9.8	1:14
介護	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 0.4	32 12.1	0:04
趣味（自分の時間）	38 14.3	21 7.9	7 2.6	16 6.0	6 2.3	45 17.0	27 10.2	5:28
睡眠	7 2.6	25 9.4	65 24.5	86 32.5	21 7.9	35 13.2	25 9.4	7:53
学業・自己研鑽	3 1.1	6 2.3	0 -	4 1.5	1 0.4	1 0.4	31 11.7	1:08

(3)職場の状況

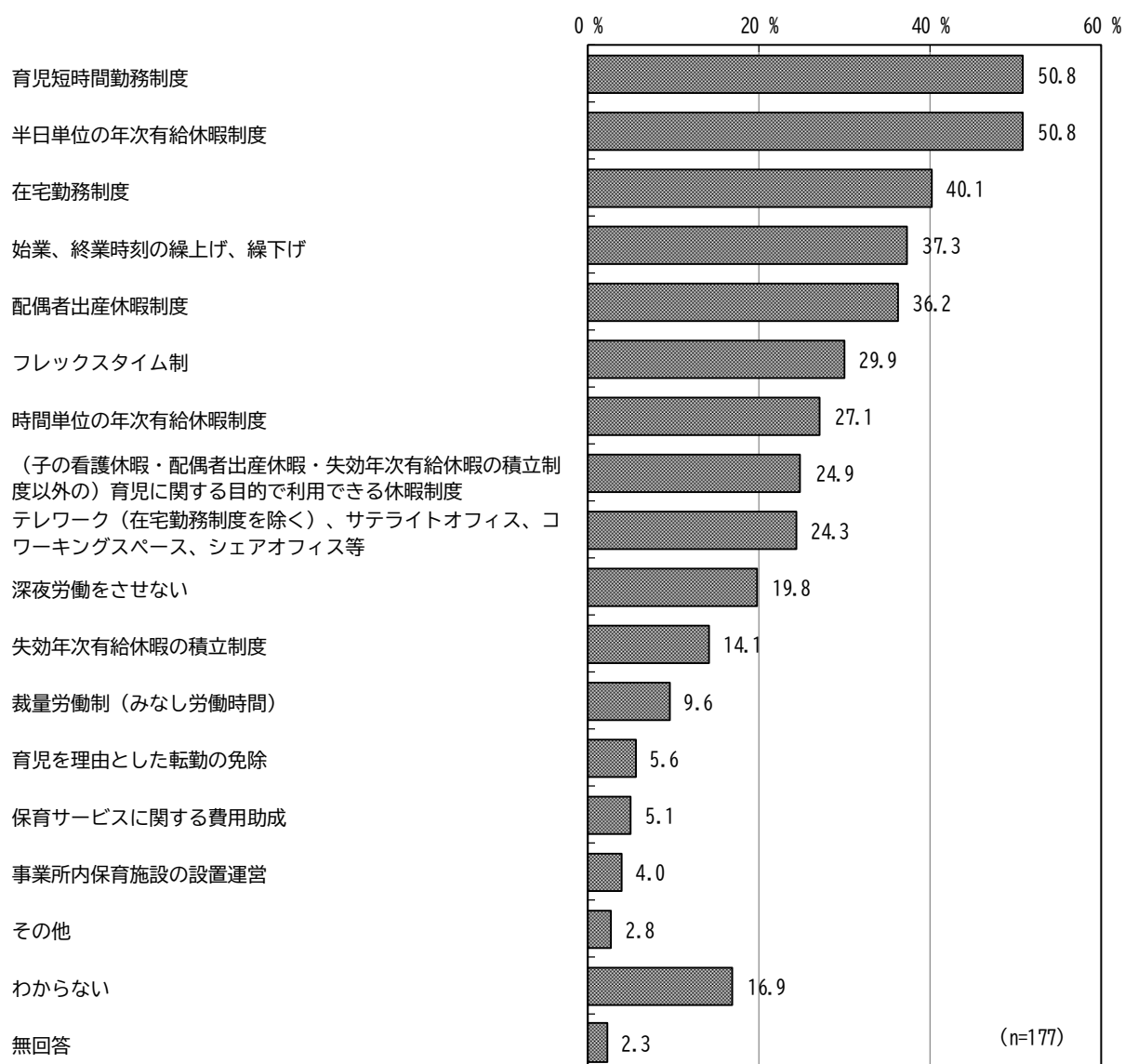
① 導入されている取組

【問12は、問8で「1. 常勤（フルタイム）」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問15へお進みください】

問12 仕事と育児の両立のため、あなたの職場で導入されている取組をお教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

導入されている取組は、「育児短時間勤務制度」「半日単位の年次有給休暇制度」がともに50.8%と最も高く、次いで「在宅勤務制度」が40.1%、「始業、終業時刻の繰上げ、繰下げ」が37.3%と続いている。

図表 4-22 導入されている取組（複数回答）



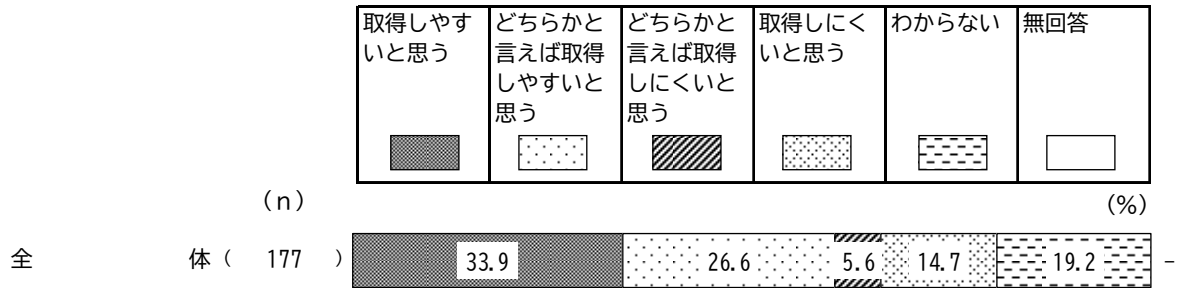
② 育児休業制度の取得しやすさ

【問 13 は、問 8 で「1. 常勤（フルタイム）」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 15 へお進みください】

問 13 あなたの職場は、育児休業制度が取得しやすい環境だと思いますか。（1 つに○）

育児休業制度の取得しやすさは、「取得しやすいと思う」が 33.9% と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得しやすいと思う」が 26.6%、「わからない」が 19.2% となっている。

図表 4-23 育児休業制度の取得しやすさ



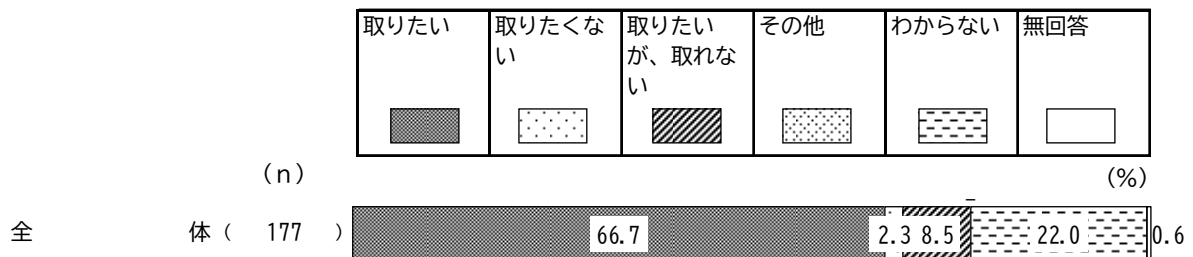
③ 育児休業制度の取得意向

【問 14 は、問 8 で「1. 常勤（フルタイム）」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 15 へお進みください】

問 14 仮に、あなたやあなたの配偶者（となる方）がこれから出産する場合、あなたは育児休業を取りたいと思いますか。（1 つに○）

育児休業制度の取得意向は、「取りたい」が 66.7% と最も高く、次いで「わからない」が 22.0%、「取りたいが、取れない」が 8.5% となっている。

図表 4-24 育児休業制度の取得意向

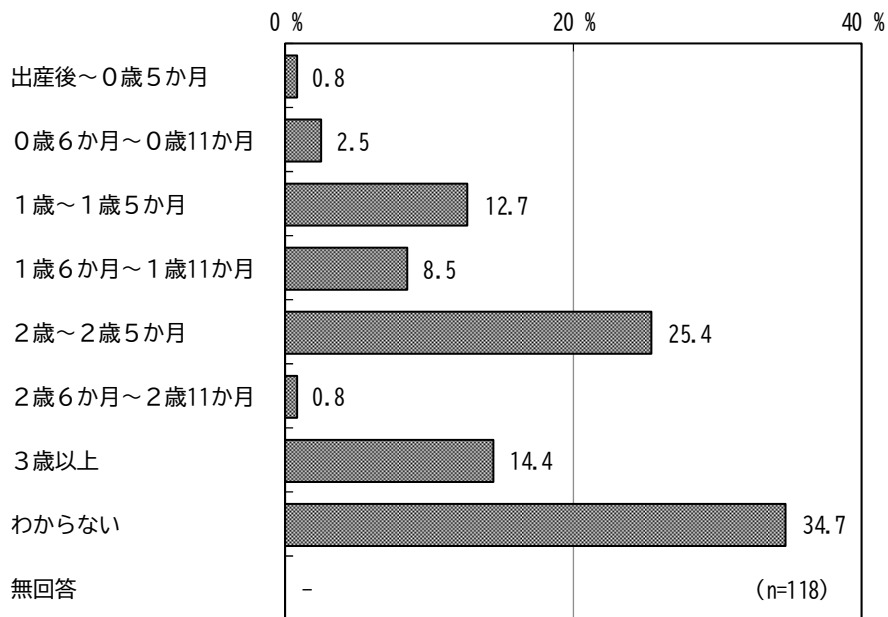


④ 育児休業取得の希望期間

【問 14-1 は、問 14 で「1. 取りたい」と回答した方にうかがいます】
 問 14-1 どのくらいの期間、育児休業（現在の制度では、1歳6か月以後も保育園等に入れないなどの場合には、育児休業期間を最長2歳まで延長できます）を取りたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する期間を（ ）内に数字でご記入ください。

育児休業取得の希望期間は、「わからない」が34.7%と最も高く、次いで「2歳～2歳5か月」が25.4%、「3歳以上」が14.4%となっている。

図表 4-25 育児休業取得の希望期間

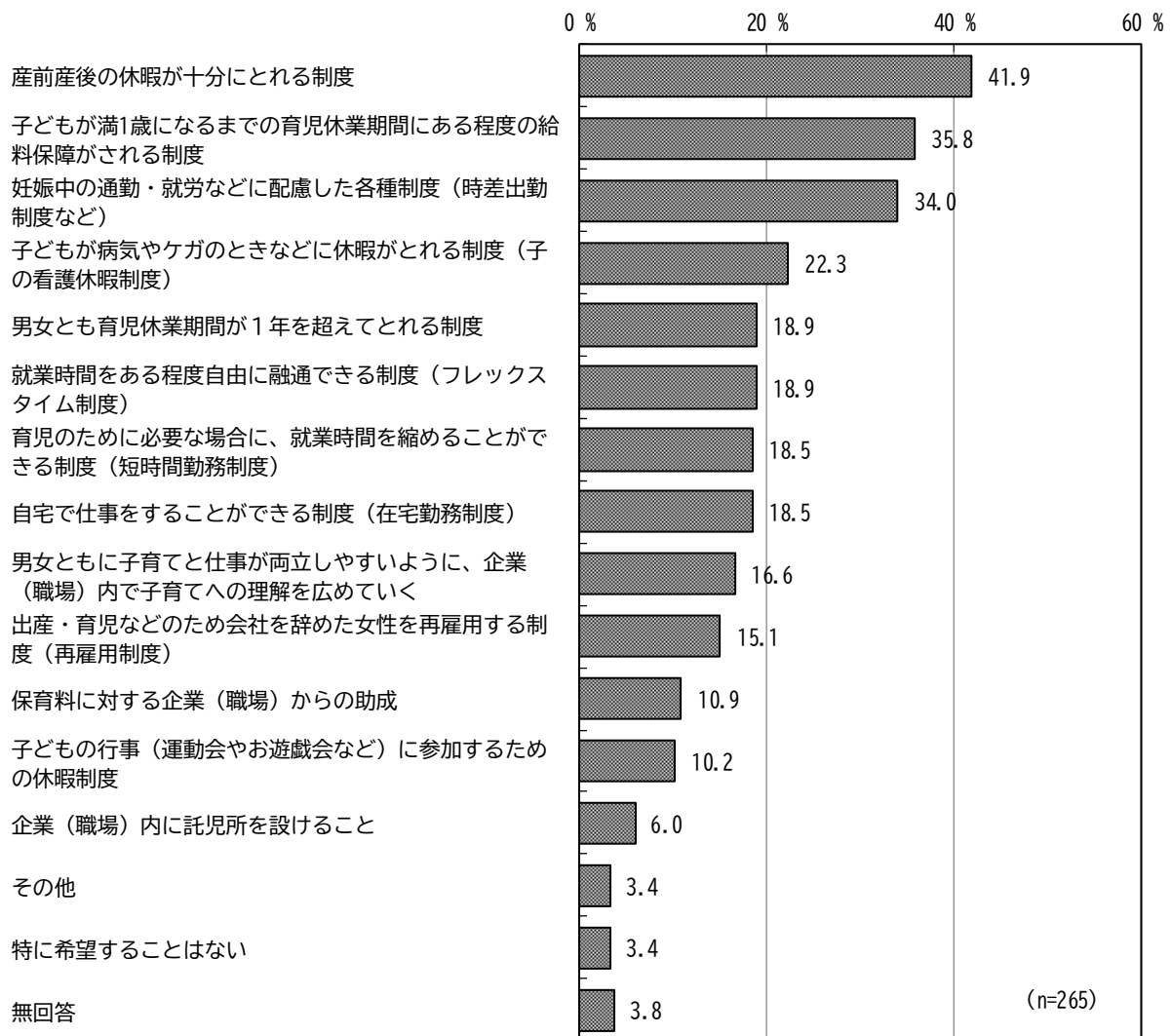


⑤ 子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組

問 15 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備としてどのようなものを望みますか。（3つまでに○）

子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組は、「産前産後の休暇が十分にとれる制度」が 41.9%と最も高く、次いで「子どもが満 1 歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度」が 35.8%、「妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など）」が 34.0%と続いている。

図表 4-26 子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組

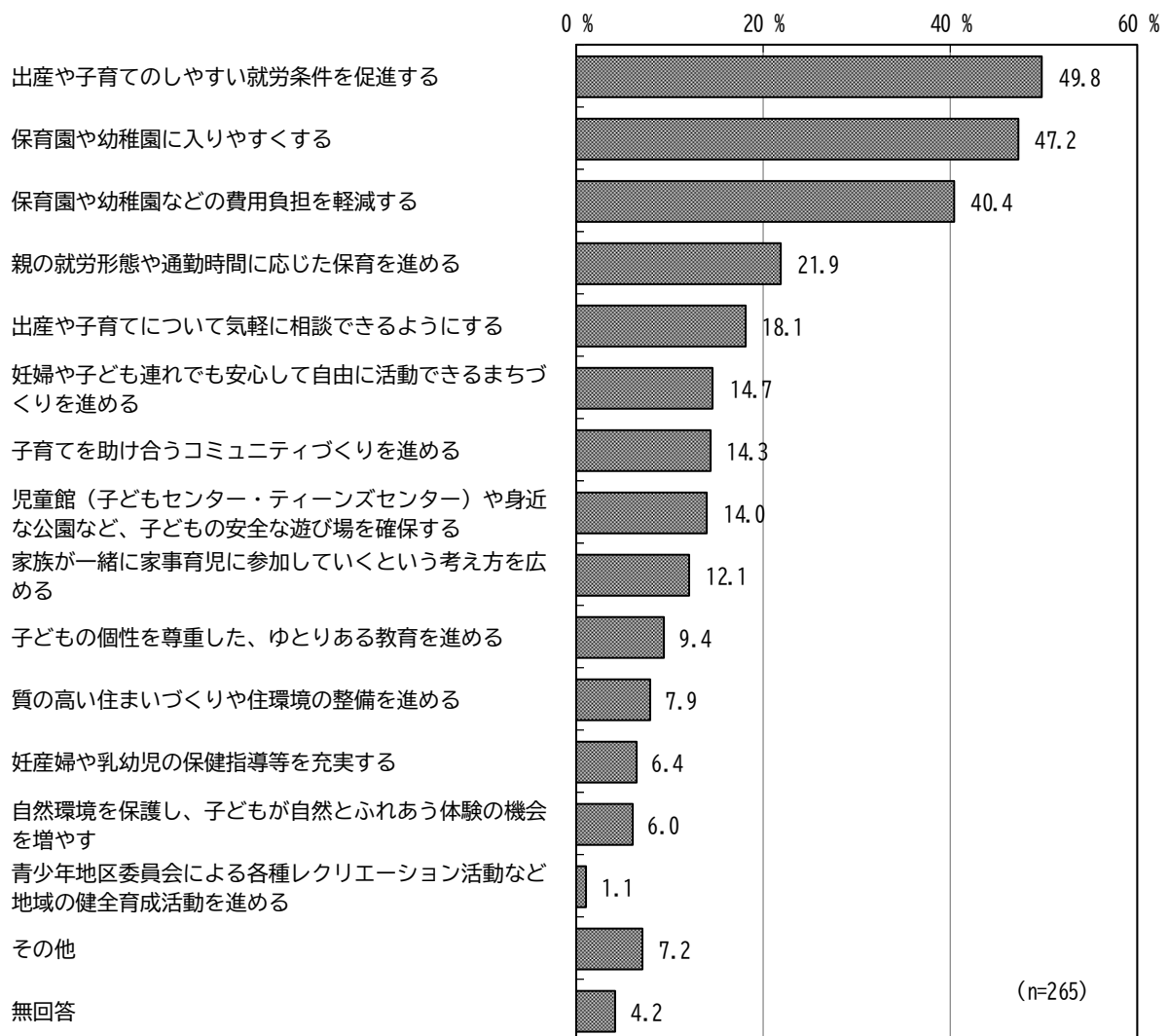


⑥ 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること

問 16 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。
(3つまでに○)

子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が49.8%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園に入りやすくする」が47.2%、「保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」が40.4%と続いている。

図表 4-27 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること



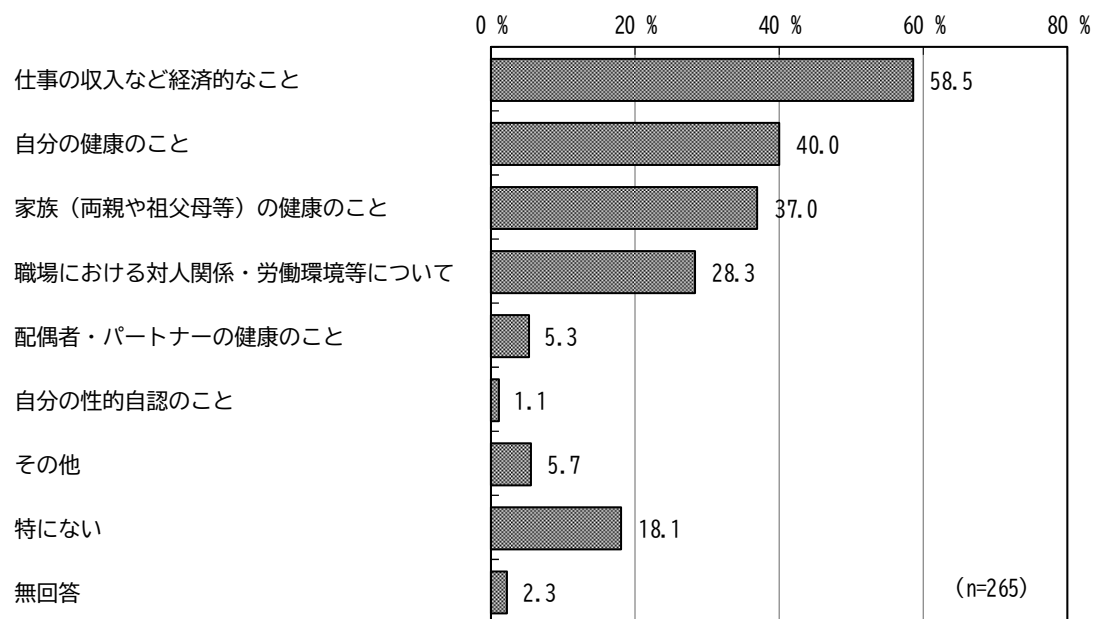
(4) 悩みごと、子育ての考え方

① 悩みごと

問 17 あなたが、今悩んでいることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

悩みごとは、「仕事の収入など経済的なこと」が 58.5%と最も高く、次いで「自分の健康のこと」が 40.0%、「家族（両親や祖父母等）の健康のこと」が 37.0%と続いている。

図表 4-28 悩みごと（複数回答）

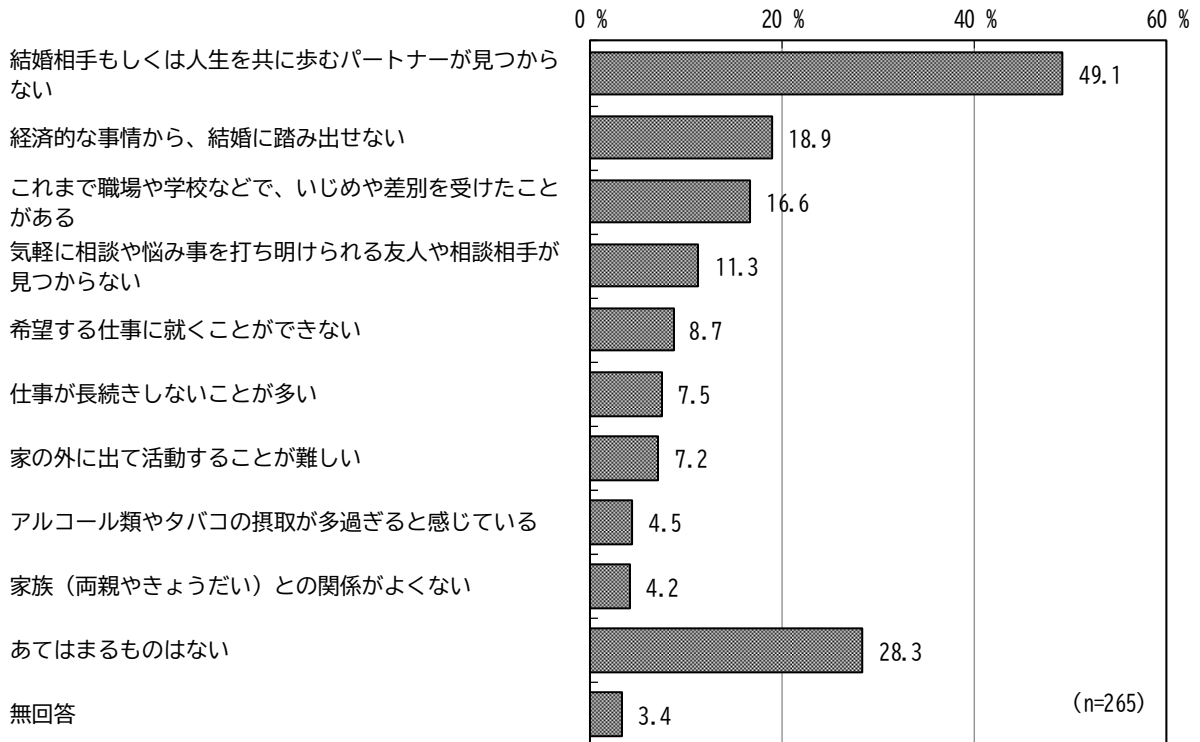


② 自分にあてはまること

問 18 あなたご自身にあてはまることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

自分にあてはまることは、「結婚相手もしくは人生を共に歩むパートナーが見つからない」が49.1%と最も高く、次いで「あてはまるものはない」が28.3%、「経済的な事情から、結婚に踏み出せない」が18.9%と続いている。

図表 4-29 自分にあてはまること (複数回答)

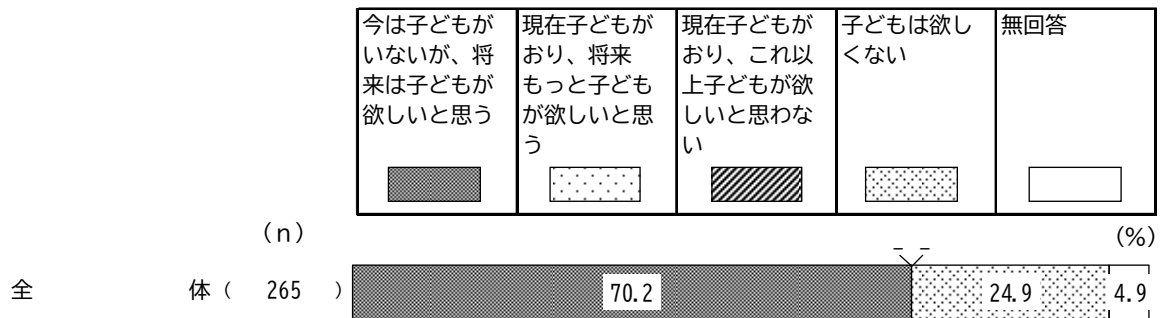


③ 子どもを持つことについて

問19 あなたの子どもについてのお考えは、以下のどれにあてはまりますか。(1つに○)

子どもを持つことについては、「今は子どもがいないが、将来は子どもが欲しいと思う」が70.2%、「子どもは欲しくない」が24.9%となっている。

図表 4-30 子どもを持つことについて



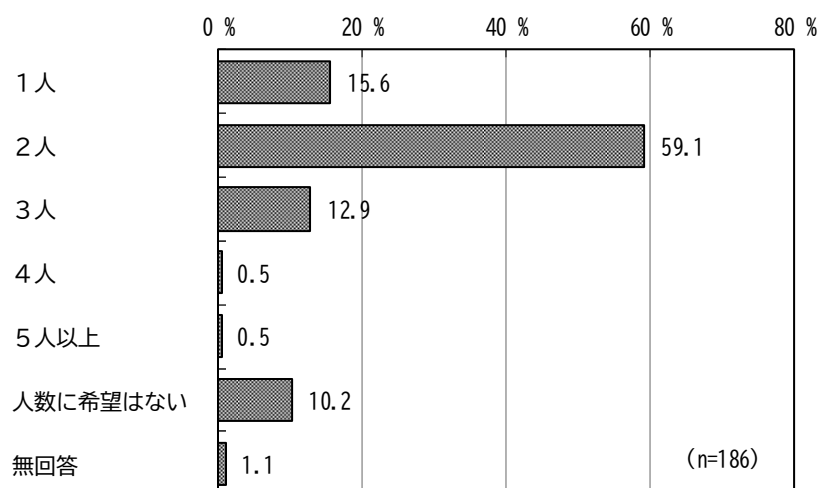
④ 実際に欲しい子どもの人数

【問19-1は、問19で「1. 今は子どもがいないが、将来は子どもが欲しいと思う」～「3. 現在子どもがおり、これ以上子どもが欲しいと思わない」と回答した方にうかがいます】
問19-1 あなたは子どもを実際に何人くらい欲しいですか。(1つに○)

※現在子どもがいる方は、その子どもも含めた人数をお答えください。

実際に欲しい子どもの人数は、「2人」が59.1%と最も高く、次いで「1人」が15.6%、「3人」が12.9%となっている。

図表 4-31 実際に欲しい子どもの人数



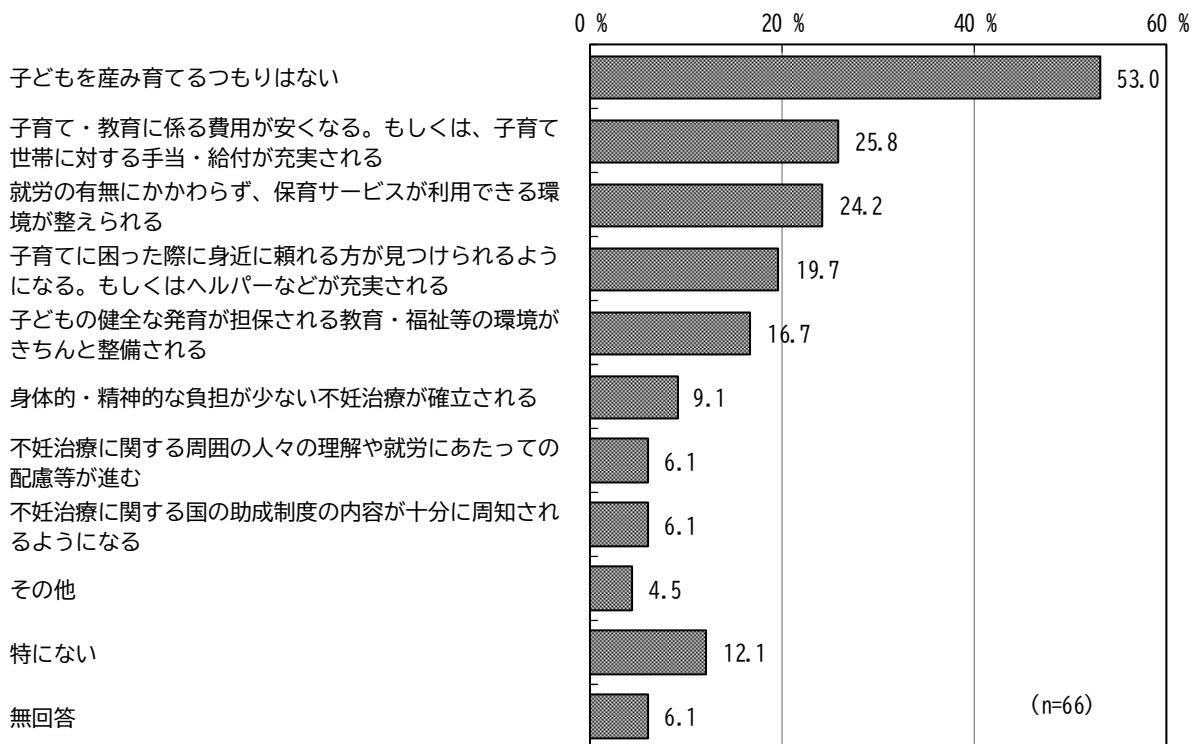
⑤ どのようになれば子どもを産み育てたいか

【問 19-2 は、問 19 で「3. 現在子どもがおり、これ以上子どもが欲しいと思わない」「4. 子どもは欲しくない」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問 20 へお進みください】

問 19-2 あなたは、どのようになれば子どもを産み育てたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

どのようになれば子どもを産み育てたいかは、「子どもを産み育てるつもりはない」が 53.0% と最も高く、次いで「子育て・教育に係る費用が安くなる。もしくは、子育て世帯に対する手当・給付が充実される」が 25.8%、「就労の有無にかかわらず、保育サービスが利用できる環境が整えられる」が 24.2%と続いている。

図表 4-32 どのようになれば子どもを産み育てたいか（複数回答）

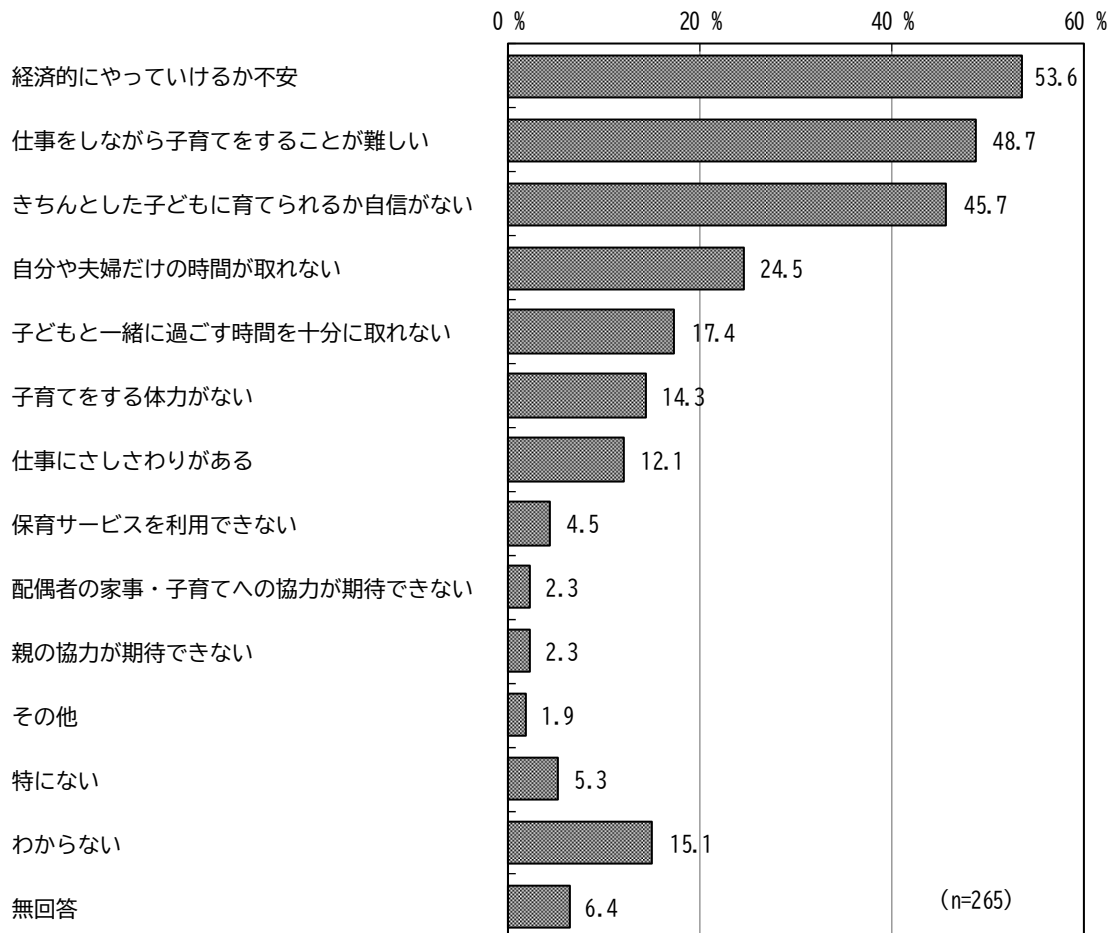


⑥ 子育てで不安に思っていること

問 20 あなたが、子育てで不安に思っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てで不安に思っていることは、「経済的にやっていけるか不安」が53.6%と最も高く、次いで「仕事をしながら子育てをすることが難しい」が48.7%、「きちんとした子どもに育てられるか自信がない」が45.7%と続いている。

図表 4-33 子育てで不安に思っていること（複数回答）

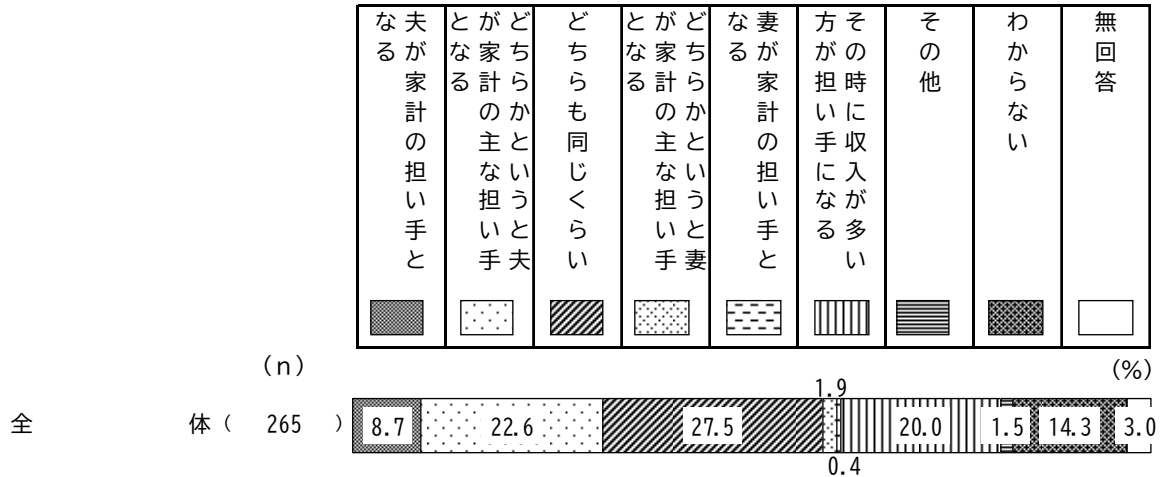


⑦ 夫婦の間の理想的な家計の担い方

問21 あなたは、結婚生活において、夫婦の間で家計をどのように担うのが良いと思いますか。(1つに○)

夫婦の間の理想的な家計の担い方は、「どちらも同じくらい」が27.5%と最も高く、次いで「どちらか」と夫が家計の主な担い手となる」が22.6%、「その時に収入が多い方が担い手になる」が20.0%となっている。

図表 4-34 夫婦の間の理想的な家計の担い方



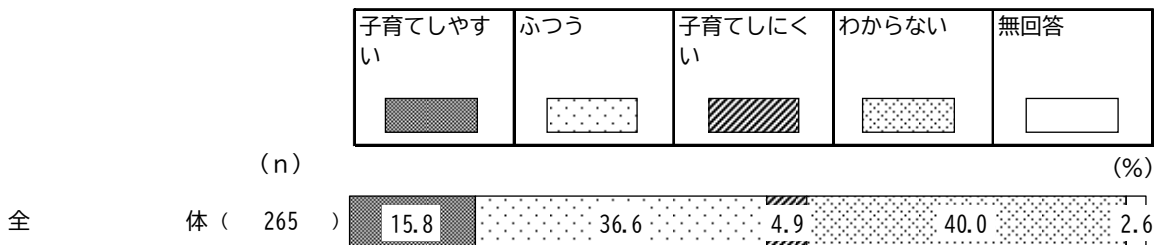
(5)北区の子育て環境等

① 北区の子育てのしやすさ(イメージ)

問22 北区は総合的にみて、子育てしやすいところだと思いますか。お子さんがいない方はイメージでお答えください。(1つに○)

北区の子育てのしやすさ(イメージ)は、「わからない」が40.0%と最も高く、次いで「ふつう」が36.6%、「子育てしやすい」が15.8%となっている。

図表 4-35 北区の子育てしやすさ(イメージ)

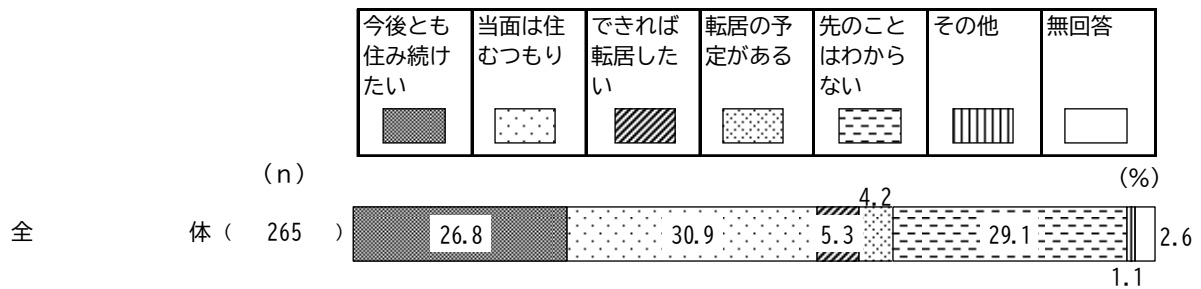


② 今後の定住意向

問 23 あなたは、北区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

今後の定住意向は、「当面は住むつもり」が30.9%と最も高く、次いで「先のことはわからない」が29.1%、「今後とも住み続けたい」が26.8%となっている。

図表 4-36 今後の定住意向

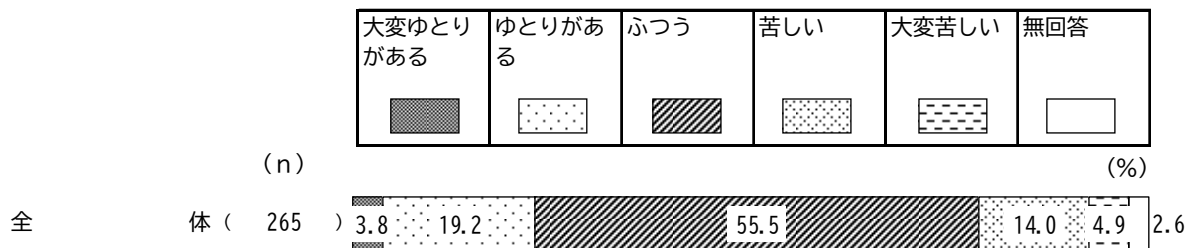


③ 現在の暮らしぶり

問 24 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

現在の暮らしぶりは、「ふつう」が55.5%と最も高く、次いで「ゆとりがある」が19.2%、「苦しい」が14.0%となっている。

図表 4-37 現在の暮らしぶり



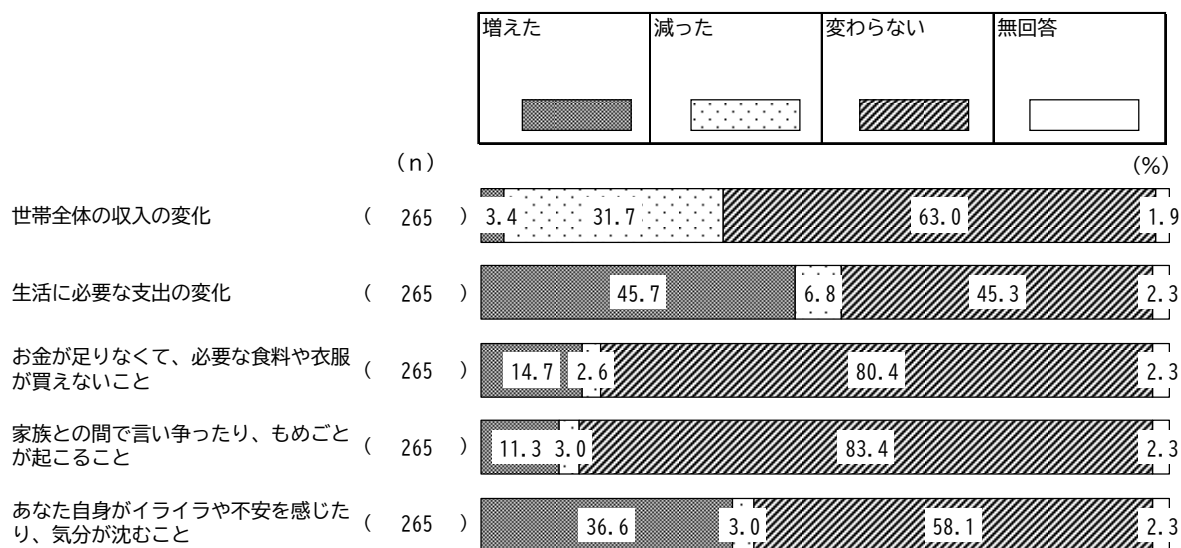
④ 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

問 25 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前（2020年4月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（①～⑤ごとにそれぞれ1つに○）

- ①世帯全体の収入の変化
- ②生活に必要な支出の変化
- ③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと
- ④家族との間で言い争ったり、もめごとが起こること
- ⑤あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症による生活の変化をみると、『世帯全体の収入の変化』『お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと』『家族との間で言い争ったり、もめごとが起こること』『あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと』は、「変わらない」が最も高くなっている。『世帯全体の収入の変化』において、「減った」が他の項目と比較して高くなっている。『生活に必要な支出の変化』は、「増えた」「変わらない」が同程度の割合となっている。

図表 4-38 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

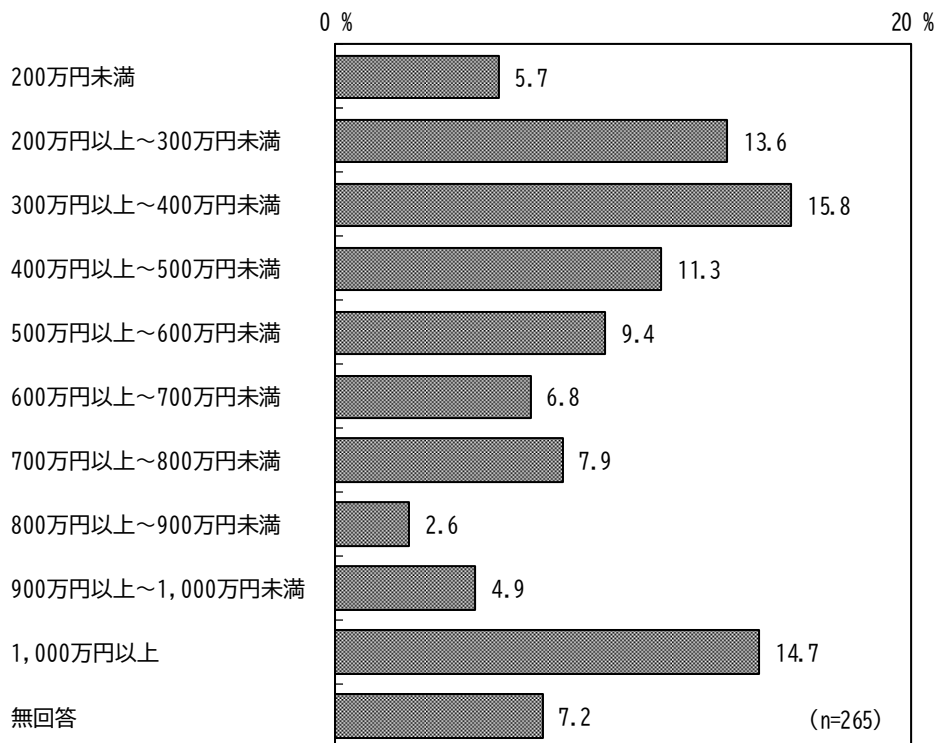


⑤ 世帯年収

問 26 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

世帯年収は、「300万円以上～400万円未満」が15.8%と最も高く、次いで「1,000万円以上」が14.7%、「200万円以上～300万円未満」が13.6%となっている。

図表 4-39 世帯年収



(6)自由意見

問 27 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

① 経済的支援(生活困窮含む)(23 件)

- ・妊娠したら補助金が出る。出産祝いも貰える。小学生になるまで毎年お祝い金を貰える。
- ・物価の上昇に伴い、経済的な負担がこれまで以上に多く子どもを産みたくても経済的な面からあきらめるケースも多いと思います。子育てに必要な資金を支給する制度を沢山導入してほしいです。
- ・出産にあたる手当金の額を増やす。
- ・自分の生活でもギリギリなので、全くお金がかからないというレベルでない子どもは産まないと思います。ほしい気持ちはあっても自分が子どもをもつ想像が全く出来ません。
- ・子育てクーポンではなく、現金の方が使いやすい。
- ・出産直後のみの手当ではなく、子どもが中・高・大学生になるまでの支援に税金が回らないと北区で子育てするのに不安がつきまといます。

② 子育て環境(安全・安心)(20 件)

- ・家と家の距離を離す、近所同士子どもの声など気になりすぎないような住居環境作りをする。子どもが自由に遊べる環境(広い公園、自然を残す、遊具の幅広くなど)を整え、体を動かしやすくする。
- ・新しいマンションばかりでなく、子どもが安全に遊べる公園、大人も休める緑がある場所をもっと造ってほしい。
- ・子どもを育てていくとしたら、もっと公園・森林等の自然に触れる環境があると良いと思った。最寄りの駅の改札が狭く、ベビーカーが通りにくいと感じる。
- ・北区内にショッピングモールのような施設が少なくなっているように感じる。車や公共交通機関を使用すれば行ける範囲ではあるが、子どもが小さい時は、公共機関を使用しての移動はハードルが高く感じるのではないかなと思います。
- ・全ての飲食店にキッズスペースがあるといいかもしれません。今は、子どもがいませんが、今後子どもができるのであれば、産後のケアなどを充実させてもらえると良いなと思っており、また、そういう施設があるのであれば、未婚者や子どもがいない女性もわかるお知らせなどがあると助かります。

③ 区の制度・政策の充実・拡充等(18 件)

- ・施策や制度が充実していたとしても実際に活用しやすい社会になると良いと思います。また、子どもをもつことにポジティブだったとしても、実際にその生活をイメージすることは中々難しいと感じるので、子どもを持つ/持たないに分断されない社会になっていくと良いと思います。

- ・高齢者優遇がすぎる制度を見直し、今後社会活動の担い手になり得る0～50代が普通に暮らせるようにしてほしい。
- ・高齢者対策は必要ですがこれからの未来を担う若者や子ども達の政策が必要である。
- ・子どもを産むことで苦勞が増え、明るい未来に期待できない。もっと行政サービスで支援してもらえそうな体制がないと若者は子どもをつくれなと思う。

④ 就労・介護等(9件)

- ・子育て支援も大事だと思いますが、フルタイムで働いている女性が産休・育休を取得することを快く受けいれてくれる企業が増えると良いと思います(職場の意識、復帰後の仕事内容等)。
- ・女性に子どもがいても、働きやすい職場環境を作っていく事が必要と感じる。子どもが熱を出して帰る風潮をどうしても嫌う人が多いと思う。

⑤ 就労・介護等(7件)

- ・子どもや家庭に対して困っている人のQ&Aや口コミ等が自由に見られるサイトや掲示板があればもっと分かりやすいところにあってほしい。
- ・私のように子どもがいない家庭では、そもそも北区でどのような施策や制度があるか気にもとめていなかった。そのため、子どもがいない、あるいは興味がない人にも子どもに関わる施策を知ってもらう必要があるならば、もっと施策をアピールする必要があると感じる。

5. 世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者及び児童育成手当を受給している世帯

(1) 居住状況

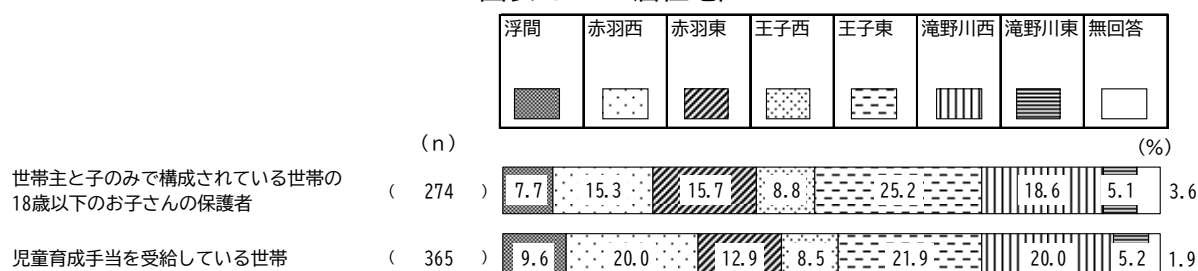
① 居住地区

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

居住地区をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「王子東」が25.2%と最も高く、次いで「滝野川西」が18.6%、「赤羽東」が15.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「王子東」が21.9%と最も高く、次いで「赤羽西」「滝野川西」がともに20.0%、「赤羽東」が12.9%となっている。

図表 5-1 居住地区



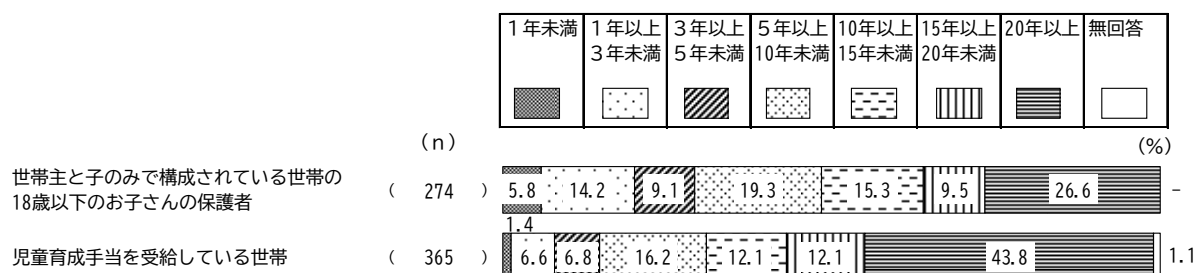
② 居住年数

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

居住年数をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「20年以上」が26.6%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が19.3%、「10年以上15年未満」が15.3%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「20年以上」が43.8%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が16.2%、「10年以上15年未満」「15年以上20年未満」がともに12.1%となっている。

図表 5-2 居住年数



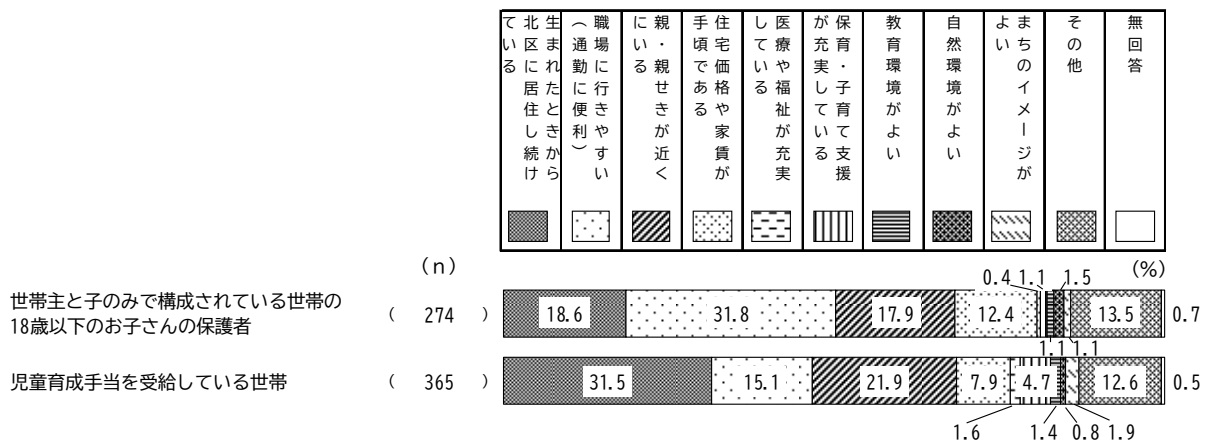
③ 北区に住んでいる理由

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(1つに○)

居住理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が31.8%と最も高く、次いで「生まれたときから北区に居住し続けている」が18.6%、「親・親せきが近くにいる」が17.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「生まれたときから北区に居住し続けている」が31.5%と最も高く、次いで「親・親せきが近くにいる」が21.9%、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が15.1%となっている。

図表 5-3 居住理由



(2)子どもと家族の状況

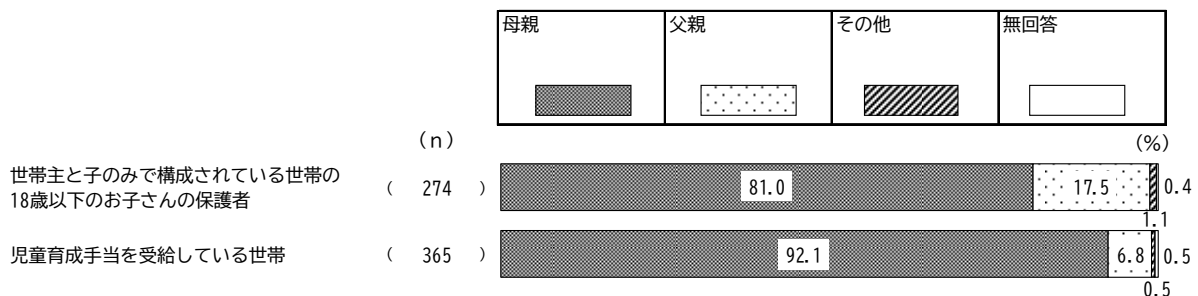
① 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

回答者をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「母親」が81.0%、「父親」が17.5%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「母親」が92.1%、「父親」が6.8%となっている。

図表 5-4 回答者



② きょうだいの人数と年齢

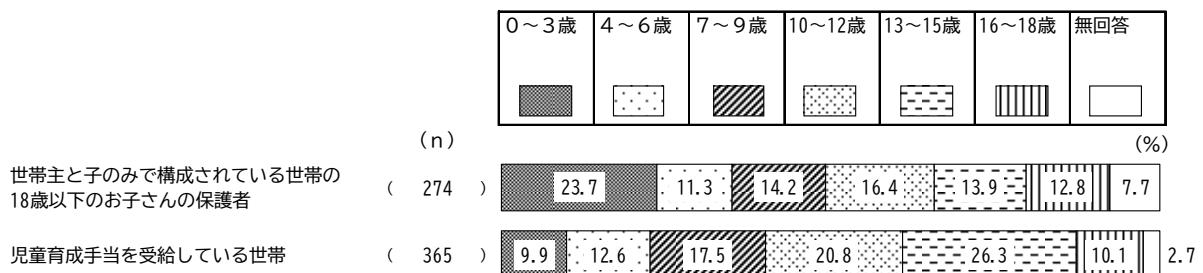
問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。また、生年月をご記入ください。

■宛名の子どもの年齢

宛名の子どもの年齢をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「0～3歳」が23.7%と最も高く、次いで「10～12歳」が16.4%、「7～9歳」が14.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「13～15歳」が26.3%と最も高く、次いで「10～12歳」が20.8%、「7～9歳」が17.5%となっている。

図表 5-5 宛名の子どもの年齢

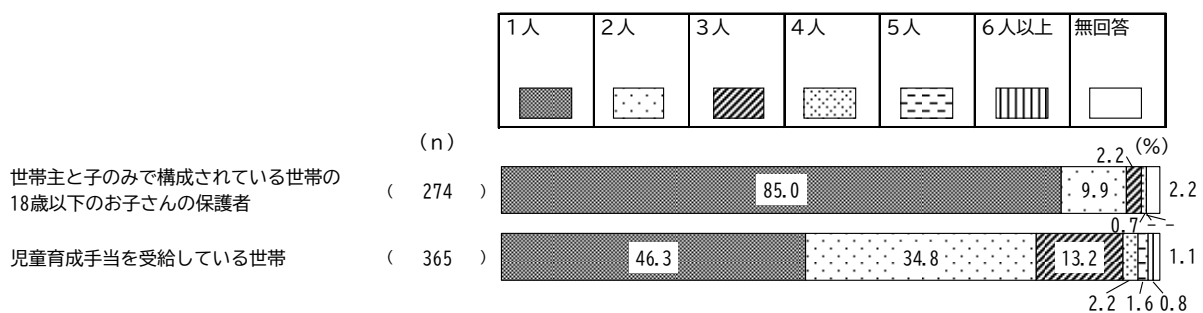


■きょうだいの人数

きょうだい数をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「1人」が85.0%と最も高く、次いで「2人」が9.9%、「3人」が2.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「1人」が46.3%と最も高く、次いで「2人」が34.8%、「3人」が13.2%となっている。

図表 5-6 きょうだい数



■きょうだいの年齢

きょうだいの年齢をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「21歳以上」が57.1%と最も高く、次いで「7～9歳」が17.1%、「0～3歳」が14.3%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「13～15歳」が37.0%と最も高く、次いで「21歳以上」が29.2%、「16～18歳」が20.3%と続いている。

図表 5-7 きょうだいの年齢（複数回答）

	n	0～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	19～20歳	21歳以上	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	35	5	1	6	1	4	1	3	20	2
	100.0	14.3	2.9	17.1	2.9	11.4	2.9	8.6	57.1	5.7
児童育成手当を受給している世帯	192	11	14	23	33	71	39	32	56	7
	100.0	5.7	7.3	12.0	17.2	37.0	20.3	16.7	29.2	3.6

■末子の年齢

末子の年齢をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「0歳」が8.0%と最も高く、次いで「12歳」が6.9%、「1歳」「17歳」がともに6.6%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「13歳」が10.1%と最も高く、次いで「15歳」が9.6%、「17歳」が9.0%となっている。

図表 5-8 末子の年齢

	n	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	22 8.0	18 6.6	14 5.1	13 4.7	12 4.4	12 4.4	8 2.9	17 6.2	9 3.3	14 5.1
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	4 1.1	4 1.1	13 3.6	22 6.0	13 3.6	17 4.7	17 4.7	16 4.4	22 6.0	23 6.3

	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	12 4.4	13 4.7	19 6.9	14 5.1	8 2.9	13 4.7	17 6.2	18 6.6	0 -	21 7.7
児童育成手当を受給している世帯	26 7.1	20 5.5	27 7.4	37 10.1	26 7.1	35 9.6	0 -	33 9.0	1 0.3	9 2.5

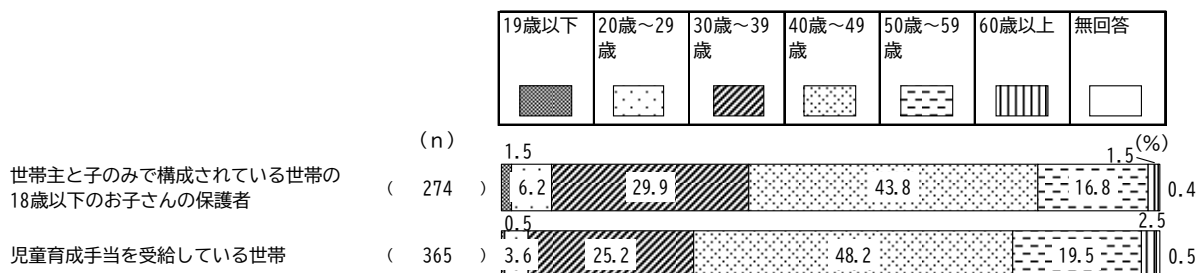
③ 回答者の年齢

問6 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

回答者の年齢をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「40歳～49歳」が43.8%と最も高く、次いで「30歳～39歳」が29.9%、「50歳～59歳」が16.8%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「40歳～49歳」が48.2%と最も高く、次いで「30歳～39歳」が25.2%、「50歳～59歳」が19.5%となっている。

図表 5-9 回答者の年齢



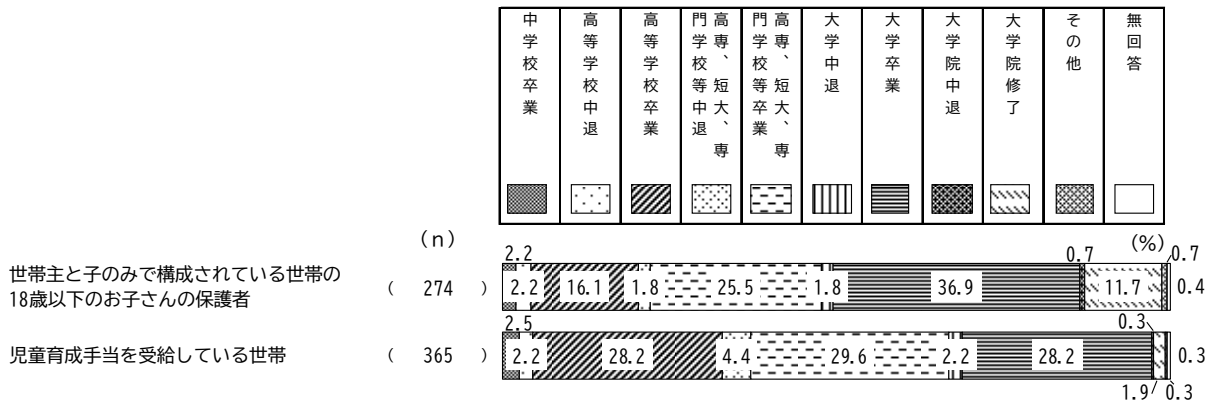
④ 最終学歴

問7 あなたの最終学歴について教えてください。(1つに○)

最終学歴をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「大学卒業」が36.9%と最も高く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が25.5%、「高等学校卒業」が16.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「高専、短大、専門学校等卒業」が29.6%と最も高く、次いで「高等学校卒業」「大学卒業」がともに28.2%、「高専、短大、専門学校等中退」が4.4%となっている。

図表 5-10 最終学歴



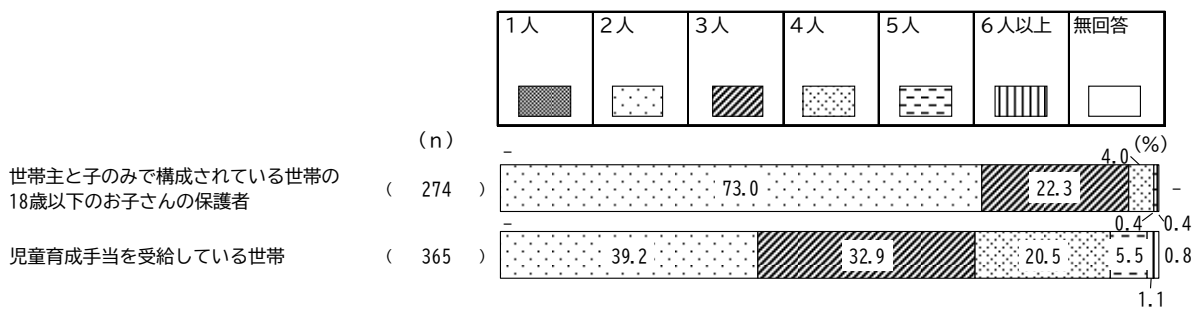
⑤ 世帯人数

問8 あなたご自身も含めた世帯の人数をお答えください。() 内に数字でご記入ください。

世帯人数をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「2人」が73.0%と最も高く、次いで「3人」が22.3%、「4人」が4.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「2人」が39.2%と最も高く、次いで「3人」が32.9%、「4人」が20.5%となっている。

図表 5-11 世帯人数

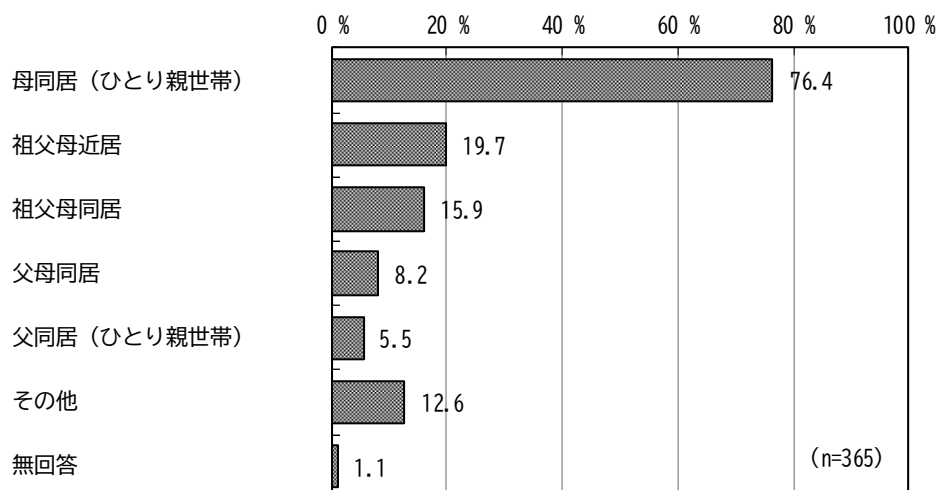


⑥ 同居者

問9 宛名のお子さんと同居されている方、近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の方はどなたですか。続柄は、宛名のお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべてに○）

同居者は、「母同居（ひとり親世帯）」が76.4%と最も高く、次いで「祖父母近居」が19.7%、「祖父母同居」が15.9%と続いている。

図表 5-12 同居者：児童育成手当を受給している世帯（複数回答）



※世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者には設問なし

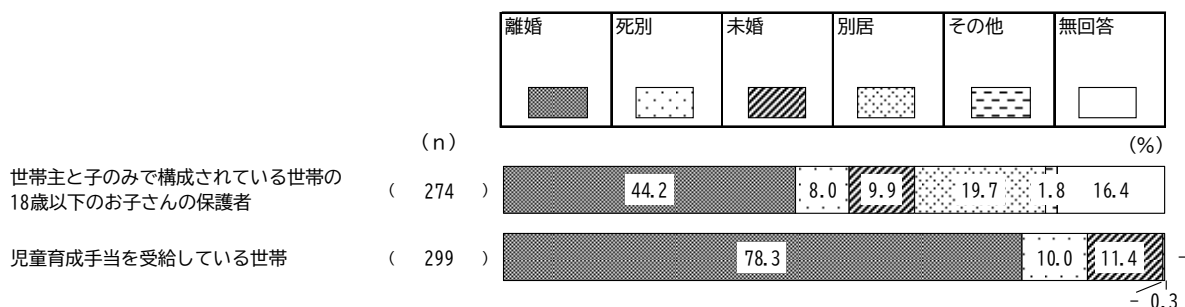
⑦ ひとり親世帯になった理由

【問9-1は、問9で「2. 父同居（ひとり親世帯）」または「3. 母同居（ひとり親世帯）」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問10へお進みください】
問9-1 ひとり親世帯になった理由をお答えください。（1つに○）

ひとり親世帯になった理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「離婚」が44.2%と最も高く、次いで「別居」が19.7%、「未婚」が9.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「離婚」が78.3%と最も高く、次いで「未婚」が11.4%、「死別」が10.0%となっている。

図表 5-13 ひとり親世帯になった理由



(3)子どもの育ちをめぐる環境

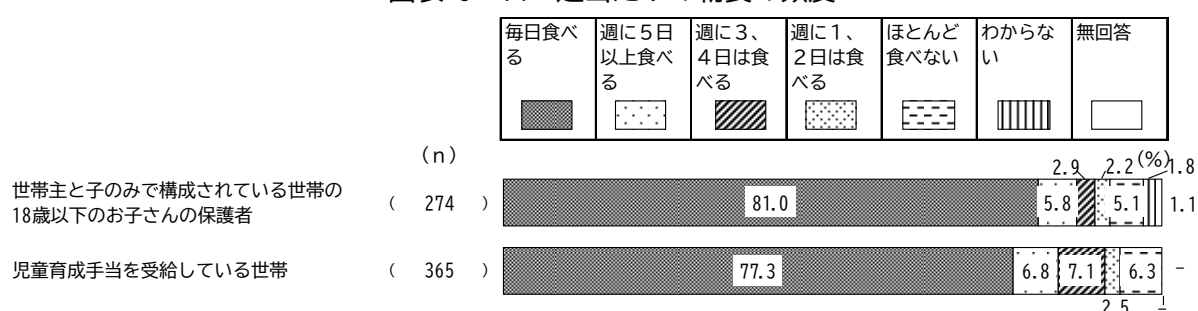
① 週当たりの朝食の頻度

問 10 宛名のお子さんは、1週間に朝食をどれくらい食べていますか。(1つに○)

週当たりの朝食の頻度をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「毎日食べる」が81.0%と最も高く、次いで「週に5日以上食べる」が5.8%、「ほとんど食べない」が5.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「毎日食べる」が77.3%と最も高く、次いで「週に3、4日は食べる」が7.1%、「週に5日以上食べる」が6.8%となっている。

図表 5-14 週当たりの朝食の頻度



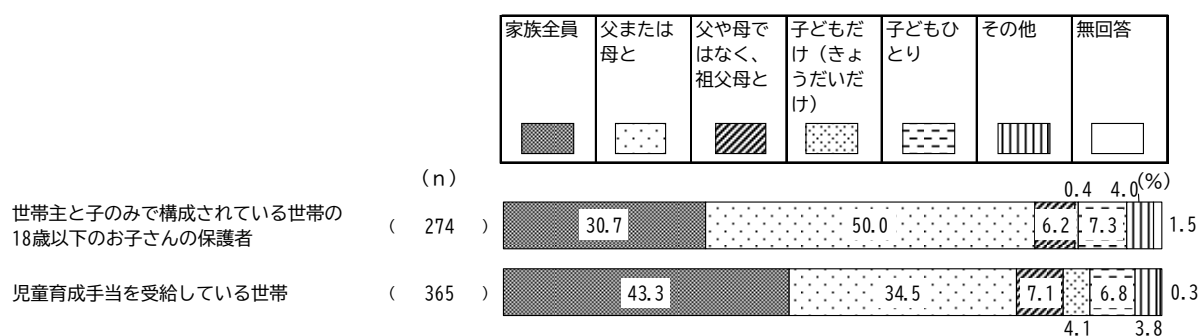
② 夕食を一緒に食べる人が多い

問 11 宛名のお子さんは、夕食を誰と食べる人が多いですか。(1つに○)

夕食を一緒に食べる人が多い人を見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「父または母と」が50.0%と最も高く、次いで「家族全員」が30.7%、「子どもひとり」が7.3%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「家族全員」が43.3%と最も高く、次いで「父または母と」が34.5%、「父や母ではなく、祖父母と」が7.1%となっている。

図表 5-15 夕食を一緒に食べる人が多い人



③ 夕食を子どもだけで食べる主な理由

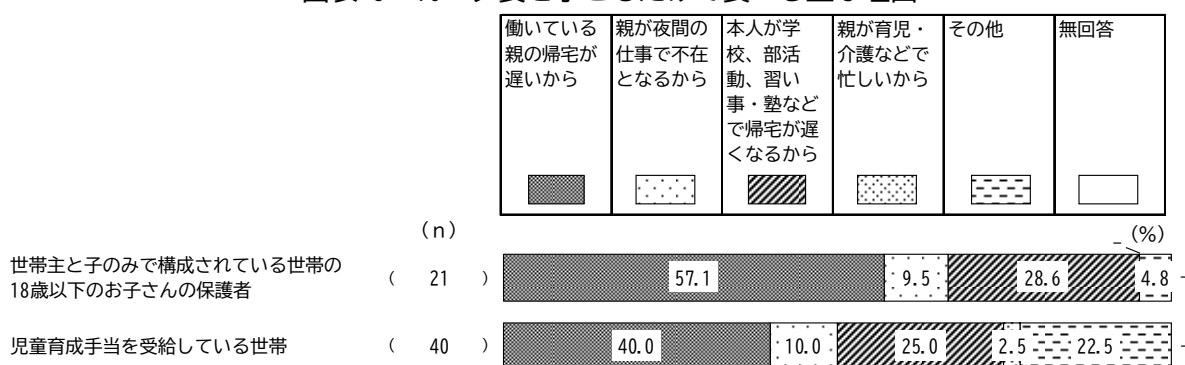
【問 11-1 は、問 11 で「4. 子どもだけ（きょうだいだけ）」または「5. 子どもひとり」と回答した方にうかがいます】

問 11-1 宛名のお子さんが夕食を子どもだけで食べる最も大きな理由は何ですか。
(1つに○)

夕食を子どもだけで食べる主な理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「働いている親の帰宅が遅いから」が57.1%と最も高く、次いで「本人が学校、部活動、習い事・塾などで帰宅が遅くなるから」が28.6%、「親が夜間の仕事で不在となるから」が9.5%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「働いている親の帰宅が遅いから」が40.0%と最も高く、次いで「本人が学校、部活動、習い事・塾などで帰宅が遅くなるから」が25.0%、「親が夜間の仕事で不在となるから」が10.0%となっている。

図表 5-16 夕食を子どもだけで食べる主な理由



④ 塾や習い事

問 12 宛名のお子さんは、現在、塾に行ったり、習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動等は含みません。(あてはまるものすべてに○)

塾や習い事をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「塾や習い事はしていない」が35.8%と最も高く、次いで「学習塾」が29.2%、「スポーツ（野球、サッカー、水泳など）」が19.3%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「塾や習い事はしていない」が44.7%と最も高く、次いで「学習塾」が21.6%、「スポーツ（野球、サッカー、水泳など）」が17.0%と続いている。

図表 5-17 塾や習い事（複数回答）

	n	学習塾	通信教育	英会話・そろばんなど、学習の習い事	ピアノ・バレエなど、芸術の習い事	スポーツ（野球、サッカー、水泳など）	その他	塾や習い事はしていない	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274	80 29.2	23 8.4	36 13.1	40 14.6	53 19.3	13 4.7	98 35.8	27 9.9
児童育成手当を受給している世帯	365	79 21.6	25 6.8	36 9.9	38 10.4	62 17.0	19 5.2	163 44.7	12 3.3

⑤ 平日の学校終了後の帰宅までの過ごし方

【問 13 は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】

問 13 宛名のお子さんは、平日の学校が終わった後、帰宅までの間、どのように過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

平日の学校終了後の帰宅までの過ごし方をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「自宅でひとりで過ごしている」が39.0%と最も高く、次いで「学習塾や習い事に行っている(民間学童含む)」が29.9%、「自宅で家族と過ごしている」が27.4%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「自宅でひとりで過ごしている」が36.2%と最も高く、次いで「自宅で家族と過ごしている」が27.6%、「学習塾や習い事に行っている(民間学童含む)」が20.0%と続いている。

図表 5-18 平日の学校終了後の帰宅までの過ごし方(複数回答)

	n	自宅でひとりで過ごしている	自宅で家族と過ごしている	友達や兄弟姉妹と公園などで遊んでいる	友達や兄弟姉妹と家の中で遊んでいる	小学校で遊んでいる(校庭開放)	同居していない親族や知人宅で過ごしている	放課後子ども教室で過ごしている	学童クラブで過ごしている	学習塾や習い事に行っている(民間学童含む)
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	164 100.0	64 39.0	45 27.4	24 14.6	7 4.3	3 1.8	4 2.4	9 5.5	21 12.8	49 29.9
児童育成手当を受給している世帯	290 100.0	105 36.2	80 27.6	49 16.9	29 10.0	7 2.4	14 4.8	20 6.9	33 11.4	58 20.0

	スポーツクラブに参加している	図書館、児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)等の公共施設に行っている	学校の部活動に参加している	子ども食堂や学習支援教室で過ごす	ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く	アルバイトに行く	その他	わからない	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	6 3.7	7 4.3	31 18.9	0 -	3 1.8	5 3.0	6 3.7	0 -	13 7.9
児童育成手当を受給している世帯	9 3.1	9 3.1	55 19.0	6 2.1	5 1.7	11 3.8	23 7.9	1 0.3	16 5.5

⑥ 子ども食堂などの居場所の利用意向

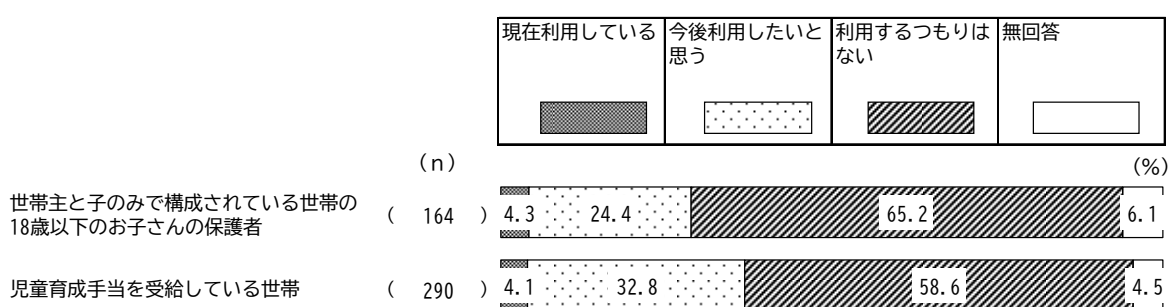
【問 14 は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】

問 14 宛名のお子さんについて、子ども食堂などの居場所があった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

子ども食堂などの居場所の利用意向をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「現在利用している」が4.3%、「今後利用したいと思う」が24.4%、「利用するつもりはない」が65.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「現在利用している」が4.1%、「今後利用したいと思う」が32.8%、「利用するつもりはない」が58.6%となっている。

図表 5-19 子ども食堂などの居場所の利用意向



⑦ 平日の学校以外での勉強時間

【問 15 は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】

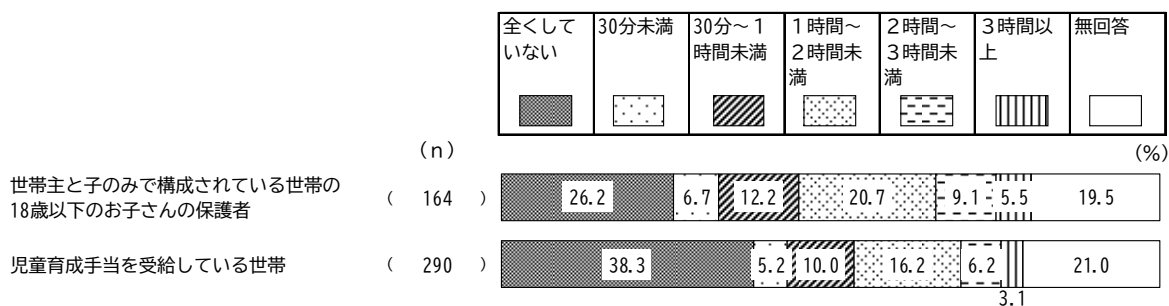
問 15 宛名のお子さんは、平日に学校以外の場でどれくらい勉強をしていますか。
(①塾など自宅以外での勉強、②自宅での勉強、それぞれについて1つに○)

■塾など自宅以外での勉強

塾など自宅以外での勉強をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「全くしていない」が26.2%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が20.7%、「30分～1時間未満」が12.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「全くしていない」が38.3%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が16.2%、「30分～1時間未満」が10.0%となっている。

図表 5-20 塾など自宅以外での勉強

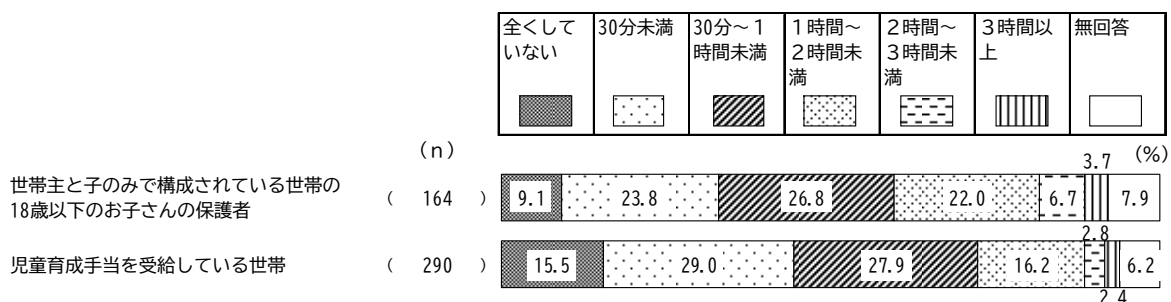


■自宅での勉強

自宅での勉強をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「30分～1時間未満」が26.8%と最も高く、次いで「30分未満」が23.8%、「1時間～2時間未満」が22.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「30分未満」が29.0%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」が27.9%、「1時間～2時間未満」が16.2%となっている。

図表 5-21 自宅での勉強



⑧ 学校の成績

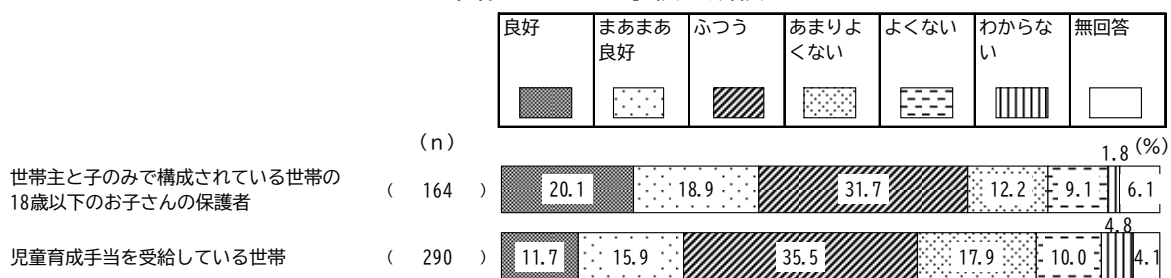
【問 16 は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】

問 16 宛名のお子さんの、学校での成績はいかがですか。(1つに○)

学校の成績をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ふつう」が31.7%と最も高く、次いで「良好」が20.1%、「まあまあ良好」が18.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ふつう」が35.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」が17.9%、「まあまあ良好」が15.9%となっている。

図表 5-22 学校の成績



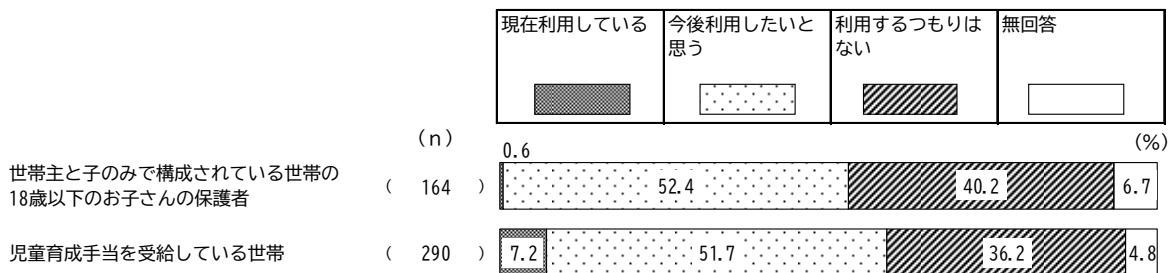
⑨ 無料の学習支援制度の利用意向

【問 17 は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】
 問 17 宛名のお子さんについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）があった場合、利用したいと思いますか。（1つに○）

無料の学習支援制度の利用意向をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者は、「現在利用している」が 0.6%、「今後利用したいと思う」が 52.4%、「利用するつもりはない」が 40.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「現在利用している」が 7.2%、「今後利用したいと思う」が 51.7%、「利用するつもりはない」が 36.2%となっている。

図表 5-23 無料の学習支援制度の利用意向



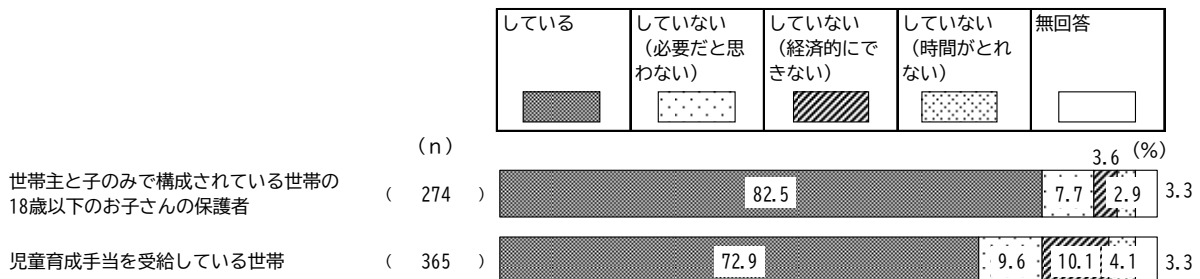
⑩ 子どもにしていること

問 18 あなたは宛名のお子さんについて、以下の事をしてしていますか。
 (①~⑥のそれぞれについて、1つに○)
 ①絵本や子ども用の本を購入する ②毎年、新しい服を購入する ③お誕生日のお祝いをする
 ④1年に1回くらい家族旅行に行く ⑤医者に行く（健診を含む） ⑥歯医者に行く（健診を含む）

■絵本や子ども用の本を購入する

絵本や子ども用の本を購入するをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「している」が最も高く、順に 82.5%、72.9%となっている。

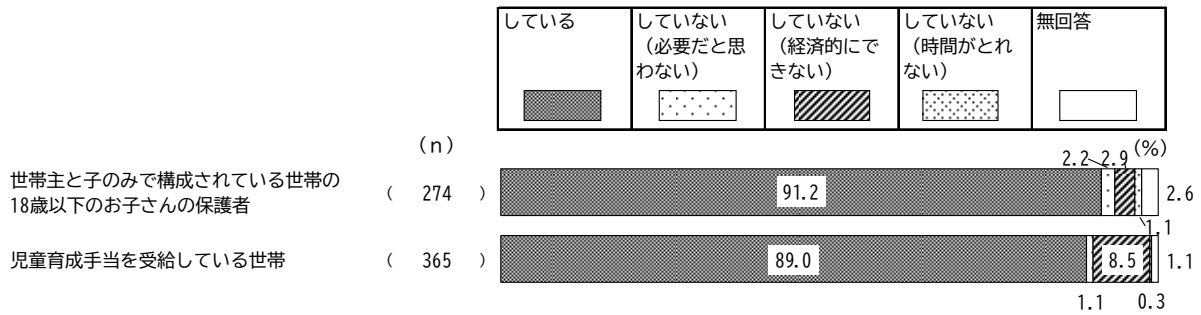
図表 5-24 絵本や子ども用の本を購入する



■毎年、新しい服を購入する

毎年、新しい服を購入するをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「している」が最も高く、順に91.2%、89.0%となっている。

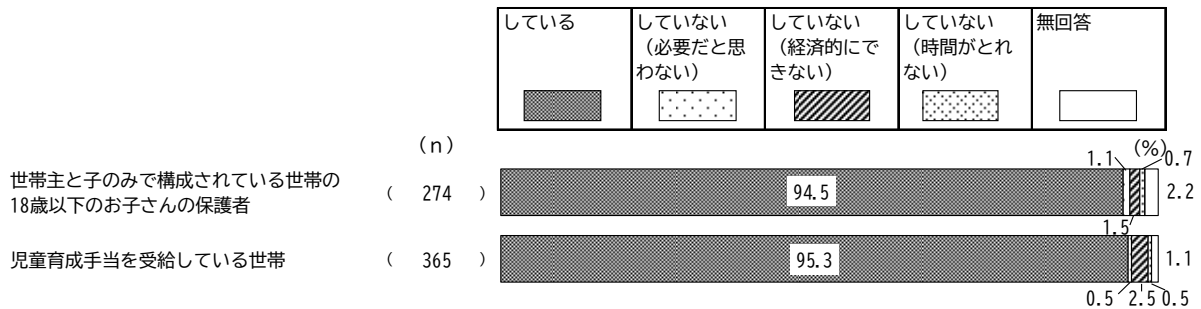
図表 5-25 毎年、新しい服を購入する



■お誕生日のお祝いをする

お誕生日のお祝いをするをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「している」が最も高く、順に94.5%、95.3%となっている。

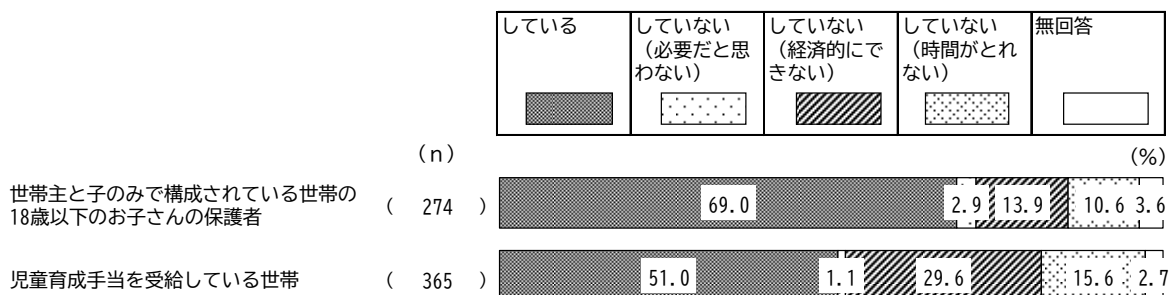
図表 5-26 お誕生日のお祝いをする



■1年に1回くらい家族旅行に行く

1年に1回くらい家族旅行に行くをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「している」が最も高く、順に69.0%、51.0%となっている。

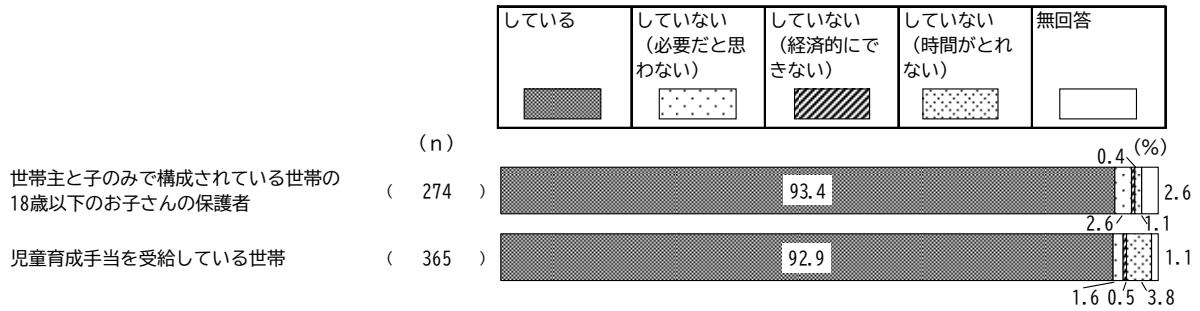
図表 5-27 1年に1回くらい家族旅行に行く



■ 医者に行く(健診を含む)

医者に行く(健診を含む)をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「している」が最も高く、順に93.4%、92.9%となっている。

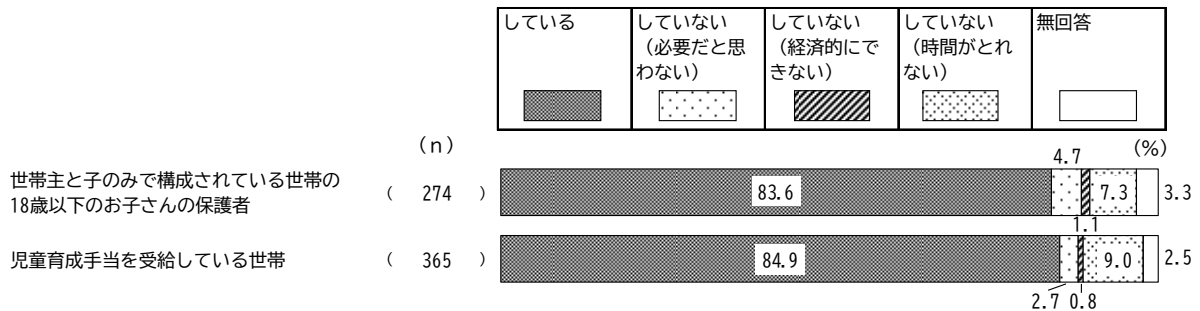
図表 5-28 医者に行く(健診を含む)



■ 歯医者に行く(健診を含む)

歯医者に行く(健診を含む)をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「している」が最も高く、順に83.6%、84.9%となっている。

図表 5-29 歯医者に行く(健診を含む)



⑪ 希望する教育

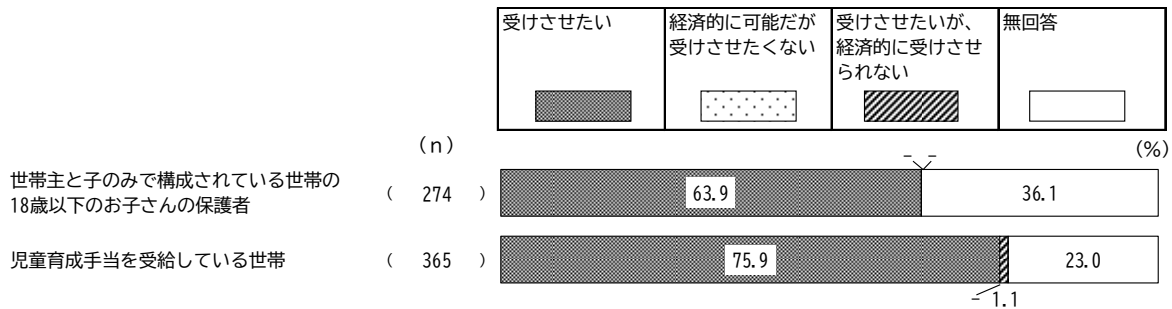
問 19 あなたは宛名のお子さんについて、今後どの段階までの教育を受けさせたいですか。
 (①～③のそれぞれについて、1つに○)

①高校までの教育 ②短大・高専・専門学校までの教育 ③大学・大学院までの教育

■高校までの教育

高校までの教育をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「受けさせたい」が最も高く、順に63.9%、75.9%となっている。

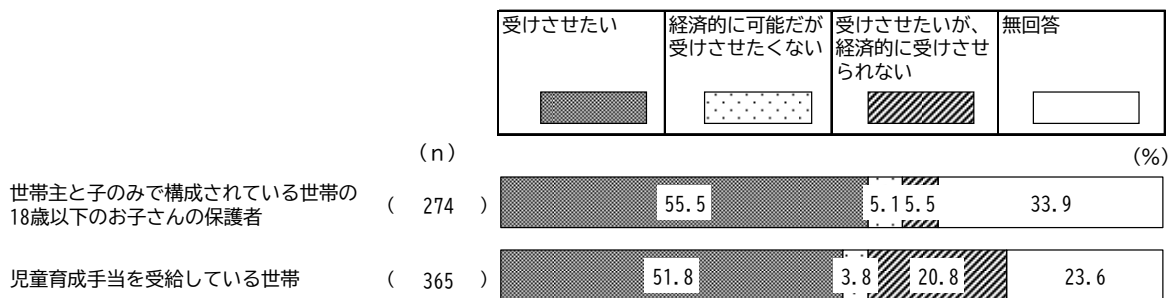
図表 5-30 高校までの教育



■短大・高専・専門学校までの教育

短大・高専・専門学校までの教育をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「受けさせたい」が最も高く、順に55.5%、51.8%となっている。一方で、児童育成手当を受給している世帯では、「受けさせたいが、経済的に受けさせられない」が20.8%となっている。

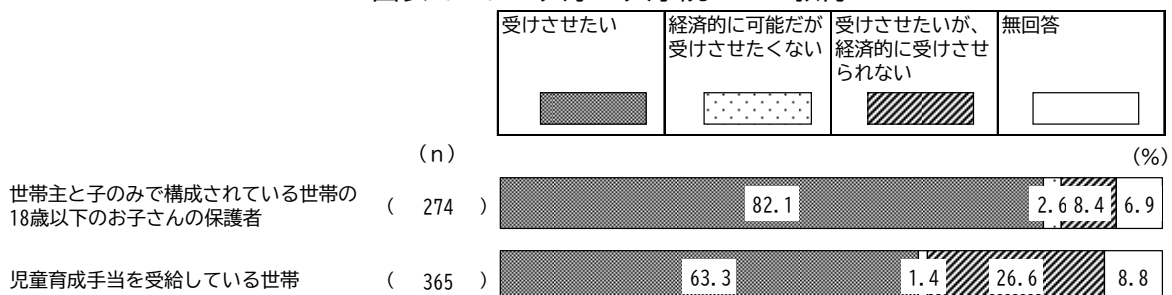
図表 5-31 短大・高専・専門学校までの教育



■大学・大学院までの教育

大学・大学院までの教育をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「受けさせたい」が最も高く、順に82.1%、63.3%となっている。一方で、児童育成手当を受給している世帯では、「受けさせたいが、経済的に受けさせられない」が26.6%となっている。

図表 5-32 大学・大学院までの教育



(4)あなたの生活について

① 経済的な理由により、購入・支払いができなかったこと

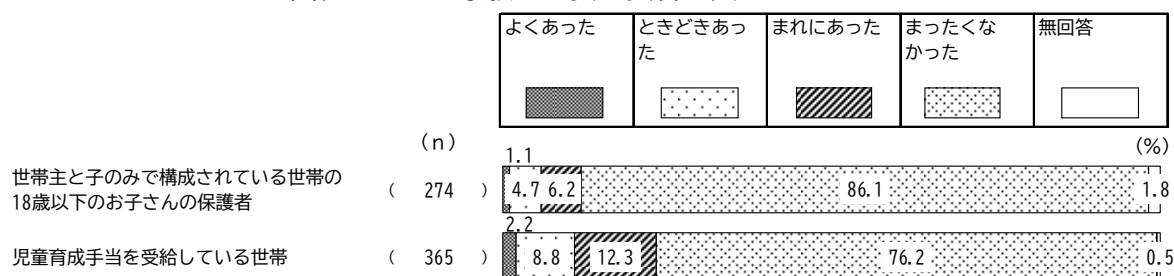
問 20 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由により、以下のものが買えなかったり、支払いができなかったりしたことがありましたか。(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

- ①家族が必要な食料を買えなかったこと(嗜好品は含みません)
- ②家族が必要な衣料を買えなかったこと(高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません)
- ③子どもが必要とする文具や教材を買えなかったこと
- ④電気・ガス・水道料金の未払い
- ⑤家賃やローンの滞納

■家族が必要な食料を買えなかったこと

家族が必要な食料を買えなかったことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「まったくなかった」が最も高く、順に86.1%、76.2%となっている。一方で、児童育成手当を受給している世帯では、“あった”(よくあった+ときどきあった+まれにあった)が2割半ばとなっている。

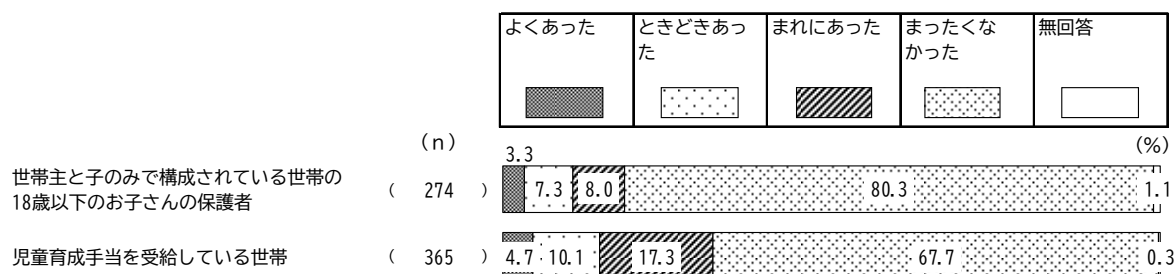
図表 5-33 家族が必要な食料を買えなかったこと



■家族が必要な衣料を買えなかったこと

家族が必要な衣料を買えなかったことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「まったくなかった」が最も高く、順に80.3%、67.7%となっている。一方で、児童育成手当を受給している世帯では、“あった”(よくあった+ときどきあった+まれにあった)が3割強となっている。

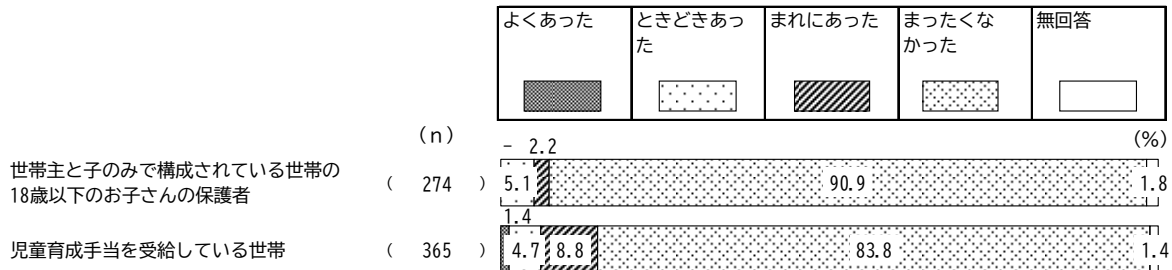
図表 5-34 家族が必要な衣料を買えなかったこと



■子どもが必要とする文具や教材を買えなかったこと

子どもが必要とする文具や教材を買えなかったことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「まったくなかった」が最も高く、順に90.9%、83.8%となっている。

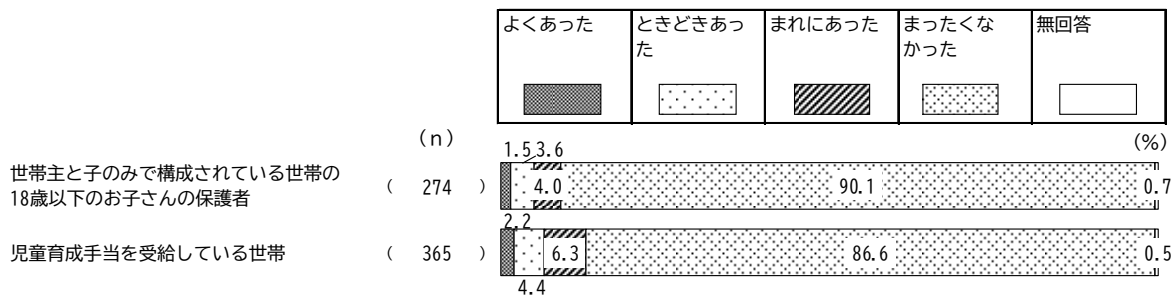
図表 5-35 子どもが必要とする文具や教材を買えなかったこと



■電気・ガス・水道料金の未払い

電気・ガス・水道料金の未払いをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「まったくなかった」が最も高く、順に90.1%、86.6%となっている。

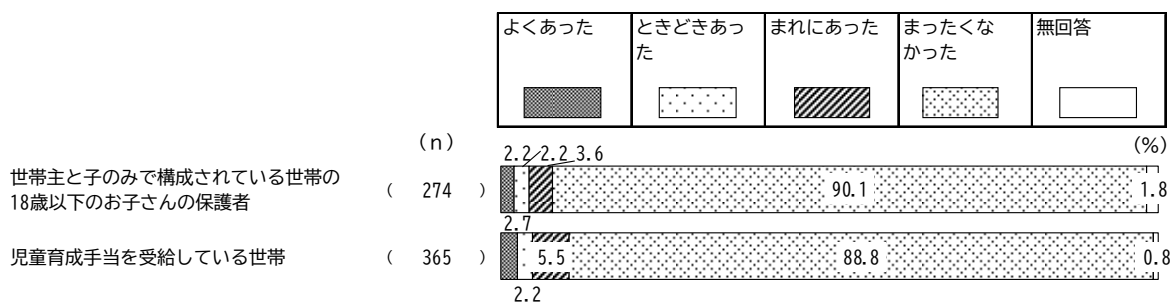
図表 5-36 電気・ガス・水道料金の未払い



■家賃やローンの滞納

家賃やローンの滞納をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「まったくなかった」が最も高く、順に90.1%、88.8%となっている。

図表 5-37 家賃やローンの滞納



② 子どもが受診が必要にも関わらず、受診しなかったこと

問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。（「ある」場合には、その理由について、あてはまるものすべてに○）

子どもが受診が必要にも関わらず、受診しなかったことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「ない（病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合は、必ず受診した）」が最も高く、順に86.9%、87.1%となっている。

図表 5-38 子どもが受診が必要にも関わらず、受診しなかったこと

	n	ない（病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合は、必ず受診した）	ある（病院や診療所に行く時間がなかったため）	ある（身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため）	ある（病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため）	ある（公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しかったため）	ある（公的医療保険に加入はしているが、医療費を支払うことが難しかったため）	ある（その他の理由）	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	238 86.9	20 7.3	2 0.7	2 0.7	0 -	1 0.4	10 3.6	6 2.2
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	318 87.1	29 7.9	3 0.8	2 0.5	1 0.3	4 1.1	7 1.9	6 1.6

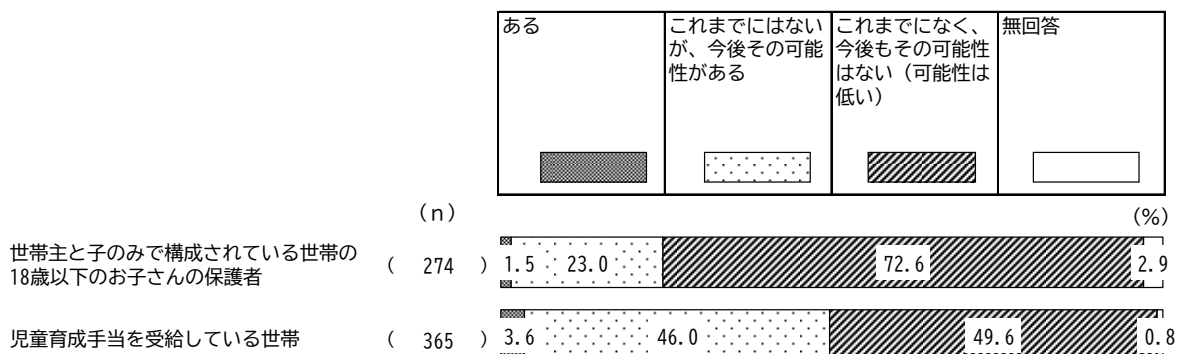
③ 経済的な理由により、進学をあきらめさせたり、学校を中退させたこと

問 22 あなたの世帯では、経済的な理由により、これまでに子どもに進学をあきらめさせたり学校を中退させたりしたことはありますか。（1つに○）

経済的な理由により、子どもに進学をあきらめさせたり、学校を中退させたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」が1.5%、「これまでにはないが、今後その可能性がある」が23.0%、「これまでになく、今後もその可能性はない（可能性は低い）」が72.6%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」が3.6%、「これまでにはないが、今後その可能性がある」が46.0%、「これまでになく、今後もその可能性はない（可能性は低い）」が49.6%となっている。

図表 5-39 経済的な理由により、子どもに進学をあきらめさせたり、学校を中退させたこと



(5)子育ての環境

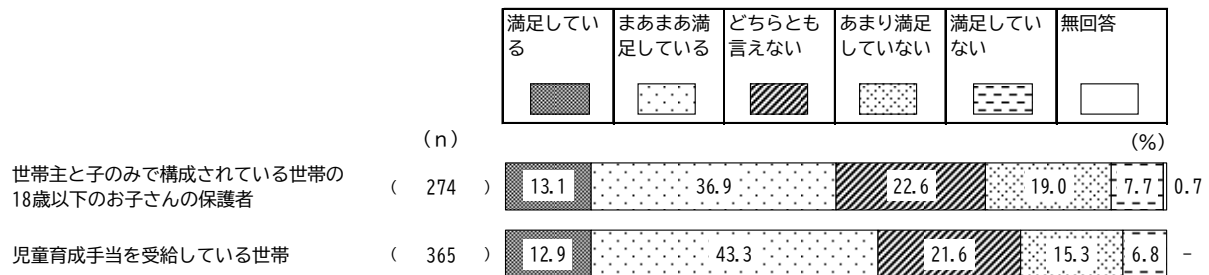
① 北区の子育て環境や支援への満足度

問 23 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

北区の子育て環境や支援への満足度をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まあまあ満足している」が36.9%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が22.6%、「あまり満足していない」が19.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「まあまあ満足している」が43.3%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が21.6%、「あまり満足していない」が15.3%となっている。

図表 5-40 北区の子育て環境や支援への満足度



② 満足している理由

【問 23-1 は、問 23 で「4. まあまあ満足している」「5. 満足している」と回答した方にうかがいます】

問 23-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

満足している理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「交通機関が便利」が67.9%と最も高く、次いで「住環境がよい」が48.9%、「医療機関が充実している」が38.0%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「交通機関が便利」が69.8%と最も高く、次いで「住環境がよい」が50.2%、「医療機関が充実している」が40.0%と続いている。

図表 5-41 満足している理由（複数回答）

	n	住環境がよい	自然環境がよい	交通機関が便利	保育園に入りやすい	幼稚園に入りやすい	保育サービスが充実している	公園や児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）など子どもの遊び場が多い	近所づきあいや地域活動が盛ん
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	137 100.0	67 48.9	42 30.7	93 67.9	28 20.4	3 2.2	9 6.6	39 28.5	16 11.7
児童育成手当を受給している世帯	205 100.0	103 50.2	47 22.9	143 69.8	25 12.2	2 1.0	7 3.4	49 23.9	23 11.2

	地域の子育てネットワークができています	子育てに関する情報が得やすい	事故や犯罪が少なく安全	学校教育が充実している	放課後対策が充実している	医療機関が充実している	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	7 5.1	14 10.2	31 22.6	24 17.5	18 13.1	52 38.0	3 2.2	0 -
児童育成手当を受給している世帯	13 6.3	27 13.2	51 24.9	28 13.7	32 15.6	82 40.0	6 2.9	3 1.5

③ 満足していない理由

【問 23-2 は、問 23 で「1. 満足していない」「2. あまり満足していない」と回答した方にかがいます】

問 23-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

満足していない理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子育てに関する情報が得にくい」が38.4%と最も高く、次いで「公園や児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）など子どもの遊び場が少ない」が31.5%、「放課後対策が充実していない」が30.1%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「放課後対策が充実していない」が30.9%と最も高く、次いで「子育てに関する情報が得にくい」が28.4%、「学校教育が充実していない」が24.7%と続いている。

図表 5-42 満足していない理由（複数回答）

	n	住環境が よくない	自然環境 がよくない	交通機関 が不便	保育園に 入りにくい	幼稚園に 入りにくい	保育サー ビスが充 実してい ない	公園や児 童館（子 どもセン ター・テ ィーンズ センタ ー）な ど子ども の遊び場 が少ない	近所づき あいや地 域活動が 盛んでは ない
世帯主と子のみで構成されている世帯の 18歳以下のお子さんの保護者	73 100.0	15 20.5	11 15.1	3 4.1	10 13.7	1 1.4	13 17.8	23 31.5	14 19.2
児童育成手当を受給している世帯	81 100.0	10 12.3	4 4.9	6 7.4	9 11.1	0 -	6 7.4	14 17.3	11 13.6

	地域の子 育てネッ トワーク ができて いない	子育てに 関する情 報が得に くい	事故や犯 罪が多く 危険	学校教育 が充実し ていない	放課後対 策が充実 していな い	医療機関 が充実し ていない	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の 18歳以下のお子さんの保護者	14 19.2	28 38.4	8 11.0	19 26.0	22 30.1	11 15.1	19 26.0	1 1.4
児童育成手当を受給している世帯	10 12.3	23 28.4	10 12.3	20 24.7	25 30.9	6 7.4	24 29.6	6 7.4

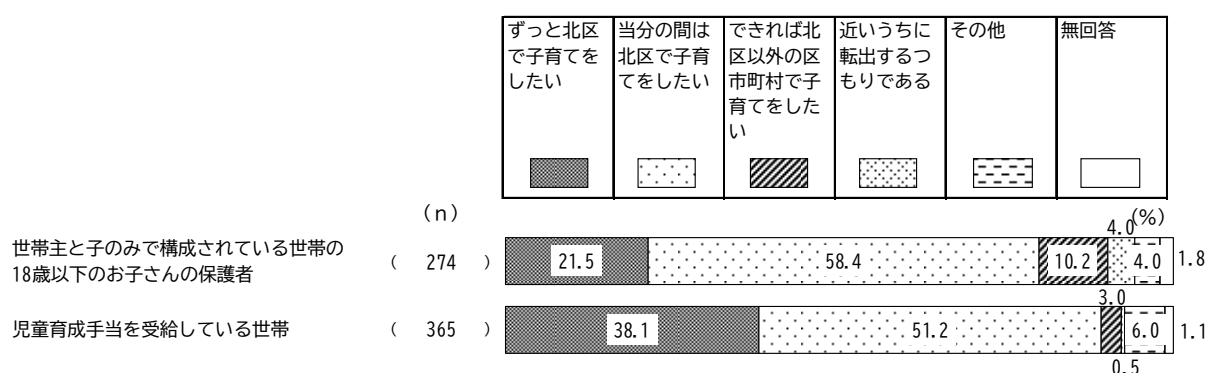
④ 北区での子育て意向

問 24 今後も、北区で子育てをしたいと思いますか。(1つに○)

北区での子育て意向をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が58.4%と最も高く、次いで「ずっと北区で子育てをしたい」が21.5%、「できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい」が10.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が51.2%と最も高く、次いで「ずっと北区で子育てをしたい」が38.1%、「できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい」が3.0%となっている。

図表 5-43 北区での子育て意向



(6) 地域の子育て支援について

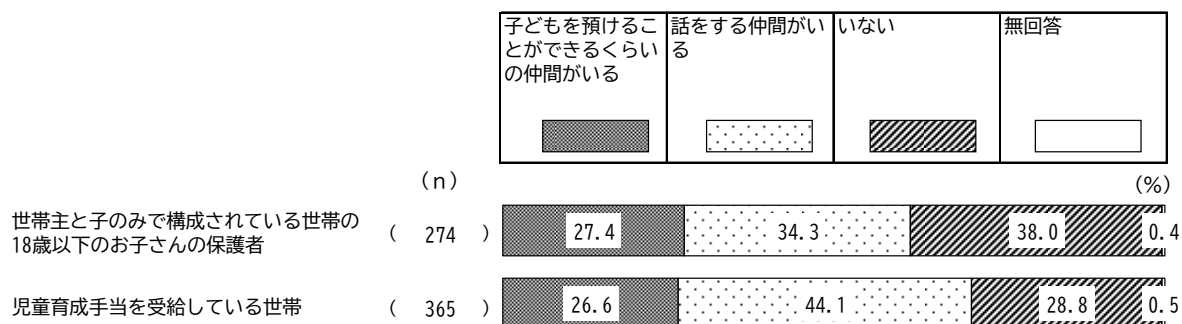
① 子育ての仲間

問 25 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

子育ての仲間をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が27.4%、「話をする仲間がいる」が34.3%、「いない」が38.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が26.6%、「話をする仲間がいる」が44.1%、「いない」が28.8%となっている。

図表 5-44 子育ての仲間



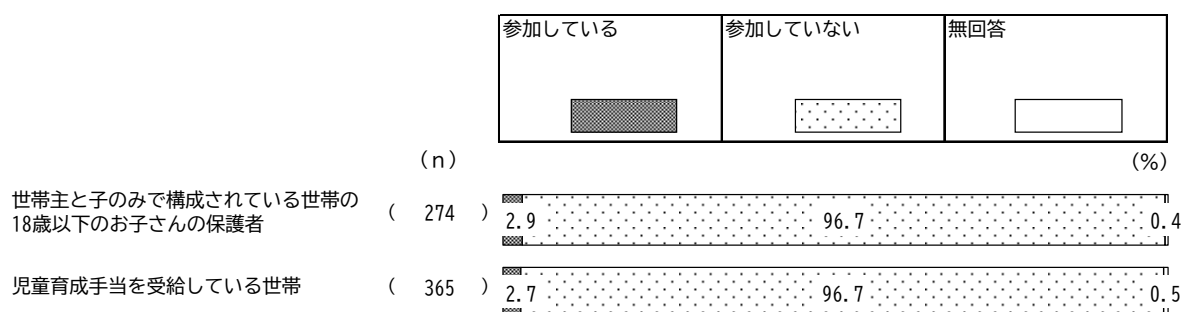
② 子育てサークルなどのグループへの参加

問 26 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどのグループへの参加をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「参加している」が2.9%、「参加していない」が96.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「参加している」が2.7%、「参加していない」が96.7%となっている。

図表 5-45 子育てサークルなどのグループへの参加



③ 子育てサークルに参加していない理由

【問 26-1 は、問 26 で「2. 参加していない」と回答した方にかがいます】
問 26-1 参加していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てサークルに参加していない理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「参加する機会がない」が39.6%と最も高く、次いで「必要がない(興味がない)」が37.7%、「グループに関する情報がない」が33.6%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「参加する機会がない」が39.7%と最も高く、次いで「必要がない(興味がない)」が35.4%、「グループに関する情報がない」が24.4%と続いている。

図表 5-46 子育てサークルに参加していない理由(複数回答)

	n	既に他の仲間がいる	親同士の間関係が難しい	参加する機会がない	グループに関する情報がない	必要がない(興味がない)	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	265	35	48	105	89	100	22	3
	100.0	13.2	18.1	39.6	33.6	37.7	8.3	1.1
児童育成手当を受給している世帯	353	60	44	140	86	125	37	4
	100.0	17.0	12.5	39.7	24.4	35.4	10.5	1.1

④ 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み

問 27 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

安心して子育てをするために地域で必要な取り組みをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が42.0%と最も高く、次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」が36.1%、「地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が32.8%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が38.6%と最も高く、次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」が35.9%、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が35.1%と続いている。

図表 5-47 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み（複数回答）

	n	子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる	子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす	子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる	ボランティアが活動しやすい環境をつくる	子どもと親と一緒にできる活動を増やす
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	70 25.5	78 28.5	35 12.8	48 17.5	115 42.0
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	95 26.0	111 30.4	37 10.1	63 17.3	128 35.1

	地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる	学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする	その他	特に必要ない	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	90 32.8	99 36.1	27 9.9	21 7.7	7 2.6
児童育成手当を受給している世帯	141 38.6	131 35.9	38 10.4	40 11.0	10 2.7

(7)子育ての困りごと、相談先について

① 養育費の取り決めの有無

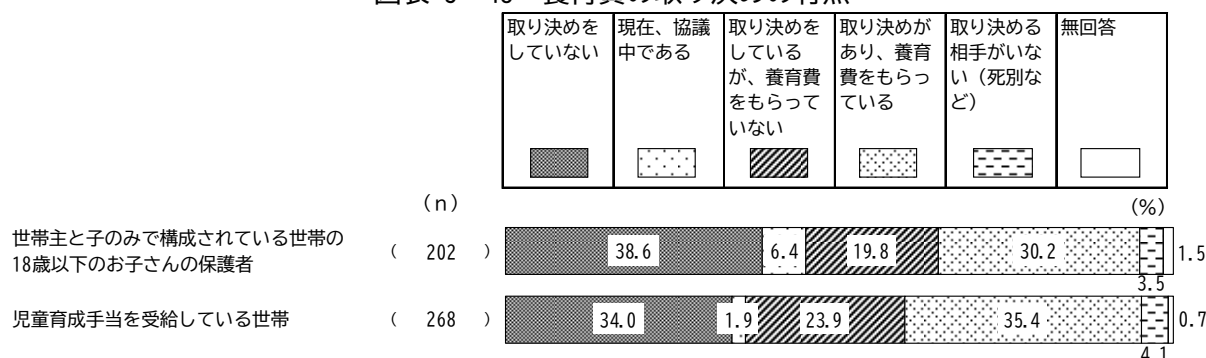
【問 28 は、問 9-1 で「1. 離婚」「3. 未婚」「4. 別居」のいずれかに回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 30 へお進みください】

問 28 子どもの養育費について取り決めをしていますか。(1つに○)

養育費の取り決めの有無をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「取り決めをしていない」が38.6%と最も高く、次いで「取り決めがあり、養育費をもらっている」が30.2%、「取り決めをしているが、養育費をもらっていない」が19.8%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「取り決めがあり、養育費をもらっている」が35.4%と最も高く、次いで「取り決めをしていない」が34.0%、「取り決めをしているが、養育費をもらっていない」が23.9%となっている。

図表 5-48 養育費の取り決めの有無



② 養育費の取り決めをしていない理由

【問 28-1 は、問 28 で「1. 取り決めをしていない」と回答した方にかがいます】

問 28-1 養育費について取り決めをしていない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

養育費の取り決めをしていない理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「養育費を取り決める必要がなかった」が38.5%と最も高く、次いで「相手と関わりたくない」が35.9%、「相手の経済状況等から養育費を要求できない」が15.4%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「相手と関わりたくない」が46.2%と最も高く、次いで「相手の経済状況等から養育費を要求できない」が31.9%、「交渉がまとまらなかった」が24.2%と続いている。

図表 5-49 養育費の取り決めをしていない理由 (複数回答)

	n	交渉がまとまらなかった	相手の経済状況等から養育費を要求できない	相手と関わりたくない	もらえるところなかった	取り決めの仕方がわからなかった	養育費を取り決める必要がなかった	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	78	10	12	28	1	3	30	10	2
	100.0	12.8	15.4	35.9	1.3	3.8	38.5	12.8	2.6
児童育成手当を受給している世帯	91	22	29	42	0	4	5	13	0
	100.0	24.2	31.9	46.2	-	4.4	5.5	14.3	-

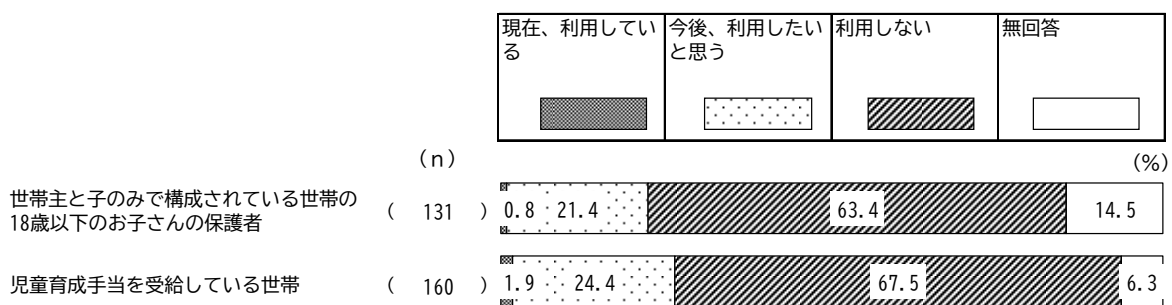
③ 法律相談の希望

【問 28-2 は、問 28 で「1. 取り決めをしていない」「2. 現在、協議中である」「3. 取り決めをしているが、養育費をもらっていない」のいずれかに回答した方にうかがいます。】
 問 28-2 養育費等に関する法律相談（無料）を利用したいと思いませんか。（1つに○）

法律相談の希望をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「現在、利用している」が0.8%、「今後、利用したいと思う」が21.4%、「利用しない」が63.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「現在、利用している」が1.9%、「今後、利用したいと思う」が24.4%、「利用しない」が67.5%となっている。

図表 5-50 法律相談の希望



④ ひとり親世帯の困りごと・悩み

問 29 ひとり親世帯になったときに、困ったこと、悩んだことをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

ひとり親世帯の困りごと・悩みをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもの養育費（教育費など）」が28.7%と最も高く、次いで「生活費が不足した」が28.2%、「子どものしつけ」が26.2%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「生活費が不足した」が48.5%と最も高く、次いで「子どもの養育費（教育費など）」が48.1%、「子どものしつけ」が29.5%と続いている。

図表 5-51 ひとり親世帯の困りごと・悩み（複数回答）

	n	保証人が見つからず、住宅が借りられなかった	ひとり親世帯のため賃貸住宅に入居できなかった	公営住宅に落選し、入居できなかった	就職先が決まらなかった	就業に関する相談先、情報入手先がわからなかった	子どもが保育園に入れなかった
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	202 100.0	15 7.4	13 6.4	19 9.4	19 9.4	9 4.5	10 5.0
児童育成手当を受給している世帯	268 100.0	21 7.8	28 10.4	46 17.2	32 11.9	22 8.2	21 7.8

	子どものしつけ	子どもの養育費（教育費など）	生活費が不足した	炊事洗濯等の日常の家事ができなかった	ひとり親のための制度などを、どうやったらよいかわからなかった	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	53 26.2	58 28.7	57 28.2	39 19.3	40 19.8	51 25.2	28 13.9
児童育成手当を受給している世帯	79 29.5	129 48.1	130 48.5	77 28.7	59 22.0	36 13.4	12 4.5

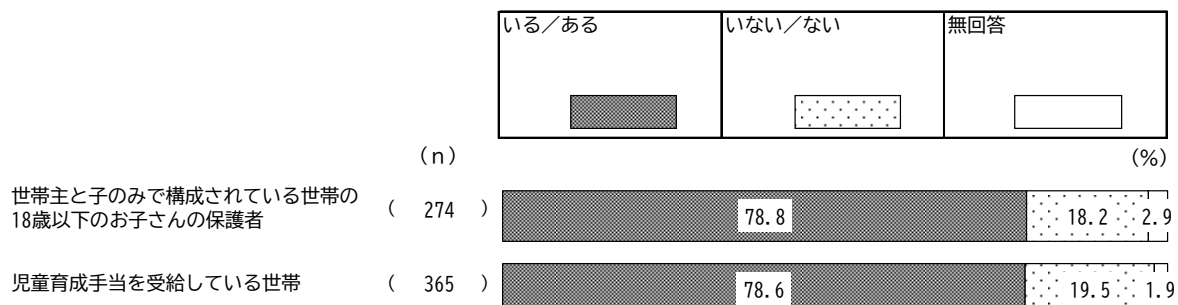
⑤ 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無

問 30 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（1つに○）

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「いる／ある」が78.8%、「いない／ない」が18.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「いる／ある」が78.6%、「いない／ない」が19.5%となっている。

図表 5-52 子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無



⑥ 気軽に相談できる相談先・人

【問 30-1 は、問 30 で「1. いる／ある」と回答した方にうかがいます】
 問 30-1 お子さんの子育て（家庭での教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽に相談できる相談先・人を見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「祖父母等の親族」が71.8%と最も高く、次いで「友人や知人」が71.3%、「配偶者」が25.5%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「祖父母等の親族」が70.7%と最も高く、次いで「友人や知人」が69.3%、「学校の先生」が22.3%と続いている。

図表 5-53 気軽に相談できる相談先・人（複数回答）

	n	配偶者	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）	子ども家庭支援センター	児童発達支援センター	各健康支援センター	スペースゆう
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	216 100.0	55 25.5	155 71.8	154 71.3	19 8.8	3 1.4	5 2.3	0 -	2 0.9	0 -
児童育成手当を受給している世帯	287 100.0	32 11.1	203 70.7	199 69.3	17 5.9	3 1.0	8 2.8	10 3.5	0 -	0 -

	教育総合相談センター	東京都児童相談センター	保育園の先生	幼稚園・認定こども園の先生	学校の先生	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	インターネットの相談サイト	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	2 0.9	2 0.9	29 13.4	5 2.3	42 19.4	1 0.5	20 9.3	6 2.8	9 4.2	1 0.5
児童育成手当を受給している世帯	3 1.0	3 1.0	27 9.4	3 1.0	64 22.3	2 0.7	39 13.6	4 1.4	32 11.1	0 -

⑦ 子どもの子育てに日常的に関わっている人・施設

問 31 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

子どもの子育てに日常的に関わっている人・施設を見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「母親」が77.7%と最も高く、次いで「父親」が31.0%、「祖父母」が29.6%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「母親」が84.9%と最も高く、次いで「祖父母」が32.9%、「父親」「保育園」がともに12.3%と続いている。

図表 5-54 子どもの子育てに日常的に関わっている人・施設（複数回答）

	n	母親	父親	祖父母	幼稚園	保育園	認定こども園	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	213 77.7	85 31.0	81 29.6	8 2.9	47 17.2	1 0.4	24 8.8	11 4.0
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	310 84.9	45 12.3	120 32.9	6 1.6	45 12.3	1 0.3	48 13.2	12 3.3

⑧ 現在必要としていること、重要だと思う支援

問 32 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどうのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

現在必要としていること、重要だと思う支援をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が48.9%と最も高く、次いで「様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所でできること」が34.7%、「保育園・一時預かりサービス・学童クラブなどの充実」が26.3%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が66.0%と最も高く、次いで「様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所でできること」が40.3%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」が36.7%と続いている。

図表 5-55 現在必要としていること、重要だと思う支援（複数回答）

	n	様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所でできること	子どもや生活などの悩みごとの相談	ひとり親同士の交流の場の提供	民生委員・児童委員などの地域の人の支援	離婚や養育費についての専門的な相談	養育費確保に向けた支援	病気や障害のことなどについての専門的な相談	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	95 34.7	46 16.8	32 11.7	9 3.3	33 12.0	49 17.9	18 6.6	71 25.9	70 25.5
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	147 40.3	75 20.5	45 12.3	12 3.3	40 11.0	71 19.5	62 17.0	134 36.7	97 26.6

	ヘルパー等からの一時的な家事や育児の支援	保育園・一時預かりサービス・学童クラブなどの充実	一時的に必要な資金の貸付	子どもの就学にかかる費用の軽減	就職・転職のための支援	就職活動のときに一時的に子どもを預けられること	資格や技能の取得支援	その他	特になし	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	46 16.8	72 26.3	37 13.5	134 48.9	30 10.9	21 7.7	35 12.8	22 8.0	32 11.7	4 1.5
児童育成手当を受給している世帯	45 12.3	53 14.5	62 17.0	241 66.0	71 19.5	35 9.6	101 27.7	23 6.3	18 4.9	5 1.4

⑨ 過去1か月において感じたこと・思ったことの頻度

問33 あなたは、過去1か月で、どれくらいの頻度で以下のようなことがありましたか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

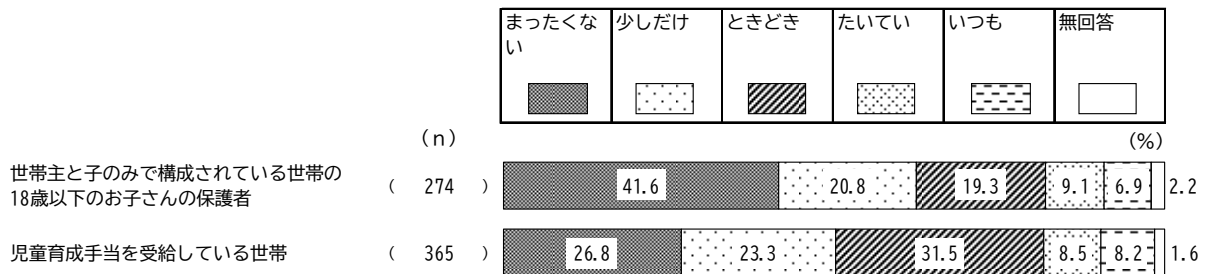
- ①神経過敏(ちょっとした事も気になる)に感じたこと
- ②そわそわ、落ち着かなく感じたこと
- ③気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じたこと
- ④何をするのも骨折(おっくう)だと感じたこと
- ⑤自分は価値のない人間だと思ったこと
- ⑥絶望的だと感じたこと

■神経過敏(ちょっとした事も気になる)に感じたこと

神経過敏(ちょっとした事も気になる)に感じたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まったくない」が41.6%と最も高く、次いで「少しだけ」が20.8%、「ときどき」が19.3%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ときどき」が31.5%と最も高く、次いで「まったくない」が26.8%、「少しだけ」が23.3%となっている。

図表 5-56 神経過敏(ちょっとした事も気になる)に感じたこと

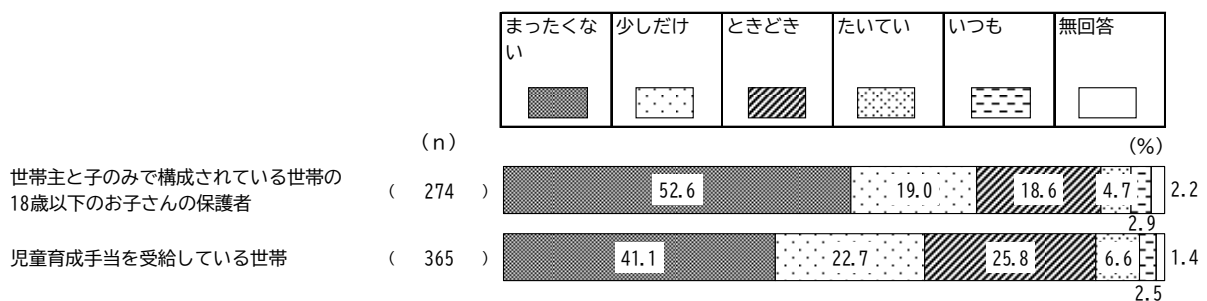


■そわそわ、落ち着かなく感じたこと

そわそわ、落ち着かなく感じたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まったくない」が52.6%と最も高く、次いで「少しだけ」が19.0%、「ときどき」が18.6%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「まったくない」が41.1%と最も高く、次いで「ときどき」が25.8%、「少しだけ」が22.7%となっている。

図表 5-57 そわそわ、落ち着かなく感じたこと

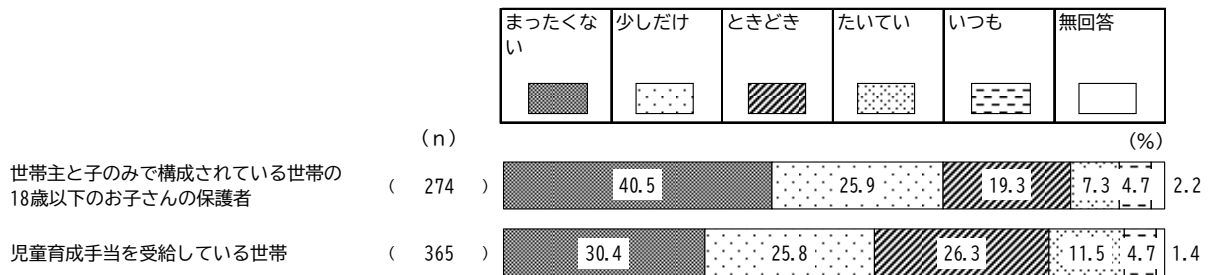


■気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたこと

気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まったくない」が40.5%と最も高く、次いで「少しだけ」が25.9%、「ときどき」が19.3%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「まったくない」が30.4%と最も高く、次いで「ときどき」が26.3%、「少しだけ」が25.8%となっている。

図表 5-58 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたこと

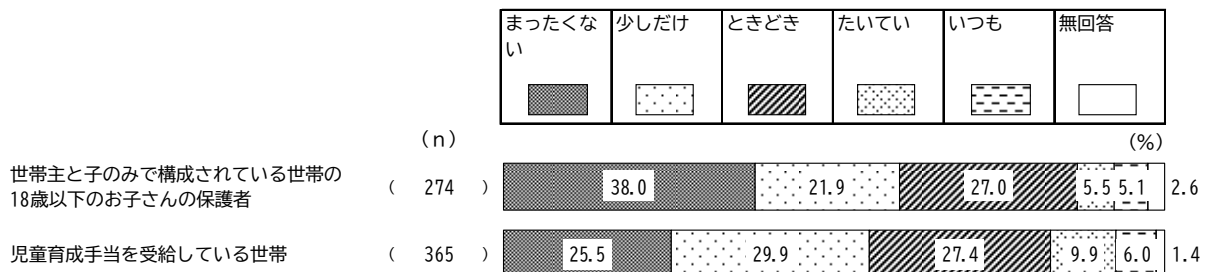


■何をするのも骨折り(おっくう)だと感じたこと

何をするのも骨折り(おっくう)だと感じたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まったくない」が38.0%と最も高く、次いで「ときどき」が27.0%、「少しだけ」が21.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「少しだけ」が29.9%と最も高く、次いで「ときどき」が27.4%、「まったくない」が25.5%となっている。

図表 5-59 何をするのも骨折り(おっくう)だと感じたこと

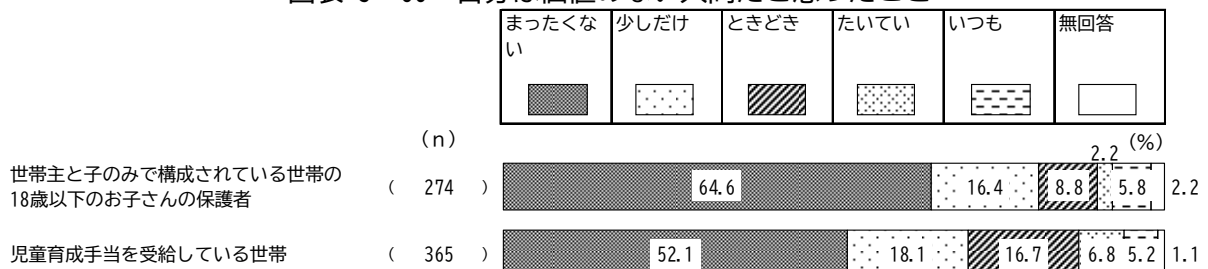


■自分は価値のない人間だと思ったこと

自分は価値のない人間だと思ったことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まったくない」が64.6%と最も高く、次いで「少しだけ」が16.4%、「ときどき」が8.8%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「まったくない」が52.1%と最も高く、次いで「少しだけ」が18.1%、「ときどき」が16.7%となっている。

図表 5-60 自分は価値のない人間だと思ったこと

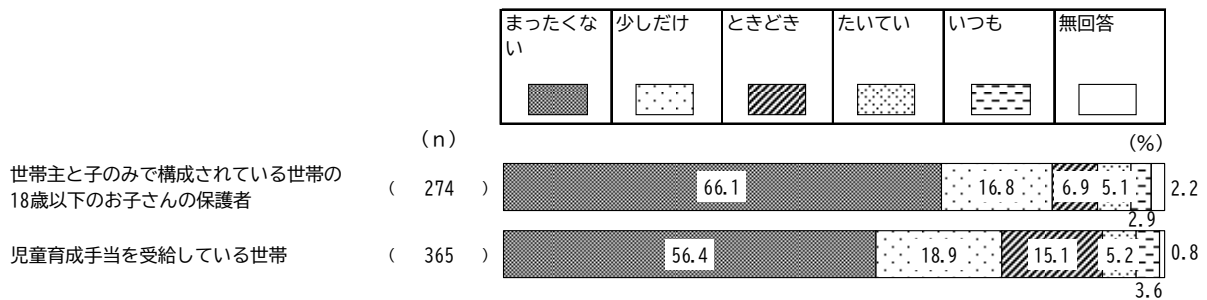


■絶望的だと感じたこと

絶望的だと感じたことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「まったくない」が66.1%と最も高く、次いで「少しだけ」が16.8%、「ときどき」が6.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「まったくない」が56.4%と最も高く、次いで「少しだけ」が18.9%、「ときどき」が15.1%となっている。

図表 5-61 絶望的だと感じたこと



(8)就労状況

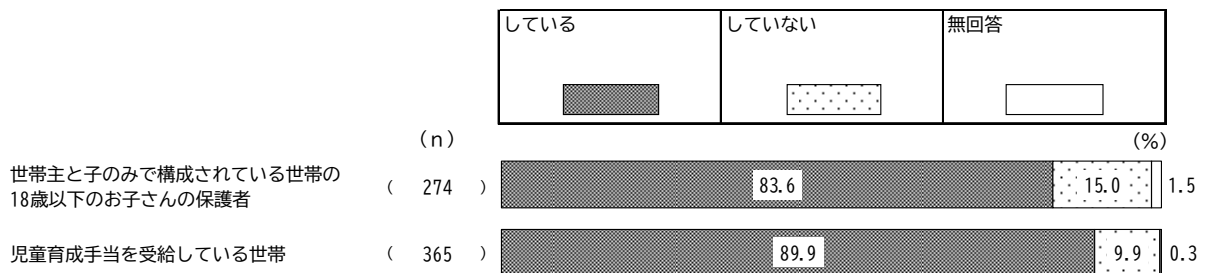
① 就労状況

問 34 あなたは、現在収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

就労状況をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「している」が83.6%、「していない」が15.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「している」が89.9%、「していない」が9.9%となっている。

図表 5-62 就労状況



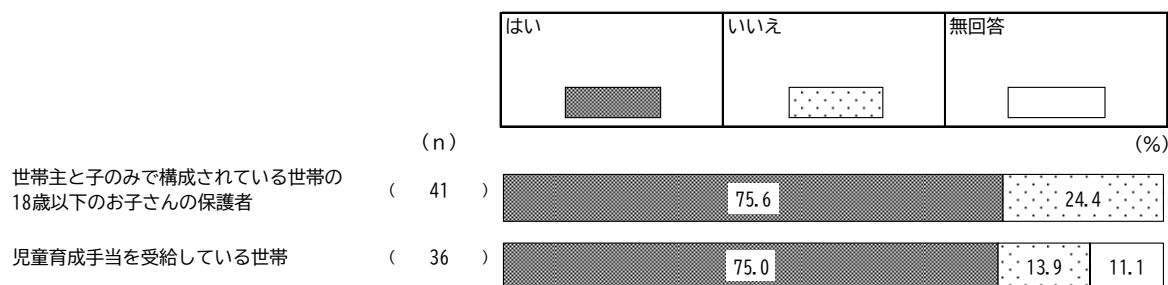
② 就労希望

【問 34-1 は、問 34 で「1. していない」と回答した方にうかがいます】
問 34-1 あなたは、現在働きたいと思っていますか。(1つに○)

就労希望をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者は、「はい」が 75.6%、「いいえ」が 24.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「はい」が 75.0%、「いいえ」が 13.9%となっている。

図表 5-63 就労希望



③ 就労希望があるのに働いていない理由

【問 34-2 は、問 34-1 で「1. はい」と回答した方にうかがいます】
問 34-2 働きたいと思っているのに、働いていない理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

就労希望があるのに働いていない理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者は、「自身の健康などの問題がある」が 29.0%と最も高く、次いで「時間について条件のあう仕事がない」が 25.8%、「子どもの保育の手立てがない」が 19.4%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「時間について条件のあう仕事がない」が 48.1%と最も高く、次いで「自身の健康などの問題がある」が 37.0%、「子どもの健康上の不安などの問題がある」が 22.2%と続いている。

図表 5-64 就労希望があるのに働いていない理由 (複数回答)

	n	仕事の探し方がわからない	収入について条件のあう仕事がない	時間について条件のあう仕事がない	年齢制限のため仕事がない	仕事に必要な専門知識や資格がない	子どもの保育の手立てがない
世帯主と子のみで構成されている世帯の 18歳以下のお子さんの保護者	31 100.0	0 -	3 9.7	8 25.8	1 3.2	3 9.7	6 19.4
児童育成手当を受給している世帯	27 100.0	1 3.7	5 18.5	13 48.1	3 11.1	2 7.4	1 3.7

	自身の健康などの問題がある	子どもの健康上の不安などの問題がある	家族(親など)を介護している	学校や職業訓練などを受講中	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の 18歳以下のお子さんの保護者	9 29.0	1 3.2	2 6.5	2 6.5	9 29.0	2 6.5
児童育成手当を受給している世帯	10 37.0	6 22.2	2 7.4	2 7.4	4 14.8	2 7.4

④ 就労で重視すること

【問 34-3 は、問 34-1 で「1. はい」と回答した方にうかがいます】
問 34-3 仕事に就く場合、重視することはどのようなことですか。（3 つまでに○）

就労で重視することを見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者は、「十分な収入が得られる」が 54.8%と最も高く、次いで「土・日曜日に休める」が 51.6%、「休暇が取りやすい」が 45.2%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「十分な収入が得られる」が 40.7%と最も高く、次いで「休暇が取りやすい」「土・日曜日に休める」「通勤時間が短い」がともに 33.3%と続いている。

図表 5-65 就労で重視すること

	n	身分が安定している	休暇が取りやすい	十分な収入が得られる	土・日曜日に休める	通勤時間が短い	厚生年金や雇用保険に入れる	在宅でできる
世帯主と子のみで構成されている世帯の 18歳以下のお子さんの保護者	31 100.0	5 16.1	14 45.2	17 54.8	16 51.6	9 29.0	4 12.9	4 12.9
児童育成手当を受給している世帯	27 100.0	7 25.9	9 33.3	11 40.7	9 33.3	9 33.3	4 14.8	3 11.1

	仕事が簡単である	就業時間に融通がきく	残業が少ない	労働時間が短い	技術や技能を身につけられる	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の 18歳以下のお子さんの保護者	2 6.5	9 29.0	1 3.2	1 3.2	1 3.2	0 -	0 -
児童育成手当を受給している世帯	2 7.4	8 29.6	1 3.7	3 11.1	1 3.7	0 -	0 -

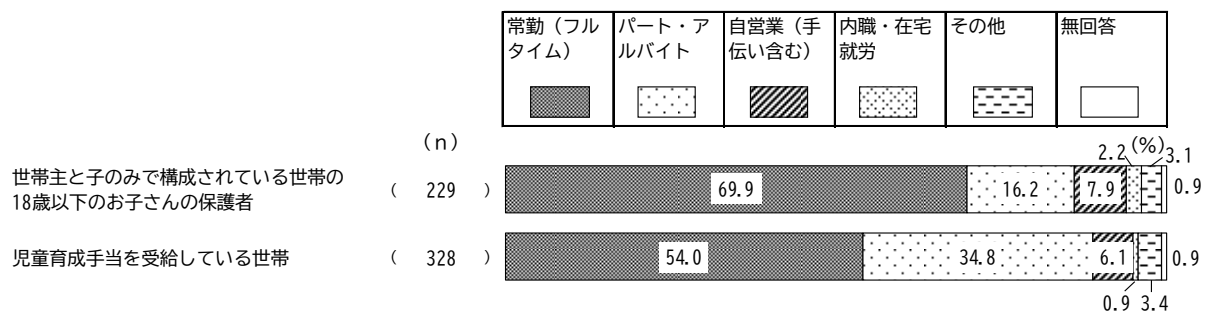
⑤ 現在の職業

【問 35 は、問 34 で「2. している」と回答した方だけお答えください】
問 35 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。（1 つに○）

現在の職業を見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者は、「常勤（フルタイム）」が 69.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 16.2%、「自営業（手伝い含む）」が 7.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「常勤（フルタイム）」が 54.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 34.8%、「自営業（手伝い含む）」が 6.1%となっている。

図表 5-66 現在の職業



⑥ 就労日数・就労時間、家を出る時間・帰宅時間

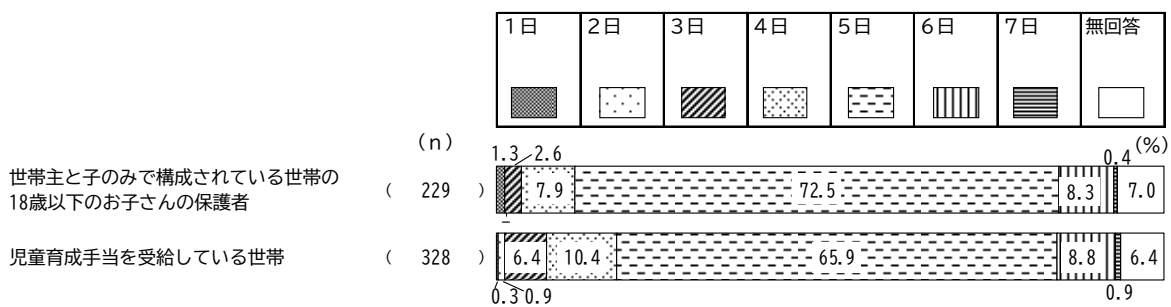
【問 36 は、問 34 で「2. している」と回答した方だけお答えください】

問 36 現在の仕事の1週間あたりの平均勤務日数、残業時間を含めた1日あたりの平均就業時間、働いている日の平均的な家を出る時刻・平均帰宅時刻について、それぞれの()の中にご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「5日」がともに最も高く、順に72.5%、65.9%となっている。(順に平均4.9日、4.8日)

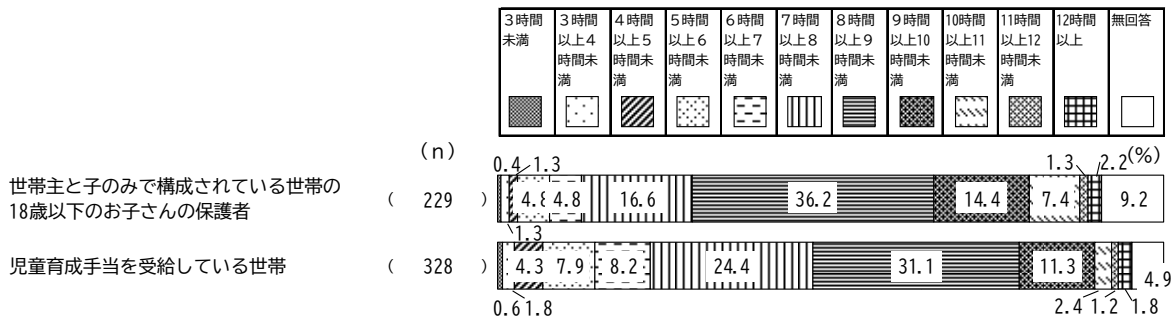
図表 5-67 1週当たりの就労日数



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「8時間以上9時間未満」がともに最も高く、順に36.2%、31.1%となっている。(順に平均8.0時間、7.5時間)

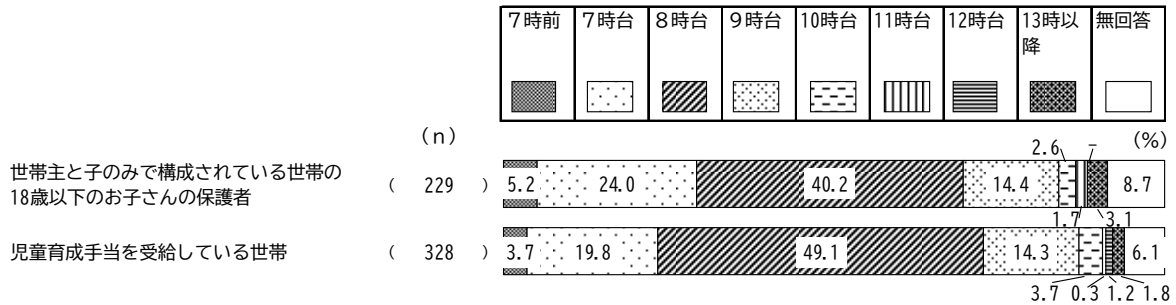
図表 5-68 1日当たりの就労時間



■家を出る時間

家を出る時間をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「8時台」がともに最も高く、順に40.2%、49.1%となっている。

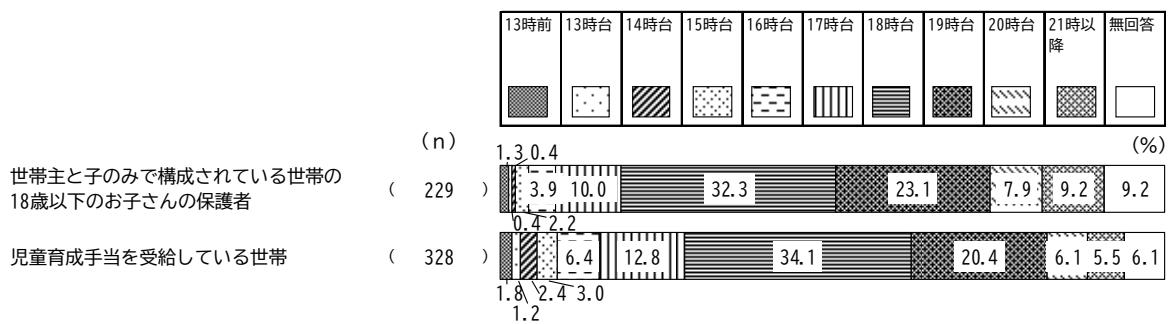
図表 5-69 家を出る時間



■帰宅時間

帰宅時間をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「18時台」がともに最も高く、順に32.3%、34.1%となっている。

図表 5-70 帰宅時間



(9)制度利用について

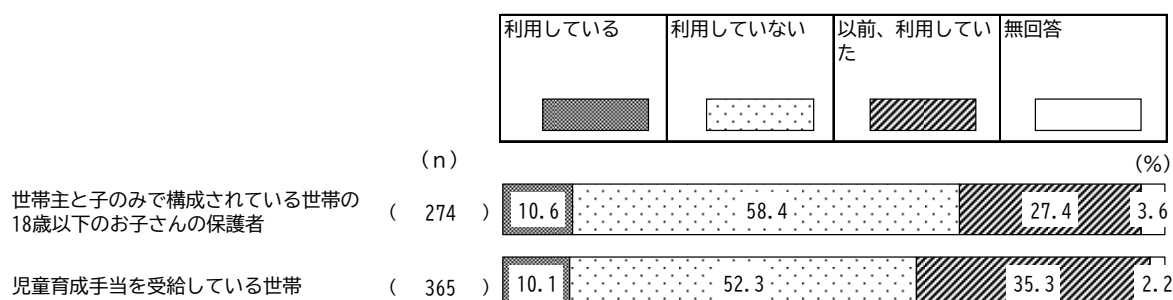
① 学童クラブの利用状況

問 37 宛名のお子さんは学童クラブを利用していますか。(1つに○)

学童クラブの利用状況を見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「利用している」が10.6%、「利用していない」が58.4%、「以前、利用していた」が27.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「利用している」が10.1%、「利用していない」が52.3%、「以前、利用していた」が35.3%となっている。

図表 5-71 学童クラブの利用状況



② 区の制度・事業の認知度・利用意向

問 38 北区が実施している制度・事業についてうかがいます。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。
(①~⑬の制度・事業ごとに、A：認知度、B：利用意向それぞれについて、該当する番号に○)

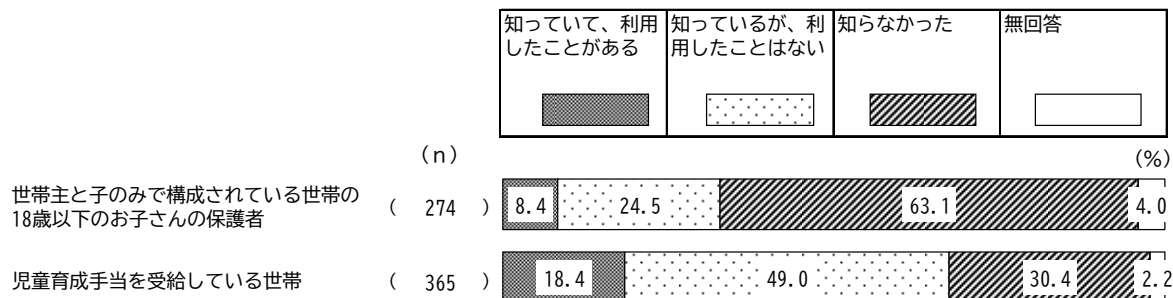
- ①そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室) ②北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談
③ひとり親家庭等医療費助成制度 ④児童育成手当・児童扶養手当
⑤ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定 ⑥ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業
⑦ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 ⑧ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
⑨福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金) ⑩福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金)
⑪母子生活支援施設 ⑫こころと生き方・DV相談 ⑬女性のための法律相談

【認知度】

■そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)

そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)を見ると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「知らなかった」が63.1%と最も高く、児童育成手当を受給している世帯は、「知っているが、利用したことはない」が49.0%と最も高くなっている。

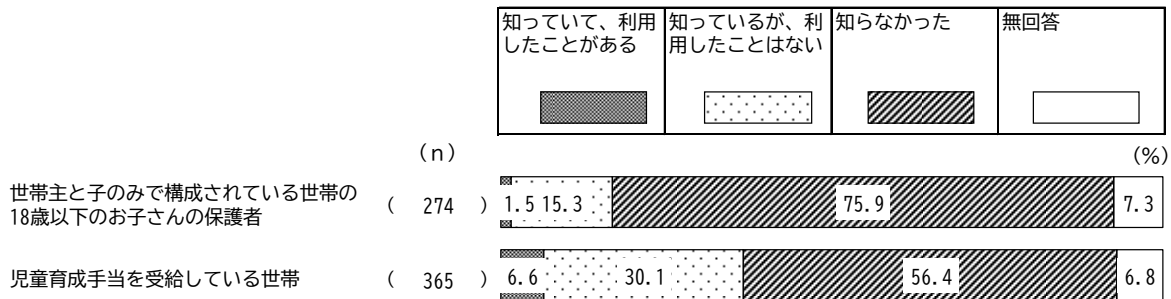
図表 5-72 そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)



■北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談

北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に75.9%、56.4%となっている。

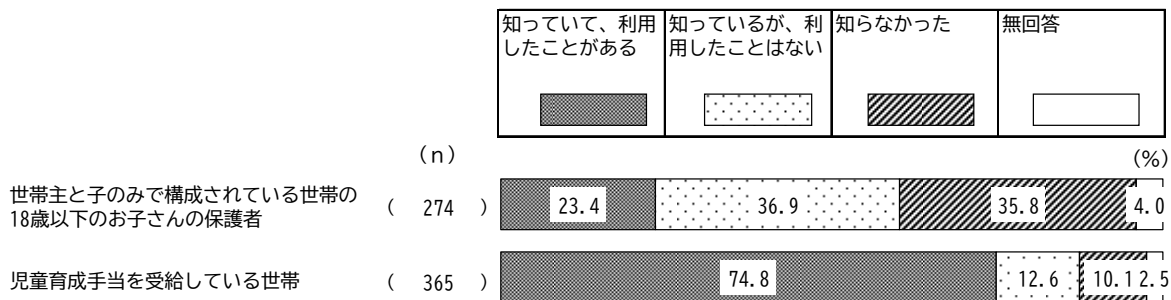
図表 5-73 北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談



■ひとり親家庭等医療費助成制度

ひとり親家庭等医療費助成制度をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「知っているが、利用したことはない」「知らなかった」が同程度（順に36.9%、35.8%）となっており、児童育成手当を受給している世帯は、「知っていて、利用したことがある」が74.8%と最も高くなっている。

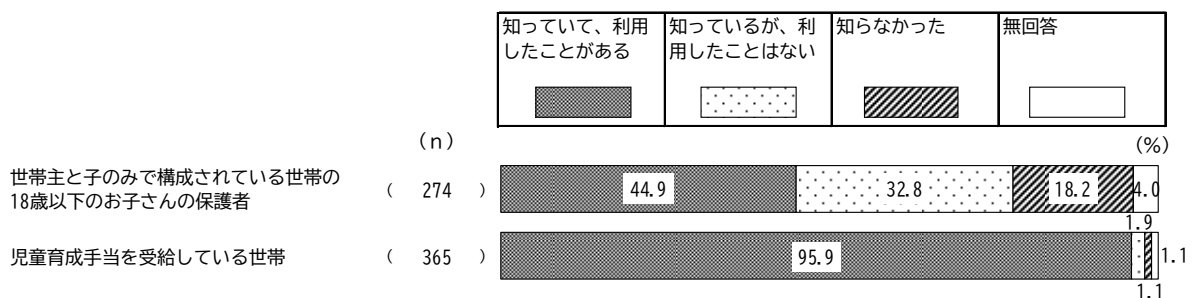
図表 5-74 ひとり親家庭等医療費助成制度



■児童育成手当・児童扶養手当

児童育成手当・児童扶養手当をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知っていて、利用したことがある」がともに最も高く、順に44.9%、95.9%となっている。

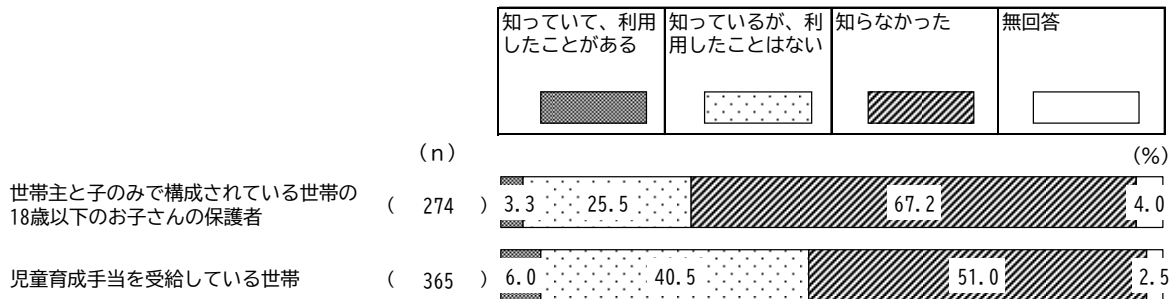
図表 5-75 児童育成手当・児童扶養手当



■ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定

ひとり親家庭自立支援プログラム（就労計画書）策定をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に67.2%、51.0%となっている。

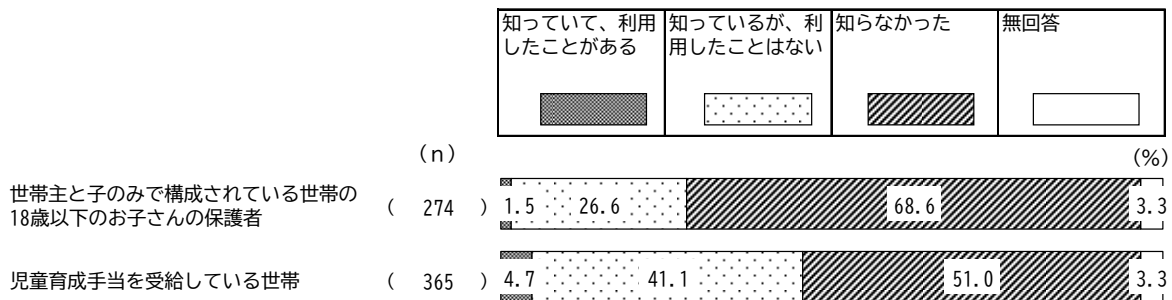
図表 5-76 ひとり親家庭自立支援プログラム（就労計画書）策定



■ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に68.6%、51.0%となっている。

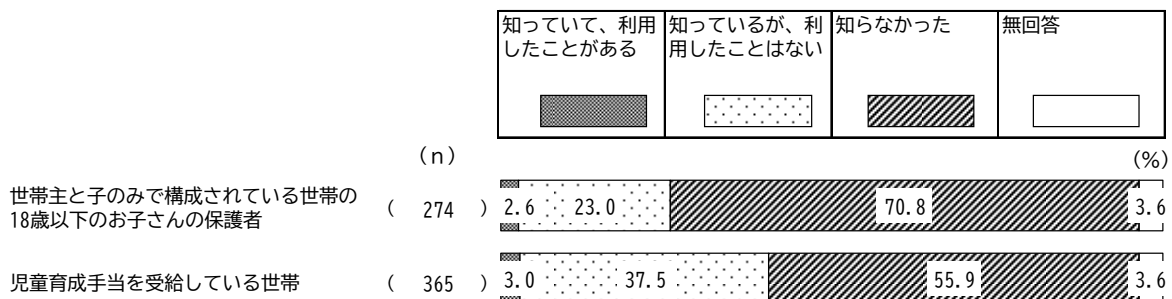
図表 5-77 ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業



■ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業

ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に70.8%、55.9%となっている。

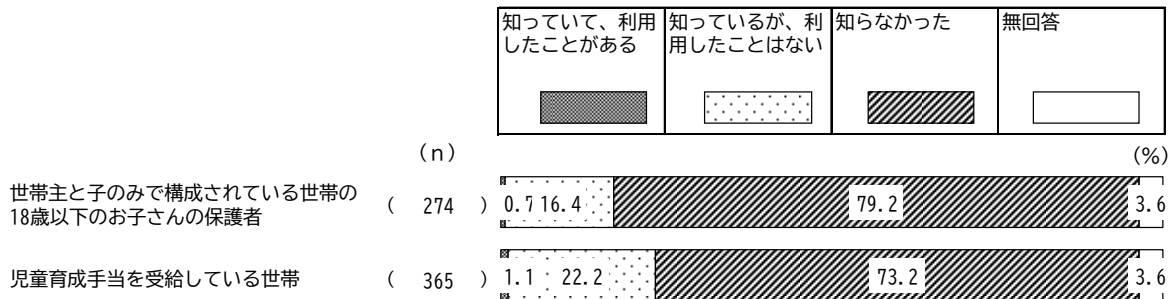
図表 5-78 ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業



■ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に79.2%、73.2%となっている。

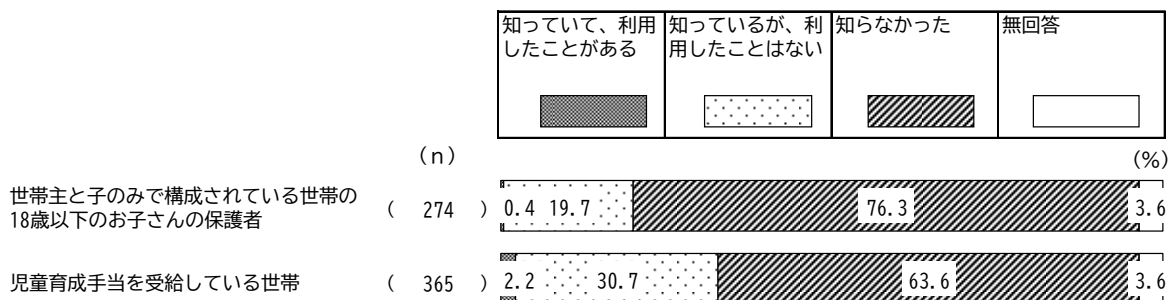
図表 5-79 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業



■福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金)

福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金)をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に76.3%、63.6%となっている。

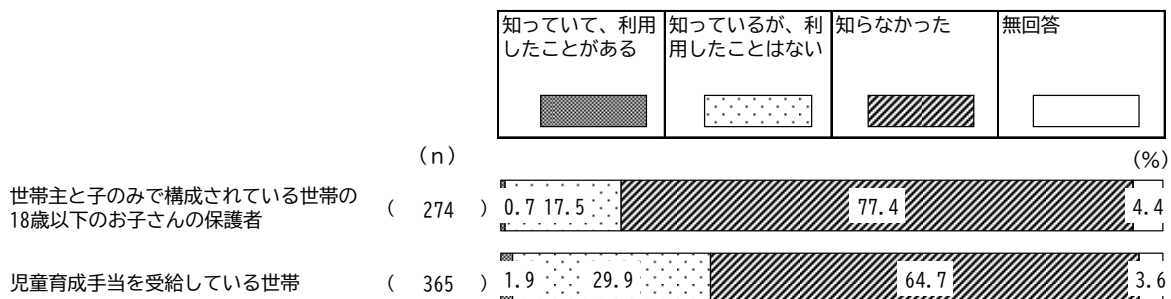
図表 5-80 福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金)



■福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金)

福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金)をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に77.4%、64.7%となっている。

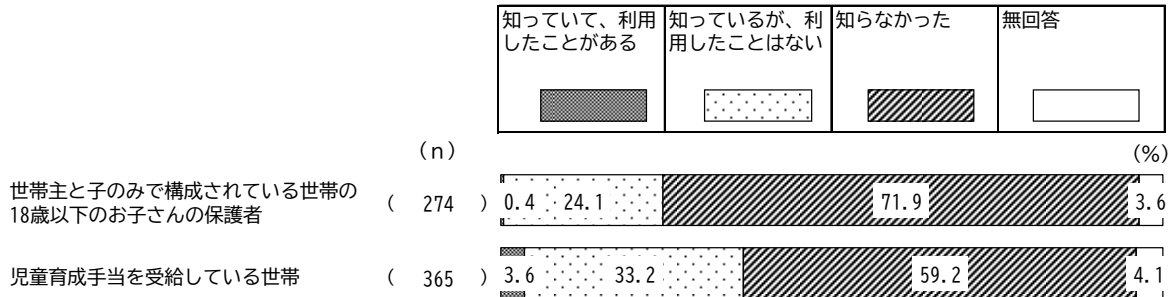
図表 5-81 福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金)



■母子生活支援施設

母子生活支援施設をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に71.9%、59.2%となっている。

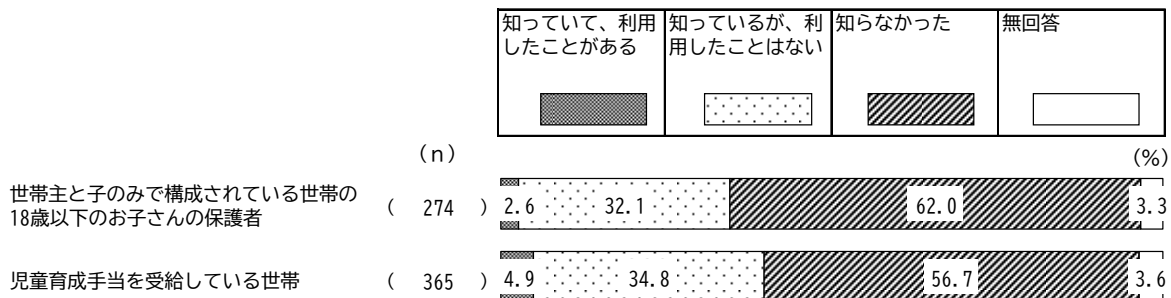
図表 5-82 母子生活支援施設



■こころと生き方・DV相談

こころと生き方・DV相談をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に62.0%、56.7%となっている。

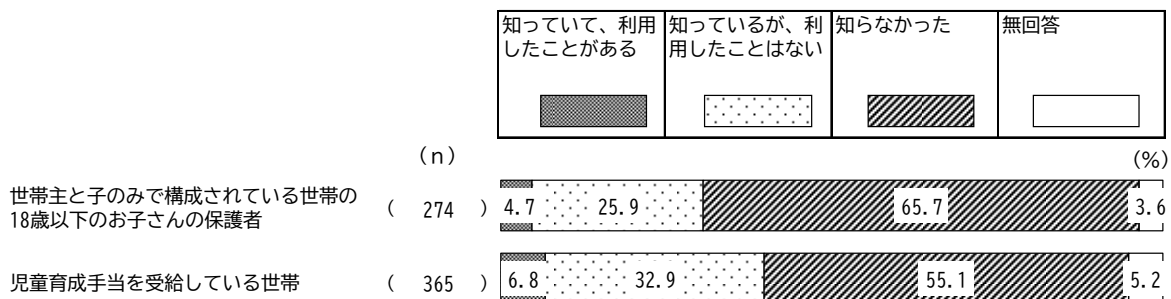
図表 5-83 こころと生き方・DV相談



■女性のための法律相談

女性のための法律相談をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「知らなかった」がともに最も高く、順に65.7%、55.1%となっている。

図表 5-84 女性のための法律相談



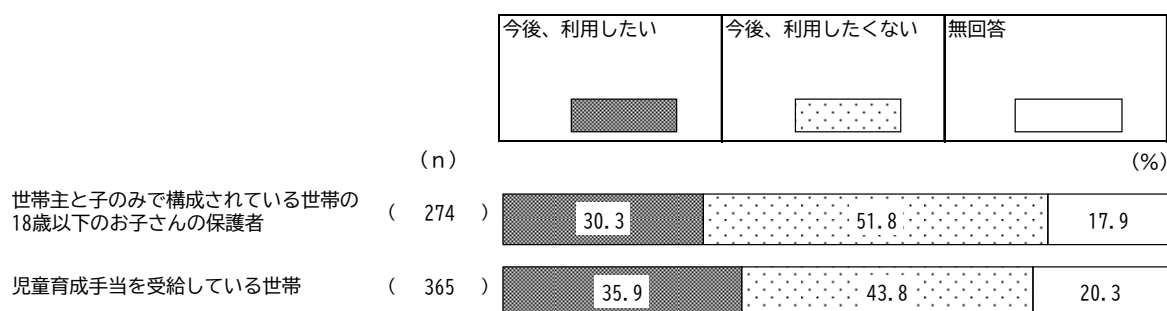
【利用意向】

■そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)

そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が30.3%、「今後、利用したくない」が51.8%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が35.9%、「今後、利用したくない」が43.8%となっている。

図表 5-85 そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)

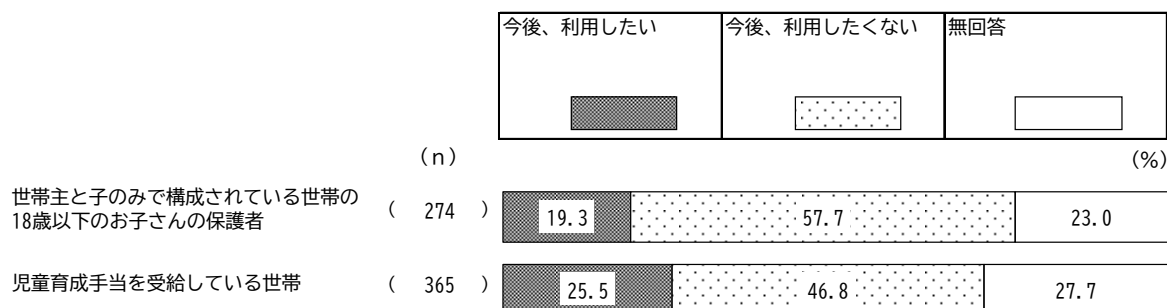


■北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談

北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が19.3%、「今後、利用したくない」が57.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が25.5%、「今後、利用したくない」が46.8%となっている。

図表 5-86 北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談

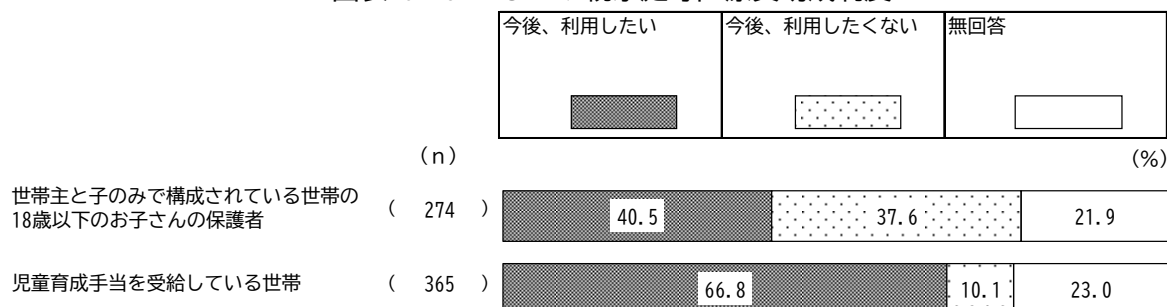


■ひとり親家庭等医療費助成制度

ひとり親家庭等医療費助成制度をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が40.5%、「今後、利用したくない」が37.6%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が66.8%、「今後、利用したくない」が10.1%となっている。

図表 5-87 ひとり親家庭等医療費助成制度

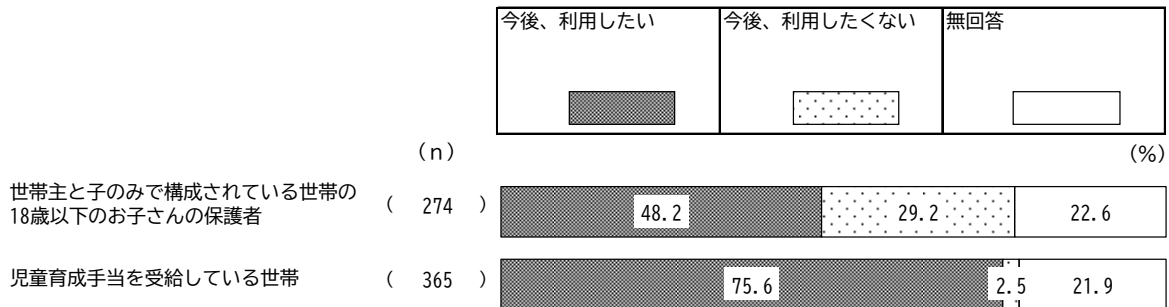


■児童育成手当・児童扶養手当

児童育成手当・児童扶養手当をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が48.2%、「今後、利用したくない」が29.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が75.6%、「今後、利用したくない」が2.5%となっている。

図表 5-88 児童育成手当・児童扶養手当

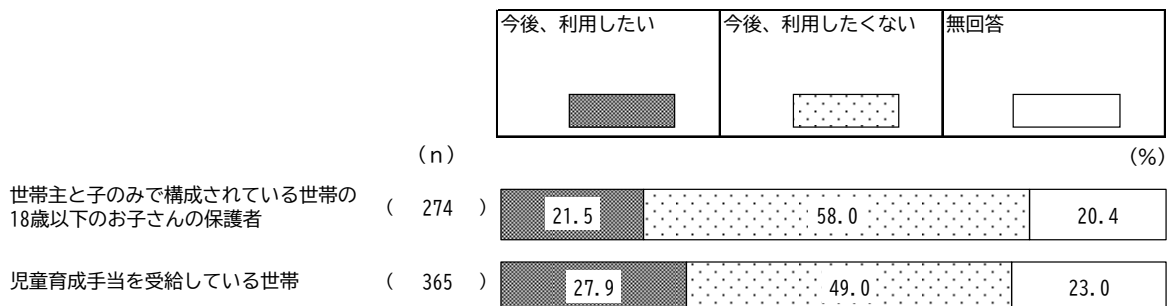


■ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定

ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が21.5%、「今後、利用したくない」が58.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が27.9%、「今後、利用したくない」が49.0%となっている。

図表 5-89 ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定

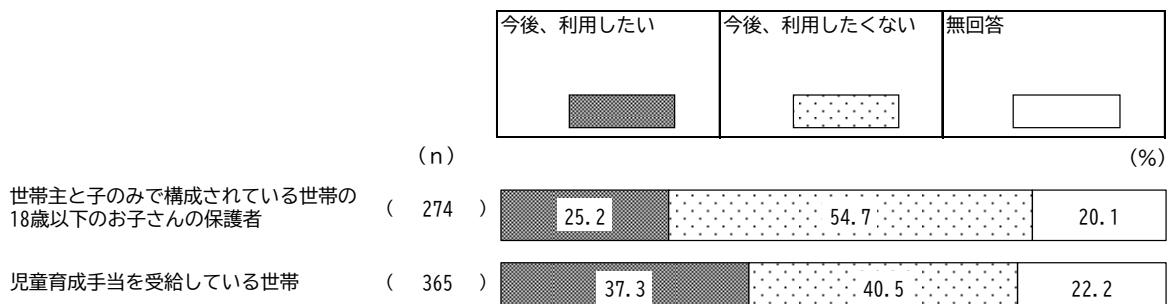


■ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が25.2%、「今後、利用したくない」が54.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が37.3%、「今後、利用したくない」が40.5%となっている。

図表 5-90 ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

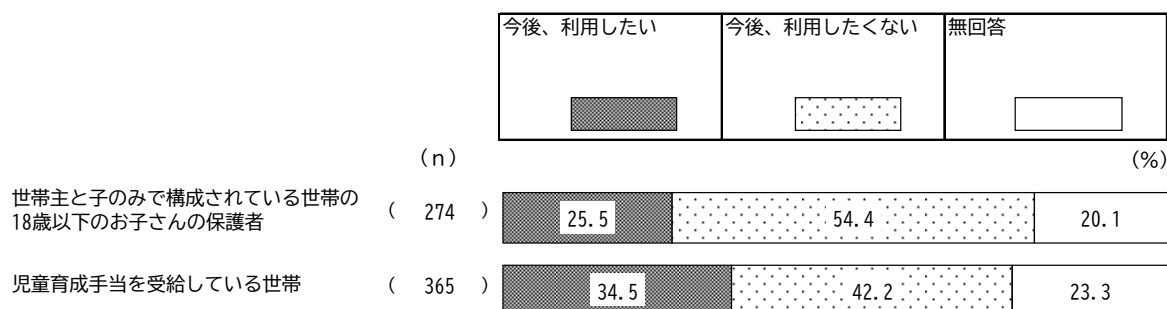


■ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業

ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が25.5%、「今後、利用したくない」が54.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が34.5%、「今後、利用したくない」が42.2%となっている。

図表 5-91 ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業

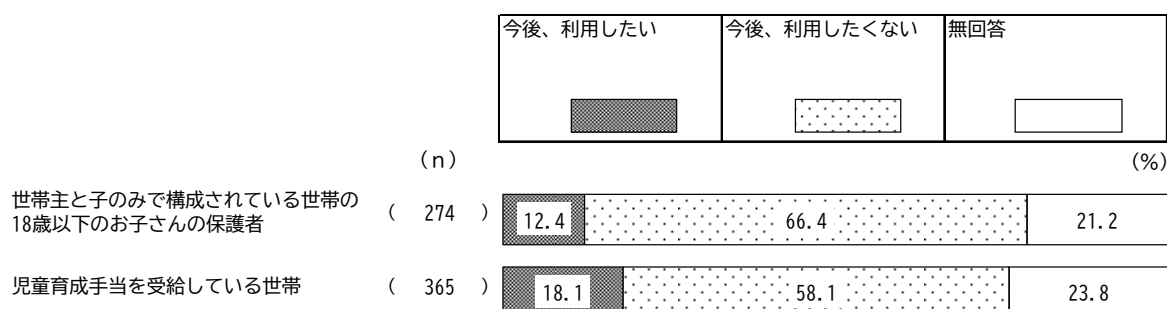


■ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が12.4%、「今後、利用したくない」が66.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が18.1%、「今後、利用したくない」が58.1%となっている。

図表 5-92 ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

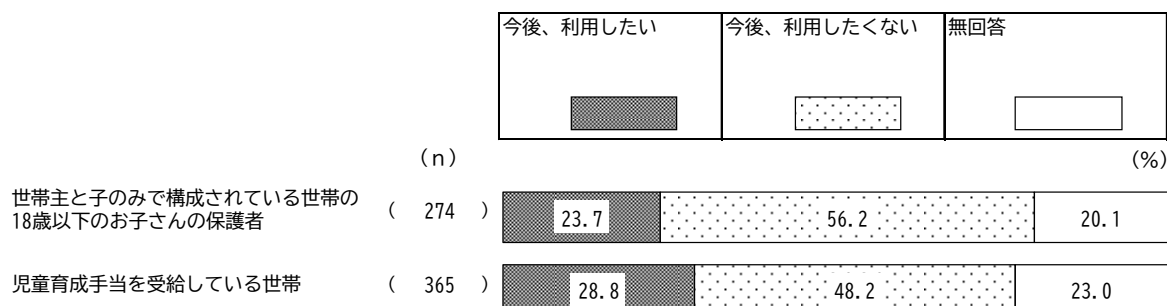


■福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金)

福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金)をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が23.7%、「今後、利用したくない」が56.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が28.8%、「今後、利用したくない」が48.2%となっている。

図表 5-93 福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金)

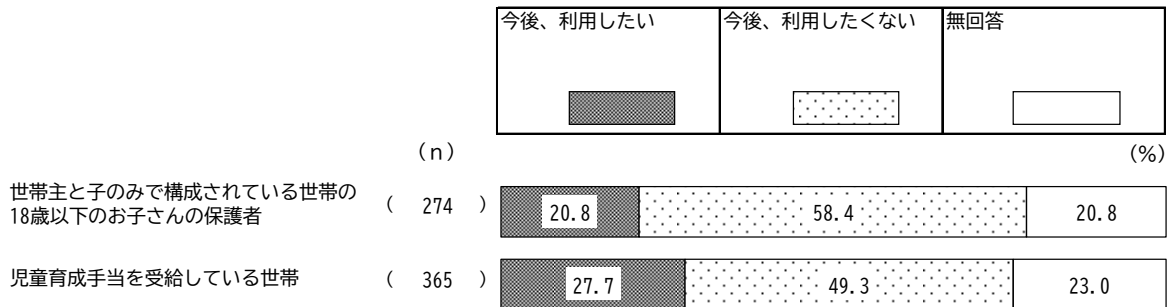


■福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金)

福祉資金貸付（東京都母子及び父子福祉資金）をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が20.8%、「今後、利用したくない」が58.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が27.7%、「今後、利用したくない」が49.3%となっている。

図表 5-94 福祉資金貸付（東京都母子及び父子福祉資金）

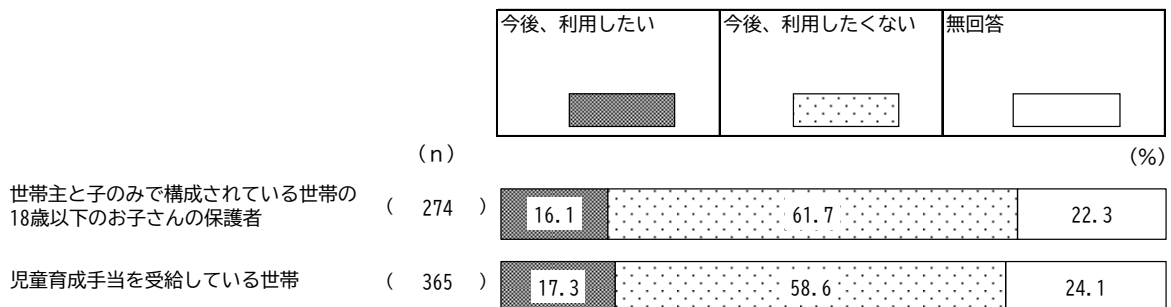


■母子生活支援施設

母子生活支援施設をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が16.1%、「今後、利用したくない」が61.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が17.3%、「今後、利用したくない」が58.6%となっている。

図表 5-95 母子生活支援施設

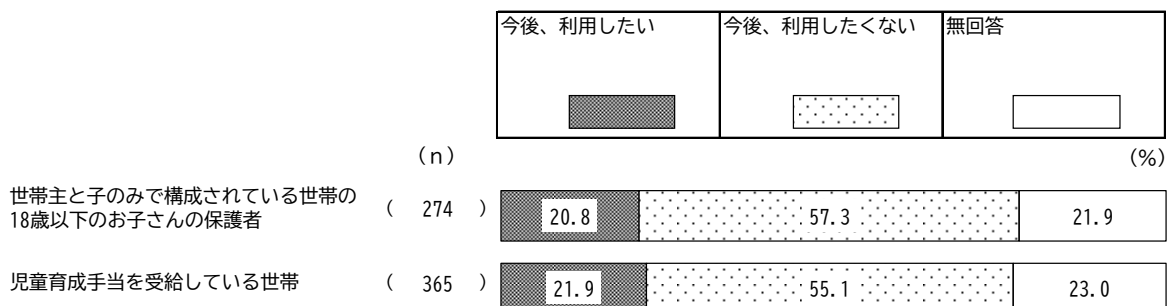


■こころと生き方・DV相談

こころと生き方・DV相談をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が20.8%、「今後、利用したくない」が57.3%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が21.9%、「今後、利用したくない」が55.1%となっている。

図表 5-96 こころと生き方・DV相談

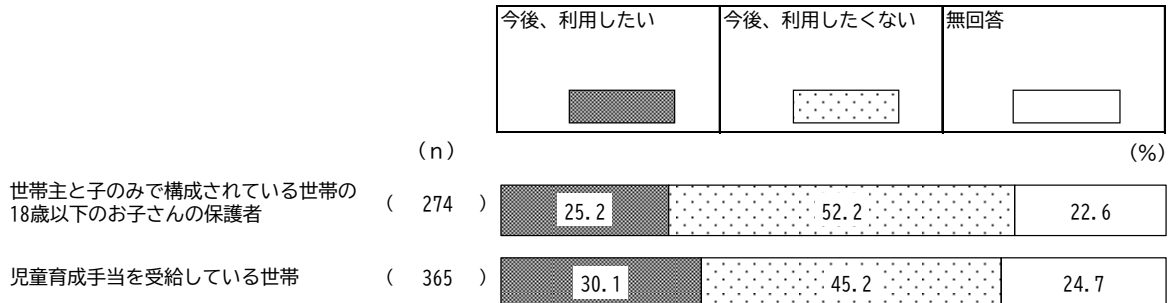


■女性のための法律相談

女性のための法律相談をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「今後、利用したい」が25.2%、「今後、利用したくない」が52.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「今後、利用したい」が30.1%、「今後、利用したくない」が45.2%となっている。

図表 5-97 女性のための法律相談



③ 就労や仕事のために希望する区からの支援

問 39 あなたは就職や仕事のため、区からどのような支援を望みますか。
(あてはまるものすべてに○)

就労や仕事のために希望する区からの支援をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる」が44.5%と最も高く、次いで「仕事から帰宅するまでの間、子どもを預かってくれる」が39.1%、「病気の子どもの預かってもらえる」が34.3%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「相談が一か所ですでできる」が43.0%と最も高く、次いで「長期(2年以上)に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をする」が42.2%、「親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる」が37.8%と続いている。

図表 5-98 就労や仕事のために希望する区からの支援 (複数回答)

	n	技能講習、職業訓練などの機会が増える	訓練受講などに経済的援助が受けられる	仕事を探したり、訓練受講などの際に子どもを預かってもらえる	相談が一か所ですでできる	就労のための支援策などの情報が得られる	保育園にすぐ入れる	延長保育、休日保育が充実する	病気の子どもの預かってもらえる
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274	50 18.2	61 22.3	54 19.7	80 29.2	53 19.3	79 28.8	85 31.0	94 34.3
児童育成手当を受給している世帯	365	110 30.1	135 37.0	76 20.8	157 43.0	86 23.6	62 17.0	59 16.2	91 24.9

	学童クラブにすぐに入れる	仕事から帰宅するまでの間、子どもを預かってくれる	親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる	子どもが病気で保育園に行けないときなど、自宅で面倒を見てくれる人を派遣してもらう	母子家庭・父子家庭の就職相談や求職情報、養育費の相談など生活支援サービスを利用できる	就職のための資格・技能を取得する講習会等の受講費用を援助する	長期(2年以上)に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をする	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	81 29.6	107 39.1	122 44.5	76 27.7	49 17.9	68 24.8	64 23.4	20 7.3	28 10.2
児童育成手当を受給している世帯	59 16.2	83 22.7	138 37.8	61 16.7	92 25.2	122 33.4	154 42.2	24 6.6	31 8.5

(10)子育て全般

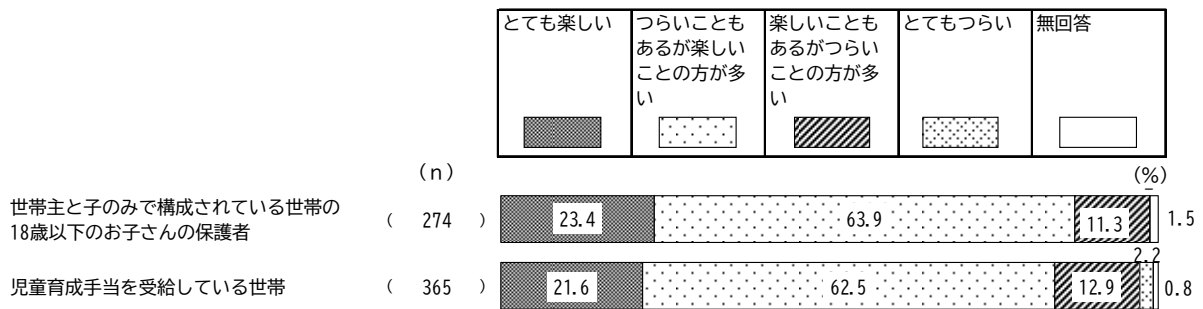
① 子育ての楽しさ

問 40 あなたは子育てが楽しいですか。(1つに○)

子育ての楽しさをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が63.9%と最も高く、次いで「とても楽しい」が23.4%、「楽しいこともあるがつらいことの方が多い」が11.3%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が62.5%と最も高く、次いで「とても楽しい」が21.6%、「楽しいこともあるがつらいことの方が多い」が12.9%となっている。

図表 5-99 子育ての楽しさ



② 子育てに関して悩んでいること・気になること

問 41 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して悩んでいること・気になることをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもの教育・塾、進路」が38.3%と最も高く、次いで「子育て・教育費の経済的負担」が34.3%、「子どもとの時間を十分にとれない」が25.5%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「子育て・教育費の経済的負担」が54.8%と最も高く、次いで「子どもの教育・塾、進路」が49.6%、「子どもとの時間を十分にとれない」が31.5%と続いている。

図表 5-100 子育てに関して悩んでいること・気になること (複数回答)

	n	子どもの病気	発育・発達が他の子と比べ遅れていると思う	食事や栄養	子どものしつけの方法がよくわからない	子どもとの接し方に自信がもてない	子どもとの時間を十分にとれない	子どものほめ方やしかり方がよくわからない	いじめに関すること	子どもの友達づきあいなど対人関係
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274	40	23	68	43	37	70	41	24	65
	100.0	14.6	8.4	24.8	15.7	13.5	25.5	15.0	8.8	23.7
児童育成手当を受給している世帯	365	69	51	75	51	49	115	50	22	71
	100.0	18.9	14.0	20.5	14.0	13.4	31.5	13.7	6.0	19.5

	不登校	子どもの学力の遅れ	子どもの教育・塾、進路	仕事や自分のやりたいことが十分できない	子どもに落ち着きがない	子どもとのことで話し相手や相談相手がいない	子育て・教育費の経済的負担	その他	特にない	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	15	41	105	57	20	19	94	11	37	5
	5.5	15.0	38.3	20.8	7.3	6.9	34.3	4.0	13.5	1.8
児童育成手当を受給している世帯	32	86	181	61	29	23	200	15	31	5
	8.8	23.6	49.6	16.7	7.9	6.3	54.8	4.1	8.5	1.4

③ 子どもとかかわる時間

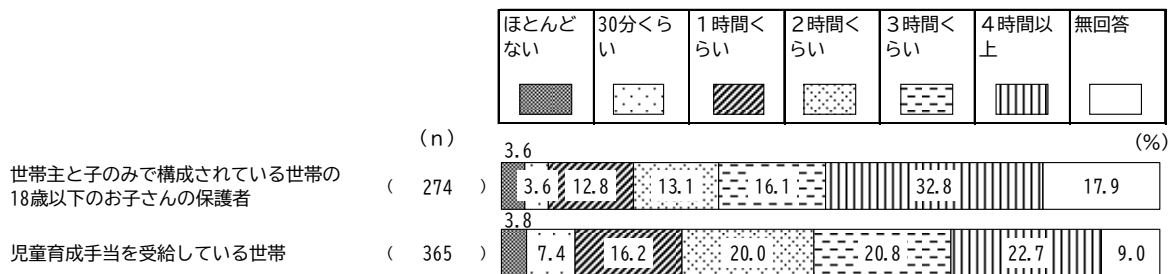
問 42 宛名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなどの合計の時間）はだいたいどのくらいありますか。（母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ1つに○）

■母親：平日

母親：平日をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「4時間以上」が32.8%と最も高く、次いで「3時間くらい」が16.1%、「2時間くらい」が13.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「4時間以上」が22.7%と最も高く、次いで「3時間くらい」が20.8%、「2時間くらい」が20.0%となっている。

図表 5-101 母親：平日

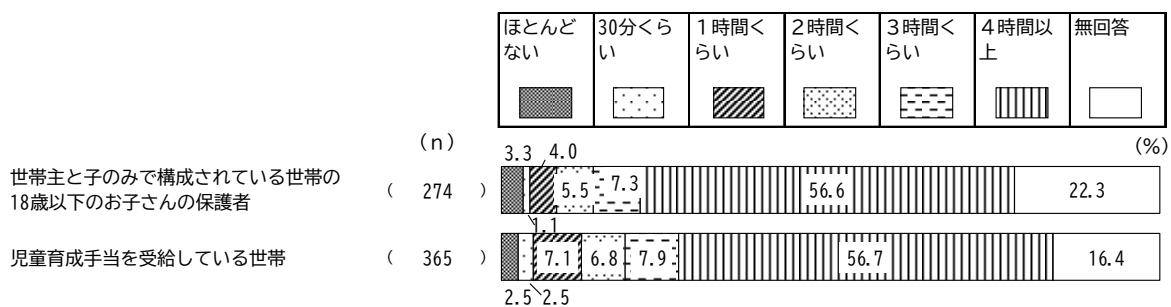


■母親：休日

母親：休日をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「4時間以上」が56.6%と最も高く、次いで「3時間くらい」が7.3%、「2時間くらい」が5.5%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「4時間以上」が56.7%と最も高く、次いで「3時間くらい」が7.9%、「1時間くらい」が7.1%となっている。

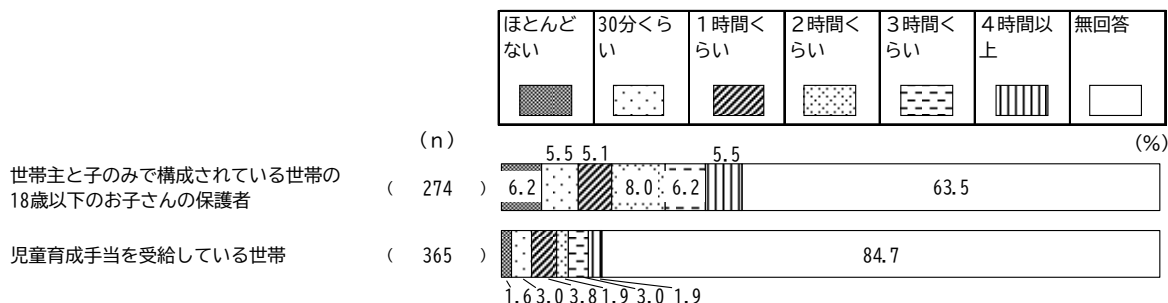
図表 5-102 母親：休日



■父親：平日

父親：平日をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、かかわる時間に差異は見受けられない。

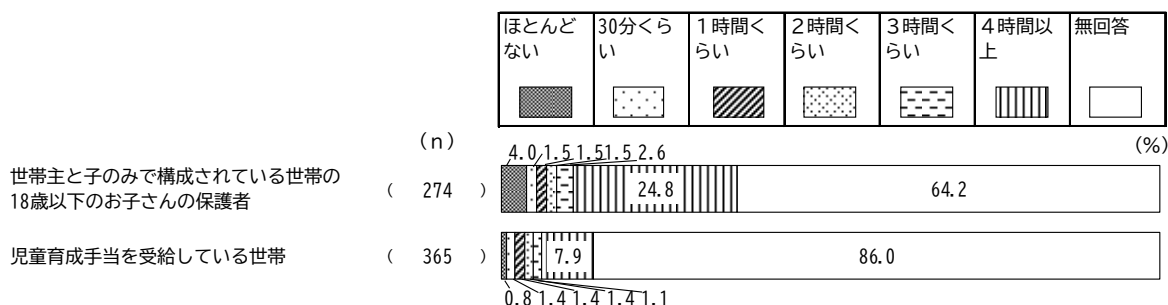
図表 5-103 父親：平日



■父親：休日

父親：休日をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯ともに、「4時間以上」が最も高く、順に24.8%、7.9%となっている。

図表 5-104 父親：休日



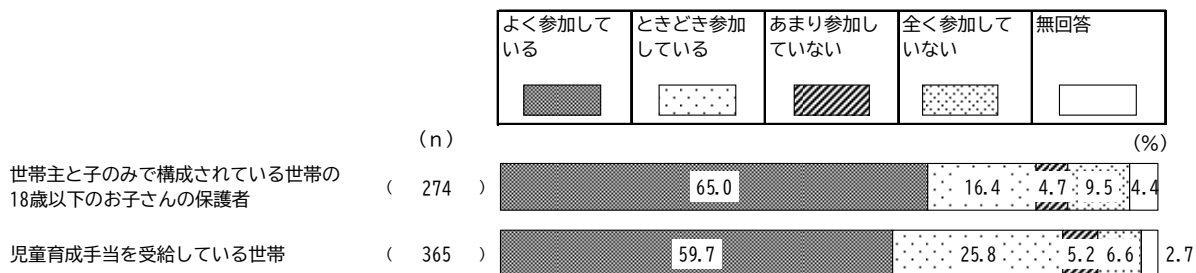
④ 行事や活動に参加

問 43 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①保育園・幼稚園、学校における授業参観や運動会など行事への参加、②PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加、それぞれ1つに○)
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

■保育園・幼稚園、学校における授業参観や運動会など行事への参加

保育園・幼稚園、学校における授業参観や運動会など行事への参加をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、「よく参加している」がともに最も高く、順に65.0%、59.7%となっている。

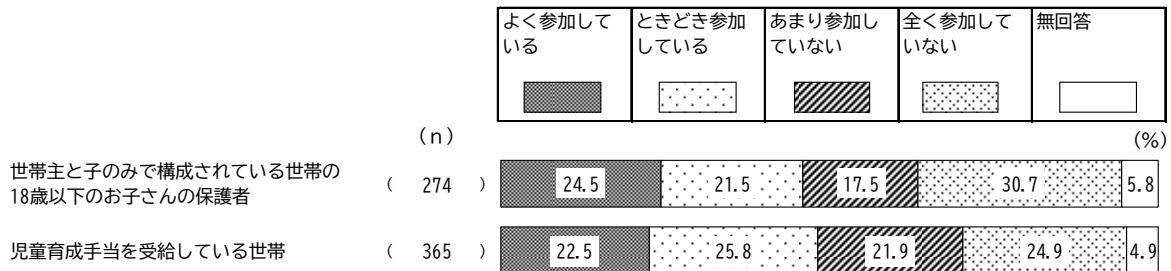
図表 5-105 保育園・幼稚園、学校における授業参観や運動会など行事への参加



■PTA 活動や保護者会等のボランティアなどへの参加

PTA 活動や保護者会等のボランティアなどへの参加をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者、児童育成手当を受給している世帯は、“参加している”（よく参加している+ときどき参加している）と“参加していない”（あまり参加していない+全く参加していない）がともに同程度の割合となっている。

図表 5-106 PTA 活動や保護者会等のボランティアなどへの参加



⑤ 子育て関連の情報入手方法

問 44 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育て関連の情報入手方法をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の 18 歳以下のお子さんの保護者は、「インターネット」が 56.2%と最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が 45.6%、「保育園、幼稚園、認定こども園、学校」「北区ニュース（広報誌）」がともに 34.7%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「インターネット」が 51.5%と最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が 48.8%、「北区ニュース（広報誌）」が 42.7%と続いている。

図表 5-107 子育て関連の情報入手方法（複数回答）

	n	親族 (親・兄 弟姉妹な ど)	近所の 人、知 人、友人	子育て サークル の仲間	区役所の 窓口	保育園、 幼稚園、 認定こど も園、学 校	子ども家 庭支援セ ンター	各健康支 援セン ター	教育総合 相談セン ター	児童館 (子ども セン ター・ ティーン ズセン ター)
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274	91 33.2	125 45.6	4 1.5	19 6.9	95 34.7	5 1.8	2 0.7	2 0.7	9 3.3
児童育成手当を受給している世帯	365	109 29.9	178 48.8	5 1.4	25 6.8	113 31.0	3 0.8	1 0.3	4 1.1	4 1.1

	北区 ニュース (広報 誌)	テレビ、 ラジオ、 新聞	市販の子 育て情報 誌、育児 書	インター ネット	北区子育 て応援ガ イド「き たハビモ パイル」	子育て支 援情報配 信メール	その他	情報の入 手手段が わからない	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	95 34.7	34 12.4	13 4.7	154 56.2	9 3.3	6 2.2	12 4.4	10 3.6	6 2.2
児童育成手当を受給している世帯	156 42.7	75 20.5	15 4.1	188 51.5	1 0.3	14 3.8	13 3.6	15 4.1	8 2.2

⑥ 新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響

問 45 新型コロナウイルス感染症は、宛名のお子さんにどのような影響を与えていますか。
(①～⑩ごとにそれぞれ1つに○)

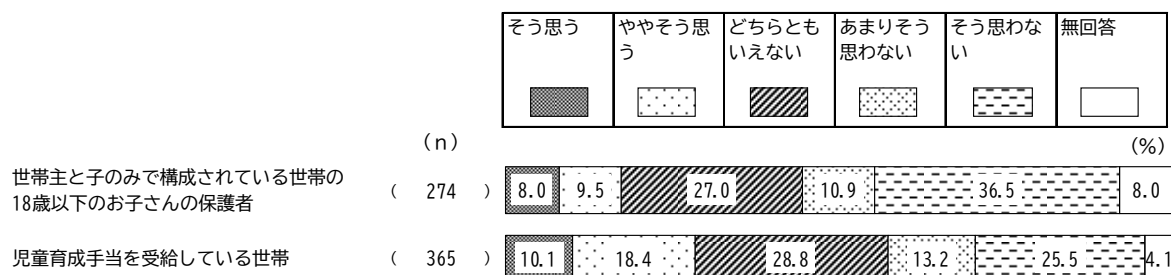
- | | |
|----------------------|----------------------------|
| ①子どもの学力が低下した | ②子どもの体力が低下した |
| ③子どもの精神状態が不安定となった | ④食事の回数や食べる量が減った |
| ⑤夜遅くまで起きていることが多くなった | ⑥子どもが会話をしなくなった |
| ⑦子どもが暴力をふるうようになった | ⑧子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた |
| ⑨子どもが外に出るのを嫌がるようになった | ⑩その他 () ※記載しない |

■子どもの学力が低下した

子どもの学力が低下したをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が17.5%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が47.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が28.5%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が38.7%となっている。

図表 5-108 子どもの学力が低下した

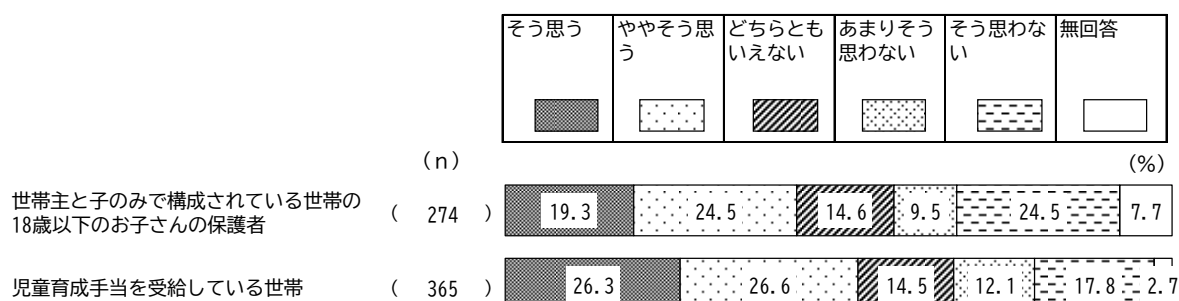


■子どもの体力が低下した

子どもの体力が低下したをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が43.8%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が34.0%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が52.9%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が29.9%となっている。

図表 5-109 子どもの体力が低下した

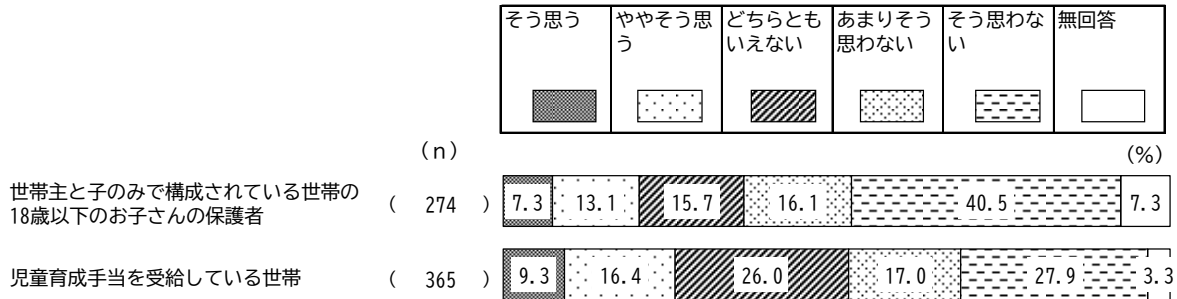


■子どもの精神状態が不安定となった

子どもの精神状態が不安定となったをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が20.4%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が56.6%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が25.7%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が44.9%となっている。

図表 5-110 子どもの精神状態が不安定となった

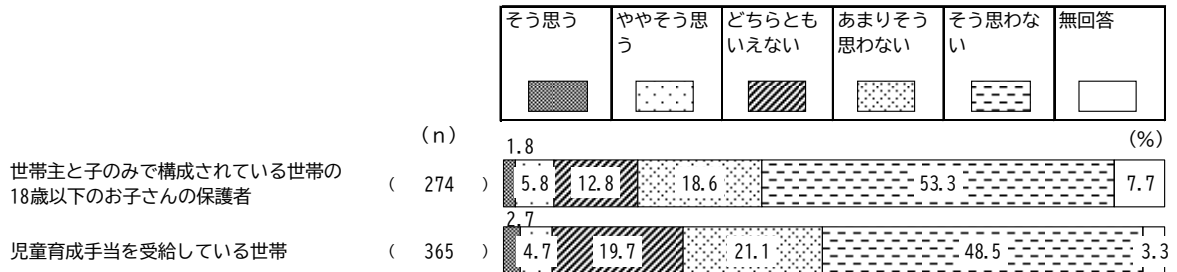


■食事の回数や食べる量が減った

食事の回数や食べる量が減ったをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が7.6%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が71.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が7.4%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が69.6%となっている。

図表 5-111 食事の回数や食べる量が減った

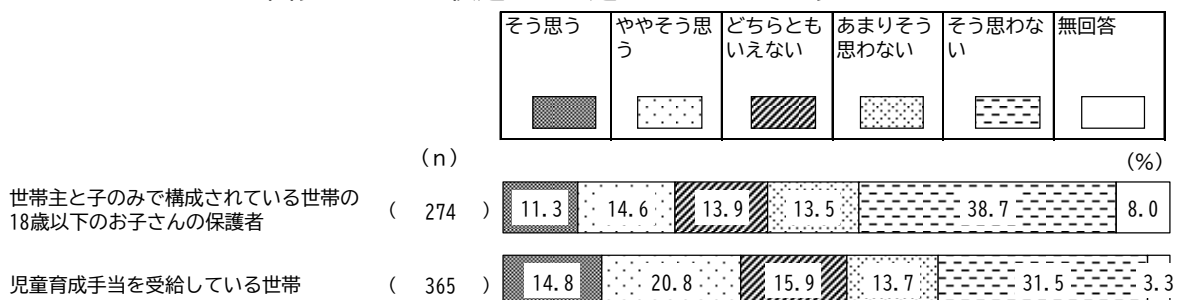


■夜遅くまで起きていることが多くなった

夜遅くまで起きていることが多くなったをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が25.9%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が52.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が35.6%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が45.2%となっている。

図表 5-112 夜遅くまで起きていることが多くなった

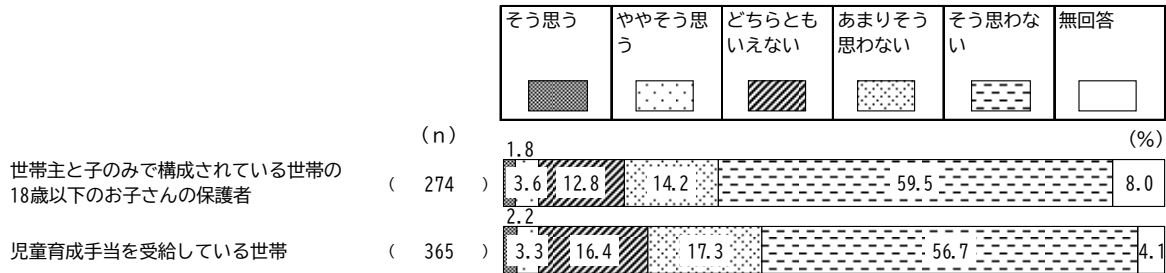


■子どもが会話をしなくなった

子どもが会話をしなくなったをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が5.4%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が73.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が5.5%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が74.0%となっている。

図表 5-113 子どもが会話をしなくなった

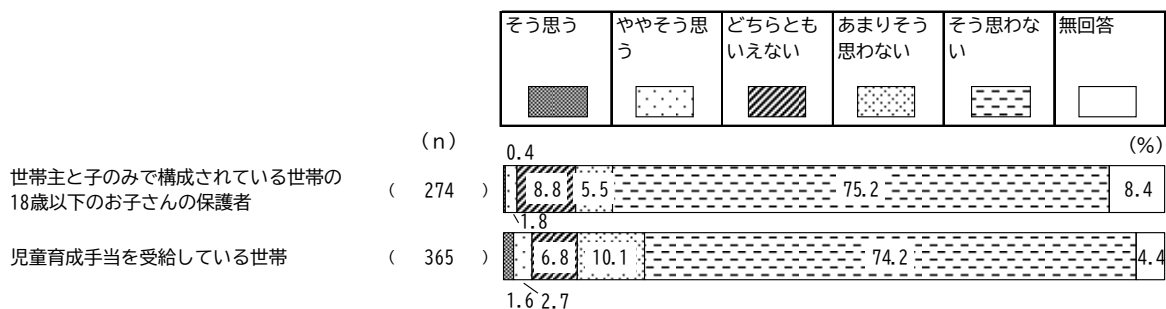


■子どもが暴力をふるうようになった

子どもが暴力をふるうようになったをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が2.2%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が80.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が4.3%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が84.3%となっている。

図表 5-114 子どもが暴力をふるうようになった

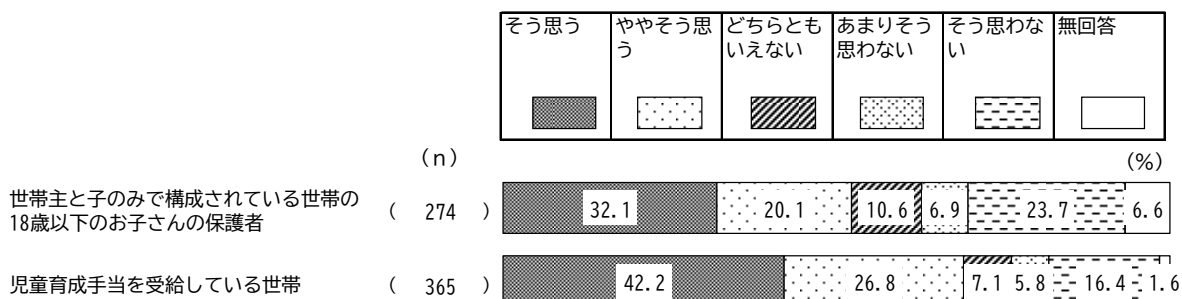


■子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた

子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えたをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が52.2%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が30.6%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が69.0%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が22.2%となっている。

図表 5-115 子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた

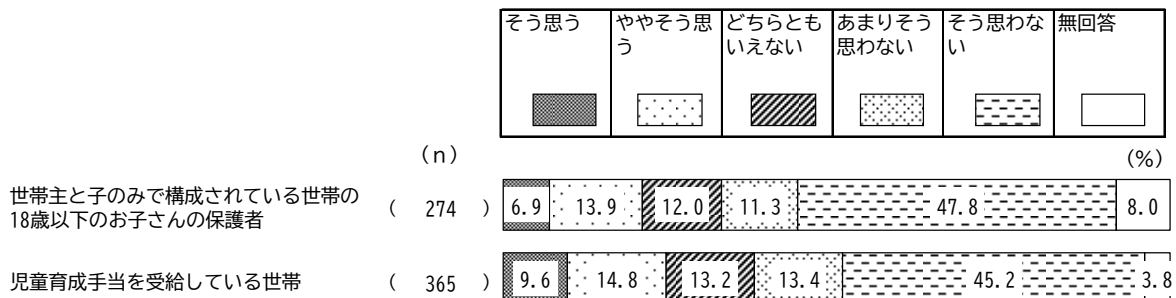


■子どもが外に出るのを嫌がるようになった

子どもが外に出るのを嫌がるようになったをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が20.8%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が59.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“そう思う”（そう思う+ややそう思う）が24.4%、“そう思わない”（あまりそう思わない+そう思わない）が58.6%となっている。

図表 5-116 子どもが外に出るのを嫌がるようになった



⑦ 子どもへの接し方

問 46 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。(①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

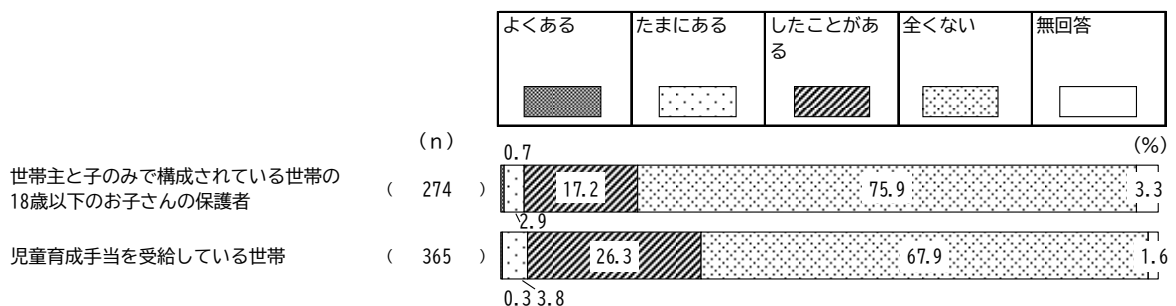
- ①子どもを加減せず感情まかせにたたく
- ②子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う
- ③子どもの言葉を無視し続ける
- ④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする
- ⑤子どもに物を投げつける
- ⑥子どもに食事を与えない
- ⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる
- ⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する

■子どもを加減せず感情まかせにたたく

子どもを加減せず感情まかせにたたくをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“ある”（よくある+たまにある）が3.6%、「したことがある」が17.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“ある”（よくある+たまにある）が4.1%、「したことがある」が26.3%となっている。

図表 5-117 子どもを加減せず感情まかせにたたく

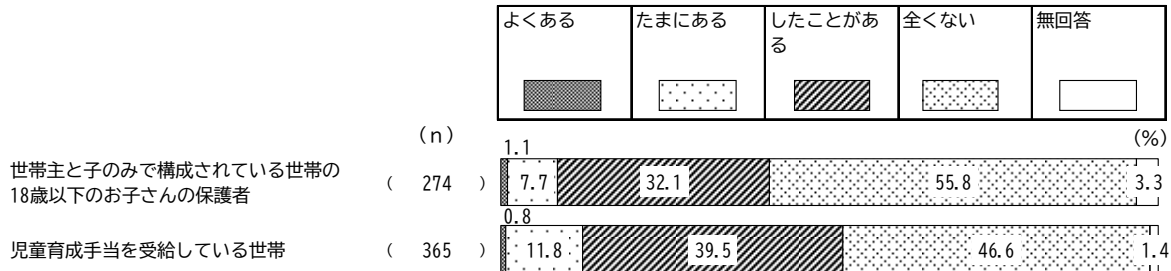


■子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を言う

子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を言うをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」（よくある+たまにある）が8.8%、「したことがある」が32.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」（よくある+たまにある）が12.6%、「したことがある」が39.5%となっている。

図表 5-118 子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を言う

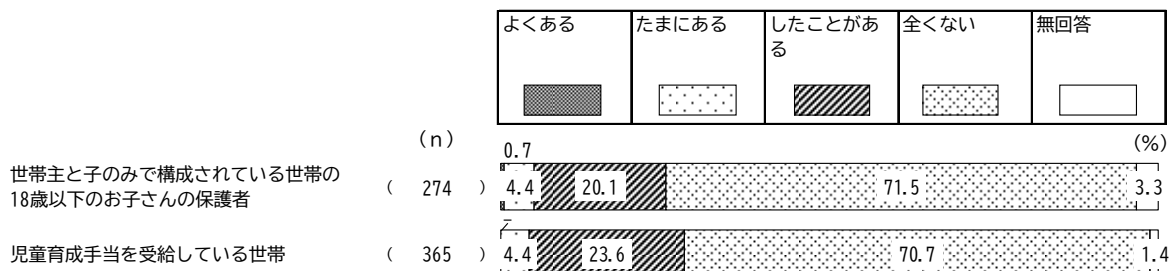


■子どもの言葉を無視し続ける

子どもの言葉を無視し続けるをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」（よくある+たまにある）が5.1%、「したことがある」が20.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」（よくある+たまにある）が4.4%、「したことがある」が23.6%となっている。

図表 5-119 子どもの言葉を無視し続ける

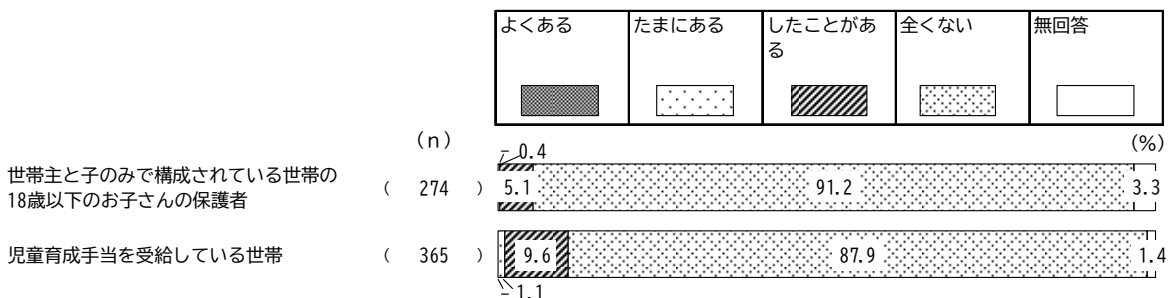


■子どもを突き飛ばしたり、投げたりする

子どもを突き飛ばしたり、投げたりするをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」（よくある+たまにある）が0.4%、「したことがある」が5.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」（よくある+たまにある）が1.1%、「したことがある」が9.6%となっている。

図表 5-120 子どもを突き飛ばしたり、投げたりする

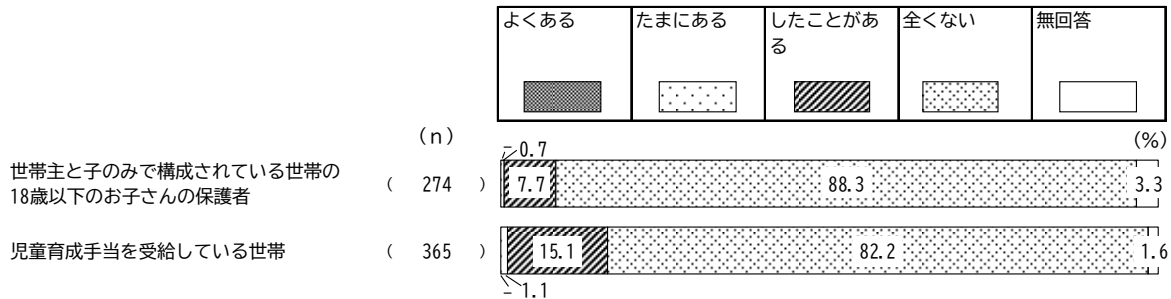


■子どもに物を投げつける

子どもに物を投げつけるをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」（よくある+たまにある）が0.7%、「したことがある」が7.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」（よくある+たまにある）が1.1%、「したことがある」が15.1%となっている。

図表 5-121 子どもに物を投げつける

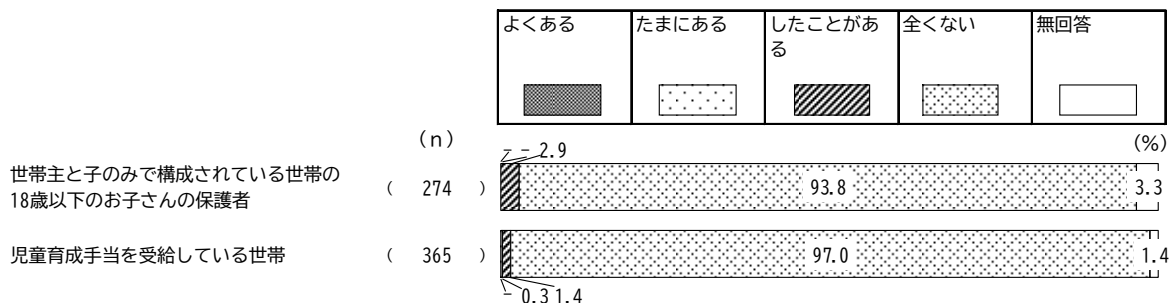


■子どもに食事を与えない

子どもに食事を与えないをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」（よくある+たまにある）が0.0%、「したことがある」が2.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」（よくある+たまにある）が0.3%、「したことがある」が1.4%となっている。

図表 5-122 子どもに食事を与えない

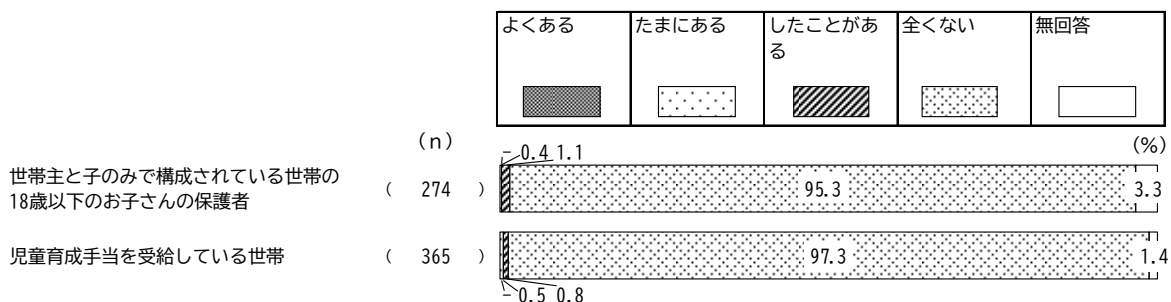


■子どもを入浴させないなど不潔にさせる

子どもを入浴させないなど不潔にさせるをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ある」（よくある+たまにある）が0.4%、「したことがある」が1.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ある」（よくある+たまにある）が0.5%、「したことがある」が0.8%となっている。

図表 5-123 子どもを入浴させないなど不潔にさせる

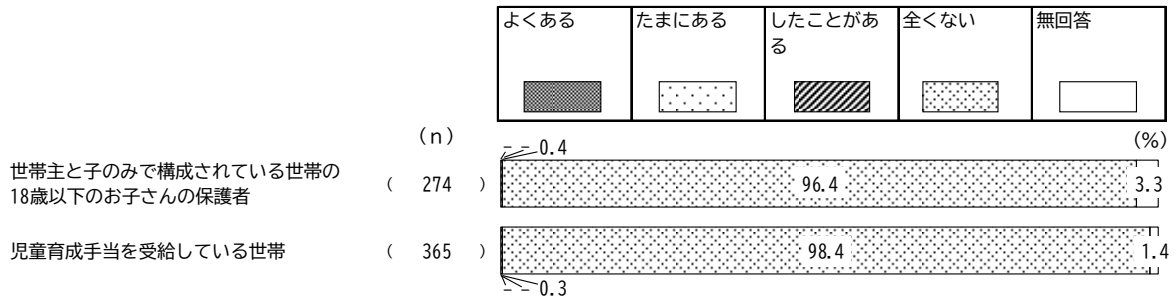


■子どもを屋外や車の中に長時間放置する

子どもを屋外や車の中に長時間放置するをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、“ある”（よくある+たまにある）が0.0%、「したことがある」が0.4%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、“ある”（よくある+たまにある）が0.0%、「したことがある」が0.3%となっている。

図表 5-124 子どもを屋外や車の中に長時間放置する



(11)子育てしやすいまちづくりや支援のあり方

① 子どもを健やかに産み育てるために必要なこと

問 47 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。
(3つまでに○)

子どもを健やかに産み育てるために必要なことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が44.2%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園に入りやすくする」が34.7%、「保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」が34.3%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が49.3%と最も高く、次いで「親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める」が32.6%、「保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」が23.8%と続いている。

図表 5-125 子どもを健やかに産み育てるために必要なこと

	n	出産や子育てのしやすい就労条件を促進する	出産や子育てについて気軽に相談できるようにする	妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する	親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める	保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する	保育園や幼稚園に入りやすくする	子ども各人の個性を尊重した、ゆとりある教育を進める	児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	121 44.2	42 15.3	21 7.7	91 33.2	94 34.3	95 34.7	36 13.1	44 16.1
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	180 49.3	61 16.7	27 7.4	119 32.6	87 23.8	79 21.6	71 19.5	53 14.5

	青少年地区委員会による各種レクリエーション活動など地域の健全育成活動を進める	子育てを助け合うコミュニティづくりを進める	自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす	妊婦や子ども連れでも安心して活動できるまちづくりを進める	質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める	家族が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める	子どもの虐待を未然に防ぐ対策や虐待をする保護者への対応を充実する	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	5 1.8	20 7.3	38 13.9	30 10.9	33 12.0	27 9.9	21 7.7	9 3.3	7 2.6
児童育成手当を受給している世帯	8 2.2	36 9.9	42 11.5	44 12.1	54 14.8	37 10.1	30 8.2	11 3.0	10 2.7

② 子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組

問 48 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備としてどのようなものを望みますか。（3つまでに○）

子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「就業時間をある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度）」が31.8%と最も高く、次いで「子どもが病気やケガのときなどに休暇がとれる制度（子の看護休暇制度）」が27.0%、「自宅で仕事をする事ができる制度（在宅勤務制度）」が26.6%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「子どもが病気やケガのときなどに休暇がとれる制度（子の看護休暇制度）」が35.1%と最も高く、次いで「就業時間をある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度）」が29.0%、「妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など）」が26.6%と続いている。

図表 5-126 子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組

	n	妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など）	産前産後の休暇が十分にとれる制度	子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度	男女とも育児休業期間が1年を超えてとれる制度	出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）	育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度（短時間勤務制度）	就業時間をある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度）	自宅で仕事をする事ができる制度（在宅勤務制度）
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	71 25.9	54 19.7	64 23.4	27 9.9	48 17.5	56 20.4	87 31.8	73 26.6
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	97 26.6	73 20.0	91 24.9	36 9.9	53 14.5	66 18.1	106 29.0	86 23.6

	子どもが病気やケガのときなどに休暇がとれる制度（子の看護休暇制度）	子どもの行事（運動会やお遊戯会など）に参加するための休暇制度	企業（職場）内に託児所を設けること	男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていく	保育料に対する企業（職場）からの助成	その他	特に希望することはない	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	74 27.0	45 16.4	22 8.0	46 16.8	19 6.9	4 1.5	15 5.5	9 3.3
児童育成手当を受給している世帯	128 35.1	92 25.2	25 6.8	72 19.7	19 5.2	2 0.5	12 3.3	15 4.1

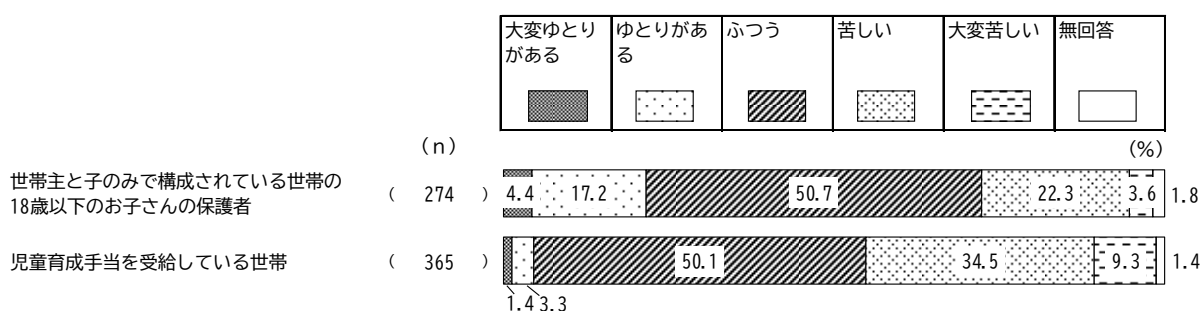
③ 現在の暮らしぶり

問 49 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

現在の暮らしぶりをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「ふつう」が50.7%と最も高く、次いで「苦しい」が22.3%、「ゆとりがある」が17.2%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「ふつう」が50.1%と最も高く、次いで「苦しい」が34.5%、「大変苦しい」が9.3%となっている。

図表 5-127 現在の暮らしぶり



④ 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

問 50 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前(2020年4月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(①~⑥ごとにそれぞれ1つに○)

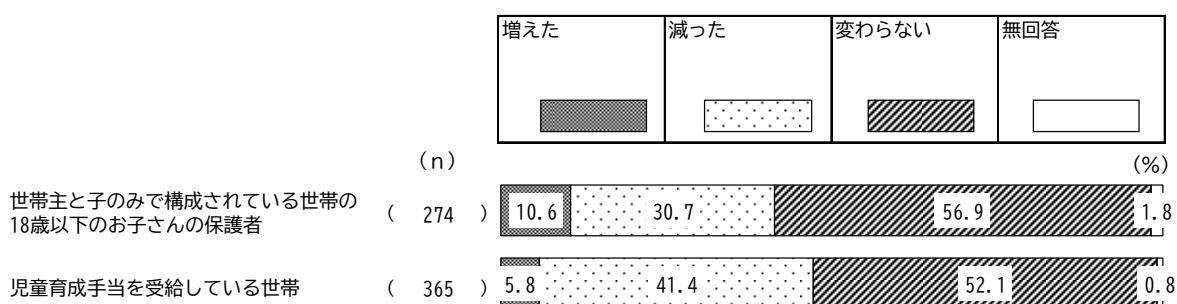
- ①世帯全体の収入の変化
- ②生活に必要な支出の変化
- ③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと
- ④お子さんと話をすること
- ⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること
- ⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

■世帯全体の収入の変化

世帯全体の収入の変化をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「増えた」が10.6%、「減った」が30.7%、「変わらない」が56.9%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「増えた」が5.8%、「減った」が41.4%、「変わらない」が52.1%となっている。

図表 5-128 世帯全体の収入の変化

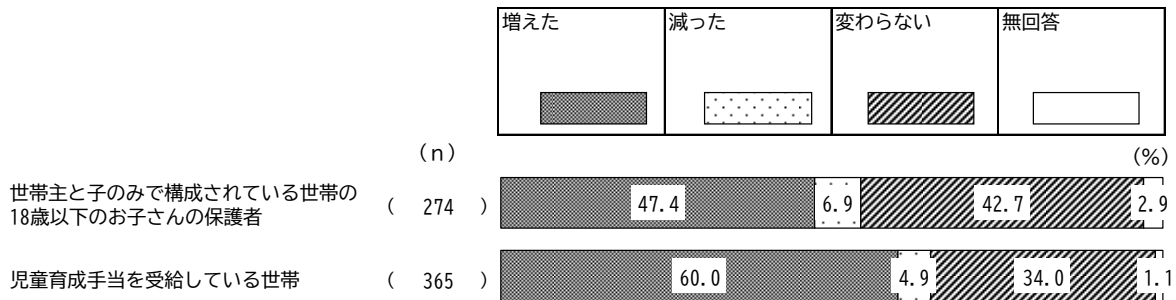


■生活に必要な支出の変化

生活に必要な支出の変化をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「増えた」が47.4%、「減った」が6.9%、「変わらない」が42.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「増えた」が60.0%、「減った」が4.9%、「変わらない」が34.0%となっている。

図表 5-129 生活に必要な支出の変化

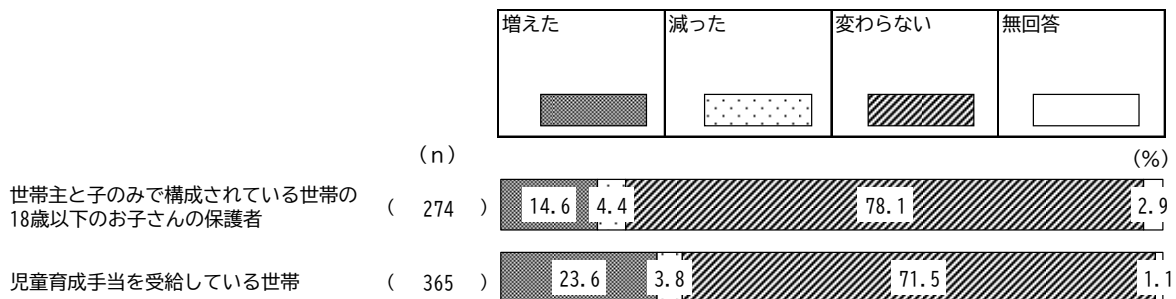


■お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと

お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「増えた」が14.6%、「減った」が4.4%、「変わらない」が78.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「増えた」が23.6%、「減った」が3.8%、「変わらない」が71.5%となっている。

図表 5-130 お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと

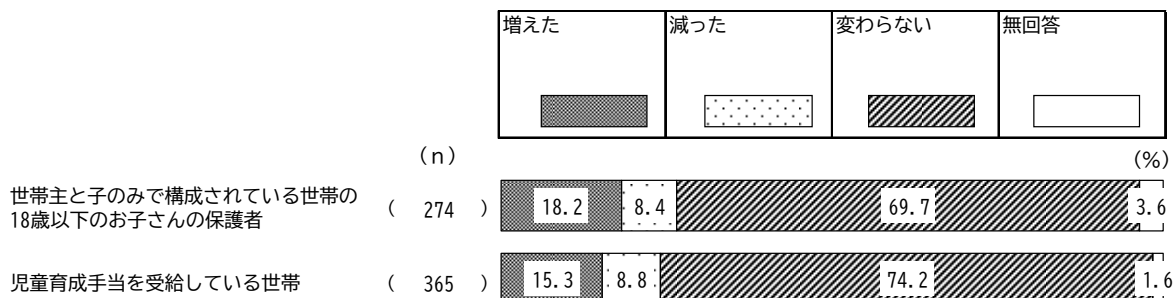


■お子さんと話をすること

お子さんと話をすることをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「増えた」が18.2%、「減った」が8.4%、「変わらない」が69.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「増えた」が15.3%、「減った」が8.8%、「変わらない」が74.2%となっている。

図表 5-131 お子さんと話をすること

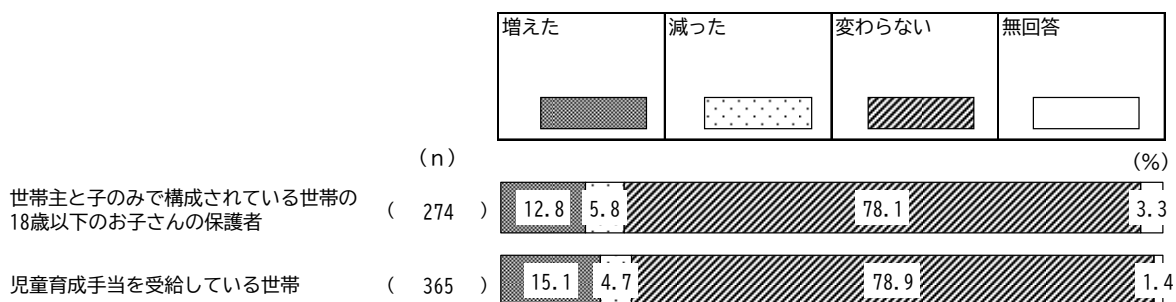


■家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

家庭内で言い争ったり、もめごとが起こることをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「増えた」が12.8%、「減った」が5.8%、「変わらない」が78.1%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「増えた」が15.1%、「減った」が4.7%、「変わらない」が78.9%となっている。

図表 5-132 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

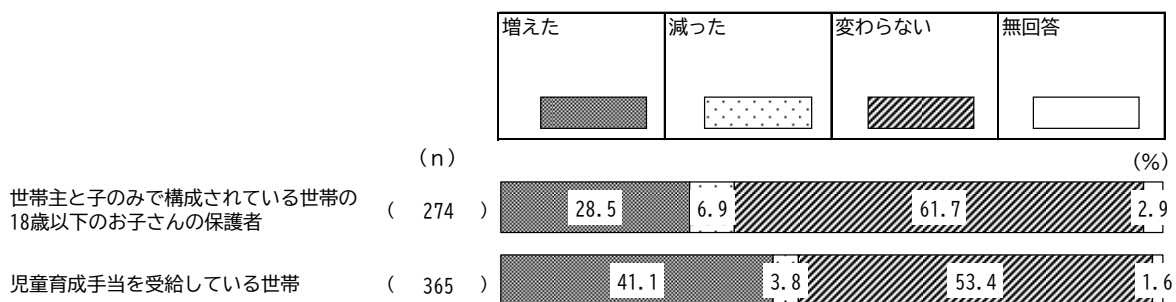


■あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むことをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「増えた」が28.5%、「減った」が6.9%、「変わらない」が61.7%となっている。

児童育成手当を受給している世帯は、「増えた」が41.1%、「減った」が3.8%、「変わらない」が53.4%となっている。

図表 5-133 あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと



⑤ 世帯の収入源

問 51 あなたの世帯全体の収入に該当するものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

世帯の収入源をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「あなたの勤労収入」が86.9%と最も高く、次いで「児童手当」が39.8%、「子どもの父または母からの養育費」が20.1%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「あなたの勤労収入」が90.7%と最も高く、次いで「児童手当」が76.2%、「児童扶養手当」が64.7%と続いている。

図表 5-134 世帯の収入源（複数回答）

	n	あなたの勤労収入	子どもの勤労収入	その他の世帯員の勤労収入	子どもの父または母からの養育費	親・親族からの援助	遺族基礎年金・厚生年金
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	274 100.0	238 86.9	2 0.7	45 16.4	55 20.1	26 9.5	16 5.8
児童育成手当を受給している世帯	365 100.0	331 90.7	9 2.5	34 9.3	79 21.6	26 7.1	28 7.7

	生活保護費	児童扶養手当	児童手当	母子福祉資金借入金	子どもに対する奨学金	その他	無回答
世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者	6 2.2	44 16.1	109 39.8	1 0.4	2 0.7	10 3.6	7 2.6
児童育成手当を受給している世帯	16 4.4	236 64.7	278 76.2	3 0.8	17 4.7	19 5.2	4 1.1

⑥ 回答者・世帯全体の年収

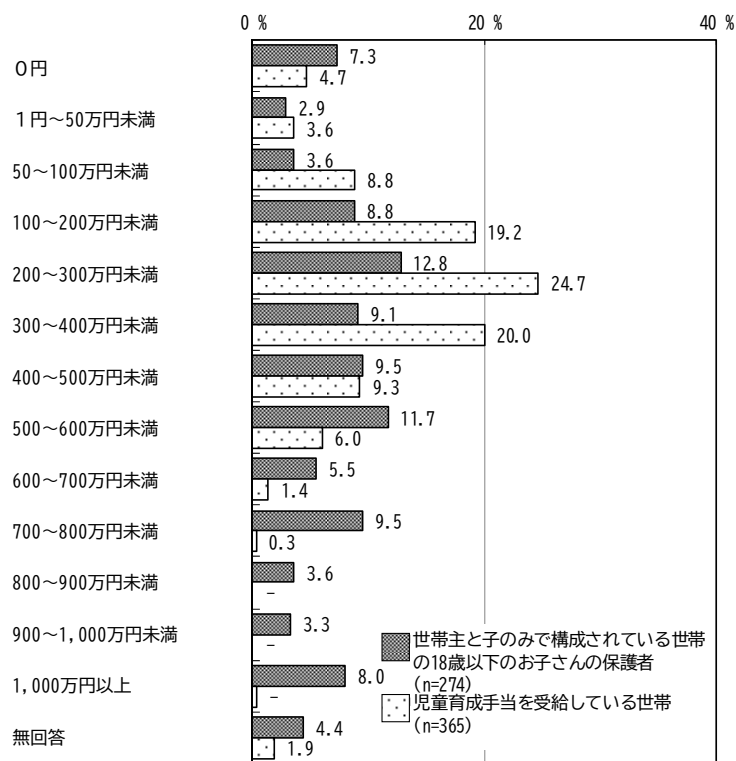
問 52 あなたの年収と同居世帯全体の年収はいくらですか。

■回答者の年収

回答者の年収をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「200～300万円未満」が12.8%と最も高く、次いで「500～600万円未満」が11.7%、「400～500万円未満」「700～800万円未満」がともに9.5%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「200～300万円未満」が24.7%と最も高く、次いで「300～400万円未満」が20.0%、「100～200万円未満」が19.2%と続いている。

図表 5-135 回答者の年収

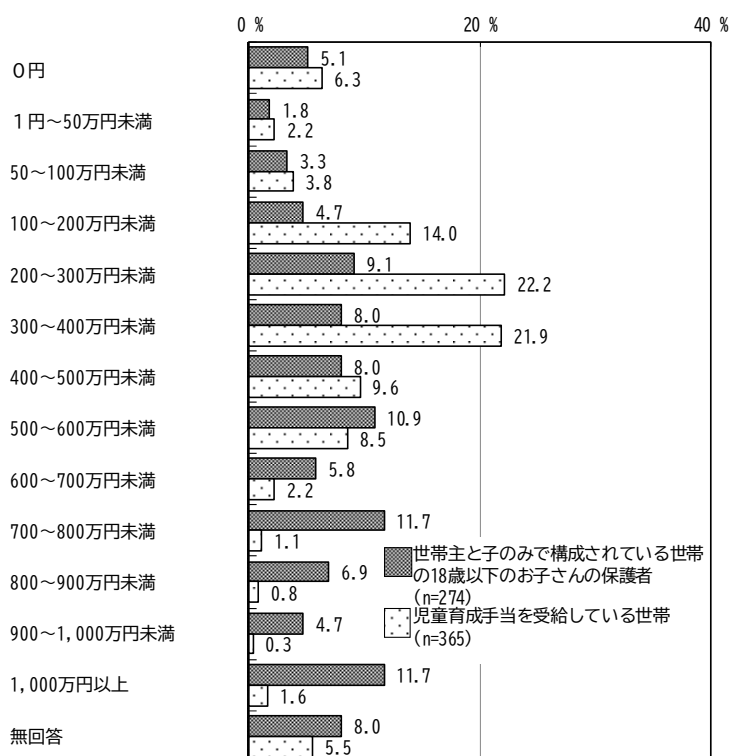


■世帯全体の年収

世帯全体の年収をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「700～800万円未満」「1,000万円以上」がともに11.7%と最も高く、次いで「500～600万円未満」が10.9%と続いている。

児童育成手当を受給している世帯は、「200～300万円未満」が22.2%と最も高く、次いで「300～400万円未満」が21.9%、「100～200万円未満」が14.0%と続いている。

図表 5-136 世帯全体の年収



(12)自由意見:世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者

問 53 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

① 経済的支援(生活困窮含む)(43件)

- ・所得制限の緩和。所得制限により区からもらえる手当が減って生活がより苦しくなる。ひとり親の為の手当てによる手続きの案内や開示をもっと分かりやすくしてほしい。
- ・子ども教育費の助成制度をもっと充実してほしいです。
- ・日本は教育にお金がかかりすぎます。未来のために公的支援を増やすべきだと思います。特に不登校の子が通える施設の費用補助等を望みます。
- ・物価高騰が厳しいので、OKストアやサミットなど利用者が多いと思われるスーパーにてひとり親が値引きを受けられるサービスなどがあったら助かります。
- ・年収が高ければひとり親として認められず(税金や補助金の優遇が受けられない)非常に不公平感がある。

- ・家賃、高熱費の減額の制度がほしい。

② 保育園・幼稚園等(就学前教育含む)(13件)

- ・北区は保育園などになかなか入れないという旨を他の区の方から聞いた事がある為、大変だと感じております。北区にも、突然でも子どもを預けられるような託児所があると良いと感じます。
- ・ひとり親は仕事のことを考えると延長保育の充実している保育園を選ばなければいけないこともありますが保育園ではなく幼稚園で教育したいと考える人も私を含めていると思います。幼稚園では早朝、夕方、夜間の預かりには時間が限られていて思うように就労できません。子ども園という形でもいいのでそういう施設を増やしてほしいです。ヘルパーさん等ではなく慣れている所にいられることが親子共に安心してお願いできます。
- ・子どもの多い地区に保育園が増えるとよいです。(駒込付近)

③ 子育て環境(安心・安全)(13件)

- ・子ども施設の充実、公園の整備、駅前や人が多い所、赤ちゃんや子どもが使う所の清掃をしっかりして安心・安全に使えるようにしていただきたいです。
- ・学校から1人での帰り道、犯罪(性犯罪)に巻き込まれないかとても心配しています。現在中学生ですが、冬の夕方暗い時は必ず迎えに行くようにしています。自宅に下着泥棒が入ったこともあり、見回りの強化をお願いしたいです。
- ・北区には遊び場が無くて困る(ショッピングモールなどにあるような遊び場のこと)。雨の日に遊べる所を作ってほしい。

④ 就学後の放課後の過ごし方(8件)

- ・学童クラブが4年生以上も使用できるようにしてほしいです。特に兄弟がいない一人っ子は一人になってしまう時間が出来てしまう。
- ・学童を保育園と同じくらいの利用時間にしてほしい(～20時までなど)。

⑤ 各種保育サービス(7件)

- ・親が息抜きをしたい時に子どもを預けられる場所が、土日祝問わず夜間でもあれば助かります。仕事以外での理由でも安全な預け先があるとストレスなく子育てができると思います。
- ・父親(夫婦、ひとり親に限らず)が参加しやすい、または父親のみの育児イベントがもっと増えてほしい。

⑥ 小学校等(教育含む)(6件)

- ・乳幼児期、北区の保育園が充実していて大変助かりました。保育園から小学校への移行のギャップ解消や小中学校以降の教育についても、力を入れていって下さることを期待します。小学校の算数の段階別教育はとても良いと思っています。

- ・支援学校、支援学級を増やしてほしい。

⑦ ひとり親支援(6件)

- ・ひとり親になったことで、子どもに対して厳しく怒ってしまった時、何かのきっかけで子どもが泣いてしまった時に、児童相談所に通報されないかと、怖く感じてしまいます。そのようなこともあり、区の相談窓口へ相談することをためらっている状況です。秘匿性を確保していただけるとありがたいです。
- ・ひとり親になり、休みの日でも美容室にも行く事が難しくなりました。保育園で、仕事以外で預かる事をしてもらえず、親も近くにはいない為、ファミリーサポート等利用を考えましたが、料金がかかる為利用をあきらめている日々です。ひとり親のリフレッシュが手軽にできる方法を教えていただきたいです。

⑧ 相談・情報提供(6件)

- ・私達が北区に転居して1年未満ということもあり、色々な制度やサービスを知らなかったし、知る機会がありませんでした。前に住んでいた区では妊娠して母子手帳を受けとった時に制度について説明を受けました。北区でもそうなのだろうと思いますが、途中から転居してくるとそのタイミングがないように思います。以前の区では数か月に1、2度子育てサポートとして電話がきていました。そこで色々相談することができました。サービスを利用しに行く形ですと、時間がなかったり親の性格的に行きにくかったりと思うので、電話でもしてくれるとありがたいなと思います。
- ・様々な制度・事業があっても、自分から求めないと利用できない。各種の届出をもとに該当しそうな世帯にはさらに積極的に情報発信をしてほしいと思う。

⑨ 地域における子育て支援(6件)

- ・コロナ前は気軽に外出して気分転換を図れたが、なかなかそれが難しくなってしまった。そのため、電話相談やインターネットのつながりが強いパイプになることがあるのでは。リアルに集まったり対面できなくても話したり、やりとりをする手段を誰もがができる社会になってほしい。
- ・青少年地区委員会の活動に今年から参加していますが、地域との大人達の交流は、見守りにもつながる活動だと思うので継続したい。

(13)自由意見:児童育成手当を受給している世帯

① 経済的支援(生活困窮含む)(59件)

- ・私(母)本人が病気になった時に申請できる支援などはあるが、息子の病院や息子が病気で仕事を休まないといけなくなった時の支援や保障があると良いです。収入が減り、生活が苦しくなる一方です。
- ・子育て給付金制度を是非増やしてほしい。特に低所得とひとり親家庭のため。

- ・児童扶養手当を受け取れる収入額を上げてほしい。収入を少しでも上げようと資格を取って収入を増やせても手当がもらえなくなると余裕はないままです。共働きの家庭と格差なく子どもを育てたい。
- ・都営や区営住宅に入りやすくしてほしい。家賃負担が大きく、子育てが不安になる。
- ・高3の息子はやりたい事があり、私立高校に入学しましたが、入学金、制服購入、授業料等4期に渡って支払いがあり、コロナ給付金などの支援があって乗り切ってきた。大学入試と下の子の高等学校入試が重なり、どうにもならず福祉資金貸付を申し込みしましたが、あっさり断られました。コロナで収入も減り、子どもを大学まで行かせるには資金がなく悩んでいます。
- ・出産一時金の増額

② ひとり親支援(13件)

- ・我が家は、母親のみのひとり親家庭となります。幸いなことに安定した仕事もあり、収入面での不安はありません。それでも子どもが病気になったら、私自身が病気になったら助けてもらえる制度が思いあたりません。1日や2日なら頑張れば私自身でもなんとかなるのかもしれないませんが緊急で困った時に助けてもらえる（寄り添ってもらえる）場所がほしいです。
- ・ひとり親世帯という言葉がなくなるような社会制度を望みます。変革は期待できませんが、少しでも希望のもてるようスピードを上げて施策を進めて実現させて下さい。よろしく願います。
- ・二人の子どもの子育てをずっとしてきて思うのは、子どもが小さいうちは手がかかるので、母親以外にも少し手助けをしてくれる人が必要だったという事と、子どもが成長するにつれ、お金がかかるので少しでも助成や補助があると助かるという事です。ただシングルマザーとして一番大変だったのは、子どものしつけや心のケア等目の見えないことで、日々悩んでいます。これが一番自分にとって重く、ストレスに感じています。折りにふれて、相談できるところがあったらと思います。

③ 小学校等(教育含む)(11件)

- ・高等学校まで義務化。義務教育をインクルーシブ教育へと変えてほしい。制服や教育の中で必要な教材のリニューアル。卒業旅行費などを教育費内で行ってほしい。子どもへのより良い教育を区で考え見直す。
- ・高校卒業後の進路について経済状況に関係なく、本人の希望や学力で好きな道を選びやすい仕組みになってくれたら良いと思います。

④ 就労・介護等(8件)

- ・出産時の親の高齢化がある中で、高齢者の就職が難しく、特に学費支払いが必要な時に本当に困ってしまう。また36協定によるみなし残業制度により残業するのがあたりまえになっている中で子どもの育児は本当に問題が多く、残業をしないのがあたりまえの社会にしないと（残業代が高額ならば少なくなる）少子化は止まらないと思います。また失業していて、申請しても却下され健康保険料をとられるので、その点も改善してほしい。

- ・母子家庭のため、就職先を探す事がとても大変と感じる。ハローワークで探すのには限界があり、どうにかならないものかと思う。現在フルタイムで働いているが、やっと就業出来たものの任期付きの採用のため、常に就業の不安がつきまとう。子どもの病気、通院のために仕事を休む事が多いため、フォローしてもらえる社会であってほしいと願います。

⑤ 子育て環境(安心・安全)(8件)

- ・子どもにも、女性にもやさしい社会になるといいです。外出する度に歩きタバコをしている人を本当によく見かけます。私自身に呼吸器疾患があるため、受動喫煙はとても不快で迷惑ですし、子どもへの影響もよくないため、外を出歩くのが少しストレスになっています。公園にもタバコのポイ捨てがみられ、子どもが触って危ないと感じています。街全体もモラルが上がるといいです。
- ・元々北区に住んでいましたが、結婚を機に川口市に転居しました。その際は気にしていませんでしたが、夫の死去にともない再度北区に引越手続きをしたら、北区役所の皆様がとても親切にして下さり、「子育てするなら北区が1番」とうたっている通りだと改めて感じました。年配の方が多いイメージの北区ですが、交通の便の良さ、物価の安さなど子育て世代にありがたい面を強くアピールして、町としての若返りにつながると良いなと思っています。

⑥ 自己実現・学びの場(7件)

- ・子どもの習い事について費用を助成してもらいたい。定期的に無料で体験会みたいなことをしてほしい。区のプールが少ないのもっと増やしてほしい。
- ・学習に力を入れられる、塾に通わなくても同程度の学力が保たれるような学習内容を学校がしてほしい。

⑦ 障害児等特に配慮が必要な子どもへの支援(7件)

- ・現在子どもは埼玉県グループホームに入所しておりますが、北区でも障害のある方が安心して生活できる場が増えると良いと思います。
- ・障害児（発達障害・ADHDなど）の教室を作ってほしい。支援級は知的で自閉症の教室はあるがそこにはいけないグレーゾーンとよばれる子たちの居場所がないと感じている。小学校、中学校で取り入れてほしい。

6. 小学6年生・中学2年生・高校2年生世代

※設問番号、設問文は主として中学2年生の内容を記載

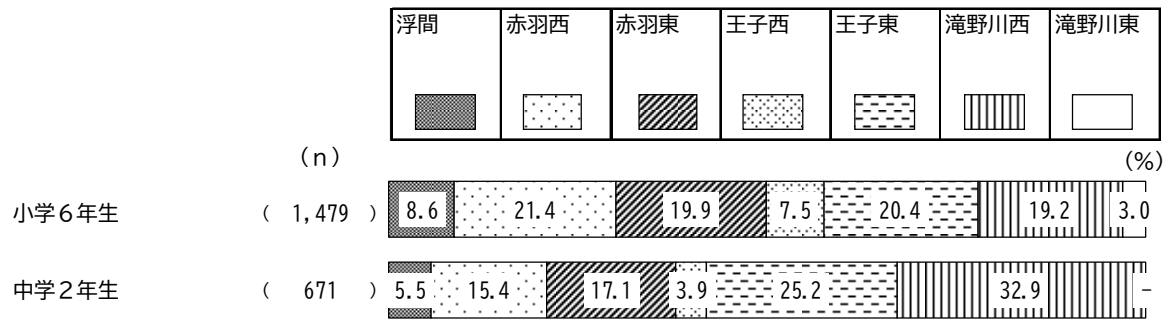
(1) 本人、家族について

① 居住地区

居住地区をみると、小学6年生は、「赤羽西」が21.4%と最も高く、次いで「王子東」が20.4%、「赤羽東」が19.9%となっている。

中学2年生は、「滝野川西」が32.9%と最も高く、次いで「王子東」が25.2%、「赤羽東」が17.1%となっている。

図表 6-1 居住地区



※高校2年生世代には設問なし

② 性別

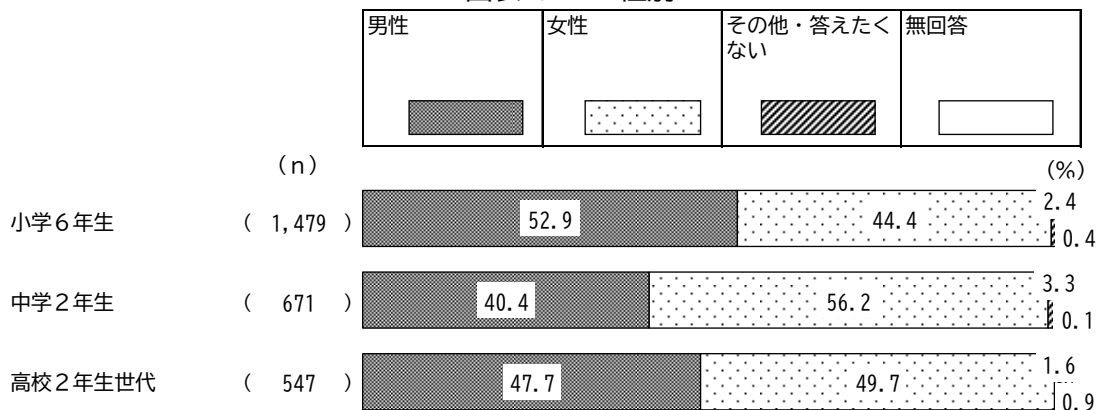
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別をみると、小学6年生は、「男性」が52.9%、「女性」が44.4%となっている。

中学2年生は、「男性」が40.4%、「女性」が56.2%となっている。

高校2年生世代は、「男性」が47.7%、「女性」が49.7%となっている。

図表 6-2 性別



③ 現在一緒に住んでいる人

問2 あなたが現在一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

現在一緒に住んでいる人をみると、小学6年生は、「母親」が97.8%と最も高く、次いで「父親」が88.8%、「弟」が25.1%と続いている。

中学2年生は、「母親」が97.8%と最も高く、次いで「父親」が84.5%、「姉」が29.2%と続いている。

高校2年生世代は、「母親」が98.0%と最も高く、次いで「父親」が82.6%、「兄」が24.1%と続いている。

図表 6-3 現在一緒に住んでいる人（複数回答）

	n	母親	父親	祖母	祖父	兄	姉	弟	妹	その他の人	自分一人 <高校生>	無回答
小学6年生	1,479 100.0	1,447 97.8	1,314 88.8	161 10.9	111 7.5	366 24.7	315 21.3	371 25.1	369 24.9	39 2.6	-	13 0.9
中学2年生	671 100.0	656 97.8	567 84.5	81 12.1	44 6.6	163 24.3	196 29.2	164 24.4	176 26.2	23 3.4	-	4 0.6
高校2年生世代	547 100.0	536 98.0	452 82.6	60 11.0	27 4.9	132 24.1	113 20.7	93 17.0	93 17.0	9 1.6	0	2 0.4

④ 働いている家族

問3 働いている家族は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

働いている家族をみると、小学6年生は、「父親」が91.8%と最も高く、次いで「母親」が80.4%、「祖母・祖父」が9.5%と続いている。

中学2年生は、「父親」が88.4%と最も高く、次いで「母親」が81.7%、「兄・姉」が14.2%と続いている。

高校2年生世代は、「父親」が85.4%と最も高く、次いで「母親」が79.7%、「兄・姉」が12.1%と続いている。

図表 6-4 働いている家族（複数回答）

	n	母親	父親	祖母・祖父	兄・姉	その他の人	いない	無回答
小学6年生	1,479 100.0	1,189 80.4	1,358 91.8	140 9.5	95 6.4	27 1.8	6 0.4	13 0.9
中学2年生	671 100.0	548 81.7	593 88.4	43 6.4	95 14.2	17 2.5	6 0.9	6 0.9
高校2年生世代	547 100.0	436 79.7	467 85.4	18 3.3	66 12.1	6 1.1	6 1.1	2 0.4

⑤ 健康状態

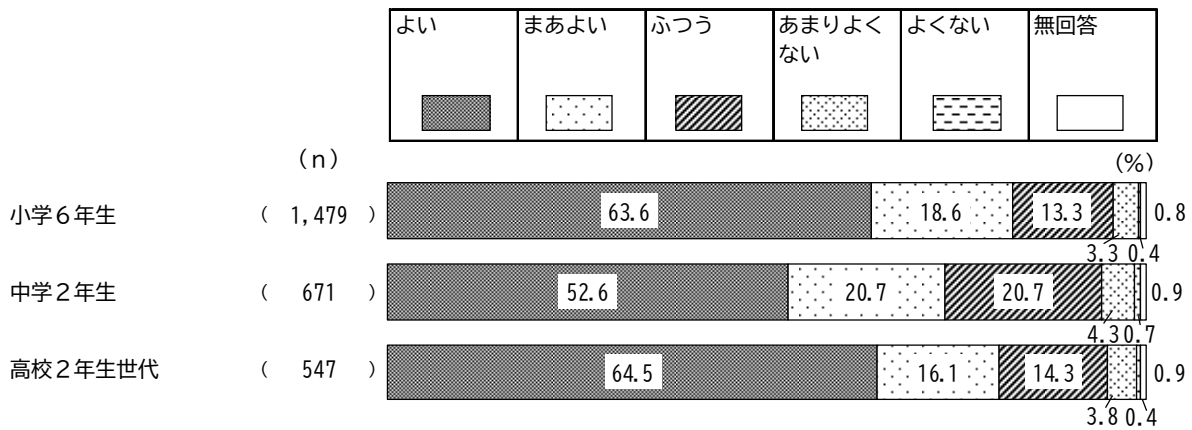
問4 あなたの健康状態について教えてください。(1つに○)

健康状態をみると、小学6年生は、「よい」が63.6%と最も高く、次いで「まあよい」が18.6%、「ふつう」が13.3%となっている。

中学2年生は、「よい」が52.6%と最も高く、次いで「まあよい」「ふつう」がともに20.7%、「あまりよくない」が4.3%となっている。

高校2年生世代は、「よい」が64.5%と最も高く、次いで「まあよい」が16.1%、「ふつう」が14.3%となっている。

図表 6-5 健康状態



(2)勉強や部活動について

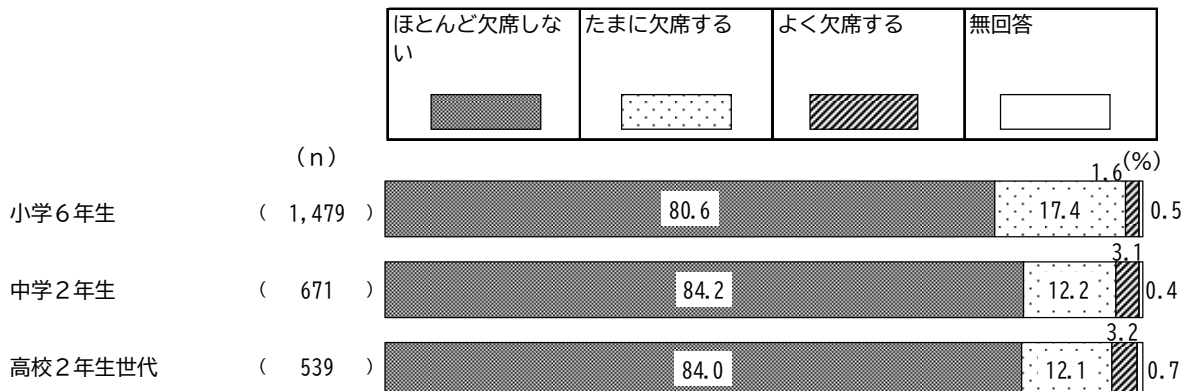
① 学校の欠席、遅刻や早退

問5 あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。
(①欠席について、②遅刻や早退について、それぞれ1つに○)

■欠席について

欠席についてをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「ほとんど欠席しない」が最も高く、順に80.6%、84.2%、84.0%となっている。

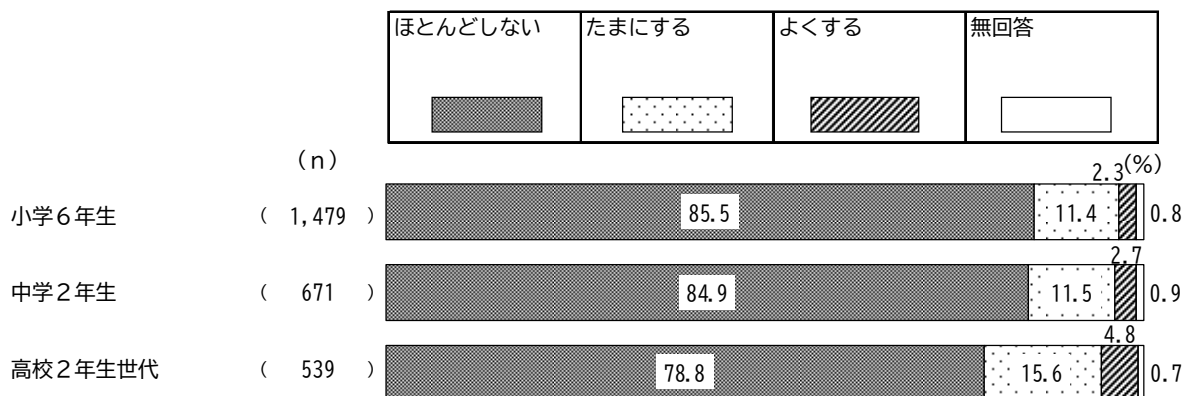
図表 6-6 欠席について



■遅刻や早退について

遅刻や早退についてをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「ほとんどしない」が最も高く、順に85.5%、84.9%、78.8%となっている。

図表 6-7 遅刻や早退について



② 学校の授業以外の勉強

問6 あなたは、普段学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
(あてはまるものすべてに○) ※勉強には学校の宿題も含まれます。

学校の授業以外の勉強をみると、小学6年生は、「自分で勉強する」が79.0%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が52.5%、「家の人に教えてもらう」が50.2%と続いている。

中学2年生は、「自分で勉強する」が72.6%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が57.2%、「家の人に教えてもらう」が28.6%と続いている。

高校2年生世代は、「自分で勉強する」が75.7%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が35.3%、「友人と勉強する」が26.3%と続いている。

図表 6-8 学校の授業以外の勉強（複数回答）

	n	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友人と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
小学6年生	1,479	1,169 79.0	777 52.5	58 3.9	50 3.4	17 1.1	742 50.2	365 24.7	88 6.0	50 3.4	8 0.5
中学2年生	671	487 72.6	384 57.2	18 2.7	11 1.6	17 2.5	192 28.6	171 25.5	10 1.5	36 5.4	8 1.2
高校2年生世代	539	408 75.7	190 35.3	58 10.8	15 2.8	0 -	47 8.7	142 26.3	16 3.0	67 12.4	2 0.4

③ 学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしているか

問7 あなたは、普段学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 (①学校がある日(月～金曜日)、②学校がない日(土・日曜日・祝日)、それぞれ1つに○) ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。

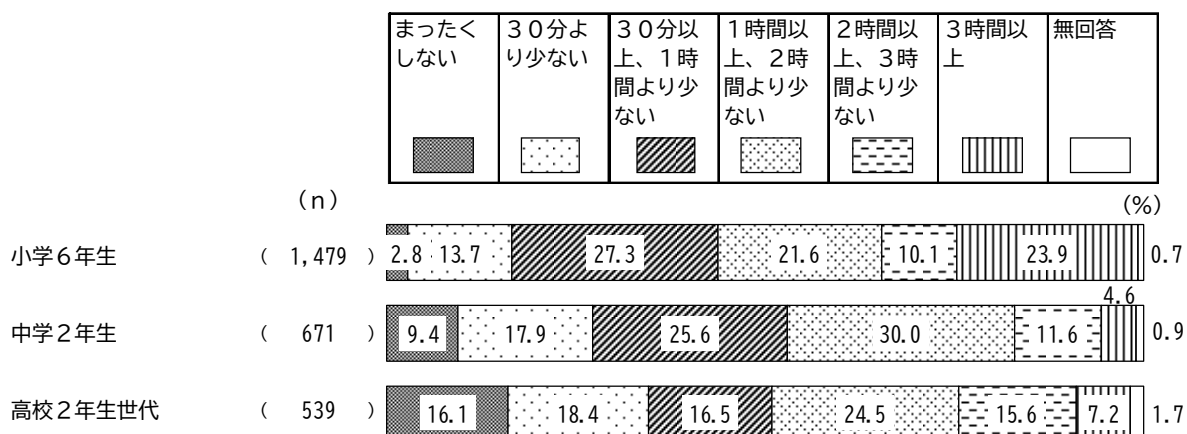
■学校がある日(月～金曜日)

学校がある日を見ると、小学6年生は、「30分以上、1時間より少ない」が27.3%と最も高く、次いで「3時間以上」が23.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が21.6%となっている。

中学2年生は、「1時間以上、2時間より少ない」が30.0%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が25.6%、「30分より少ない」が17.9%となっている。

高校2年生世代は、「1時間以上、2時間より少ない」が24.5%と最も高く、次いで「30分より少ない」が18.4%、「30分以上、1時間より少ない」が16.5%となっている。

図表 6-9 学校がある日(月～金曜日)



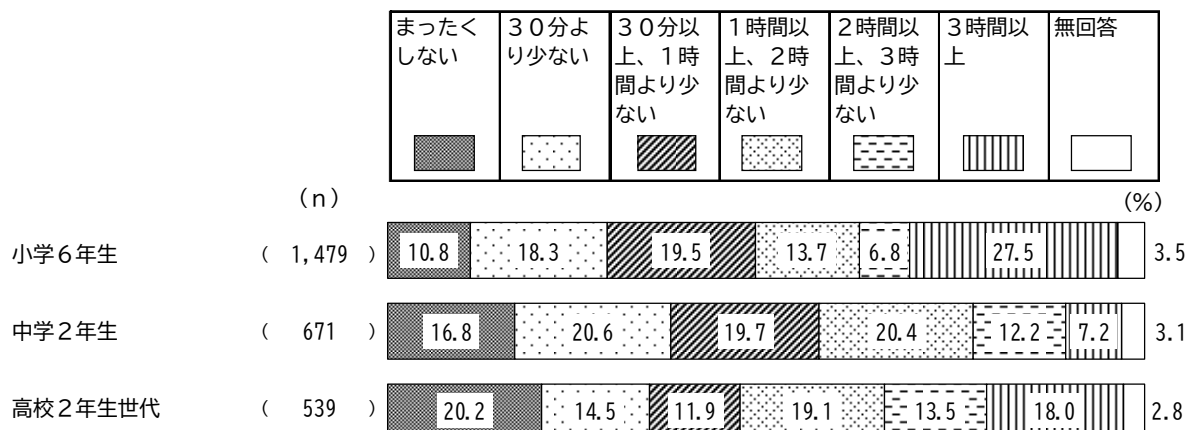
■学校がない日(土・日曜日・祝日)

学校がない日を見ると、小学6年生は、「3時間以上」が27.5%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が19.5%、「30分より少ない」が18.3%となっている。

中学2年生は、「30分より少ない」が20.6%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が20.4%、「30分以上、1時間より少ない」が19.7%となっている。

高校2年生世代は、「まったくしない」が20.2%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が19.1%、「3時間以上」が18.0%となっている。

図表 6-10 学校がない日(土・日曜日・祝日)



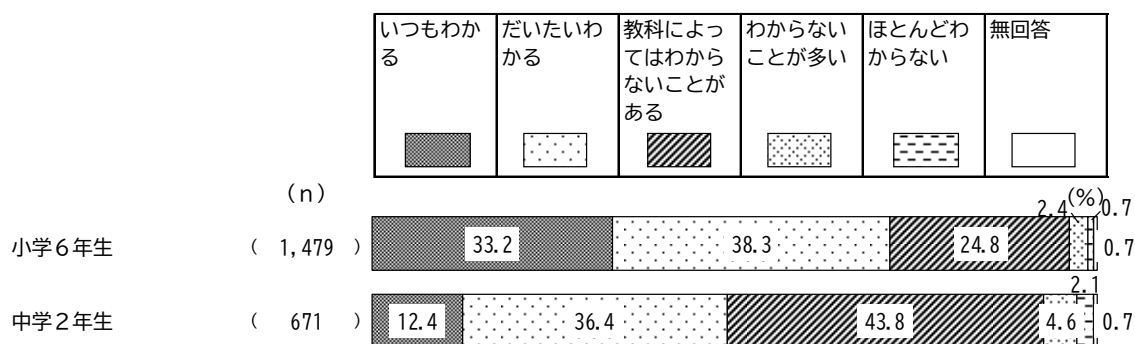
④ 学校の授業がわからないことの有無

問8 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

学校の授業がわからないことの有無をみると、小学6年生は、「だいたいわかる」が38.3%と最も高く、次いで「いつもわかる」が33.2%、「教科によってはわからないことがある」が24.8%となっている。

中学2年生は、「教科によってはわからないことがある」が43.8%と最も高く、次いで「だいたいわかる」が36.4%、「いつもわかる」が12.4%となっている。

図表 6-11 学校の授業がわからないことの有無



※高校2年生世代には設問なし

⑤ 授業がわからなくなった時期

【問8-1は、問8で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします】
問8-1 いつごろから、授業がわからないことがありますようになりましたか。(1つに○)

授業がわからなくなった時期をみると、小学6年生は、「5年生のころ」が31.8%と最も高く、次いで「6年生になってから」が30.3%、「4年生のころ」が21.1%となっている。

中学2年生は、「中学1年生のころ」が44.0%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」が23.3%、「小学5・6年生のころ」が18.9%となっている。

図表 6-12 授業がわからなくなった時期



※高校2年生世代には設問なし

⑥ 普段の学校生活であてはまること

問9 普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

普段の学校生活であてはまることをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「特にない」が最も高く、順に56.0%、45.9%、54.5%となっている。

「特にない」を除くと、小学6年生は、「持ち物の忘れ物が多い」が25.6%と最も高く、次いで「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が19.8%、「宿題や課題ができていないことが多い」が13.3%と続いている。

中学2年生は、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が24.4%と最も高く、次いで「宿題や課題ができていないことが多い」が21.6%、「持ち物の忘れ物が多い」が20.1%と続いている。

高校2年生世代は、「授業中に居眠りすることが多い」が21.5%と最も高く、次いで「宿題や課題ができていないことが多い」「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」がともに11.9%と続いている。

図表 6-13 普段の学校生活であてはまること（複数回答）

	n	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
小学6年生	1,479 100.0	73 4.9	196 13.3	378 25.6	30 2.0	293 19.8	25 1.7	21 1.4	90 6.1	74 5.0	828 56.0	45 3.0
中学2年生	671 100.0	119 17.7	145 21.6	135 20.1	67 10.0	164 24.4	11 1.6	13 1.9	50 7.5	52 7.7	308 45.9	22 3.3
高校2年生世代	539 100.0	116 21.5	64 11.9	59 10.9	23 4.3	64 11.9	8 1.5	5 0.9	39 7.2	43 8.0	294 54.5	23 4.3

⑦ 進路希望

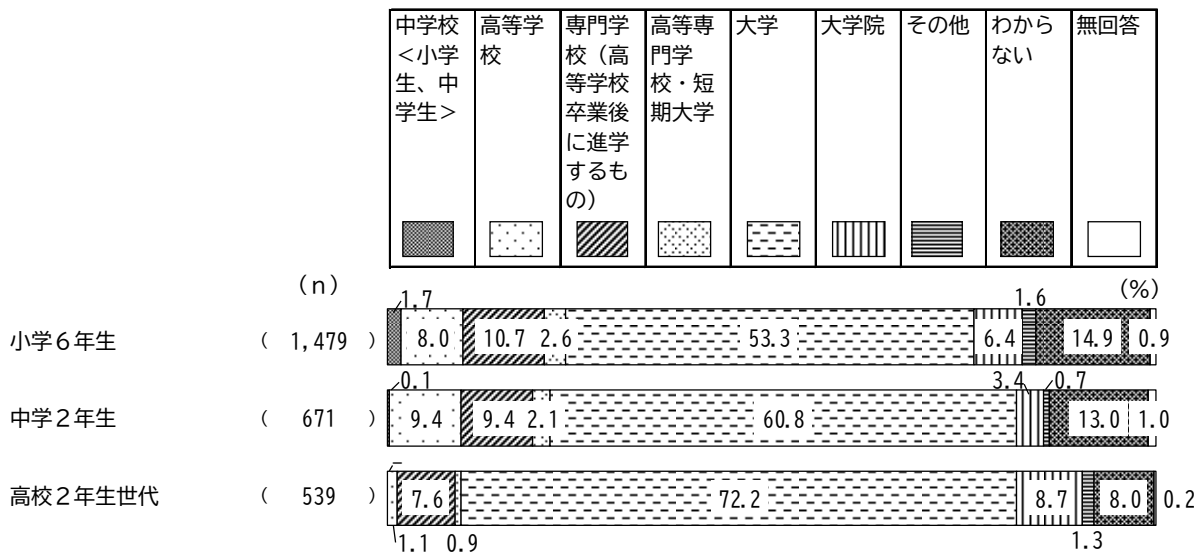
問 10 あなたは、希望として、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(1つに○)

進路希望をみると、小学6年生は、「大学」が53.3%と最も高く、次いで「わからない」が14.9%、「専門学校（高等学校卒業後に進学するもの）」が10.7%となっている。

中学2年生は、「大学」が60.8%と最も高く、次いで「わからない」が13.0%、「高等学校」「専門学校（高等学校卒業後に進学するもの）」がともに9.4%となっている。

高校2年生世代は、「大学」が72.2%と最も高く、次いで「大学院」が8.7%、「わからない」が8.0%となっている。

図表 6-14 進路希望



⑧ 希望する進路の理由

【問 10-1 は、問 10 で「1. 中学校」から「7. その他」のいずれかに答えた人にお聞きします】
問 10-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

希望する進路の理由をみると、小学6年生は、「希望する学校や職業があるから」が55.3%と最も高く、次いで「特に理由はない」が17.8%、「親がそう言っているから」が15.1%と続いている。

中学2年生は、「希望する学校や職業があるから」が49.9%と最も高く、次いで「特に理由はない」が22.0%、「親がそう言っているから」が20.1%と続いている。

高校2年生世代は、「希望する学校や職業があるから」が62.8%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が10.6%、「親がそう言っているから」が10.4%と続いている。

図表 6-15 希望する進路の理由 (複数回答)

	n	合計	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友人がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない	無回答
小学6年生	1,245	1,618	689	185	188	44	33	18	44	145	222	50
	100.0	130.0	55.3	14.9	15.1	3.5	2.7	1.4	3.5	11.6	17.8	4.0
中学2年生	577	780	288	64	116	61	27	14	15	43	127	25
	100.0	135.2	49.9	11.1	20.1	10.6	4.7	2.4	2.6	7.5	22.0	4.3
高校2年生世代	538	684	338	57	56	31	52	9	5	32	48	56
	100.0	127.1	62.8	10.6	10.4	5.8	9.7	1.7	0.9	5.9	8.9	10.4

⑨ 習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動への参加

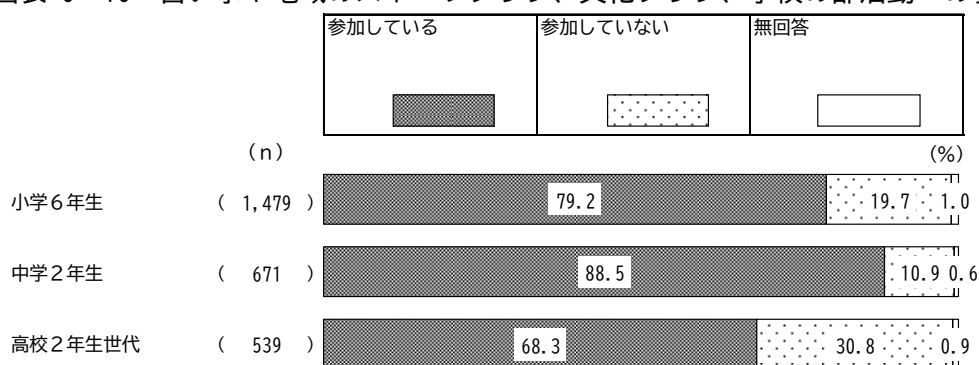
問 11 あなたは、習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(1つに○)

習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動への参加をみると、小学6年生は、「参加している」が79.2%、「参加していない」が19.7%となっている。

中学2年生は、「参加している」が88.5%、「参加していない」が10.9%となっている。

高校2年生世代は、「参加している」が68.3%、「参加していない」が30.8%となっている。

図表 6-16 習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動への参加



(3)放課後の過ごし方

① 放課後に誰と過ごすことが多いか

問 12 放課後に、誰と過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

放課後に誰と過ごすことが多いかをみると、小学6年生は、「家族(祖父母、親戚など含む)」が65.6%と最も高く、次いで「学校の友人」が55.5%、「きょうだい」が38.8%と続いている。

中学2年生は、「家族(祖父母、親戚など含む)」が63.8%と最も高く、次いで「学校の友人」が53.8%、「きょうだい」が33.1%と続いている。

高校2年生世代は、「学校の友人」が66.0%と最も高く、次いで「家族(祖父母、親戚など含む)」が55.5%、「一人である」が28.8%と続いている。

図表 6-17 放課後に誰と過ごすことが多いか(複数回答)

	n	家族(祖父母、親戚など含む)	家族以外の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など)	学校の友人	学校以外の友人(地域のスポーツクラブ、近所の友人など)	きょうだい	一人である	その他	無回答
小学6年生	1,479 100.0	970 65.6	284 19.2	821 55.5	256 17.3	574 38.8	390 26.4	55 3.7	8 0.5
中学2年生	671 100.0	428 63.8	71 10.6	361 53.8	64 9.5	222 33.1	187 27.9	14 2.1	8 1.2
高校2年生世代	539 100.0	299 55.5	44 8.2	356 66.0	50 9.3	78 14.5	155 28.8	15 2.8	1 0.2

② 放課後にどこで過ごすことが多いか

問 13 放課後に、どこで過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

放課後にどこで過ごすことが多いかをみると、小学6年生は、「自分の家」が88.6%と最も高く、次いで「塾や習い事」が46.5%、「公園」が34.0%と続いている。

中学2年生は、「自分の家」が90.5%と最も高く、次いで「部活動など学校の課外活動」が52.6%、「塾や習い事」が36.2%と続いている。

高校2年生世代は、「自分の家」が81.8%と最も高く、次いで「部活動など学校の課外活動」が50.6%、「塾や習い事」が24.7%と続いている。

図表 6-18 放課後にどこで過ごすことが多いか (複数回答)

	n	自分の家	友人の家	塾や習い事	学校・校庭開放<小学生>	部活動など学校の課外活動<中学生、高校生>	わくわく☆ひろば(一般登録・学童クラブ登録)<小学生>	図書館やティーンズセンターなどの公共施設<中学生、高校生>	公園	ボランティアが運営する学習支援教室や子ども食堂<小学生、中学生>	喫茶店・カラオケボックスなどの商業施設<高校生>	その他	無回答
小学6年生	1,479 100.0	1,311 88.6	223 15.1	687 46.5	19 1.3	-	90 6.1	-	503 34.0	6 0.4	-	63 4.3	15 1.0
中学2年生	671 100.0	607 90.5	41 6.1	243 36.2	-	353 52.6	-	30 4.5	69 10.3	2 0.3	-	15 2.2	7 1.0
高校2年生世代	539 100.0	441 81.8	17 3.2	133 24.7	-	273 50.6	-	26 4.8	25 4.6	-	87 16.1	24 4.5	0 -

③ 平日に学校以外の場所で次のことをどれくらいしているか

問 14 あなたは、平日に学校以外の場所で次のことをどれくらいしていますか。
 (①テレビやビデオ・DVD・インターネット動画を見ること、②コンピューターゲーム、③塾など自宅以外での勉強、④自宅での勉強、⑤習い事、⑥アルバイト、のそれぞれについて、1つに○)

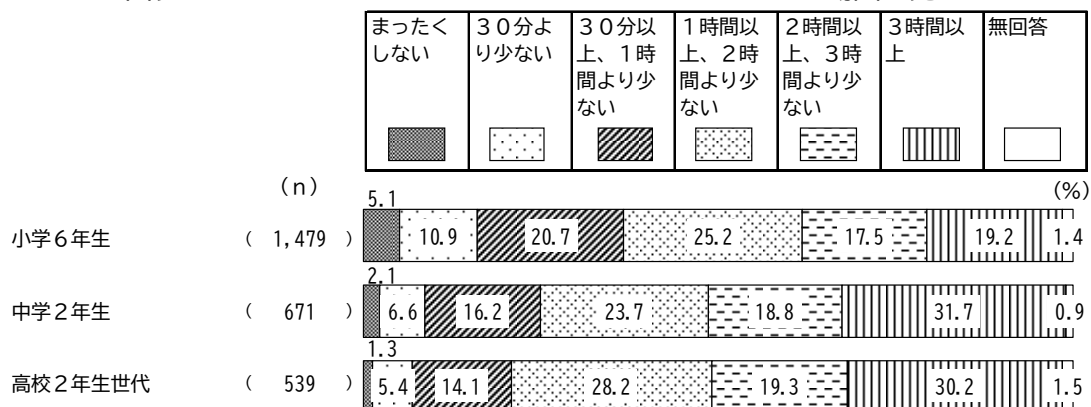
■テレビやビデオ・DVD・インターネット動画を見ること

テレビやビデオ・DVD・インターネット動画を見ることをみると、小学6年生は、「1時間以上、2時間より少ない」が25.2%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.7%、「3時間以上」が19.2%となっている。

中学2年生は、「3時間以上」が31.7%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.7%、「2時間以上、3時間より少ない」が18.8%となっている。

高校2年生世代は、「3時間以上」が30.2%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が28.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が19.3%となっている。

図表 6-19 テレビやビデオ・DVD・インターネット動画を見ること



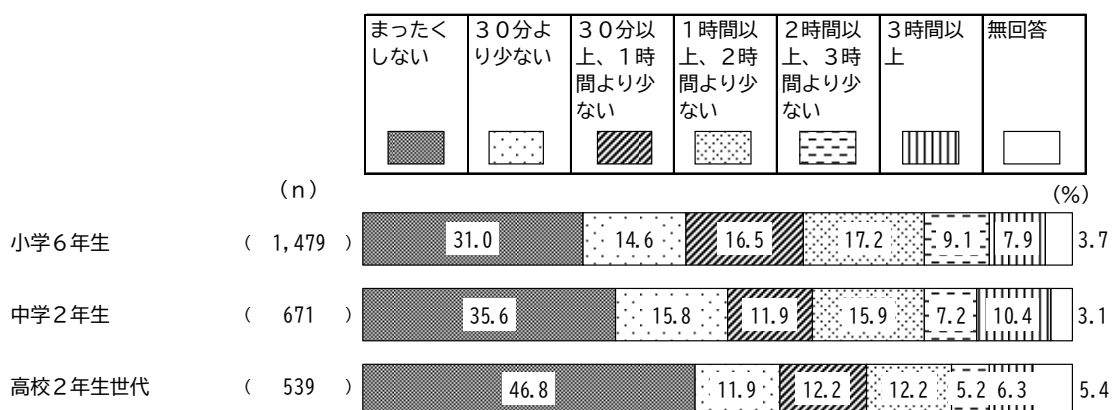
■コンピューターゲーム

コンピューターゲームをみると、小学6年生は、「まったくしない」が31.0%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が17.2%、「30分以上、1時間より少ない」が16.5%となっている。

中学2年生は、「まったくしない」が35.6%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が15.9%、「30分より少ない」が15.8%となっている。

高校2年生世代は、「まったくしない」が46.8%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」がともに12.2%となっている。

図表 6-20 コンピューターゲーム



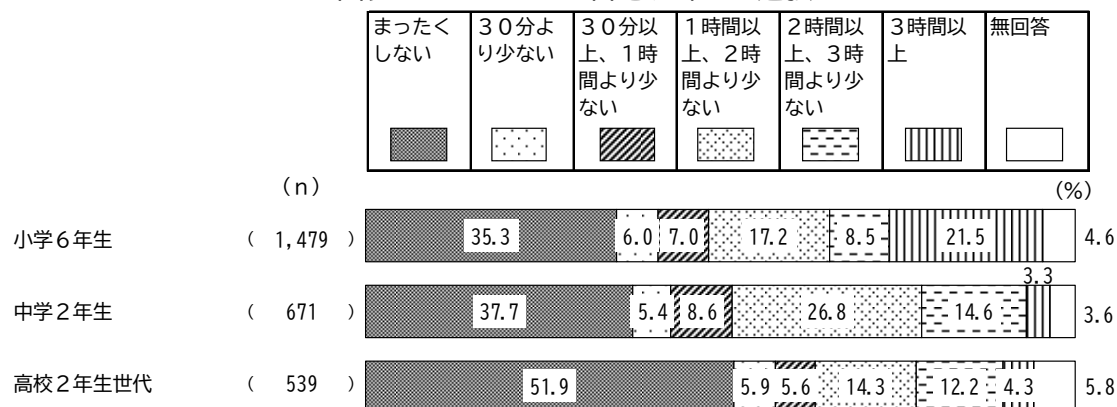
■塾など自宅以外での勉強

塾など自宅以外での勉強をみると、小学6年生は、「まったくしない」が35.3%と最も高く、次いで「3時間以上」が21.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が17.2%となっている。

中学2年生は、「まったくしない」が37.7%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が26.8%、「2時間以上、3時間より少ない」が14.6%となっている。

高校2年生世代は、「まったくしない」が51.9%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が14.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が12.2%となっている。

図表 6-21 塾など自宅以外での勉強



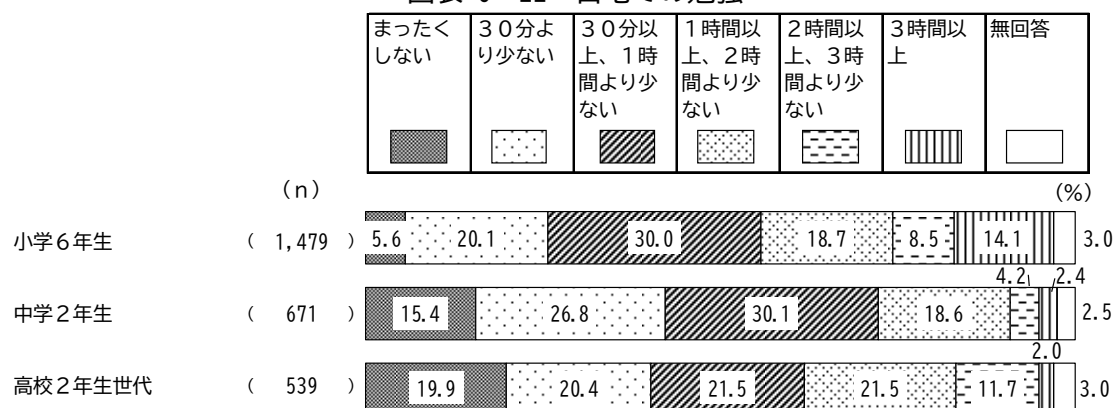
■自宅での勉強

自宅での勉強をみると、小学6年生は、「30分以上、1時間より少ない」が30.0%と最も高く、次いで「30分より少ない」が20.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.7%となっている。

中学2年生は、「30分以上、1時間より少ない」が30.1%と最も高く、次いで「30分より少ない」が26.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.6%となっている。

高校2年生世代は、「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」がともに21.5%と最も高く、次いで「30分より少ない」が20.4%となっている。

図表 6-22 自宅での勉強



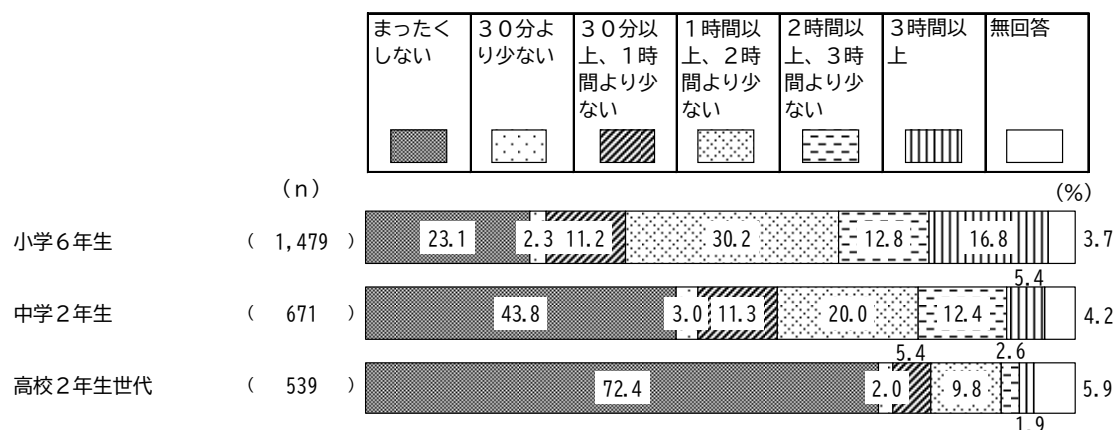
■習い事

習い事をみると、小学6年生は、「1時間以上、2時間より少ない」が30.2%と最も高く、次いで「まったくしない」が23.1%、「3時間以上」が16.8%となっている。

中学2年生は、「まったくしない」が43.8%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が20.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が12.4%となっている。

高校2年生世代は、「まったくしない」が72.4%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が9.8%、「30分以上、1時間より少ない」が5.4%となっている。

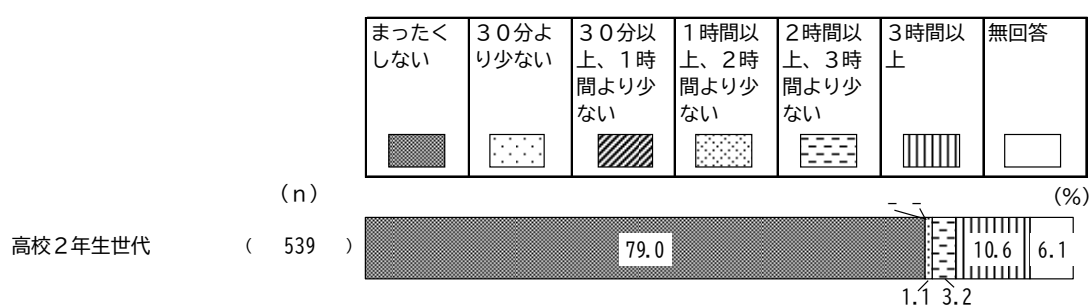
図表 6-23 習い事



■アルバイト

アルバイトをみると、高校2年生世代は、「まったくしない」が79.0%と最も高く、次いで「3時間以上」が10.6%、「2時間以上、3時間より少ない」が3.2%となっている。

図表 6-24 アルバイト



※小学6年生、中学2年生には設問なし

(4) 普段の生活について

① 普段、家族としてしていることの頻度

問 15 あなたは、普段次のようなことをどれくらいしていますか。
 (①家族といろいろな話をする、②家の手伝いをする、③家族そろって食事をする、④
 家族に勉強を教えてもらう、のそれぞれについて、1つに○)

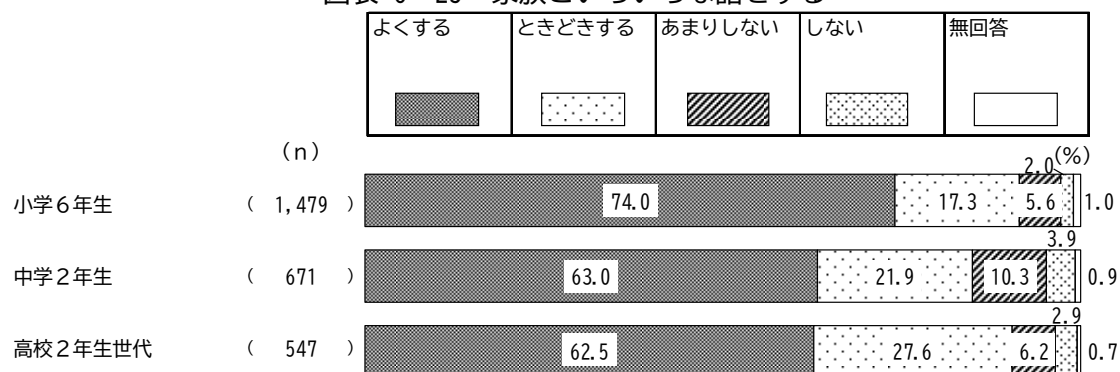
■家族といろいろな話をする

家族といろいろな話をするかどうかをみると、小学6年生は、「よくする」が74.0%と最も高く、次いで「ときどきする」が17.3%、「あまりしない」が5.6%となっている。

中学2年生は、「よくする」が63.0%と最も高く、次いで「ときどきする」が21.9%、「あまりしない」が10.3%となっている。

高校2年生世代は、「よくする」が62.5%と最も高く、次いで「ときどきする」が27.6%、「あまりしない」が6.2%となっている。

図表 6-25 家族といろいろな話をする



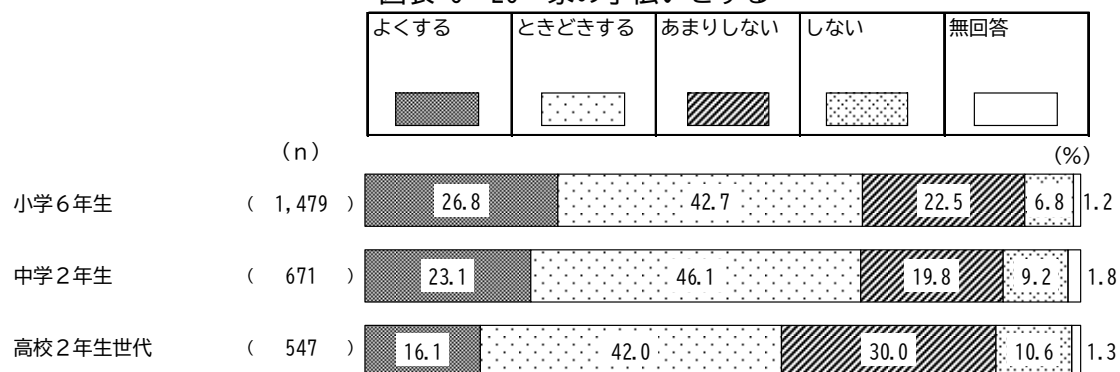
■家の手伝いをする

家の手伝いをするかどうかをみると、小学6年生は、「ときどきする」が42.7%と最も高く、次いで「よくする」が26.8%、「あまりしない」が22.5%となっている。

中学2年生は、「ときどきする」が46.1%と最も高く、次いで「よくする」が23.1%、「あまりしない」が19.8%となっている。

高校2年生世代は、「ときどきする」が42.0%と最も高く、次いで「あまりしない」が30.0%、「よくする」が16.1%となっている。

図表 6-26 家の手伝いをする



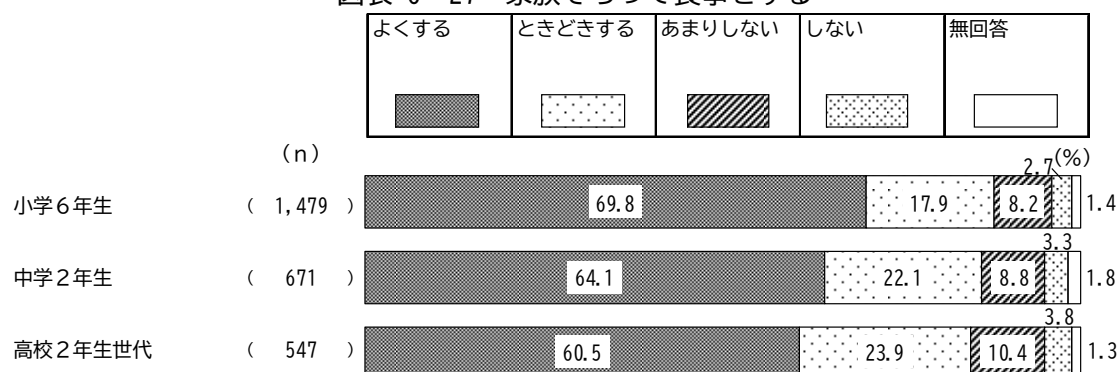
■家族そろって食事をする

家族そろって食事をするかどうかをみると、小学6年生は、「よくする」が69.8%と最も高く、次いで「ときどきする」が17.9%、「あまりしない」が8.2%となっている。

中学2年生は、「よくする」が64.1%と最も高く、次いで「ときどきする」が22.1%、「あまりしない」が8.8%となっている。

高校2年生世代は、「よくする」が60.5%と最も高く、次いで「ときどきする」が23.9%、「あまりしない」が10.4%となっている。

図表 6-27 家族そろって食事をする



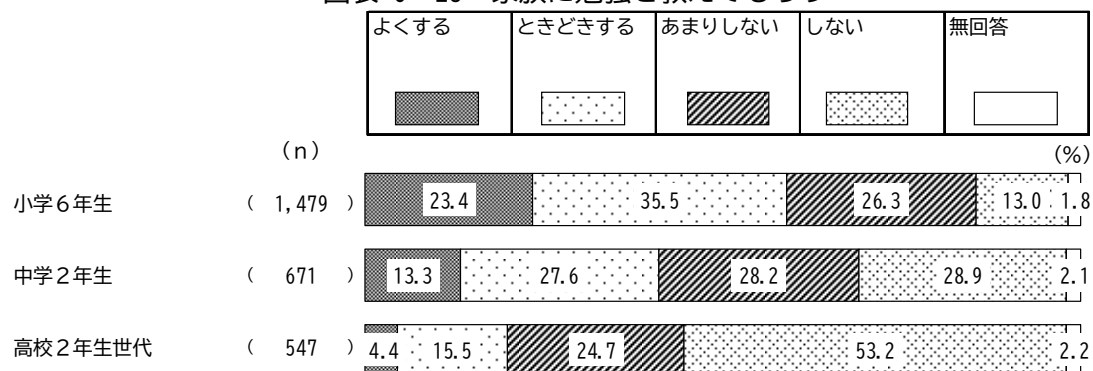
■家族に勉強を教えてもらう

家族に勉強を教えてもらうかどうかをみると、小学6年生は、「ときどきする」が35.5%と最も高く、次いで「あまりしない」が26.3%、「よくする」が23.4%となっている。

中学2年生は、「しない」が28.9%と最も高く、次いで「あまりしない」が28.2%、「ときどきする」が27.6%となっている。

高校2年生世代は、「しない」が53.2%と最も高く、次いで「あまりしない」が24.7%、「ときどきする」が15.5%となっている。

図表 6-28 家族に勉強を教えてもらう



② 1週当たりの食事の頻度

問 16 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
 (①朝食、②夕食、③夏休みや冬休みなどの期間の昼食、のそれぞれについて、1つに○)

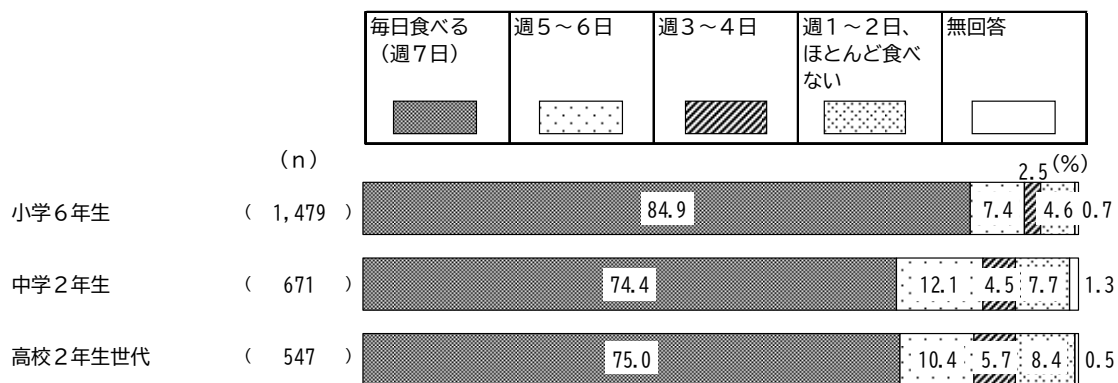
■朝食

朝食をみると、小学6年生は、「毎日食べる（週7日）」が84.9%と最も高く、次いで「週5～6日」が7.4%、「週1～2日、ほとんど食べない」が4.6%となっている。

中学2年生は、「毎日食べる（週7日）」が74.4%と最も高く、次いで「週5～6日」が12.1%、「週1～2日、ほとんど食べない」が7.7%となっている。

高校2年生世代は、「毎日食べる（週7日）」が75.0%と最も高く、次いで「週5～6日」が10.4%、「週1～2日、ほとんど食べない」が8.4%となっている。

図表 6-29 朝食



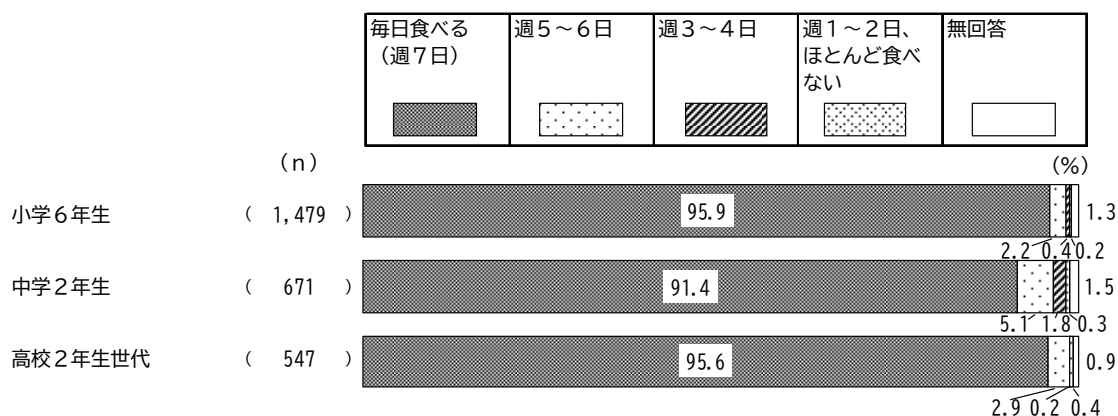
■夕食

夕食をみると、小学6年生は、「毎日食べる（週7日）」が95.9%と最も高く、次いで「週5～6日」が2.2%、「週3～4日」が0.4%となっている。

中学2年生は、「毎日食べる（週7日）」が91.4%と最も高く、次いで「週5～6日」が5.1%、「週3～4日」が1.8%となっている。

高校2年生世代は、「毎日食べる（週7日）」が95.6%と最も高く、次いで「週5～6日」が2.9%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.4%となっている。

図表 6-30 夕食



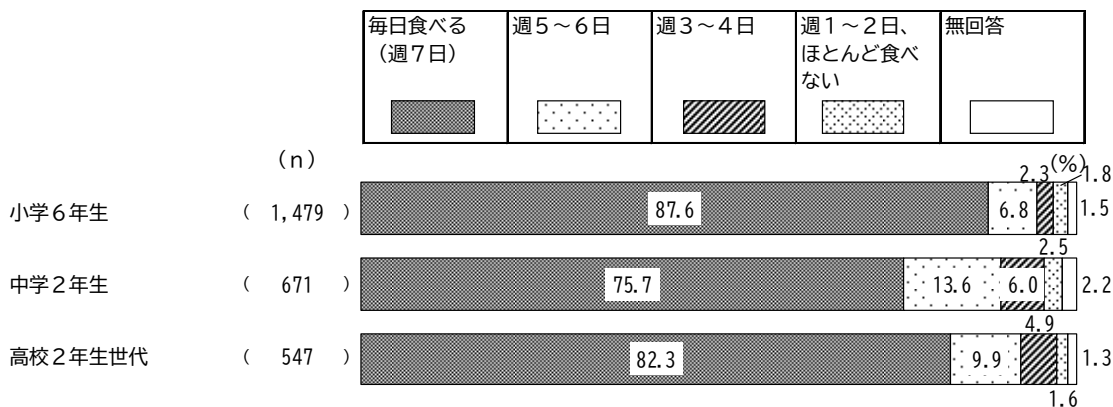
■夏休みや冬休みなどの期間の昼食

夏休みや冬休みなどの期間の昼食をみると、小学6年生は、「毎日食べる（週7日）」が87.6%と最も高く、次いで「週5～6日」が6.8%、「週3～4日」が2.3%となっている。

中学2年生は、「毎日食べる（週7日）」が75.7%と最も高く、次いで「週5～6日」が13.6%、「週3～4日」が6.0%となっている。

高校2年生世代は、「毎日食べる（週7日）」が82.3%と最も高く、次いで「週5～6日」が9.9%、「週3～4日」が4.9%となっている。

図表 6-31 夏休みや冬休みなどの期間の昼食



③ 普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ているか

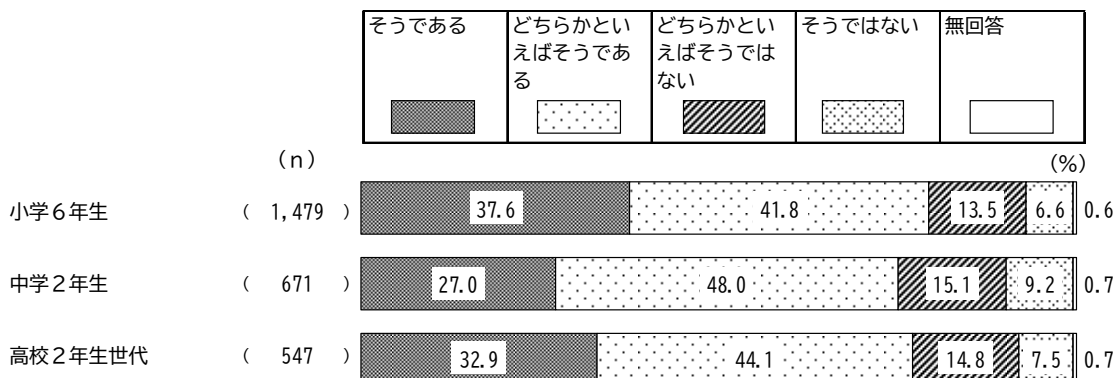
問 17 あなたは、普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(1つに○)

普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ているかをみると、小学6年生は、「どちらかといえばそうである」が41.8%と最も高く、次いで「そうである」が37.6%、「どちらかといえばそうではない」が13.5%となっている。

中学2年生は、「どちらかといえばそうである」が48.0%と最も高く、次いで「そうである」が27.0%、「どちらかといえばそうではない」が15.1%となっている。

高校2年生世代は、「どちらかといえばそうである」が44.1%と最も高く、次いで「そうである」が32.9%、「どちらかといえばそうではない」が14.8%となっている。

図表 6-32 普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ているか



④ 悩み・困りごと

問18 現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

悩み・困りごとをみると、小学6年生は、「特にない」が45.0%と最も高く、次いで「自分自身のこと（容姿や性格）」が29.5%、「友人との関係のこと」が19.4%と続いている。

中学2年生は、「進路のこと」が48.3%と最も高く、次いで「学業成績のこと」が47.8%、「自分自身のこと（容姿や性格）」が35.5%と続いている。

高校2年生世代は、「進路のこと」が55.6%と最も高く、次いで「学業成績のこと」が40.4%、「自分自身のこと（容姿や性格）」が30.0%と続いている。

図表 6-33 悩み・困りごと（複数回答）

	n	自分自身のこと (容姿や性格)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと<中学生、高校生>	部活動のこと<中学生、高校生>	家庭の経済的状況のこと	自分が自由に使うことができるお金が少ない<中学生、高校生>
小学6年生	1,479	436 100.0	287 100.0	273 100.0	-	-	109 100.0	-
中学2年生	671	238 100.0	207 100.0	321 100.0	324 100.0	167 100.0	42 100.0	58 100.0
高校2年生世代	547	164 100.0	95 100.0	221 100.0	304 100.0	74 100.0	39 100.0	53 100.0

	塾（通信含む）や習い事ができない	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど)<中学生、高校生>	病気や障がいのある家族のこと<中学生、高校生>	自分のために使える時間が少ない	その他	特にない	無回答
小学6年生	222 100.0	148 100.0	-	-	113 100.0	118 100.0	666 100.0	31 100.0
中学2年生	16 100.0	45 100.0	40 100.0	10 100.0	37 100.0	29 100.0	174 100.0	14 100.0
高校2年生世代	9 100.0	30 100.0	21 100.0	15 100.0	27 100.0	17 100.0	144 100.0	6 100.0

⑤ 困りごとや悩みを相談できる人

問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

困りごとや悩みを相談できる人をみると、小学6年生は、「お母さん・お父さん」が70.6%と最も高く、次いで「学校の友人」が62.3%、「学校の先生」が32.0%と続いている。

中学2年生は、「学校の友人」が58.3%と最も高く、次いで「親」が57.1%、「きょうだい」が20.9%と続いている。

高校2年生世代は、「親」が70.0%と最も高く、次いで「学校の友人」が62.3%、「学校の先生」が23.9%と続いている。

図表 6-34 困りごとや悩みを相談できる人（複数回答）

	n	親（お母さん・お父さん）	きょうだい	祖父母	学校の先生	学校の友人	学校外の友人	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
小学6年生	1,479	1,044 70.6	372 25.2	248 16.8	474 32.0	921 62.3	262 17.7	182 12.3
中学2年生	671	383 57.1	140 20.9	41 6.1	121 18.0	391 58.3	106 15.8	60 8.9
高校2年生世代	547	383 70.0	104 19.0	36 6.6	131 23.9	341 62.3	127 23.2	18 3.3

	児童館やティーンズセンター（子どもセンター）の職員	（わくわく☆ひろばの職員）、塾・習い事の先生、地域の人など	ネットで知り合った人	その他	相談できる人はいない	誰にも相談できない、相談したくない	無回答
小学6年生	20 1.4	64 4.3	47 3.2	61 4.1	15 1.0	117 7.9	22 1.5
中学2年生	5 0.7	66 9.8	40 6.0	20 3.0	21 3.1	63 9.4	23 3.4
高校2年生世代	0 -	43 7.9	29 5.3	9 1.6	22 4.0	25 4.6	4 0.7

⑥ 生活の満足度

問 20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分満足している)の数字で教えてください。(1つに○)

生活の満足度をみると、小学6年生は、「10(十分満足している)」が28.1%と最も高く、次いで「8」が19.3%、「9」が13.3%となっている。(平均7.6)

中学2年生は、「8」が17.6%と最も高く、次いで「7」が17.4%、「10(十分満足している)」が15.2%となっている。(平均6.8)

高校2年生世代は、「8」が21.0%と最も高く、次いで「7」が17.9%、「10(十分満足している)」が15.2%となっている。(平均7.1)

図表 6-35 生活の満足度

	n	0 (まったく満足していない)	1	2	3	4	5
小学6年生	1,479 100.0	21 1.4	17 1.1	20 1.4	44 3.0	91 6.2	107 7.2
中学2年生	671 100.0	5 0.7	12 1.8	11 1.6	32 4.8	40 6.0	97 14.5
高校2年生世代	547 100.0	1 0.2	6 1.1	7 1.3	26 4.8	26 4.8	67 12.2

	6	7	8	9	10 (十分満足している)	無回答	平均
小学6年生	101 6.8	170 11.5	285 19.3	196 13.3	416 28.1	11 0.7	7.6
中学2年生	62 9.2	117 17.4	118 17.6	65 9.7	102 15.2	10 1.5	6.8
高校2年生世代	44 8.0	98 17.9	115 21.0	70 12.8	83 15.2	4 0.7	7.1

⑦ 居場所等の利用状況

問 21 次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(①～④のそれぞれについて、1つに○)

①(自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (わくわく☆ひろば、ティーンズセンター等)

②(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

③ボランティアが運営する勉強を無料でみてる場所

④(家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)

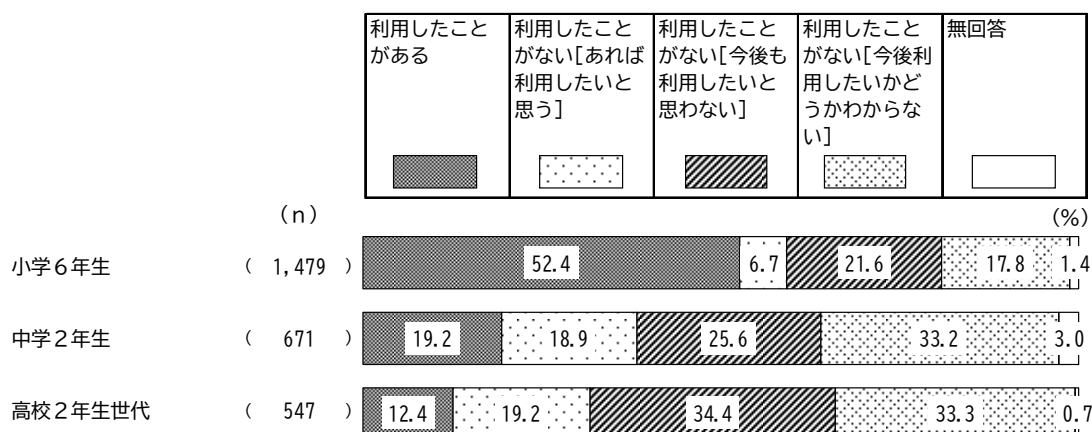
■平日の放課後や休日を過ごすことができる場所

平日の放課後や休日を過ごすことができる場所をみると、小学6年生は、「利用したことがある」が52.4%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が21.6%、「利用したことがない[今後利用したいかどうかわからない]」が17.8%となっている。

中学2年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうかわからない]」が33.2%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が25.6%、「利用したことがある」が19.2%となっている。

高校2年生世代は、「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が34.4%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後利用したいかどうかわからない]」が33.3%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が19.2%となっている。

図表 6-36 平日の放課後や休日を過ごすことができる場所



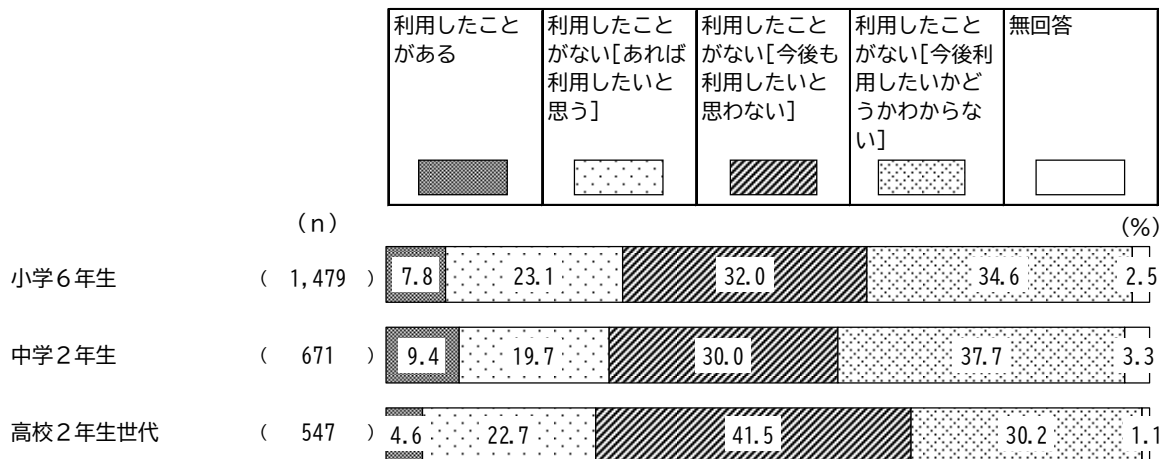
■タごはんを無料か安く食べることができる場所

タごはんを無料か安く食べることができる場所をみると、小学6年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうかわからない]」が34.6%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が32.0%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が23.1%となっている。

中学2年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうかわからない]」が37.7%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が30.0%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が19.7%となっている。

高校2年生世代は、「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が41.5%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後利用したいかどうかわからない]」が30.2%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が22.7%となっている。

図表 6-37 タごはんを無料か安く食べることができる場所



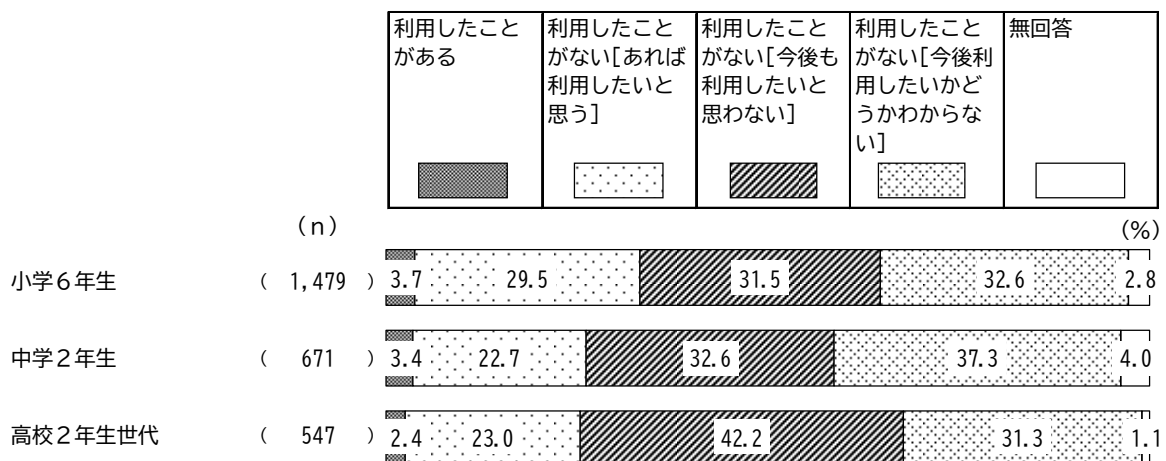
■ボランティアが運営する勉強を無料でみてくれる場所

ボランティアが運営する勉強を無料でみてくれる場所をみると、小学6年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうかかわからない]」が 32.6%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が 31.5%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が 29.5%となっている。

中学2年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうかかわからない]」が 37.3%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が 32.6%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が 22.7%となっている。

高校2年生世代は、「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が 42.2%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後利用したいかどうかかわからない]」が 31.3%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が 23.0%となっている。

図表 6-38 ボランティアが運営する勉強を無料でみてくれる場所



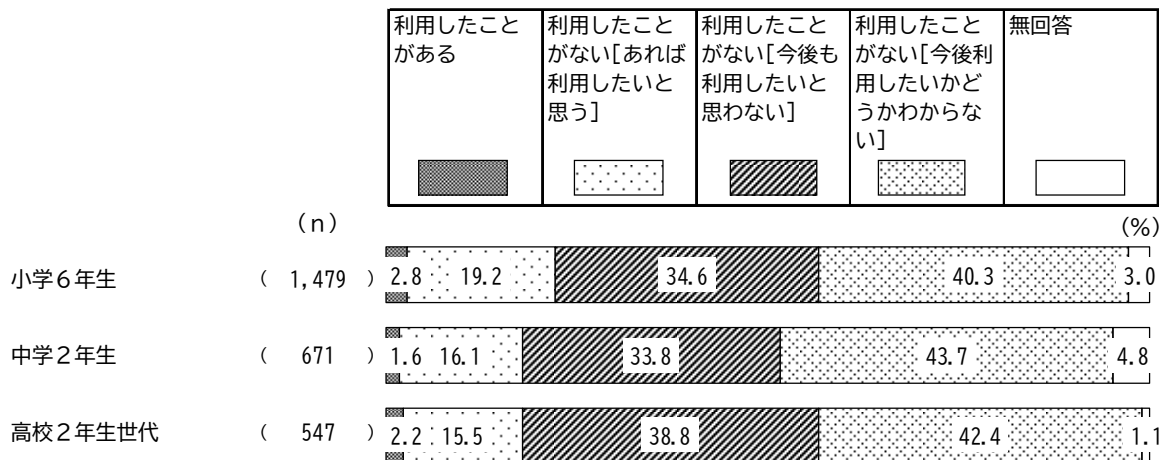
■何でも相談できる場所

何でも相談できる場所をみると、小学6年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうか分からない]」が40.3%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が34.6%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が19.2%となっている。

中学2年生は、「利用したことがない[今後利用したいかどうか分からない]」が43.7%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が33.8%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が16.1%となっている。

高校2年生世代は、「利用したことがない[今後利用したいかどうか分からない]」が42.4%と最も高く、次いで「利用したことがない[今後も利用したいと思わない]」が38.8%、「利用したことがない[あれば利用したいと思う]」が15.5%となっている。

図表 6-39 何でも相談できる場所



⑧ 相談場所の利用による変化

【問 21-1 は、問 21 で1つでも「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします】
 問 21-1 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

相談場所の利用による変化をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「特に変化はない」が最も高く、順に41.2%、45.9%、36.9%となっている。

「特に変化はない」を除くと、小学6年生は、「友人が増えた」が32.5%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が24.3%、「気軽に話せる大人が増えた」が20.8%と続いている。

中学2年生は、「友人が増えた」が22.7%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が16.6%、「気軽に話せる大人が増えた」が15.5%と続いている。

高校2年生世代は、「友人が増えた」が27.4%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が20.2%、「ほっとできる時間が増えた」が15.5%と続いている。

図表 6-40 相談場所の利用による変化（複数回答）

	n	友人が増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
小学6年生	828	269 100.0	172 100.0	201 100.0	140 100.0	34 100.0	81 100.0	86 100.0	22 100.0	341 100.0	33 100.0
		32.5	20.8	24.3	16.9	4.1	9.8	10.4	2.7	41.2	4.0
中学2年生	181	41 100.0	28 100.0	30 100.0	20 100.0	4 100.0	17 100.0	18 100.0	6 100.0	83 100.0	10 100.0
		22.7	15.5	16.6	11.0	2.2	9.4	9.9	3.3	45.9	5.5
高校2年生世代	84	23 100.0	12 100.0	17 100.0	13 100.0	1 100.0	3 100.0	4 100.0	3 100.0	31 100.0	4 100.0
		27.4	14.3	20.2	15.5	1.2	3.6	4.8	3.6	36.9	4.8

(5)お世話の状況

① 家族の中にあなたがお世話をしている人はいるか

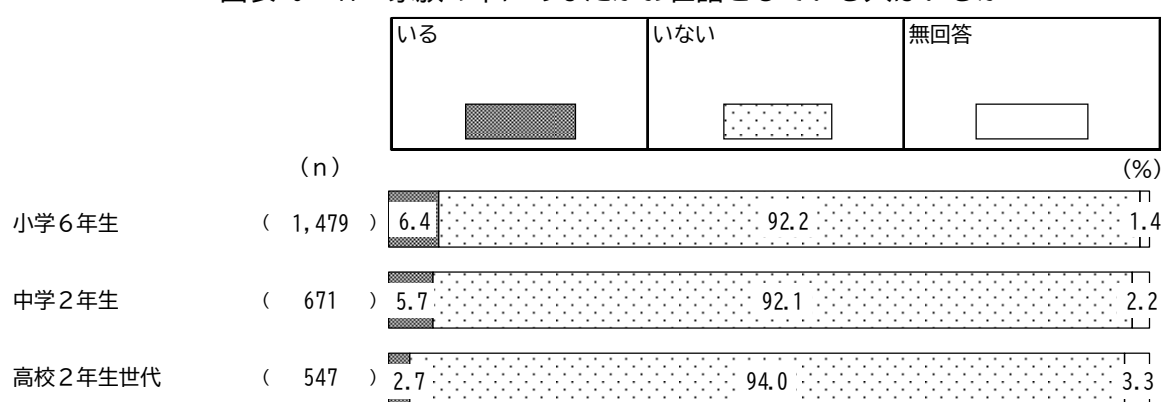
問 22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでの「お世話」とは、下図のように本来大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(1つに○)

家族の中にあなたがお世話をしている人はいるかをみると、小学6年生は、「いる」が6.4%、「いない」が92.2%となっている。

中学2年生は、「いる」が5.7%、「いない」が92.1%となっている。

高校2年生世代は、「いる」が2.7%、「いない」が94.0%となっている。

図表 6-41 家族の中にあなたがお世話をしている人はいるか



② お世話をしている人

【問 22-1 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】
問 22-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

お世話をしている人をみると、小学6年生は、「きょうだい」が54.7%と最も高く、次いで「母親」が29.5%、「父親」が24.2%と続いている。

中学2年生は、「きょうだい」が47.4%と最も高く、次いで「祖母」が23.7%、「母親」「父親」がともに13.2%と続いている。

高校2年生世代は、「きょうだい」が46.7%と最も高く、次いで「母親」「祖母」がともに20.0%と続いている。

図表 6-42 お世話をしている人 (複数回答)

	n	母親 (%)	父親 (%)	祖母 (%)	祖父 (%)	きょうだい (%)	その他 (%)	無回答 (%)
小学6年生	95	28	23	12	6	52	8	4
	100.0	29.5	24.2	12.6	6.3	54.7	8.4	4.2
中学2年生	38	5	5	9	3	18	3	4
	100.0	13.2	13.2	23.7	7.9	47.4	7.9	10.5
高校2年生世代	15	3	2	3	0	7	1	0
	100.0	20.0	13.3	20.0	-	46.7	6.7	-

③ お世話をしている母親、あるいは父親の状況

【問 22-2 は、問 22-1 で「1. 母親」あるいは「2. 父親」と答えた人にお聞きします】
 問 22-2 あなたがお世話をしている母親、あるいは父親はどのような状況ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

図表 6-43 お世話をしている母親、あるいは父親の状況 (複数回答)

	n	高齢 (65 歳以上)	介護 (食事や身の回りの世話) が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (うつ病など) ※疑い含む	依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む	こころの病気、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
小学 6 年生	34 100.0	1 2.9	1 2.9	0 -	0 -	0 -	1 2.9	1 2.9	0 -	8 23.5	8 23.5	14 41.2	2 5.9
中学 2 年生	7 100.0	1 14.3	1 14.3	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	3 42.9	0 -	3 42.9	1 14.3
高校 2 年生世代	5 100.0	1 20.0	0 -	0 -	2 40.0	1 20.0	0 -	0 -	0 -	1 20.0	0 -	0 -	1 20.0

④ お世話をしている祖母、あるいは祖父の状況

【問 22-3 は、問 22-1 で「3. 祖母」あるいは「4. 祖父」と答えた人にお聞きします】
 問 22-3 あなたがお世話をしている祖母、あるいは祖父はどのような状況ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

図表 6-44 お世話をしている祖母、あるいは祖父の状況 (複数回答)

	n	高齢 (65 歳以上)	介護 (食事や身の回りの世話) が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (うつ病など) ※疑い含む	依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む	こころの病気、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
小学 6 年生	12 100.0	9 75.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 -	0 -	1 8.3	0 -	3 25.0	2 16.7	1 8.3
中学 2 年生	10 100.0	8 80.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	0 -	0 -	0 -	1 10.0	0 -	1 10.0	0 -	1 10.0
高校 2 年生世代	3 100.0	3 100.0	0 -	2 66.7	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

⑤ お世話をしているきょうだいの状況

【問 22-4 は、問 22-1 で「5. きょうだい」と答えた人にお聞きします】
 問 22-4 あなたがお世話をしているきょうだいはどのような状況ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

図表 6-45 お世話をしているきょうだいの状況 (複数回答)

	n	幼い	介護 (食事や身の回りの世話) が必要	身体障がい	知的障がい	病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
小学 6 年生	52 100.0	32 61.5	2 3.8	3 5.8	5 9.6	3 5.8	3 5.8	9 17.3	6 11.5	1 1.9
中学 2 年生	18 100.0	12 66.7	1 5.6	1 5.6	2 11.1	1 5.6	1 5.6	1 5.6	3 16.7	0 -
高校 2 年生世代	7 100.0	5 71.4	0 -	0 -	2 28.6	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

⑥ お世話の内容

【問 23 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】

問 23 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

お世話の内容をみると、小学6年生は、「見守り」が48.4%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が37.9%、「話を聞く」が30.5%と続いている。

中学2年生は、「見守り」が52.6%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が34.2%、「きょうだいのお世話や送り迎え」が31.6%と続いている。

高校2年生世代は、「見守り」が26.7%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」「話を聞く」がともに20.0%と続いている。

図表 6-46 お世話の内容（複数回答）

	n	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいのお世話や送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩と一緒にいく	病院へ一緒にいく	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
小学6年生	95	36 100.0	15 37.9	20 15.8	21 21.1	4 4.2	29 30.5	46 48.4	8 8.4	1 1.1	3 3.2	10 10.5	9 9.5
中学2年生	38	13 100.0	12 34.2	5 31.6	8 13.2	1 2.6	7 18.4	20 52.6	3 7.9	0 -	3 7.9	4 10.5	2 5.3
高校2年生世代	15	3 100.0	2 20.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	0 -	4 26.7	1 6.7	0 -	1 6.7	2 13.3	6 40.0

⑦ 一緒にお世話をしている人

【問 24 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】

問 24 あなたは、お世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

一緒にお世話をしている人をみると、小学6年生は、「母親」が66.3%と最も高く、次いで「父親」が47.4%、「きょうだい」が32.6%となっている。

中学2年生は、「母親」が71.1%と最も高く、次いで「きょうだい」が50.0%、「父親」が42.1%となっている。

高校2年生世代は、「母親」が66.7%と最も高く、次いで「父親」が40.0%、「きょうだい」が26.7%となっている。

図表 6-47 一緒にお世話をしている人（複数回答）

	n	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
小学6年生	95	63 100.0	45 47.4	13 13.7	10 10.5	31 32.6	5 5.3	15 15.8	2 2.1	5 5.3	9 9.5
中学2年生	38	27 100.0	16 42.1	3 7.9	2 5.3	19 50.0	1 2.6	5 13.2	4 10.5	2 5.3	1 2.6
高校2年生世代	15	10 100.0	6 40.0	0 -	1 6.7	4 26.7	1 6.7	3 20.0	3 20.0	0 -	1 6.7

⑧ お世話を始めた年齢

【問 25 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】

問 25 あなたは何歳からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年がかまいません)

お世話を始めた年齢をみると、小学6年生は、「10歳」が31.6%と最も高く、次いで「～6歳」「11歳」がともに13.7%となっている。

中学2年生は、「13歳」が23.7%と最も高く、次いで「12歳」が18.4%、「9歳」「11歳」がともに10.5%となっている。

高校2年生世代は、「12歳」が26.7%と最も高く、次いで「～6歳」「13歳」がともに13.3%となっている。

図表 6-48 お世話を始めた年齢

	n	～6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	無回答
小学6年生	95	13	4	11	11	30	13	6	0	0	0	0	0	7
	100.0	13.7	4.2	11.6	11.6	31.6	13.7	6.3	-	-	-	-	-	7.4
中学2年生	38	3	1	0	4	3	4	7	9	0	0	0	0	7
	100.0	7.9	2.6	-	10.5	7.9	10.5	18.4	23.7	-	-	-	-	18.4
高校2年生世代	15	2	0	0	1	1	1	4	2	0	1	1	0	2
	100.0	13.3	-	-	6.7	6.7	6.7	26.7	13.3	-	6.7	6.7	-	13.3

⑨ お世話の頻度

【問 26 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】

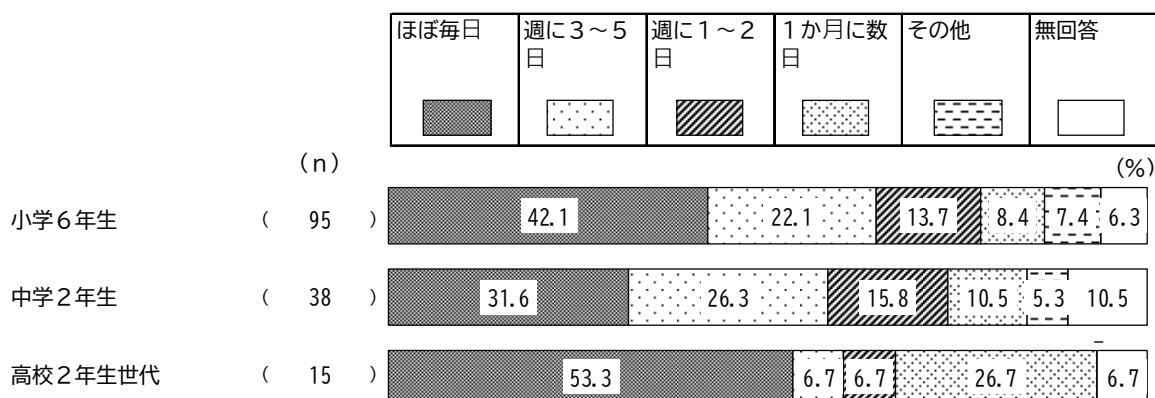
問 26 あなたがお世話をしている頻度を教えてください。(1つに○)

お世話の頻度をみると、小学6年生は、「ほぼ毎日」が42.1%と最も高く、次いで「週に3～5日」が22.1%、「週に1～2日」が13.7%となっている。

中学2年生は、「ほぼ毎日」が31.6%と最も高く、次いで「週に3～5日」が26.3%、「週に1～2日」が15.8%となっている。

高校2年生世代は、「ほぼ毎日」が53.3%と最も高く、次いで「1か月に数日」が26.7%、「週に3～5日」「週に1～2日」がともに6.7%となっている。

図表 6-49 お世話の頻度



⑩ 平日のお世話時間

【問 27 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】

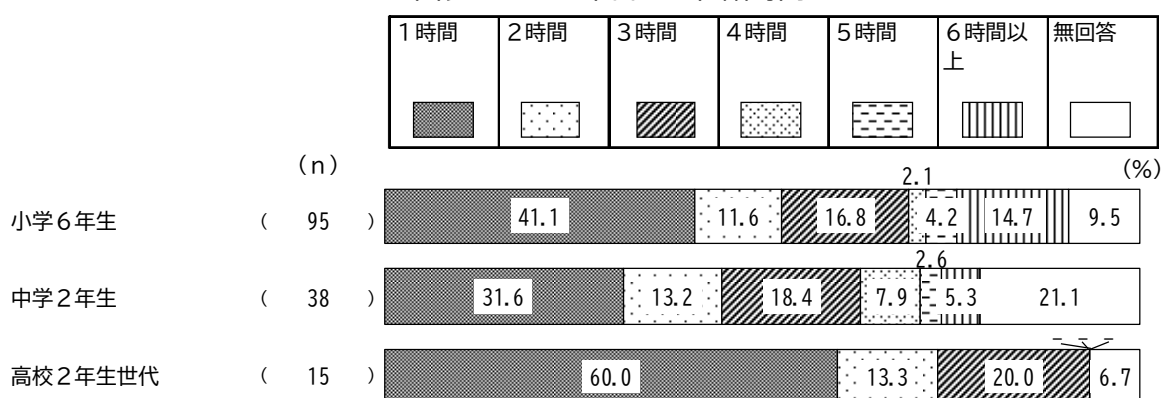
問 27 あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月に1番長かった日の時間を教えてください)

平日のお世話時間をみると、小学6年生は、「1時間」が41.1%と最も高く、次いで「3時間」が16.8%、「6時間以上」が14.7%となっている。

中学2年生は、「1時間」が31.6%と最も高く、次いで「3時間」が18.4%、「2時間」が13.2%となっている。

高校2年生世代は、「1時間」が60.0%と最も高く、次いで「3時間」が20.0%、「2時間」が13.3%となっている。

図表 6-50 平日のお世話時間



⑪ お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと

【問 28 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】

問 28 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「特にない」が最も高く、順に66.3%、68.4%、60.0%となっている。

小学6年生は、「自分の時間が取れない」が18.9%となっている。

図表 6-51 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと (複数回答)

	n	学校に行きたくても行けない(休んでしまう)	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した<中学生、高校生>	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
小学6年生	95 100.0	5 5.3	5 5.3	5 5.3	5 5.3	9 9.5	1 1.1	-	18 18.9	4 4.2	63 66.3	3 3.2
中学2年生	38 100.0	0	0	1 2.6	4 10.5	1 2.6	1 2.6	-	3 7.9	0	26 68.4	4 10.5
高校2年生世代	15 100.0	0	0	1 6.7	1 6.7	2 13.3	0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	9 60.0	2 13.3

⑫ お世話の負担感

【問 29 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】
 問 29 お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

お世話の負担感をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「特にきつさは感じていない」が最も高く、順に 55.8%、71.1%、73.3%となっている。

図表 6-52 お世話の負担感 (複数回答)

	n	身体的に きつい	精神的に きつい	時間的余 裕がない	特にきつ さは感じ ていない	無回答
小学6年生	95	16 16.8	21 22.1	14 14.7	53 55.8	6 6.3
中学2年生	38	1 2.6	3 7.9	4 10.5	27 71.1	4 10.5
高校2年生世代	15	2 13.3	2 13.3	1 6.7	11 73.3	1 6.7

⑬ お世話をしている家族のことや悩みの相談の有無

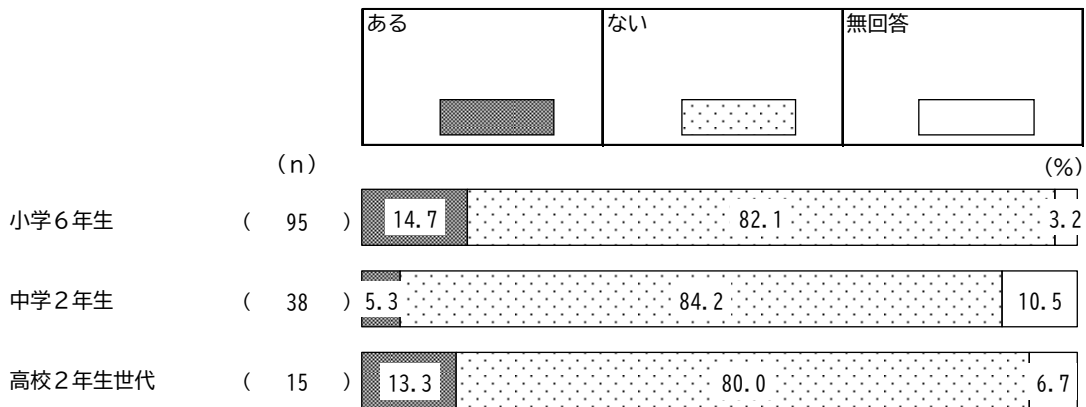
【問 30 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】
 問 30 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

お世話をしている家族のことや悩みの相談の有無をみると、小学6年生は、「ある」が 14.7%、「ない」が 82.1%となっている。

中学2年生は、「ある」が 5.3%、「ない」が 84.2%となっている。

高校2年生世代は、「ある」が 13.3%、「ない」が 80.0%となっている。

図表 6-53 お世話をしている家族のことや悩みの相談の有無



⑭ お世話をしている家族のことや悩みについて相談した人

【問 30-1 は、問 30 で「1. ある」と答えた人にお聞きします】
問 30-1 それは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 6-54 お世話をしている家族のことや悩みについて相談した人（複数回答）

	n	家族(父親、母親、祖父、祖母、きょうだい)	親戚(おじ、おばなど)	友人	学校の先生(保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
小学6年生	14 100.0	11 78.6	0 -	4 28.6	5 35.7	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	2 14.3
中学2年生	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
高校2年生世代	2 100.0	1 50.0	0 -	1 50.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

⑮ お世話をしている家族のことや悩みを聞いてくれる人の有無

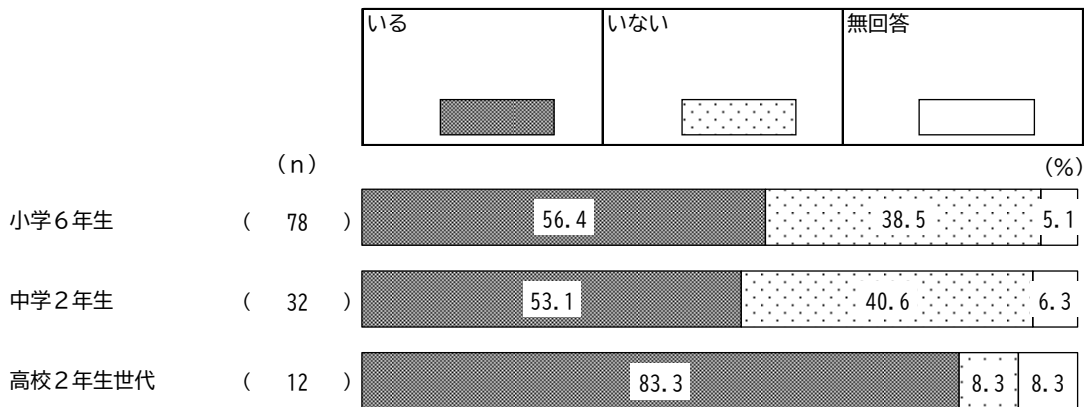
【問 30-2 は、問 30 で「2. ない」と答えた人にお聞きします】
問 30-2 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(1つに○)

お世話をしている家族のことや悩みを聞いてくれる人の有無をみると、小学6年生は、「いる」が56.4%、「いない」が38.5%となっている。

中学2年生は、「いる」が53.1%、「いない」が40.6%となっている。

高校2年生世代は、「いる」が83.3%、「いない」が8.3%となっている。

図表 6-55 お世話をしている家族のことや悩みを聞いてくれる人の有無



⑯ 相談していない理由

【問 30-3 は、問 30 で「2. ない」と答えた人にお聞きします】
問 30-3 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

相談していない理由をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高く、順に 67.9%、75.0%、66.7%となっている。

図表 6-56 相談していない理由 (複数回答)

	n	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するような悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のここのため話しくくない	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思わない	その他	無回答
小学6年生	78 100.0	53 67.9	11 14.1	6 7.7	0 -	8 10.3	7 9.0	6 7.7	7 9.0	13 16.7	5 6.4
中学2年生	32 100.0	24 75.0	1 3.1	1 3.1	2 6.3	3 9.4	1 3.1	2 6.3	4 12.5	2 6.3	4 12.5
高校2年生世代	12 100.0	8 66.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3

⑰ 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

【問 31 は、問 22 で「1. いる」と答えた人にお聞きします】
問 31 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援をみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「特にない」が最も高く、順に 51.6%、50.0%、46.7%となっている。

小学6年生は、「自由に使える時間がほしい」が 20.0%となっている。

図表 6-57 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援 (複数回答)

	n	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談してほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わりにやってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わりにやってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい<中学生、高校生>	学校の勉強や受験のサポート	家庭への経済的な支援	その他	特にない	わからない	無回答
小学6年生	95 100.0	11 11.6	1 1.1	0 -	3 3.2	0 -	19 20.0	0 -	4 4.2	5 5.3	2 2.1	49 51.6	10 10.5	4 4.2
中学2年生	38 100.0	4 10.5	0 -	0 -	0 -	1 2.6	5 13.2	2 5.3	3 7.9	1 2.6	0 -	19 50.0	5 13.2	5 13.2
高校2年生世代	15 100.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7	0 -	0 -	2 13.3	2 13.3	1 6.7	3 20.0	0 -	7 46.7	2 13.3	1 6.7

⑱ 希望する話の聞き方・相談方法

【問 31-1 は、問 31 で「1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい」または「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします】

問 31-1 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 6-58 希望する話の聞き方・相談方法（複数回答）

	n	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
小学6年生	12 100.0	10 83.3	3 25.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3
中学2年生	4 100.0	2 50.0	0 -	1 25.0	0 -	1 25.0	0 -
高校2年生世代	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -	1 100.0	0 -	0 -

(6) ヤングケアラーについて

① 「ヤングケアラー」の認知度

【すべての人にお聞きします】

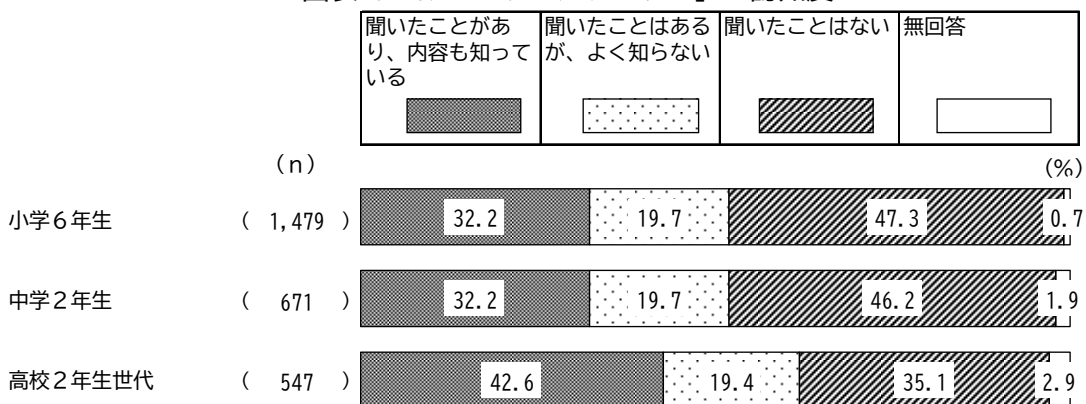
問 32 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。(1つに○)

「ヤングケアラー」の認知度をみると、小学6年生は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が32.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が19.7%、「聞いたことはない」が47.3%となっている。

中学2年生は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が32.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が19.7%、「聞いたことはない」が46.2%となっている。

高校2年生世代は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が42.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が19.4%、「聞いたことはない」が35.1%となっている。

図表 6-59 「ヤングケアラー」の認知度



②「ヤングケアラー」という言葉の情報入手先

【問 32-1 は、問 32 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」または「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人にお聞きします】

問 32-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「ヤングケアラー」という言葉の情報入手先をみると、小学6年生は、「テレビや新聞、ラジオ」が67.6%と最も高く、次いで「SNS やインターネット」が28.1%、「学校」が15.4%と続いている。

中学2年生は、「テレビや新聞、ラジオ」が63.8%と最も高く、次いで「SNS やインターネット」が35.6%、「学校」が21.6%と続いている。

高校2年生世代は、「テレビや新聞、ラジオ」が74.0%と最も高く、次いで「SNS やインターネット」が35.7%、「学校」が29.2%と続いている。

図表 6-60 「ヤングケアラー」という言葉の情報入手先（複数回答）

	n	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	学校	友人・知人から聞いた	その他	無回答
小学6年生	768	519 67.6	116 15.1	216 28.1	90 11.7	10 1.3	118 15.4	65 8.5	123 16.0	4 0.5
中学2年生	348	222 63.8	55 15.8	124 35.6	31 8.9	8 2.3	75 21.6	16 4.6	18 5.2	4 1.1
高校2年生世代	339	251 74.0	20 5.9	121 35.7	11 3.2	3 0.9	99 29.2	12 3.5	16 4.7	2 0.6

(7)自身の考えについて

問 33 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。

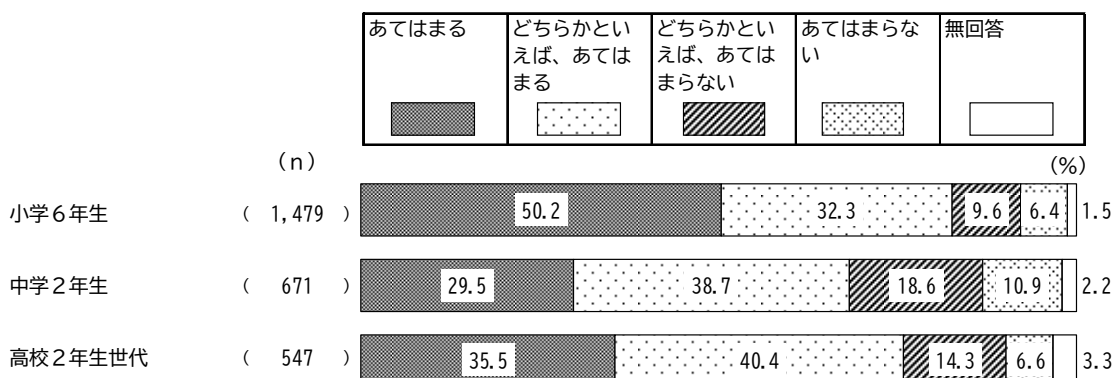
(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

- ①がんばれば、むくわれる ②自分は価値のある人間だと思う ③自分には良いところがある
④不安に感じることはない ⑤孤独を感じることはない ⑥自分の将来が楽しみだ

■がんばれば、むくわれる

がんばれば、むくわれるをみると、小学6年生は、「あてはまる」が最も高く50.2%、中学2年生、高校2年生世代は、「どちらかといえば、あてはまる」がともに最も高く、順に38.7%、40.4%となっている。

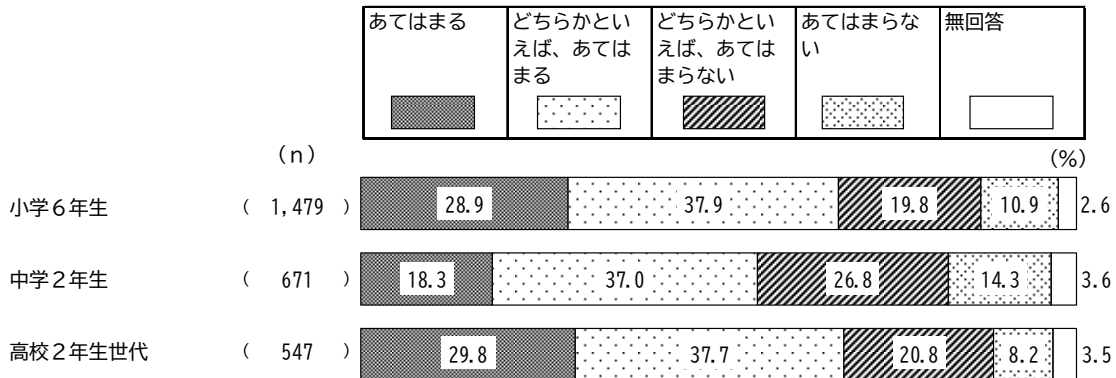
図表 6-61 がんばれば、むくわれる



■自分は価値のある人間だと思う

自分は価値のある人間だと思うをみると、小学6年生、中学2年生、高校2年生世代のすべてで「どちらかといえば、あてはまる」が最も高く、順に37.9%、37.0%、37.7%となっている。

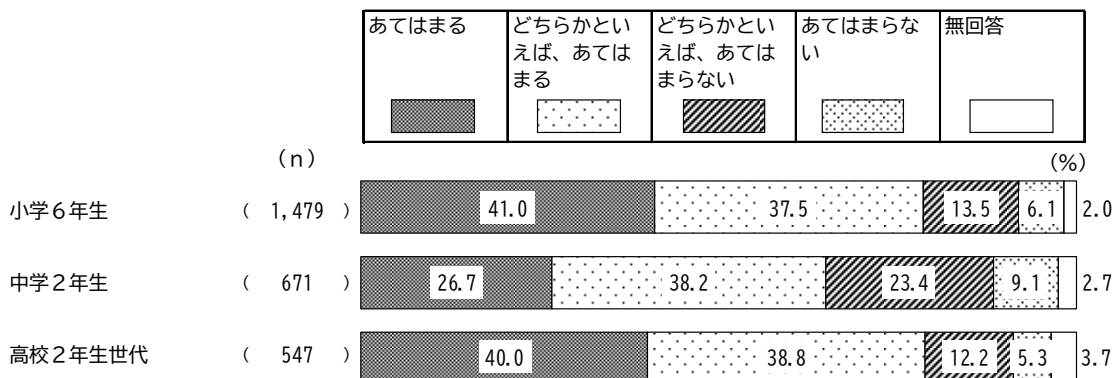
図表 6-62 自分は価値のある人間だと思う



■自分には良いところがある

自分には良いところがあるをみると、小学6年生、高校2年生世代は、「あてはまる」が最も高く、順に41.0%、40.0%、中学2年生は、「どちらかといえば、あてはまる」が最も高く38.2%となっている。

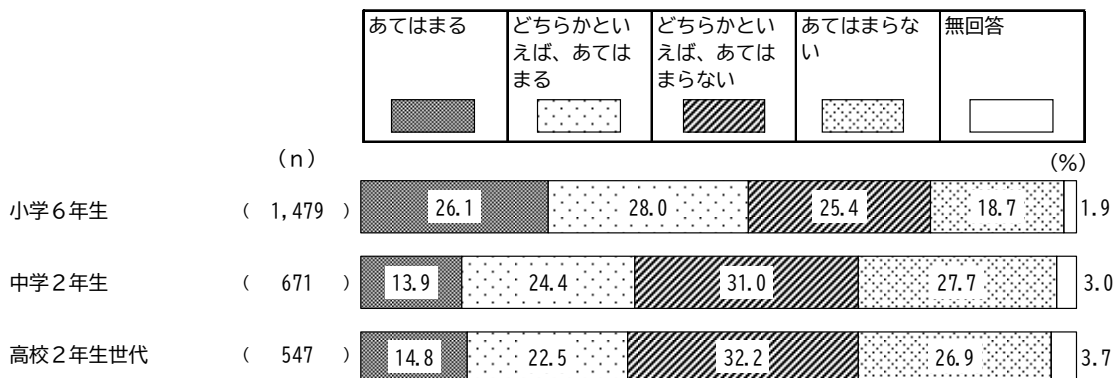
図表 6-63 自分には良いところがある



■不安に感じることはない

不安に感じることはないをみると、小学6年生は、「どちらかといえば、あてはまる」が最も高く28.0%、中学2年生、高校2年生世代は、「どちらかといえば、あてはまらない」が最も高く、順に31.0%、32.2%となっている。

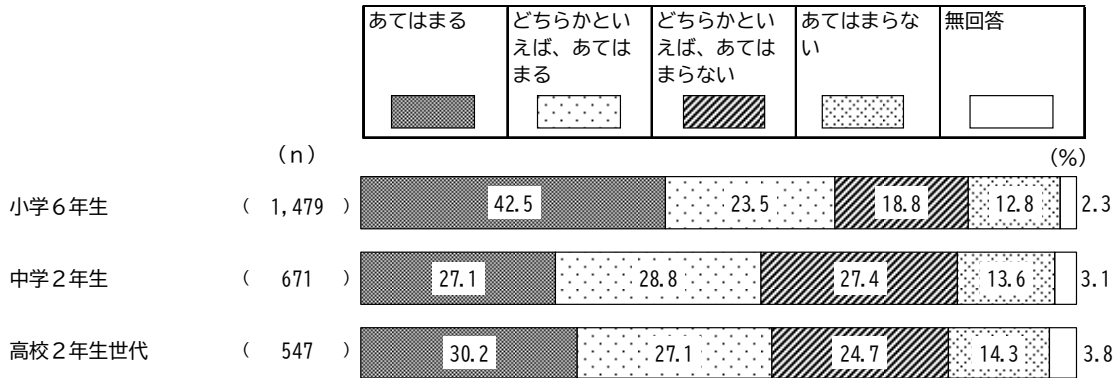
図表 6-64 不安に感じることはない



■孤独を感じることはない

孤独を感じることはないをみると、小学6年生、高校2年生世代は、「あてはまる」が最も高く、順に42.5%、30.2%、中学2年生は、「どちらかといえば、あてはまる」が最も高く28.8%となっている。

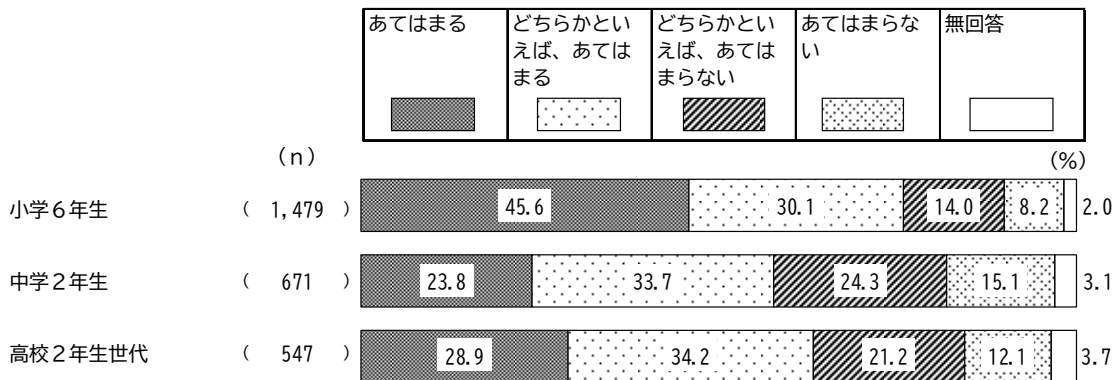
図表 6-65 孤独を感じることはない



■自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだをみると、小学6年生は、「あてはまる」が最も高く45.6%、中学2年生、高校2年生世代は、「どちらかといえば、あてはまる」が最も高く、順に33.7%、34.2%となっている。

図表 6-66 自分の将来が楽しみだ



(8)自由意見:小学6年生

問 34 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことを自由にご書いてください。

① 家事・介護支援(188 件)

- ・子どもが困っていることをすぐに気づいてあげて、なにか支援をしてあげる。
- ・生活の補助。
- ・人を増やして手伝い等をしてほしい。
- ・お世話をしている子どもは誰か他の介護ができる大人に頼ったほうがいいと思います。
- ・家政婦さんなどのボランティアがあるといいと思います。週1でいいので、ご飯の作り置きなどをしてあげると楽だと思います。
- ・しっかりその子のことをサポートしたり、手伝ってあげてほしい。
- ・ヤングケアラーの代わりに家族の世話をしてくれる人や会社

② 相談支援(132 件)

- ・そのような子どものための施設や相談所などを作ったほうが良いと思う。
- ・子どもと先生が個人面談をする機会
- ・積極的に声をかけたり悩みを聞いてあげたりする。
- ・人への気遣い、相談相手になってくれること。気軽に相談できる環境を作る。
- ・まず家族のお世話をしている子どもを調べて、お世話をしている子どもに理由など気持ちを聞いて嫌な思いになっている子どもがいたらその親と相談することが必要だと思う。
- ・そういう子どもがいるということを沢山のの人に知ってもらい、介護サービスの提供、相談しやすい雰囲気作り、支援団体への参加、寄付、子どもでも相談しやすい SNS やメールなどの相談窓口の設置
- ・スマホなどでできる、メールアドレスなどを問わない簡単な相談サイトを作る。

③ 経済支援(99 件)

- ・ヘルパーが無料で付けばいいなと思った。
- ・ご飯などを無料で配ったり、他の人も世話をしている子どもを手伝うなどのことをしたほうがいいと思います。
- ・少しでもその子の負担が減るようにお金を支援したりして親にも余裕ができるようにしてその子の負担を減らしてあげてください。
- ・お金などの経済面での支援
- ・援助金を出す。
- ・商品の値下げをしてほしい。

④ 自由時間の確保(61件)

- ・もっとその子の負担が減るように他の大人が相談に応じたり、もっと親も頑張っってその子に自由な時間を与えるべきだと思う。
- ・家族のお世話をしている子どもは、少しぐらい休憩をしてぐっすり眠って疲れを取って元気になるのが必要だと思います。
- ・必要だと思うことは自分の自由時間です。家族のことばかりで自分の将来を逃してほしくないです。
- ・自分の好きなことを話す時間
- ・自分に使う時間を増やしてほしい。

⑤ 見守り支援(54件)

- ・その子ども一人で世話をさせないように、友達や大人が声をかけて、解決できるようにする。
- ・積極的に声をかけたり悩みを聞いてあげたりする。
- ・その子が学校に来たときに、たくさん話しかけて、その子のことを知り、自分ができることがあれば助けてあげる。
- ・学校の周りの大人にしてもらいたいと思うことは、挨拶をして優しく見守ってもらうこと。
- ・声掛けや気軽な雑談
- ・その子の悩みを聞き、寄り添ってあげる。助けは必要ないと言っていたら無理に助けなくてもいい。

⑥ 居場所(50件)

- ・気を休められる施設を作る事が必要だと思う。
- ・家族のお世話をしている子どもたちが集まって気軽に話し合える場所の提供が必要だと思う。
- ・悩んでいたり、落ち込んでいる人が気軽・素直に話せる場所があると思う。
- ・子ども食堂を学校にも取り入れてほしい。
- ・流行に乗れなくて話の輪に入れない。友達が少ない。
- ・毎日どんなことでも昨日何をしたとか、どんなことが面白かったかとかを聞いてあげればその子が孤独を感じることはないと思う。

⑦ 学習支援(37件)

- ・オンライン授業を積極的に推進すること。
- ・家族の世話をされていて、学校を欠席することが多い子どものために、インターネット通信（Zoomなど）を利用すると思う。
- ・学校でも塾のような勉強をしたい。
- ・休んで学校に久しぶりに来たときに今まで勉強したことをあまり教えてくれないから、復帰した子に勉強を教えてあげること。

- ・大人が判断して子どもにより良い教育をさせること。
- ・勉強がついていけないので先生が空いている時間などに勉強できる時間がほしい。

⑧ 啓発活動(17件)

- ・多くの人がある実態を知って、声を上げたりすること。
- ・周りの人に、ヤングケアラーの問題をきちんと理解してもらうこと。
- ・家族のお世話をしているのに周りに知ってもらえる機会がないと助けようがないので、ちゃんと知ってもらえるような機会があればいいと思う。
- ・世の中には家族の世話で学校に行けなかったりするヤングケアラーの人がいることを意識し、そのことがどのようなことかを知る。

(9)自由意見:中学2年生

① 家事・介護支援(65件)

- ・子どもたちにすべて背負わせるような環境にしないための援助をするべきだと思う。
- ・無料で家族の世話をしてくれる人が来てくれる制度を作ること。
- ・世話が楽になるような補助器具を必要に応じて配布する。
- ・教師や周りの人たちが理解をしっかりとて、サポートすること。
- ・介護が必要な人がいる時大人の家政婦などを国か自治体が派遣する。
- ・求めているときに限り、助力してくれたらいいと思っています。

② 相談支援(47件)

- ・子どもの人生があるから、大人のサポートしてくれる人が周りにいたり相談出来る場所があると良いと思います。見守るだけでは駄目だと思います。子どものことも守ってください。
- ・しっかりと相談できる大人がそばにいてくれて、相談できる環境が整っていること。
- ・全て自分がしなければならぬと思わないで、誰でもいいから相談してほしい。どうしても一人だと不安や孤独などを感じてしまうと思うから、一人ではないということを感じさせたほうが良いと思う。
- ・名前を出さずに気軽に SNS などで相談できる場所。(その子の物理的な負担は減らなくても、精神的な負担は減ると思う)
- ・地域の人や先生など、周囲の大人の人に頼りやすくすることが必要だと思う。また友人などに相談しやすいと良いと思う。
- ・大人などに相談できる雰囲気作り

③ 自由時間の確保(34 件)

- ・お世話をすることも大切だと思うけど、たまには休憩することも大切だと思う。大人も任せきりじゃなくて、自分たちも手伝うことを考えたらいいと思う。
- ・幸せを追求する。
- ・その子自身の時間が必要だと思う。家族のお世話で自分のことをなんでも後回しにするようにはなってほしくない。
- ・色々と自分のことに努力などをしてほしいと思う。
- ・周りの人たちは理解を持って接してほしい。勉強する時間や息抜きの時間を設けること。
- ・もう少し自由な時間がほしい。

④ 経済的な支援(33 件)

- ・対策ができるように金銭面などでの支援
- ・老人ホームや障害のある人の生活支援をしている施設に入るためのお金を支援することが必要だと思う。
- ・食料などの支給
- ・不自由で動けない人に支援などをするための金を分ける。
- ・無料で家族のお世話をしてくれる人を雇える仕組み

⑤ 見守り支援(25 件)

- ・その子どもに寄り添うサポーターを一人つけることでその人の辛いことなどに寄り添う人がいることで負担が軽くなると思う。
- ・ヤングケアラーの場合だったら、家庭のことを支援しにきてくれる人は、その子どもの精神面も気にしたり、寄り添ったりして、その子達が頼れるような存在になれるようになっていくことが必要だと思う。
- ・その子どもの変化に気づくこと。
- ・その子の本当の気持ちをすべて知ろうとする姿勢じゃなく、一緒にいてあげるみたいな気持ちで接すればいいと思います。
- ・子どもの体調を気遣う。

⑥ 居場所(24 件)

- ・その子が安心できる場所や息抜きができる場所があるといいと思います。助けが必要であれば助けてあげてほしいです。
- ・大声で日々の不安を叫ぶところ。
- ・手助けセンターをつくる。
- ・遊んだり、話したりできる友達。
- ・必要だと思うことは、周りの人が配慮してあげ、休める場を作ってあげることだと思う。

⑦ 学習支援(13 件)

- ・ヤングケアラーを行っている人のために無料で教育が受けられたりする支援など。
- ・その子が勉強できる時間を作ること。
- ・子どもだけに負担を負わせるのではなく、学校や周りの大人が状況を把握し、かつその子どもが十分な学習や生活ができるように支援していくことが必要だと思う。
- ・お世話をしながらでも、勉強をしっかりできる環境を作ることが必要なんじゃないかなと思いました。

⑧ 啓発活動(8 件)

- ・学校などで相談できる場や、ヤングケアラーなどの社会問題を知ることができる場を定期的
に開催する。
- ・みんなにそのことを知ってもらうことが大切だと思う。
- ・ヤングケアラーについて認知度を高める必要があると思う。

(10)自由意見:高校 2 年生世代

① 相談支援(73 件)

- ・相談してからちゃんと解決までできるようにしてほしいです。
- ・相談相手がいたとしても、あまり深いことまで言えなかったり、聞けなかったりと思う
ので、ヤングケアラーの集まりのようなものをつくって情報交換できるような機会をつく
った方がいいと思います。
- ・子どもが気軽に相談できる、相談する意味があると思える場所をたくさんつくってほ
しいです。
- ・誰でも 1 人で悩み事を抱えているには限界があり、いっぱいいっぱいになると爆発してしま
う。そうなる前に行政に相談し、少しでも気持ちを楽にしていきたい。
- ・友人に家族のお世話をしていたり、困ったことがあったときに話してもらえよう、頼
ってもらえような関係を作る。
- ・子どもが話しやすい相談支援体制をつくる。
- ・いつでも相談したり、助けを求めたりできる環境があること。また、そういった大変な思
いをしている子どもの助けに、同世代の私もなりたいたと思います。

② 経済的支援(62 件)

- ・金銭的な援助と保障。ヘルパーを利用出来ること。
- ・生活補助金は必要かなと思う。そういうケアをしている人が学校に行けないってなるのはお
かしいと思う。
- ・家族のお世話をしている子どものために、お金を配るべきだと思う。アルバイトなどをして
いると自分のために使う時間が減り、大学に行きたくても行けないなど将来に影響がでる。

- ・介護支援の料金を増やす。介護支援を不正利用している人を探す。その分介護支援を本当に必要としている人に充てる。審査をちゃんとする。
- ・家庭の状況に応じた支援（物資や手伝う人、お金など）
- ・補助金、学費免除
- ・学費の免除、奨学金の条件緩和、置き配の無償化

③ 家事・介護支援(60件)

- ・介護サービスに訪問介護があるように、家族のお世話をしている子どものために訪問して家事の手伝いをしたり援助できるシステムがあったらいいと思う。学童の時間を延ばしたり、利用できる学年を拡大させたらいいと思う。困っている人がどれくらいいるか把握して、対応することが大事だと思います。
- ・ヘルパーさんなど利用できると良いと思う。
- ・市が積極的に、そのような人に対する支援を行う、または行えるような制度作りを進める。
- ・周りにいる人間が気を遣い、支える。
- ・一日一時間ほどの世話で済むような状況を作り出すこと。
- ・お世話の負担にならないように他の家事を積極的にやってほしい。
- ・負担を少しでも軽減するサポートをしてもらいたい。

④ 見守り支援(32件)

- ・幸せに生活できていることを当然のことだと思わずに、辛い思いをしている人に寄りそってあげてほしい。自分もそうしたい。
- ・まわりの大人や先生が気付いてあげることが重要だと思います。中には親に「言うな」と言われている可能性があるので自分から相談にくることは難しいと思います。部活など色々なことに参加したいはずです。だからとにかく気付いてあげることが本人にとっても嬉しいことです。カウンセラーなどを受けやすくしたら良いと思います。
- ・悩みがありそうであれば聞いてあげる。疲れてそうであればそっとしてあげたりする。家で大変な分、学校で少しでも楽でいられるような環境をつくりたい。
- ・家族のお世話は子どもにとって負担が大きく、周りになかなか相談がしにくいことがあるかもしれないので、大人が率先して気づいてあげられるような環境があるとよいのではないかと思います。

⑤ 啓発活動(32件)

- ・こまめに話を聴き、現状や将来について話をする事。友人と遊んだり、出掛けられるように頼れる人やサービスがあると良いと思う。たまには息抜きが必要だと思うから。また、ヤングケアラーではない人にヤングケアラーについて理解してもらおう事も大切だと思う。
- ・その子のまわりの人が十分に理解してくれていることが必要だと思う。

- ・ヤングケアラーの認知を広げるとともに、子どもが家族の世話をするということを美談にしないでほしいです。今現在、支援すべき人達に支援ができていない状況なので、周りの大人、自治体、政府がきちんと問題と向き合うべきだと強く感じます。
- ・ヤングケアラーという言葉が子どもたちが知る機会を、授業で扱うなどして増やすことが必要だと思います。
- ・相談窓口をもっと広めるべきだと思う。学校で定期的に配布される相談先が書かれた紙の内容だけでは、本当は相談すべき悩みを抱えているにもかかわらず、電話しても良いのだろうか躊躇して誰にも話せないままでは。時には相談窓口や NPO 法人など様々な人のために活動している団体を載せたチラシを配布することが必要なはず。知ってもらわないと意識されもしないし、偏見は減らないからもっと多くの人の目に止まるような大きなアクションを起こしてほしい。
- ・今回のアンケートで初めて「ヤングケアラー」という言葉を知り、ヤングケアラーがどのようなものなのか学ぶことが出来た。テレビや SNS などでもっとヤングケアラーについて発信し、学校や周りの大人のヤングケアラーへの意識を深める必要があると考える。

⑥ 居場所(28 件)

- ・ストレスの発散が必要
- ・ヤングケアラーのコミュニティをつくること。
- ・もし、家族のお世話をすることにストレスを感じているのなら、それを発散できる場に気軽に行くことができるようにしてあげることが必要だと思う。
- ・いつでも相談したり、助けを求めたりできる環境があること。また、そういった大変な思いをしている子どもの助けに、同世代の私もなりたと思います。
- ・家で忙しい子どもが少しでも落ちつける環境を作ることが大事だと思う。
- ・子ども食堂のような、安くごはんが食べられる場所があったらいいと思う。

⑦ 自由時間の確保(25 件)

- ・子どものうちに自分の時間をつくること。自分のやりたいこと、好きなことに使える時間を大人が作ってあげる仕組みづくりが大切だと思う。
- ・友達と遊ぶ時間もとれるといいと思います。
- ・自分のために、将来のために使える時間を確保してあげてほしい。
- ・家族のために時間を費やすだけでなく、自分自身にかけられる時間を増やしてあげることが必要だと思う。

⑧ 学習支援(18 件)

- ・休日はお世話するだけで過ごすのではなくて友達と遊びに行けたり、働いて学業に手が回らないようなことがないようにする。
- ・学校のサポートが大事になってくる。
- ・ヤングケアラーであっても進路が制限されたり、進学・就職が不利になったりしないこと。

7. 妊産婦

(1) 居住、家族の状況

① 居住地区

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

居住地区は、「王子東」が24.3%と最も高く、次いで「滝野川西」が19.5%、「赤羽東」が17.1%となっている。

図表 7-1 居住地区

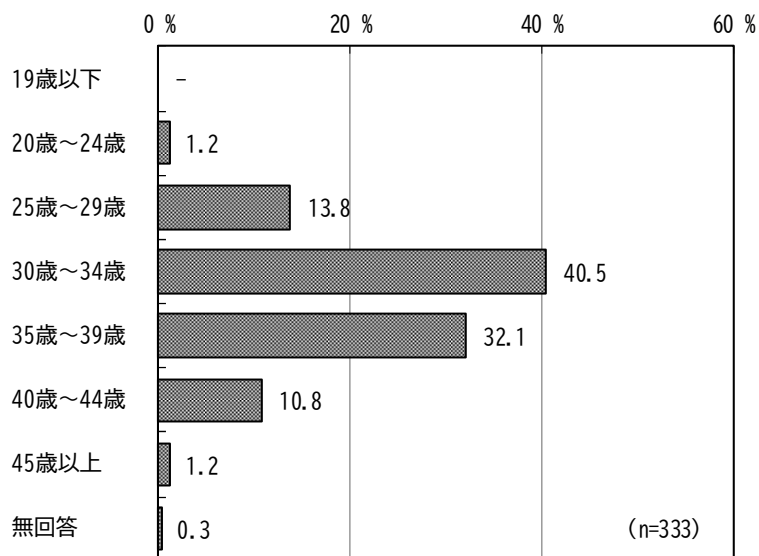


② 年齢

問2 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

年齢は、「30歳～34歳」が40.5%と最も高く、次いで「35歳～39歳」が32.1%、「25歳～29歳」が13.8%となっている。

図表 7-2 年齢

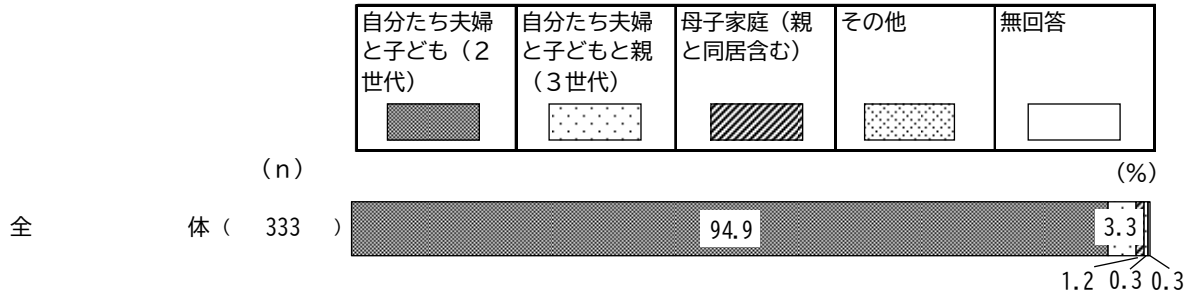


③ 家族形態

問3 あなたの家族形態は、次のうちどれにあてはまりますか。妊婦の方はお子さんを含めてお答えください。(1つに○)

家族形態は、「自分たち夫婦と子ども（2世代）」が94.9%、「自分たち夫婦と子どもと親（3世代）」が3.3%、「母子家庭（親と同居含む）」が1.2%となっている。

図表 7-3 家族形態

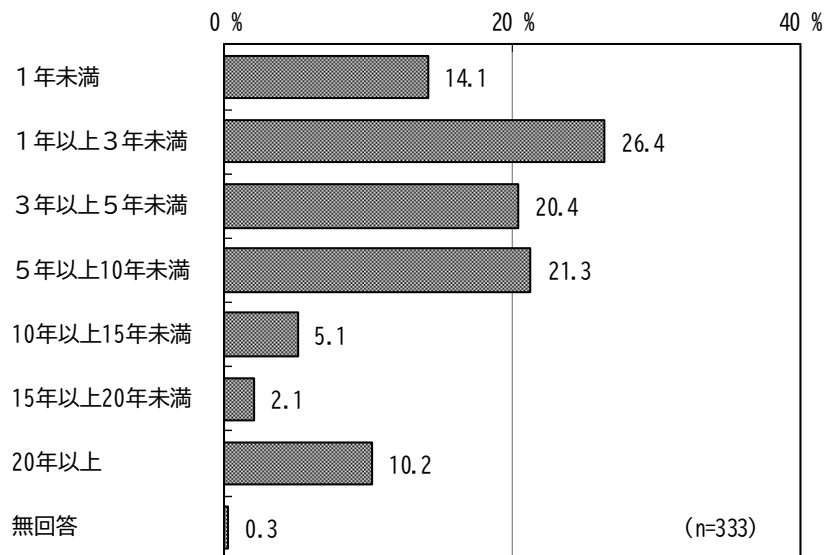


④ 居住年数

問4 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

居住年数は、「1年以上3年未満」が26.4%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が21.3%、「3年以上5年未満」が20.4%となっている。

図表 7-4 居住年数

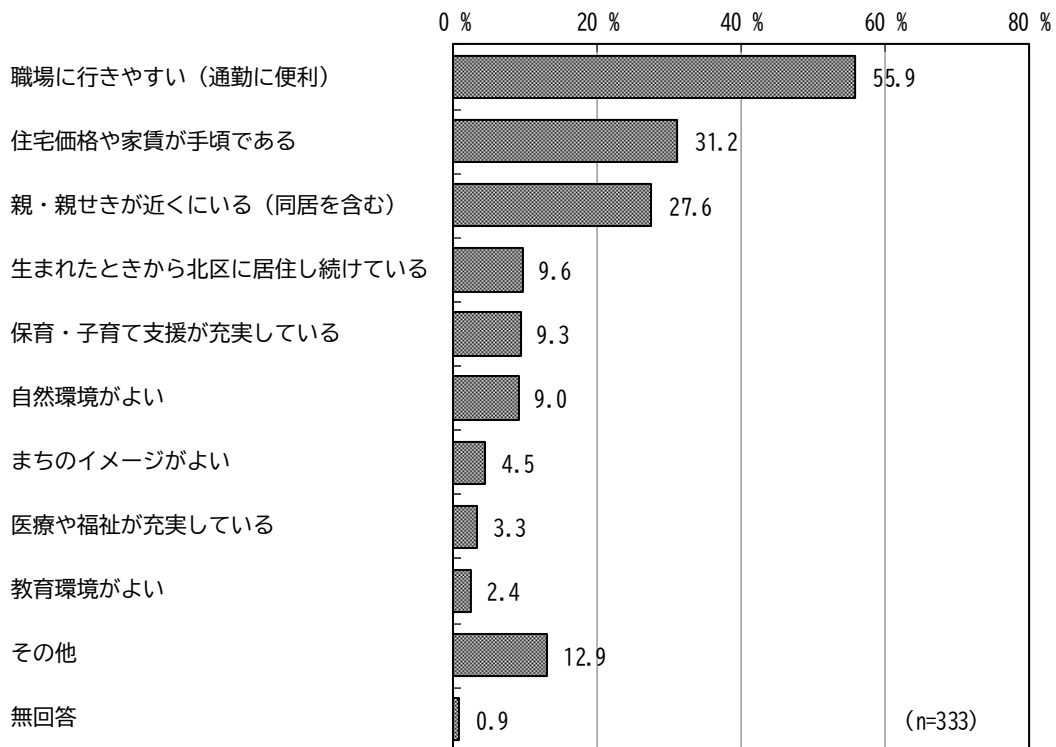


⑤ 北区に住んでいる理由

問5 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

居住理由は、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が55.9%と最も高く、次いで「住宅価格や家賃が手頃である」が31.2%、「親・親せきが近くにいる(同居を含む)」が27.6%と続いている。

図表 7-5 居住理由(複数回答)



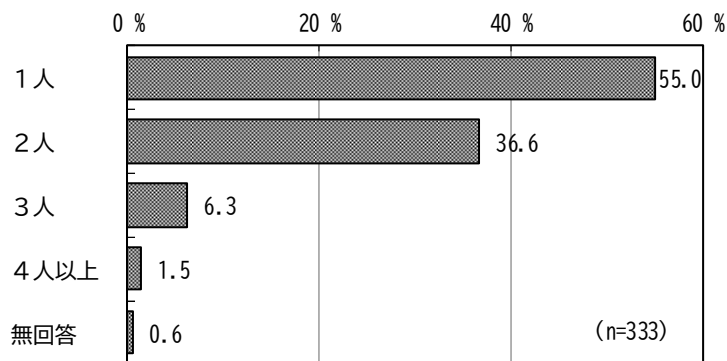
(2) 出産や子育てについて

① 子どもの数(出産予定の子を含む)

問6 あなたには、現在お子さんは何人いますか。妊娠中の方は、出産予定のお子さんを含めてお答えください。(1つに○)

子どもの数(出産予定の子を含む)は、「1人」が55.0%と最も高く、次いで「2人」が36.6%、「3人」が6.3%となっている。

図表 7-6 子どもの数(出産予定の子を含む)

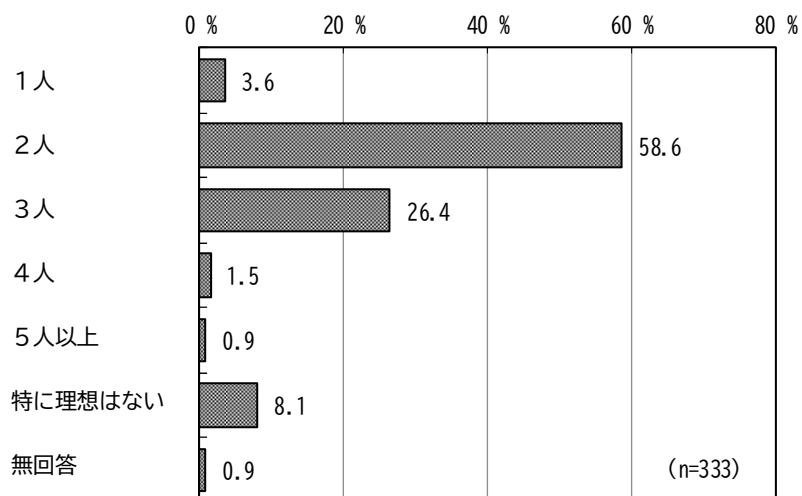


② 理想の子どもの数

問7 あなたが理想とする子どもの数は何人ですか。(1つに○)

理想の子どもの数は、「2人」が58.6%と最も高く、次いで「3人」が26.4%、「特に理想はない」が8.1%となっている。

図表 7-7 理想の子どもの数

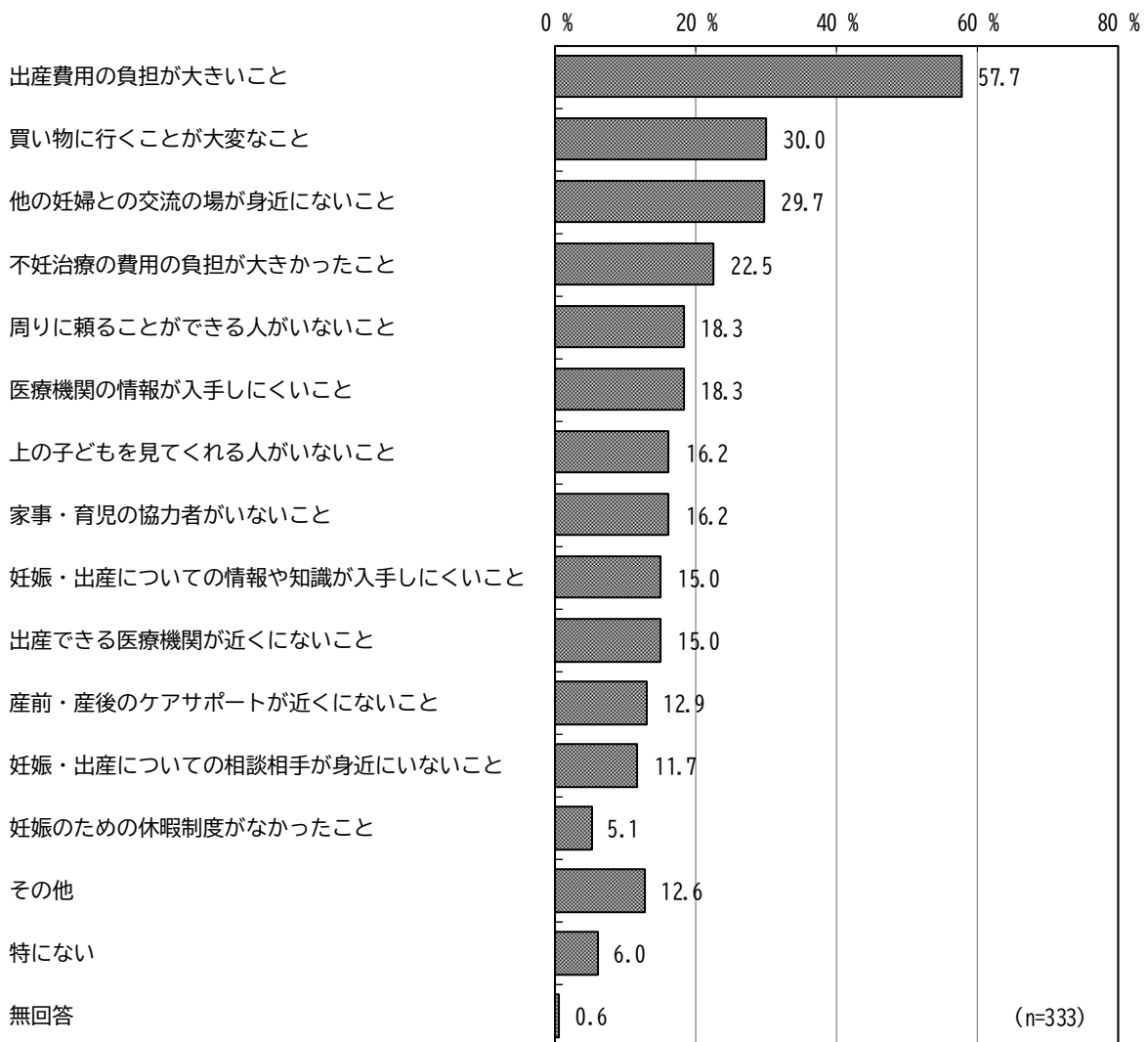


③ 妊娠や出産の困りごと

問8 妊娠や出産の困りごと、育児の不安感や負担感についてうかがいます。
 (1) あなたが妊娠や出産について困ったこと、もしくは困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

妊娠や出産の困りごとは、「出産費用の負担が大きいこと」が57.7%と最も高く、次いで「買い物に行くことが大変なこと」が30.0%、「他の妊婦との交流の場が身近にないこと」が29.7%と続いている。

図表 7-8 妊娠や出産の困りごと（複数回答）

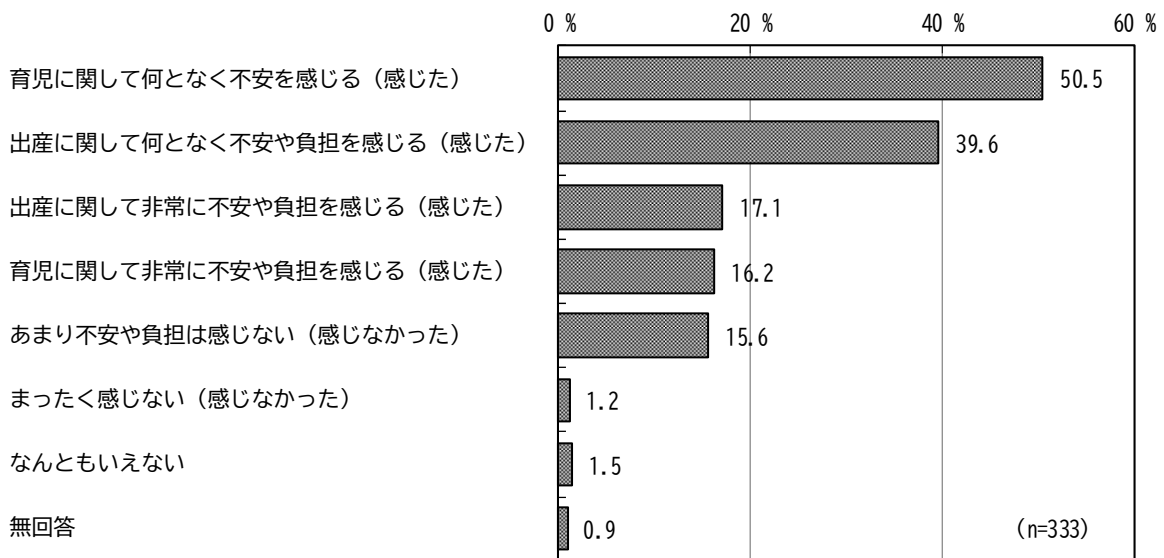


④ 出産や育児の不安感・負担感

問8 妊娠や出産の困りごと、育児の不安感や負担感についてうかがいます。
(2) 出産やその後の育児に関して不安感や負担感を感じることがありますか（ありましたか）。（あてはまるものすべてに○）

出産や育児の不安感・負担感は、「育児に関して何となく不安を感じる（感じた）」が50.5%と最も高く、次いで「出産に関して何となく不安や負担を感じる（感じた）」が39.6%、「出産に関して非常に不安や負担を感じる（感じた）」が17.1%と続いている。

図表 7-9 出産や育児の不安感・負担感（複数回答）



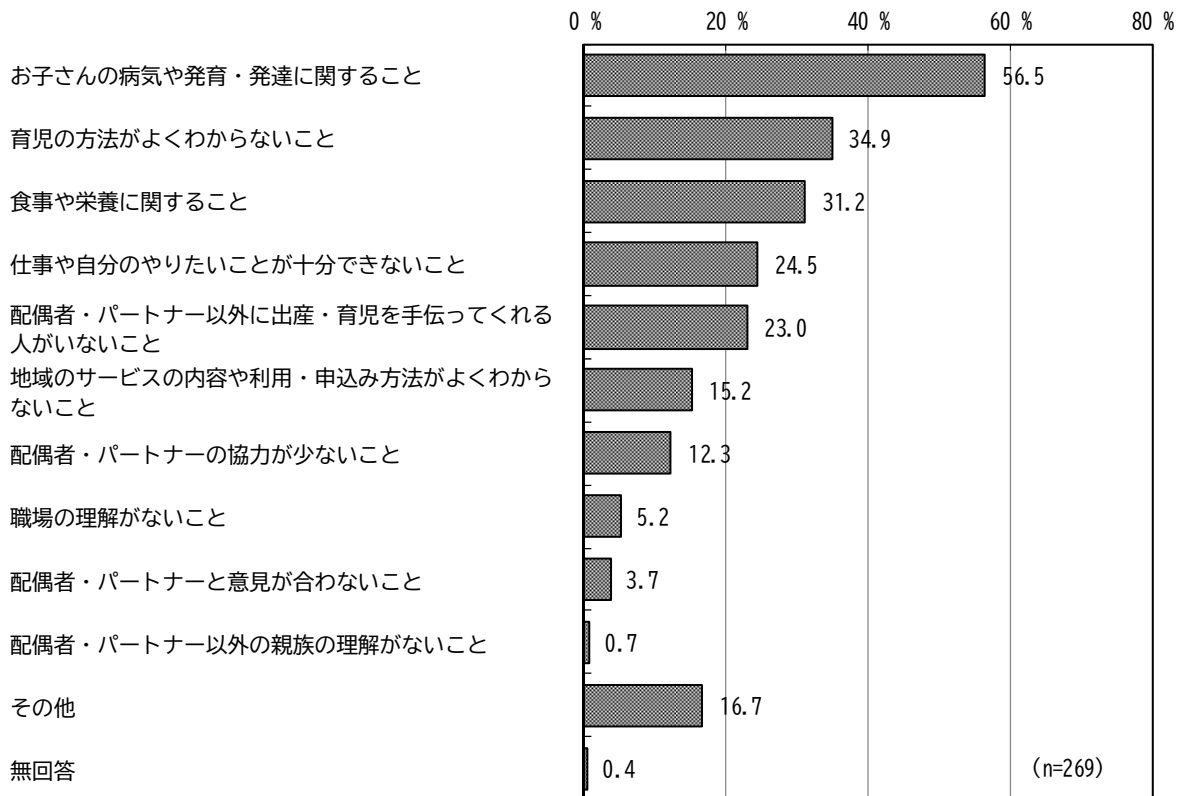
⑤ 出産・育児に関して不安に感じていること

【問9は、問8（2）で「1」～「4」（不安や負担を感じる（感じた））と回答した方にかがいます】

問9 出産・育児に関して、不安に感じている（感じていた）ことはどのようなことですか。（3つまでに○）

出産・育児に関して不安に感じていることは、「お子さんの病気や発育・発達に関すること」が56.5%と最も高く、次いで「育児の方法がよくわからないこと」が34.9%、「食事や栄養に関すること」が31.2%と続いている。

図表 7-10 出産・育児に関して不安に感じていること



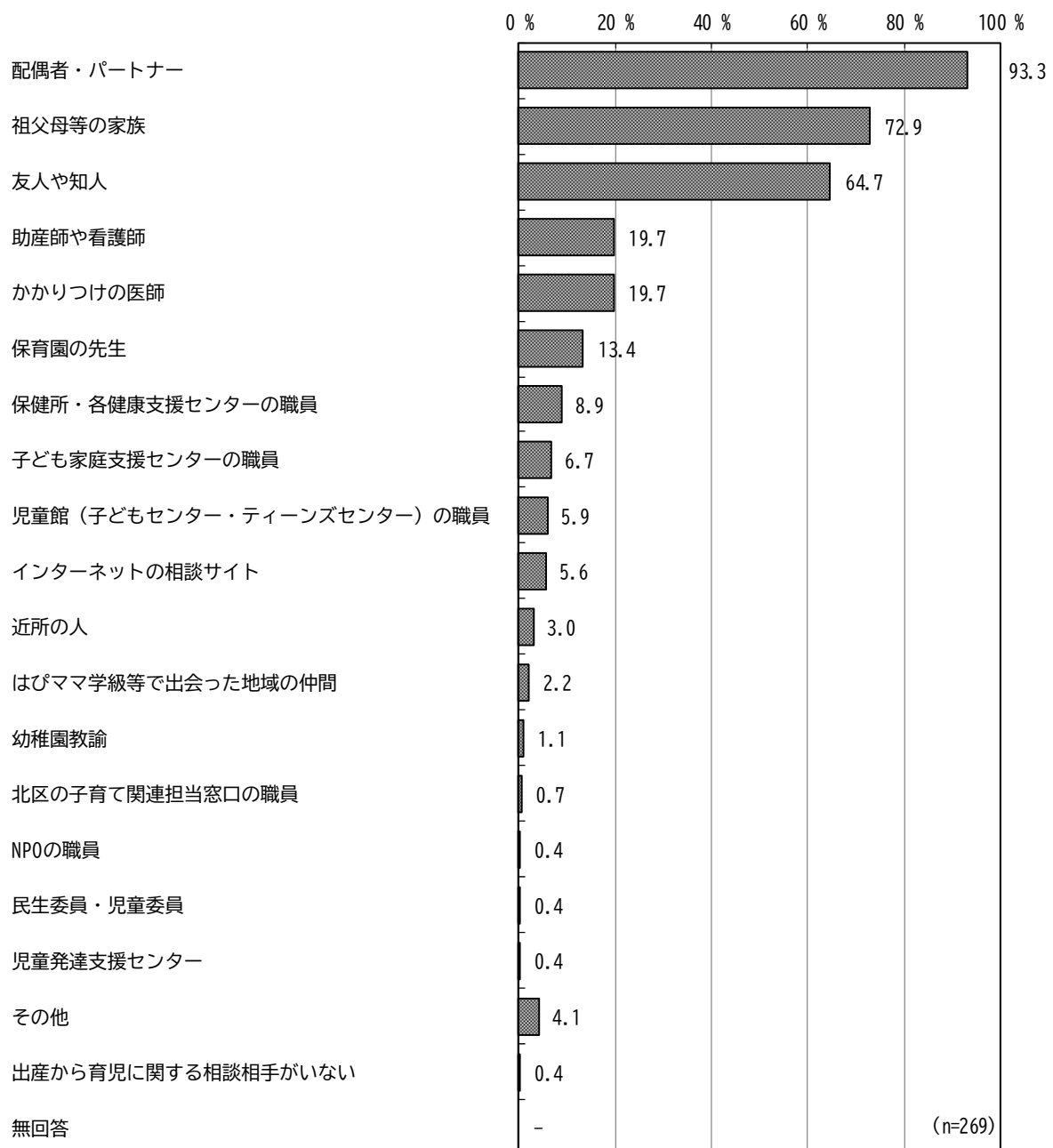
⑥ 出産・育児に関する不安や悩みの相談先

【問10は、問8（2）で「1」～「4」（不安や負担を感じる（感じた））と回答した方にかがいます】

問10 出産・育児に関する不安や悩みを誰に相談しますか（しましたか）。
（あてはまるものすべてに○）

出産・育児に関する不安や悩みの相談先は、「配偶者・パートナー」が93.3%と最も高く、次いで「祖父母等の家族」が72.9%、「友人や知人」が64.7%と続いている。

図表 7-11 出産・育児に関する不安や悩みの相談先（複数回答）



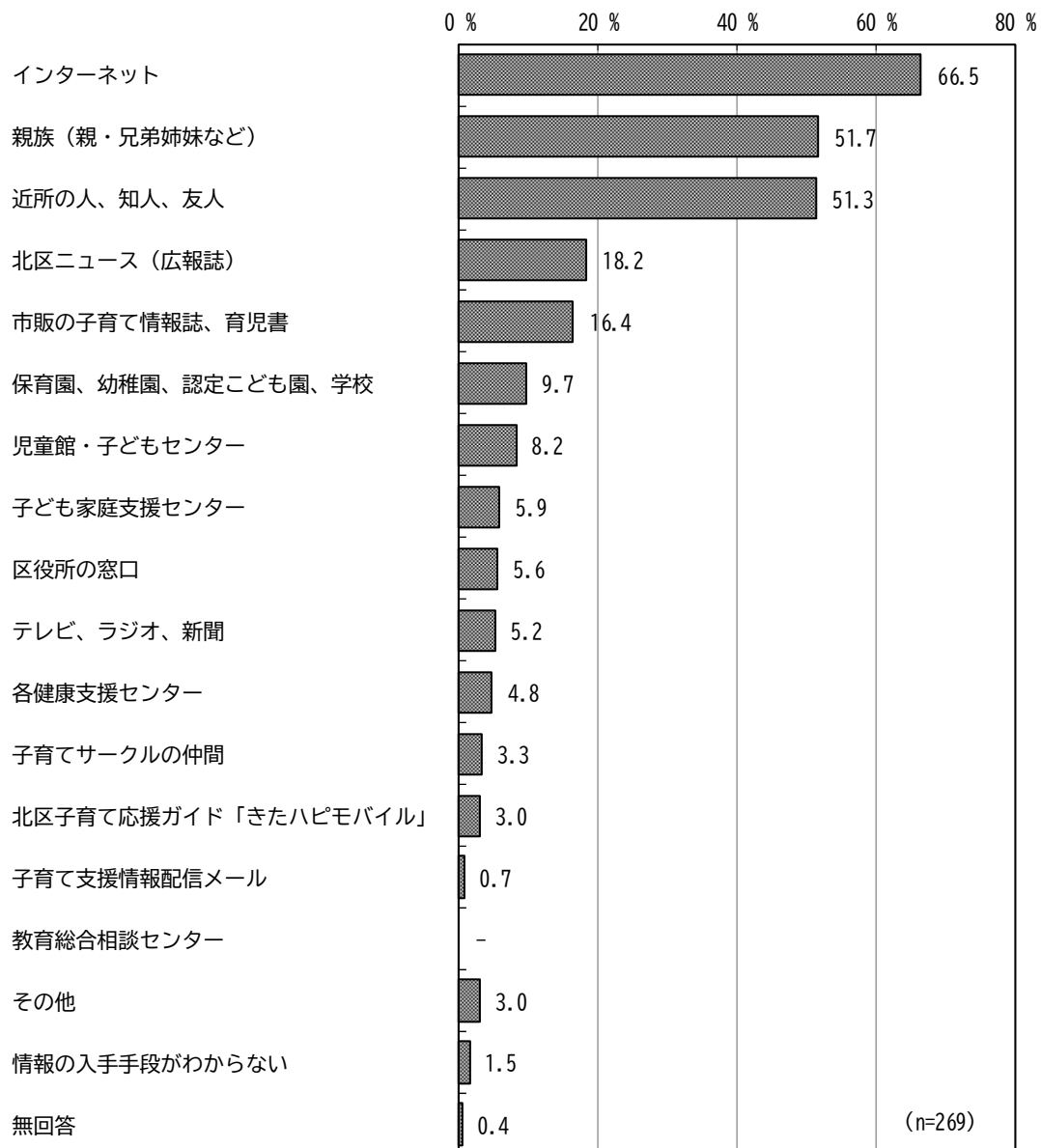
⑦ 出産・育児に関する情報の入手先

【問11は、問8（2）で「1」～「4」（不安や負担を感じる（感じた））と回答した方にうかがいます】

問11 出産・育児に関する情報を、どちらから入手していますか（しましたか）。
（3つまでに○）

出産・育児に関する情報の入手先は、「インターネット」が66.5%と最も高く、次いで「親族（親・兄弟姉妹など）」が51.7%、「近所の人、知人、友人」が51.3%と続いている。

図表 7-12 出産・育児に関する情報の入手先



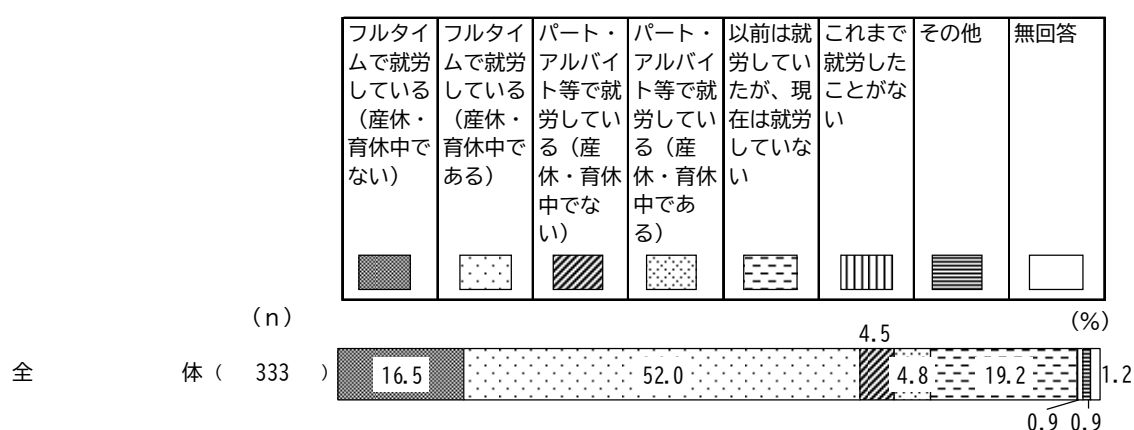
(3) 就労状況

① 就労状況

問 12 あなたの現在の就労形態、就労の有無などはつぎのどれですか。(1つに○)

就労状況は、「フルタイムで就労している（産休・育休中である）」が52.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.2%、「フルタイムで就労している（産休・育休中でない）」が16.5%となっている。

図表 7-13 就労状況



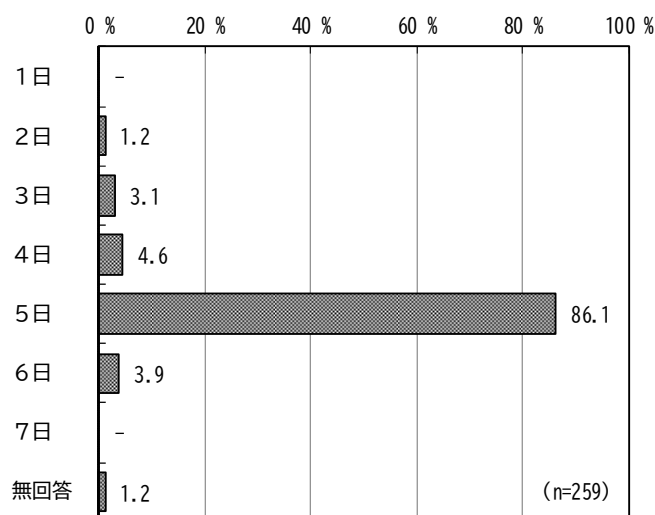
② 就労日数・就労時間

【問 12-1 は、問 12 で「1」～「4」（就労している）と回答した方にかがいます】
 問 12-1 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休、育休中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。
 () 内に数字でご記入ください。

■ 1 週当たりの就労日数

1 週当たりの就労日数は、「5 日」が 86.1% と最も高くなっている。(平均 4.9 日)

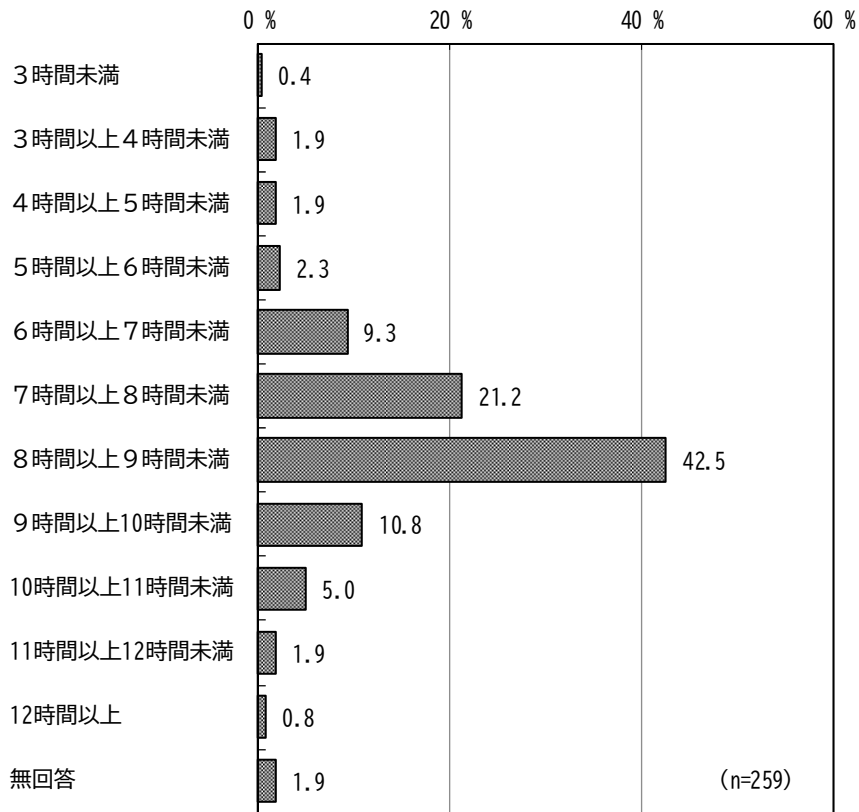
図表 7-14 1 週当たりの就労日数



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「8時間以上9時間未満」が42.5%と最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」が21.2%、「9時間以上10時間未満」が10.8%となっている。(平均7.7時間)

図表 7-15 1日当たりの就労時間



③ 家を出る時間・帰宅時間

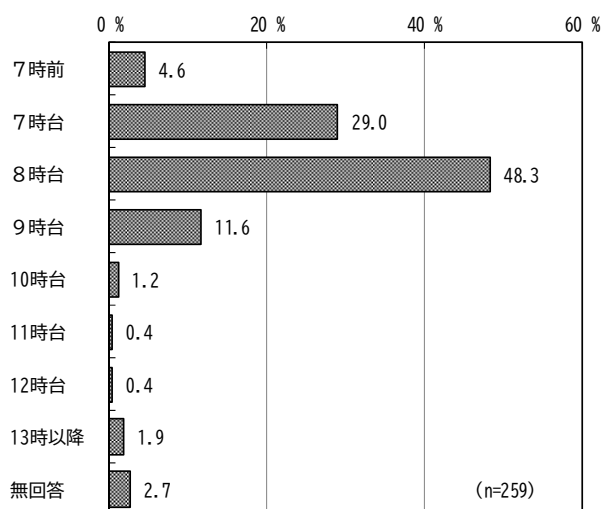
【問 12-2 は、問 12 で「1」～「4」（就労している）と回答した方にかがいます】
問 12-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

■家を出る時間

家を出る時間は、「8 時台」が 48.3%と最も高く、次いで「7 時台」が 29.0%、「9 時台」が 11.6%となっている。

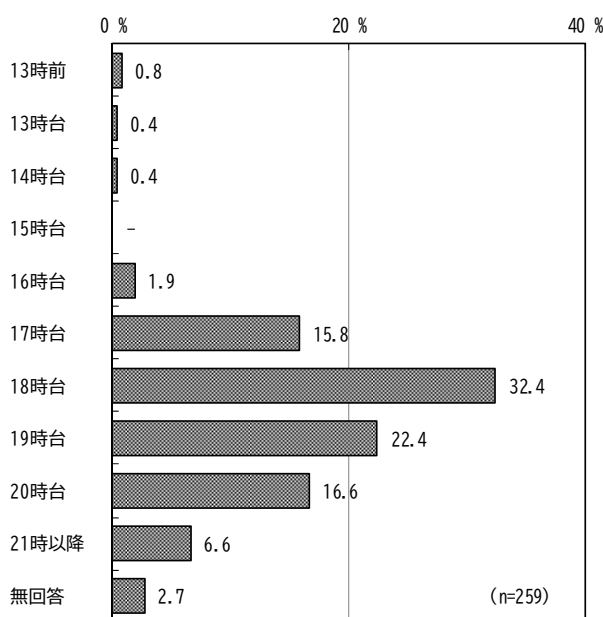
図表 7-16 家を出る時間



■帰宅時間

帰宅時間は、「18 時台」が 32.4%と最も高く、次いで「19 時台」が 22.4%、「20 時台」が 16.6%となっている。

図表 7-17 帰宅時間



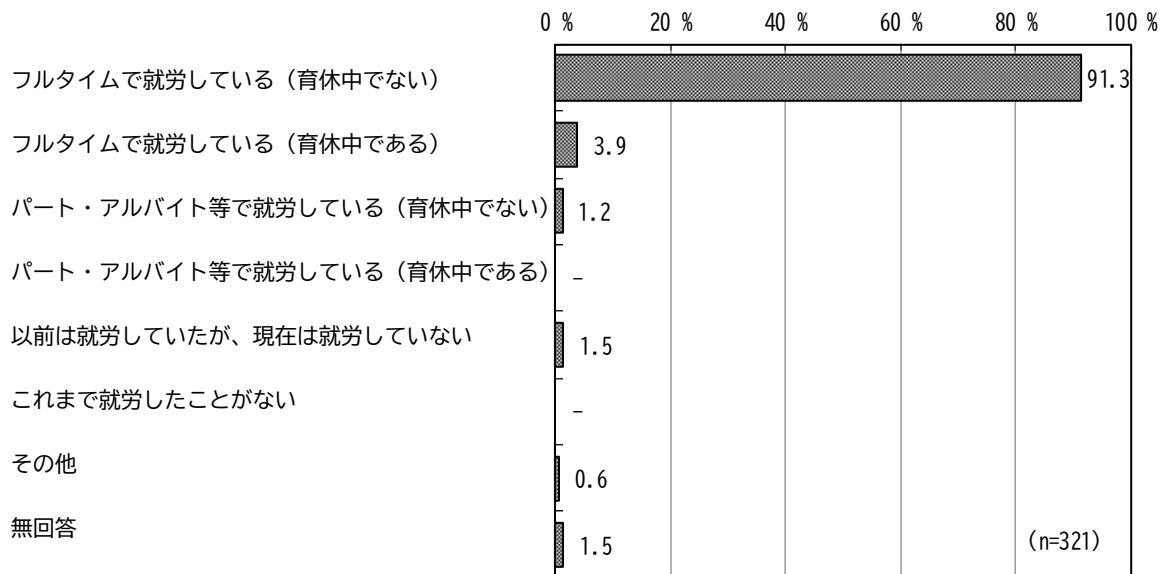
(4) パートナーの就労状況

① パートナーの就労状況

問 13 パートナー（お子さんの父親に当たる方）はどのようなお仕事をしていますか。
（1つに○）

パートナーの就労状況は、「フルタイムで就労している（育休中でない）」が 91.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労している（育休中である）」が 3.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.5%となっている。

図表 7-18 パートナーの就労状況



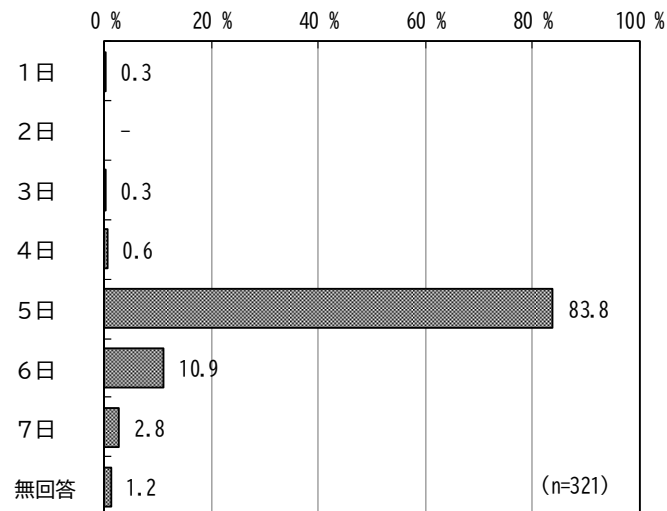
② 就労日数・就労時間(パートナー)

【問 13-1 は、問 13 で「1」～「4」(就労している)と回答した方にかがいます】
問 13-1 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。() 内に数字でご記入ください。

■1週当たりの就労日数(パートナー)

1 週当たりの就労日数は、「5日」が 83.8%と最も高く、次いで「6日」が 10.9%となっている。(平均 5.1 日)

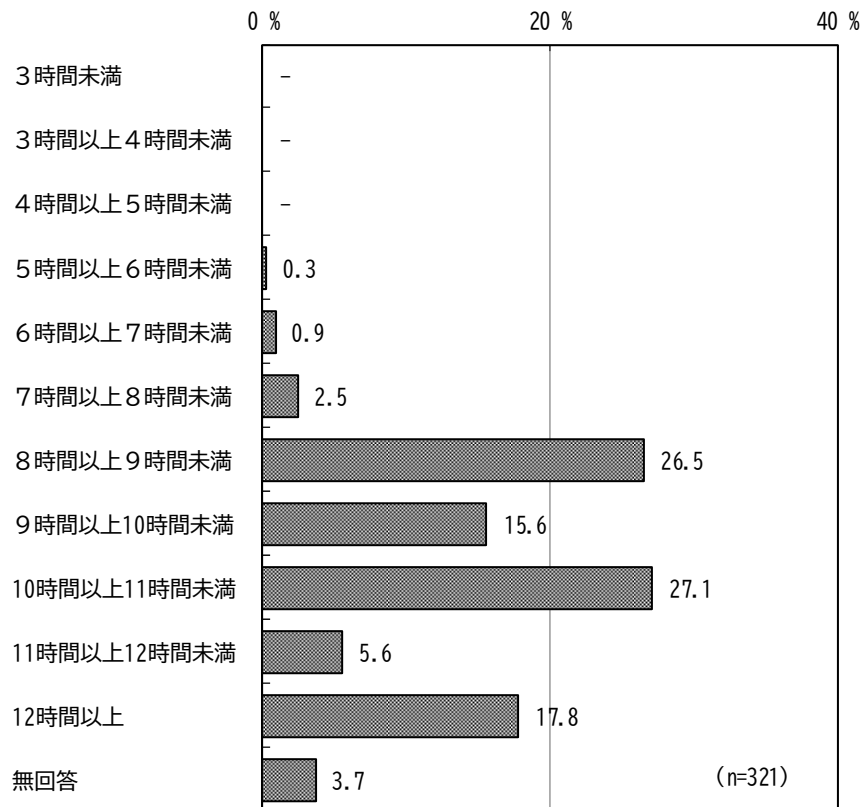
図表 7-19 1 週当たりの就労日数 (パートナー)



■1日当たりの就労時間(パートナー)

1日当たりの就労時間は、「10時間以上11時間未満」が27.1%と最も高く、次いで「8時間以上9時間未満」が26.5%、「12時間以上」が17.8%となっている。(平均9.8時間)

図表 7-20 1日当たりの就労時間(パートナー)



③ 家を出る時間・帰宅時間(パートナー)

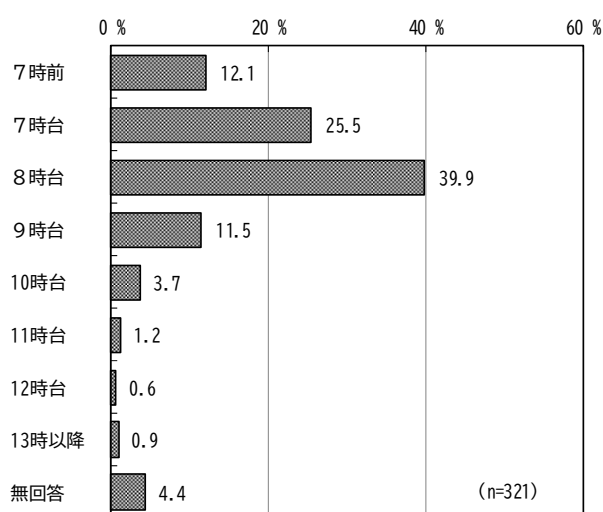
【問 13-2 は、問 13 で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます】
問 13-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

■家を出る時間(パートナー)

家を出る時間は、「8時台」が39.9%と最も高く、次いで「7時台」が25.5%、「7時前」が12.1%となっている。

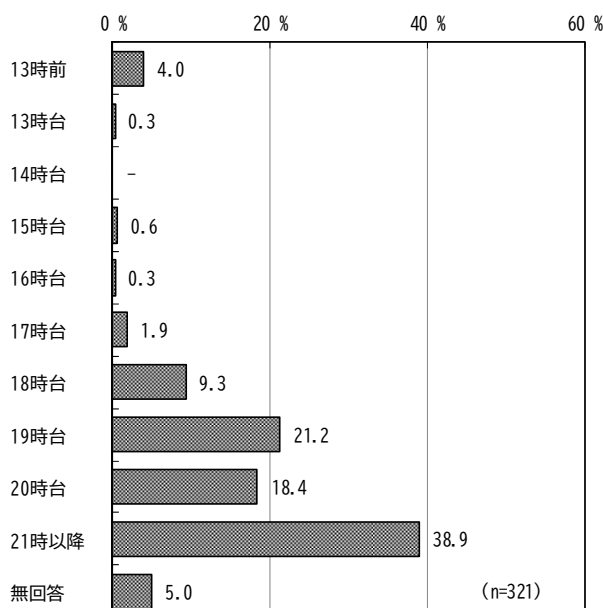
図表 7-21 家を出る時間 (パートナー)



■帰宅時間(パートナー)

帰宅時間は、「21時以降」が38.9%と最も高く、次いで「19時台」が21.2%、「20時台」が18.4%となっている。

図表 7-22 帰宅時間 (パートナー)



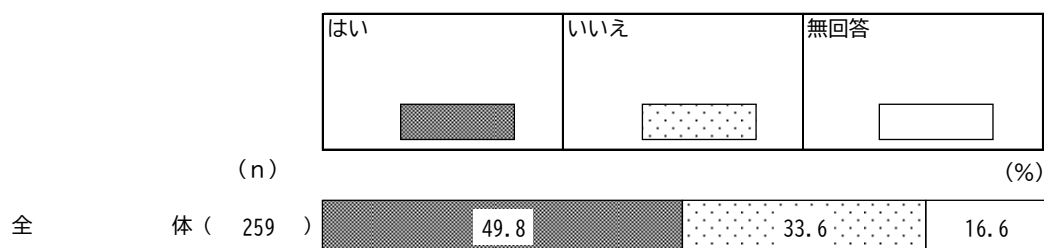
(5)職場の状況

① 勤務時間の短縮やフレックス勤務の利用の有無

【現在、就労している方にかがいます。就労していない方は問 19 にお進みください】
 問 14 妊娠・出産後、勤務時間の短縮や、フレックス勤務をしていますか（していましたか）。
 （1つに○）

勤務時間の短縮やフレックス勤務の利用の有無は、「はい」が49.8%、「いいえ」が33.6%となっている。

図表 7-23 勤務時間の短縮やフレックス勤務の利用の有無

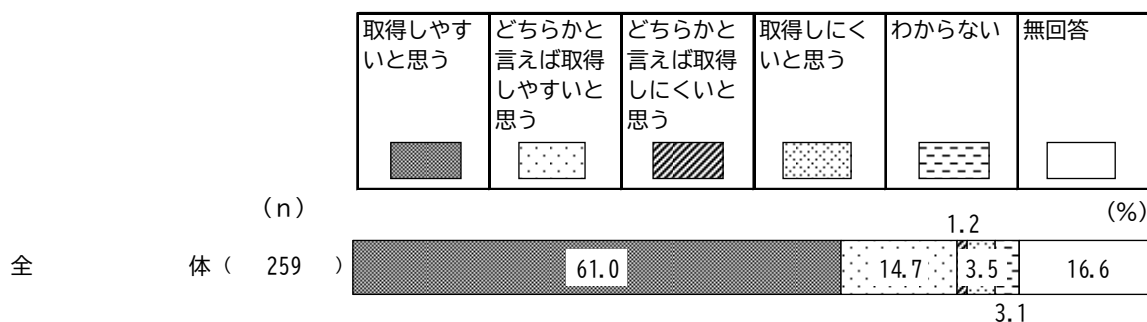


② 育児休業制度の取得しやすさ

問 15 あなたの職場は、育児休業制度が取得しやすい環境だと思いますか。（1つに○）

育児休業制度の取得しやすさは、「取得しやすいと思う」が61.0%と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得しやすいと思う」が14.7%、「取得しにくいと思う」が3.5%となっている。

図表 7-24 育児休業制度の取得しやすさ

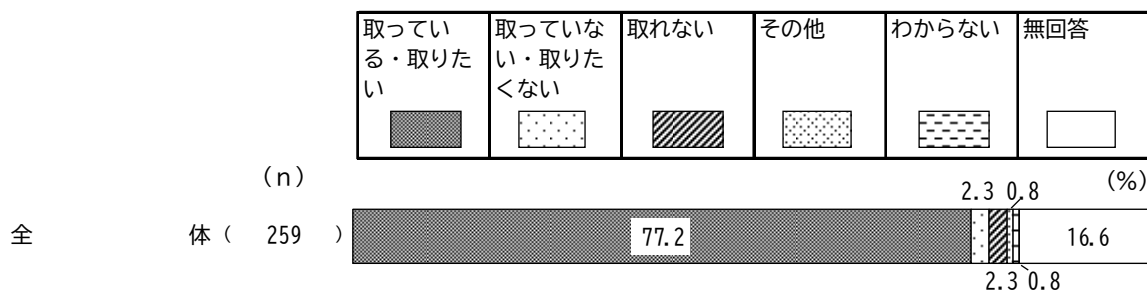


③ 育児休業制度の取得意向

問 16 仮に、あなたがこれから出産する場合、あなたは育児休業を取りたいと思いますか。
(1つに○)

育児休業制度の取得意向は、「取っている・取りたい」が77.2%、「取っていない・取りたくない」「取れない」がともに2.3%、「わからない」が0.8%となっている。

図表 7-25 育児休業制度の取得意向

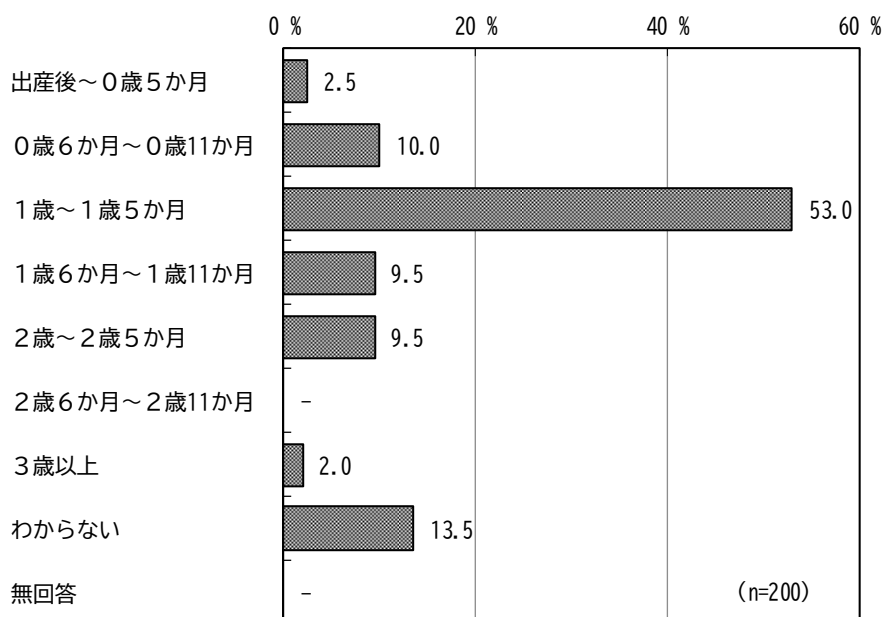


④ 育児休業の取得希望期間

【問 16-1 は、問 16 で「1. 取っている・取りたい」と回答した方にうかがいます】
問 16-1 どのくらいの期間、育児休業（現在の制度では、1歳6か月以後も保育園等に入れないなどの場合には、育児休業期間を最長2歳まで延長できます）を取る予定ですか。
あてはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

育児休業の取得希望期間は、「1歳～1歳5か月」が53.0%と最も高く、次いで「わからない」が13.5%、「0歳6か月～0歳11か月」が10.0%となっている。

図表 7-26 育児休業の取得希望期間

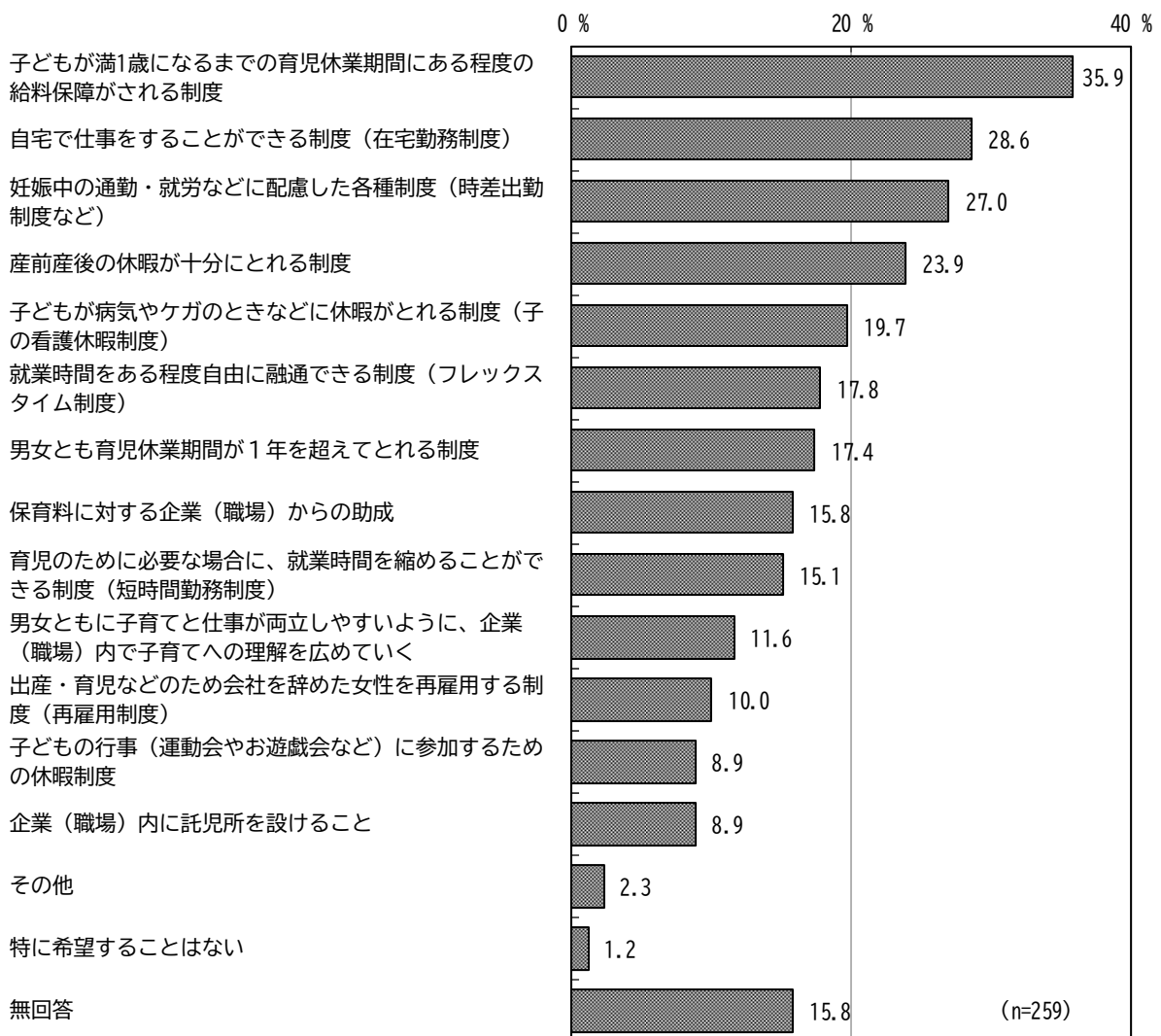


⑤ 子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組

問 17 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備としてどのようなものを望みますか。（3つまでに○）

子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組は、「子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度」が35.9%と最も高く、次いで「自宅で仕事をすることができる制度（在宅勤務制度）」が28.6%、「妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など）」が27.0%と続いている。

図表 7-27 子育てと仕事を両立するために希望する企業の取組

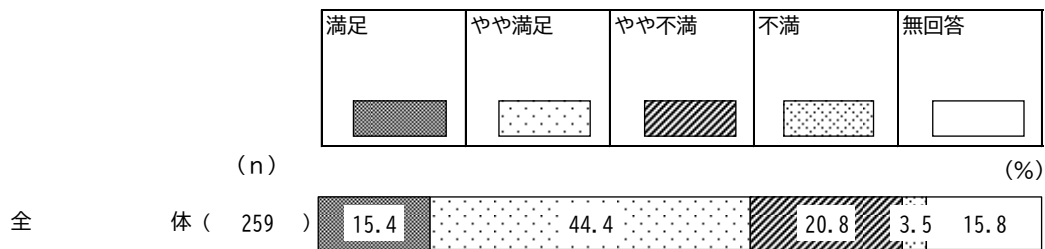


⑥ 仕事と家庭生活のバランスの満足度

問 18 あなたは、仕事と家庭生活のバランスに満足していますか。(1つに○)

仕事と家庭生活のバランスの満足度は、「やや満足」が44.4%と最も高く、次いで「やや不満」が20.8%、「満足」が15.4%となっている。

図表 7-28 仕事と家庭生活のバランスの満足度

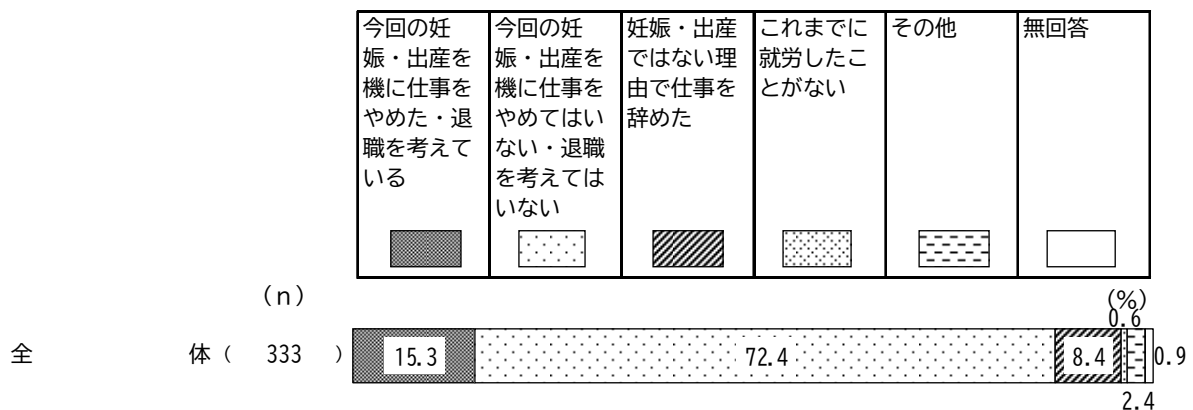


⑦ 今回の妊娠を機に仕事をやめたか、または出産後に退職を考えているか

問 19 あなたは、今回の妊娠・出産を機に仕事をやめましたか、もしくは近々退職を考えていますか。(1つに○)

今回の妊娠を機に仕事をやめたか、または出産後に退職を考えているかは、「今回の妊娠・出産を機に仕事をやめてはいない・退職を考えてはいない」が72.4%と最も高く、次いで「今回の妊娠・出産を機に仕事をやめた・退職を考えている」が15.3%、「妊娠・出産ではない理由で仕事を辞めた」が8.4%となっている。

図表 7-29 今回の妊娠を機に仕事をやめたか、または出産後に退職を考えているか



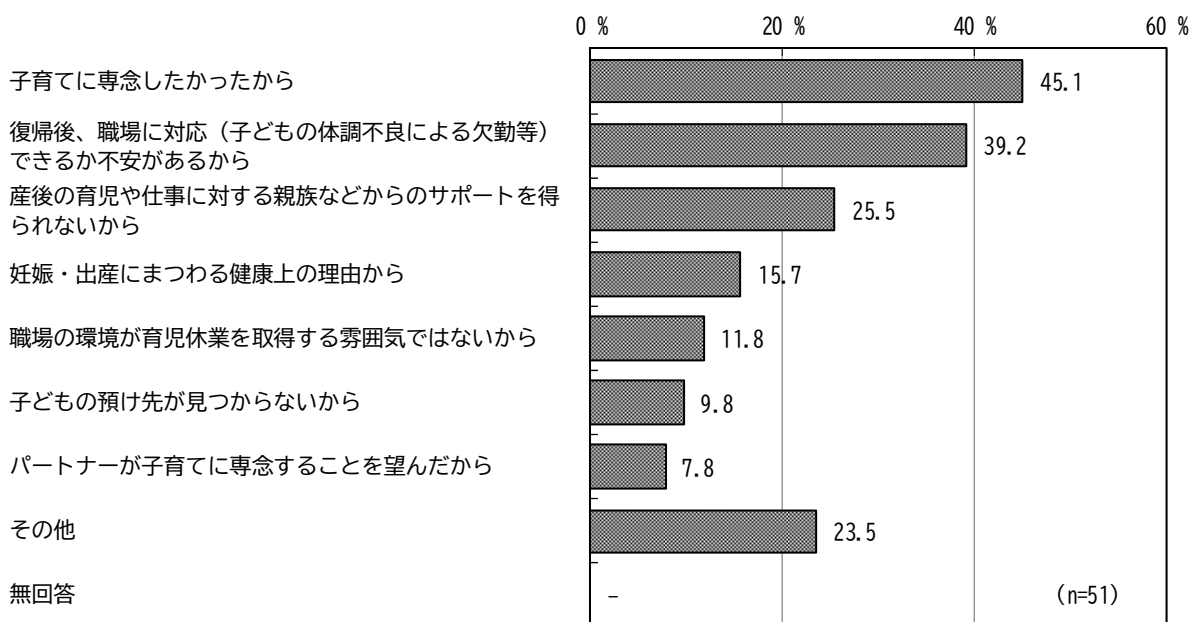
⑧ 今回の妊娠を機に仕事をやめた、または出産後に退職を考えている理由

【問 19-1 は、問 19 で「1. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめた・退職を考えている」と回答した方にかかっています】

問 19-1 その理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

今回の妊娠を機に仕事をやめた、または出産後に退職を考えている理由は、「子育てに専念したかったから」が 45.1%と最も高く、次いで「復帰後、職場に対応（子どもの体調不良による欠勤等）できるか不安があるから」が 39.2%、「産後の育児や仕事に対する親族などからのサポートを得られないから」が 25.5%と続いている。

図表 7-30 今回の妊娠を機に仕事をやめた、または出産後に退職を考えている理由
(複数回答)



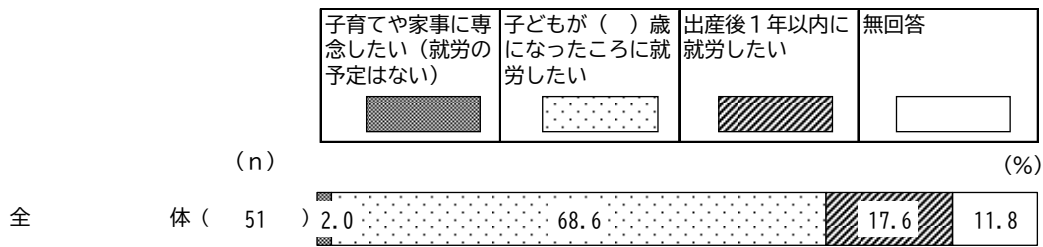
⑨ 就労希望

【問 19-2 は、問 19 で「1. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめた・退職を考えている」と回答した方にかがいます】

問 19-2 今後、仕事につきたいと思えますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

就労希望は、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が 2.0%、「子どもが () 歳になったところに就労したい」が 68.6%、「出産後 1 年以内に就労したい」が 17.6%となっている。

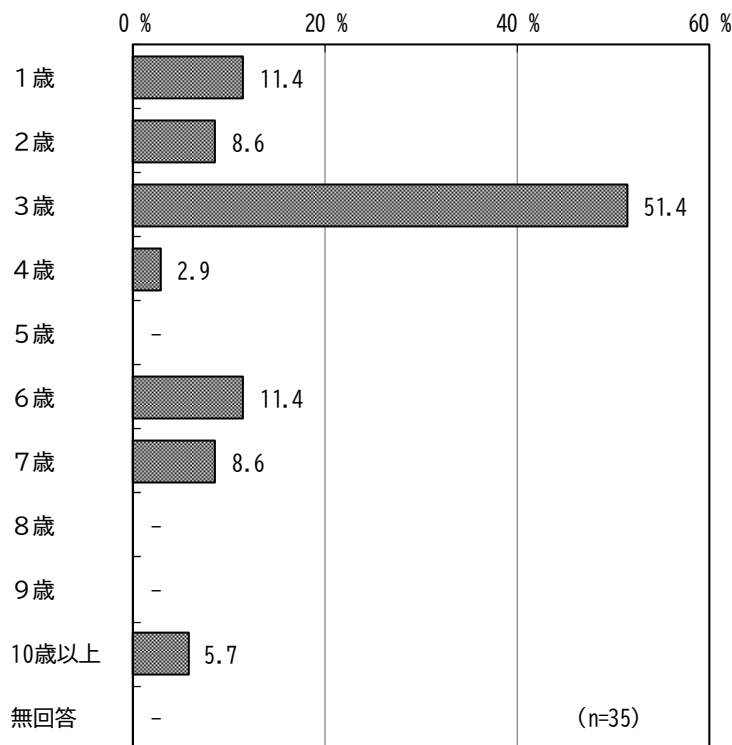
図表 7-31 就労希望



■就労時の子どもの年齢（「子どもが () 歳になったところに就労したい」）

就労時の子どもの年齢は「3 歳」が 51.4%と最も高く、次いで「1 歳」「6 歳」がともに 11.4%、「2 歳」「7 歳」がともに 8.6%となっている。

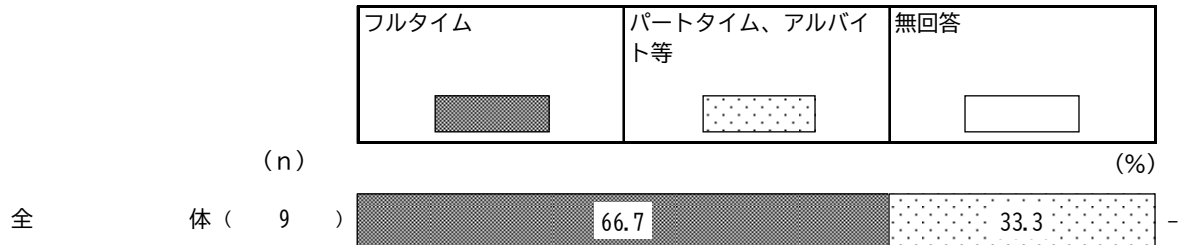
図表 7-32 就労時の子どもの年齢



■希望する就労形態

希望する就労形態は、「フルタイム」が66.7%、「パートタイム、アルバイト等」が33.3%となっている。

図表 7-33 希望する就労形態



■パート・アルバイトの希望する就労日数

「2日」「5日」がそれぞれ1人、「無回答」が1人。

■パート・アルバイトの希望する就労時間

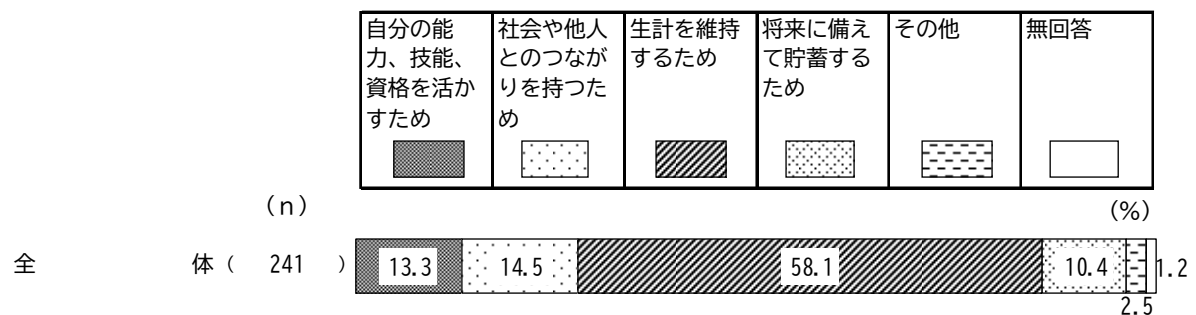
「4時間以上5時間未満」「5時間以上6時間未満」「8時間以上9時間未満」がそれぞれ1人。

⑩ 出産後も仕事を続ける理由、続けたい理由

【問 19-3は、問 19 で「2. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめてはいない・退職を考えてはいない」と回答した方にかがいます】
 問 19-3 出産後も仕事を続ける理由または続けたいと思う理由をお答えください。
 (1つに○)

出産後も仕事を続ける理由、続けたい理由は、「生計を維持するため」が58.1%と最も高く、次いで「社会や他人とのつながりを持つため」が14.5%、「自分の能力、技能、資格を活かすため」が13.3%となっている。

図表 7-34 出産後も仕事を続ける理由、続けたい理由

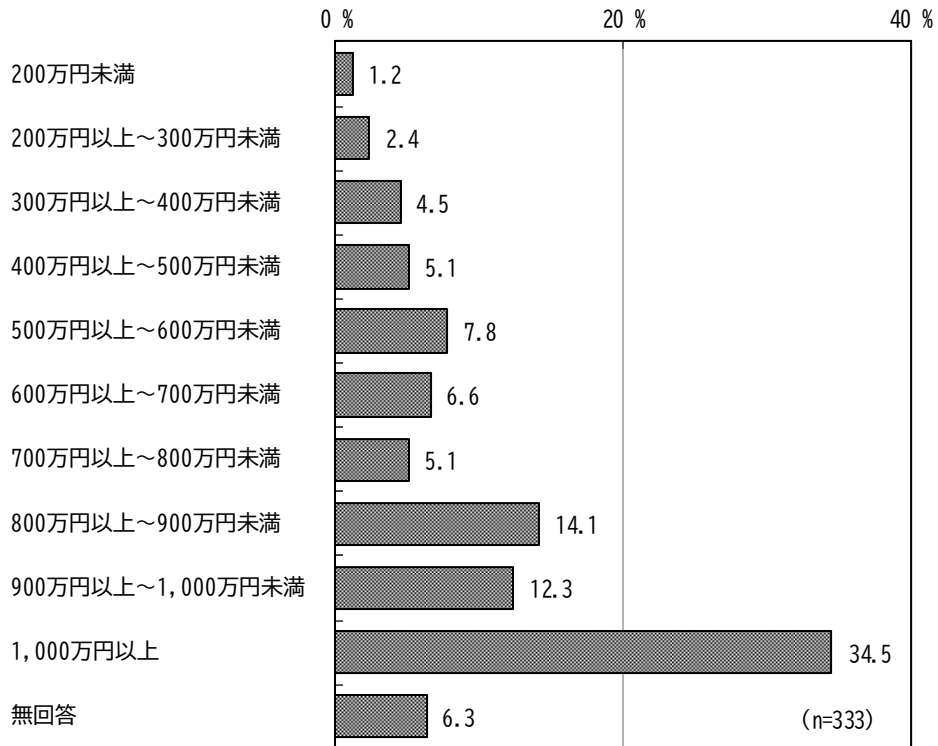


① 世帯年収

問 20 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

世帯年収は、「1,000万円以上」が34.5%と最も高く、次いで「800万円以上～900万円未満」が14.1%、「900万円以上～1,000万円未満」が12.3%となっている。

図表 7-35 世帯年収



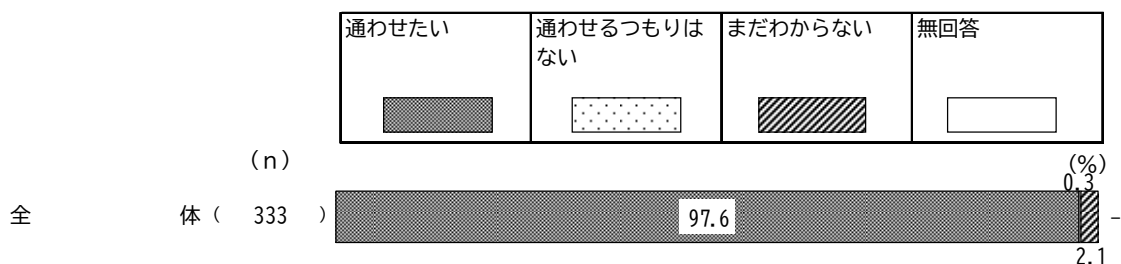
(6) 保育園・幼稚園等について

① 出産した子どもの保育園・幼稚園等への通園希望

問 21 あなたは、お子さんを保育園や幼稚園などに通わせたいと考えていますか。
(1つに○)

出産した子どもの保育園・幼稚園等への通園希望は、「通わせたい」が97.6%、「通わせるつもりはない」が0.3%、「まだわからない」が2.1%となっている。

図表 7-36 出産した子どもの保育園・幼稚園等への通園希望



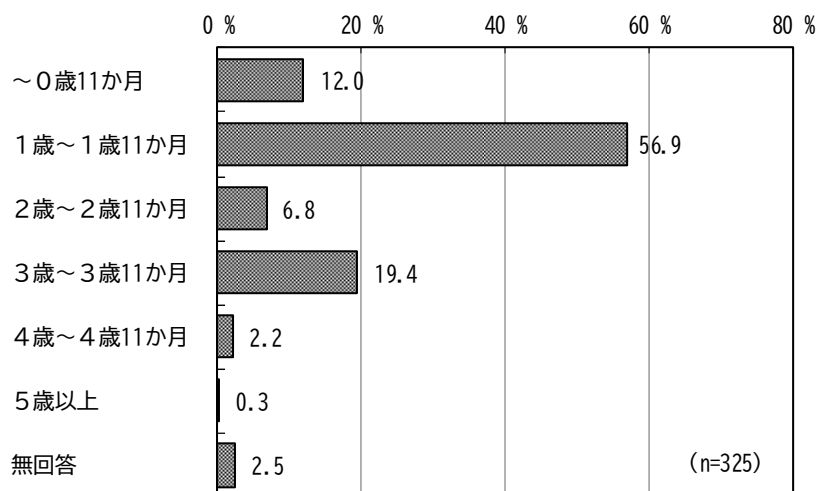
② 通わせたい年齢・施設・理由

【問 21-1 は、問 21 で「1. 通わせたい」と回答した方にうかがいます】
問 21-1 お子さんが「(1) いくつになったら」、「(2) どこに」通わせたいと考えていますか。また、「(3) 通わせたいと思う理由」をお答えください。

■ 通わせたい年齢

通わせたい年齢は、「1歳～1歳11か月」が56.9%と最も高く、次いで「3歳～3歳11か月」が19.4%、「～0歳11か月」が12.0%となっている。

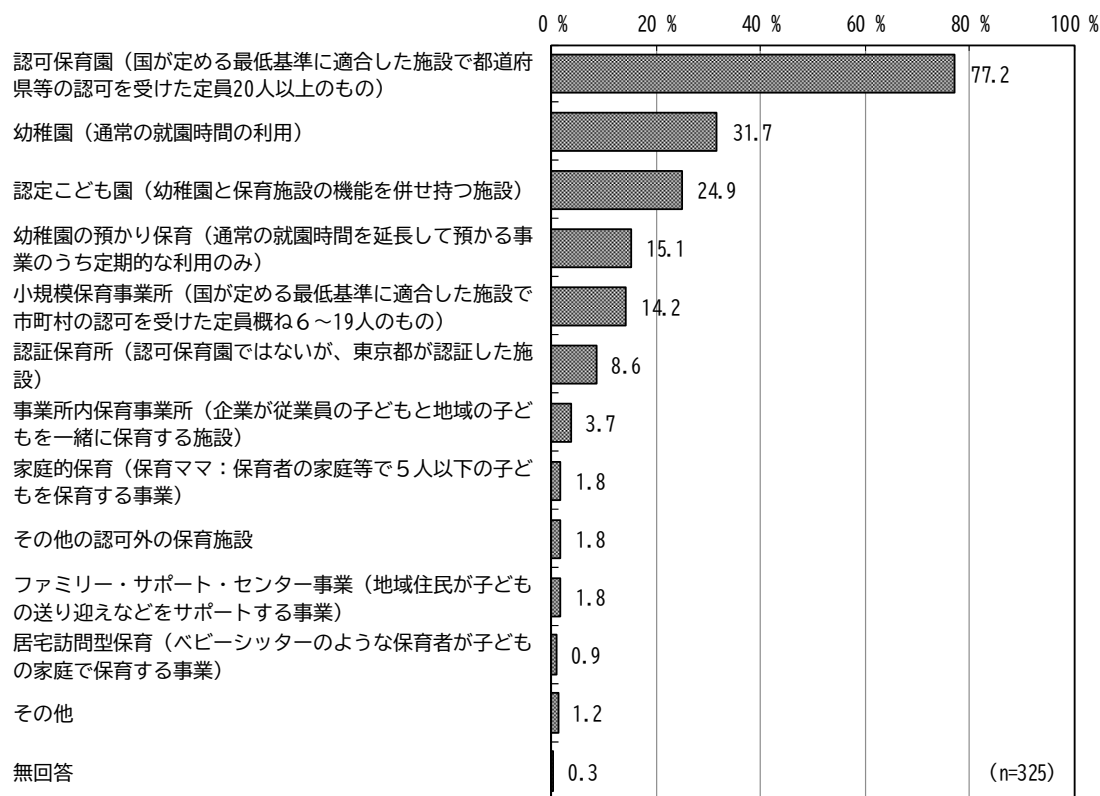
図表 7-37 通わせたい年齢



■通わせたい施設

通わせたい施設は、「認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が77.2%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が31.7%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が24.9%と続いている。

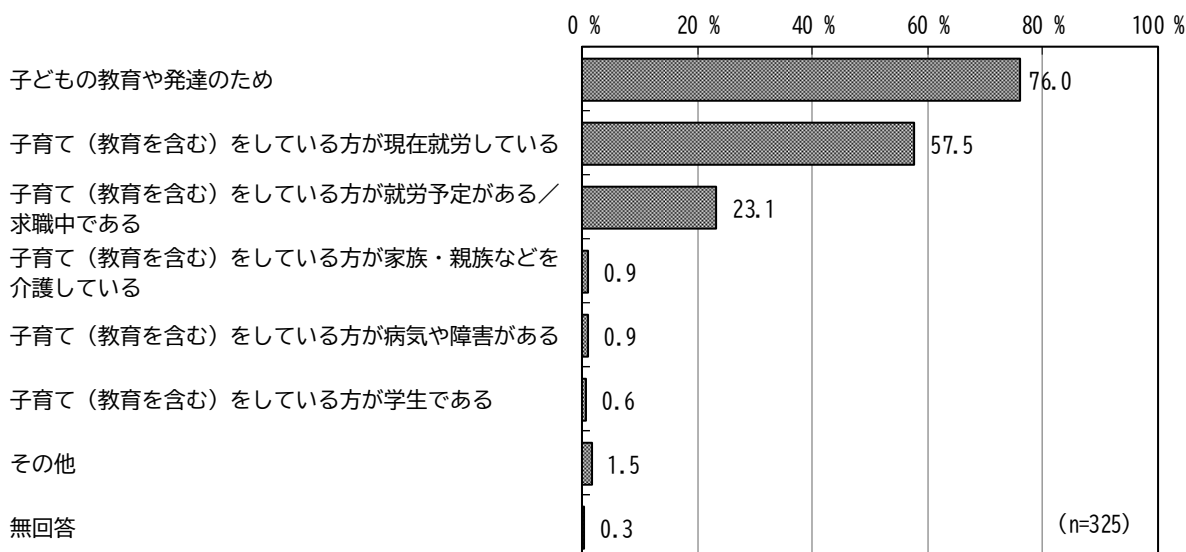
図表 7-38 通わせたい施設（複数回答）



■通わせたい理由

通わせたい理由は、「子どもの教育や発達のため」が76.0%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が57.5%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である」が23.1%と続いている。

図表 7-39 通わせたい理由（複数回答）



③ 区の事業の認知度・利用意向

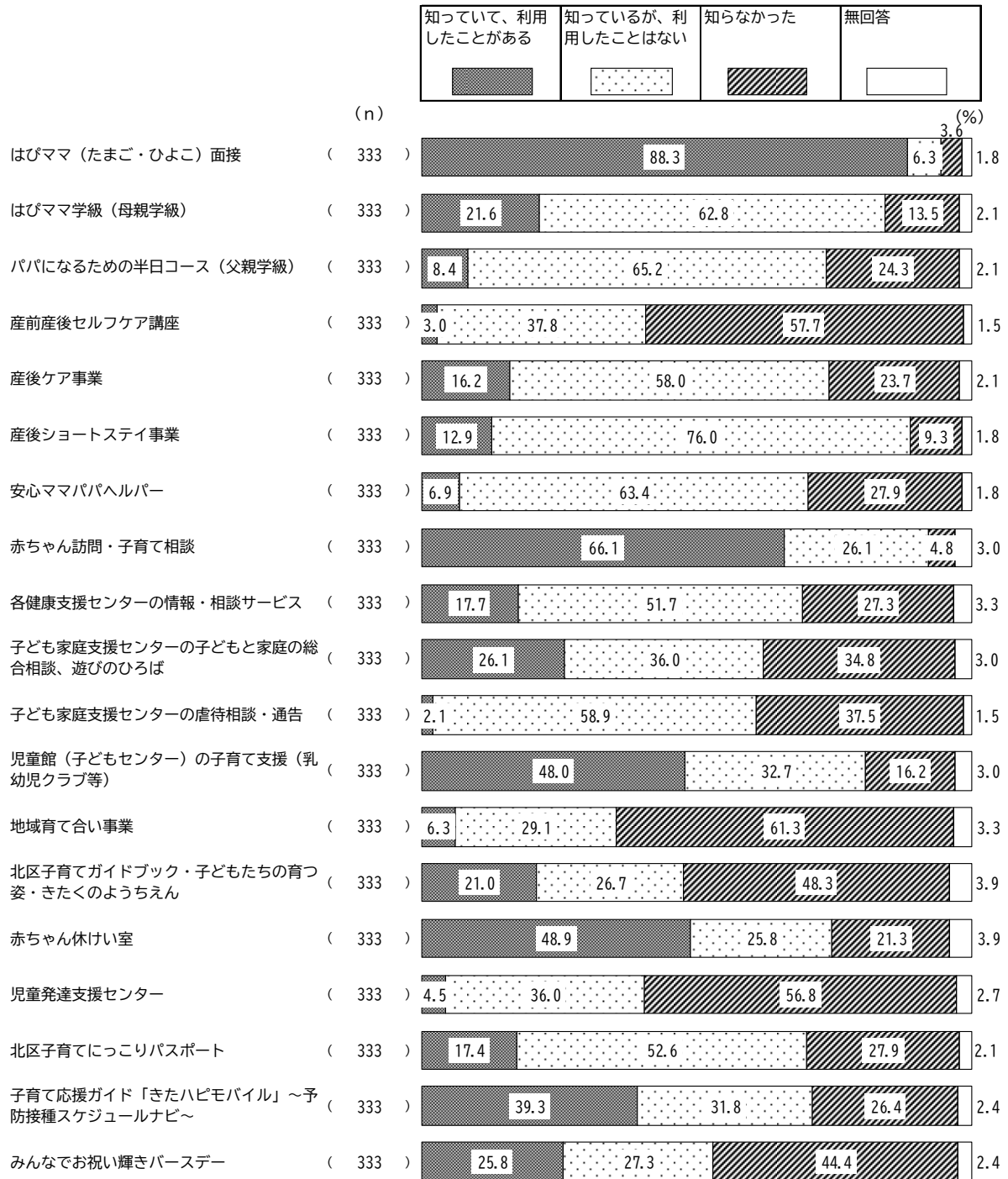
問 22 北区では、妊娠期から子育てを切れ目なく支援する次のような事業を行っています。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(①～⑱の事業ごとに、A：認知度、B：利用意向それぞれについて、該当する番号に○)

- ①はぴママ（たまご・ひよこ）面接
- ②はぴママ学級（母親学級）
- ③パパになるための半日コース（父親学級）
- ④産前産後セルフケア講座
- ⑤産後ケア事業
- ⑥産後ショートステイ事業
- ⑦安心ママパパヘルパー
- ⑧赤ちゃん訪問・子育て相談
- ⑨各健康支援センターの情報・相談サービス
- ⑩子ども家庭支援センターの子どもと家庭の総合相談、遊びのひろば
- ⑪子ども家庭支援センターの虐待相談・通告
- ⑫児童館（子どもセンター）の子育て支援（乳幼児クラブ等）
- ⑬地域育て合い事業
- ⑭北区子育てガイドブック・子どもたちの育つ姿・きたくのようちえん
- ⑮赤ちゃん休けい室
- ⑯児童発達支援センター
- ⑰北区子育てにっこりパスポート
- ⑱子育て応援ガイド「きたハピモバイル」～予防接種スケジュールナビ～
- ⑲みんなでお祝い輝きバースデー

■区の事業の認知度

「知っている、利用したことがある」は、『はぴママ（たまご・ひよこ）面接』が88.3%と最も高く、次いで『赤ちゃん訪問・子育て相談』が66.1%となっている。一方、「知らなかった」は、『地域育て合い事業』が61.3%と最も高く、次いで『産前産後セルフケア講座』が57.7%となっている。

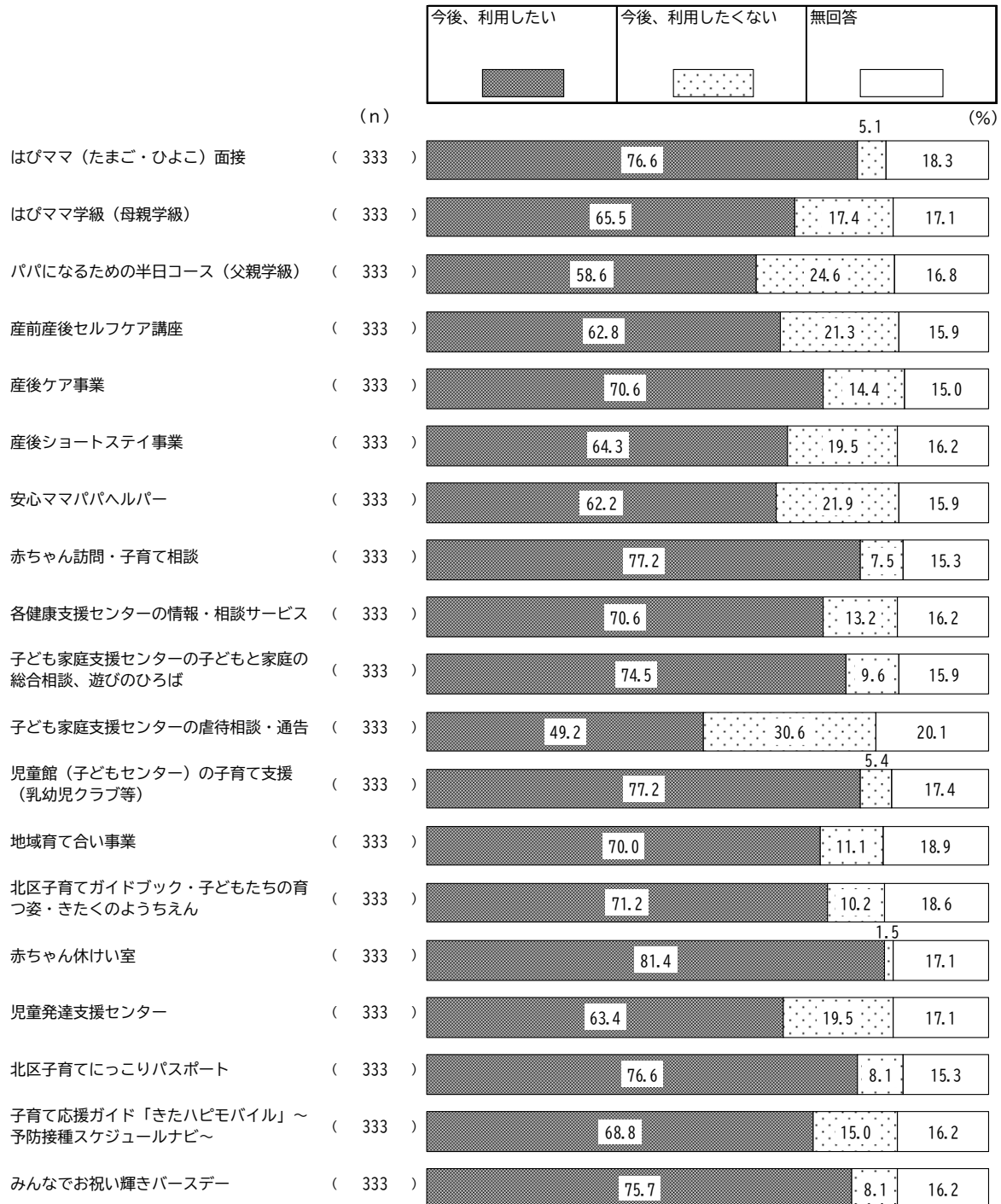
図表 7-40 区の事業の認知度



■区の事業の利用意向

すべての事業において「今後、利用したい」が「今後、利用したくない」を上回っている。『子ども家庭支援センターの虐待相談・通告』では「今後、利用したくない」が30.6%と最も高くなっている。

図表 7-41 区の事業の利用意向



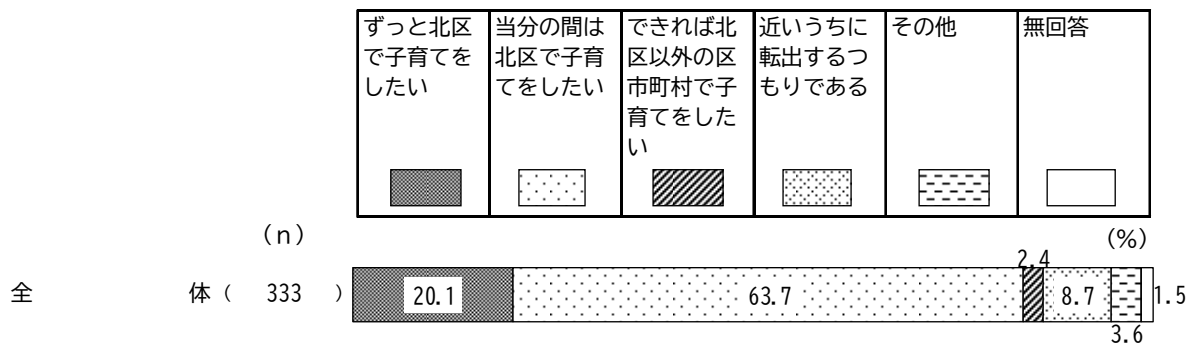
(7) 出産・子育てに関して北区に期待すること

① 北区での子育て意向

問 23 北区で子育てをしたいと思いますか。(1つに○)

北区での子育て意向は、「当分の間は北区で子育てをしたい」が63.7%と最も高く、次いで「ずっと北区で子育てをしたい」が20.1%、「近いうちに転出するつもりである」が8.7%となっている。

図表 7-42 北区での子育て意向

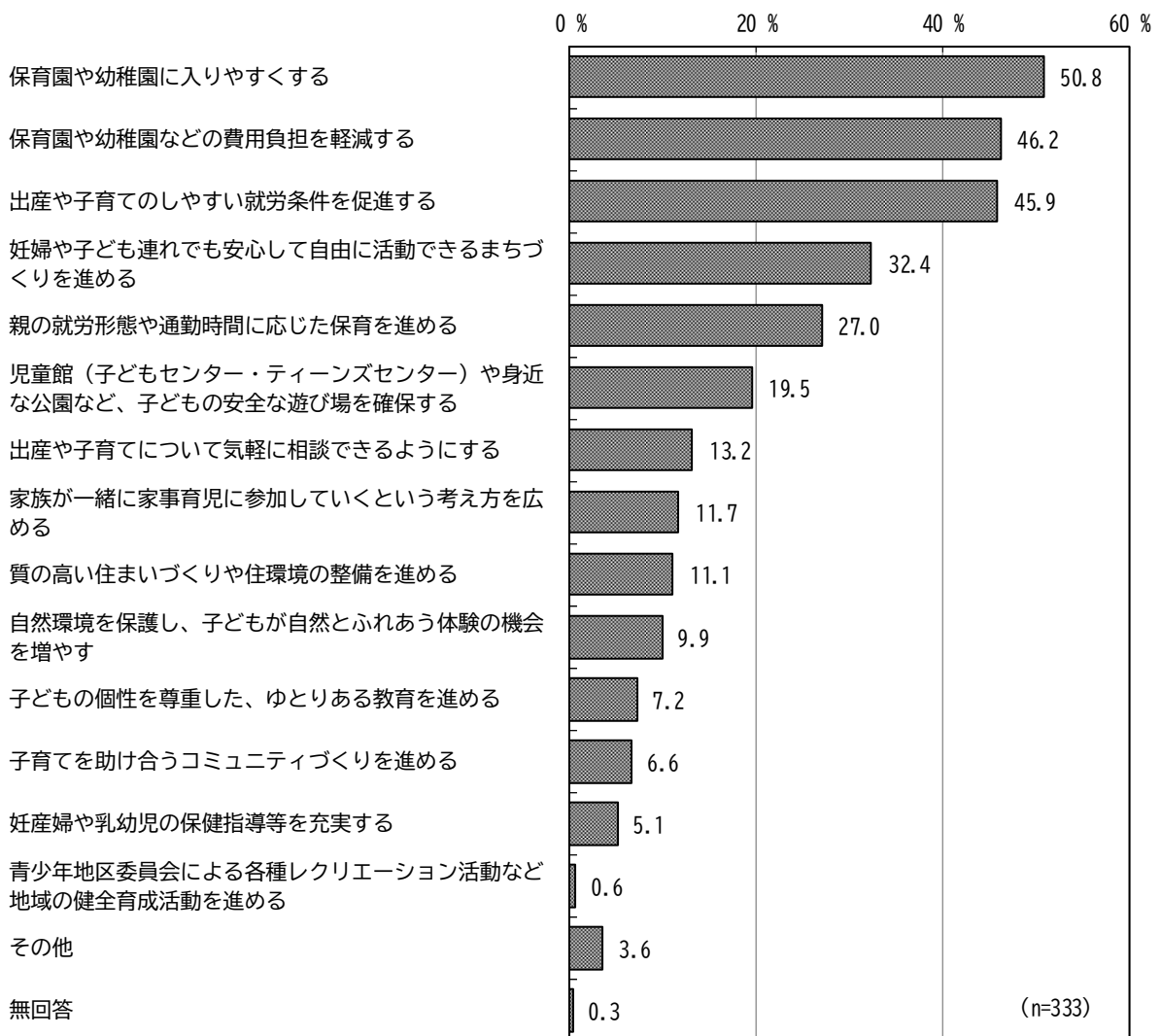


② 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること

問 24 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。
(3つまでに○)

子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「保育園や幼稚園に入りやすくする」が 50.8%と最も高く、次いで「保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」が 46.2%、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が 45.9%と続いている。

図表 7-43 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること



(8)自由意見

問 25 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

① 経済的支援(生活困窮含む)(83 件)

- ・ 0～2 歳児の保育料の負担軽減処置を行っていただきたい。
- ・ 不妊助成金は北区としては行ってなかった。産後ケアの利用日数は他の区を比べて一番短い期間であった。
- ・ 教育費の補助について、所得制限により補助を受けられない世帯が多いです。所得だけではなく、子どもの人数により受けられる公的な補助を増やしてほしいと思います。
- ・ 出産一時金を増やし、少しでも生活がきつくなならないようになってほしい。そうすれば少子化も少しは改善される。
- ・ 子どもが欲しくても経済的な理由で諦めている家庭が多くあると思う。手当を増やす、減税する等の対策が必要だと思う。
- ・ 北区からのポイントでの支援は助かりますが、内容をもっと充実させてほしいです。ミルクやオムツ、離乳食などを加えてほしいです。家電の内容のブランドも偏りすぎなので、メーカーを増やしたり、除湿器だけでなく加湿器も加えてほしいです。
- ・ 全年齢保育園費用無償化、分娩費/妊婦健診の保険適用/無償化、所得制限の撤廃、扶養控除の復活・大学費用の補助拡大。今の国のやり方のままでは、金銭的不安から少子化は進むばかりです。自治体からの支援や働きかけ等があるとありがたいです。

② 子育て環境(安心・安全)(55 件)

- ・ 清潔で安全な環境(分煙や公園でのアルコール禁止)、交通安全(駅まわりの安全性)、公園・広場の充実、トイレ設備、イベントの充実(体験型、お祭りなど)、駅周辺のテナント充実。
- ・ 交通や公共施設の赤ちゃん、子ども環境が不十分。公園のおむつ台が非常に汚れていたり、駅のバリアフリー対応が不足して不便。まちづくりを変えてほしい。赤羽駅にエレベーター設置、増設してほしい(北口)。
- ・ 小学生ぐらいの子がボール遊びをする場所が少ないように思います。道路でキャッチボールや素振りをする子がいます。危ないけれど、遊び場所がないのかなとも思います。
- ・ 産前・産後のママや子ども達が周囲を気にせず気軽に行けるようなカフェ(複合施設)。体に良い食事やカフェインレス飲料、テイクアウトできるお弁当や惣菜、短時間睡眠がとれてその間子守をしてくれる人、情報交換できる場、ヨガやエクササイズなど他にない魅力的なスポットができれば、北区に来たいという人も増えると思います。ショッピングセンターや、室内遊び場などもほしい。
- ・ 子どもが安心して遊ぶことの出来る場所(公園)のような所がヶ所に集中しすぎている。児童館も以前は、北赤羽の方にも設置があったが、今はほとんど浮間舟渡に集約されてしまっていて、少し遠くて行かなくなった。もう少し地域まんべんなく場所の提供をしてほしい。

③ 保育園・幼稚園等(就学前教育含む)(36件)

- ・保育園について0～1歳から入園させないと空きがない、という状況がなくなるといいと思います。もう少し親もゆとりをもって育児をし、夫婦の育休を使うことができるといいです。保育園に入りたいタイミング、就労の仕方、もう少し自分達で選ぶことができる社会になるといいです。
- ・まだ、子どもは保育園に入れていないですが、今後私も働くことを考えると近くの保育園に入りたいです。北区も希望園に入りにくいと聞くので、保育園の定員数等の枠を増やしてほしいと思います。
- ・保育園にスムーズに入れるよう制度を整えていただきたいです。
- ・待機児童がゼロといっても遠い園や人気のない園に空き数があるだけであり、実際入りたい園は人気で入れないという状況をなんとかしてほしい。
- ・北区は充実した支援をしてくれているように感じます。引き続き、色々な施策に取り組んでいただきたいです。早生まれ児が保育園入所において不利となっている現状について何か改善をしていただけたらと思います。早生まれに限らず、入りたい時に保育園に入れられる体制にさせていただくという方が近いかもしれません。
- ・これから双子を出産し、保育園に入園させたいと思っているが、同じ保育園を希望すると入れる可能性が下がると言われました。2人の子を育てるために働かなくては行けないが、入園できないとなるととても困るので、今から不安です(双子で違う園となると、通うのにかなり負担が大きくなります)。是非、改善してほしいです。

④ 各種保育サービス(34件)

- ・北区に転入して、本当にたくさんの支援があり、助かっています。ただショートステイ等が自宅から遠く利用できません。はぴママひよこ面接や手当など本当に助かっています。
- ・産後ケア事業、安心ママパパヘルパーを利用しました。とても助かりましたが、子が動き回る時期(ハイハイやつかまり立ち)もとても疲れます、6か月までではなく、1年まで利用できたら嬉しかったです。
- ・元々、千葉県に住んでいたが、北区は本当に子育てに真摯に取り組んでおり、感謝の気持ちでいっぱいです。はぴママタマゴや産後ケア等、本当に充実しており、ありがたいです。家政婦やベビーシッターも支援して下さるので、都内に頼れる人がいなくても心強いです。これからもどんどん取り組みを進めてほしいです。
- ・生後9ヵ月になってやっと夫婦で協力できていると感じますが、生後半年ぐらいは右も左も分からない状態で私が率先して育児をしていたので、負担が大きかったです。産後ケア、ショートステイの日数をもっと増やしていただけたらうれしいです。また、出産や育児の悩みを気軽に相談できる担当の助産師さん等がいると助かります。
- ・出産後、母乳に関するトラブルや悩みが多かったので、助産師の家庭訪問による母乳ケアの助成があるとありがたいです(母乳の詰まり、白斑、乳腺炎など)。

⑤ 就労・介護等(15件)

- ・男性の育休取得の推進

- ・共働きでも無理なく育児を進めていけるように、労働環境の改善及び継続的な子ども手当の支給などの制度の充実が必要と考えます。
- ・会社の時短制度が3才までなので、小学校入学までに国で決めてもらえるとうれしいです。このままだと、転職をしなければいけないと思う。
- ・不妊治療のため仕事を辞めました。その後働きたいが、保育園が決まっていなかったため仕事できません。不妊治療の負担や就労環境の整備、求職中でも入りやすい保育園の整備をお願いしたいです。

⑥ 地域の子育て支援拠点等(14件)

- ・今、妊娠しているが一人目なので、まだ北区の子ども向け施設を利用していないですが、近所の図書館（滝野川）を見ていると、子ども向けのものが充実していて、今から子どもを連れて行くのが楽しみです。児童館、体育館に行ける年齢になったら早く連れて行きたいです。
- ・育休中は児童館などで親子一緒に交流できる仲間を見つけることができましたが、育休が明けた後に北区に転入したので、地域の方との交流機会が見つけれません。地域の親子が参加できるイベントとかがあれば嬉しいです。神戸で出産した時はBPプログラムという生後2～3か月の親子が週1で6回くらい集まる会があり、ママ友作りにとってもよかったです。

⑦ 妊娠・出産(11件)

- ・北区にはお産が可能な医院が少ない印象です（個人のクリニックは高額すぎる）。無痛・和痛分娩ができる所も増えてほしいです。
- ・3・4か月健診の医師が健診内容をこなすのみで、こちらの悩み・相談への対応がなかったため、助産師への相談を検討したが近くにいないため気軽に相談することができなかつた。北区の助産院の数を増やすような取り組みを行ってほしいです。

⑧ 地域における子育て支援(10件)

- ・地方から北区へ引っ越して参りました。周りに頼れるような人もおらずひっそりと育児をしています。もっとママ友が作りやすい環境になると嬉しいです。
- ・核家族の多い地域なので親だけでなく、子どもが安心して頼れる大人（地域の方、教員の方など）が多くいるといいなと思います。成長すればする程、親以外の大人との関わりが大事なので。

8. 児童養護施設等利用者

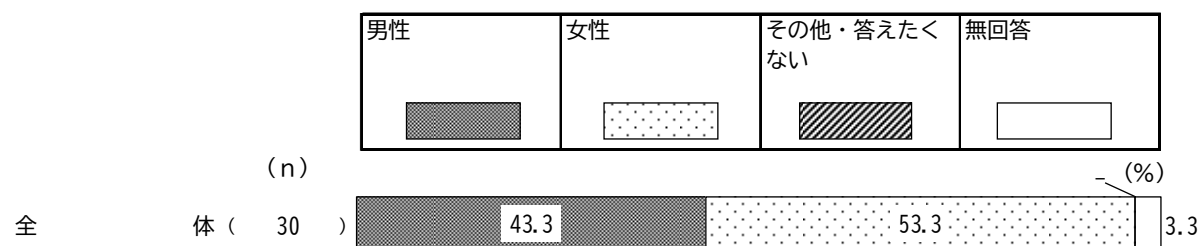
(1)本人について

① 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

性別は、「男性」が43.3%、「女性」が53.3%となっている。

図表 8-1 性別

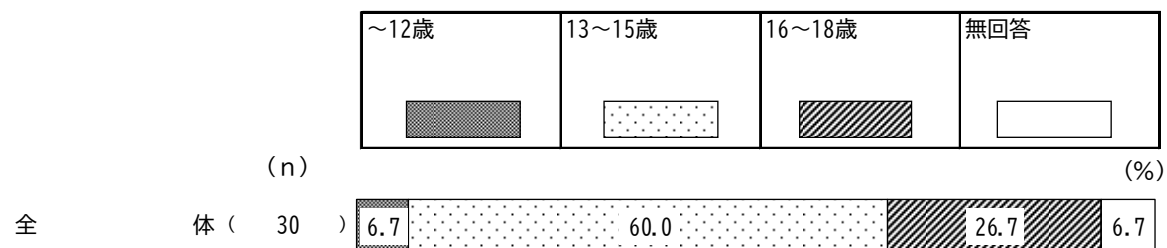


② 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。

年齢は、「～12歳」が6.7%、「13～15歳」が60.0%、「16～18歳」が26.7%となっている。

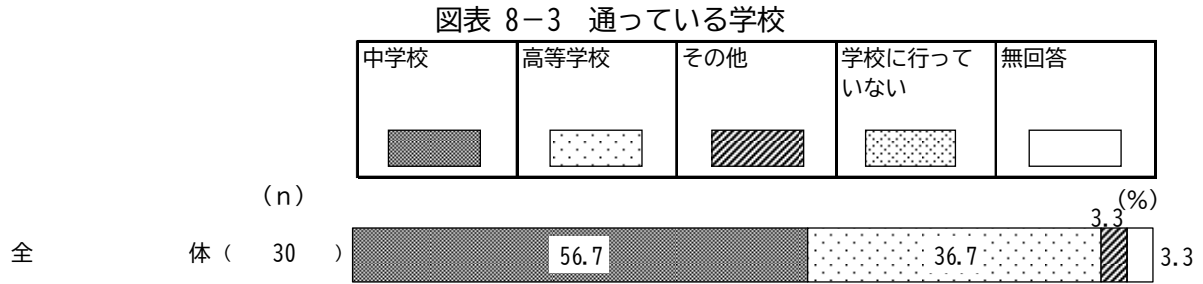
図表 8-2 年齢



③ 通っている学校

問3 あなたが現在通っている学校を教えてください。(1つに○)

通っている学校は、「中学校」が56.7%、「高等学校」が36.7%となっており、「学校に行っていない」はいなかった。

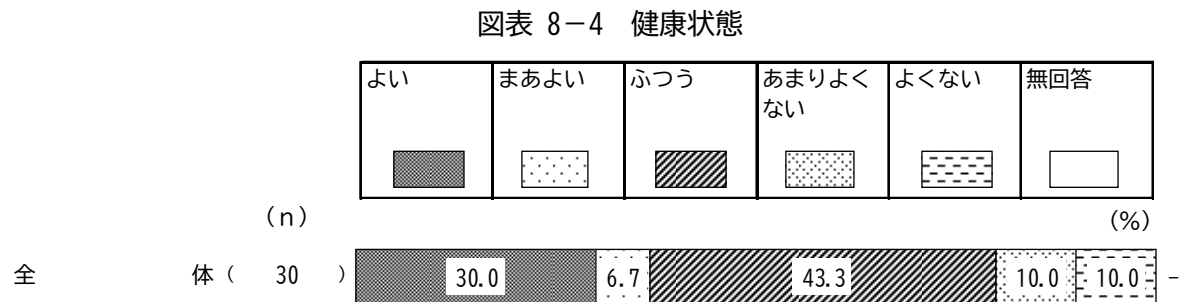


(2) 普段の生活について

① 健康状態

問4 あなたは自分の健康状態についてどのように考えますか。(1つに○)

健康状態は、「ふつう」が43.3%と最も高く、次いで「よい」が30.0%、「あまりよくない」「よくない」がともに10.0%となっている。

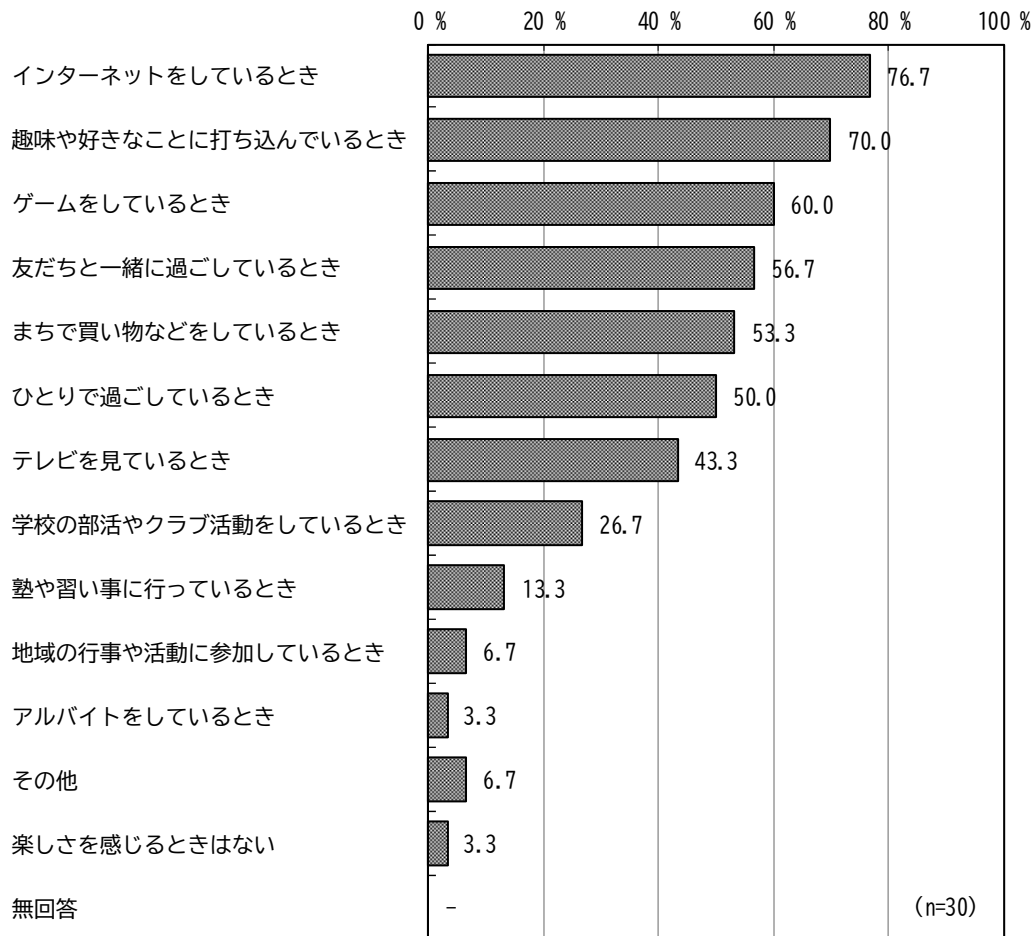


② 普段の生活で楽しさを感じる時

問5 普段の生活で、どんなときに楽しさを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

普段の生活で楽しさを感じる時は、「インターネットをしているとき」が76.7%と最も高く、次いで「趣味や好きなことに打ち込んでいるとき」が70.0%、「ゲームをしているとき」が60.0%と続いている。

図表 8-5 普段の生活で楽しさを感じる時 (複数回答)

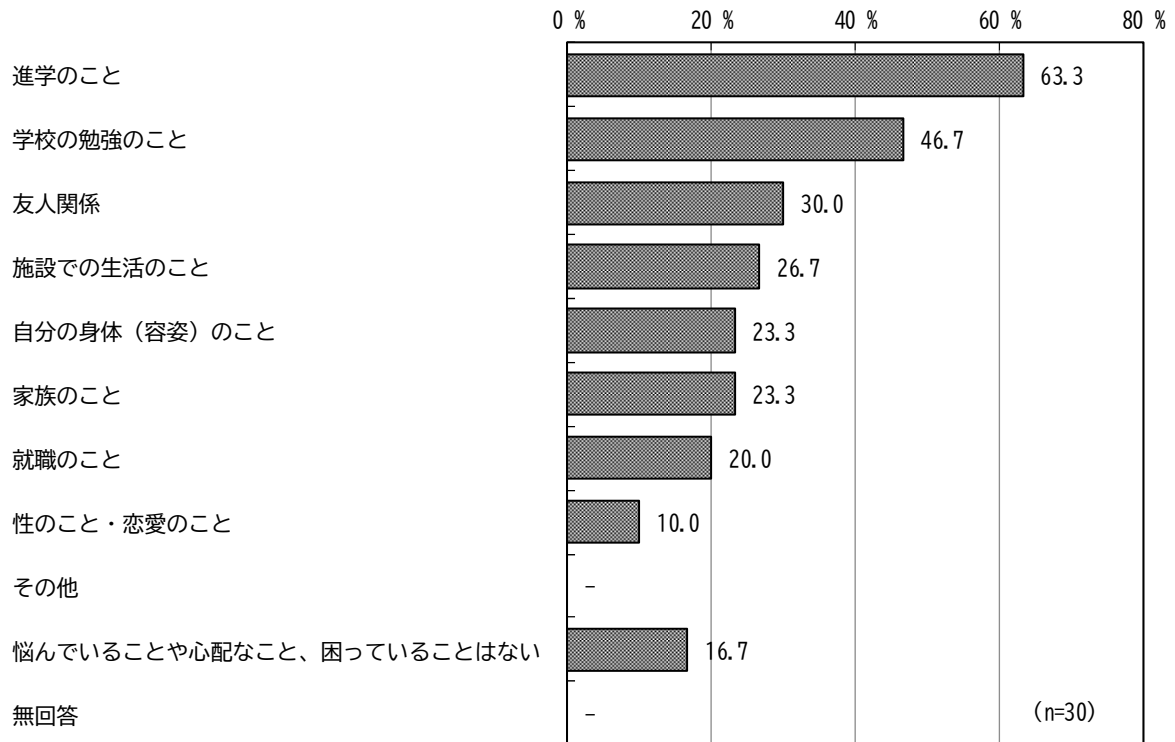


③ 悩んでいることや心配なこと、困っていること

問6 あなたが今悩んでいることや心配なこと、困っていることがあれば、教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

悩んでいることや心配なこと、困っていることは、「進学のこと」が63.3%と最も高く、次いで「学校の勉強のこと」が46.7%、「友人関係」が30.0%と続いている。

図表 8-6 悩んでいることや心配なこと、困っていること（複数回答）

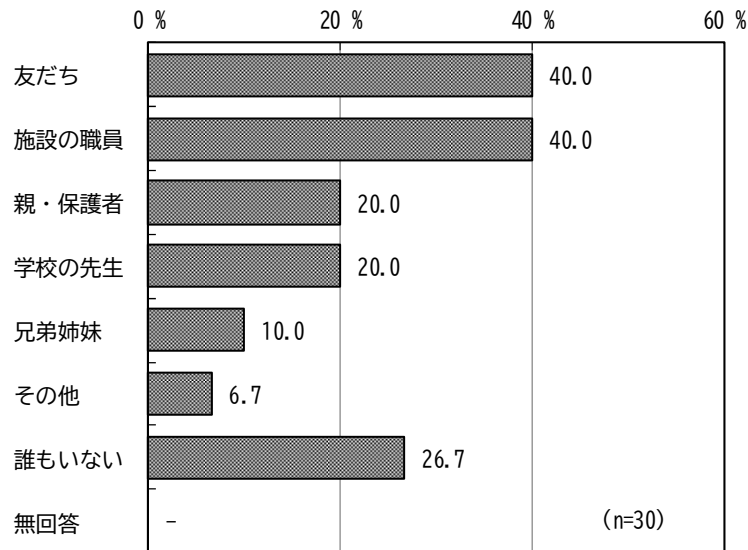


④ 心配ごとや悩みの相談先

問7 あなたは、心配ごとや悩みがあるとき、誰に話したり、相談したりしますか。
(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みの相談先は、「友だち」「施設の職員」がともに40.0%と最も高く、次いで「誰もいない」が26.7%、「親・保護者」「学校の先生」がともに20.0%と続いている。

図表 8-7 心配ごとや悩みの相談先（複数回答）



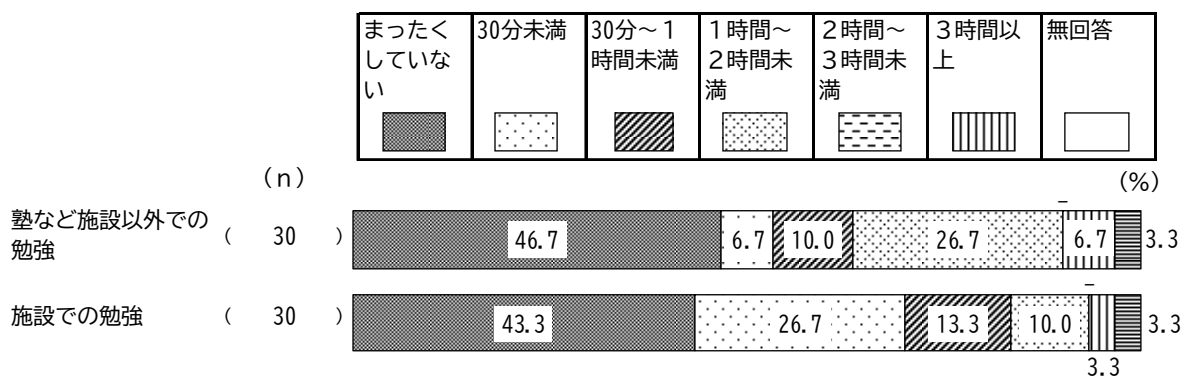
⑤ 平日の学校以外の場所での勉強時間

問8 あなたは、平日に学校以外の場所での勉強をどれくらいしていますか。
(①塾など施設以外での勉強、②施設での勉強、のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

『塾など施設以外での勉強』は、「まったくしていない」が46.7%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が26.7%、「30分～1時間未満」が10.0%となっている。

『施設での勉強』は、「まったくしていない」が43.3%と最も高く、次いで「30分未満」が26.7%、「30分～1時間未満」が13.3%となっている。

図表 8-8 平日の学校以外の場所での勉強時間



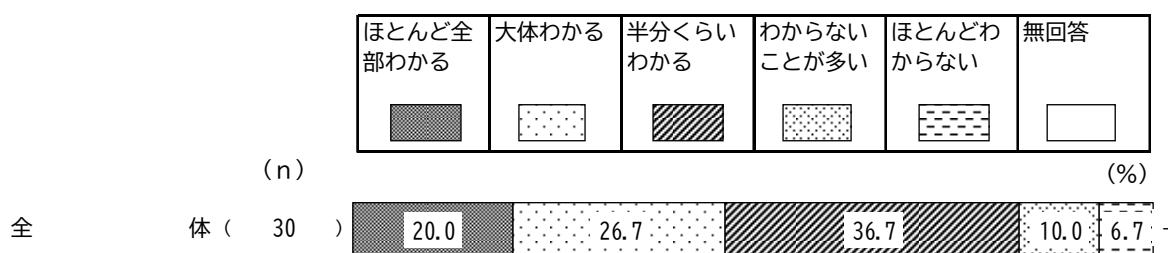
(3)学校生活等について

① 学校の授業がどのくらいよくわかるか

問9 あなたは、学校の授業がどのくらいよくわかりますか。(1つに○)

学校の授業がどのくらいよくわかるかは、「半分くらいわかる」が36.7%と最も高く、次いで「大体わかる」が26.7%、「ほとんど全部わかる」が20.0%となっている。

図表 8-9 学校の授業がどのくらいよくわかるか



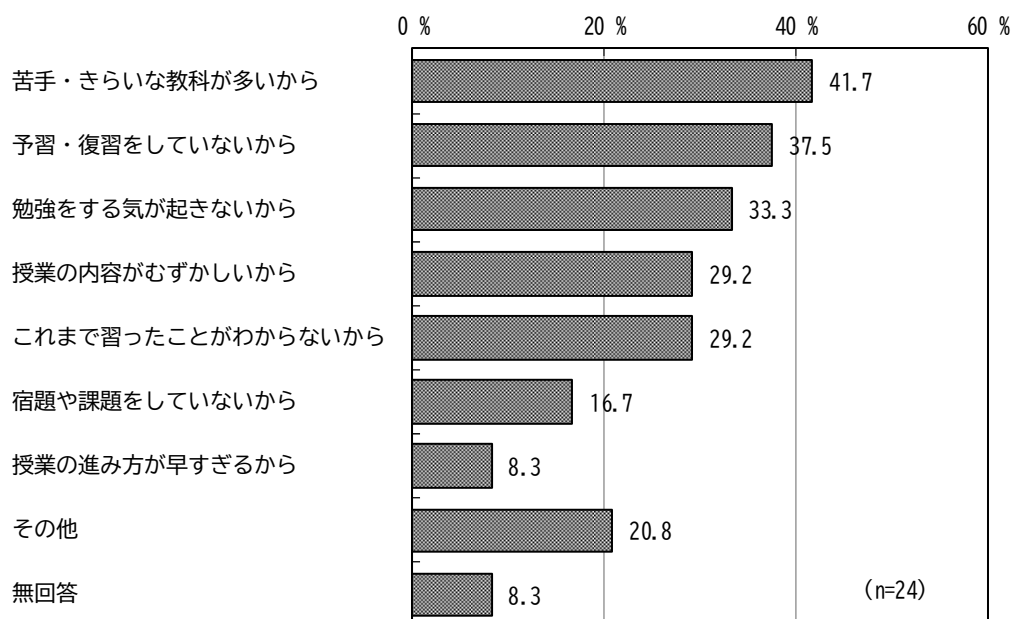
② 授業がわからない理由

【問9-1は、問9で「2. 大体わかる」～「5. ほとんどわからない」のいずれかに答えた人にお聞きします】

問9-1 授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

授業がわからない理由は、「苦手・きれいな教科が多いから」が41.7%と最も高く、次いで「予習・復習をしていないから」が37.5%、「勉強をする気が起きないから」が33.3%と続いている。

図表 8-10 授業がわからない理由 (複数回答)

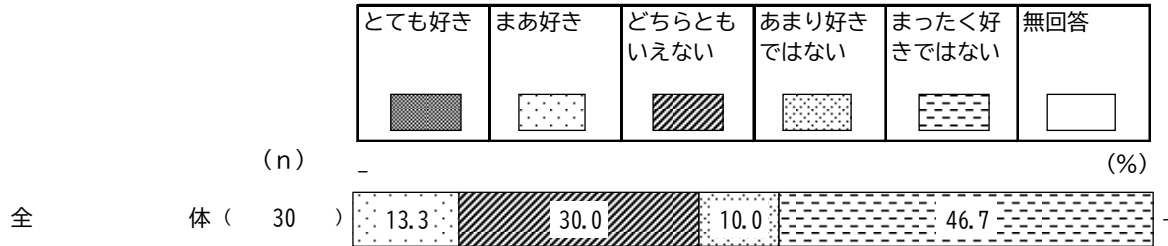


③ 勉強が好きかどうか

問10 あなたは、勉強が好きですか。(1つに○)

勉強が好きかどうかは、「まったく好きではない」が46.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.0%、「まあ好き」が13.3%となっている。

図表 8-11 勉強が好きかどうか



(4)あなたの考えや将来について

① 自身の考えについて

問11 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

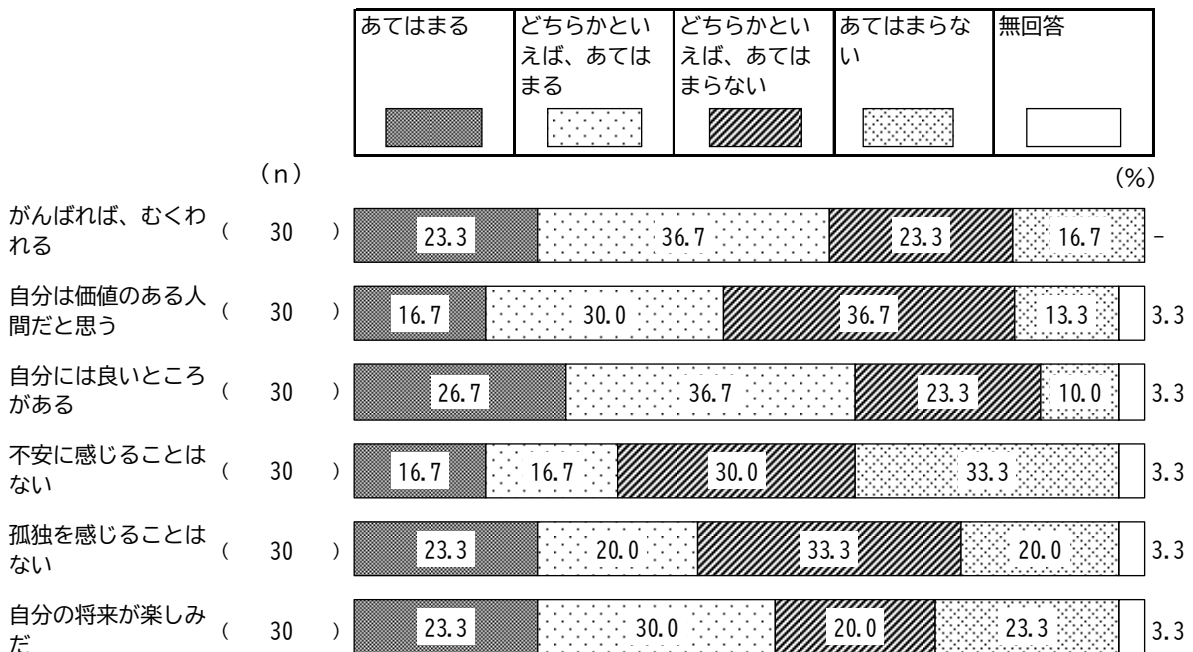
- ①がんばれば、むくわれる ②自分は価値のある人間だと思う ③自分には良いところがある
④不安に感じることはない ⑤孤独を感じることはない ⑥自分の将来が楽しみだ

『がんばれば、むくわれる』『自分には良いところがある』『自分の将来が楽しみだ』は、「どちらかといえば、あてはまる」が最も高く、順に36.7%、36.7%、30.0%となっている。

『不安に感じることはない』は、「あてはまらない」が最も高く、33.3%となっている。

『自分は価値のある人間だと思う』『孤独を感じることはない』は、「どちらかといえば、あてはまらない」が最も高く、順に36.7%、33.3%となっている。

図表 8-12 自身の考えについて

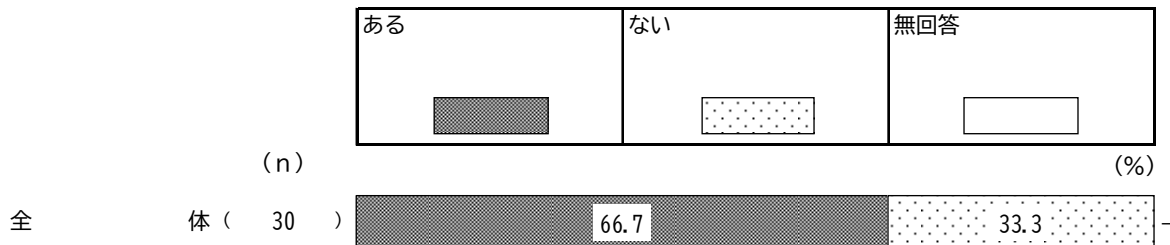


② 将来の夢

問 12 あなたには、将来の夢がありますか。(1つに○)

将来の夢は、「ある」が66.7%、「ない」が33.3%となっている。

図表 8-13 将来の夢

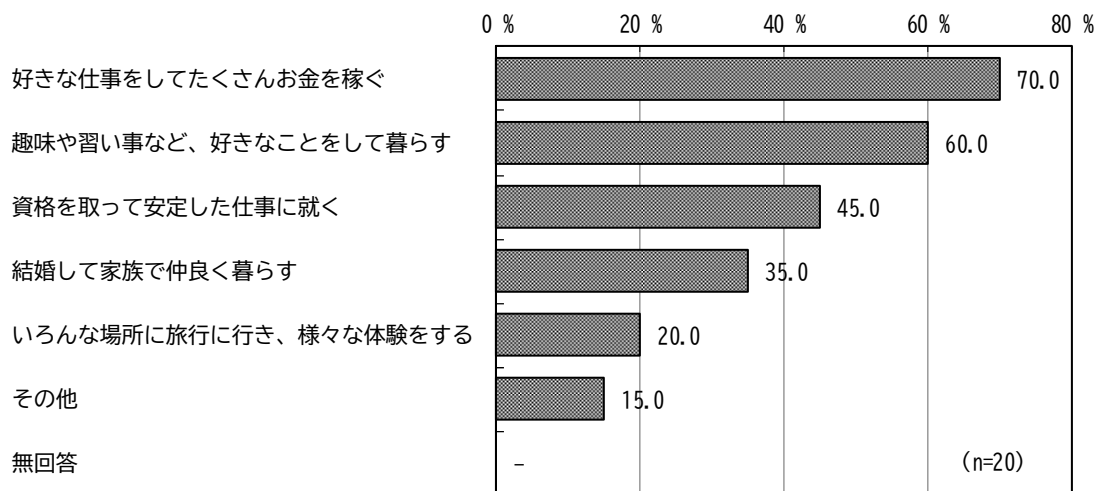


③ どのような夢か

【問 12-1 は、問 12 で「1. ある」と答えた人にお聞きします】
問 12-1 どのような夢ですか。(あてはまるものすべてに○)

どのような夢かは、「好きな仕事をしてたくさんお金を稼ぐ」が70.0%と最も高く、次いで「趣味や習い事など、好きなことをして暮らす」が60.0%、「資格を取って安定した仕事に就く」が45.0%と続いている。

図表 8-14 どのような夢か (複数回答)



④ 夢がない理由

【問 12-2 は、問 12 で「2. ない」と答えた人にお聞きします】
問 12-2 夢がない理由は何ですか。(1 つに○)

夢がない理由は、「わからない」が 60.0% と最も高く、次いで「具体的に、何も思い浮かばないから」が 30.0%、「夢が、かなうのが難しいと思うから」が 10.0% となっている。「もうすべてに満足しているから」「日々の生活で精いっぱいだから」との回答はなかった。

図表 8-15 夢がない理由

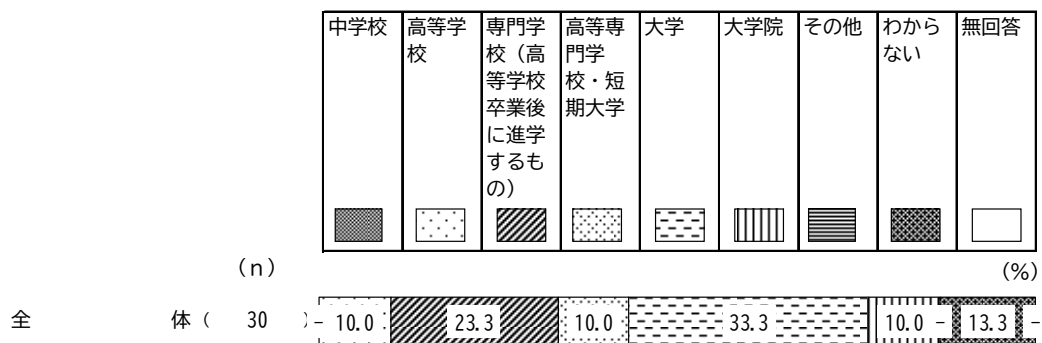


⑤ 進路希望

問 13 あなたは、希望として、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(1 つに○)

進路希望は、「大学」が 33.3% と最も高く、次いで「専門学校（高等学校卒業後に進学するもの）」が 23.3%、「わからない」が 13.3% となっている。

図表 8-16 進路希望



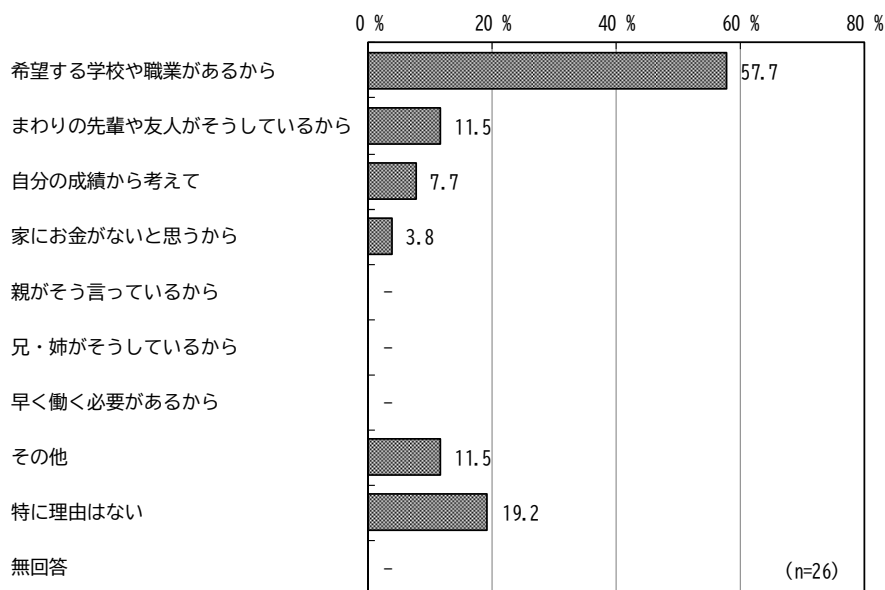
⑥ 進路希望の理由

【問 13-1 は、問 13 で「1. 中学校」から「7. その他」のいずれかに答えた人にお聞きします】

問 13-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

進路希望の理由は、「希望する学校や職業があるから」が 57.7%と最も高く、次いで「特に理由はない」が 19.2%、「まわりの先輩や友人がそうしているから」が 11.5%と続いている。

図表 8-17 進路希望の理由（複数回答）

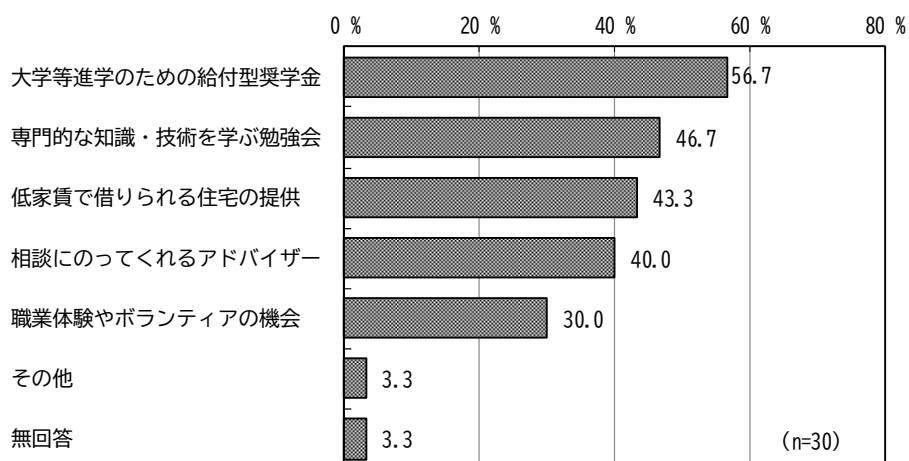


⑦ 夢や希望をかなえるために必要な手助け・支援

問 14 自分の夢や希望をかなえるためには、どんな手助け・支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

夢や希望をかなえるために必要な手助け・支援は、「大学等進学のための給付型奨学金」が 56.7%と最も高く、次いで「専門的な知識・技術を学ぶ勉強会」が 46.7%、「低家賃で借りられる住宅の提供」が 43.3%と続いている。

図表 8-18 夢や希望をかなえるために必要な手助け・支援（複数回答）

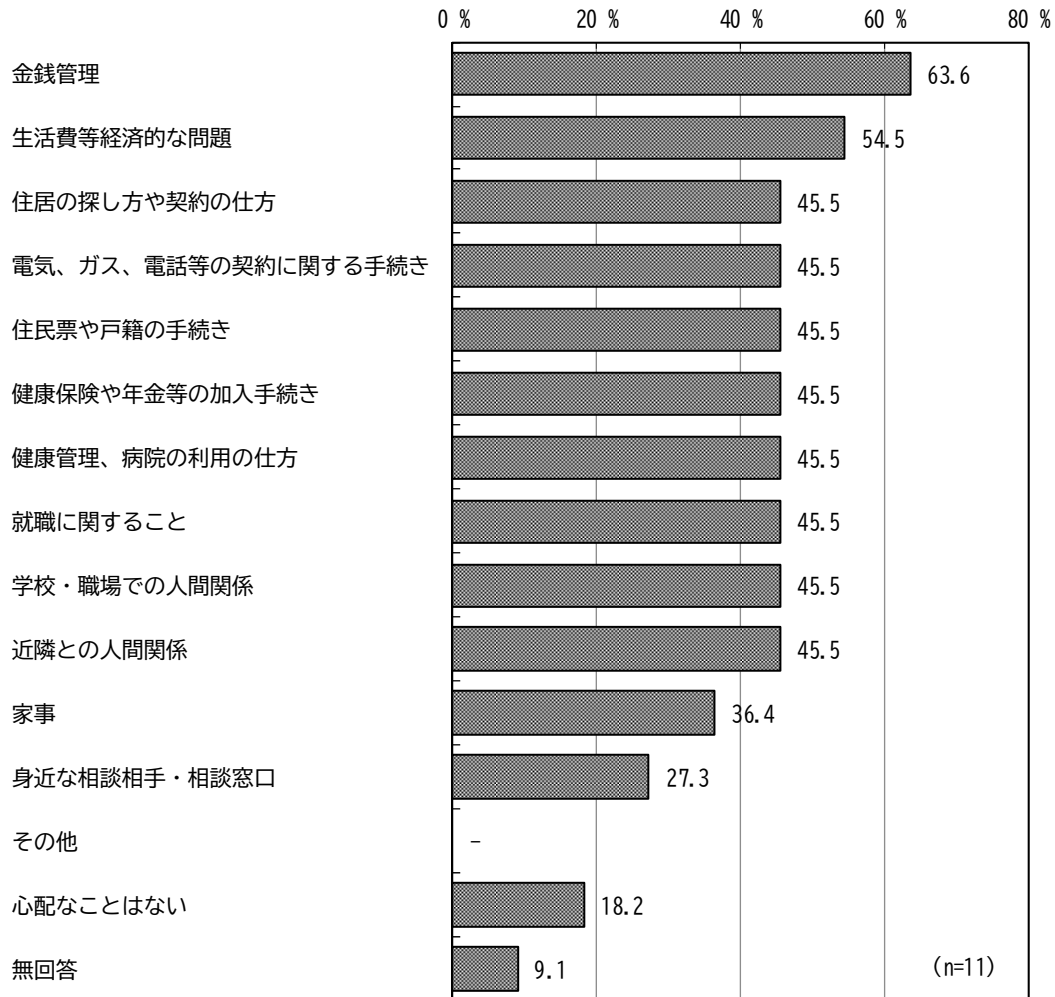


⑧ 施設を退所した後の生活で心配なこと

問 15 【高校生以上の方のみお答えください】
施設を退所した後の生活で心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

施設を退所した後の生活で心配なことは、「金銭管理」が63.6%と最も高く、次いで「生活費等経済的な問題」が54.5%と続いている。

図表 8-19 施設を退所した後の生活で心配なこと（複数回答）



(5)自由意見

問 16 日々の生活で感じていることや、北区への希望や期待、将来に向けて不安に感じていることなど、ご自由に記入ください。

① 経済的支援(3件)

- ・消費税を減らしてほしい。
- ・おこづかいが少し少ない気がする。

② 施設に関して(2件)

- ・将来自分が自立したときに大切なことなどを教えてくれるからとてもありがたいと感じています。
- ・施設での門限が短すぎるので、少し変えてほしいです。

資料編

北区子ども・子育て支援に関する二一ス調査

～①就学前の子どもの保護者用～
(アンケートへのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にともない、区民の皆様への二一スを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住する就学前児童のいるご家庭から、2,500 人の方を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

令和4年10月
東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、宛名のお子さんの保護者の方を「あなた」と表記しています。
- 特にことわりのない限り、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方にお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24 時間制 (例: 「午後 4 時」は「16 時」) でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて **10月31日(月)** までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》
北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

《調査内容・回答方法：調査委託先》
株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)
受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00
メールアドレス：k_polICY@mar.co.jp

用語説明

幼稚園 保育所 (園)	学校教育法に定める、3～5 歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第 22 条) です。児童福祉法 (第 39 条) です。※本調査票内では、保育園と表記しています。
認定こども園	幼稚園と保育所 (園) の機能を併せ持つ施設 (就学前の子どもの教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 6 項) です。
児童発達支援センター	18 歳未満の子どもの発達や障害に関する相談、就学前の療育 (児童発達支援) を行うところのほか、様々な障害についての講演会、学習会を行っています。
わくわく☆ひろば (放課後子ども総合プラン)	小学校の教室や校庭、体育館などを使い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に開催します。専任の指導員や地域の大人たちに見守られ、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる活動場所や生活の場を提供するものです。学年を越えた交流を図りながら、宿題や復習などの学習活動、体験学習、校庭遊びやスポーツなどが体験できます。登録には『放課後子ども教室 (一般登録)』と『学童クラブ (学童クラブ登録)』があります。
子どもセンター	<放課後子ども教室 (一般登録) とは> 小学校 1～6 年生のすべての児童が対象です。教室や校庭等を活動場所に、子どもたちの遊び場・学び場を提供します。(自由参加・自由帰宅) 利用にあたっては登録が必要で、 <学童クラブ (学童クラブ登録) とは> 保護者が就労等により育成が必要な家庭の児童が対象です。対象は小学校 1～3 年生の児童です。※4 年生以上は学童クラブ特例として一般登録を利用します。保護者の申請に基づき、区が利用者を決定します。
ティーンズセンター	子どもセンターは、乳幼児親子が安心して 1 日過ごせる居場所です。年間を通して乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。
はびママ (たまご・ひよこ) 面接	①はびママたまご面接 妊婦の不安を軽減し、安心して出産を迎えるために保健師・助産師が面接を行います。 ②はびママひよこ面接 産後 6 か月までの方へ、子ども家庭支援センターや子どもセンター、児童館の保育士等が面接を行い、子育て情報を提供します。面接後には、はびママグッズ、カタログギフトのプレゼントがあります。
はびママ学級 (母親学級)	妊婦・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。
ハバになるための半日コース	パートナーが妊娠中の方を対象に、妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。
産前産後セルフケア講座	安定期以降の妊婦と生後 120 日までの乳児を持つ母親を対象としてエクスサイズによる身体のケアや子育てに関する情報の提供、情報交換を行います。
産後ケア事業	生後 1 か月～6 か月の赤ちゃんや母親のための産後専門相談などを行います。
産後ジョーティストディ事業	産後 4 か月以内の方を対象に助産院等で心身をケアし、授乳・育児等の相談もできます。
安心ママババハルパー事業	産前、産後の乳児 (6 か月まで) がいるご家庭を対象に、育児の負担を少しでも軽減できるように、ヘルパーがご家庭を訪問し、家事支援、育児支援を行います。
赤ちゃん訪問・育児相談	「母と子の保健バッグ」の中の「出生通知票」を区に送ると、ご自宅に保健師または助産師が訪問し、育児に関する相談やお母さんの産後の相談が受けられます。
乳幼児クラブ	親子で楽しみながら、体操、工作、リズム遊びなどを行います。
北区子育てにっこりパスポート	中学生以下のお子さんかいる世帯に配布しているにっこりパスポート (カード) を区内協賛店に提示すると割引や特典が受けられる事業です。
子育て応援ガイド「きたハビモバイル」～子育て種ステレオ～	予防種ステレオの自動調整機能や、知りたい情報を目的別・年齢別に検索できるなど、子育てに役立つ機能が充実しているモバイルサイトおよびアプリです。
みんなでお祝い輝きバースデー	満 1 歳を迎えるお子さんと保護者を児童館および子どもセンターに招待し、みんなでお祝いをお祝いする事業です。

お住まいの地域についてうかがいます

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

地区名	対象地域(参考)
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5. 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6. 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7. 滝野川東	柴町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

- 1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上15年未満
- 15年以上20年未満
- 20年以上

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 生まれたときから北区に居住し続けている
2. 職場に行きやすい(通勤に便利)
3. 親・親せきが近くにいる(同居を含む)
4. 住宅価格や家賃が手頃である
5. 医療や福祉が充実している
6. 保育・子育て支援が充実している
7. 教育環境がよい
8. 自然環境がよい
9. まちのイメージがよい
10. その他()

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問4 宛名のお子さんの生年月を()内に数字でご記入ください。

西暦()年()月()日生まれ

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。また、生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人
 きょうだいの生年月
 西暦()年()月()日生まれ 西暦()年()月()日生まれ
 西暦()年()月()日生まれ 西暦()年()月()日生まれ
 西暦()年()月()日生まれ 西暦()年()月()日生まれ

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親
2. 父親
3. その他()

問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

問8 宛名のお子さんの子育て(家庭での教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもえる
3. 日常的に子どもをみてもえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問10 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気
2. 発育・発達が他の子と比べ遅れていると思う
3. 食事や栄養
4. 子どものしつけの方法がよくわからない
5. 子どもとの接し方に自信がもてない
6. 子どもとの時間を十分にとれない
7. 子どものほめ方やしかり方がよくわからない
8. 子どものことで話し相手や相談相手がいらない
9. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
10. 子どもの教育
11. 登園拒否など
12. 子どもの友達つきあい(いじめを含む)
13. 子育て・教育費の経済的負担
14. その他()
15. 特になし

問11 宛名のお子さんの子育て(家庭での教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

1. いる/ある
2. いない/ない

【問11-1】は、問11で「1. いる/ある」と回答した方にかがいます】

問11-1 お子さんの子育て（家庭での教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 10. 教育総合相談センター |
| 2. 祖父母等の親族 | 11. 東京都児童相談センター |
| 3. 友人や知人 | 12. 保育園の先生 |
| 4. 近所の人 | 13. 幼稚園・認定こども園の先生 |
| 5. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター） | 14. 民生委員・児童委員 |
| 6. 子ども家庭支援センター | 15. かかりつけの医師 |
| 7. 児童発達支援センター | 16. インターネットの相談サイト |
| 8. 各健康支援センター | 17. その他（ ） |
| 9. スペースゆう | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は（2）をご記入ください】（1つに○）

- | | |
|--|-----------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | 【(1) -①へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |
| 6. これまで就労したことがない | |
- } 【(2) へ】

【(1) -①、②】は、問12（1）で「1」から「4」（就労している）と回答した方にかがいます】

（1）-① 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時以内にご記入ください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1週当たり（ ）日 | 1日当たり（ ）時間 |
|-----------|------------|
- （1）-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時以内に数字でご記入ください。
- | | |
|------------|----------|
| 家を出る時刻（ ）時 | 帰宅時刻（ ）時 |
|------------|----------|

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（1つに○）

- | | |
|---|-----------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない | 【(2) -①へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |
| 6. これまで就労したことがない | |

【(2) -①、②】は、問12（2）で「1」から「4」（就労している）と回答した方にかがいます】

（2）-① 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時以内に数字でご記入ください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1週当たり（ ）日 | 1日当たり（ ）時間 |
|-----------|------------|
- （2）-② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。
- | | |
|------------|----------|
| 家を出る時刻（ ）時 | 帰宅時刻（ ）時 |
|------------|----------|

【問13】は、問12の（1）または（2）で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方にかがいます】

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

（1）母親

- | |
|---|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、
実現できる見込みがある |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい |

（2）父親

- | |
|---|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、
実現できる見込みがある |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい |

【問14は、問2の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にかかいます。それ以外の方は、問15へお進みください】

問14 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

<ol style="list-style-type: none"> 子育てや家事・病氣療養などに専念したい(就労の予定はない) 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 	<ol style="list-style-type: none"> フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり()日 1日当たり()時間
---	--

(2) 父親

<ol style="list-style-type: none"> 子育てや家事・病氣療養などに専念したい(就労の予定はない) 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 	<ol style="list-style-type: none"> フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり()日 1日当たり()時間
---	--

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

1. 利用している	---▶【問15-1へ】	2. 利用していない	---▶【問15-5へ】
-----------	--------------	------------	--------------

【問15-1から問15-4は、問15で「1. 利用している」と回答した方にかかいます】

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の施設や事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 幼稚園(通常の就園時間の利用) 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 認可保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 小規模保育事業所 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) 家庭的保育(保育ママ:保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) 事業所内保育事業所(企業が従業員の子どもの地域の子どものと一緒に保育する施設) 認証保育所(認可保育園ではないが、東京都が認証した施設) その他の認可外の保育施設 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもの送り迎えなどをサポートする事業) その他()

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり()日	1日当たり()時間	()時~()時
(2) 希望		
1週当たり()日	1日当たり()時間	()時~()時

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。(1つに○)

1. 北区内	2. 他の区市町村
--------	-----------

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 子どもの教育や発達のため 子育て(家庭での教育を含む)をしている方が現在就労している 子育て(家庭での教育を含む)をしている方が就労予定である/求職中である 子育て(家庭での教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している 子育て(家庭での教育を含む)をしている方に病氣や障害がある 子育て(家庭での教育を含む)をしている方が学生である その他()
--

【問15-5は、問15で「2. 利用していない」と回答した方にかかいます】

問15-5 利用していない理由をお答えください。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

<ol style="list-style-type: none"> (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない 子どもの祖父母や親戚の人がみている 近所の人や父母の友人・知人がみている 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている 自分(もしくは配偶者)が育児休業中のため()歳くらいになったら利用しようと考えている 一時預かりを利用している 利用方法がわからない 感染症(新型コロナウイルス感染症)が心配である その他()
--

【問16は、すべての方にかかっています】
 問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育事業所
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
6. 家庭的保育 (保育ママ：保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育事業所 (企業が従業員の子どもと地域の子どもを一纏に保育する施設)
8. 認証保育所 (認可保育園ではないが、東京都が認証した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター事業 (地域住民が子どもの送り迎えなどをサポートする事業)
12. その他 ()
13. 利用する予定なし (家庭で保育する)

【問16-1は、問16で利用したい教育・保育事業がある人にかかっています。【13. 利用する予定なし(家庭で保育する)】だけに回答した方は、問17へお進みください】

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(1つに○)

1. 北区内
2. 他の区市町村

【問16-2は、問16で「1」または「2」に回答し、かつ「3」から「12」のいずれかに回答した方にかかっています。それ以外の方は、問17へお進みください】

問16-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問17 宛名のお子さんは、現在、子ども家庭支援センターや児童館・子どもセンターで実施している乳幼児クラブ等地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
1週当たり()回 もしくは 1ヶ月当たり()回程度
2. 上記以外の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報を受けたりする場
(具体名:)
3. 利用していない
1週当たり()回 もしくは 1ヶ月当たり()回程度

問18 問17のような乳幼児クラブ等地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり()回 もしくは 1ヶ月当たり()回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に()回 もしくは 1ヶ月当たり 更に()回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない(その理由:)

問19 下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。また、利用したことある事業については、満足度を教えてください。

※表紙裏に用語説明があります。

(①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当する番号に○)

	A 認知度			B 利用意向		C 利用満足度 (利用したことがある人のみ)				
	1 利用していたことが ある	2 利用していたことが ない	3 知らなかった	1 今後、利用したい	2 今後、利用したくない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらでもない	4 やや不満である	5 不満である
【記入例】 ①はびママ学級、はびママ(たまご・ひよこ)面接、パパになるための半日コース	①	2	3	①	2	①	2	3	4	5
①はびママ学級、はびママ(たまご・ひよこ)面接、パパになるための半日コース	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
②産前産後セルフケア講座、産後ケア事業、産後ショートステイ事業	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
③安心ママパパヘルパー	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
④親子サポート事業(NPプログラム)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
⑤赤ちゃん訪問・子育て相談	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
⑥各健康支援センターの情報・相談サービス	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
⑦子ども家庭支援センターの子育て支援(子どもと家庭の総合相談、遊びのひろば)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5
⑧教育総合相談センターの教育相談	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5

	A 認知度			B 利用意向			C 利用満足度 (利用したことがある人のみ)				
	1 利用していることがある	2 利用しているが、ことはない	3 知らなかった	1 今後利用したい	2 今後利用したくない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらでもない	4 やや不満である	5 不満である	
⑨幼稚園の子育て支援 (地域教育事業・未就園児対象の事業・園庭開放等)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑩保育園の子育て支援 (ふれあい給食・育児相談・プール遊び・園庭開放・行事参加など)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑪児童館・子どもセンターの子育て支援 (乳幼児クラブ等)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑫ベビーシッター利用支援事業	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑬地域育て合い事業 (児童館・子どもセンターと保育園が連携して地域で行う子育て支援事業)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑭北区子育てガイドブック・北区子育てマップ・子どもたちの育つ姿・きたくのようちえん (区が発行している子育て情報冊子)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑮赤ちゃん休けい室 (赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置)	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑯児童発達支援センター	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑰北区子育てにっこりパスポート	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑱子育て応援ガイド「きたハビモバイル」～予防接種スケジュールナビ～	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑲みんなでお祝い輝きバーズデー	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	
⑳子育て支援情報配信メール	1	2	3	1	2	1	2	3	4	5	

【問19-1は、問19のいずれかの事業のC利用満足度で「4」「5」と回答した方にかかいます】
問19-1 不満だと思った事業の番号と理由を具体的に記入ください。

事業番号	不満だと思った理由

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望がありますか。あてはまる番号1つに○をつけて、(一時的な利用は除きます) 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制で記入ください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日	(2) 日曜日・祝日
1. 利用する必要はない	1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい	2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい	3. 月に1～2回は利用したい

【問20-1は、問20の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」と回答した方にかかいます】

問20-1	毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)
1. 月に数回仕事が入るため	4. 息抜きのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他 ()
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

【問21は、「幼稚園」を利用されている方にかかいます】

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか、または利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制で記入ください。

1. 利用する必要はない	}	利用したい(している)時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(している)		()時から()時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい(している)		()時から()時まで

宛名のお子さんの病気の対応についてうかがいます(平日の教育・保育を利用する方のみ)

【問22-1は、平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問15で「1」と回答した方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問23にお進みください】

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガが通常の事業が利用できなかったことはありませんか。(1つに○)

1. あった ---▶ 【問22-1へ】 2. なかった ---▶ 【問23へ】

【問22-1は、問22で「1. あった」と回答した方にうかがいます】

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

対処方法	日数(年間)
1. 母親が休んで子どもを見た	() 日
2. 父親が休んで子どもを見た	() 日
3. 母親または父親のうち就労していない方が子どもを見た	() 日
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	() 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
6. ベビーシッターを利用した	() 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
8. その他()	() 日

【問22-2へ】

【問22-2は、問22-1で「1」から「3」のいずれかに回答した方にうかがいます】

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日
2. 利用したいとは思わない

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ) (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	() 日
3. ファミリー・サポート・センター事業 (地域住民が子どもの送り迎えなどをサポートする事業)	() 日
4. 夜間養護等事業: トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	() 日
5. ベビーシッター	() 日
6. その他()	() 日
7. 利用していない	

【問23-1は、問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問24へお進みください】

問23-1 現在利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 特に利用する必要がない
- 利用したい事業が地域にない
- 地域の事業の質に不安がある
- 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
- 利用料がかかると高い
- 利用料がわからない
- 自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない
- 事業の利用方法(手続き等)がわからない
- その他()

問24 宛名のお子さんについて、私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問23で示した事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)

利用したい	利用意向・目的	日数(年間)
1. 利用したい		計()日
	1. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	() 日
	2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	() 日
	3. 不定期の就労	() 日
	4. その他()	() 日
2. 利用する必要はない		

問25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありますか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	対処方法	泊数（年間）
1. あった	1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった 2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業））や夜間養護等事業（トワイライストステイ（児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業））を利用した 3. 2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した 4. 仕方なく子どもを同行させた 5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 6. その他（ ）	() 泊 () 泊 () 泊 () 泊 () 泊 () 泊
2. なかった		

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます ※表紙裏に用語の説明があります⇒宛名のお子さんが5歳未満の方は問30へ

調査票内の事業名の表記について

- ①「放課後子ども教室」とは、わくわく☆ひろは（放課後子ども総合プラン）の「放課後子ども教室（一般登録）」のことを示します。
- ②「学童クラブ」とは、小学校低学年（1～3年生）はわくわく☆ひろは（放課後子ども総合プラン）の「学童クラブ（学童クラブ登録）」を示し、小学校高学年（4～6年生）はわくわく☆ひろは（放課後子ども総合プラン）の「学童クラブ（学童クラブ特例利用）」のことを示します。

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 () 日くらい
4. 放課後子ども教室	週 () 日くらい
5. 学童クラブ	週 () 日くらい →下校時から () 時まで
6. ファミリー・サポート・センター事業	週 () 日くらい
7. 子ども食堂・学習支援教室	週 () 日くらい
8. その他（公園など）	週 () 日くらい

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

※だいが先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 () 日くらい
4. 放課後子ども教室	週 () 日くらい
5. 学童クラブ	週 () 日くらい →下校時から () 時まで
6. ファミリー・サポート・センター事業	週 () 日くらい
7. 子ども食堂・学習支援教室	週 () 日くらい
8. その他（公園など）	週 () 日くらい

【問28、問29は、問26または問27で「5. 学童クラブ」と回答した方にうかがいます】

問28 宛名のお子さんについて日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内にご記入ください。

時間は必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	() 時から () 時まで
3. 利用する必要はない	

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を() 内にご記入ください。

時間は必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	() 時から () 時まで
3. 利用する必要はない	

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
うかがいます**

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (1つに○)	父親 (1つに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んであてはまるものすべてをご記入ください)	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んであてはまるものすべてをご記入ください)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. その他 ()	

【問30-1は、問30で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問31へお進みください】

問30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

【問30-2から問30-3は、問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます】

問30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問30-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り戻りたかったですか。()内に数字をご記入ください。

(1) 母親	実際の職場復帰の時期 () 歳 () ヶ月 希望の職場復帰の時期 () 歳 () ヶ月
(2) 父親	実際の職場復帰の時期 () 歳 () ヶ月 希望の職場復帰の時期 () 歳 () ヶ月

【問30-4は、問30-3で実際と希望の職場復帰の期間が異なる方にかがいます】

問30-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

①母親

1. 希望する保育園に入るため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があったため	5. 長期で育児休業を取得すると、業務に支障がでるため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育園に入るため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があったため	5. 長期で育児休業を取得すると、業務に支障がでるため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	6. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

①母親

1. 希望する保育園に入れなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪しくなかったため	6. その他 ()
3. 配偶者や家族の希望があったため	()
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	

②父親

1. 希望する保育園に入れなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪しくなかったため	6. その他 ()
3. 配偶者や家族の希望があったため	()
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	

【問30-5は、問30-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかかっています】

問30-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

(1) 母親

1. フルタイムで働きたかったので、利用する必要がなかった
2. もともと短時間勤務だったので、利用する必要がなかった
3. 利用した
4. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2) 父親

1. フルタイムで働きたかったので、利用する必要がなかった
2. もともと短時間勤務だったので、利用する必要がなかった
3. 利用した
4. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

【問30-6は、問30-5で「4. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にかかっています】

問30-6 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由をお答えください。

(おてはまるものすべてに○)

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえないなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できずを知らなかった
10. その他 ()

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえないなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できずを知らなかった
10. その他 ()

【問30-7は、問30-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかかっています】

問30-7 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる子どもを預ける事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に職場復帰しますか。(1つに○)

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に職場復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に職場復帰したい

子育て全般についてうかがいます

問31 今後、北区で子育てをしたいと思えますか。(1つに○)

1. ずっと北区で子育てをしたい
2. 当分の間は北区で子育てをしたい
3. できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい ()
4. 近いうちに転出するつもりである
5. その他

問32 あなたは、子育てが楽しいですか。(1つに○)

1. とても楽しい
2. つらいこともあるが楽しいことが多い
3. 楽しいこともあるがつらいことが多い
4. とてもつらい

問33 宛名のお子さんとかかわる時間(会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど)はだいたいどのくらいありますか。(母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。)

(1) 母親

平日 (1つに○)	休日 (1つに○)
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

(2) 父親

平日 (1つに○)	休日 (1つに○)
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間以上	5. 3時間以上
6. 4時間以上	6. 4時間以上

問34 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①②それぞれ1つに○)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

項目	よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない
①保育園・幼稚園における授業参観や運動会など行事への参加	1	2	3	4
②PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問35 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

1. 子どもを預けることができるくらいの仲間がいる 3. いない
2. 話をする仲間がいる 4. 参加していない

問36 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している 2. 参加していない

【問36-1は、問36で「2. 参加していない」と回答した方にかがいます】

問36-1 参加していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 既に他の仲間がいる 3. 参加する機会がない 5. 必要がない (興味が無い)
2. 親同士の人間関係が難しい 4. グループに関する情報がない 6. その他 ()

問37 子育てに関する情報は、どこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族 (親・兄弟姉妹など) 10. 北区ニュース (広報誌)
2. 近所の人、知人、友人 11. テレビ、ラジオ、新聞
3. 子育てサークルの仲間 12. 市販の子育て情報誌、育児書
4. 区役所の窓口 13. インターネット
5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校 14. 北区子育て応援ガイド「きたハピモバイル」
6. 子ども家庭支援センター 15. 子育て支援情報配信メール
7. 各健康支援センター 16. その他 ()
8. 教育総合相談センター 17. 情報の入手手段がわからない
9. 児童館 (子どもセンター・ティーンズセンター)

問38 あなたは子育てををするにあたり、地域の支えを必要としていますか。(1つに○)

1. とても必要としている 4. あまり必要としていない
2. やや必要としている 5. まったく必要としていない
3. どちらとも言えない

問39 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7. 学校や保護者、地域の大人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止のための活動をする
8. その他 ()
9. 特に必要ない

問40 宛名のお子さんと一緒に外出する際に、特に気になることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 近所に公園や広場がない 10. 自転車散歩でスピードを出している
2. 公園や広場に遊具がない、もしくは使いにくい 11. 歩道に陳列物や自転車があり、歩行しづらい
3. 公園や広場にベンチ等の休める場所がない 12. 歩きタバコをしている人がいる
4. 公園や広場のトイレが汚い 13. 子どもが直接手で触れるものや、訪問先の施設等において、新型コロナウイルス感染症対策が十分に行われているかどうか不安である
5. 公園や広場に不審者がいる 14. その他 ()
6. 街なかにおむつ替えや授乳ができる場所がない 15. 特にない
7. 街なかにおむつ替えや授乳ができない 14. その他 ()
8. 街灯が少なく、防犯面で不安である
9. 歩道がない、もしくは狭く、交通事故の心配がある

問41 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。

(①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

項目	よくある	たまにある	したことがある	全くない
①子どもを加減せず感情まかせにたたく	1	2	3	4
②子どもが傷つくような言葉、存在を否定する ような言葉を使う	1	2	3	4
③子どもの言葉を無視し続ける	1	2	3	4
④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする	1	2	3	4
⑤子どもに物を投げつける	1	2	3	4
⑥子どもに食事を与えない	1	2	3	4
⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる	1	2	3	4
⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する	1	2	3	4

問42 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 4. 苦しい |
| 2. ゆとりがある | 5. 大変苦しい |
| 3. ふつう | |

問43 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前(2020年4月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(①～⑥ごとにそれぞれ1つに○)

項目	増えた	減った	変わらない
①世帯全体の収入の変化	1	2	3
②生活に必要な支出の変化	1	2	3
③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと	1	2	3
④お子さんと話をすること	1	2	3
⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問44 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

1. 200万円未満
2. 200万円以上～300万円未満
3. 300万円以上～400万円未満
4. 400万円以上～500万円未満
5. 500万円以上～600万円未満
6. 600万円以上～700万円未満
7. 700万円以上～800万円未満
8. 800万円以上～900万円未満
9. 900万円以上～1,000万円未満
10. 1,000万円以上

問45 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

1. 満足していない
2. あまり満足していない
3. どちらとも言えない
4. まあまあ満足している
5. 満足している

【問45-1は、問45で「4」「5」と回答した方にかがいます】

問45-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 住環境がよい | 9. 地域の子育てネットワークができています |
| 2. 自然環境がよい | 10. 子育てに関する情報が得やすい |
| 3. 交通機関が便利 | 11. 事故や犯罪が少なく安全 |
| 4. 保育園に入りやすい | 12. 学校教育が充実している |
| 5. 幼稚園に入りやすい | 13. 放課後対策が充実している |
| 6. 保育サービスが充実している | 14. 医療機関が充実している |
| 7. 公園や児童館(子どもセンター)など
子どもの遊び場が多い | 15. その他
() |
| 8. 近所づきあいや地域活動が盛ん | |

【問45-2は、問45で「1」「2」と回答した方にかがいます】

問45-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 住環境がよくない | 9. 地域の子育てネットワークができていない |
| 2. 自然環境がよくない | 10. 子育てに関する情報が得にくい |
| 3. 交通機関が不便 | 11. 事故や犯罪が多く危険 |
| 4. 保育園に入りにくい | 12. 学校教育が充実していない |
| 5. 幼稚園に入りにくい | 13. 放課後対策が充実していない |
| 6. 保育サービスが充実していない | 14. 医療機関が充実していない |
| 7. 公園や児童館(子どもセンター)など
子どもの遊び場が少ない | 15. その他
() |
| 8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない | |

問46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

～②小学生の保護者用～
北区子ども・子育て支援に関するニース調査
 (アンケートへのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にとともない、区民の皆様へのニースを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住する小学生児童のいるご家庭の中から1,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

令和4年10月
 東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、宛名のお子さんの保護者の方を「あなた」と表記しています。
- 特にことわりのない限り、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方がお答えください。
- 回答は、**あてはまる番号を○で囲んでください。**その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制 (例:「午後4時」は「16時」) でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて**10月31日(月)**までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

《調査内容・回答方法：調査委託先》

株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)

受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00

メールアドレス：k_policy@mar.co.jp

用語説明

わくわく☆ひろば (放課後子ども総合プラン)	小学校の教室や校庭、体育館などを使い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に開催します。専任の指導員や地域の大人たちに見守られ、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる活動場所や生活の場を提供するものです。学年を越えた交流を図りながら、宿題や復習などの学習活動、体験学習、校庭遊びやスポーツなどが体験できます。登録には『放課後子ども教室(一般登録)』と『学童クラブ(学童クラブ登録)』があります。
	<放課後子ども教室(一般登録)とは> ※調査票では「放課後子ども教室」と記載 小学校1～6年生のすべての児童が対象です。教室や校庭等を活動場所に、子どもたちの遊び場・学が場を提供します。(自由参加・自由帰宅)利用にあたっては登録が必要です。
	<学童クラブ(学童クラブ登録)とは> ※調査票では「学童クラブ」と記載 保護者が就労等により育成が必要な家庭の児童が対象です。対象は小学校1～3年生の児童です。※4年生以上は学童クラブ特例として一般登録を利用します。保護者の申請に基づき、区が利用者を決定します。
子どもセンター	子どもセンターは、乳幼児親子が安心して1日過ごせる居場所です。年間を通した乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。
ティーンズセンター	ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。

お住まいの地域についてうかがいます

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

地区名	対象地域(参考)
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5. 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6. 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7. 滝野川東	柴町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上15年未満
- 6. 15年以上20年未満
- 7. 20年以上

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 生まれたときから北区に居住し続けている
- 2. 職場に行きやすい(通勤に便利)
- 3. 親・親せきが近くにいる(同居を含む)
- 4. 住宅価格や家賃が手頃である
- 5. 医療や福祉が充実している
- 6. 保育・子育て支援が充実している
- 7. 教育環境がよい
- 8. 自然環境がよい
- 9. まちのイメージがよい
- 10. その他()

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問4 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

西暦()年()月生まれ

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。また、生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人
 きょうだいの生年月
 西暦()年()月生まれ 西暦()年()月生まれ
 西暦()年()月生まれ 西暦()年()月生まれ
 西暦()年()月生まれ 西暦()年()月生まれ

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. その他()

問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- 1. 配偶者がいる
- 2. 配偶者がいない

問8 宛名のお子さんの子育て(家庭での教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- 1. 父母ともに
- 2. 主に母親
- 3. 主に父親
- 4. 主に祖父母
- 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもえる
- 3. 日常的に子どもをみてもえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問10 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 子どもの病気
- 2. 発育・発達が他の子と比べ遅れていると思う
- 3. 食事や栄養
- 4. 子どものしつけの方法がよくわからない
- 5. 子どもとの接し方に自信がもてない
- 6. 子どもとの時間を十分にとれない
- 7. 子どものほめ方やしかり方がよくわからない
- 8. いじめに関すること
- 9. 子どもの友達づきあいなど対人関係
- 10. 不登校
- 11. 子どもの学力の遅れ
- 12. 子どもの教育・塾、進路
- 13. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
- 14. 子どもに落ち着きがない
- 15. 子どものことで話し相手や相談相手がいない
- 16. 子育て・教育費の経済的負担
- 17. その他()
- 18. 特にない

問11 宛名のお子さんの子育て(家庭での教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。(1つに○)

- 1. いる/ある
- 2. いない/ない

【問11-1は、問11で「1. いる/ある」と回答した方にかがいます】

問11-1 お子さんの子育て（家庭での教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 10. 東京都児童相談センター |
| 2. 祖父母等の親族 | 11. 保育園の先生 |
| 3. 友人や知人 | 12. 幼稚園・認定こども園の先生 |
| 4. 近所の人 | 13. 小学校の先生 |
| 5. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター） | 14. 民生委員・児童委員 |
| 6. 子ども家庭支援センター | 15. かかりつけの医師 |
| 7. 各健康支援センター | 16. インターネットの相談サイト |
| 8. スペースゆう | 17. その他（ ） |
| 9. 教育総合相談センター | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は(2)をご記入ください】(1つに○)

- | | |
|--|-----------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | 【(1) -①〜】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |
| 6. これまで就労したことがない | |

【(1) -①、②は、問12(1)で「1」から「4」(就労している)と回答した方にかがいます】

(1) -① 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
() 内に数字でご記入ください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(1) -② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(1つに○)

- | | |
|---|-----------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・介護休業中ではない | 【(2) -①〜】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |
| 6. これまで就労したことがない | |

【(2) -①、②は、問12(2)で「1」から「4」(就労している)と回答した方にかがいます】

(2) -① 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
() 内に数字でご記入ください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(2) -② 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時

【問13は、問12の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方にかかっています】

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

【問14は、問12の(1)または(2)で「5、以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6、これまで就労したことがない」と回答した方にかかっています。それ以外の方は、問15へお進みください】

問14 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事・病氣療養などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- () 時間
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
→1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親

1. 子育てや家事・病氣療養などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- () 時間
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外)
→1週当たり()日 1日当たり()時間

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問15 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

	対処方法	泊数(年間)
1. あった	1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	()泊
	2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	()泊
	3. 夜間養護等事業(トワイライトステイ)を利用した(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	()泊
	4. 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	6. その他()	()泊
2. なかった		

放課後の過ごし方についてうかがいます ※表紙裏に用語の説明があります

調査票内の事業名の表記について

- ①「放課後子ども教室」とは、わくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン)の「放課後子ども教室(一般登録)」のことを示します。
- ②「学童クラブ」とは、小学校低学年(1~3年生)はわくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン)の「学童クラブ(学童クラブ登録)」を示し、小学校高学年(4~6年生)はわくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン)の「学童クラブ(学童クラブ特例利用)」のことを示します。

【問16は、宛名のお子さんが、小学校低学年(1~3年生)の方にかかっています。それ以外の方は問17へお進みください】

問16 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。
時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週()日くらい
4. 放課後子ども教室	週()日くらい
5. 学童クラブ	週()日くらい →下校時から()時まで
6. ファミリー・サポート・センター事業	週()日くらい
7. 子ども食堂・学習支援教室	週()日くらい
8. その他(公園など)	週()日くらい

問17 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
5. 学童クラブ	週（ ）日くらい
6. ファミリー・サポート・センター事業	→下校時から（ ）時まで
7. 子ども食堂・学習支援教室	週（ ）日くらい
8. その他（公園など）	週（ ）日くらい

【問18、問19は、問16または問17で「5. 学童クラブ」と回答した方がいます】

問18 宛名のお子さんについて日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内にご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない		

問19 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を（ ）内にご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		（ ）時から（ ）時まで
3. 利用する必要はない		

問20 現在、宛名のおさんは、放課後子ども教室、または、学童クラブを利用していますか。（1つに○）

1. 放課後子ども教室を利用している	---▶【問20-1へ】
2. 学童クラブを利用している	---▶【問21へ】
3. 利用していない	---▶【問21へ】

【問20-1は、問20で「1. 放課後子ども教室を利用している」と回答した方にうかがいます。

それ以外の方は、問21へお進みください】

問20-1 放課後子ども教室の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由についてお答えください。（1つに○）

週（ ）日くらい	1. ある	2. ない
→うち土曜日の利用		
お子さんの子育てを主にしている方が		
1. 現在就労している		
2. 就労予定がある・求職中である		
3. そのうち就労したいと考えている		
4. 家族・親族などを介護しなければならぬ		
5. 病気や障害がある		
6. 学生である・就学したい		
7. 就労していないが、子どもの教育などのため		
8. その他（ ）		

子育て全般についてうかがいます

問21 今後も、北区で子育てをしたいと思えますか。（1つに○）

1. ずっと北区で子育てをしたい
2. 当分の間は北区で子育てをしたい
3. できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい
4. 近いうちに転出するつもりである
5. その他（ ）

問22 あなたは、子育てが楽しいですか。（1つに○）

1. とても楽しい
2. つらいこともあるが楽しいことが多い
3. 楽しいこともあるがつらいことが多い
4. とてもつらい

問23 宛名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど）はだいたいどのくらいありますか。（父親、母親とも平日と休日に分けてそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。）

(1) 母親

平日 (1つに○)	休日 (1つに○)
1. ほとんどない	1. ほとんどない
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
2. 30分くらい	5. 3時間くらい
5. 3時間くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	6. 4時間以上
6. 4時間以上	3. 1時間くらい

(2) 父親

平日 (1つに○)	休日 (1つに○)
1. ほとんどない	1. ほとんどない
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
2. 30分くらい	5. 3時間くらい
5. 3時間くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	6. 4時間以上
6. 4時間以上	3. 1時間くらい

問24 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①②それぞれ1つに○)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

項目	よくしている	している	ときどき参加	あまりしていない	全くしていない
①小学校における授業参観や運動会など行事への参加	1	2	3	4	4
②PTA活動や保護者等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4	4

問25 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

1. 子どもを預けることができるくらいの仲間がいる
2. 話をする仲間がいる
3. いない

問26 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している
2. 参加していない

【問26-1は、問26で「2. 参加していない」と回答した方にうかがいます】

問26-1 参加していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 既に他の仲間がいる	3. 参加する機会がない	5. 必要がない(興味がでない)
2. 親同士の人間関係が難しい	4. グループに関する情報がない	6. その他()

問27 子育てに関する情報は、どこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族(親・兄弟姉妹など)	10. 北区ニュース(広報誌)
2. 近所の人、知人、友人	11. テレビ、ラジオ、新聞
3. 子育てサークルの仲間	12. 市販の子育て情報誌、育児書
4. 区役所の窓口	13. インターネット
5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校	14. 北区子育て応援ガイド「きたハピモバイル」
6. 子ども家庭支援センター	15. 子育て支援情報配信メール
7. 各健康支援センター	16. その他()
8. 教育総合相談センター	17. 情報の入手手段がわからない
9. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)	

問28 あなたは子育てをするにあたり、地域の支えを必要としていますか。(1つに○)

1. とても必要としている	4. あまり必要としていない
2. やや必要としている	5. まったく必要としていない
3. どちらとも言えない	

問29 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7. 学校や保護者、地域の大人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他()
9. 特に必要ない

問30 子どもの遊ぶ環境をよくするためには、どうすればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 個性を尊重した、ゆとりある教育の推進	8. 啓発キャンペーンやイベントの実施
2. 身近に魅力ある遊び場の整備	9. 遊び場の保全・衛生管理体制の整備
3. 自然を体験する事業の充実	10. 遊びのボランティアの養成
4. 仕事中心から家庭重視の意識啓発	11. さまざまな生活体験の場づくり
5. 広域的な遊び場の整備充実	12. 遊びの環境づくり推進体制の整備
6. 既存施設を活用した遊び場づくり	13. 児童健全育成団体の指導者育成
7. 情報や助言が得られる体制づくり	14. その他()

問31 お子さんに今後、どのような体験をさせたいとお考えですか。(3つまでに○)

1. 地域でのスポーツ活動に参加させたい	6. 外国人と交流させたい
2. 文化や芸術に親しませたい	7. 自然と接する機会を持たせたい
3. 仲間や友人と交流する機会を持たせたい	8. ボランティア活動に参加させたい
4. 高齢者や障害者と交流させたい	9. その他
5. 郷土の歴史や芸能にふれる機会を持たせたい	()

問32 子どもの安全を守るため、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(3つまでに○)

1. 地域の交通安全活動の充実・強化
2. 歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール等）の整備
3. 地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪等から守るための取り組み
4. 犯罪にあいそようになった時の対応についての教育
5. 不審者の侵入防止など、学校の安全対策
6. 通学路や子どもの遊び場（公園等）の安全対策（防犯灯や防犯カメラの整備による暗がりや死角の解消等）
7. 公園の遊具の安全性の確保
8. 行政からの情報発信
9. その他 ()

問33 宛名のお子さんが、犯罪の被害を受けたことはありますか。(1つに○)

1. ある	2. 受けそうになったことがある	3. ない
-------	------------------	-------

問34 新型コロナウイルス感染症は、宛名のお子さんにとどのような影響を与えていますか。

(①～⑩ごとにそれぞれ1つに○)

項目	そう思う	ややそう思う	ない	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
①子どもの学力が低下した	1	2	3	4	5	5
②子どもの体力が低下した	1	2	3	4	5	5
③子どもの精神状態が不安定となった	1	2	3	4	5	5
④食事の回数や食べる量が減った	1	2	3	4	5	5
⑤夜遅くまで起きていることが多くなった	1	2	3	4	5	5
⑥子どもが会話をしなくなった	1	2	3	4	5	5
⑦子どもが暴力をふるうようになった	1	2	3	4	5	5
⑧子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた	1	2	3	4	5	5
⑨子どもが外に出るのを嫌がるようになった	1	2	3	4	5	5
⑩その他 ()	1	2	3	4	5	5

問35 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 出産や子育てのしやすい就労条件を促進する
2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする
3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する
4. 親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める
5. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する
6. 保育園や幼稚園に入りやすくする
7. 子どもの個性を尊重した、ゆとりある教育を進める
8. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
9. 青少年地区委員会による各種レクリエーション活動など地域の健全育成活動を進める
10. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める
11. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす
12. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める
13. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める
14. 家族が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める
15. その他 ()

問36 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。

(①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

項目	よくある	たまにある	したことがある	全くない
①子どもを加減せず感情まかせにたたく	1	2	3	4
②子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う	1	2	3	4
③子どもの言葉を無視し続ける	1	2	3	4
④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする	1	2	3	4
⑤子どもに物を投げつける	1	2	3	4
⑥子どもに食事を与えない	1	2	3	4
⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる	1	2	3	4
⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する	1	2	3	4

問37 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

1. 大変ゆとりがある	4. 苦しい
2. ゆとりがある	5. 大変苦しい
3. ぶつう	

問38 あなたの家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前(2020年4月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(①～⑥ごとにそれぞれ1つに○)

項目	増えた	減った	変わらない
①世帯全体の収入の変化	1	2	3
②生活に必要な支出の変化	1	2	3
③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと	1	2	3
④お子さんと話をすること	1	2	3
⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が流むこと	1	2	3

問39 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

1. 200万円未満	6. 600万円以上～700万円未満
2. 200万円以上～300万円未満	7. 700万円以上～800万円未満
3. 300万円以上～400万円未満	8. 800万円以上～900万円未満
4. 400万円以上～500万円未満	9. 900万円以上～1,000万円未満
5. 500万円以上～600万円未満	10. 1,000万円以上

問40 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

1. 満足していない	4. まあまあ満足している
2. あまり満足していない	5. 満足している
3. どちらとも言えない	

【問40-1は、問40で「4」「5」と回答した方にかがいます】

問40-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境がよい	8. 近所づきあいや地域活動が盛ん
2. 自然環境がよい	9. 地域の子育てネットワークができています
3. 交通機関が便利	10. 子育てに関する情報が得やすい
4. 保育園に入りやすい	11. 事故や犯罪がなく安全
5. 幼稚園に入りやすい	12. 学校教育が充実している
6. 保育サービスが充実している	13. 放課後対策が充実している
7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が多い	14. 医療機関が充実している
	15. その他()

【問40-2は、問40で「1」「2」と回答した方にかがいます】

問40-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境がよくない	8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない
2. 自然環境がよくない	9. 地域の子育てネットワークができていない
3. 交通機関が不便	10. 子育てに関する情報が得にくい
4. 保育園に入りにくい	11. 事故や犯罪が多く危険
5. 幼稚園に入りにくい	12. 学校教育が充実していない
6. 保育サービスが充実していない	13. 放課後対策が充実していない
7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が少ない	14. 医療機関が充実していない
	15. その他()

問41 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

北区子ども・子育て支援に関するニース調査

(アンケート調査へのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にともない、区民の皆様へのニーズを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住する18歳以下のお子さんがない世帯のうち、25歳～39歳の方々から1,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

令和4年10月
東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制(例:「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて10月31日(月)までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

(調査の趣旨)

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

(調査内容・回答方法：調査委託先)

株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)

受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00

メールアドレス：k_policy@mar.co.jp

あなたやご家族、お住まいの地域等についてうかがいます

問1 あなたの性別・年齢をお答えください。

(1) あなたの性別 (1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他・答えたくない

(2) 年齢 (1つに○)

1. 25～29歳 2. 30～34歳 3. 35～39歳

問2 あなたの最終学歴について教えてください。(1つに○)

1. 中学校卒業 6. 大学中退
2. 高等学校中退 7. 大学卒業
3. 高等学校卒業 8. 大学院中退
4. 高専、短大、専門学校等中退 9. 大学院修了
5. 高専、短大、専門学校等卒業 10. その他 ()

問3 あなたは現在、結婚していますか。(1つに○)

1. している(事実婚を含む)
2. していない
3. していない(離婚・死別など)

【問3-1、問3-2は、問3で「1. している(事実婚を含む)」と回答した方にうかがいます】

問3-1 あなたが結婚された年齢を()内に数字でご記入ください。

()歳

問3-2 あなたの世帯は、共働き(パート・アルバイト含む)の世帯ですか。(1つに○)

1. 共働き世帯である 3. 夫婦ともに無職である
2. 共働きをしていない世帯である 4. その他 ()

問4 あなたご自身も含めた世帯の人数と同居している方をお答えください。

(1) 世帯の人数 ()内に数字でご記入ください。

()人

(2) 同居者(あてはまるものすべてに○)

1. 父 4. 配偶者 7. その他 ()
2. 母 5. パートナー 8. 同居者はいない
3. 兄弟姉妹 6. 祖父祖母

問5 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

地区名	対象地域 (参考)
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5. 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6. 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7. 滝野川東	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

問6 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

1. 1年未満	4. 5年以上10年未満	7. 20年以上
2. 1年以上3年未満	5. 10年以上15年未満	
3. 3年以上5年未満	6. 15年以上20年未満	

問7 北区にお住まいの理由をお答えください。(1つに○)

1. 生まれたときから北区に居住し続けている	6. 保育・子育て支援が充実している
2. 職場に行きやすい (通勤に便利)	7. 教育環境がよい
3. 親・親せきが近くに	8. 自然環境がよい
4. 住宅価格や家賃が手頃である	9. まちのイメージがよい
5. 医療や福祉が充実している	10. その他 ()

働き方・ライフスタイル等についてうかがいます

問8 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 常勤 (フルタイム)	【問8-1へ】
2. パート・アルバイト	
3. 自営業 (手伝い含む)	
4. 内職・在宅就労	【問8-2へ】
5. 学生	
6. 専業主婦・主夫	
7. 無職	
8. その他 ()	----▶ 【問9へ】

【問8-1は、問8で「1」～「4」と回答した方にうかがいます】

問8-1 現在の仕事の1週間あたりの平均勤務日数、残業時間を含めた1日あたりの平均就業時間、働いている日の平均的な家を出る時刻・平均帰宅時刻について、それぞれの () の中に記入してください。時間は、必ず (例) 18時のように24時間制で記入ください。

①1週間あたりの平均勤務日数	約 () 日
②1日あたりの平均就業時間	約 () 時間
③働いている日の平均的な家を出る時刻	() 時頃
④働いている日の平均帰宅時刻	() 時頃

【問8-2は、問8で「5」～「7」と回答した方にうかがいます】

問8-2 あなたは今後、就労したいと考えていますか。(1つに○)

1. 現在、就職活動中である	3. 今のところ、就労するつもりはない
2. 近いうち (卒業後) に就労したいが、探していない	4. その他 ()

問9 あなたは、今までに離職した経験がありますか。(1つに○)

1. ある ----▶ 【問9-1へ】	2. ない
---------------------	-------

【問9-1、問9-2は、問9で「1」と回答した方にうかがいます】

問9-1 離職した一番の理由は何ですか。(1つに○)

1. 勤務時間や休日、給与など勤務条件を変えた	4. 結婚や出産などで働き方を変える必要があった
2. 仕事の内容を変えたかった (転職を含む)	5. 家族の介護で働き方を変える必要があった
3. 職場の人間関係が自分に合わなかった	6. その他 ()

問9-2 離職後、新しい仕事に就きましたか。(1つに○)

1. 離職前と同じような勤務条件の仕事に就いた	3. 離職後、仕事に就いていない
2. 離職前と違う勤務条件の仕事に就いた	4. その他 ()

問10 あなたが一度離職し、再就職するとしたら、どのような支援をして欲しいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 求人情報を入手しやすくすること	7. 出産、育児、介護のために離職した場合、同一企業に採用されるようにすること
2. 再就職のためのセミナー・講習会を実施すること	8. 子育て施策や、保育園等の施設整備が充実すること
3. 企業の紹介やインターンシップへの参加	9. 在宅の介護サービスの充実すること
4. 技術や技能の習得の機会を多くすること	10. その他 ()
5. パート労働条件を向上させること	11. 特になし
6. 就職に関する相談体制を充実させること	

問11 次の項目について、あなたは日頃、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。①～⑤それぞれについて、あなたの平日と休日のおおよその時間を（ ）内に数字でご記入ください。
なお、あてはまらない場合は「0（ゼロ）」とご記入ください。

項目	平日	休日
①家事	() 時間 () 分	() 時間 () 分
②介護	() 時間 () 分	() 時間 () 分
③趣味(自分の時間)	() 時間 () 分	() 時間 () 分
④睡眠	() 時間 () 分	() 時間 () 分
⑤学業・自己研鑽	() 時間 () 分	() 時間 () 分

あなたの職場の状況についてうかがいます

【問12から問14は、問8で「1. 常勤（フルタイム）」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問15へお進みください】
問12 仕事と育児の両立のため、あなたの職場で導入されている取組をお教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

1. フレックスタイム制
2. 裁量労働制(みなし労働時間)
3. 始業、就業時刻の繰上げ、繰下げ
4. 育児短時間勤務制度
5. 在宅勤務制度
6. テレワーク(在宅勤務制度を除く)、サテライトオフィス、コワーキングスペース、シェアオフィス等
7. 配偶者出産休暇制度
8. 失効年次有給休暇の積立制度
9. (子の看護休暇・配偶者出産休暇・失効年次有給休暇の積立制度以外の)育児に関する目的で利用できる休暇制度
10. 半日単位の年次有給休暇制度
11. 時間単位の年次有給休暇制度
12. 事業所内保育施設の設定・運営
13. 保育サービスに関する費用助成
14. 深夜労働をさせない
15. 育児を理由とした転勤の免除
16. その他()
17. わからない

問13 あなたの職場は、育児休業制度が取得しやすい環境だと思いますか。(1つに○)

1. 取得しやすいと思う
2. どちらかと言えば取得しやすいと思う
3. どちらかと言えば取得しにくいと思う
4. 取得しにくいと思う
5. わからない

問14 仮に、あなたやあなたの配偶者(となる方)がこれから出産する場合、あなたは育児休業を取りたいと思いますか。(1つに○)

1. 取りたい
2. 取りたくない
3. 取りたいが、取れない
4. その他()
5. わからない

→【問14-1は、問14で「1. 取りたい」と回答した方にうかがいます】

問14-1 どのくらいの期間、育児休業(現在の制度では、1歳6か月以後も保育園等に入れないなどの場合には、育児休業期間を最長2歳まで延長できます)を取りたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する期間を()内に数字でご記入ください。

1. 出産後から()年()ヶ月
2. わからない

問15 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など(職場)における環境整備としてどのようなものを望みますか。(3つまでに○)

1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度(時差出勤制度など)
2. 産前産後の休暇が十分に与えられる制度
3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度
4. 男女とも育児休業期間が1年を超えてとれる制度
5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度(再雇用制度)
6. 育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度(短時間勤務制度)
7. 就業時間のある程度自由に融通できる制度(フレックスタイム制度)
8. 自宅で仕事をすることができるとの制度(在宅勤務制度)
9. 子どもが病氣やケガのときに休暇がとれる制度(子の看護休暇制度)
10. 子どもの行事(運動会やお遊戯会など)に参加するための休暇制度
11. 企業(職場)内に託児所を設けること
12. 男女ともに子育てと仕事の両立しやすいように、企業(職場)内で子育てへの理解を広めていく
13. 保育料に対する企業(職場)からの助成
14. その他()
15. 特に希望することはない

問16 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 出産や子育てのしやすい就業条件を促進する
2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする
3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する
4. 親の就労形態や通勤時間などの費用負担を軽減する
5. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する
6. 保育園や幼稚園に入りやすくする
7. 子どもの個性を尊重した、ゆとりある教育を進める
8. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
9. 青少年地区委員会による各種レクリエーション活動など地域の健全育成活動を進める
10. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める
11. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす
12. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める
13. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める
14. 家族が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める
15. その他()

あなたの悩み事や子育ての考え方等についてうかがいます

問17 あなたが、今悩んでいることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の健康のこと
2. 配偶者・パートナーの健康のこと
3. 家族(両親や祖父母等)の健康のこと
4. 自分の性的自認のこと
5. 仕事の収入など経済的なこと
6. 職場における対人関係・労働環境等について
7. その他()
8. 特にない

問18 あなたご自身にあてはまることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 結婚相手もしくは人生を共に歩むパートナーが見つからない
2. 経済的な事情から、結婚に踏み出せない
3. 家の外に出て活動することが難しい
4. 希望する仕事に就くことができない
5. 仕事が続かないことが多い
6. 家族(両親やきょうだい)との関係がよくない
7. 気軽に相談や悩み事を打ち明けられる友人や相談相手が見つからない
8. アルコール類やタバコの摂取が多過ぎると感じている
9. これまで職場や学校などで、いじめや差別を受けたことがある
10. あてはまるものはない

問19 あなたの子どものことについてのお考えは、以下のどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 今は子どもがいないが、将来は子どもが欲しいと思う
2. 現在子どもがおり、将来も子どもが欲しいと思う
3. 現在子どもがおり、これ以上子どもが欲しいと思わない
4. 子どもは欲しくない

【問19-1は、問19で「1」～「3」と回答した方にうかがいます】

問19-1 あなたは子どもを実際に何人くらい欲しいですか。(1つに○)

※現在子どもがいる方は、その子どもも含めた人数をお答えください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. 人数に希望はない

【問19-2は、問19で「3」「4」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問20へお進みください】

問19-2 あなたは、どのようになれば子どもを産み育てたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て・教育に係る費用が安くなる。もしくは、子育て世帯に対する手当・給付が充実される
2. 子育てに困った際に身近に頼れる方が見つけられるようになる。もしくはヘルパーなどが充実される
3. 就労の有無にかかわらず、保育サービスが利用できる環境が整えられる
4. 子どもの健全な発育が担保される教育・福祉等の環境がきちんと整備される
5. 身体的・精神的な負担が少ない不妊治療が確立される
6. 不妊治療に関する周囲の人々の理解や就労にあたっての配慮等が進む
7. 不妊治療に関する国の助成制度の内容が十分に周知されるようになる
8. 子どもを産み育てるつもりはない
9. その他()
10. 特にない

問20 あなたが、子育てで不安に思っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事をしながら子育てをすることが難しい
2. きちんとした子どもに育てられるか自信がない
3. 仕事にさしきわりがある
4. 配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
5. 親の協力が期待できない
6. 保育サービスを利用できない
7. 経済的にやっていけないか不安
8. 自分や夫婦だけの時間が取れない
9. 子どもと一緒に過ごす時間を十分に取れない
10. 子育てをする体力がない
11. その他()
12. 特にない
13. わからない

問21 あなたは、結婚生活において、夫婦の間で家計をどのように担うのが良いと思いますか。

(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 夫が家計の担い手となる |
| 2. どちらかというど夫が家計の主な担い手となる |
| 3. どちらも同じくらい |
| 4. どちらかというど妻が家計の主な担い手となる |
| 5. 妻が家計の担い手となる |
| 6. その時に収入が多い方が担い手になる |
| 7. その他 () |
| 8. わからない |

北区の子育て環境等についてうかがいます

問22 北区は総合的にみて、子育てしやすいところだと思いますか。お子さんがいない方はイメージでお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 子育てしやすい | 3. 子育てしにくい |
| 2. ぶつう | 4. わからない |

問23 あなたは、北区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 今後とも住み続けたい | 4. 転居の予定がある |
| 2. 当面は住むつもり | 5. 先のことではわからない |
| 3. できれば転居したい | 6. その他 () |

問24 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 4. 苦しい |
| 2. ゆとりがある | 5. 大変苦しい |
| 3. ぶつう | |

問25 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前(2020年4月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(①～⑤ごとにそれぞれ1つに○)

項目	増えた	減った	変わらない
①世帯全体の収入の変化	1	2	3
②生活に必要な支出の変化	1	2	3
③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと	1	2	3
④家族との間で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
⑤あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問26 世帯の年収は、次のうちどれに当たりますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 200万円未満 | 6. 600万円以上～700万円未満 |
| 2. 200万円以上～300万円未満 | 7. 700万円以上～800万円未満 |
| 3. 300万円以上～400万円未満 | 8. 800万円以上～900万円未満 |
| 4. 400万円以上～500万円未満 | 9. 900万円以上～1,000万円未満 |
| 5. 500万円以上～600万円未満 | 10. 1,000万円以上 |

問27 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

北区子ども・子育て支援に関するニース調査

～④-1 世帯主と子どもの世帯用～
(アンケートへのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にともない、区民の皆様へのニーズを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住の世帯主と子どものみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者の中から750人を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

令和4年10月
東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、宛名のお子さんの保護者の方を「あなた」と表記しています。
- 特にことわりのない限り、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方がお答えください。
- 回答は、**あてはまる番号を○で囲んでください**。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制(例:「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて**10月31日(月)**までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

(調査の趣旨)

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

(調査内容・回答方法：調査委託先)

株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)
受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00
メールアドレス：k_policy@jmar.co.jp

用語説明

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)です。
保育所(園)	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)です。※本調査票内では、保育園と表記しています。
認定こども園	幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)です。
児童発達支援センター	18歳未満の子どもの発達や障害に関する相談、就学前の療育(児童発達支援)を行っているほか、様々な障害についての講演会、学習会を行っています。
わくわく☆ひろば (放課後子ども総合プラン)	小学校の教室や校庭、体育館などを使い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に開催します。専任の指導員や地域の大人たちに見守られ、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる活動場所や生活の場を提供するものです。学年を越えた交流を図りながら、宿題や復習などの学習活動、体験学習、校庭遊びやスポーツなどが体験できます。登録には『放課後子ども教室(一般登録)』と『学童クラブ(学童クラブ登録)』があります。
子どもセンター	<放課後子ども教室(一般登録)とは> 小学校1～6年生のすべての児童が対象です。教室や校庭等を活動場所に、子どもたちの遊び場・学び場を提供します。(自由参加・自由帰宅)利用にあたっては登録が必要です。
ティーンズセンター	<学童クラブ(学童クラブ登録)とは> 保護者が就労等により育成が必要な家庭の児童が対象です。対象は小学校1～3年生の児童です。※4年生以上は学童クラブ特例として一般登録を利用します。保護者の申請に基づき、区が利用者を決定します。 子どもセンターは、乳幼児親子が安心して1日過ごせる居場所です。年間を通じた乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。
	ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。

お住まいの地域についてうかがいます

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

地区名	対象地域 (参考)
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条中原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条中原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5. 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6. 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7. 滝野川東	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

1. 1年未満	4. 5年以上10年未満	7. 20年以上
2. 1年以上3年未満	5. 10年以上15年未満	
3. 3年以上5年未満	6. 15年以上20年未満	

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(1つに○)

1. 生まれたときから北区に居住し続けている	6. 保育・子育て支援が充実している
2. 職場に行きやすい(通勤に便利)	7. 教育環境がよい
3. 親・親せきが近くにいる	8. 自然環境がよい
4. 住宅価格や家賃が手頃である	9. まちのイメージがよい
5. 医療や福祉が充実している	10. その他()

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。また、生年月月をご記入ください。

①きょうだい数()人	
②宛名のお子さんの生年月 西暦()年()月 生まれ	
③きょうだいの生年月	
西暦()年()月 生まれ	西暦()年()月 生まれ
西暦()年()月 生まれ	西暦()年()月 生まれ
西暦()年()月 生まれ	西暦()年()月 生まれ

問6 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 19歳以下	3. 30歳～39歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	4. 40歳～49歳	6. 60歳以上

問7 あなたの最終学歴について教えてください。(1つに○)

1. 中学校卒業	6. 大学中退
2. 高等学校中退	7. 大学卒業
3. 高等学校卒業	8. 大学院中退
4. 高専、短大、専門学校等中退	9. 大学院修了
5. 高専、短大、専門学校等卒業	10. その他()

問8 あなたご自身も含めた世帯の人数をお答えください。()内に数字でご記入ください。

()人

問9 ひとり親世帯になった理由をお答えください。(1つに○)

1. 離婚	3. 未婚	5. その他()
2. 死別	4. 別居	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問10 宛名のお子さんは、1週間に朝食をどれくらい食べていますか。(1つに○)

1. 毎日食べる	3. 週に3、4日は食べる	5. ほとんど食べない
2. 週に5日以上食べる	4. 週に1、2日は食べる	6. わからない

問11 宛名のお子さんは、夕食を誰と食べることが多いですか。(1つに○)

1. 家族全員	3. 父や母ではなく、祖父母と	5. 子どもひとり
2. 父または母と	4. 子どもだけ(きょうだいだけ)	6. その他()

【問11-1は、問11で「4」または「5」と回答した方にかがいます】

問11-1 宛名のお子さんが夕食を子どもだけで食べる最も大きな理由は何ですか。(1つに○)

1. 働いている親の帰宅が遅いから	4. 親が育児・介護などで忙しいから
2. 親が夜間の仕事で不在となるから	5. その他 ()
3. 本人が学校、部活動、習い事・塾などで帰宅が遅くなるから	

問12 宛名のお子さんは、現在、塾に行ったり、習い事をしたりしていますか。費用がかからないサ
ークル活動等を含みます。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習塾	5. スポーツ (野球、サッカー、水泳など)
2. 通信教育	6. その他 ()
3. 英会話・そろばんなど、学習の習い事	7. 塾や習い事はしていない
4. ピアノ・バレエなど、芸術の習い事	

【以下の問13から問17は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】

問13 宛名のお子さんは、平日の学校が終わった後、帰宅までの間、どのように過ごすことが多いで
すか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅でひとり過ごしている	10. スポーツクラブに参加している
2. 自宅で家族と過ごしている	11. 図書館、児童館 (子どもセンター・ティーンズセンター) 等の公共施設に行っている
3. 友達や兄弟姉妹と公園などで遊んでいる	12. 学校の部活動に参加している
4. 友達や兄弟姉妹と家の中で遊んでいる	13. 子ども食堂や学習支援教室で過ごす
5. 小学校で遊んでいる (校庭開放)	14. ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く
6. 同居していない親族や知人宅で過ごしている	15. アルバイトに行く
7. 放課後子ども教室で過ごしている	16. その他 ()
8. 学童クラブで過ごしている	17. わからない
9. 学習塾や習い事に行っている (民間学童含む)	

問14 宛名のお子さんについて、子ども食堂などの居場所があった場合、利用したいと思いますか。
(1つに○)

1. 現在利用している	2. 今後利用したいと思う	3. 利用するつもりはない
-------------	---------------	---------------

※ここでの「子ども食堂」とは、子どもがひとりでも時間を過ごすことができ、無料あるいは安価に食事ができる場所のことをいいます。

問15 宛名のお子さんは、平日に学校以外の場でどれくらい勉強をしていますか。

(①②それぞれについて、1つに○)

項目	全くして いない	30分未満 1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間 以上
①塾など自宅以外での勉強	1	2	3	4	5
②自宅での勉強	1	2	3	4	5

問16 宛名のお子さんの、学校での成績はいかがですか。(1つに○)

1. 良好	3. ぶつう	5. よくない
2. まあまあ良好	4. あまりよくない	6. わからない

問17 宛名のお子さんについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度 (学習の手助けな
ど)があった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 現在利用している	2. 今後利用したいと思う	3. 利用するつもりはない
-------------	---------------	---------------

【以降は、全ての方がお答えください】

問18 あなたは宛名のお子さんについて、以下の事をしていますか。

(①～⑥のそれぞれについて、1つに○)

項目	している		していない	
	(必要だと感わない)	(経済的にできない)	(時間がない)	(費用が足りない)
①絵本や子ども用の本を購入する	1	1	2	3
②毎年、新しい服を購入する	1	1	2	3
③お誕生日のお祝いをする	1	1	2	3
④1年に1回くらい家族旅行に行く	1	1	2	3
⑤医者に行く (健診を含む)	1	1	2	3
⑥歯医者に行く (健診を含む)	1	1	2	3

問19 あなたは宛名のお子さんについて、今後の段階までの教育を受けさせたいですか。

(①～③のそれぞれについて、1つに○)

項目	受けさせたい		受けさせたくない	
	(経済的に可能だと感わない)	(経済的に受けさせたいが、経済的に受けさせられない)	(経済的に可能だと感わない)	(経済的に受けさせられない)
①高校までの教育	1	2	3	3
②短大・高専・専門学校までの教育	1	2	3	3
③大学・大学院までの教育	1	2	3	3

あなたの生活についてうかがいます

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由により、以下のものが買えなかったり、支払いができなかったりしたことがありますか。(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

項目	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
①家族が必要な食料を買えなかったこと (嗜好品は含みません)	1	2	3	4
②家族が必要な衣料を買えなかったこと (高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません)	1	2	3	4
③子どもが必要とする文具や教材を買えなかったこと	1	2	3	4
④電気・ガス・水道料金の未払い	1	2	3	4
⑤家賃やローンの滞納	1	2	3	4

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。

(「ある」場合には、その理由について、あてはまるものすべてに○)

1. ない (病院や診療所を受診した方がよいと思わなかった場合は、必ず受診した)	
2. ある (病院や診療所に行く時間がなかったため)	
3. ある (身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため)	
4. ある (病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため)	
5. ある (公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しかったため)	
6. ある (公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しかったため)	
7. ある (その他の理由)	

問22 あなたの世帯では、経済的な理由により、これまでに子どもに進学をあきらめさせたり学校を中退させたりしたことはありませんか。(1つに○)

1. ある	
2. これまでにはないが、今後その可能性がある	
3. これまでになく、今後もその可能性はない (可能性は低い)	

子育ての環境についてうかがいます

問23 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

1. 満足していない	4. まあまあ満足している
2. あまり満足していない	5. 満足している
3. どちらとも言えない	

【問23-1は、問23で「4」「5」と回答した方にうかがいます】

問23-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境がよい	8. 近所づきあいや地域活動が盛ん
2. 自然環境がよい	9. 地域の子育てネットワークができてきている
3. 交通機関が便利	10. 子育てに関する情報が得やすい
4. 保育園に入りやすい	11. 事故や犯罪が少なく安全
5. 幼稚園に入りやすい	12. 学校教育が充実している
6. 保育サービスが充実している	13. 放課後対策が充実している
7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が多い	14. 医療機関が充実している
	15. その他 ()

【問23-2は、問23で「1」「2」と回答した方にうかがいます】

問23-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境がよくない	8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない
2. 自然環境がよくない	9. 地域の子育てネットワークができていない
3. 交通機関が不便	10. 子育てに関する情報が得にくい
4. 保育園に入りにくい	11. 事故や犯罪が多く危険
5. 幼稚園に入りにくい	12. 学校教育が充実していない
6. 保育サービスが充実していない	13. 放課後対策が充実していない
7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が少ない	14. 医療機関が充実していない
	15. その他 ()

問24 今後、北区で子育てをしたいと思えますか。(1つに○)

1. ずっと北区で子育てをしたい	
2. 当分の間は北区で子育てをしたい	
3. できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい	
4. 近いうちに転出するつもりである	
5. その他 ()	

地域での子育て支援についてうかがいます

問25 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

1. 子どもを預けることができるくらいの仲間がいる	3. いない
2. 話をする仲間がいる	

問26 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している	2. 参加していない
-----------	------------

問29 ひとり親世帯になったときに、困ったこと、悩んだことをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 保証人が見つからず、住宅が借りられなかった
2. ひとり親世帯のため賃貸住宅に入居できなかった
3. 公営住宅に落選し、入居できなかった
4. 就職先が決まらなかった
5. 就業に関する相談先、情報入手先がわからなかった
6. 子どもが保育園に入れなかった
7. 子どものしつけ
8. 子どもの養育費（教育費など）
9. 生活費が不足した
10. 炊事洗濯等の日常の家事ができなかった
11. ひとり親のための制度などを、どうやって調べたらよいかわからなかった
12. その他（ ）

問30 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。

また、相談できる場所はありませんか。（1つに○）

1. いる／ある ---▶ 【問30-1へ】
2. いない／ない ---▶ 【問31へ】

【問28-1は、問26で「2. 参加していない」と回答した方にかかっています】

問26-1 参加していない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 既に他の仲間がいる
2. 参加する機会がない
3. 参加する機会がない
4. グループに関する情報がない
5. 必要がない（興味がない）
6. その他（ ）

問27 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他（ ）
9. 特に必要ない

子育ての困りごと、相談先についてうかがいます

【問28は、問9で「1. 離婚」「3. 未婚」「4. 別居」のいずれかに回答した方にかかっています。それ以外の方は、問29へお進みください】

問28 子どもの養育費について取り決めをしていますか。（1つに○）

1. 取り決めをしていない
2. 現在、協議中である
3. 取り決めをしているが、養育費をもらっていない
4. 取り決めがあり、養育費をもらっている
5. 取り決める相手がいない（死別など）

【問28-1は、問28で「1」と回答した方にかかっています】

問28-1 養育費について取り決めをしていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 交渉がまとまらなかった
2. 相手の経済状況等から養育費を要求できない
3. 相手と関わりたくない
4. 知らなかった
5. 取り決めの仕方がわからなかった
6. 養育費を取り決める必要がなかった
7. その他（ ）

【問28-2は、問28で「1」から「3」のいずれかに回答した方にかかっています。それ以外の方は、問29へお進みください】

問28-2 養育費等に関する法律相談（無料）を利用したいと思いますか。（1つに○）

1. 現在、利用している
2. 今後、利用したいと思う
3. 利用しない

1. 配偶者
2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）
6. 子ども家庭支援センター
7. 児童発達支援センター
8. 各健康支援センター
9. スペースゆゆう
10. 教育総合相談センター
11. 東京都児童相談センター
12. 保育園の先生
13. 幼稚園・認定こども園の先生
14. 学校の先生
15. 民生委員・児童委員
16. かかりつけの医師
17. インターネットの相談サイト
18. その他（ ）

問31 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）

ですか。お子さんからみた関係をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 母親
2. 父親
3. 祖父母
4. 幼稚園
5. 保育園
6. 認定こども園
7. その他（ ）

問32 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等ほどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所ですること	
2. 子どもや生活などの悩みごとの相談	
3. ひとり親同士の交流の場の提供	
4. 民生委員・児童委員などの地域の人からの支援	
5. 離婚や養育費についての専門的な相談	
6. 養育費確保に向けた支援	
7. 病気や障害のことなどについての専門的な相談	
8. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援	
9. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	
10. ヘルパー等からの一時的な家事や育児の支援	
11. 保育園・一時預かりサービス・学童クラブなどの充実	
12. 一時的に必要なこととなる資金の貸付	
13. 子どもの就学にかかる費用の軽減	
14. 就職・転職のための支援	
15. 就職活動のときに一時的に子どもを預けられること	
16. 資格や技能の取得支援	
17. その他 ()	
18. 特になし	

問33 あなたは、過去1か月で、どれくらいの頻度で以下のようなことがありましたか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項目	まったくない	ま	少	とき	たい	い
	1	2	3	4	5	
①神経過敏(ちょっとした事も気になる)に感じたこと	1	2	3	4	5	5
②それかわ、落ち着かなく感じたこと	1	2	3	4	5	5
③気分が沈み込んで、何が起ころってても気が晴れないように感じたこと	1	2	3	4	5	5
④何をすることも骨折(おっくう)だと感じたこと	1	2	3	4	5	5
⑤自分は価値のない人間だと思ったこと	1	2	3	4	5	5
⑥絶望的だと感じたこと	1	2	3	4	5	5

就業状況についてうかがいます

問34 あなたは、現在収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

1. していない
2. している ---▶▶ 【問35へ】

【問34-1は、問34で「1. していない」と回答した方にかがいます】

問34-1 あなたは、現在働きたいと思っていますか。(1つに○)

1. はい ---▶▶ 【問34-2へ】
2. いいえ ---▶▶ 【問37へ】

【問34-2、問34-3は、問34-1で「1. はい」と回答した方にかがいます】

問34-2 働きたいと思っているのに、働いていない理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事の探し方がわからない	7. 自身の健康などの問題がある
2. 収入について条件のあう仕事がない	8. 子どもの健康上の不安などの問題がある
3. 時間について条件のあう仕事がない	9. 家族(親など)を介護している
4. 年齢制限のため仕事がない	10. 学校や職業訓練などを受講中
5. 仕事に必要な専門知識や資格がない	11. その他 ()
6. 子どもの保育の手立てがない	

問34-3 仕事に就く場合、重視することはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 身分が安定している	8. 経験や能力を発揮できる
2. 休暇が取りやすい	9. 仕事が簡単である
3. 十分な収入が得られる	10. 就業時間に融通がきく
4. 土・日曜日に休める	11. 残業が少ない
5. 通勤時間が短い	12. 労働時間が短い
6. 厚生年金や雇用保険に入れる	13. 技術や技能を身につけられる
7. 在宅でできる	14. その他 ()

【問35、問36は、問34で「2. している」と回答した方だけお答えください】

問35 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 常勤(フルタイム)	4. 内職・在宅就労
2. パート・アルバイト	5. その他 ()
3. 自営業(手伝い含む)	

問36 現在の仕事の1週間あたりの平均勤務日数、残業時間を含めた1日あたりの平均就業時間、働いている日の平均的な家を出る時刻・平均帰宅時刻について、それぞれの()の中にご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

①1週間あたりの平均勤務日数	約 () 日
②1日あたりの平均就業時間	約 () 時間
③働いている日の平均的な家を出る時刻	() 時頃
④働いている日の平均帰宅時刻	() 時頃

制度利用についてうかがいます

問37 宛名のお子さんは学童クラブを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない 3. 以前、利用していた

問38 北区が実施している制度・事業についてうかがいます。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

(①～③の制度・事業ごとに、A、Bそれぞれについて、該当する番号に○)

項目	A 認知度			B 利用意向	
	1 利用していることがある	2 利用しているが、利用したことはない	3 知らなかった	1 利用したい	2 利用したくない
【記入例】	①	2	3	①	2
①そのまま相談室（ひとり親家庭等相談室）					
①そのまま相談室（ひとり親家庭等相談室） （子育て中のひとり親家庭や、ひとり子育てをすることによる不安を抱えるご家庭の相談室です。日頃の悩みやグチから、生活に関わるお困りごとまで、幅広くご相談に応じ、支援制度などをご案内します。）	1	2	3	1	2
②北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談	1	2	3	1	2
③ひとり親家庭等医療費助成制度 （助成を受けるには、所得の制限がありますが、ひとり親世帯等（父または母が重度障害者の場合も含む）で、18歳に達した年度の3月末日（一定の障害がある時は20歳未満）までのお子さん、そのお子さんを養育している方に、保険適用医療費自己負担分の全額または一部を補助します。）	1	2	3	1	2
④児童育成手当・児童扶養手当 （手当を受給するには、所得の制限がありますが、ひとり親世帯等（父または母が重度障害者の場合も含む）で、18歳に達した年度の3月末日（一定の障害がある時は20歳未満）までのお子さんを養育している方に、手当を支給する制度です。）	1	2	3	1	2
⑤ひとり親家庭自立支援プログラム（就労計画書）策定 （北区内に住む、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の父または母を対象に、個々に合わせた自立支援プログラム（就労計画書）を策定し、専任の就職支援員が公共職業安定所と連携して、ひとり親家庭の父または母の就労を支援します。）	1	2	3	1	2

項目	A 認知度			B 利用意向	
	1 利用していることがある	2 利用しているが、利用したことはない	3 知らなかった	1 利用したい	2 利用したくない
⑥ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 （ひとり親家庭の父または母が、その能力を開発し、適職につくために受講した教育訓練の費用の一部を区が給付することによって、ひとり親家庭の自立を支援する事業です。）	1	2	3	1	2
⑦ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 （ひとり親家庭の父または母の経済的な自立を促進するため、就業に結びつきやすい資格の取得及び技能の修得を支援します。修業期間中の生活の負担を軽減する目的で給付金を支給する事業です。）	1	2	3	1	2
⑧ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 （ひとり親家庭の父または母及び子が、高等学校卒業程度認定試験の合格のために受講する講座（通信講座を含む）費用の一部を区が支給して、高等学校卒業程度認定資格の取得を支援する制度です。）	1	2	3	1	2
⑨福祉資金貸付（母子福祉応急小口資金） （北区では、他の資金から借受が困難で、災害、疾病、その他応急に必要とする費用の調達が困難な母子世帯の方に母子福祉応急小口資金をお貸しします。）	1	2	3	1	2
⑩福祉資金貸付（東京都母子及び父子福祉資金） （東京都は、ひとり親家庭の方々が経済的に自立して、安定した生活を送るために必要とする資金をお貸ししています。）	1	2	3	1	2
⑪母子生活支援施設 （区内在住で、生活上のさまざまな問題を抱え、子ども（18歳未満の児童）の養育にお困りの母子世帯の生活と自立を支援する児童福祉施設です。）	1	2	3	1	2
⑫ところと生き方・DV相談 （DV、夫婦、親子関係、職場や学校でのセクシュアル・ハラスメントや人間関係など、生きていく上で様々な問題の相談に応じます。）	1	2	3	1	2
⑬女性のための法律相談 （離婚や相続、性暴力被害、職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント、雇用、労働上のトラブルなど、身の回りで起こる様々な問題に対して、女性弁護士が相談に応じます。）	1	2	3	1	2

問39 あなたは就職や仕事のため、区からどのような支援を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 技能講習、職業訓練などの機会が増える
2. 訓練受講などに経済的援助が受けられる
3. 仕事を探したり、訓練受講などの際に子どもを預かってもらえる
4. 相談が一か所ですべてできる
5. 就労のための支援策などの情報が得られる
6. 保育園にすぐ入れる
7. 延長保育、休日保育が充実する
8. 病気の子どもを預かってもらえる
9. 学童クラブにすぐに入れる
10. 仕事から帰宅するまでの間、子どもを預かってくれる
11. 親が病気のとき、一時的に子どもを預かってくれる
12. 子どもが病気で保育園に行けないときなど、自宅で面倒を見てくれる人を派遣してもらおう
13. 母子家庭・父子家庭の就職相談や求職情報、養育費の相談など生活支援サービスを利用できる
14. 就職のための資格・技能を取得する講習会等の受講費用を援助する
15. 長期（2年以上）に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をする
16. その他（ ）

宛名のお子さんの子育て全般についてうかがいます

問40 あなたは子育てが楽しいですか。(1つに○)

1. とても楽しい
2. つらいこともあるが楽しいことが多い
3. 楽しいこともあるがつらいことが多い
4. とてもつらい

問41 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気
2. 発育・発達か他の子と比べ遅れていると思う
3. 食事や栄養
4. 子どものしつけの方法がよくわからない
5. 子どもとの接し方に自信がもてない
6. 子どもとの時間を十分にとれない
7. 子どもへのほめ方やしかり方がよくわからない
8. いじめに関すること
9. 子どもの友達つきあいや対人関係
10. 不登校
11. 子どもの学力の遅れ
12. 子どもの教育・塾、進路
13. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
14. 子どもに落ち着きがない
15. 子どものごことで話し相手や相談相手がいけない
16. 子育て・教育費の経済的負担
17. その他（ ）
18. 特になし

問42 宛名のお子さんとかかわかる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなどの合計の時間）はだいたいどのくらいありますか。

(母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ1つに○)

(1) 母親（父子家庭の場合は、記入は不要です）

平日（1つに○）	休日（1つに○）
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

(2) 父親（母子家庭の場合は、記入は不要です）

平日（1つに○）	休日（1つに○）
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

問43 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①②それぞれ1つに○)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

項目	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	全く参加していない
①保育園・幼稚園、学校における授業参観や運動会など行事への参加	1	2	3	4
②PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問44 子育てに関する情報は、どこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族（親・兄弟姉妹など）
2. 近所の人、知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 区役所の窓口
5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校
6. 子ども家庭支援センター
7. 各健康支援センター
8. 教育総合相談センター
9. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）
10. 北区ニュース（広報誌）
11. テレビ、ラジオ、新聞
12. 市販の子育て情報誌、育児書
13. インターネット
14. 北区子育て応援ガイド「きたハビモバイル」
15. 子育て支援情報配信メール
16. その他（ ）
17. 情報の入手手段がわからない

問45 新型コロナウイルス感染症は、宛名のお子さんにどのような影響を与えていますか。
 (①～⑩ごとにそれぞれ1つに○)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
①子どもの学力が低下した	1	2	3	4	5
②子どもの体力が低下した	1	2	3	4	5
③子どもの精神状態が不安定となった	1	2	3	4	5
④食事の回数や食べる量が減った	1	2	3	4	5
⑤夜遅くまで起きていることが多くなった	1	2	3	4	5
⑥子どもが会話をしなくなった	1	2	3	4	5
⑦子どもが暴力をふるうようになった	1	2	3	4	5
⑧子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた	1	2	3	4	5
⑨子どもが外に出るのを嫌がるようになった	1	2	3	4	5
⑩その他 ()	1	2	3	4	5

問46 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。
 (①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

項目	よくある	たまにある	したことがある	全くない
①子どもを加減せず感情まかせにたたく	1	2	3	4
②子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を言う	1	2	3	4
③子どもの言葉を無視し続ける	1	2	3	4
④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする	1	2	3	4
⑤子どもに物を投げつける	1	2	3	4
⑥子どもに食事を与えない	1	2	3	4
⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる	1	2	3	4
⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する	1	2	3	4

子育てしやすいまちづくりや支援のあり方についてうかがいます

問47 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 出産や子育てのしやすい就業条件を促進する
2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする
3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する
4. 親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める
5. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する
6. 保育園や幼稚園に入りやすくする
7. 子ども各人の個性を尊重した、ゆとりある教育を進める
8. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
9. 青少年地区委員会による各種レクリエーション活動など地域の健全育成活動を進める
10. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める
11. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす
12. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める
13. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める
14. 家族が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める
15. 子どもの虐待を未然に防ぐ対策や虐待をする保護者への対応を充実する
16. その他 ()

問48 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など(職場)における環境整備としてどのようなものを望みますか。(3つまでに○)

1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度(時差出勤制度など)
2. 産前産後の休暇が十分にとれる制度
3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度
4. 男女とも育児休業期間が1年を超えてとれる制度
5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度(再雇用制度)
6. 育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度(短時間勤務制度)
7. 就業時間がある程度自由に融通できる制度(フレックスタイム制度)
8. 自宅で仕事をすることができる制度(在宅勤務制度)
9. 子どもが病氣やケガのときなどに休暇がとれる制度(子の看護休暇制度)
10. 子どもの行事(運動会やお遊戯会など)に参加するための休暇制度
11. 企業(職場)内に託児所を設けること
12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業(職場)内で子育てへの理解を広めていく
13. 保育料に対する企業(職場)からの助成
14. その他 ()
15. 特に希望することはない

問49 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

1. 大変ゆとりがある	4. 苦しい
2. ゆとりがある	5. 大変苦しい
3. ぶつう	

問50 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前(2020年4月以前)から比べて、どのように変まりましたか。(①～⑥ごとにそれぞれ1つに○)

項目	増えた	減った	変わらない
①世帯全体の収入の変化	1	2	3
②生活に必要な支出の変化	1	2	3
③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと	1	2	3
④お子さんと話をすること	1	2	3
⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問51 あなたの世帯全体の収入に該当するものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. あなたの勤労収入	7. 生活保護費
2. 子どもの勤労収入	8. 児童扶養手当
3. その他の世帯員の勤労収入	9. 児童手当
4. 子どもの父または母からの養育費	10. 母子福祉資金借入金
5. 親・親族からの援助	11. 子どもに対する奨学金
6. 遺族基礎年金・厚生年金	12. その他()

問52 あなたの年収と同居世帯全体の年収はいくらですか。

(1) あなたの年収(1つに○)

1. 0円	6. 300～400万円未満	10. 700～800万円未満
2. 1円～50万円未満	7. 400～500万円未満	11. 800～900万円未満
3. 50～100万円未満	8. 500～600万円未満	12. 900～1,000万円未満
4. 100～200万円未満	9. 600～700万円未満	13. 1,000万円以上
5. 200～300万円未満		

(2) 同居世帯全体の年収(あなたの年収を含みます)(1つに○)

1. 0円	6. 300～400万円未満	10. 700～800万円未満
2. 1円～50万円未満	7. 400～500万円未満	11. 800～900万円未満
3. 50～100万円未満	8. 500～600万円未満	12. 900～1,000万円未満
4. 100～200万円未満	9. 600～700万円未満	13. 1,000万円以上
5. 200～300万円未満		

問53 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

～④～2 児童育成手当受給世帯用～
北区子ども・子育て支援に関するニース調査
 (アンケートへのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にともない、区民の皆様の一ズを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となります。現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住の児童育成手当を受給している世帯の中から750人を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

令和4年10月
 東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、宛名のお子さんの保護者の方を「あなた」と表記しています。
- 特にことわりのない限り、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方がお答えください。
- 回答は、**あてはまる番号を○で囲んでください**。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制(例:「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて **10月31日(月)** までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

(調査の趣旨)

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

(調査内容・回答方法：調査委託先)

株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)
 受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00
 メールアドレス：k_policy@jmar.co.jp

用語説明

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)です。
保育所(園)	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)です。※本調査票内では、保育園と表記しています。
認定こども園	幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)です。
児童発達支援センター	18歳未満の子どもの発達や障害に関する相談、就学前の療育(児童発達支援)を行っているほか、様々な障害についての講演会、学習会を行っています。
わくわく☆ひろば (放課後子ども総合プラン)	小学校の教室や校庭、体育館などを使い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に開催します。専任の指導員や地域の大人たちに見守られ、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる活動場所や生活の場を提供するものです。学年を越えた交流を図りながら、宿題や復習などの学習活動、体験学習、校庭遊びやスポーツなどが体験できます。登録には『放課後子ども教室(一般登録)』と『学童クラブ(学童クラブ登録)』があります。
子どもセンター	<放課後子ども教室(一般登録)とは> 小学校1～6年生のすべての児童が対象です。教室や校庭等を活動場所に、子どもたちの遊び場・学ぶ場を提供します。(自由参加・自由帰宅)利用にあたっては登録が必要です。 <学童クラブ(学童クラブ登録)とは> 保護者が就労等により育成が必要な家庭の児童が対象です。対象は小学校1～3年生の児童です。※4年生以上は学童クラブ特例として一般登録を利用します。保護者の申請に基づき、区が利用者を決定します。
ティーンズセンター	子どもセンターは、乳幼児親子が安心して1日過ごせる居場所です。年間を通じた乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。 ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。

お住まいの地域についてうかがいます

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

地区名	対象地域 (参考)
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、七条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5. 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6. 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7. 滝野川東	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

1. 1年未満	4. 5年以上10年未満	7. 20年以上
2. 1年以上3年未満	5. 10年以上15年未満	
3. 3年以上5年未満	6. 15年以上20年未満	

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(1つに○)

1. 生まれたときから北区に居住し続けている	6. 保育・子育て支援が充実している
2. 職場に行きやすい (通勤に便利)	7. 教育環境がよい
3. 親・親せきが近くにいる	8. 自然環境がよい
4. 住宅価格や家賃が手頃である	9. まちのイメージがよい
5. 医療や福祉が充実している	10. その他 ()

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を () 内に数字でご記入ください。また、生年月月をご記入ください。

①きょうだい数 () 人	
②宛名のお子さんの生年月 西暦 () 年 () 月 生まれ	
③きょうだいの生年月	
西暦 () 年 () 月 生まれ	西暦 () 年 () 月 生まれ
西暦 () 年 () 月 生まれ	西暦 () 年 () 月 生まれ
西暦 () 年 () 月 生まれ	西暦 () 年 () 月 生まれ

問6 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 19歳以下	3. 30歳～39歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	4. 40歳～49歳	6. 60歳以上

問7 あなたの最終学歴について教えてください。(1つに○)

1. 中学校卒業	6. 大学中退
2. 高等学校中退	7. 大学卒業
3. 高等学校卒業	8. 大学院中退
4. 高専、短大、専門学校等中退	9. 大学院修了
5. 高専、短大、専門学校等卒業	10. その他 ()

問8 あなたご自身も含めた世帯の人数をお答えください。() 内に数字でご記入ください。

() 人

問9 宛名のお子さんと同居されている方、近居 (概ね30分以内程度で行き来できる範囲) の方はどなたですか。続柄は、宛名のお子さんからみた関係です。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母同居	3. 母同居 (ひとり親世帯)	5. 祖父母近居
2. 父同居 (ひとり親世帯)	4. 祖父母同居	6. その他 ()

【問9-1は、問9で「2」または「3」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問10へお進みください】

問9-1 ひとり親世帯になった理由をお答えください。(1つに○)

1. 離婚	3. 未婚	5. その他 ()
2. 死別	4. 別居	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問10 宛名のお子さんは、1週間に朝食をどれくらい食べていますか。(1つに○)

1. 毎日食べる	3. 週に3、4日は食べる	5. ほとんど食べない
2. 週に5日以上食べる	4. 週に1、2日は食べる	6. わからない

問11 宛名のお子さんは、夕食を誰と食べることが多いですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------------|-----------|
| 1. 家族全員 | 3. 父や母ではなく、祖父母と | 5. 子どもひとり |
| 2. 父または母と | 4. 子どもだけ(きょうだいだけ) | 6. その他() |

【問11-1は、問11で「4」または「5」と回答した方にかがいます】

問11-1 宛名のお子さんが夕食を子どもだけで食べる最も大きな理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 働いている親の帰宅が遅いから | 4. 親が育児・介護などで忙しいから |
| 2. 親が夜間の仕事で不在となるから | 5. その他() |
| 3. 本人が学校、部活動、習い事・塾などで帰宅が遅くなるから | |

問12 宛名のお子さんは、現在、塾に行ったり、習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動等を含みます。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 学習塾 | 5. スポーツ(野球、サッカー、水泳など) |
| 2. 通信教育 | 6. その他() |
| 3. 英会話・そろばんなど、学習の習い事 | 7. 塾や習い事はしていません |
| 4. ピアノ・バレエなど、芸術の習い事 | |

【以下の問13から問17は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください】

問13 宛名のお子さんは、平日の学校が終わった後、帰宅までの間、どのように過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 自宅ですべて過ごす | 10. スポーツクラブに参加している |
| 2. 自宅で家族と過ごす | 11. 図書館、児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)等の公共施設に行っている |
| 3. 友達や兄弟姉妹と公園などで遊んでいる | 12. 学校の部活動に参加している |
| 4. 友達や兄弟姉妹と家の中で遊んでいる(家庭開放) | 13. 子ども食堂や学習支援教室で過ごす |
| 5. 小学校で遊んでいる | 14. ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く |
| 6. 同居していない親族や知人宅で過ごしている | 15. アルバイトに行く |
| 7. 放課後子ども教室で過ごしている | 16. その他() |
| 8. 学童クラブで過ごしている | 17. わからない |
| 9. 学習塾や習い事に行っている(民間学童含む) | |

問14 宛名のお子さんについて、子ども食堂などの居場所があった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 現在利用している | 2. 今後利用したいと思う | 3. 利用するつもりはない |
|-------------|---------------|---------------|

※ここでの「子ども食堂」とは、子どもがひとりでも時間を過ごすことができ、無料あるいは安価に食事ができる場所のことをいいます。

問15 宛名のお子さんは、平日に学校以外の場でどれくらい勉強をしていますか。

(①②それぞれについて、1つに○)

項目	全くして いない	30分未満 1時間未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間 以上
①塾など自宅以外での勉強	1	2	3	4	5	6
②自宅での勉強	1	2	3	4	5	6

問16 宛名のお子さんの、学校での成績はいかがですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 良好 | 3. ぶつう | 5. よくない |
| 2. まあまあ良好 | 4. あまりよくない | 6. わからない |

問17 宛名のお子さんについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度(学習の手助けなど)があった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 現在利用している | 2. 今後利用したいと思う | 3. 利用するつもりはない |
|-------------|---------------|---------------|

【以降は、全ての方がお答えください】

問18 あなたは宛名のお子さんについて、以下の事をしてしていますか。

(①～⑥のそれぞれについて、1つに○)

項目	している	していない		
		(必要だと感わない)	(経済的にできない)	(時間や体力がない)
①絵本や子ども用の本を購入する	1	1	2	3
②毎年、新しい服を購入する	1	1	2	3
③お誕生日のお祝いをする	1	1	2	3
④1年に1回くらい家族旅行に行く	1	1	2	3
⑤医者に行く(健診を含む)	1	1	2	3
⑥歯医者に行く(健診を含む)	1	1	2	3

問19 あなたは宛名のお子さんについて、今後の段階までの教育を受けさせたいですか。

(①～③のそれぞれについて、1つに○)

項目	受けさせたい	受けさせたくない	
		経済的に可能だが受けさせたくない	受けさせたいが、経済的に受けさせられない
①高校までの教育	1	2	3
②短大・高専・専門学校までの教育	1	2	3
③大学・大学院までの教育	1	2	3

あなたの生活についてうかがいます

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由により、以下のものが買えなかったり、支払いができなかったりしたことがありますか。(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

項目	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
①家族が必要な食料を買えなかったこと (嗜好品は含みません)	1	2	3	4
②家族が必要な衣料を買えなかったこと (高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません)	1	2	3	4
③子どもが必要とする文具や教材を買えなかったこと	1	2	3	4
④電気・ガス・水道料金の未払い	1	2	3	4
⑤家賃やローンの滞納	1	2	3	4

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。

(「ある」場合には、その理由について、あてはまるものすべてに○)

1. ない (病院や診療所を受診した方がよいと思わなかった場合は、必ず受診した)	
2. ある (病院や診療所に行く時間がなかったため)	
3. ある (身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため)	
4. ある (病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため)	
5. ある (公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しかったため)	
6. ある (公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しかったため)	
7. ある (その他の理由)	

問22 あなたの世帯では、経済的な理由により、これまでに子どもに進学をあきらめさせたり学校を中退させたりしたことはありませんか。(1つに○)

1. ある	
2. これまでにはないが、今後その可能性がある	
3. これまでになく、今後もその可能性は低い (可能性は低い)	

子育ての環境についてうかがいます

問23 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

1. 満足していない	4. まあまあ満足している
2. あまり満足していない	5. 満足している
3. どちらとも言えない	

【問23-1は、問23で「4」「5」と回答した方にうかがいます】

問23-1 満足している理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境がよい	8. 近所づきあいや地域活動が盛ん
2. 自然環境がよい	9. 地域の子育てネットワークができてきている
3. 交通機関が便利	10. 子育てに関する情報が得やすい
4. 保育園に入りやすい	11. 事故や犯罪が少なく安全
5. 幼稚園に入りやすい	12. 学校教育が充実している
6. 保育サービスが充実している	13. 放課後対策が充実している
7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が多い	14. 医療機関が充実している
	15. その他 ()

【問23-2は、問23で「1」「2」と回答した方にうかがいます】

問23-2 満足していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境がよくない	8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない
2. 自然環境がよくない	9. 地域の子育てネットワークができていない
3. 交通機関が不便	10. 子育てに関する情報が得にくい
4. 保育園に入りにくい	11. 事故や犯罪が多く危険
5. 幼稚園に入りにくい	12. 学校教育が充実していない
6. 保育サービスが充実していない	13. 放課後対策が充実していない
7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が少ない	14. 医療機関が充実していない
	15. その他 ()

問24 今後、北区で子育てをしたいと思えますか。(1つに○)

1. ずっと北区で子育てをしたい	
2. 当分の間は北区で子育てをしたい	
3. できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい	
4. 近いうちに転出するつもりである	
5. その他 ()	

地域での子育て支援についてうかがいます

問25 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

1. 子どもを預けることができるくらいの仲間がいる	3. いない
2. 話をする仲間がいる	

問26 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している	2. 参加していない
-----------	------------

問29 ひとり親世帯になったときに、困ったこと、悩んだことをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 保証人が見つからず、住宅が借りられなかった
2. ひとり親世帯のため賃貸住宅に入居できなかった
3. 公営住宅に落選し、入居できなかった
4. 就職先が決まらなかった
5. 就業に関する相談先、情報入手先がわからなかった
6. 子どもが保育園に入れなかった
7. 子どものしつけ
8. 子どもの養育費（教育費など）
9. 生活費が不足した
10. 炊事洗濯等の日常の家事ができていなかった
11. ひとり親のための制度などを、どうやって調べたらよいかわからなかった
12. その他（ ）

問30 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。

また、相談できる場所はありませんか。（1つに○）

1. いる／ある ---▶ 【問30-1へ】
2. いない／ない ---▶ 【問31へ】

356

【問30-1は、問30で「1. いる／ある」と回答した方にかがいます】

問30-1 お子さんの子育て（家庭での教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者
2. 祖父母等の親族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）
6. 子ども家庭支援センター
7. 児童発達支援センター
8. 各健康支援センター
9. スペースゆゆう
10. 教育総合相談センター
11. 東京都児童相談センター
12. 保育園の先生
13. 幼稚園・認定こども園の先生
14. 学校の先生
15. 民生委員・児童委員
16. かかりつけの医師
17. インターネットの相談サイト
18. その他（ ）

問31 宛名のお子さんの子育て（家庭での教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 母親
2. 父親
3. 祖父母
4. 幼稚園
5. 保育園
6. 認定こども園
7. その他（ ）

【問26-1は、問26で「2. 参加していない」と回答した方にかがいます】

問26-1 参加していない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 既に他の仲間がいる
2. 親同士の人間関係が難しい
3. 参加する機会がない
4. グループに関する情報がない
5. 必要がない（興味がない）
6. その他（ ）

問27 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他（ ）
9. 特に必要ない

子育ての困りごと、相談先についてうかがいます

【問28は、問9-1で「1. 離婚」「3. 未婚」「4. 別居」のいずれかに回答した方にかがいます。

それ以外の方は、問30へお進みください】

問28 子どもの養育費について取り決めをしていますか。（1つに○）

1. 取り決めをしていない
2. 現在、協議中である
3. 取り決めをしているが、養育費をもらっていない
4. 取り決めがあり、養育費をもらっている
5. 取り決める相手がいない（死別など）

【問28-1は、問28で「1」と回答した方にかがいます】

問28-1 養育費について取り決めをしていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 交渉がまとまらなかった
2. 相手の経済状況等から養育費を要求できない
3. 相手と関わりたくない
4. もらえたと知らなかった
5. 取り決めの仕方がわからなかった
6. 養育費を取り決める必要がなかった
7. その他（ ）

【問28-2は、問28で「1」から「3」のいずれかに回答した方にかがいます。それ以外の方は、問

29へお進みください】

問28-2 養育費等に関する法律相談（無料）を利用したいと思いますか。（1つに○）

1. 現在、利用している
2. 今後、利用したいと思う
3. 利用しない

-7-

-8-

問32 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等ほどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所ですること	
2. 子どもや生活などの悩みごとの相談	
3. ひとり親同士の交流の場の提供	
4. 民生委員・児童委員などの地域の人の支援	
5. 離婚や養育費についての専門的な相談	
6. 養育費確保に向けた支援	
7. 病気や障害のことなどについての専門的な相談	
8. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援	
9. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	
10. ヘルパー等からの一時的な家事や育児の支援	
11. 保育園・一時預かりサービス・学童クラブなどの充実	
12. 一時的に必要な資金の貸付	
13. 子どもの就学にかかる費用の軽減	
14. 就職・転職のための支援	
15. 就職活動のときに一時的に子どもを預けられること	
16. 資格や技能の取得支援	
17. その他 ()	
18. 特になし	

問33 あなたは、過去1か月で、どれくらいの頻度で以下のようなことがありましたか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項目	まったくない	ま	少	とき	たい	い
	1	2	3	4	5	
①神経過敏(ちょっとした事も気になる)に感じたこと	1	2	3	4	5	
②それかわ、落ち着かなく感じたこと	1	2	3	4	5	
③気分が沈み込んで、何が起ころってても気が晴れないように感じたこと	1	2	3	4	5	
④何をすることも骨折(おっくう)だと感じたこと	1	2	3	4	5	
⑤自分は価値のない人間だと思ったこと	1	2	3	4	5	
⑥絶望的だと感じたこと	1	2	3	4	5	

就業状況についてうかがいます

問34 あなたは、現在収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

1. していない
2. している ---▶▶ 【問35へ】

【問34-1は、問34で「1. していない」と回答した方にかがいます】

問34-1 あなたは、現在働きたいと思っていますか。(1つに○)

1. はい ---▶▶ 【問34-2へ】
2. いいえ ---▶▶ 【問37へ】

【問34-2、問34-3は、問34-1で「1. はい」と回答した方にかがいます】

問34-2 働きたいと思っているのに、働いていない理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事の探し方がわからない	7. 自身の健康などの問題がある
2. 収入について条件のあう仕事がない	8. 子どもの健康上の不安などの問題がある
3. 時間について条件のあう仕事がない	9. 家族(親など)を介護している
4. 年齢制限のため仕事がない	10. 学校や職業訓練などを受講中
5. 仕事に必要な専門知識や資格がない	11. その他 ()
6. 子どもの保育の手立てがない	

問34-3 仕事に就く場合、重視することはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 身分が安定している	8. 経験や能力を発揮できる
2. 休暇が取りやすい	9. 仕事が簡単である
3. 十分な収入が得られる	10. 就業時間に融通がきく
4. 土・日曜日に休める	11. 残業が少ない
5. 通勤時間が短い	12. 労働時間が短い
6. 厚生年金や雇用保険に入れる	13. 技術や技能を身につけられる
7. 在宅でできる	14. その他 ()

【問35、問36は、問34で「2. している」と回答した方だけお答えください】

問35 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 常勤(フルタイム)	4. 内職・在宅就労
2. パート・アルバイト	5. その他 ()
3. 自営業(手伝い含む)	

問36 現在の仕事の1週間あたりの平均勤務日数、残業時間を含めた1日あたりの平均就業時間、働いている日の平均的な家を出る時刻・平均帰宅時刻について、それぞれの()の中にご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

①1週間あたりの平均勤務日数	約 () 日
②1日あたりの平均就業時間	約 () 時間
③働いている日の平均的な家を出る時刻	() 時頃
④働いている日の平均帰宅時刻	() 時頃

制度利用についてうかがいます

問37 宛名のお子さんは学童クラブを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない 3. 以前、利用していた

問38 北区が実施している制度・事業についてうかがいます。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

(①～③の制度・事業ごとに、A、Bそれぞれについて、該当する番号に○)

項目	A 認知度			B 利用意向		
	1 利用していることがある	2 知っているが、利用したことはない	3 知らなかった	1 利用したい	2 利用したくない	3 利用したくない
【記入例】	①	2	3	①	2	2
①そのまま相談室(ひとり親家庭等相談室)						
①そのまま相談室(ひとり親家庭等相談室) (子育て中のひとり親家庭や、ひとり子育てをすることによる不安を抱えるご家庭の相談室です。日頃の悩みやグチから、生活に関わるお困りごとまで、幅広くご相談に応じ、支援制度などをご案内します。)	1	2	3	1	2	2
②北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談	1	2	3	1	2	2
③ひとり親家庭等医療費助成制度 (助成を受けるには、所得の制限がありますが、ひとり親世帯等(父または母が重度障害者の場合も含む)で、18歳に達した年度の3月末日(一定の障害がある時は20歳未満)までのお子さんと、そのお子さんを養育している方に、保険適用医療費自己負担分の全額または一部を補助します。)	1	2	3	1	2	2
④児童育成手当・児童扶養手当 (手当を受給するには、所得の制限がありますが、ひとり親世帯等(父または母が重度障害者の場合も含む)で、18歳に達した年度の3月末日(一定の障害がある時は20歳未満)までのお子さんを養育している方に、手当を支給する制度です。)	1	2	3	1	2	2
⑤ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定 (北区内に住む、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の父または母を対象に、個々にあわせた自立支援プログラム(就労計画書)を策定し、専任の就職支援員が公共職業安定所と連携して、ひとり親家庭の父または母の就労を支援します。)	1	2	3	1	2	2

項目	A 認知度			B 利用意向		
	1 利用していることがある	2 知っているが、利用したことはない	3 知らなかった	1 利用したい	2 利用したくない	3 利用したくない
⑥ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (ひとり親家庭の父または母が、その能力を開発し、適職につくために受講した教育訓練の費用の一部を区が給付することによって、ひとり親家庭の自立を支援する事業です。)	1	2	3	1	2	2
⑦ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 (ひとり親家庭の父または母の経済的な自立を促進するため、就業に結びつきやすい資格の取得及び技能の修得を支援します。修業期間中の生活の負担を軽減する目的で給付金を支給する事業です。)	1	2	3	1	2	2
⑧ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 (ひとり親家庭の父または母及び子が、高等学校卒業程度認定試験の合格のために受講する講座(通信講座を含む)費用の一部を区が支給して、高等学校卒業程度認定資格の取得を支援する制度です。)	1	2	3	1	2	2
⑨福祉資金貸付(母子福祉応急小口資金) (北区では、他の資金から借受が困難で、災害、疾病、その他に必要とする費用の調達が困難な母子世帯の方に母子福祉応急小口資金をお貸しします。)	1	2	3	1	2	2
⑩福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金) (東京都は、ひとり親家庭の方々が経済的に自立して、安定した生活を送るために必要とする資金をお貸ししています。)	1	2	3	1	2	2
⑪母子生活支援施設 (区内在住で、生活上のさまざまな問題を抱え、子ども(18歳未満の児童)の養育にお困りの母子世帯の生活と自立を支援する児童福祉施設です。)	1	2	3	1	2	2
⑫ところと生き方・DV相談 (DV、夫婦、親子関係、職場や学校でのセクシュアル・ハラスメントや人間関係など、生きていく上で様々な問題の相談に応じます。)	1	2	3	1	2	2
⑬女性のための法律相談 (離婚や相続、性暴力被害、職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント、雇用、労働上のトラブルなど、身の回りで起こる様々な問題に対して、女性弁護士が相談に応じます。)	1	2	3	1	2	2

問39 あなたは就職や仕事のため、区からどのような支援を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 技能講習、職業訓練などの機会が増える
2. 訓練受講などに経済的援助が受けられる
3. 仕事を探したり、訓練受講などの際に子どもを預かってもらえる
4. 相談が一か所ですべてできる
5. 就労のための支援策などの情報が得られる
6. 保育園にすぐ入れる
7. 延長保育、休日保育が充実する
8. 病気の子どもを預かってもらえる
9. 学童クラブにすぐに入れる
10. 仕事から帰宅するまでの間、子どもを預かってくれる
11. 親が病気のとき、一時的に子どもを預かってくれる
12. 子どもが病気で保育園に行けないときなど、自宅で面倒を見てくれる人を派遣してもらう
13. 母子家庭・父子家庭の就職相談や求職情報、養育費の相談など生活支援サービスを利用できる
14. 就職のための資格・技能を取得する講習会等の受講費用を援助する
15. 長期（2年以上）に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をする
16. その他（ ）

宛名のお子さんの子育て全般についてうかがいます

問40 あなたは子育てが楽しいですか。(1つに○)

1. とても楽しい
2. つらいこともあるが楽しいことが多い
3. 楽しいこともあるがつらいことが多い
4. とてもつらい

問41 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気
2. 発育・発達か他の子と比べ遅れていると思う
3. 食事や栄養
4. 子どものしつけの方法がよくわからない
5. 子どもとの接し方に自信がもてない
6. 子どもとの時間を十分にとれない
7. 子どものほめ方やしかり方がよくわからない
8. いじめに関すること
9. 子どもの友達つきあいや対人関係
10. 不登校
11. 子どもの学力の遅れ
12. 子どもの教育・塾、進路
13. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
14. 子どもに落ち着きがない
15. 子どものごことで話し相手や相談相手がいけない
16. 子育て・教育費の経済的負担
17. その他（ ）
18. 特になし

問42 宛名のお子さんとかかわかる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなどの合計の時間）はだいたいどのくらいありますか。

(母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ1つに○)

(1) 母親（父子家庭の場合は、記入は不要です）

平日（1つに○）	休日（1つに○）
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

(2) 父親（母子家庭の場合は、記入は不要です）

平日（1つに○）	休日（1つに○）
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

問43 あなたは、以下の行事や活動に参加していますか。(①②それぞれ1つに○)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が中止されている場合は、中止前の状況についてお答えください。

項目	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	全く参加していない
①保育園・幼稚園、学校における授業参観や運動会など行事への参加	1	2	3	4
②PTA活動や保護者会等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問44 子育てに関する情報は、どこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族（親・兄弟姉妹など）
2. 近所の人、知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 区役所の窓口
5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校
6. 子ども家庭支援センター
7. 各健康支援センター
8. 教育総合相談センター
9. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）
10. 北区ニュース（広報誌）
11. テレビ、ラジオ、新聞
12. 市販の子育て情報誌、育児書
13. インターネット
14. 北区子育て応援ガイド「きたハビモバイル」
15. 子育て支援情報配信メール
16. その他（ ）
17. 情報の入手手段がわからない

問45 新型コロナウイルス感染症は、宛名のお子さんにどのような影響を与えていますか。
 (①～⑩ごとにそれぞれ1つに○)

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
①子どもの学力が低下した	1	2	3	4	5
②子どもの体力が低下した	1	2	3	4	5
③子どもの精神状態が不安定となった	1	2	3	4	5
④食事の回数や食べる量が減った	1	2	3	4	5
⑤夜遅くまで起きていることが多くなった	1	2	3	4	5
⑥子どもが会話をしなくなった	1	2	3	4	5
⑦子どもが暴力をふるうようになった	1	2	3	4	5
⑧子どもがパソコンやスマホ、ゲームを見る時間が増えた	1	2	3	4	5
⑨子どもが外に出るのを嫌がるようになった	1	2	3	4	5
⑩その他 ()	1	2	3	4	5

問46 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。
 (①～⑧ごとにそれぞれ1つに○)

項目	よくある	たまにある	したことがある	全くない
①子どもを加減せず感情まかせにたたく	1	2	3	4
②子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を言う	1	2	3	4
③子どもの言葉を無視し続ける	1	2	3	4
④子どもを突き飛ばしたり、投げたりする	1	2	3	4
⑤子どもに物を投げつける	1	2	3	4
⑥子どもに食事を与えない	1	2	3	4
⑦子どもを入浴させないなど不潔にさせる	1	2	3	4
⑧子どもを屋外や車の中に長時間放置する	1	2	3	4

子育てしやすいまちづくりや支援のあり方についてうかがいます

問47 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 出産や子育てのしやすい就労条件を促進する
2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする
3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する
4. 親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める
5. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する
6. 保育園や幼稚園に入りやすくする
7. 子ども各人の個性を尊重した、ゆとりある教育を進める
8. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
9. 青少年地区委員会による各種レクリエーション活動など地域の健全育成活動を進める
10. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める
11. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす
12. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める
13. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める
14. 家族が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める
15. 子どもの虐待を未然に防ぐ対策や虐待をする保護者への対応を充実する
16. その他 ()

問48 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など(職場)における環境整備としてどのようなものを望みますか。(3つまでに○)

1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度(時差出勤制度など)
2. 産前産後の休暇が十分にとれる制度
3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度
4. 男女とも育児休業期間が1年を超えてとれる制度
5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度(再雇用制度)
6. 育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度(短時間勤務制度)
7. 就業時間がある程度自由に融通できる制度(フレックスタイム制度)
8. 自宅で仕事をすることができる制度(在宅勤務制度)
9. 子どもが病氣やケガのときなどに休暇がとれる制度(子の看護休暇制度)
10. 子どもの行事(運動会やお遊戯会など)に参加するための休暇制度
11. 企業(職場)内に託児所を設けること
12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業(職場)内で子育てへの理解を広めていく
13. 保育料に対する企業(職場)からの助成
14. その他 ()
15. 特に希望することはない

問49 あなたは、現在の暮らしをどのように感じていますか。(1つに○)

1. 大変ゆとりがある	4. 苦しい
2. ゆとりがある	5. 大変苦しい
3. ふうふう	

問50 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発出前(2020年4月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(①～⑥ごとにそれぞれ1つに○)

項目	増えた	減った	変わらない
①世帯全体の収入の変化	1	2	3
②生活に必要な支出の変化	1	2	3
③お金が足りなくて、必要な食料や衣服が買えないこと	1	2	3
④お子さんと話をすること	1	2	3
⑤家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
⑥あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問51 あなたの世帯全体の収入に該当するものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. あなたの勤労収入	7. 生活保護費
2. 子どもの勤労収入	8. 児童扶養手当
3. その他の世帯員の勤労収入	9. 児童手当
4. 子どもの父または母からの養育費	10. 母子福祉資金借入金
5. 親・親族からの援助	11. 子どもに対する奨学金
6. 遺族基礎年金・厚生年金	12. その他()

問52 あなたの年収と同居世帯全体の年収はいくらですか。

(1) あなたの年収(1つに○)

1. 0円	6. 300～400万円未満	10. 700～800万円未満
2. 1円～50万円未満	7. 400～500万円未満	11. 800～900万円未満
3. 50～100万円未満	8. 500～600万円未満	12. 900～1,000万円未満
4. 100～200万円未満	9. 600～700万円未満	13. 1,000万円以上
5. 200～300万円未満		

(2) 同居世帯全体の年収(あなたの年収を含みます)(1つに○)

1. 0円	6. 300～400万円未満	10. 700～800万円未満
2. 1円～50万円未満	7. 400～500万円未満	11. 800～900万円未満
3. 50～100万円未満	8. 500～600万円未満	12. 900～1,000万円未満
4. 100～200万円未満	9. 600～700万円未満	13. 1,000万円以上
5. 200～300万円未満		

問53 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

3. アンケート調査の回答の実施

- ・画面の指示をお読みいただきながら、お答えください。
- ・ページ内のすべての質問に回答したら「次へ」ボタンを押ししてください。
- ・最終ページの「次へ」ボタンをクリックすると調査は完了します。
- ・最終ページの「次へ」ボタンをクリックした後は、回答の変更ができませんので、ご注意ください。

4. ご注意いただきたいこと

- ・この調査は、回答を途中保存することができます。
- ・回答を一時中断する場合は、そのまま画面を閉じてください。
- ・「次へ」ボタンを押ししたページまで、回答結果は保存されます。
- ・再開する場合は、再度ログインしてください。一時中断した画面から再開できます。

※相談先一覧

- 24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】
電話番号：0120-0-78310（通話無料） 受付時間：年中無休24時間受付
- 児童相談所相談専用ダイヤル【厚生労働省】
電話番号：0120-189-783（通話無料） 受付時間：年中無休24時間受付
- 子どもの人権110番【法務省】
電話番号：0120-007-110（通話無料） 受付時間：平日8:30-17:15
- 子どもと家族の相談窓口【日本精神保健福祉士協会】
メールアドレス：kodomotokazoku@jamtsw.or.jp 受付時間：年中無休24時間受付

あなたとあなたの家族についてお聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他（答えない）

問2 あなたが現在一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. お母さん 6. お姉さん ⇒ () 人
 2. お父さん 7. 弟 ⇒ () 人
 3. おばあさん 8. 妹 ⇒ () 人
 4. おじいさん 9. その他の人 ⇒ () 人
 5. お兄さん ⇒ () 人

問3 働いている家族は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. お母さん 3. おばあさん・おじいさん 5. その他の人 ()
 2. お父さん 4. お兄さん・お姉さん 6. いない

問4 あなたの健康状態について教えてください。(1つに○)

1. よい 3. ぶつう 5. よくない
 2. まあよい 4. あまりよくない

勉強や部活動についてお聞きします

問5 あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

(①②それぞれ1つに○)

①欠席について

1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する

②遅刻や早退について

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問6 あなたは、普段学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

(あてはまるものすべてに○) ※勉強には学校の宿題も含まれます。

1. 自分で勉強する 6. 家の大人に教えてもらう
 2. 塾で勉強する 7. 友達と勉強する
 3. 学校の補習を受ける 8. その他 ()
 4. 家庭教師に教えてもらう 9. 学校の授業以外で勉強はしない
 5. 地域の大会などが行う無料の勉強会に参加する

問7 あなたは、普通学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの日時間勉強をしますか。

(①②それぞれ1つに○) ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。

項目	少ない		1時間以上		2時間以上		3時間以上	
	1	2	3	4	5	6	7	8
①学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6		
②学校のない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6		

問8 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

1. いつもわかる

2. だいたいわかる

3. 教科によってはわからないことがある

4. わからないことが多い

5. ほとんどわからない

【問8-1は、問8で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします】

問8-1 いつごろから、授業がわからないことになりましたか。(1つに○)

1. 1・2年生のころ

2. 3年生のころ

3. 4年生のころ

4. 5年生のころ

5. 6年生になってから

問9 普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 授業中に寝てしまうことが多い

2. 宿題ができていないことが多い

3. 持ち物の忘れ物が多い

4. 習い事を休むことが多い

5. 提出物を出すのが遅れることが多い

6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する

7. 保健室で過ごすことが多い

8. 学校では一人で過ごすことが多い

9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない

10. 特にない

問10 あなたは、希望として、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(1つに○)

1. 中学校
2. 高等学校
3. 専門学校 (高等学校卒業後に進学するもの)
4. 高等専門学校・短期大学
5. 大学
6. 大学院
7. その他 ()
8. わからない → 【問11へ】

【問10-1は、問10で「1」から「7」のいずれかに答えた人にお聞きします】

問10-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから

2. 自分の成績から考えて

3. 親がそう言っているから

4. お兄さん・お姉さんがそうしているから

5. まわりの先輩や友だちがそうしているから

6. 家にお金がないと思うから

7. 早く働く必要があるから

8. その他 ()

9. 特に理由はない

問11 あなたは、習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している

2. 参加していない

【問11-1は、問11で「1」に答えた人にお聞きします】

問12 放課後に、誰と過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族 (おばあさん・おじいさん、親戚など、ふくむ)

2. 家族以外の大人 (近所の大人、塾や習い事の先生など)

3. 学校の友だち

4. 学校以外の友だち (地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)

5. きょうだい

6. 一人である

7. その他 ()

問13 放課後に、どこで過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の家
2. 友だちの家
3. 塾や習い事
4. 学校、校庭開放
5. わくわく☆ひろば(一般登録・学童クラブ登録)
6. 公園
7. ボランティアが運営する学習支援教室や子ども食堂
8. その他()

問14 あなたは、平日に学校以外の場所で深のことをどれくらいしていますか。

(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

項目	まったくしない	少ない	30分より	1時間より少ない	30分以上	1時間より少ない	2時間以上	3時間以上	3時間以上
①テレビやビデオ・DVD・インターネット動画を見ること	1	2	3	4	5	6			
②コンピューターゲーム	1	2	3	4	5	6			
③塾など自宅以外の勉強	1	2	3	4	5	6			
④自宅での勉強	1	2	3	4	5	6			
⑤習い事	1	2	3	4	5	6			

ふだん 普段の生活についてお聞きします

問15 あなたは、普段次のようなことをどれくらいしていますか。①～④のそれぞれについて、1つに○

項目	よくする	ときどきする	あまりしない	しない
①家族といろいろな話をする	1	2	3	4
②家の手伝いをする	1	2	3	4
③家族そろって食事をする	1	2	3	4
④家族に勉強を教えてもらう	1	2	3	4

問16 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。①～③のそれぞれについて、1つに○

項目	毎日食べる(週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、ほとんど食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問17 あなたは、普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(1つに○)

1. そうである
2. どちらかといえばそうである
3. どちらかといえばそうではない
4. そうではない

問18 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身のこと(容姿や性格)
2. 友だちのこと
3. 学校の成績のこと
4. 習い事のこと
5. 家族のこと
6. 生活や勉強に必要なお金のこと
7. 自分のために使える時間が少ないこと
8. その他()
9. 特になし

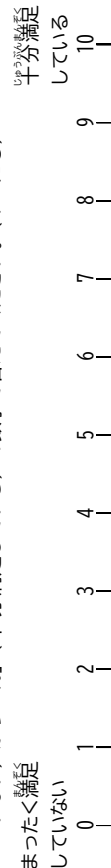
問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. お母さん・お父さん
2. きょうだい
3. おばあさん・おじいさんなど
4. 学校の先生
5. 学校の友だち
6. 学校外の友だち
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
8. 児童館や子どもセンターの職員
9. わくわく☆ひろばの職員、塾・習い事の先生、地域の大人など
10. ネットで知り合った人
11. その他()
12. 相談できる人はいない
13. 誰にも相談できない、相談したくない

問20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足して

いない)から「10」(十分満足している)の数字で答えてください。(1つに○)



問21 次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思えますか。(①～④のそれぞれについて、1つに○)

項目	利用したことがある	利用したことがない	
		あれば利用したと思う	今後も利用したいと思わない
①(自分や友だちの家以外)平日の放課後や土曜日を過ごすことができる場所(わくわく☆ひろばなど)	1	2	3
②(自分や友だちの家以外)夕ごはんを無料で安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1	2	3
③勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3
④(家や学校以外)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)	1	2	3

【問21-1は、問21で1つでも「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします】

問21-1 そのご利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 友だちが増えた | 6. 勉強がわかるようになった |
| 2. 気軽に話せる大人が増えた | 7. 勉強する時間が増えた |
| 3. 生活の中で楽しむことが増えた | 8. その他() |
| 4. ほっとできる時間が増えた | 9. 特に変化はない |
| 5. 栄養のある食事をとれることが増えた | |

お世話の状況についてお聞きします

問22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでの「お世話」とは、下図のように本来大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(1つに○)

1. いる ---▶ 【問22-1へ】 2. いない ---▶ 【問32へ】

問22-1 お母さん } 【問22-2へ】
 2. お父さん }
 3. おばあさん } 【問22-3へ】
 4. おじいさん }
 5. きょうだい ---▶ 【問22-4へ】
 6. その他 () ---▶ 【問22-5へ】

【問22-1は、問22で「1」と答えた人にお聞きします】

問22-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. お母さん } 【問22-2へ】
 2. お父さん }
 3. おばあさん } 【問22-3へ】
 4. おじいさん }
 5. きょうだい ---▶ 【問22-4へ】
 6. その他 () ---▶ 【問22-5へ】

【問22-2は、問22-1で「1. お母さん」あるいは「2. お父さん」と答えた人にお聞きします】

問22-2 あなたがお世話をしているお母さん、あるいはお父さんはどのような状況ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む |
| 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 8. 6、7以外の病気 |
| 3. 認知症 | 9. 日本語が苦手 |
| 4. 身体障がい | 10. その他 () |
| 5. 知的障がい | 11. わからない |
| 6. ころろの病気 (うつ病など) ※疑い含む | |

【問22-3は、問22-1で「3. おばあさん」あるいは「4. おじいさん」と答えた人にお聞きします】

問22-3 あなたがお世話をしているおばあさん、あるいはおじいさんはどのような状況ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む |
| 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 8. 6、7以外の病気 |
| 3. 認知症 | 9. 日本語が苦手 |
| 4. 身体障がい | 10. その他 () |
| 5. 知的障がい | 11. わからない |
| 6. ころろの病気 (うつ病など) ※疑い含む | |

【問22-4は、問22-1で「5. きょうだい」と答えた人にお聞きします】

問22-4 あなたがお世話をしているきょうだいはどのような状況ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 若い | 5. 病気 |
| 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 6. 日本語が苦手 |
| 3. 身体障がい | 7. その他 () |
| 4. 知的障がい | 8. わからない |

【問22-5は、問22-1で「6. その他」と答えた人にお聞きします】

問22-5 あなたがお世話をしている人はどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む |
| 2. 若い | 9. 7、8以外の病気 |
| 3. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 10. 日本語が苦手 |
| 4. 認知症 | 11. その他 () |
| 5. 身体障がい | 12. わからない |
| 6. 知的障がい | |
| 7. ころろの病気 (うつ病など) ※疑い含む | |

【問23から問31は、問22で「1」と答えた人にお聞きします】

問23 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 家事 (食事前の準備や掃除、洗濯) | 7. 見守り |
| 2. きょうだいのお世話を送り迎え | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 9. お金の管理 |
| 4. 買い物や散歩と一緒に行く | 10. 菓の管理 |
| 5. 病院へ一緒に行く | 11. その他 () |
| 6. 話を聞く | |

問24 あなたは、お世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. お母さん | 6. 親戚の人 |
| 2. お父さん | 7. 自分のみ |
| 3. おばあさん | 8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用 |
| 4. おじいさん | 9. その他 () |
| 5. きょうだい | |

問25 あなたは何才からお世話をしていますか。(はつきりとわからない場合は、だいたいの中でかまいません)

() 才から

問26 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 1か月以上 |
| 2. 週に3～5日 | 5. その他 () |
| 3. 週に1～2日 | |

問27 あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。(白によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください)

1日 () 時間くらい

問28 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学校を休んでしまう
2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 宿題など勉強する時間がない
4. 眠る時間が足りない
5. 友だちと遊ぶことができない
6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他 ()
9. 特にない

問29 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 体力の面で大変
2. 気持ちの面で大変
3. 時間の余裕がない
4. 特に大変さは感じていない

問30 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

1. ある ---▶ 【問30-1へ】
2. ない ---▶▶ 【問30-2へ】

【問30-1は、問30で「1」と答えた人にお聞きします】

問30-1 それは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族 (お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい)
2. 親戚 (おじ、おばなど)
3. 友だち
4. 学校の先生 (保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人
8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
9. 後援や保健センターの人
10. 近所の人
11. SNS上での知り合い
12. その他 ()

【問31へ】

【問30-2、問30-3は、問30で「2」と答えた人にお聞きします】

問30-2 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいませんか。

(1つに○)

1. いる
2. いない

問30-3 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のこのため話にくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. その他 ()

問31 学校や周りの大人にしてみたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい
5. 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい
→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ()
6. 自由に使える時間がほしい
7. 勉強を教えてほしい
8. お金の面で支援助してほしい
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

【問31-1は、問31で「1」または「2」と答えた人にお聞きします】

問31-1 どのような方法で話を聞いたり相談のつたりしてほしいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他 ()

【すべての人にお聞きします】

問32 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。(1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

【問32-1は、問32で「1」または「2」と答えた人にお聞きします】

問32-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 5. イベントや交流会など |
| 2. 雑誌や本 | 6. 学校 |
| 3. SNSやインターネット | 7. 友人・知人から聞いた |
| 4. 広報やチラシ、掲示物 | 8. その他（ ） |

問33 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項目	あてはまる どちらかといえば、 あてはまる	どちらかといえば、 あてはまらない	あてはまらない
①がんばれば、むくわれる	1	2	4
②自分は価値のある人間だと思う	1	2	4
③自分には良いところがある	1	2	4
④不安に感じることがない	1	2	4
⑤孤独を感じることはない	1	2	4
⑥自分の将来が楽しみだ	1	2	4

問34 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもら

いたいことを自由に書いてください。

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーへ相談してください。また、下記相談先についても連絡してください。

《相談先一覧》

- 24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】
電話番号：0120-0-78310（通話無料） 受付時間：年中無休24時間受付
- 児童相談所相談専用ダイヤル【厚生労働省】
電話番号：0120-189-783（通話無料） 受付時間：年中無休24時間受付
- 子どもの人権110番【法務省】
電話番号：0120-007-110（通話無料） 受付時間：平日8:30-17:15
- 子どもと家族の相談窓口【日本精神保健福祉士協会】
メールアドレス：kodomo@kazo@jamhsw.or.jp 受付時間：年中無休24時間受付

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

問7 あなたは、普通学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

(①②それぞれ1つに○) ※学校の宿題をする時間や、塾などの勉強時間も含まれます。

項目	しま ない たく	少 ない より	3 0分 以上	3 0分 以上	1 時 以上	2 時 以上	3 時 以上
①学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	6
②学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	6

問8 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

1. いつもわかる	2. だいたいわかる	3. 教科によってはわからないことがある	4. わからないことが多い	5. ほとんどわからない

【問8-1は、問8で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」

「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします】

問8-1 いくつかから、授業がわからないことがあるようになりますか。(1つに○)

1. 小学1・2年生のころ	4. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	5. 中学2年生になってから
3. 小学5・6年生のころ	

問9 普段の学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 授業中に居眠りすることが多い	6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
2. 宿題や課題ができていないことが多い	7. 保健室で過ごすことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い	8. 学校では一人で過ごすことが多い
4. 部活動や習い事を休むことが多い	9. 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	10. 特にな

問10 あなたは、希望として、将来どの学校まで行きたいと思えますか。(1つに○)

1. 中学校	
2. 高等学校	
3. 専門学校(高等学校卒業後に進学するもの)	
4. 高等専門学校・短期大学	
5. 大学	
6. 大学院	
7. その他()	
8. わからない	【問11へ】

【問10-1は、問10で「1」から「7」のいずれかに答えた人にお聞きします】

問10-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから	6. 家にお金がないと思うから
2. 自分の成績から考えて	7. 早く働く必要があるから
3. 親がそう言っているから	8. その他()
4. 兄・姉がそうしているから	9. 特に理由はない
5. まわりの先輩や友人がそうしているから	

問11 あなたは、習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

(1つに○)

1. 参加している
2. 参加していない

放課後の過ごし方についてお聞きします

問12 放課後に、誰と過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族(祖父母、親戚など含む)
2. 家族以外の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など)
3. 学校の友人
4. 学校以外の友人(地域のスポーツクラブ、近所の友人など)
5. きょうだい
6. 一人でいる
7. その他()

問13 放課後に、どこで過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の家	5. 図書館やティーンズセンターなどの公共施設
2. 友人の家	6. 公園
3. 塾や習い事	7. ボランティアが運営する学習支援教室や子ども食堂
4. 部活動など学校の課外活動	8. その他()

問14 あなたは、平日に学校以外の場所で次のことをどれくらいしていますか。

(①～⑤のそれぞれについて、1つに○)

項目	しま ない たく	少 な い 分 り	間 3 0 分 以 上 な い	間 1 時 以 上 な い	間 2 時 以 上 な い	3 時 間 以 上
①テレビやビデオ・DVD・イン ターネット動画を見ること	1	2	3	4	5	6
②コンピューターゲーム	1	2	3	4	5	6
③塾など自宅以外の勉強	1	2	3	4	5	6
④自宅での勉強	1	2	3	4	5	6
⑤習い事	1	2	3	4	5	6

普段の生活についてお聞きします

問15 あなたは、普段次のようなことをどれくらいしていますか。

(①～④のそれぞれについて、1つに○)

項目	よくする	ときどきする	あまりしない	しない
①家族と色々な話をする	1	2	3	4
②家の手伝いをする	1	2	3	4
③家族そろって食事をする	1	2	3	4
④家族に勉強を教えてもらう	1	2	3	4

問16 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(①～③のそれぞれについて、1つに○)

項目	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の 昼食	1	2	3	4

問17 あなたは、普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(1つに○)

1. そうである	3. どちらかといえばそうではない
2. どちらかといえばそうである	4. そうではない

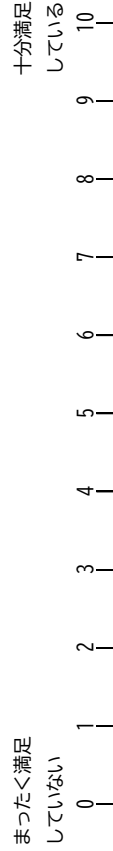
問18 現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身のこと (容姿や性格)	9. 自分と家族との関係のこと
2. 友人との関係のこと	10. 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど)
3. 学業成績のこと	11. 病気や障がいのある家族のこと
4. 進路のこと	12. 自分のために使える時間が少ない
5. 部活動のこと	13. その他 ()
6. 家庭の経済的状況のこと	14. 特になし
7. 自分が自由に使うことができずお金が少ない	
8. 塾 (通信含む) や習い事ができない	

問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親	8. 児童館やティーンズセンターの職員
2. きょうだい	9. 塾・習い事の先生、地域の人など
3. 祖父母	10. ネットで知り合った人
4. 学校の先生	11. その他 ()
5. 学校の友人	12. 相談できる人はいない
6. 学校外の友人	13. 誰にも相談できない、相談したくない
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャル ワーカーなど	

問20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足して
いない) から 「10」(十分満足している) の数字で答えてください。(1つに○)



問21 次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(①～④のそれぞれについて、1つに○)

項目	利用したこと		
	利用したことがある	あれば利用したと思う	今後も利用したいと思わない
①(自分や友人の家以外)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所(ティーンズセンター等)	1	2	4
②(自分や友人の家以外)タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1	2	4
③ボランティアが運営する勉強を無料でみでくれる場所	1	2	4
④(家や学校以外)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)	1	2	4

【問21-1は、問21で1つでも「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします】

問21-1 それを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人が増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しみが増えた	8. その他()
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

お世話の状況についてお聞きします

問22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでの「お世話」とは、下図のように本来大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(1つに○)

1. いる ---▶ 【問22-1へ】 2. いない ----▶ 【問32へ】



【問22-1は、問22で「1」と答えた人にお聞きします】

問22-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 母親 } 【問22-2へ】
 2. 父親 }
 3. 祖母 } 【問22-3へ】
 4. 祖父 }
 5. きょうだい ----▶ 【問22-4へ】
 6. その他() ----▶ 【問22-5へ】

【問22-2は、問22-1で「1. 母親」あるいは「2. 父親」と答えた人にお聞きします】

問22-2 あなたがお世話をしている母親、あるいは父親はどのような状況ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢(65歳以上) } 7. 依存症(お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む
 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要 } 8. 6、7以外の病気
 3. 認知症 } 9. 日本語が苦手
 4. 身体障がい } 10. その他()
 5. 知的障がい }
 6. こころの病気(うつ病など) ※疑い含む } 11. わからない

【問22-3は、問22-1で「3. 祖母」あるいは「4. 祖父」と答えた人にお聞きします】

問22-3 あなたがお世話をしている祖母、あるいは祖父はどのような状況ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む |
| 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 8. 6、7以外の病気 |
| 3. 認知症 | 9. 日本語が苦手 |
| 4. 身体障がい | 10. その他 () |
| 5. 知的障がい | 11. わからない |
| 6. こころの病気 (うつ病など) ※疑い含む | |

【問22-4は、問22-1で「5. きょうだい」と答えた人にお聞きします】

問22-4 あなたがお世話をしているきょうだいはどのような状況ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 幼い | 5. 病気 |
| 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 6. 日本語が苦手 |
| 3. 身体障がい | 7. その他 () |
| 4. 知的障がい | 8. わからない |

【問22-5は、問22-1で「6. その他」と答えた人にお聞きします】

問22-5 あなたがお世話をしている人はどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む |
| 2. 幼い | 9. 7、8以外の病気 |
| 3. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要 | 10. 日本語が苦手 |
| 4. 認知症 | 11. その他 () |
| 5. 身体障がい | 12. わからない |
| 6. 知的障がい | |
| 7. こころの病気 (うつ病など) ※疑い含む | |

【問23から問31は、問22で「1」と答えた人にお聞きします】

問23 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) | 7. 見守り |
| 2. きょうだいのお世話や送り迎え | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 9. お金の管理 |
| 4. 買い物や散歩と一緒に行く | 10. 菓子の管理 |
| 5. 病院へ一緒に行く | 11. その他 () |
| 6. 話を聞く | |

問24 あなたは、お世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. 母親 | 6. 親戚の人 |
| 2. 父親 | 7. 自分のみ |
| 3. 祖母 | 8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用 |
| 4. 祖父 | 9. その他 () |
| 5. きょうだい | |

問25 あなたは何歳からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたい何年かかまいません)

() 歳から

問26 あなたがお世話をしている頻度を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 1か月に数日 |
| 2. 週に3～5日 | 5. その他 () |
| 3. 週に1～2日 | |

問27 あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月で1番長かった日の時間を教えてください)

1日 () 時間くらい

問28 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 学校に行きたくても行けない | 7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した |
| 2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 8. 自分の時間が取れない |
| 3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 9. その他 () |
| 4. 睡眠が十分に取れない | 10. 特になし |
| 5. 友人と遊ぶことができない | |
| 6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった | |

問29 お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 身体的にきつい | 3. 時間的余裕がない |
| 2. 精神的にきつい | 4. 特にきつさは感じていない |

問30 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

1. ある ---▶ 【問30-1へ】 2. ない ----▶ 【問30-2へ】

【問30-1は、問30で「1」と答えた人にお聞きします】

問30-1 それは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族(父親、母親、祖母、祖父、きょうだい)
2. 親戚(おじ、おばなど)
3. 友人
4. 学校の先生(保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人
8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
9. 役所や保健センターの人
10. 近所の人
11. SNS 上での知り合い
12. その他 ()

【問31へ】

【問30-2、問30-3は、問30で「2」と答えた人にお聞きします】

問30-2 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない

問30-3 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のこのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. その他 ()

問31 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
5. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ()
6. 自由に使える時間がほしい
7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
9. 家庭への経済的な支援
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

【問31-1は、問31で「1」または「2」と答えた人にお聞きします】

問31-1 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 直接会って
2. 電話
3. SMS
4. 電子メール
5. その他 ()

【すべての人にお聞きします】

問32 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。(1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

【問32-1は、問32で「1」または「2」と答えた人にお聞きします】

問32-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNS やインターネット
4. 広報やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 学校
7. 友人・知人から聞いた
8. その他 ()

問33 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。
 (①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項目	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
①がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
②自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
③自分には良いところがある	1	2	3	4
④不安に感じることはない	1	2	3	4
⑤孤独を感じることはない	1	2	3	4
⑥自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4

問34 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことを自由に書いてください。

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。
 あなた自身、あるいは友人などで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーへ相談してください。
 また、次のページに記した相談先にいつでも連絡してください。

《相談先一覧》

- 24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】
 電話番号：0120-0-78310（通話無料） 受付時間：年中無休24時間受付
- 児童相談所相談専用ダイヤル【厚生労働省】
 電話番号：0120-189-783（通話無料） 受付時間：年中無休24時間受付
- 子どもの人権110番【法務省】
 電話番号：0120-007-110（通話無料） 受付時間：平日8:30-17:15
- 子どもと家族の相談窓口【日本精神保健福祉士協会】
 メールアドレス：kodomo.tokazoku@jamhsw.or.jp 受付時間：年中無休24時間受付

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

北区高校生(2年生世代)の生活実態に関する調査

(アンケートへのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にともない、区民の皆様へのニーズを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住する高校2年生世代の中から1,500人の方を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

令和4年10月
東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて **10月31日(月)** までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

《調査内容・回答方法：調査委託先》

株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)

受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00

メールアドレス：k_policy@jmar.co.jp

《相談先一覧》

- 24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】
電話番号：0120-00-78310 (通話無料) 受付時間：年中無休24時間受付
- 児童相談所相談専用ダイヤル【厚生労働省】
電話番号：0120-189-783 (通話無料) 受付時間：年中無休24時間受付
- 子どもの人権110番【法務省】
電話番号：0120-007-110 (通話無料) 受付時間：平日 8:30-17:15
- 子どもと家族の相談窓口【日本精神保健福祉士協会】
メールアドレス：kodomo.tokazoku@jamhsw.or.jp 受付時間：年中無休24時間受付

【問9-1は、問9で「1」から「6」のいずれかに答えたい人に聞きます】

問9-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 希望する学校や職業があるから | 6. 家にお金がないと思うから |
| 2. 自分の成績から考えて | 7. 早く働く必要があるから |
| 3. 親がそう言っているから | 8. その他 () |
| 4. 兄・姉がそうしているから | 9. 特に理由はない |
| 5. まわりの先輩や友人がそうしているから | |

問10 あなたは、習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(1つに○)

- | |
|------------|
| 1. 参加している |
| 2. 参加していない |

放課後の過ごし方についてお聞きます

問11 放課後に、誰と過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 家族(祖父母、親戚など含む) |
| 2. 家族以外の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など) |
| 3. 学校の友人 |
| 4. 学校以外の友人(地域のスポーツクラブ、近所の友人など) |
| 5. きょうだい |
| 6. 一人である |
| 7. その他 () |

問12 放課後に、どこで過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 自分の家 | 5. 図書館やティーンズセンターなどの公共施設 |
| 2. 友人の家 | 6. 公園 |
| 3. 塾や習い事 | 7. 喫茶店・カラオケボックスなどの商業施設 |
| 4. 部活動など学校の課外活動 | 8. その他 () |

問13 あなたは、平日に学校以外の場所で次のことをどれくらいしていますか。

(①～⑥のそれぞれについて、1つに○)

項目	しまっ ないたく	少 ない より	3 0分 以上 ない	1 時 以上 ない	2 時 以上 ない	3 時 以上
①テレビやビデオ・DVD・インターネット動画を見ること	1	2	3	4	5	6
②コンピューターゲーム	1	2	3	4	5	6
③塾など自宅以外での勉強	1	2	3	4	5	6
④自宅での勉強	1	2	3	4	5	6
⑤習い事	1	2	3	4	5	6
⑥アルバイト	1	2	3	4	5	6

普段の生活についてお聞きます

問14 あなたは、普段次のようなことをどれくらいしていますか。

(①～④のそれぞれについて、1つに○)

項目	よくする	ときどきする	あまりしない	しない
①家族といろいろな話をする	1	2	3	4
②家の手伝いをする	1	2	3	4
③家族そろうって食事をする	1	2	3	4
④家族に勉強を教えてもらう	1	2	3	4

問15 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(①～③のそれぞれについて、1つに○)

項目	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の 昼食	1	2	3	4

問16 あなたは、普段(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. そうである | 3. どちらかといえばそうではない |
| 2. どちらかといえばそうである | 4. そうではない |

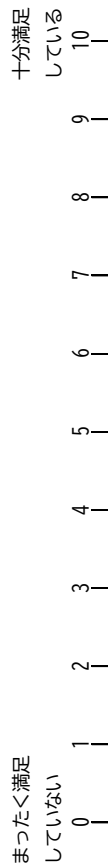
問17 現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身のこと (容姿や性格)	9. 自分と家族との関係のこと
2. 友人との関係のこと	10. 家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど)
3. 学業成績のこと	11. 病気や障がいのある家族のこと
4. 進路のこと	12. 自分のために使える時間が少ない
5. 部活動のこと	13. その他 ()
6. 家庭の経済的状況のこと	14. 特になし
7. 自分が自由に使うことができずお金が少ない	
8. 塾 (通信含む) や習い事ができない	

問18 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親	8. 児童館やティーンズセンターの職員
2. きょうだい	9. 塾・習い事の先生、地域の人など
3. 祖父母	10. ネットで知り合った人
4. 学校の先生	11. その他 ()
5. 学校の友人	12. 相談できる人はいない
6. 学校外の友人	13. 誰にも相談できない、相談したくない
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	

問19 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分満足している)の数字で答えてください。(1つに○)



問20 次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(①～④のそれぞれについて、1つに○)

項目	利用したことがある	利用したことがない		
		あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したかどうかかわからない
①(自分や友人の家以外で)平日の放課後や休日を過ごすことができる場所(ティーンズセンター等)	1	2	3	4
②(自分や友人の家以外で)タゴはんを無料で安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1	2	3	4
③ボランティアが運営する勉強を無料でみられる場所	1	2	3	4
④(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)	1	2	3	4

【問20-1は、問20で1つでも「1. 利用したことがある」と答えた人にお聞きします】

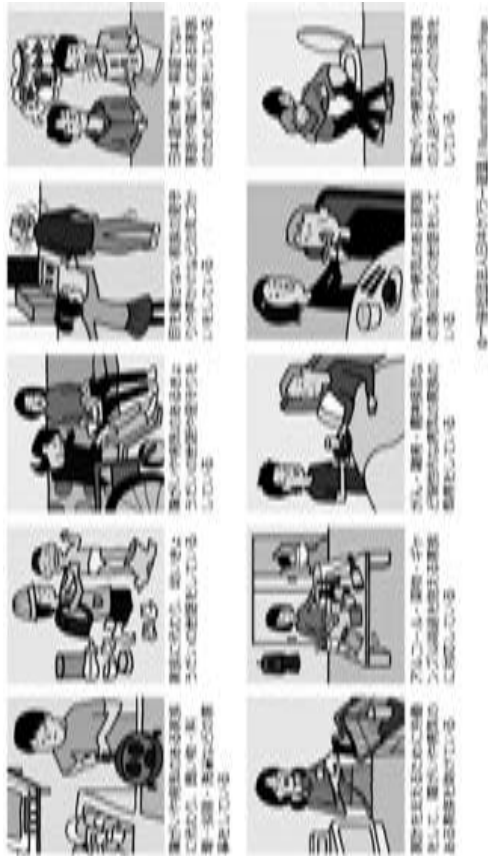
問20-1 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人が増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しむことが増えた	8. その他 ()
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

お世話の状況についてお聞きします

問21 家族の中にあなたがお世話をしている人はいいますか。(ここでの「お世話」とは、下図のように本来大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(1つに○)

1. いる ----▶ 【問21-1へ】 2. いない ----▶ 【問31へ】



【問21-1は、問21で「1」と答えた人にお聞きします】

問21-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 母親 } 【問21-2へ】
- 2. 父親 } 【問21-2へ】
- 3. 祖母 } 【問21-3へ】
- 4. 祖父 } 【問21-3へ】
- 5. きょうだい ----▶ 【問21-4へ】
- 6. その他 () ----▶ 【問21-5へ】

【問21-2は、問21-1で「1. 母親」あるいは「2. 父親」と答えた人にお聞きします】

問21-2 あなたがお世話をしている母親、あるいは父親はどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 認知症
- 4. 身体障がい
- 5. 知的障がい
- 6. ころの病氣 (うつ病など) ※疑い含む
- 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む
- 8. 6、7以外の病氣
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他 ()
- 11. わからない

【問21-3は、問21-1で「3. 祖母」あるいは「4. 祖父」と答えた人にお聞きします】

問21-3 あなたがお世話をしている祖母、あるいは祖父はどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 認知症
- 4. 身体障がい
- 5. 知的障がい
- 6. ころの病氣 (うつ病など) ※疑い含む
- 7. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む
- 8. 6、7以外の病氣
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他 ()
- 11. わからない

【問21-4は、問21-1で「5. きょうだい」と答えた人にお聞きします】

問21-4 あなたがお世話をしているきょうだいはどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 若い
- 2. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 3. 身体障がい
- 4. 知的障がい
- 5. 病氣
- 6. 日本語が苦手
- 7. その他 ()
- 8. わからない

【問21-5は、問21-1で「6. その他」と答えた人にお聞きします】

問21-5 あなたがお世話をしている人はどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 若い
- 3. 介護 (食事や身の回りのお世話) が必要
- 4. 認知症
- 5. 身体障がい
- 6. 知的障がい
- 7. ころの病氣 (うつ病など) ※疑い含む
- 8. 依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず生活に問題を抱えている) ※疑い含む
- 9. 7、8以外の病氣
- 10. 日本語が苦手
- 11. その他 ()
- 12. わからない

【問22から問30は、問21で「1」と答えた人にお聞きします】

問22 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
- 2. きょうだいのお世話や送り迎え
- 3. 入浴やトイレのお世話
- 4. 買い物や散歩と一緒にに行く
- 5. 病院へ一緒に行く
- 6. 話を聞く
- 7. 見守り
- 8. 通訳 (日本語や手話など)
- 9. お金の管理
- 10. 葉の管理
- 11. その他 ()

問23 あなたは、お世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 母親 | 6. 親戚の人 |
| 2. 父親 | 7. 自分のみ |
| 3. 祖母 | 8. 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用 |
| 4. 祖父 | 9. その他（ ） |
| 5. きょうだい | |

問24 あなたは何歳からお世話をしていますか。(はつきりとわからない場合は、だいたい年の年でおまいます)

() 歳から

問25 あなたがお世話をしている頻度を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 1か月に数日 |
| 2. 週に3～5日 | 5. その他（ ） |
| 3. 週に1～2日 | |

問26 あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月で1番長かった日の時間を教えてください)

1日()時間くらい

問27 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 学校に行きたくても行けない | 7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した |
| 2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう | 8. 自分の時間が取れない |
| 3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない | 9. その他（ ） |
| 4. 睡眠が十分に取れない | 10. 特にない |
| 5. 友人と遊ぶことができない | |
| 6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった | |

問28 お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 身体的にきつい | 3. 時間的余裕がない |
| 2. 精神的にきつい | 4. 特にきつさは感じていない |

問29 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(1つに○)

- | | | | |
|------------|----------|------------|----------|
| 1. ある ---▶ | 【問29-1へ】 | 2. ない ---▶ | 【問29-2へ】 |
|------------|----------|------------|----------|

【問29-1は、問29で「1」と答えた人にお聞きします】

問29-1 それは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 家族（父親、母親、祖父、祖母、きょうだい） |
| 2. 親戚（おじ、おばなど） |
| 3. 友人 |
| 4. 学校の先生（保健室の先生以外） |
| 5. 保健室の先生 |
| 6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー |
| 7. 医師や看護師、その他病院の人 |
| 8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人 |
| 9. 役所や保健センターの人 |
| 10. 近所の人 |
| 11. SNS 上での知り合い |
| 12. その他（ ） |

【問30へ】

【問29-2、問29-3は、問29で「2」と答えた人にお聞きします】

問29-2 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問29-3 相談していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 誰かに相談するほどの悩みではない |
| 2. 家族外の人に相談するような悩みではない |
| 3. 誰に相談するのがよいかわからない |
| 4. 相談できる人が身近にいない |
| 5. 家族のことのため話しにくい |
| 6. 家族のことを知られたくない |
| 7. 家族に対して偏見を持たれたくない |
| 8. 相談しても状況が変わるとは思わない |
| 9. その他（ ） |

問30 学校や周りの大人に助けしてほしいことや、必要としている支援はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい 2. 家族のお世話について相談のってほしい 3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい 4. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい 5. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい ⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか () 6. 自由に使える時間がほしい 7. 進路や就職など将来の相談のってほしい 8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート 9. 家庭への経済的な支援 10. その他 () 11. 特にな 12. わからない
--

→ 【問30-1は、問30で「1」または「2」と答えた人にお聞きします】

問30-1 どのような方法で話を聞いたり相談のったりしてほしいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 直接会って 2. 電話 3. SNS 4. 電子メール 5. その他 ()

→ 【すべての人にお聞きします】

問31 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。(1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、よく知らない 3. 聞いたことはない
--

→ 【問31-1は、問31で「1」または「2」と答えた人にお聞きします】

問31-1 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビや新聞、ラジオ 2. 雑誌や本 3. SNSやインターネット 4. 広報やチラシ、掲示物 5. イベントや交流会など 6. 学校 7. 友人・知人から聞いた 8. その他 ()
--

問32 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
①がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
②自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
③自分には良いところがある	1	2	3	4
④不安に感じることはない	1	2	3	4
⑤孤独を感じることはない	1	2	3	4
⑥自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4

問33 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもら

いたいことを自由に書いてください。

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友人などで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーへ相談してください。

また、次のページに記した相談先にいつでも連絡してください。

～⑧妊産婦用～
北区子ども・子育て支援に関するニース調査
 (アンケートへのご協力をお願い)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」の改定にともない、区民の皆様へのニースを把握するために行うものです。

調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。

この調査をお願いする方は、区内に在住する妊産婦の方から、500人を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

令和4年10月
 東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制(例:「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
- 時にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて **10月31日(月)** までにご返函ください。

調査についてのお問い合わせ先
 《調査の趣旨》

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

《調査内容・回答方法：調査委託先》
 株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)
 受付時間：(平日) 10:00～12:00、13:00～17:00
 メールアドレス：k_policy@jmar.co.jp

《相談先一覧》

- 24時間子供SOSダイヤル【文部科学省】
 電話番号：0120-0-78310 (通話無料) 受付時間：年中無休 24時間受付
- 児童相談所相談専用ダイヤル【厚生労働省】
 電話番号：0120-189-783 (通話無料) 受付時間：年中無休 24時間受付
- 子どもの人権110番【法務省】
 電話番号：0120-007-110 (通話無料) 受付時間：平日 8:30-17:15
- 子どもと家族の相談窓口【日本精神保健福祉士協会】
 メールアドレス：kodomo.tokazoku@jamsw.or.jp 受付時間：年中無休 24時間受付

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
 記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

世帯の状況についてうかがいます

問1 あなたのお住まいの地区名をお答えください。(1つに○)

地区名	対象地域 (参考)
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条中原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条中原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、七条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目、神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
5. 王子東	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
6. 滝野川西	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目
7. 滝野川東	

問2 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 19歳以下	4. 30歳～34歳	7. 45歳以上
2. 20歳～24歳	5. 35歳～39歳	
3. 25歳～29歳	6. 40歳～44歳	

問3 あなたの家族形態は、次のうちどれにあてはまりますか。妊婦の方はお子さんを含めてお答えください。(1つに○)

1. 自分たち夫婦と子ども (2世代)	3. 母子家庭 (親と同居含む)
2. 自分たち夫婦と子どもと親 (3世代)	4. その他 ()

問4 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

1. 1年未満	4. 5年以上10年未満	7. 20年以上
2. 1年以上3年未満	5. 10年以上15年未満	
3. 3年以上5年未満	6. 15年以上20年未満	

問5 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 生まれたときから北区に居住し続けている	6. 保育・子育て支援が充実している
2. 職場に行きやすい (通勤に便利)	7. 教育環境がよい
3. 親・親せきが近くにいる (同居を含む)	8. 自然環境がよい
4. 住宅価格や家賃が手頃である	9. まちのイメージがよい
5. 医療や福祉が充実している	10. その他 ()

出産・子育てに関することについてうかがいます

※ここからは、あなたのお子さんのことについてうかがいます。3～4か月健診に来られた方は受診対象のお子さんについて、妊娠届を出された方は妊娠中のお子さんについてお答えください。

問6 あなたには、現在お子さんは何人いますか。妊娠中の方は、出産予定のお子さんを含めてお答えください。(1つに○)

1. 1人	3. 3人
2. 2人	4. 4人以上

問7 あなたが理想とする子どもの数は何人ですか。(1つに○)

1. 1人	3. 3人	5. 5人以上
2. 2人	4. 4人	6. 特に理想はない

問8 妊娠や出産の困りごと、育児の不安感や負担感についてうかがいます。

(1) あなたが妊娠や出産について困ったこと、もしくは困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他の妊婦との交流の場が身近にないこと
2. 妊娠・出産についての情報や知識が入手しにくいこと
3. 妊娠・出産についての相談相手が身近にいないこと
4. 妊娠のための休暇制度がなかったこと
5. 上の子どもを見てくれる人がいないこと
6. 家事・育児の協力がいないこと
7. 周りに頼ることができず一人で頑張っていること
8. 買い物に行くことが大変なこと
9. 医療機関の情報が入りにくいこと
10. 出産できる医療機関が近くにないこと
11. 産前・産後のケアサポートが近くにないこと
12. 不妊治療の費用の負担が大きかったこと
13. 出産費用の負担が大きかったこと
14. その他 ()
15. 特にない

問9 出産やその後の育児に関して不安や負担を感じることがありますか (ありましたか)。(3つまでに○)

(あてはまるものすべてに○)

1. 出産に関して非常に不安や負担を感じる (感じた)
2. 出産に関して何となく不安や負担を感じる (感じた)
3. 育児に関して非常に不安や負担を感じる (感じた)
4. 育児に関して何となく不安を感じる (感じた)
5. あまり不安や負担は感じない (感じなかった)
6. まったく感じない (感じなかった)
7. なんともいえない

→【問9から問11は、問8 (2) で「1」～「4」と回答した方にうかがいます】

問9 出産・育児に関して、不安に感じている (感じていた) ことはどのようなことですか。

(3つまでに○)

1. お子さんの病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
5. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと
6. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
7. 配偶者・パートナー以外の親族の理解がないこと
8. 職場の理解がないこと
9. 配偶者・パートナー以外に出産・育児を手伝ってくれる人がいないこと
10. 地域のサービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
11. その他 ()

問10 出産・育児に関する不安や悩みを誰に相談しますか (しましたか)。

(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者・パートナー	11. 幼稚園教諭
2. 祖父母等の家族	12. 民生委員・児童委員
3. 友人や知人	13. 北区の子育て関連担当窓口の職員
4. 近所の人	14. 児童館 (子どもセンター・ティーンズセンター) の職員
5. 子ども家庭支援センターの職員	15. 児童発達支援センター
6. NPO の職員	16. インターネットの相談サイト
7. 保健所・各健康支援センターの職員	17. はびママ学級等で出会った地域の仲間
8. 助産師や看護師	18. その他 ()
9. かかりつけの医師	19. 出産から育児に関する相談相手がない
10. 保育園の先生	

問11 出産・育児に関する情報を、どちらから入手していますか (しましたか)。(3つまでに○)

1. 親族 (親・兄弟姉妹など)	10. 北区ニュース (広報紙)
2. 近所の人、知人、友人	11. テレビ、ラジオ、新聞
3. 子育てサークルの仲間	12. 市販の子育て情報誌、育児書
4. 区役所の窓口	13. インターネット
5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校	14. 北区子育て応援ガイド「きたハピモバイル」
6. 子ども家庭支援センター	15. 子育て支援情報配信メール
7. 各健康支援センター	16. その他 ()
8. 教育総合相談センター	17. 情報の入手手段がわからない
9. 児童館・子どもセンター	

就労についてうかがいます

問12 あなたの現在の就労形態、就労の有無などはつぎのどれですか。(1つに○)

※ 問12～問16までの「フルタイム」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」を、「パート・アルバイト」とは上記以外を指します

1. フルタイムで就労している (産休・育休中でない)	【問12-1へ】
2. フルタイムで就労している (産休・育休中である)	
3. パート・アルバイト等で就労している (産休・育休中でない)	【問13へ】
4. パート・アルバイト等で就労している (産休・育休中である)	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	
7. その他 (例：病氣休業中など) ()	

【問12-1、問12-2は、問12で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます】

問12-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休、育休中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

() 内に数字でご記入ください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

問12-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。() 内に数字でご記入ください。

家を出る時間 () 時	帰宅時間 () 時
--------------	------------

【問19-1、問19-2は、問19で「1」と回答した方にかがいます】

問19-1 その理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの預け先が見つからないから
2. 職場の環境が育児休業を取得する雰囲気ではないから
3. 復帰後、職場に対処(子どもの体調不良による欠勤等)できるか不安があるから
4. 産後の育児や仕事に対する親族などからのサポートを得られないから
5. 妊娠・出産にまつわる健康上の理由から
6. 子育てに専念したかったから
7. パートナーが子育てに専念することを望んだから
8. その他 ()

問19-2 今後、仕事につきたいと思えますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)
 2. 子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. 出産後1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- 〔 7. フルタイム
1. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり () 日 1日当たり () 時間 〕

【問19-3は、問19で「2」と回答した方にかがいます】

問19-3 出産後も仕事を続ける理由または続けたと思う理由をお答えください。(1つに○)

1. 自分の能力、技能、資格を活かすため
2. 社会や他人とのつながりを持つため
3. 生計を維持するため
4. 将来に備えて貯蓄するため
5. その他 ()

問20 世帯の年収は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

1. 200万円未満
2. 200万円以上～300万円未満
3. 300万円以上～400万円未満
4. 400万円以上～500万円未満
5. 500万円以上～600万円未満
6. 600万円以上～700万円未満
7. 700万円以上～800万円未満
8. 800万円以上～900万円未満
9. 900万円以上～1,000万円未満
10. 1,000万円以上

保育園・幼稚園等についてうかがいます

問21 あなたは、お子さんを保育園や幼稚園などに通わせたいと考えていますか。(1つに○)

1. 通わせたい ----> 【問21-1へ】
2. 通わせつもりはない } 【問22へ】
3. まだわからない }

【問21-1は、問21で「1」と回答した方にかがいます】

問21-1 お子さんが「(1) いくつになったら」、「(2) どこに」通わせたいと考えていますか。また、「(3) 通わせたいと思う理由」をお答えください。

(1) いくつになったら通わせたいですか。() 内に数字をご記入ください。
() 歳 () か月

(2) どこに通わせたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育事業所(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のももの)
6. 家庭的保育(保育ママ:保育者の家庭等で5人以下の子どものみを保育する事業)
7. 事業所内保育事業所(企業が従業員の子どものみと地域の子どものみを一緒に保育する施設)
8. 認証保育所(認可保育園ではないが、東京都が認証した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもの送り迎えなどをサポートする事業)
12. その他 ()

(3) お子さんを保育園や幼稚園などに通わせたいと思う理由をお答えください。

- (あてはまるものすべてに○)
1. 子どもの教育や発達のため
 2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
 3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
 4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
 5. 子育て(教育を含む)をしている方が病氣や障害がある
 6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
 7. その他 ()

問22 北区では、妊娠前から子育てを切れ目なく支援する次のような事業を行っています。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。
 (①～⑩の事業ごとに、A、Bそれぞれについて、該当する番号に○)

	A 認知度			B 利用意向	
	1 利用していたことがある	2 利用しているが、はない	3 知らなかった	1 今後利用したい	2 今後利用したくない
【記入例】	①	2	3	①	2
①はびママ (たまご・ひよこ) 面接 (はびママたまご面接：妊娠中の不安を軽減し、安心して出産を迎えるために保健師・助産師が面接を行います。はびママひよこ面接：産後6か月までの方へ、子ども家庭支援センターや子どもセンター、児童館の保育士等が面接を行い、子育て情報を提供します。面接後には、はびママグッズ、カタログギフトのプレゼントがあります。)	1	2	3	1	2
②はびママ学級 (母親学級) (妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。)	1	2	3	1	2
③パパになるための半日コース (父親学級) (パートナーが妊娠中の方を対象に、妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。)	1	2	3	1	2
④産前産後セルフケア講座 (安定期以降の妊婦と生後120日までの乳児を持つ母親を対象としてエクササイズによる身体のケアや子育てに関する情報の提供、情報交換を行います。)	1	2	3	1	2
⑤産後ケア事業 (生後1か月～6か月の赤ちゃんや母親のための産後専門相談などを行います。)	1	2	3	1	2
⑥産後ショートステイ事業 (産後4か月以内の方を対象に助産院等で心身をケアし、授乳・育児等の相談もできます。)	1	2	3	1	2
⑦安心ママナビヘルパー (産前、産後の乳児(6か月まで)がいるご家庭を対象に、育児の負担を少しでも軽減できるよう、ヘルパーがご家庭を訪問し、家事支援、育児支援を行います。)	1	2	3	1	2
⑧赤ちゃん訪問・子育て相談 (「母と子の保健バッグ」の中の「出生通知票」を区に送ると、ご自宅に保健師または助産師が訪問し、子育てに関する相談やお母さんの産後の相談が受けられます。)	1	2	3	1	2
⑨各健康支援センターの情報・相談サービス	1	2	3	1	2
⑩子ども家庭支援センターの子どもと家庭の総合相談、遊びのひろば	1	2	3	1	2

	A 認知度			B 利用意向	
	1 利用していたことがある	2 利用しているが、はない	3 知らなかった	1 今後利用したい	2 今後利用したくない
①子ども家庭支援センターの虐待相談・通告	1	2	3	1	2
②児童館 (子どもセンター) の子育て支援 (乳幼児クラブ等)	1	2	3	1	2
③地域子育て合い事業 (児童館 (子どもセンター) と保育園が連携して、地域での子育て支援を行います。)	1	2	3	1	2
④北区子育てガイドブック・子どもたちの育つ姿・きたくのようなえん (区が発行している子育て情報冊子)	1	2	3	1	2
⑤赤ちゃん休けい室 (赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができ、簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置しています。)	1	2	3	1	2
⑥児童発達支援センター (18歳未満の子どもの発達や障害に関する相談、就学前の療育 (児童発達支援) を行っているほか、様々な障害についての講演会、学習会を行っています。)	1	2	3	1	2
⑦北区子育てにっこりパスポート (中学生以下のお子さんがいる世帯に配布しているにっこりパスポート (カード) を区内協賛店に提示すると割引や特典が受けられる事業です。)	1	2	3	1	2
⑧子育て応援ガイド「きたハビモバイル」 ～子育て応援スケジュールナビ～ (予防接種スケジュールの自動調整機能や、知りたい情報を目的別・年齢別に検索できるなど、子育てに役立つ機能が充実しているモバイルサイトおよびアプリです。)	1	2	3	1	2
⑨みんなでお祝い輝きバースデー (満1歳を迎えるお子さんと保護者を児童館および子どもセンターに招待し、みんなで1歳のお誕生日をお祝いする事業です。)	1	2	3	1	2

出産・子育てに関して北区に期待することについてうかがいます

問23 北区で子育てをしたいと思えますか。(1つに○)
 1. ずっと北区で子育てをしたい 4. 近いうちに転出するつもりである
 2. 当分の間は北区で子育てをしたい 5. その他 ()
 3. できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい

問24 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。
(3つまでに○)

1. 出産や子育てのしやすい就業条件を促進する
2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする
3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する
4. 親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める
5. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する
6. 保育園や幼稚園に入りやすくする
7. 子どもの個性を尊重した、ゆとりある教育を進める
8. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
9. 青少年地区委員会による各種レクリエーション活動など地域の健全育成活動を進める
10. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める
11. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす
12. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める
13. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める
14. 家族が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める
15. その他()

問25 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(月)までにお近くのポストに投函してください。

北区子ども生活実態に関する調査

(アンケートへのご協力をお願いします)

- ◆北区では、未来を担う子どもたちの学びや育ちを支える支援に取り組んでいます。
- ◆今回、皆さんが住みやすいまちをさらに進めるため、アンケート調査を実施することになりました。
- ◆普段の生活のことや困っていることなどをお聞かせください。
- ◆あなたの答えた内容が、他の人に知られることはありません。
- ◆答えづらい質問や答えたくない質問は、無理に答える必要はありません。答えられるところだけ、記入してください。ご協力よろしく申し上げます。

令和4年10月
東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて 10月31日(月) までにご投函ください。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》

北区教育委員会事務局 子ども未来部子ども未来課 電話：03-3908-9097

《調査内容・回答方法：調査委託先》

株式会社 日本能率協会総合研究所 電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)
受付時間：(平日) 10:00~12:00、13:00~17:00
メールアドレス：k_policy@jmar.co.jp

問10 あなたは、勉強が好きですか。(1つに○)

- 1. とても好き
- 2. まあ好き
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり好きではない
- 5. まったく好きではない

あなたの考えや将来のことについてお聞きします

問11 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。

(①～⑥のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

項目	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
①がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
②自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
③自分には良いところがある	1	2	3	4
④不安に感じることはない	1	2	3	4
⑤孤独を感じることはない	1	2	3	4
⑥自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4

問12 あなたには、将来の夢がありますか。(1つに○)

- 1. ある
- 2. ない

問12-1は、問12で「1. ある」と答えた人にお聞きします

問12-1 どのような夢ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 結婚して家族で仲良く暮らす
- 2. 資格を取って安定した仕事に就く
- 3. 好きな仕事をしてたくさんのお金を稼ぐ
- 4. いろんな場所に旅行に行き、様々な体験をする
- 5. 趣味や習い事など、好きなことをして暮らす
- 6. その他 ()

問12-2は、問12で「2. ない」と答えた人にお聞きします

問12-2 夢がない理由は何か。(1つに○)

- 1. もうすべてに満足しているから
- 2. 夢が、かなうのが難しいと思うから
- 3. 具体的に、何も思い浮かばないから
- 4. 日々の生活で精いっぱいだから
- 5. わからない

問13 あなたは、希望として、将来どの学校まで行きたいと思えますか。(1つに○)

- 1. 中学校
- 2. 高等学校
- 3. 専門学校 (高等学校卒業後に進学するもの)
- 4. 高等専門学校・短期大学
- 5. 大学
- 6. 大学院
- 7. その他 ()
- 8. わからない

問13-1は、問13で「1」から「7」のいずれかに答えた人にお聞きします

問13-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 希望する学校や職業があるから
- 2. 自分の成績から考えて
- 3. 親がそう言っているから
- 4. 兄・姉がそうしているから
- 5. まわりの先輩や友人がそうしているから
- 6. 家にお金がないと思うから
- 7. 早く働く必要があるから
- 8. その他 ()
- 9. 特に理由はない

問14 自分の夢や希望をかなえるためには、どんな手助け・支援が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 大学等進学のための給付型奨学金
- 2. 低家賃で借りられる住宅の提供
- 3. 相談にのってくれるアドバイザー
- 4. 専門的な知識・技術を学ぶ勉強会
- 5. 職業体験やボランティアの機会
- 6. その他 ()

問15 【高校生以上の方のみお答えください】施設を退所した後の生活で心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 住居の探し方や契約の仕方
- 2. 電気、ガス、電話等の契約に関する手続き
- 3. 住民票や戸籍の手続き
- 4. 健康保険や年金等の加入手続き
- 5. 金銭管理
- 6. 生活費等経済的な問題
- 7. 家事
- 8. 健康管理、病院の利用の仕方
- 9. 就職に関すること
- 10. 学校・職場での人間関係
- 11. 近隣との人間関係
- 12. 身近な相談相手・相談窓口
- 13. その他 ()
- 14. 心配なことはない

問16 日々の生活で感じていることや、北区への希望や期待、将来に向けて不安に感じていることなど、ご自由に記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、10月31日（月）までにお近くのポストに投函してください。

(仮称)北区子ども・子育て支援総合計画策定のための区民意向調査報告書

令和5年(2023年)3月発行

発行:北区

編集:北区教育委員会事務局子ども未来部子ども未来課

〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 北区役所滝野川分庁舎

☎03-3908-9097(直通)

刊行物登録番号
4-1-132
